

荒川区  
障がい者総合プラン策定のための  
障がい者実態調査  
調査結果報告書

令和5年3月

荒 川 区



# 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	2
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	医療的ケア・重症心身障がい者児調査の結果	3
2	知的障がい者調査の結果	58
3	知的障がい者（施設入所者）調査の結果	119
4	精神障がい者調査の結果	144
5	身体障がい者調査の結果	221
6	身体障がい者（施設入所者）調査の結果	280
7	難病罹患者調査の結果	285
8	障がい児通所支援利用者調査の結果	327
9	障害福祉サービス等事業所調査の結果	356
III	自由回答	408
1	医療的ケア・重症心身障がい者児調査	408
2	知的障がい者調査	408
3	知的障がい者（施設入所者）調査	409
4	精神障がい者調査	409
5	身体障がい者調査	411
6	身体障がい者（施設入所者）	412
7	難病罹患者調査	412
8	障がい児通所支援利用者調査	414
9	障害福祉サービス等事業所調査	414
IV	調査票	415
1	医療的ケア・重症心身障がい者児	415
2	愛の手帳所有者	422
3	愛の手帳所有者（施設入所）	429

4	精神障害者保健福祉手帳所有者 .....	434
5	身体障害者手帳所有者 .....	443
6	身体障害者手帳所有者（施設入所） .....	450
7	難病罹患者 .....	454
8	障がい児通所支援利用者 .....	461
9	障害福祉サービス等事業所 .....	467

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

障がい者の日常生活、健康状態、福祉サービスの利用状況等を把握し、各種施策を推進する際の資料とするとともに、障がい者総合プラン策定の基礎資料を得ることを目的とします。

## 2 調査対象

- ①医療的ケア・重症心身障がい者児
- ②愛の手帳所有者
- ③愛の手帳所有者（施設入所）
- ④精神障害者保健福祉手帳所有者
- ⑤身体障害者手帳所有者
- ⑥身体障害者手帳所有者（施設入所）
- ⑦難病罹患者
- ⑧障がい児通所支援利用者
- ⑨障害福祉サービス等事業所

## 3 調査期間

令和4年10月31日～令和4年11月14日

## 4 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
医療的ケア・重症心身障がい者児	313 通	166 通	53.0%
愛の手帳所有者	1,204 通	547 通	45.4%
愛の手帳所有者（施設入所）	100 通	63 通	63.0%
精神障害者保健福祉手帳所有者	2,016 通	788 通	39.1%
身体障害者手帳所有者	4,956 通	2,367 通	47.8%
身体障害者手帳所有者（施設入所）	17 通	11 通	64.7%
難病罹患者	1,261 通	633 通	50.2%
障がい児通所支援利用者（手帳不所持）	292 通	140 通	47.9%
障害福祉サービス等事業所	148 通	90 通	60.8%

## 6 調査結果の表示方法

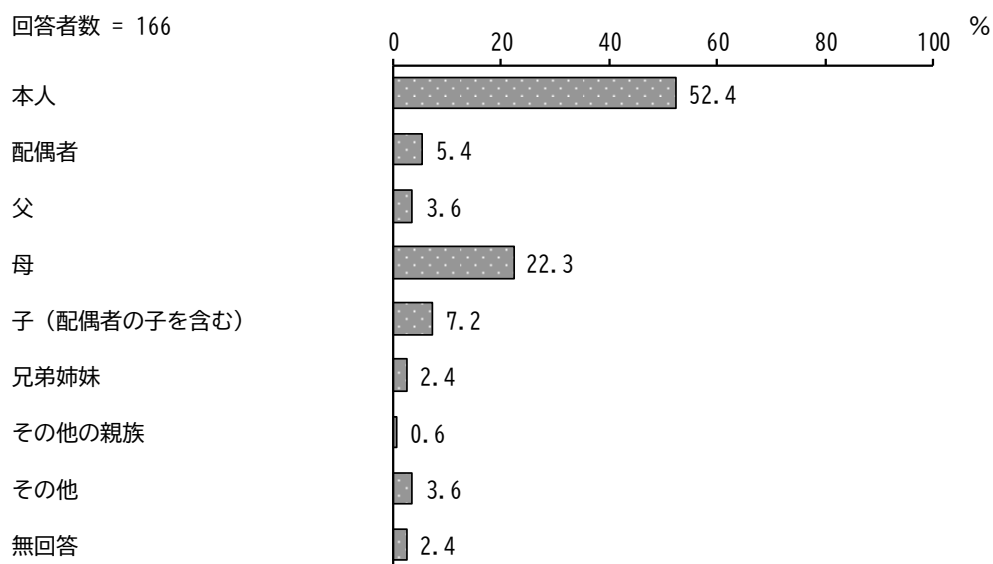
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものに網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

## II 調査結果

### 1 医療的ケア・重症心身障がい者児調査の結果

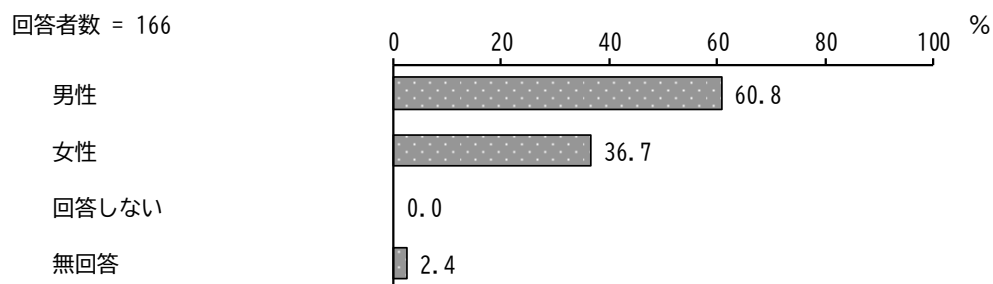
問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「本人」の割合が52.4%と最も高く、次いで「母」の割合が22.3%となっています。



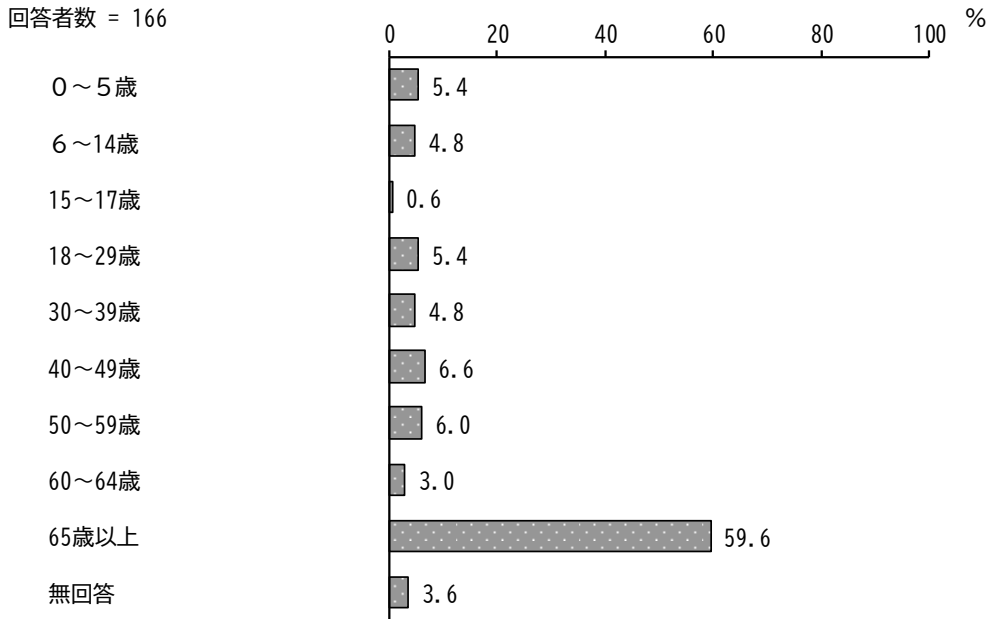
問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」の割合が60.8%と最も高く、次いで「女性」の割合が36.7%となっています。



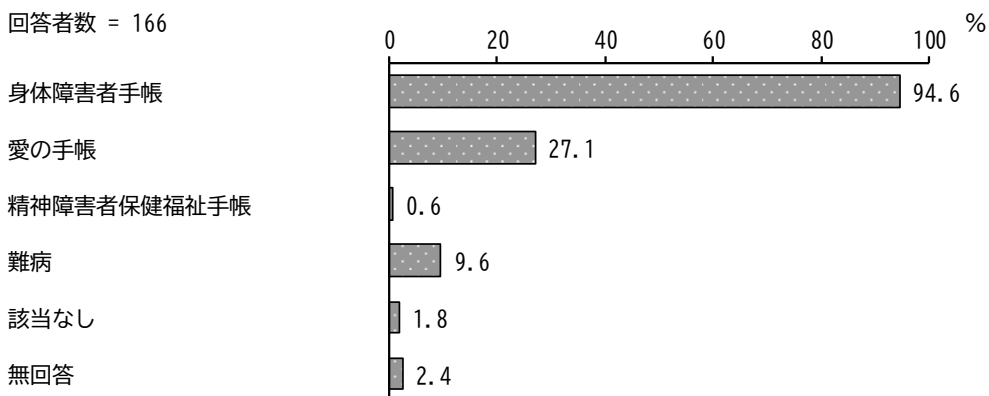
問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

「65歳以上」の割合が59.6%と最も高くなっています。



問4 あなたがお持ちの手帳等はどれですか。また、手帳をお持ちの方は、等級をお答えください。(〇はいくつでも)

「身体障害者手帳」の割合が94.6%と最も高く、次いで「愛の手帳」の割合が27.1%となっています。



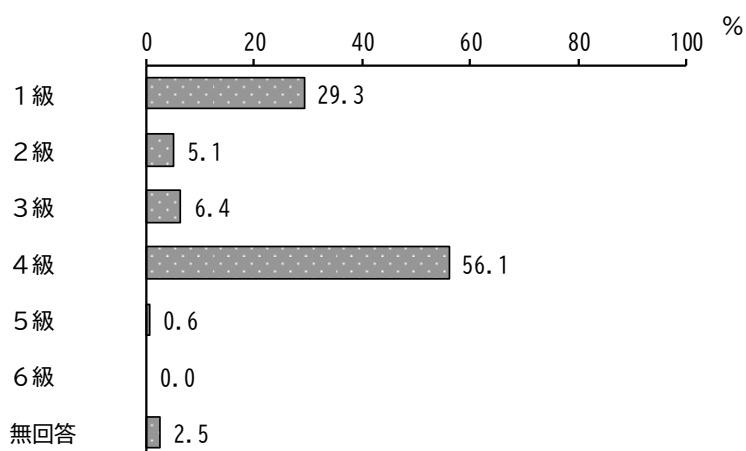


【手帳の等級（○はそれぞれ1つ）】

身体障害者手帳

「4級」の割合が56.1%と最も高く、次いで「1級」の割合が29.3%となっています。

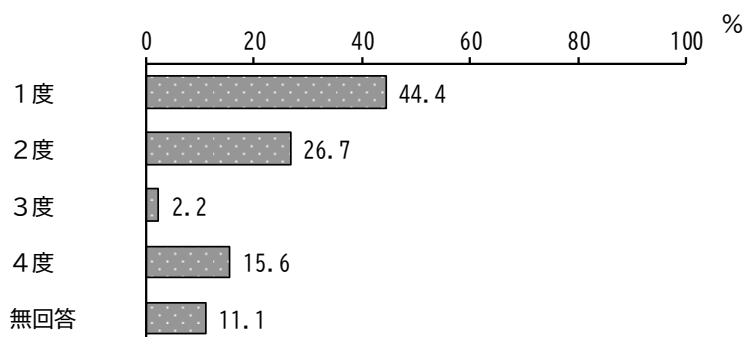
回答者数 = 157



愛の手帳

「1度」の割合が44.4%と最も高く、次いで「2度」の割合が26.7%、「4度」の割合が15.6%となっています。

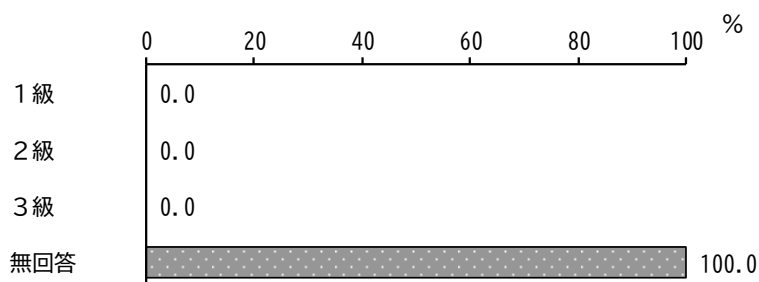
回答者数 = 45



精神障害者保健福祉手帳

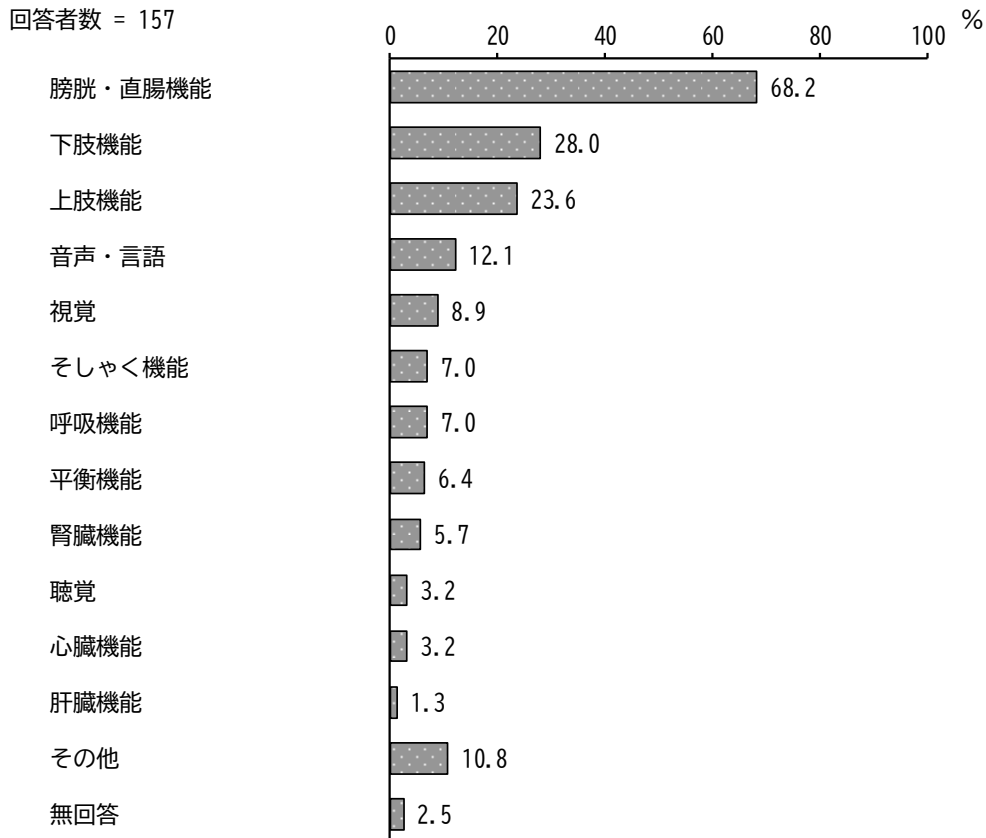
有効回答がないため、コメントは控えます。

回答者数 = 1



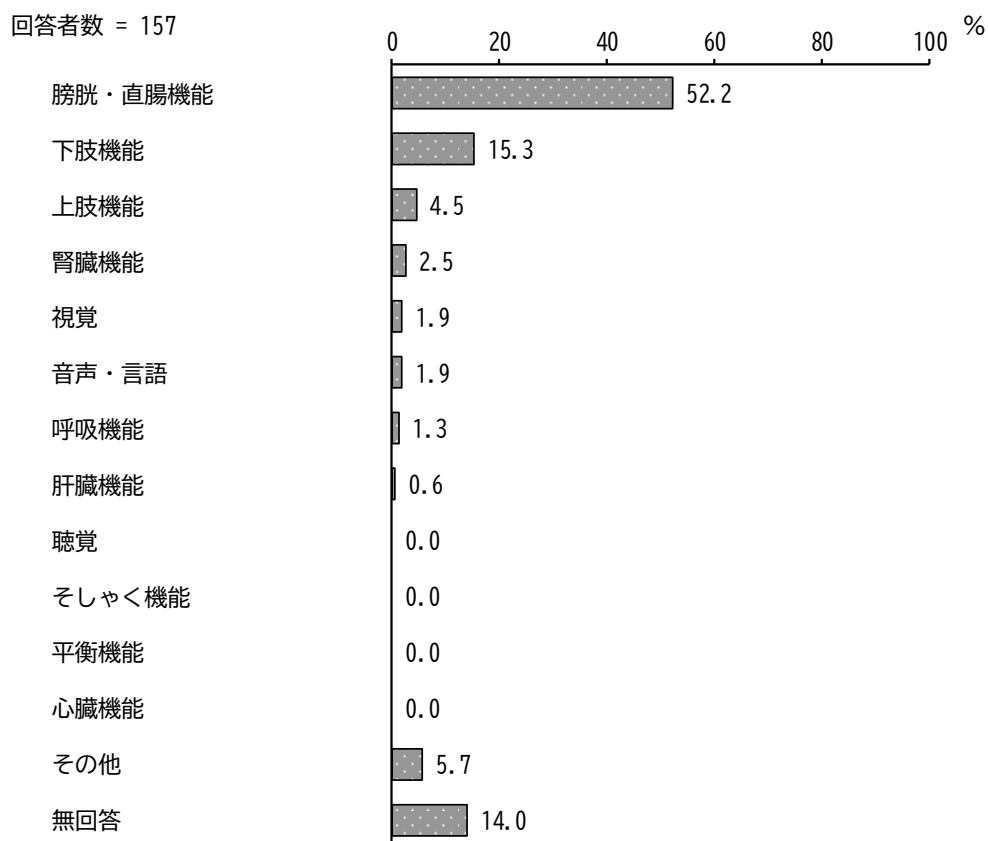
問5 (問4で「身体障害者手帳」に○をつけた方のみお答えください。) あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「膀胱・直腸機能」の割合が68.2%と最も高く、次いで「下肢機能」の割合が28.0%、「上肢機能」の割合が23.6%となっています。



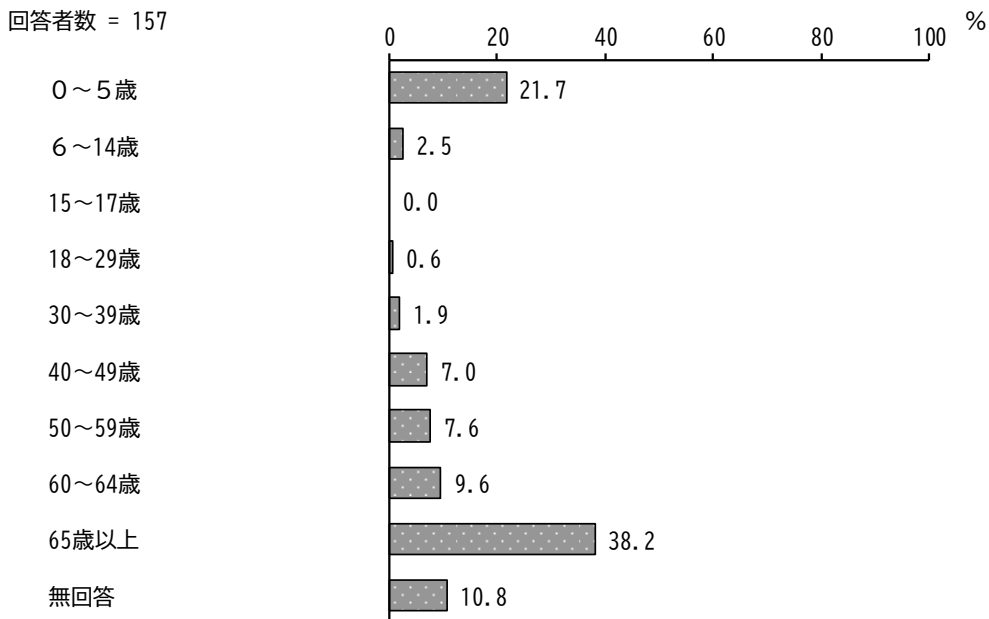
問6 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なもの1つをお答えください。(あてはまる番号を1つご記入ください。)

「膀胱・直腸機能」の割合が52.2%と最も高く、次いで「下肢機能」の割合が15.3%となっています。



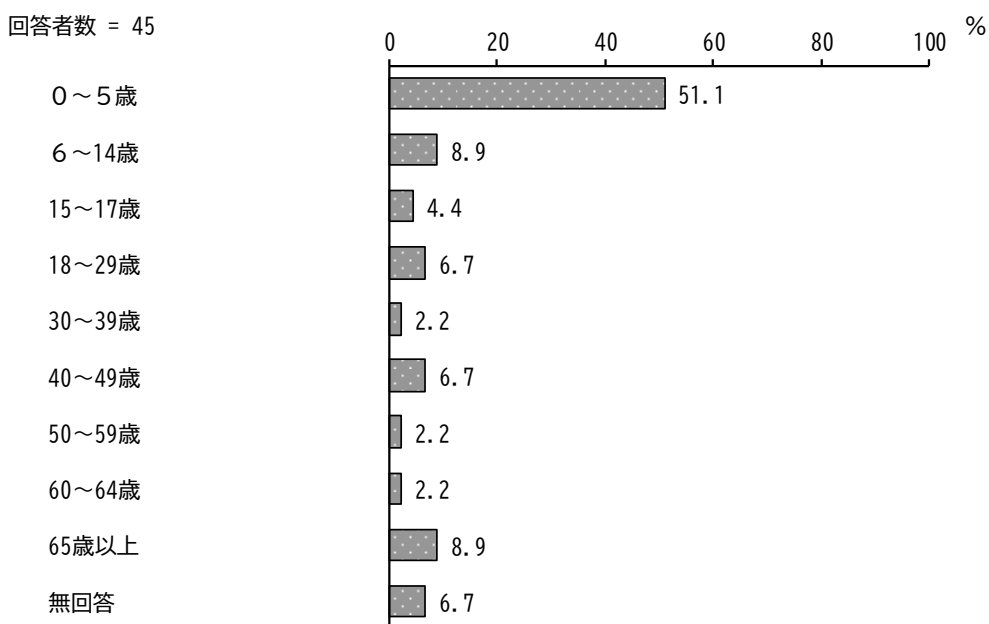
問7 「身体障害者手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

「65歳以上」の割合が38.2%と最も高く、次いで「0～5歳」の割合が21.7%となっています。



問8 (問4で「愛の手帳」に○をつけた方のみお答えください。)「愛の手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

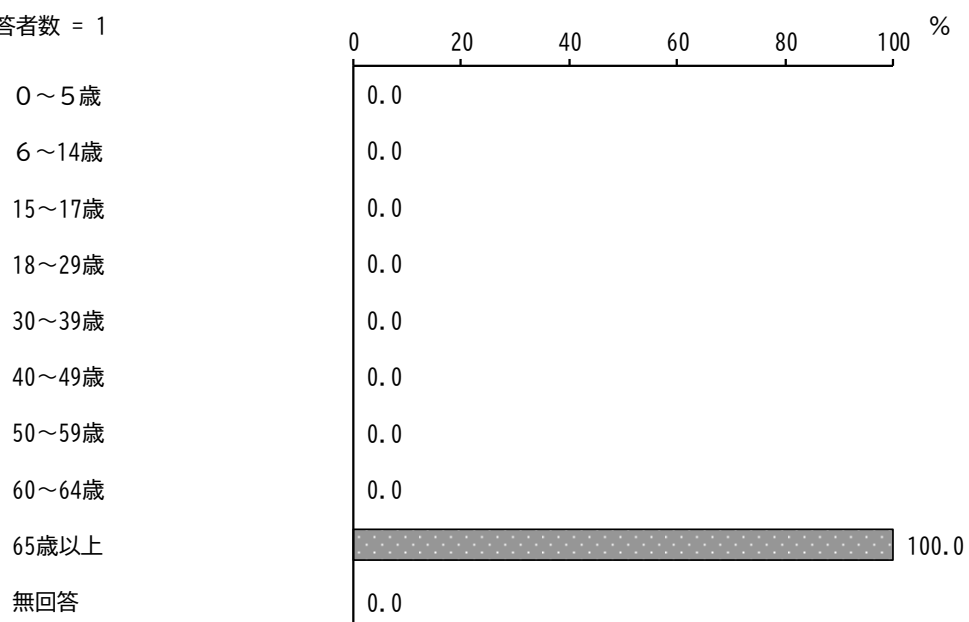
「0～5歳」の割合が51.1%と最も高くなっています。



問9 (問4で「精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方のみお答えください。)「精神障害者保健福祉手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

「65歳以上」が1件となっています。

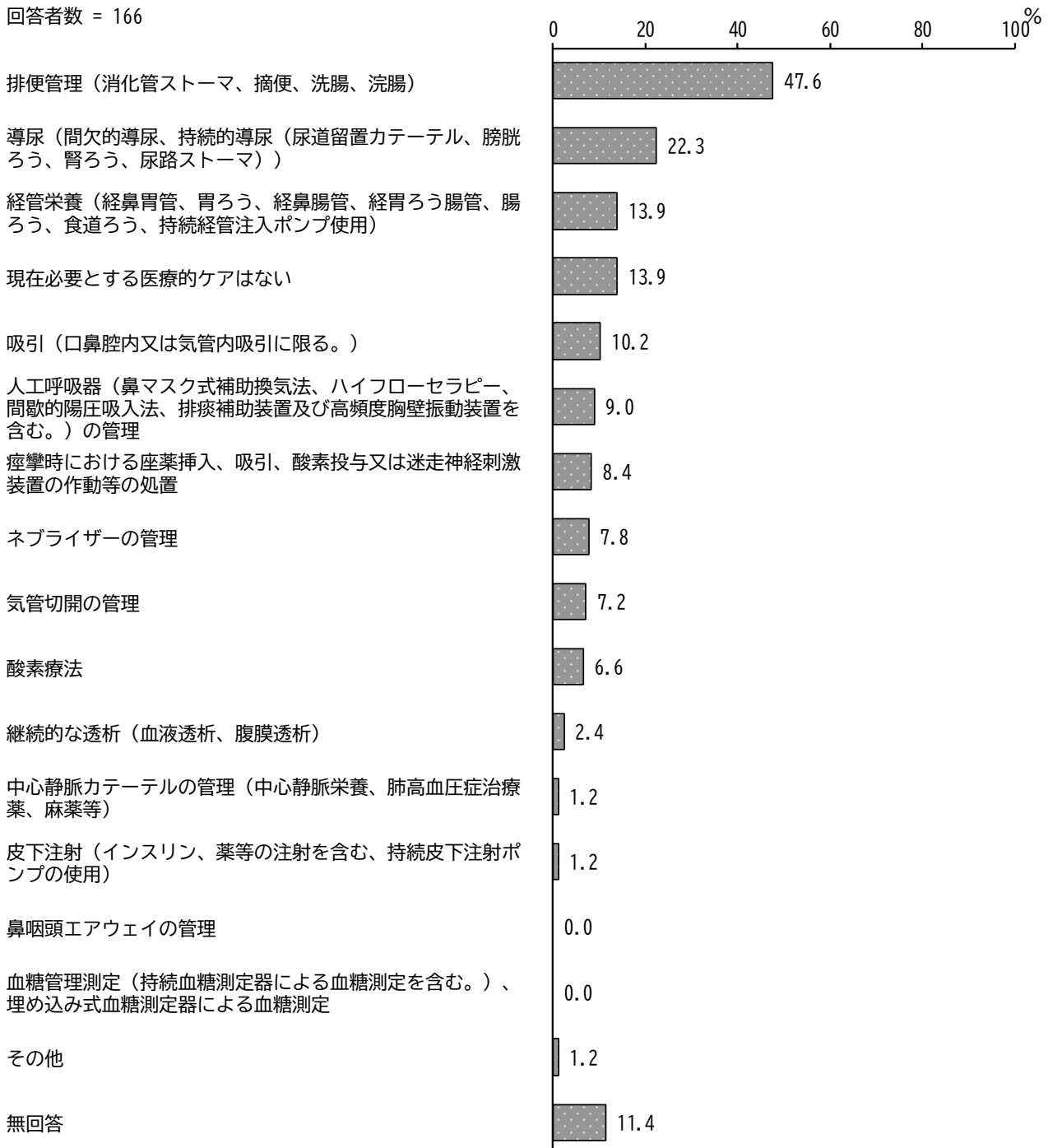
回答者数 = 1



問 10 あなたが、現在必要とする医療的ケアはありますか。(〇はいくつでも)

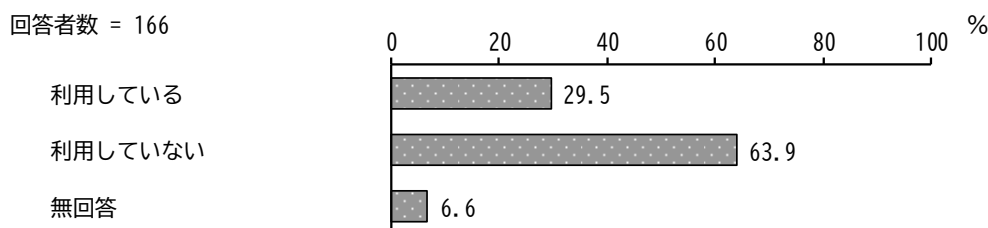
「排便管理（消化管ストーマ、摘便、洗腸、浣腸）」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「導尿（間欠的導尿、持続的導尿（尿道留置カテーテル、膀胱ろう、腎ろう、尿路ストーマ）」の割合が 22.3%、「経管栄養（経鼻胃管、胃ろう、経鼻腸管、経胃ろう腸管、腸ろう、食道ろう、持続経管注入ポンプ使用）」、「現在必要とする医療的ケアはない」の割合が 13.9%となっています。

回答者数 = 166



問 11 介護保険サービス（訪問介護・通所介護等）を利用していますか。（○は1つ）

「利用している」の割合が29.5%、「利用していない」の割合が63.9%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢で「利用していない」の割合が高くなっています。

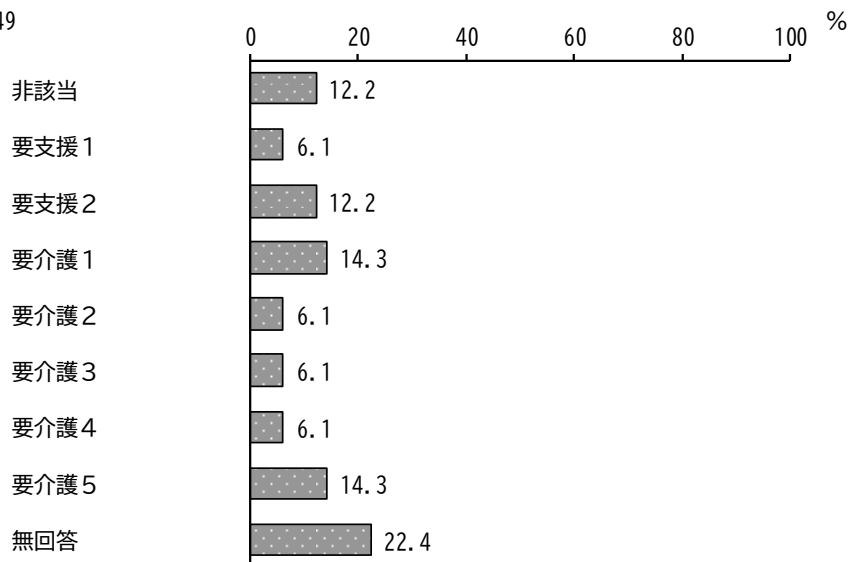
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全 体	166	29.5	63.9	6.6
18 歳未満	18	38.9	61.1	—
18～39 歳	17	17.6	70.6	11.8
40～64 歳	26	23.1	69.2	7.7
65 歳以上	99	31.3	63.6	5.1

問12 (問11で「利用している」に○をつけた方のみお答えください。) 該当する要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

「要介護1」、「要介護5」の割合が14.3%と最も高く、次いで「非該当」、「要支援2」の割合が12.2%となっています。

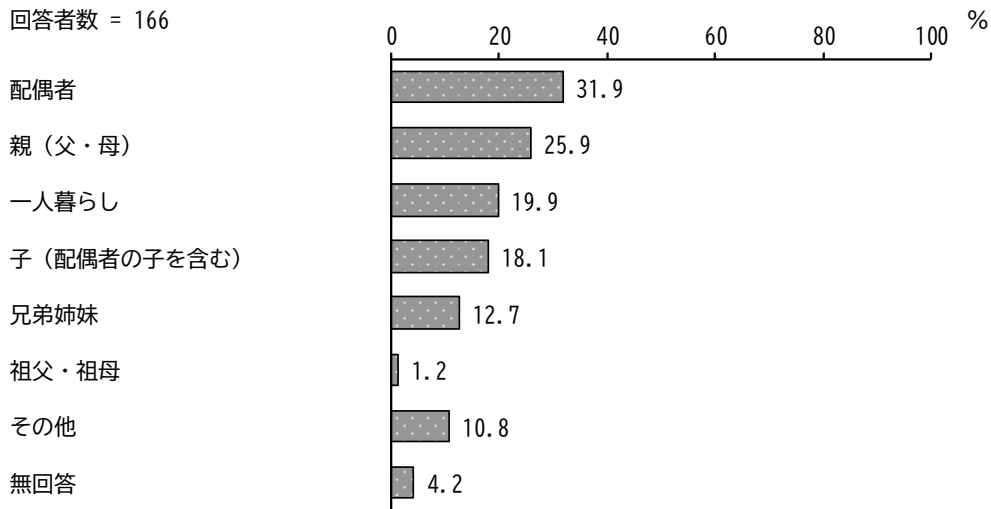
回答者数 = 49





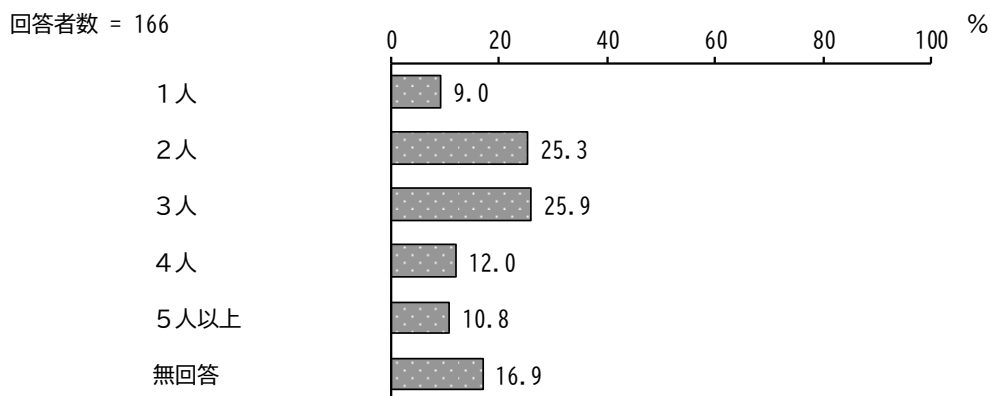
問13 あなたは、現在、誰と一緒に生活していますか。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が31.9%と最も高く、次いで「親(父・母)」の割合が25.9%、「一人暮らし」の割合が19.9%となっています。



問14 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。(〇は1つ)

「3人」の割合が25.9%と最も高く、次いで「2人」の割合が25.3%、「4人」の割合が12.0%となっています。



問 15 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。(○は1つ)

「10 布団を干すこと」「13 病院に行くこと」「16 医療的ケアを行うこと」で「全部に手助けが必要」の割合が高くなっています。

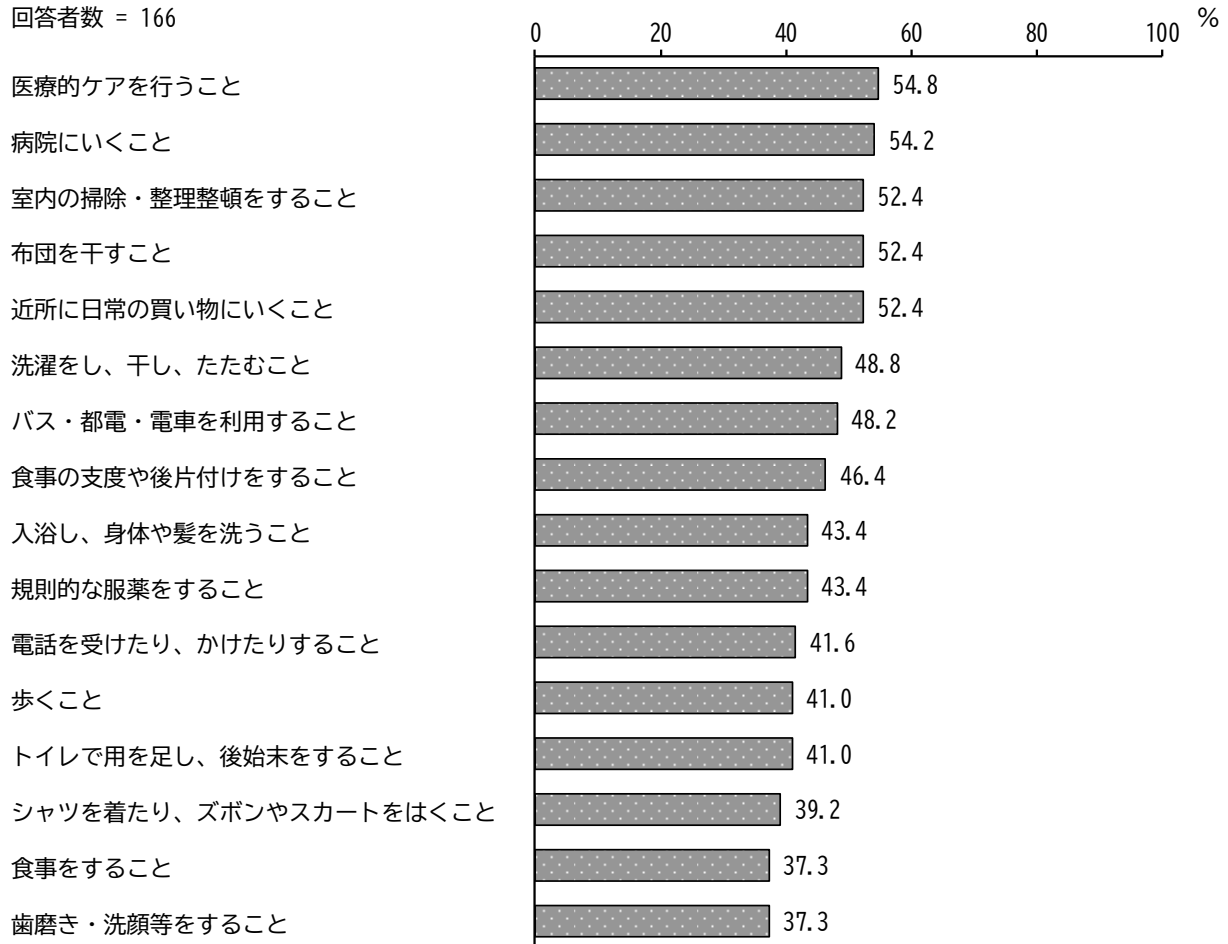
単位：％

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回答
1 歩くこと	166	57.2	11.4	29.5	1.8
2 食事をする	166	60.8	11.4	25.9	1.8
3 食事の支度や後片付けをする	166	48.8	7.8	38.6	4.8
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはく	166	57.8	8.4	30.7	3.0
5 トイレで用を足し、後始末をする	166	57.2	10.2	30.7	1.8
6 入浴し、身体や髪を洗う	166	54.2	9.6	33.7	2.4
7 歯磨き・洗顔等をする	166	60.8	4.8	32.5	1.8
8 室内の掃除・整理整頓をする	166	45.2	15.1	37.3	2.4
9 洗濯をし、干し、たたむ	166	47.0	7.2	41.6	4.2
10 布団を干す	166	44.0	7.2	45.2	3.6
11 電話を受けたり、かけたり	166	56.6	6.6	34.9	1.8
12 規則的な服薬をする	166	53.0	7.8	35.5	3.6
13 病院に行く	166	44.0	10.2	44.0	1.8
14 近所に日常の買い物に行く	166	43.4	9.6	42.8	4.2
15 バス・都電・電車を利用	166	46.4	4.2	44.0	5.4
16 医療的ケアを行う	166	39.8	13.9	41.0	5.4

問 15 「一部に手助けが必要」、「全部に手助けが必要」を合わせた表

「一部に手助けが必要」、「全部に手助けが必要」を合わせた要介助の割合をみると、『医療的ケアを行うこと』が 54.8%と最も高く、次いで、『病院に行くこと』が 54.2%、『室内の掃除・整理整頓をすること』が 52.4%となっています。

回答者数 = 166



【障がい種別】「一部に手助けが必要」と「全部に手助けが必要」を合わせた表

障がい種別ごとにみると、他に比べ、愛の手帳で「トイレで用を足し、後始末をすること」「電話を受けたり、かけたりすること」「歯磨き・洗顔等をする事」の割合が高くなっています。

「一部に手助けが必要」と「全部に手助けが必要」をあわせた要介助とする割合

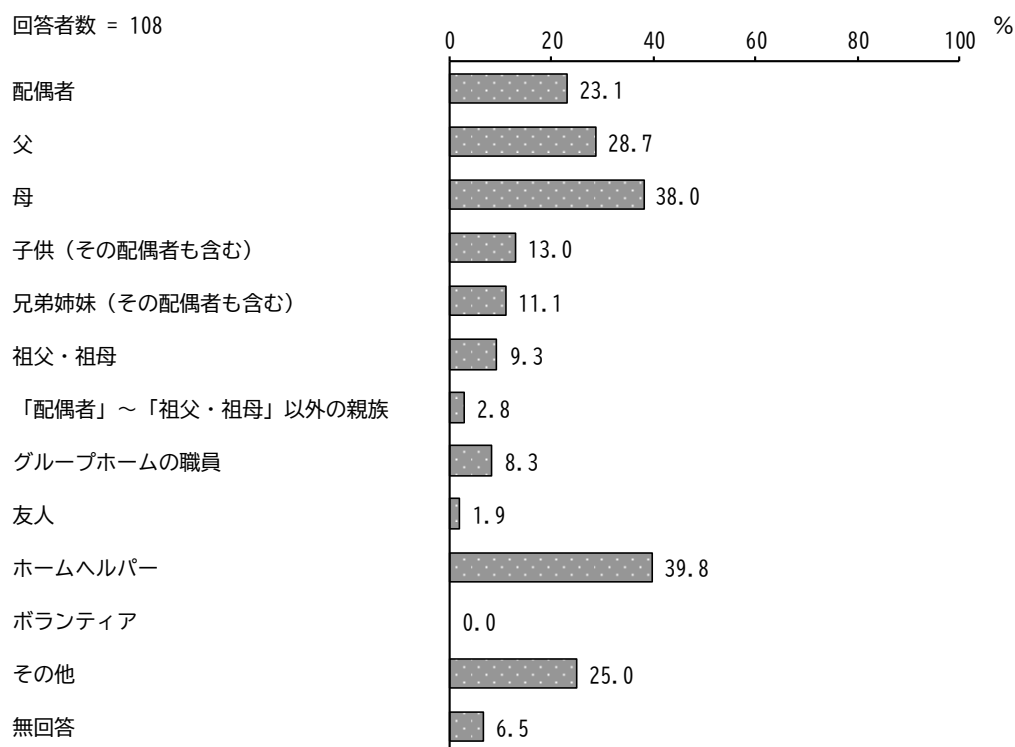
単位：%

区分	回答者数(件)	医療的ケアを行うこと	病院に行くこと	室内の掃除・整理整頓をすること	布団を干すこと	近所に日常の買い物に行くこと	洗濯をし、干し、たたむこと	バス・都電・電車を利用すること	食事の支度や後片付けをすること
身体障害者手帳	157	54.8	54.1	52.9	52.9	51.6	49.0	47.8	46.5
愛の手帳	45	88.9	88.9	86.7	88.9	88.9	80.0	86.7	82.2
精神障害者保健福祉手帳	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—
難病	16	81.3	87.5	81.3	81.3	87.5	75.0	87.5	81.3
該当なし	3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

区分	入浴し、身体や髪を洗うこと	規則的な服薬をすること	電話を受けたり、かけたりすること	歩くこと	トイレで用を足し、後始末をすること	シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	食事をする事	歯磨き・洗顔等をする事
身体障害者手帳	43.3	43.3	41.4	42.0	40.8	38.9	36.9	36.9
愛の手帳	82.2	84.4	84.4	73.3	84.4	80.0	77.8	80.0
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	—	—	—
難病	75.0	81.3	81.3	68.8	75.0	75.0	75.0	75.0
該当なし	100.0	100.0	100.0	66.7	100.0	100.0	100.0	100.0

問16 (問15で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「ホームヘルパー」の割合が39.8%と最も高く、次いで「母」の割合が38.0%、「父」の割合が28.7%となっています。



【障がい種別】

障がい種別ごとにみると、他に比べ、難病や愛の手帳で「父」「母」の割合が高くなっています。

単位：%

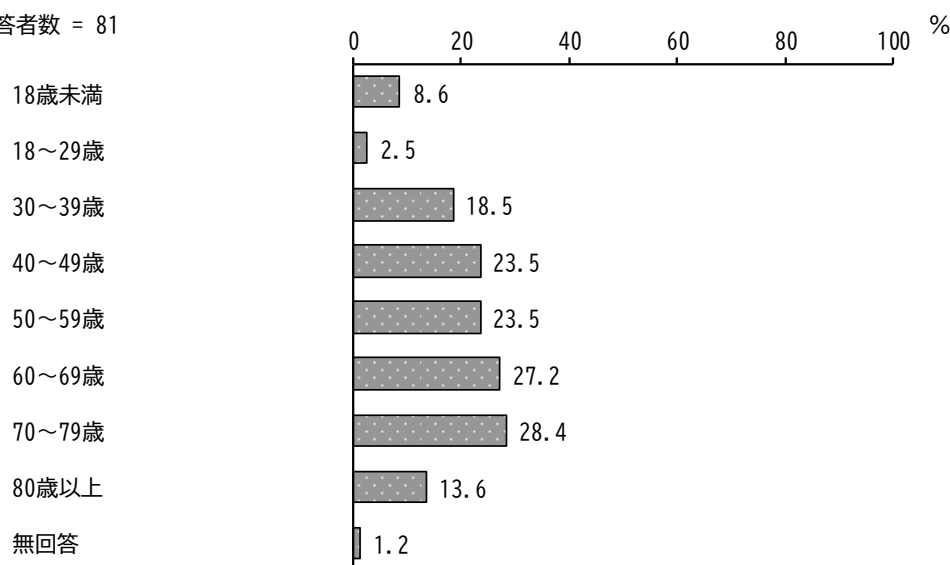
区分	回答者数 (件)	配偶者	父	母	子供(その配偶者も 含む)	兄弟姉妹(その配偶 者も含む)	祖父・祖母
全 体	108	23.1	28.7	38.0	13.0	11.1	9.3
身体障害者手帳	102	24.5	28.4	37.3	13.7	9.8	8.8
愛の手帳	42	—	52.4	71.4	2.4	11.9	16.7
精神障害者保健福祉手帳	1	100.0	—	—	—	—	—
難病	14	7.1	64.3	71.4	7.1	14.3	42.9
該当なし	3	—	33.3	66.7	—	33.3	—

区分	「配偶者」 「祖父・ 祖母」以外の親族	職員 グループホームの ホーム	友人	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
全 体	2.8	8.3	1.9	39.8	—	25.0	6.5
身体障害者手帳	2.9	8.8	2.0	41.2	—	24.5	6.9
愛の手帳	—	16.7	—	47.6	—	42.9	4.8
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	—	—
難病	—	14.3	—	57.1	—	28.6	—
該当なし	—	—	—	—	—	33.3	—

問17 (問16で「1 配偶者」～「7 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。(問16で「1 配偶者」～「7 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「70～79歳」の割合が28.4%と最も高く、次いで「60～69歳」の割合が27.2%、「40～49歳」、「50～59歳」の割合が23.5%となっています。

回答者数 = 81

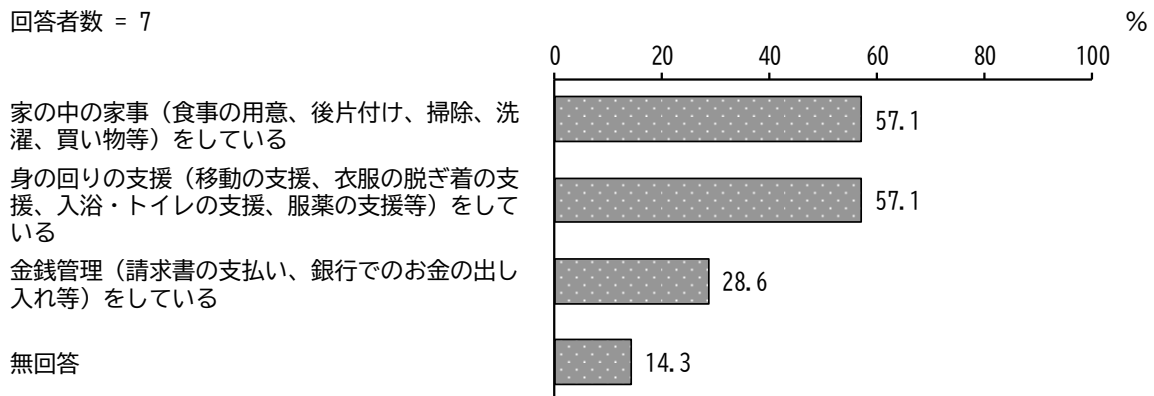


問 18 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている 18 歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている 18 歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている」、「身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている」が 4 件となっています。「金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている」が 2 件となっています。

回答者数 = 7



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている	身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている	金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている	無回答
全体	7	57.1	57.1	28.6	14.3
18歳未満	4	50.0	50.0	—	25.0
18～39歳	—	—	—	—	—
40～64歳	—	—	—	—	—
65歳以上	3	66.7	66.7	66.7	—

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。



【障がい種別】

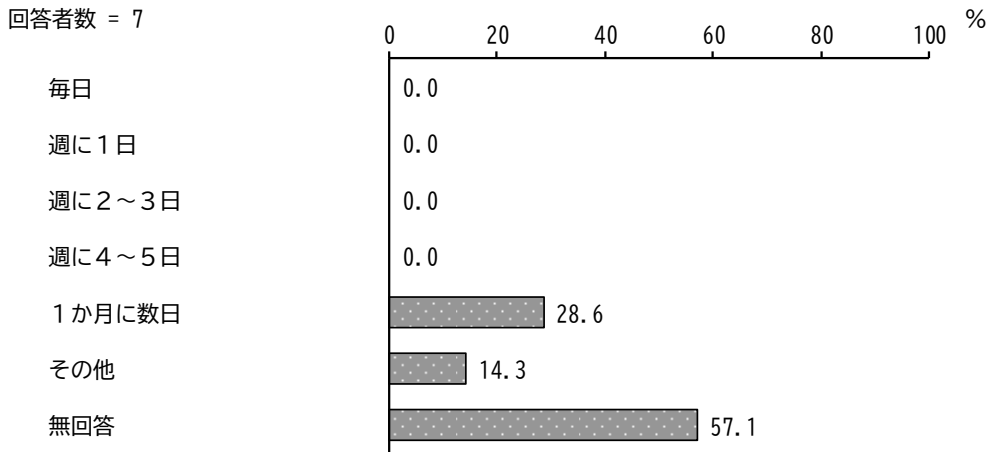
障がい種別ごとにみると、身体障害者手帳や愛の手帳で「家の中の家事（食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等）をしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家の中の家事（食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等）をしている	身の回りの支援（移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等）をしている	金銭管理（請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等）をしている	無回答
全 体	7	57.1	57.1	28.6	14.3
身体障害者手帳	6	66.7	50.0	33.3	16.7
愛の手帳	2	100.0	50.0	—	—
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—
難病	—	—	—	—	—
該当なし	1	—	100.0	—	—

問 19 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「1 か月に数日」が 2 件となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	毎日	週に1日	週に2~3日	週に4~5日	1か月に数日	その他	無回答
全 体	7	—	—	—	—	28.6	14.3	57.1
18 歳未満	4	—	—	—	—	50.0	25.0	25.0
18~39 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
40~64 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
65 歳以上	3	—	—	—	—	—	—	100.0

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

【障がい種別】

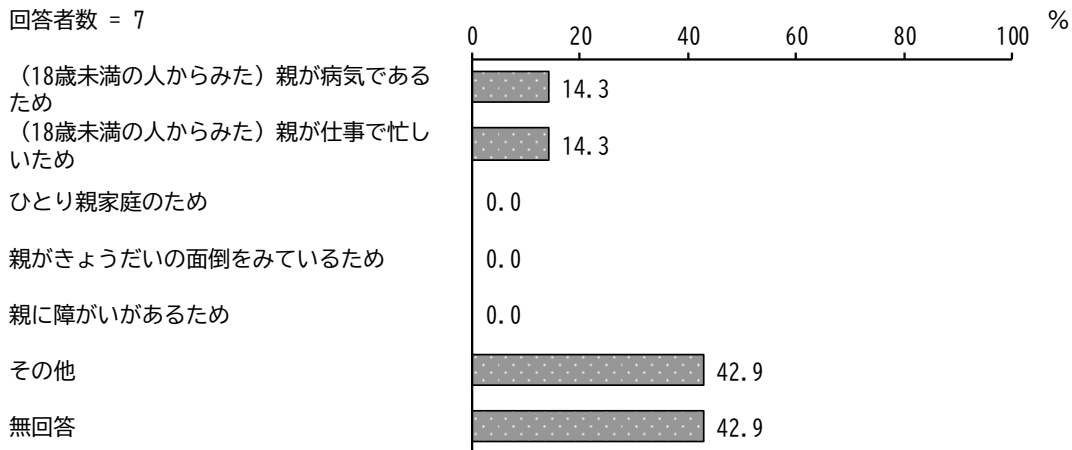
障がい種別ごとにみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	毎日	週に1日	週に2～3日	週に4～5日	1か月に数日	その他	無回答
全 体	7	—	—	—	—	28.6	14.3	57.1
身体障害者手帳	6	—	—	—	—	33.3	—	66.7
愛の手帳	2	—	—	—	—	50.0	—	50.0
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	—	—	—
難病	—	—	—	—	—	—	—	—
該当なし	1	—	—	—	—	—	100.0	—

問 20 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「(18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため」、「(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため」が 1 件となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	(18歳未満の人からみた) 親が病気であるため	(18歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため	ひとり親家庭のため	親がきょうだいの面倒をみているため	親に障がいがあるため	その他	無回答
全体	7	14.3	14.3	-	-	-	42.9	42.9
18歳未満	4	25.0	25.0	-	-	-	75.0	-
18～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-
40～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-
65歳以上	3	-	-	-	-	-	-	100.0

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

【障がい種別】

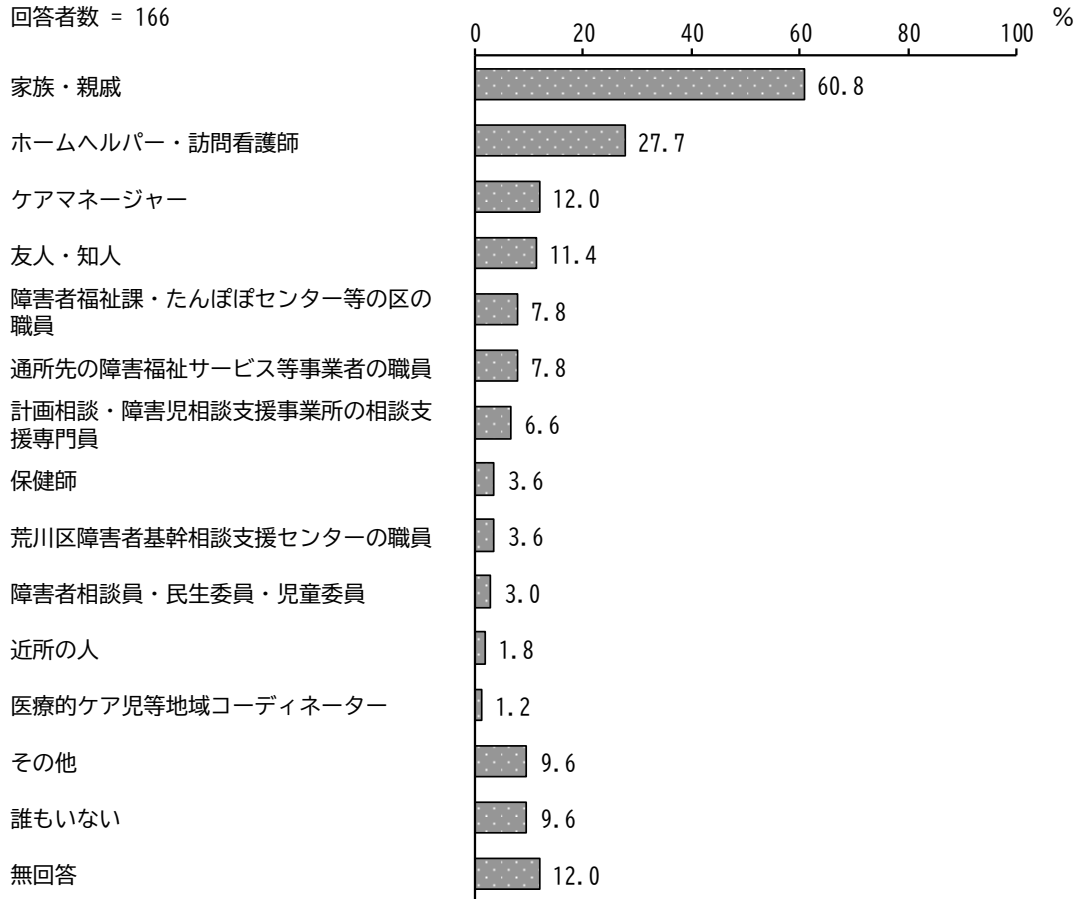
障がい種別ごとにみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	（18歳未満の人からみた） 親が病気であるため	（18歳未満の人からみた） 親が仕事で忙しいため	ひとり親家庭のため	親がきょうだいの面倒をみているため	親に障がいがあるため	その他	無回答
全 体	7	14.3	14.3	—	—	—	42.9	42.9
身体障害者手帳	6	16.7	16.7	—	—	—	33.3	50.0
愛の手帳	2	50.0	50.0	—	—	—	50.0	—
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	—	—	—
難病	—	—	—	—	—	—	—	—
該当なし	1	—	—	—	—	—	100.0	—

問 21 あなたが日常のことや困ったことを相談している人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「ホームヘルパー・訪問看護師」の割合が 27.7%、「ケアマネージャー」の割合が 12.0%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「ホームヘルパー・訪問看護師」「友人・知人」の割合が、18～39歳で「ホームヘルパー・訪問看護師」「通所先の障害福祉サービス等事業者の職員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親戚	師 ホームヘルパー・訪問看護	ケアマネジャー	友人・知人	障害者福祉課・たんぼぼセンター等の区の職員	通所先の障害福祉サービス等事業者の職員	計画相談・障害児相談支援事業所の相談支援専門員	保健師	荒川区障害者基幹相談支援センターの職員	障害者相談員・民生委員・児童委員	近所の人	医療的ケア児等地域コーディネーター	その他	誰もいない	無回答
全体	166	60.8	27.7	12.0	11.4	7.8	7.8	6.6	3.6	3.6	3.0	1.8	1.2	9.6	9.6	12.0
18歳未満	18	61.1	55.6	—	27.8	22.2	11.1	27.8	22.2	16.7	5.6	—	11.1	16.7	11.1	—
18～39歳	17	58.8	47.1	—	—	29.4	41.2	11.8	—	11.8	—	—	—	11.8	5.9	5.9
40～64歳	26	57.7	30.8	11.5	7.7	3.8	15.4	3.8	3.8	—	11.5	—	—	19.2	11.5	7.7
65歳以上	99	64.6	18.2	16.2	12.1	3.0	—	2.0	1.0	1.0	1.0	3.0	—	5.1	10.1	14.1

【障がい種別】

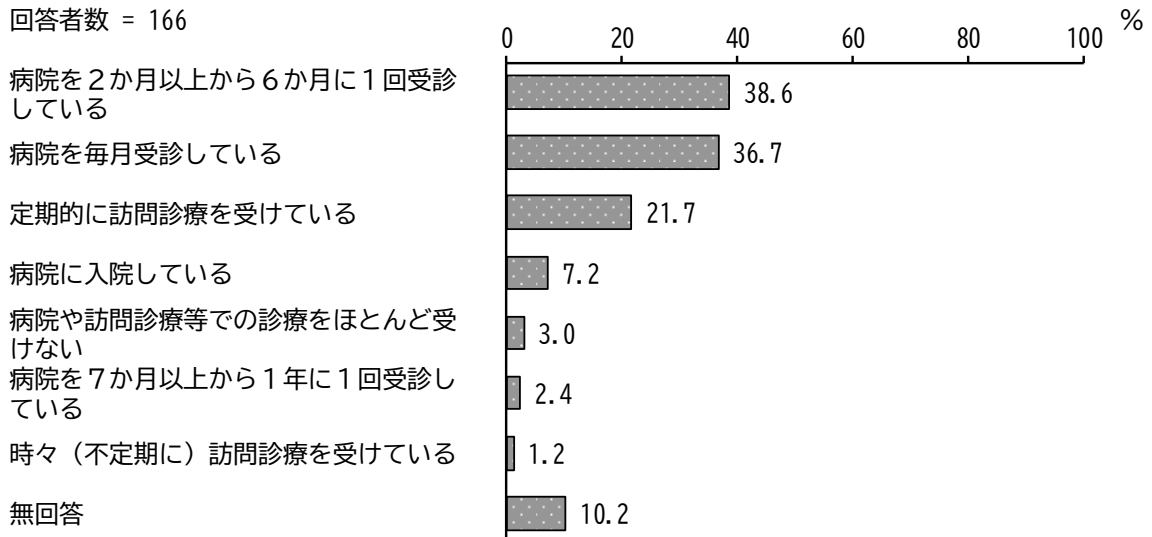
障がい種別ごとにみると、他に比べ、愛の手帳で「ホームヘルパー・訪問看護師」「通所先の障害福祉サービス等事業者の職員」の割合が、難病で「ホームヘルパー・訪問看護師」「家族・親戚」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親戚	師 ホームヘルパー・訪問看護	ケアマネジャー	友人・知人	障害者福祉課・たんぼぼセンター等の区の職員	通所先の障害福祉サービス等事業者の職員	計画相談・障害児相談支援事業所の相談支援専門員	保健師	荒川区障害者基幹相談支援センターの職員	障害者相談員・民生委員・児童委員	近所の人	医療的ケア児等地域コーディネーター	その他	誰もいない	無回答
全体	166	60.8	27.7	12.0	11.4	7.8	7.8	6.6	3.6	3.6	3.0	1.8	1.2	9.6	9.6	12.0
身体障害者手帳	157	61.8	28.0	12.1	11.5	8.3	8.3	6.4	3.2	3.8	2.5	1.9	1.3	9.6	9.6	10.2
愛の手帳	45	55.6	42.2	6.7	11.1	17.8	24.4	20.0	6.7	8.9	4.4	—	4.4	22.2	11.1	6.7
精神障害者保健福祉手帳	1	100.0	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
難病	16	68.8	37.5	—	12.5	6.3	6.3	—	6.3	6.3	6.3	—	—	31.3	—	—
該当なし	3	66.7	33.3	—	33.3	—	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—	—	—	33.3

問 22 あなたは、病院への通院や訪問診療をどのくらい行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「病院を2か月以上から6か月に1回受診している」の割合が38.6%と最も高く、次いで「病院を毎月受診している」の割合が36.7%、「定期的に訪問診療を受けている」の割合が21.7%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「定期的に訪問診療を受けている」「病院を2か月以上から6か月に1回受診している」の割合が、18～39歳で「病院を毎月受診している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	病院を2か月以上から6か月に1回受診している	病院を毎月受診している	定期的に訪問診療を受けている	病院に入院している	病院や訪問診療等での診療をほとんど受けない	病院を7か月以上から1年に1回受診している	時々(不定期に)訪問診療を受けている	無回答
全体	166	38.6	36.7	21.7	7.2	3.0	2.4	1.2	10.2
18歳未満	18	50.0	44.4	61.1	5.6	—	—	—	—
18～39歳	17	35.3	47.1	5.9	5.9	5.9	—	5.9	5.9
40～64歳	26	42.3	23.1	26.9	3.8	3.8	—	3.8	7.7
65歳以上	99	38.4	38.4	14.1	9.1	3.0	4.0	—	11.1



【障がい種別】

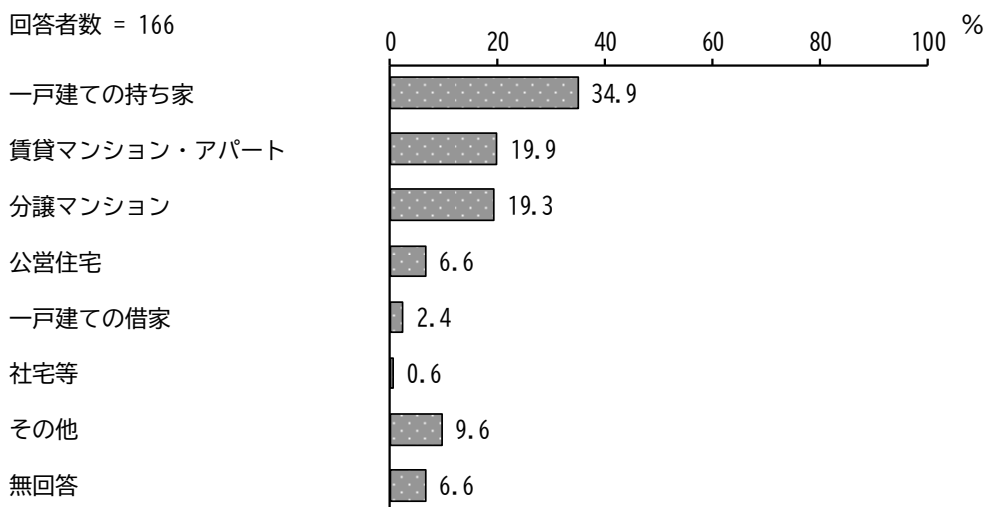
障がい種別ごとにみると、身体障害者手帳や愛の手帳で「病院を2か月以上から6か月に1回受診している」が、難病で「定期的に訪問診療を受けている」「病院を毎月受診している」「病院を2か月以上から6か月に1回受診している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	病院を2か月以上から6か月に1回受診している	病院を毎月受診している	定期的に訪問診療を受けている	病院に入院している	病院や訪問診療等での診療をほとんど受けない	病院を7か月以上から1年に1回受診している	時々(不定期に)訪問診療を受けている	無回答
全 体	166	38.6	36.7	21.7	7.2	3.0	2.4	1.2	10.2
身体障害者手帳	157	40.1	37.6	21.0	7.0	2.5	2.5	1.3	8.9
愛の手帳	45	40.0	35.6	26.7	13.3	2.2	2.2	4.4	4.4
精神障害者保健福祉手帳	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—
難病	16	43.8	43.8	37.5	6.3	—	—	—	—
該当なし	3	33.3	33.3	66.7	33.3	—	—	—	—

問 23 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(〇は1つ)

「一戸建ての持ち家」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート」の割合が 19.9%、「分譲マンション」の割合が 19.3%となっています。



【障がい種別】

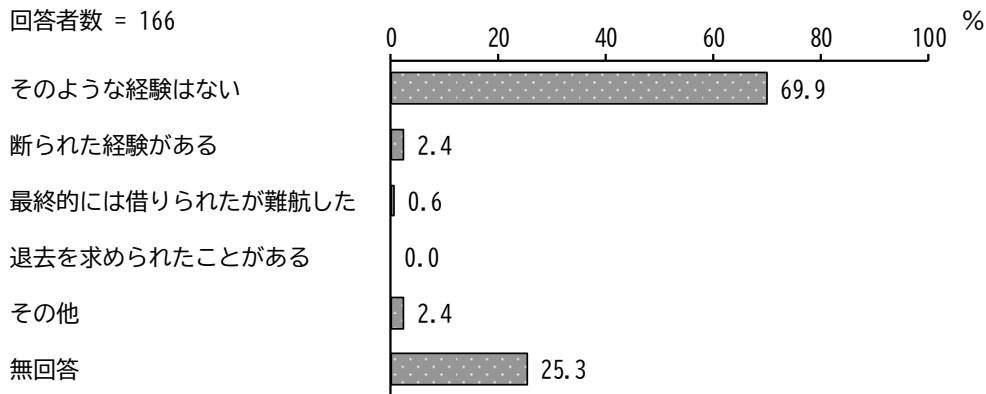
障がい種別ごとにみると、身体障害者手帳で「一戸建ての持ち家」が、愛の手帳で「一戸建ての持ち家」「賃貸マンション・アパート」が、難病で「分譲マンション」「賃貸マンション・アパート」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	一戸建ての持ち家	賃貸マンション・アパート	分譲マンション	公営住宅	一戸建ての借家	社宅等	その他	無回答
全体	166	34.9	19.9	19.3	6.6	2.4	0.6	9.6	6.6
身体障害者手帳	157	35.7	20.4	18.5	7.0	2.5	0.6	10.2	5.1
愛の手帳	45	22.2	22.2	11.1	11.1	8.9	—	20.0	4.4
精神障害者保健福祉手帳	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—
難病	16	31.3	25.0	31.3	12.5	—	—	—	—
該当なし	3	33.3	—	66.7	—	—	—	—	—

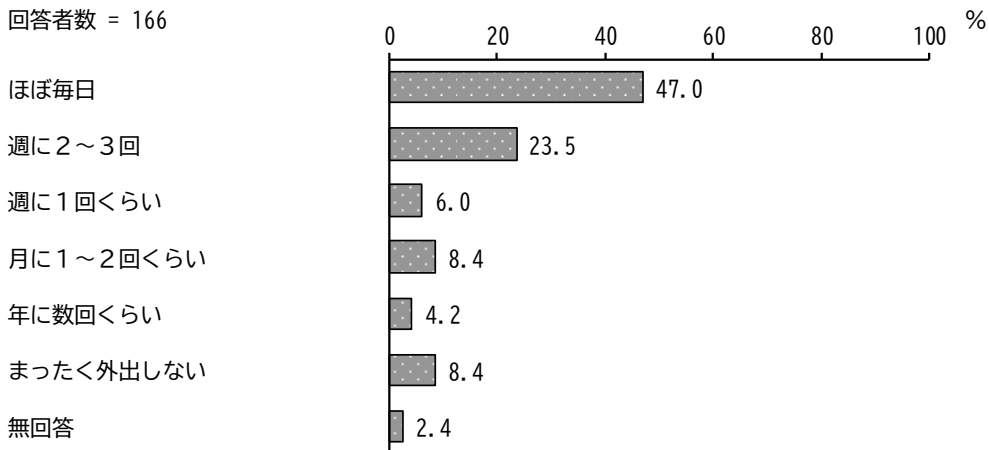
問 24 あなた、またはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいを理由に断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「そのような経験はない」の割合が 69.9%と最も高くなっています。



問 25 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出) (○は1つ)

「ほぼ毎日」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が 23.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、すべての年齢で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回くらい	年に数回くらい	まったく外出しない	無回答
全体	166	47.0	23.5	6.0	8.4	4.2	8.4	2.4
18歳未満	18	50.0	16.7	11.1	11.1	—	5.6	5.6
18～39歳	17	58.8	11.8	—	5.9	11.8	11.8	—
40～64歳	26	50.0	26.9	3.8	3.8	7.7	3.8	3.8
65歳以上	99	43.4	25.3	6.1	10.1	3.0	10.1	2.0

【障がい種別】

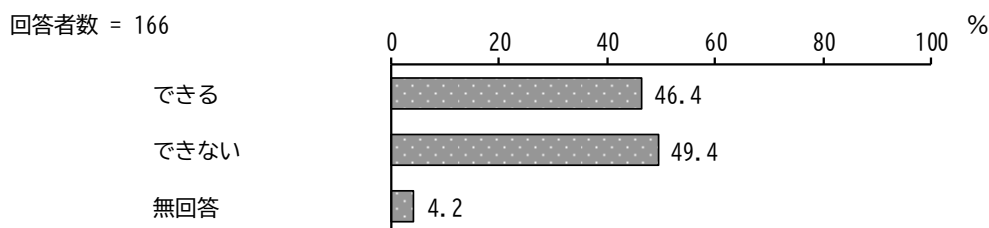
障がい種別ごとにみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回くらい	年に数回くらい	まったく外出しない	無回答
全体	166	47.0	23.5	6.0	8.4	4.2	8.4	2.4
身体障害者手帳	157	47.8	23.6	5.7	8.3	4.5	8.3	1.9
愛の手帳	45	44.4	26.7	4.4	8.9	6.7	6.7	2.2
精神障害者保健福祉手帳	1	100.0	—	—	—	—	—	—
難病	16	50.0	25.0	6.3	6.3	—	12.5	—
該当なし	3	—	33.3	—	—	—	33.3	33.3

問 26 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。

「できる」の割合が46.4%、「できない」の割合が49.4%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満や18～39歳で「できない」の割合が、65歳以上で「できる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できる	できない	無回答
全 体	166	46.4	49.4	4.2
18歳未満	18	—	100.0	—
18～39歳	17	5.9	94.1	—
40～64歳	26	42.3	57.7	—
65歳以上	99	62.6	31.3	6.1

【障がい種別】

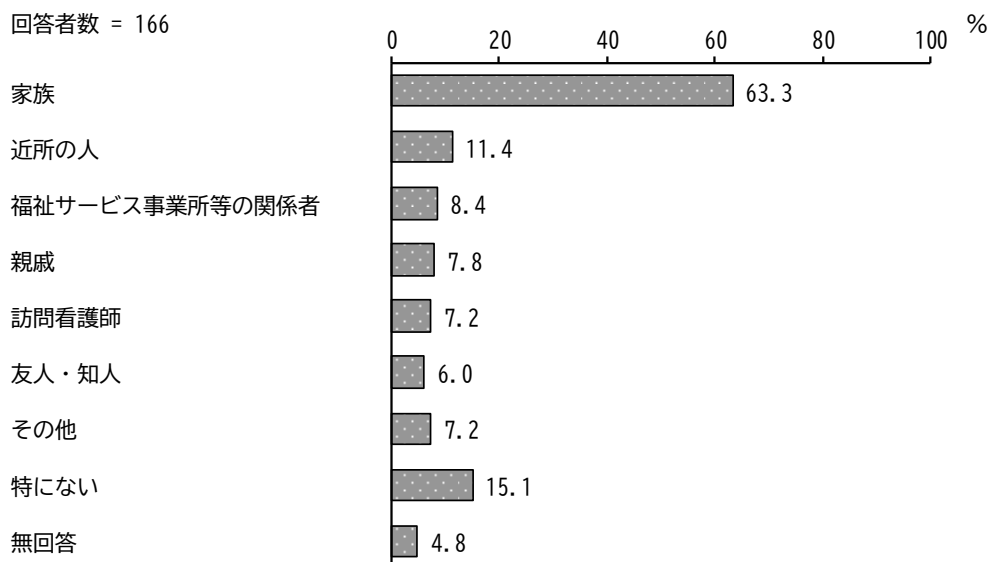
障がい種別ごとにみると、愛の手帳や難病で「できない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できる	できない	無回答
全 体	166	46.4	49.4	4.2
身体障害者手帳	157	46.5	49.7	3.8
愛の手帳	45	15.6	84.4	—
精神障害者保健福祉手帳	1	100.0	—	—
難病	16	6.3	93.8	—
該当なし	3	—	100.0	—

問 27 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族」の割合が63.3%と最も高く、次いで「特にない」の割合が15.1%、「近所の人」の割合が11.4%となっています。



【障がい種別】

障がい種別ごとにみると、他に比べ、愛の手帳で「福祉サービス事業所等の関係者」が、難病で「家族」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族	近所の人	福祉サービス事業所等の関係者	親戚	訪問看護師	友人・知人	その他	特にない	無回答
全 体	166	63.3	11.4	8.4	7.8	7.2	6.0	7.2	15.1	4.8
身体障害者手帳	157	63.1	10.8	8.3	8.3	7.6	5.7	7.6	14.6	4.5
愛の手帳	45	66.7	4.4	15.6	4.4	8.9	—	15.6	4.4	6.7
精神障害者保健福祉手帳	1	100.0	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—
難病	16	75.0	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	—	12.5	—
該当なし	3	66.7	—	—	—	—	—	—	—	33.3

【避難の可否別】

避難の可否別にみると、他に比べ、できるで「近所の人」が、できないで「福祉サービス事業所等の関係者」の割合が高くなっています。

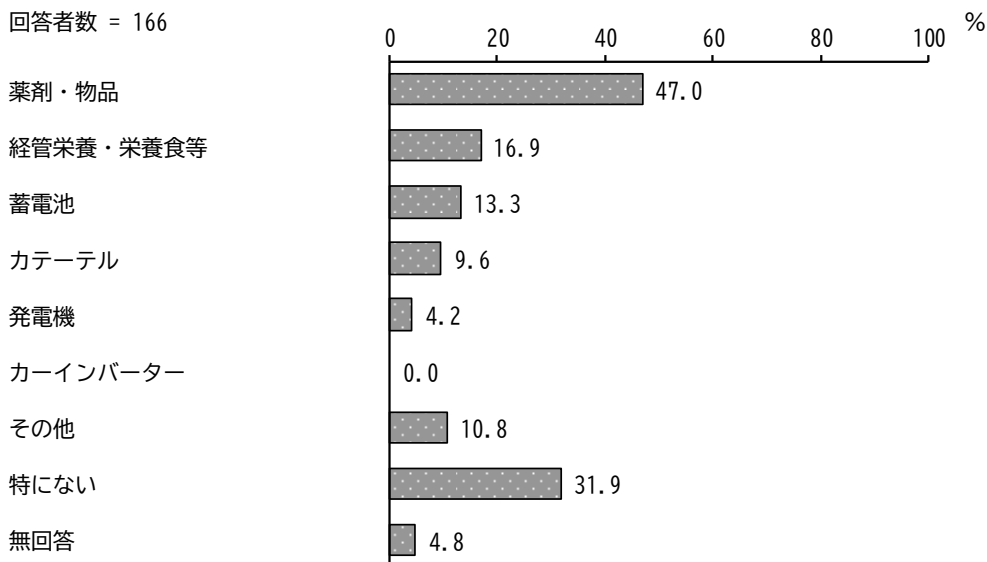
単位：％

区分	回答者数 (件)	家族	近所の人	福祉サービス事業 所等の関係者	親戚	訪問看護師	友人・知人	その他	特にない	無回答
全 体	166	63.3	11.4	8.4	7.8	7.2	6.0	7.2	15.1	4.8
できる	77	61.0	16.9	2.6	9.1	2.6	10.4	1.3	24.7	7.8
できない	82	67.1	6.1	13.4	7.3	12.2	1.2	12.2	3.7	2.4

問 28 あなたは、地震・火災等の災害時に備えて保有している医療機器等の予備はありますか。(〇はいくつでも)

「薬剤・物品」の割合が47.0%と最も高く、次いで「特にない」の割合が31.9%、「経管栄養・栄養食等」の割合が16.9%となっています。

回答者数 = 166





【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「経管栄養・栄養食等」「薬剤・物品」「蓄電池」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	薬剤・物品	経管栄養・栄養食等	蓄電池	カテーテル	発電機	カーインバーター	その他	特にない	無回答
全体	166	47.0	16.9	13.3	9.6	4.2	－	10.8	31.9	4.8
18歳未満	18	88.9	72.2	38.9	38.9	5.6	－	5.6	5.6	－
18～39歳	17	47.1	35.3	－	23.5	－	－	－	29.4	5.9
40～64歳	26	30.8	15.4	11.5	7.7	3.8	－	7.7	42.3	3.8
65歳以上	99	44.4	4.0	10.1	3.0	4.0	－	14.1	34.3	5.1

【障がい種別】

障がい種別ごとにみると、身体障害者手帳や愛の手帳、難病で「薬剤・物品」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	薬剤・物品	経管栄養・栄養食等	蓄電池	カテーテル	発電機	カーインバーター	その他	特にない	無回答
全体	166	47.0	16.9	13.3	9.6	4.2	－	10.8	31.9	4.8
身体障害者手帳	157	47.8	15.9	13.4	10.2	3.8	－	10.8	31.8	4.5
愛の手帳	45	53.3	33.3	11.1	15.6	－	－	11.1	26.7	6.7
精神障害者保健福祉手帳	1	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
難病	16	68.8	37.5	31.3	18.8	12.5	－	6.3	25.0	－
該当なし	3	－	33.3	－	－	－	－	－	66.7	－

問 29 障害福祉サービス、施設等の利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

- 『23 日常生活用具の給付』で「現在利用している」の割合が高くなっています。
- 『5 短期入所（ショートステイ）』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。
- 『19 デイサービス』で「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。
- 『31 寝具乾燥消毒』で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用 している	利用 した こと がある	知 っ て い る が 利 用 し て い な い	知 ら な い	無 回 答
1 居宅介護（ホームヘルプ）	166	21.1	3.6	40.4	13.9	21.1
2 重度訪問介護	166	6.6	-	35.5	30.1	27.7
3 同行援護	166	4.8	3.0	30.7	32.5	28.9
4 行動援護	166	3.6	0.6	27.7	37.3	30.7
5 短期入所（ショートステイ）	166	6.6	10.2	39.8	18.7	24.7
6 療養介護	166	5.4	0.6	34.3	31.9	27.7
7 生活介護	166	9.0	0.6	36.7	27.1	26.5
8 施設入所支援	166	3.0	1.2	38.0	29.5	28.3
9 グループホーム（共同生活援助）	166	3.6	-	45.2	24.7	26.5
10 地域移行支援 （入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援）	166	-	0.6	27.7	42.8	28.9
11 地域定着支援 （地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	166	2.4	-	25.9	44.0	27.7
12 児童発達支援	166	4.2	3.0	20.5	41.0	31.3
13 医療型児童発達支援	166	2.4	1.2	21.7	43.4	31.3
14 放課後等デイサービス	166	4.8	1.2	25.3	35.5	33.1
15 保育所等訪問支援	166	-	-	21.7	44.6	33.7
16 居宅訪問型児童発達支援	166	3.0	0.6	20.5	43.4	32.5
17 障害児入所施設（福祉型・医療型）	166	1.8	1.2	26.5	39.2	31.3
18 計画相談支援・障害児相談支援	166	14.5	1.2	17.5	35.5	31.3
19 デイサービス	166	1.8	3.0	53.0	13.9	28.3
20 緊急一時保護	166	0.6	3.6	28.9	38.6	28.3

(次のページへ)

単位：％

区分	回答者数(件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
21 日中一時支援サービス	166	0.6	1.2	30.1	39.8	28.3
22 巡回入浴サービス・施設入浴	166	5.4	1.8	44.6	19.3	28.9
23 日常生活用具の給付	166	30.7	6.6	21.1	17.5	24.1
24 補装具の交付・修理	166	22.3	6.6	21.7	22.9	26.5
25 福祉タクシー券の支給	166	20.5	3.6	31.9	21.7	22.3
26 リフト付自動車利用助成	166	3.6	1.2	31.3	36.1	27.7
27 自動車燃料費の助成	166	5.4	3.0	27.7	38.0	25.9
28 住宅設備改善の助成	166	-	6.6	33.7	31.3	28.3
29 紙おむつ等の給付	166	23.5	3.0	30.7	19.9	22.9
30 留守番看護師の派遣	166	7.2	0.6	20.5	44.6	27.1
31 寝具乾燥消毒	166	0.6	-	18.7	52.4	28.3
32 理美容サービス	166	4.8	1.2	22.9	44.0	27.1
33 配食サービス	166	1.2	0.6	25.9	44.0	28.3
34 避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	166	7.8	1.8	18.1	44.6	27.7
35 緊急通報システムの設置	166	3.0	-	23.5	45.2	28.3
36 補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)利用	166	-	-	36.1	34.3	29.5
37 成年後見人制度	166	2.4	-	36.1	33.7	27.7
38 地域福祉権利擁護事業(あんしんサポート)	166	1.2	-	25.3	45.8	27.7
39 コミュニティバス乗車券支給	166	4.2	3.6	24.1	38.6	29.5
40 医療的ケア児等家庭家事サポート事業	166	2.4	1.2	19.3	48.2	28.9
41 医療的ケア児等地域コーディネーター	166	2.4	1.2	17.5	50.0	28.9

(前ページの表 続き)

【障がい種別】（「現在利用している」と「利用したことがある」を合わせた表）

障がい種別ごとにみると、他に比べ、難病で「計画相談支援・障害児相談支援」の割合が、愛の手帳で「短期入所（ショートステイ）」「紙おむつ等の給付」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	短期入所 (ショートステイ)	療養介護	生活介護	施設入所支援
身体障害者手帳	157	26.1	7.0	8.3	4.5	17.8	5.7	10.2	4.5
愛の手帳	45	40.0	11.1	13.3	6.7	51.1	15.6	31.1	6.7
精神障害者保健福祉手帳	1	—	—	—	—	—	—	—	—
難病	16	50.0	12.5	12.5	6.3	31.3	6.3	—	12.5
該当なし	3	—	—	—	—	—	33.3	—	—

区分	グループホーム (共同生活援助)	地域移行支援 (入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援)	地域定着支援 (地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援	障害児入所施設 (福祉型・医療型)
身体障害者手帳	3.8	0.6	2.5	7.0	3.2	6.4	—	3.8	3.2
愛の手帳	11.1	—	4.4	20.0	13.3	17.8	—	8.9	11.1
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	—	—	—	—
難病	—	6.3	—	43.8	12.5	31.3	—	12.5	12.5
該当なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(次のページへ)

単位：%

区分	計画相談支援・障害児相談支援	デイサービス	緊急一時保護	日中一時支援サービス	巡回入浴サービス・施設入浴	日常生活用具の給付	補装具の交付・修理	福祉タクシー券の支給	リフト付自動車利用助成
身体障害者手帳	15.9	5.1	4.5	1.9	7.6	38.9	29.9	25.5	5.1
愛の手帳	37.8	—	11.1	2.2	15.6	51.1	48.9	48.9	17.8
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—
難病	62.5	12.5	—	6.3	6.3	50.0	50.0	43.8	6.3
該当なし	—	—	—	—	—	33.3	33.3	—	—

区分	自動車燃料費の助成	住宅設備改善の助成	紙おむつ等の給付	留守番看護師の派遣	寝具乾燥消毒	理美容サービス	配食サービス	避難行動要支援者登録事業（避難行動要支援者個別支援計画等）	緊急通報システムの設置
身体障害者手帳	8.9	6.4	27.4	8.3	0.6	6.4	1.9	9.6	3.2
愛の手帳	15.6	15.6	53.3	20.0	2.2	13.3	2.2	17.8	2.2
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	—	—	—	—
難病	18.8	6.3	50.0	37.5	—	6.3	—	37.5	6.3
該当なし	—	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—

区分	補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）利用	成年後見人制度	地域福祉権利擁護事業（あんしんサポート）	コミュニケーションバス乗車券支給	医療的ケア児等家庭家事サポート事業	医療的ケア児等地域コ－ディネーター
身体障害者手帳	—	2.5	1.3	7.0	3.2	3.2
愛の手帳	—	8.9	—	15.6	6.7	6.7
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	—
難病	—	—	—	12.5	12.5	6.3
該当なし	—	—	—	—	33.3	33.3

(前ページの表 続き)

問 30 施設の利用状況について、お伺いします。それぞれの項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

『7 荒川区保健所』で「利用したことがある」「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用した ことがある	知っ ているが 利用して いない	知ら ない	無 回答
1 アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	166	8.4	4.8	27.7	37.3	21.7
2 たんぽぽセンターの療育訓練	166	-	5.4	25.9	43.4	25.3
3 荒川福祉作業所、荒川生活実習所	166	3.0	-	29.5	44.6	22.9
4 希望の家（本所・分所）	166	7.8	-	21.7	48.2	22.3
5 じょぶあらかわ（障害者就労支援センター）	166	-	1.2	22.9	51.2	24.7
6 荒川区障害者基幹相談支援センター	166	1.2	2.4	18.1	50.0	28.3
7 荒川区保健所	166	4.8	19.9	38.0	11.4	25.9
8 東京都心身障害者福祉センター	166	0.6	7.2	24.1	42.8	25.3
9 東京都障害者総合スポーツセンター	166	0.6	6.0	23.5	46.4	23.5
10 東京都障害者休養ホーム	166	-	3.0	15.1	56.6	25.3
11 荒川区子ども家庭総合支援センター	166	0.6	2.4	15.7	53.6	27.7

【障がい種別】（「現在利用している」と「利用したことがある」を合わせた表）

障がい種別ごとにみると、他に比べ、難病で「荒川区保健所」の割合が、愛の手帳で「アクロスあらかわ（障害者福社会館）」「荒川区保健所」の割合が高くなっています。

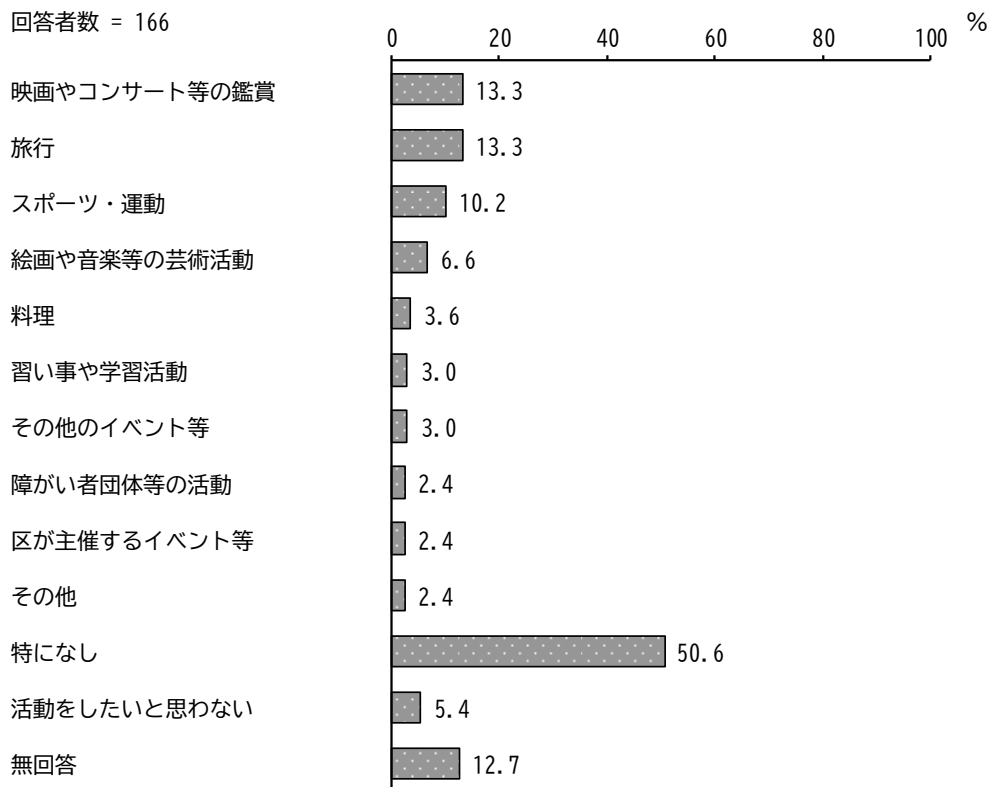
単位：％

区分	回答者数 (件)	アクロスあらかわ (障害者福社会館)	たんぼぼセンターの 療育訓練	荒川福祉作業所、荒川 生活実習所	希望の家(本所・分所)	じよぶあらかわ(障害 者就労支援センター)
身体障害者手帳	157	12.7	4.5	3.2	8.3	1.3
愛の手帳	45	35.6	17.8	6.7	26.7	2.2
精神障害者保健福祉手帳	1	—	—	—	—	—
難病	16	25.0	25.0	—	—	—
該当なし	3	33.3	—	—	—	—

区分	荒川区障害者基幹相 談支援センター	荒川区保健所	東京都心身障害者福 祉センター	東京都障害者総合ス ポーツセンター	東京都障害者休養ホ ーム	荒川区子ども家庭総 合支援センター
身体障害者手帳	3.8	24.8	8.3	7.0	3.2	2.5
愛の手帳	6.7	46.7	20.0	22.2	11.1	11.1
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	—
難病	6.3	62.5	6.3	6.3	6.3	12.5
該当なし	—	33.3	—	—	—	—

問 31 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「特になし」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「映画やコンサート等の鑑賞」「旅行」の割合が 13.3%、「スポーツ・運動」の割合が 10.2%となっています。





【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満、40～64歳で「旅行」の割合が、65歳以上で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	映画やコンサート等の鑑賞	旅行	スポーツ・運動	絵画や音楽等の芸術活動	料理	習い事や学習活動	その他のイベント等	障がい者団体等の活動	区が主催するイベント等	その他	特になし	活動をしたいと思わない	無回答
全体	166	13.3	13.3	10.2	6.6	3.6	3.0	3.0	2.4	2.4	2.4	50.6	5.4	12.7
18歳未満	18	16.7	22.2	5.6	5.6	—	5.6	11.1	—	—	—	33.3	—	16.7
18～39歳	17	17.6	17.6	17.6	17.6	11.8	5.9	—	11.8	—	5.9	41.2	5.9	11.8
40～64歳	26	19.2	26.9	7.7	11.5	3.8	3.8	3.8	3.8	—	7.7	38.5	3.8	19.2
65歳以上	99	11.1	8.1	10.1	4.0	3.0	2.0	2.0	1.0	4.0	—	59.6	7.1	8.1

【障がい種別】

障がい種別ごとにみると、他に比べ、難病で「旅行」「スポーツ・運動」「映画やコンサート等の鑑賞」「絵画や音楽等の芸術活動」の割合が高くなっています。

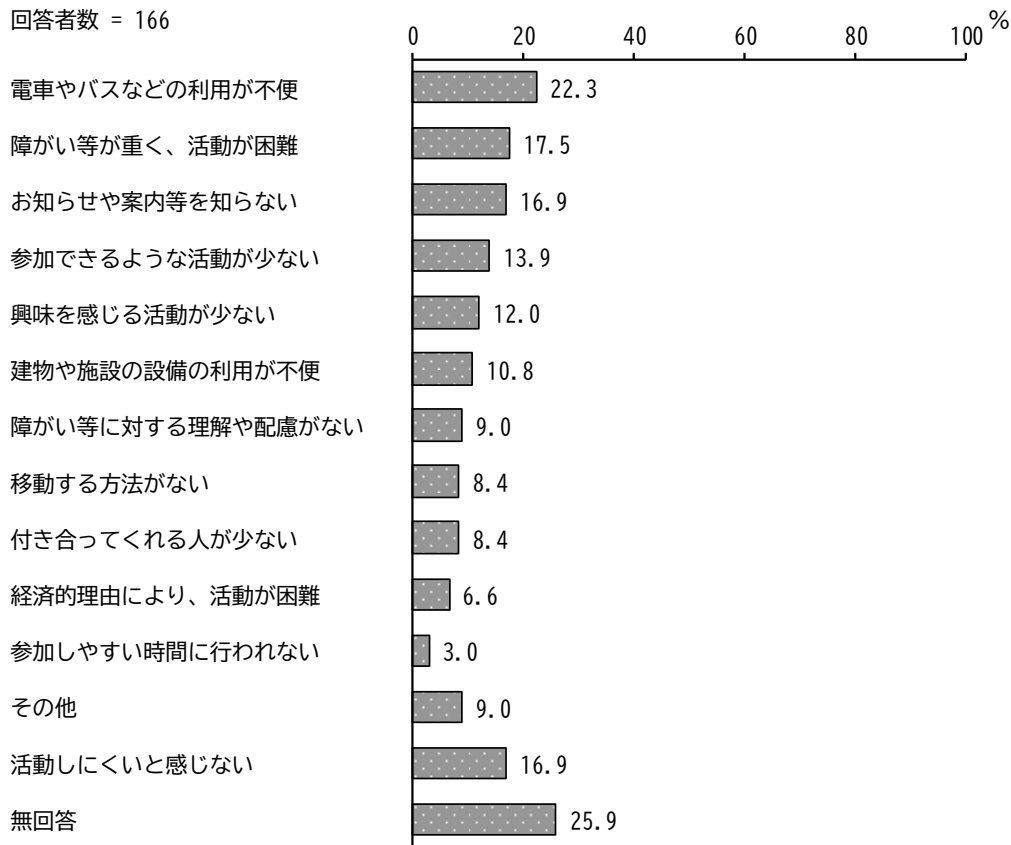
身体障害者手帳や愛の手帳で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	映画やコンサート等の鑑賞	旅行	スポーツ・運動	絵画や音楽等の芸術活動	料理	習い事や学習活動	その他のイベント等	障がい者団体等の活動	区が主催するイベント等	その他	特になし	活動をしたいと思わない	無回答
全体	166	13.3	13.3	10.2	6.6	3.6	3.0	3.0	2.4	2.4	2.4	50.6	5.4	12.7
身体障害者手帳	157	14.0	14.0	9.6	7.0	3.8	3.2	3.2	2.5	2.5	1.9	51.6	5.1	11.5
愛の手帳	45	15.6	13.3	4.4	8.9	—	—	4.4	6.7	—	4.4	46.7	2.2	15.6
精神障害者保健福祉手帳	1	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
難病	16	18.8	31.3	18.8	18.8	12.5	12.5	12.5	—	—	—	31.3	12.5	—
該当なし	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.7	—	33.3

問 32 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

「電車やバスなどの利用が不便」の割合が 22.3%と最も高く、次いで「障がい等が重く、活動が困難」の割合が 17.5%、「お知らせや案内等を知らない」、「活動しにくいと感じない」の割合が 16.9%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「障がい等が重く、活動が困難」「建物や施設の設備の利用が不便」の割合が、18～39歳で「電車やバスなどの利用が不便」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	電車やバスなどの利用が不便	障がい等が重く、活動が困難	お知らせや案内等を知らない	参加できるような活動が少ない	興味を感じる活動が少ない	建物や施設の設備の利用が不便	障がい等に対する理解や配慮がない
全体	166	22.3	17.5	16.9	13.9	12.0	10.8	9.0
18歳未満	18	55.6	55.6	33.3	33.3	5.6	44.4	27.8
18～39歳	17	58.8	23.5	23.5	29.4	23.5	29.4	29.4
40～64歳	26	19.2	11.5	7.7	15.4	11.5	11.5	7.7
65歳以上	99	12.1	11.1	16.2	8.1	12.1	2.0	2.0

区分	移動する方法がない	付き合ってくれる人が少ない	経済的理由により、活動が困難	参加しやすい時間に行われない	その他	活動しにくいと感じない	無回答
全体	8.4	8.4	6.6	3.0	9.0	16.9	25.9
18歳未満	22.2	5.6	16.7	5.6	5.6	—	5.6
18～39歳	17.6	11.8	—	11.8	5.9	—	17.6
40～64歳	—	3.8	3.8	3.8	11.5	26.9	23.1
65歳以上	7.1	10.1	7.1	1.0	9.1	20.2	31.3

【障がい種別】

障がい種別ごとにみると、他に比べ、難病で「障がい等が重く、活動が困難」「電車やバスなどの利用が不便」「参加できるような活動が少ない」の割合が高くなっています。

身体障害者手帳で「活動しにくいと感じない」の割合が高くなっています。

単位：％

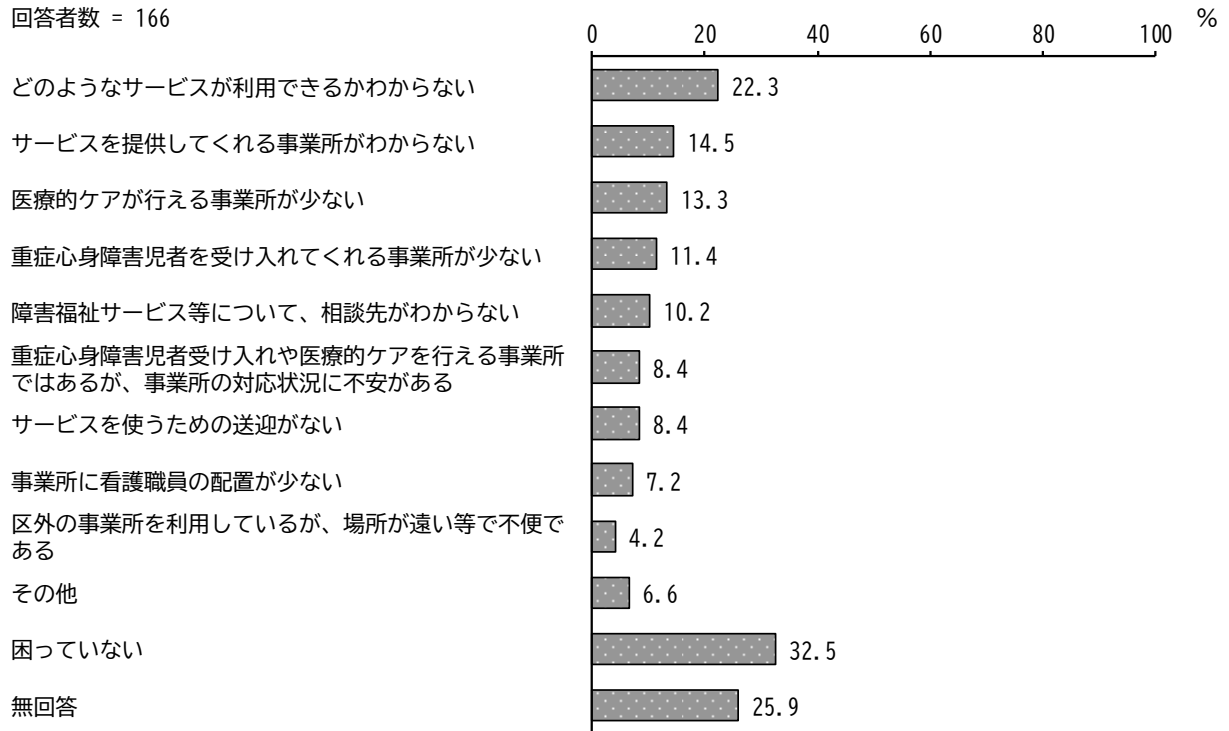
区分	回答者数(件)	電車やバスなどの利用が不便	障がい等が重く、活動が困難	お知らせや案内等を知らない	参加できるような活動が少ない	興味を感じる活動が少ない	建物や施設の利用が不便	障がい等に対する理解や配慮がない
全体	166	22.3	17.5	16.9	13.9	12.0	10.8	9.0
身体障害者手帳	157	22.9	17.2	16.6	13.4	12.1	11.5	8.9
愛の手帳	45	35.6	31.1	24.4	26.7	15.6	26.7	17.8
精神障害者保健福祉手帳	1	—	—	100.0	—	—	—	—
難病	16	43.8	43.8	25.0	31.3	6.3	18.8	25.0
該当なし	3	33.3	33.3	—	33.3	—	—	—

区分	移動する方法がない	付き合ってくれる人が少ない	経済的理由により、活動が困難	参加しやすい時間に行われない	その他	活動しにくいと感じない	無回答
全体	8.4	8.4	6.6	3.0	9.0	16.9	25.9
身体障害者手帳	8.9	8.9	7.0	3.2	9.6	17.2	26.1
愛の手帳	11.1	6.7	6.7	4.4	15.6	4.4	15.6
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	—	—
難病	25.0	12.5	12.5	6.3	12.5	—	6.3
該当なし	—	—	—	—	—	—	33.3

問 33 あなたは、障害福祉サービス等について、困っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「困っていない」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「どのようなサービスが利用できるかわからない」の割合が 22.3%、「サービスを提供してくれる事業所がわからない」の割合が 14.5%となっています。

回答者数 = 166



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「重症心身障害児者を受け入れてくれる事業所が少ない」「医療的ケアが行える事業所が少ない」「サービスを提供してくれる事業所がわからない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	どのようなサービスが利用できるかわからない	サービスを提供してくれる事業所がわからない	医療的ケアが行える事業所が少ない	重症心身障害児者を受け入れてくれる事業所が少ない	障害福祉サービス等について、相談先がわからない	重症心身障害児者受け入れや医療的ケアを行える事業所ではあるが、事業所の対応状況に不安がある
全体	166	22.3	14.5	13.3	11.4	10.2	8.4
18歳未満	18	33.3	44.4	55.6	61.1	27.8	38.9
18～39歳	17	29.4	29.4	23.5	35.3	11.8	11.8
40～64歳	26	15.4	11.5	11.5	3.8	—	11.5
65歳以上	99	21.2	7.1	5.1	1.0	9.1	2.0

区分	サービスを使うための送迎がない	事業所に看護職員の配置が少ない	区外の事業所を利用してはいるが、場所が遠い等で不便である	その他	困っていない	無回答
全体	8.4	7.2	4.2	6.6	32.5	25.9
18歳未満	27.8	27.8	16.7	5.6	—	5.6
18～39歳	11.8	17.6	11.8	11.8	5.9	23.5
40～64歳	7.7	11.5	3.8	7.7	30.8	30.8
65歳以上	5.1	1.0	1.0	6.1	44.4	27.3

【障がい種別】

障がい種別ごとにみると、身体障害者手帳で「困っていない」の割合が、愛の手帳で「医療的ケアが行える事業所が少ない」の割合が、難病で「サービスを提供してくれる事業所がわからない」「医療的ケアが行える事業所が少ない」「どのようなサービスが利用できるかわからない」の割合が高くなっています。

単位：％

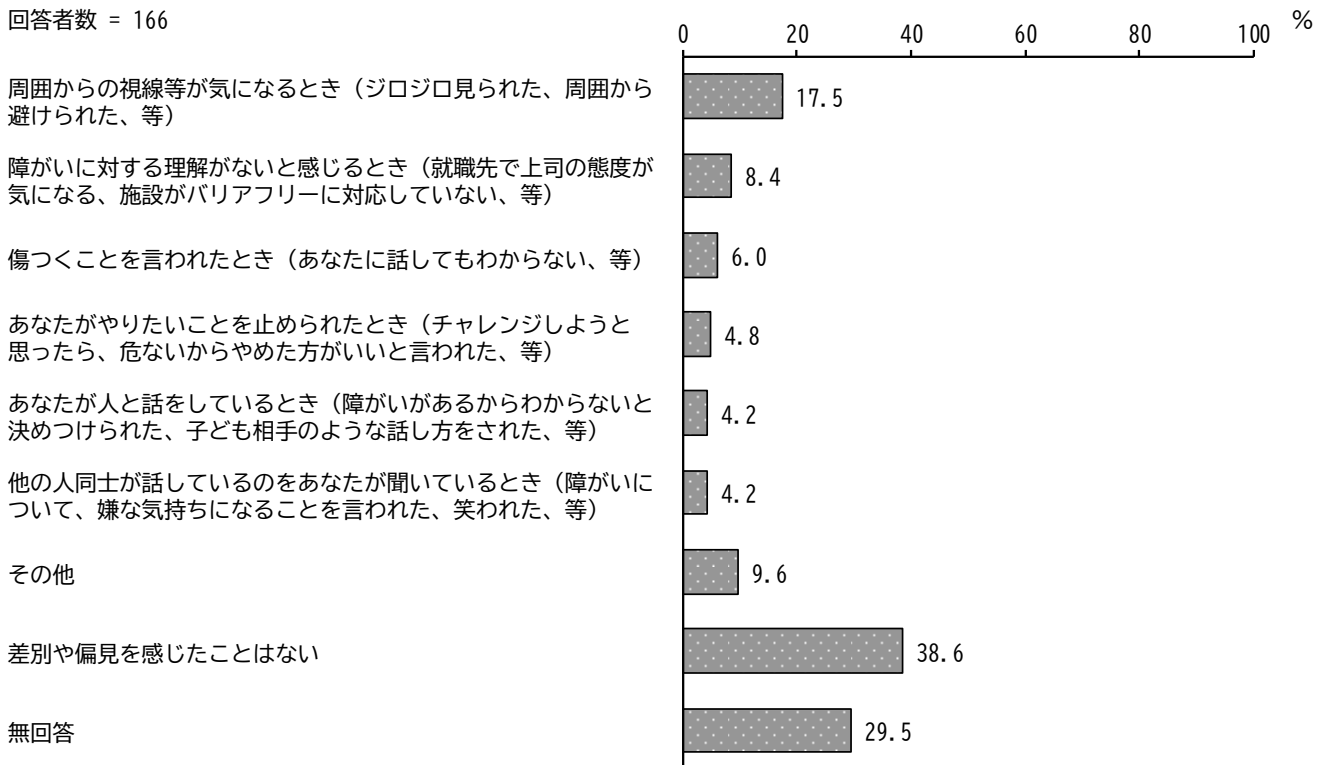
区分	回答者数(件)	どのようなサービスが利用できるかわからない	サービスを提供してくれる事業所がわからない	医療的ケアが行える事業所が少ない	重症心身障害児者を受け入れてくれる事業所が少ない	障害福祉サービス等について、相談先がわからない	重症心身障害児者受け入れや医療的ケアを行える事業所ではあるが、事業所の対応状況に不安がある
全 体	166	22.3	14.5	13.3	11.4	10.2	8.4
身体障害者手帳	157	22.9	14.0	14.0	12.1	10.2	8.9
愛の手帳	45	26.7	24.4	31.1	28.9	15.6	20.0
精神障害者保健福祉手帳	1	—	—	—	—	—	—
難病	16	50.0	50.0	43.8	37.5	12.5	25.0
該当なし	3	—	—	—	—	—	—

区分	サービスを使うための送迎がない	事業所に看護職員の配置が少ない	区外の事業所を利用しているが、場所が遠い等で不便である	その他	困っていない	無回答
全 体	8.4	7.2	4.2	6.6	32.5	25.9
身体障害者手帳	8.9	7.6	4.5	7.0	32.5	25.5
愛の手帳	15.6	20.0	11.1	8.9	13.3	15.6
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	100.0	—
難病	18.8	25.0	18.8	6.3	6.3	12.5
該当なし	—	—	—	—	66.7	33.3

問 34 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。）（〇はいくつでも）また差し支えなければ、〇をつけた内容について具体的に記入してください

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」の割合が 17.5%となっています。

回答者数 = 166





【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満や18～39歳で「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」の割合が、65歳以上で「差別や偏見を感じたことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）	障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等）	傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）	あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等）
全 体	166	17.5	8.4	6.0	4.8
18歳未満	18	72.2	44.4	27.8	11.1
18～39歳	17	41.2	17.6	17.6	17.6
40～64歳	26	11.5	7.7	3.8	—
65歳以上	99	5.1	1.0	1.0	3.0

区分	あなたが人と話をしてるとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）	他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）	その他	差別や偏見を感じたことはない	無回答
全 体	4.2	4.2	9.6	38.6	29.5
18歳未満	11.1	11.1	11.1	—	5.6
18～39歳	17.6	11.8	23.5	5.9	35.3
40～64歳	3.8	3.8	3.8	42.3	30.8
65歳以上	1.0	2.0	8.1	51.5	31.3

【障がい種別】

障がい種別ごとにみると、他に比べ、愛の手帳や難病で「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」の割合が高くなっています。

単位：％

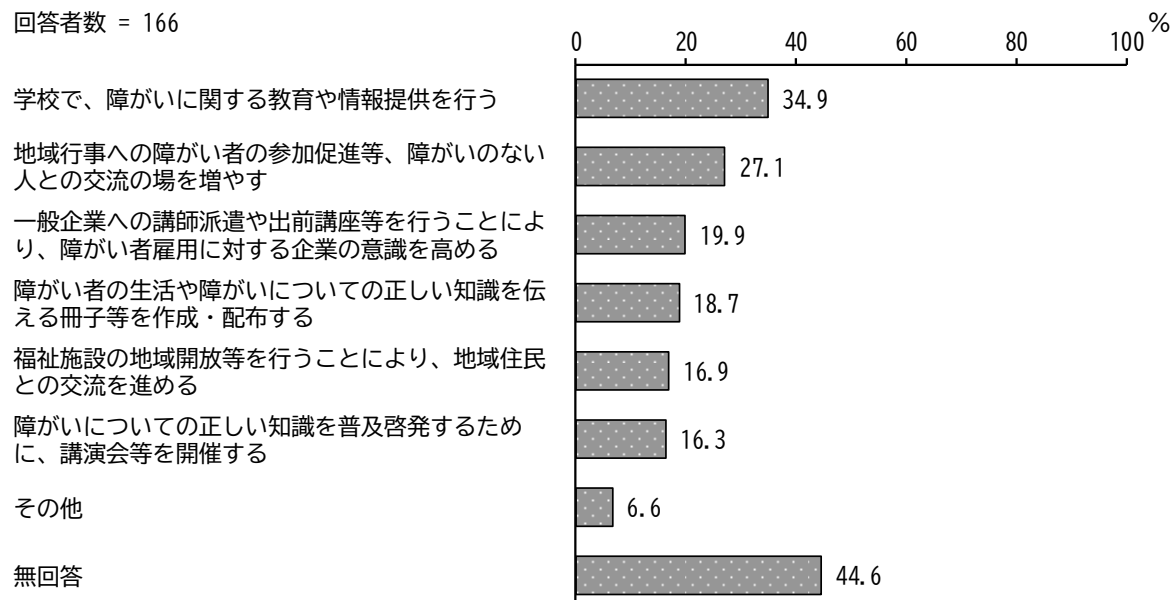
区分	回答者数(件)	周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）	障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等）	傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）	あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等）
全 体	166	17.5	8.4	6.0	4.8
身体障害者手帳	157	16.6	8.9	5.1	5.1
愛の手帳	45	37.8	15.6	13.3	6.7
精神障害者保健福祉手帳	1	—	—	—	—
難病	16	31.3	31.3	25.0	6.3
該当なし	3	33.3	—	—	—

区分	あなたが人と話しているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）	他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）	その他	差別や偏見を感じたことはない	無回答
全 体	4.2	4.2	9.6	38.6	29.5
身体障害者手帳	3.8	3.8	10.2	39.5	29.3
愛の手帳	11.1	6.7	15.6	22.2	22.2
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	100.0	—
難病	—	6.3	18.8	18.8	6.3
該当なし	—	—	—	33.3	33.3

問 35 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が重要だと思いますか。  
 (〇はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が 27.1%、「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が 19.9%となっています。

回答者数 = 166



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が、40～64歳で「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う	地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす	一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める	障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する	福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	その他	無回答
全体	166	34.9	27.1	19.9	18.7	16.9	16.3	6.6	44.6
18歳未満	18	55.6	50.0	38.9	27.8	33.3	33.3	27.8	22.2
18～39歳	17	41.2	35.3	17.6	11.8	23.5	17.6	—	35.3
40～64歳	26	57.7	38.5	38.5	15.4	19.2	23.1	—	30.8
65歳以上	99	25.3	19.2	12.1	20.2	13.1	11.1	6.1	52.5

【障がい種別】

障がい種別ごとにみると、他に比べ、難病で「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が、愛の手帳で「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」の割合が高くなっています。

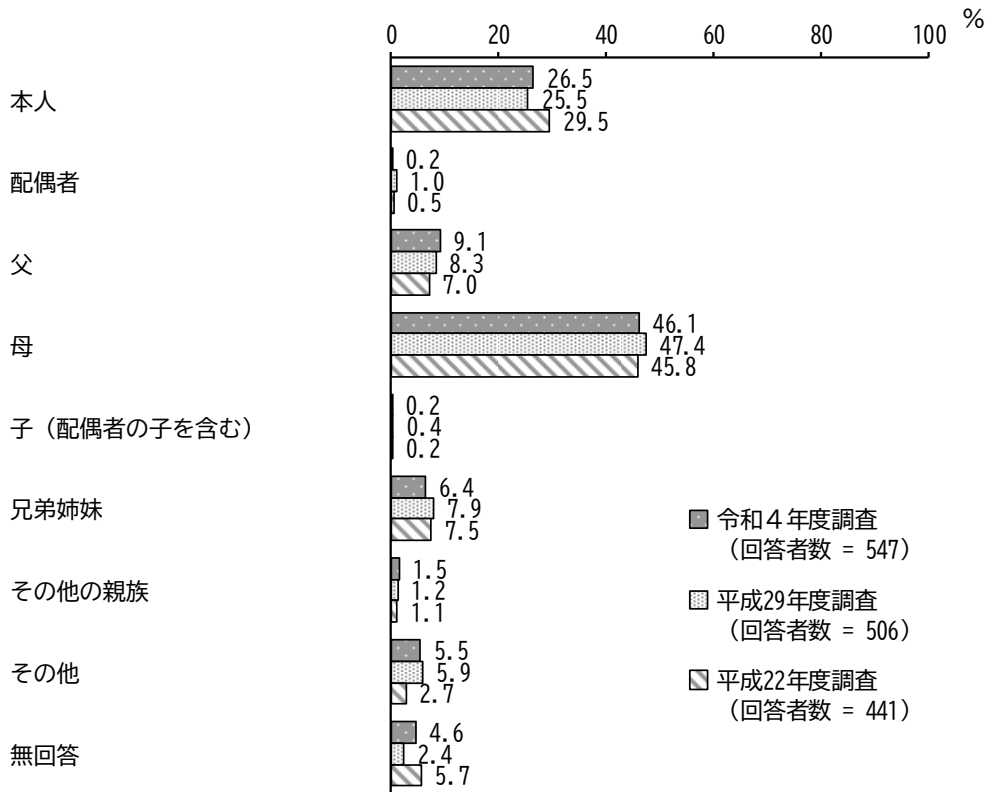
単位：％

区分	回答者数(件)	学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う	地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす	一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める	障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する	福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	その他	無回答
全 体	166	34.9	27.1	19.9	18.7	16.9	16.3	6.6	44.6
身体障害者手帳	157	36.3	27.4	21.0	18.5	17.8	15.3	7.0	44.6
愛の手帳	45	51.1	46.7	31.1	24.4	40.0	28.9	13.3	28.9
精神障害者保健福祉手帳	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—
難病	16	56.3	43.8	43.8	31.3	6.3	31.3	18.8	18.8
該当なし	3	—	33.3	—	33.3	—	—	—	33.3

## 2 知的障がい者調査の結果

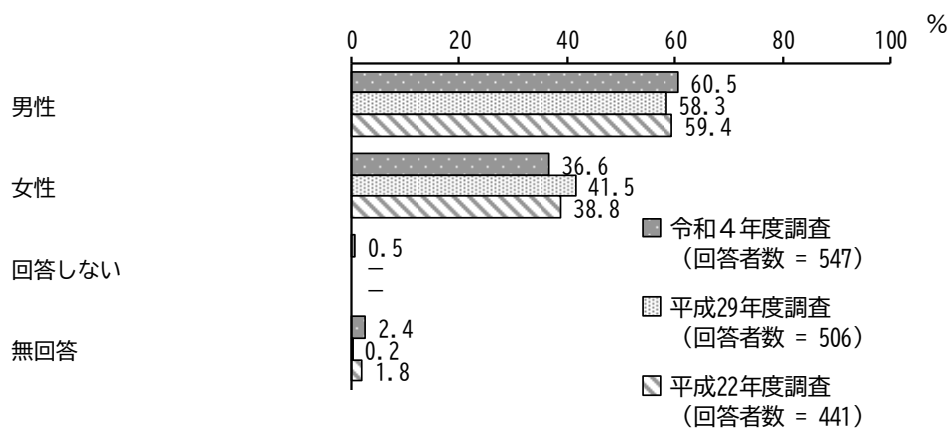
### 問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「母」の割合が46.1%と最も高く、次いで「本人」の割合が26.5%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」の割合が60.5%と最も高く、次いで「女性」の割合が36.6%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



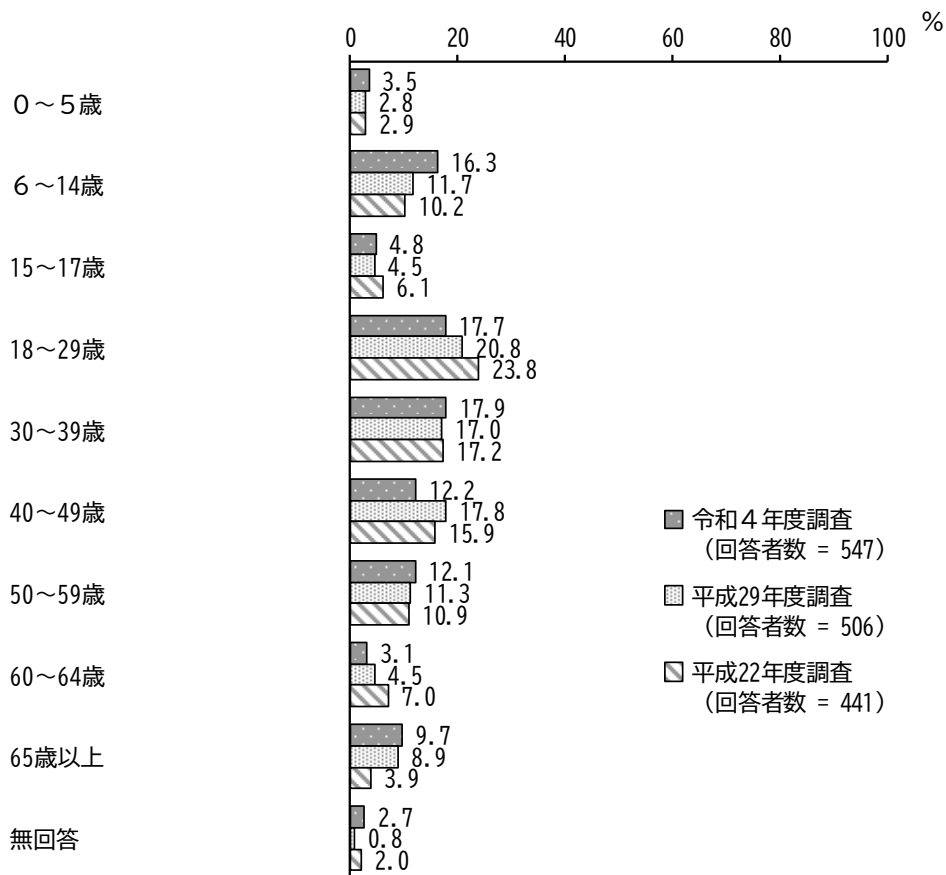
**問3 あなたの年齢は令和4年4月1日現在、何歳ですか。**

※平成29年度調査：平成29年4月1日現在

※平成22年度調査：平成23年2月1日現在

「30～39歳」の割合が17.9%と最も高く、次いで「18～29歳」の割合が17.7%、「6～14歳」の割合が16.3%となっています。

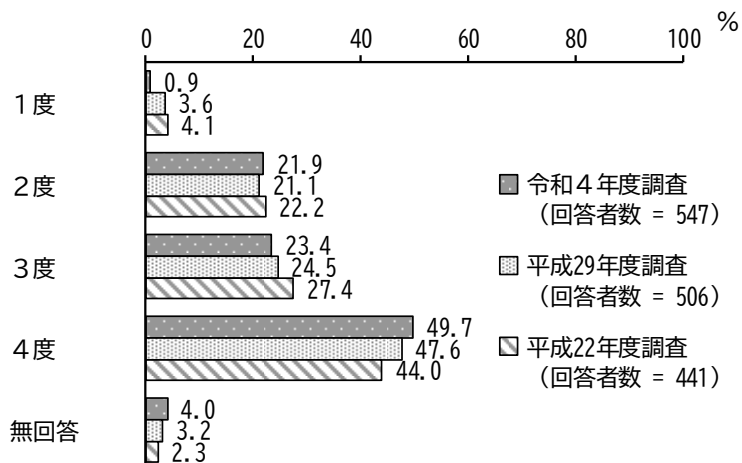
平成29年度調査と比較すると、「40～49歳」の割合が減少しています。



**問4 あなたの「愛の手帳」に記載されている障害の程度は、何度ですか。(○は1つ)**

「4度」の割合が49.7%と最も高く、次いで「3度」の割合が23.4%、「2度」の割合が21.9%となっています。

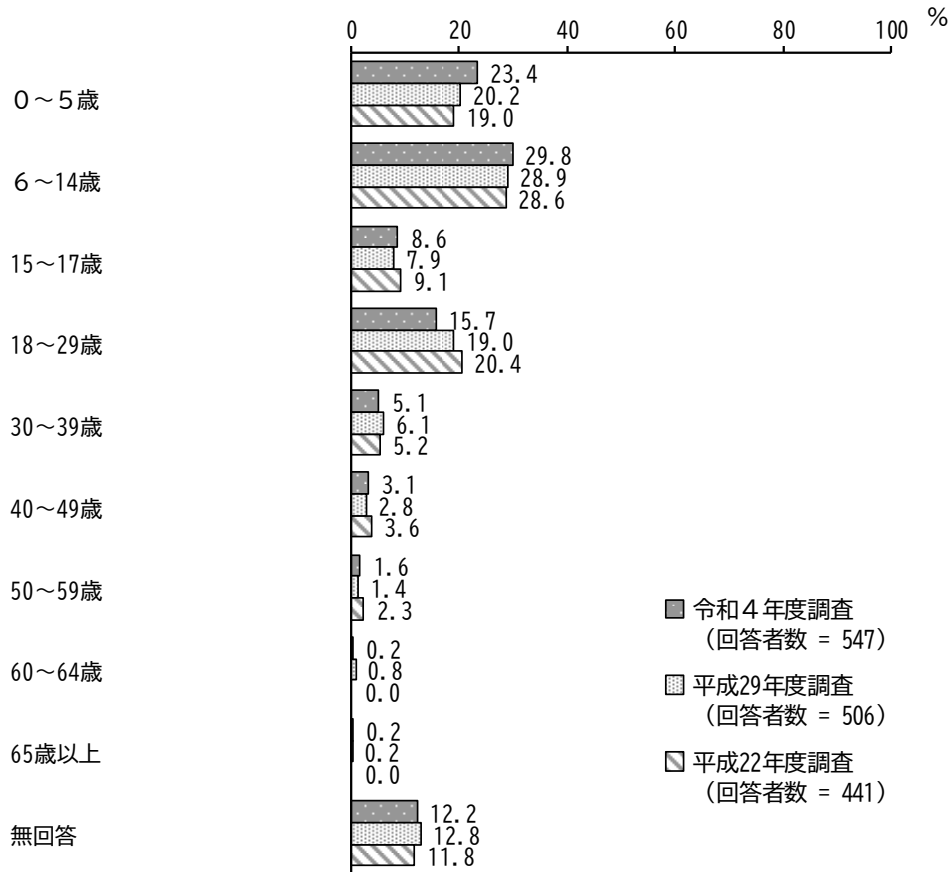
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 「愛の手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

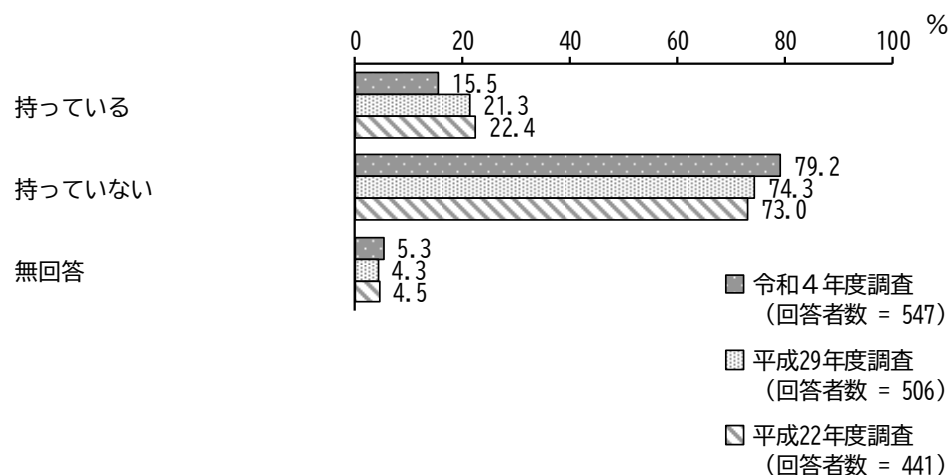
「6～14歳」の割合が29.8%と最も高く、次いで「0～5歳」の割合が23.4%、「18～29歳」の割合が15.7%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 あなたは「身体障害者手帳」を持っていますか。(○は1つ)「持っている」に○をつけた方は、問7へお進みください。「持っていない」に○をつけた方は、問10へお進みください。

「持っている」の割合が15.5%、「持っていない」の割合が79.2%となっています。平成29年度調査と比較すると、「持っている」の割合が減少しています。

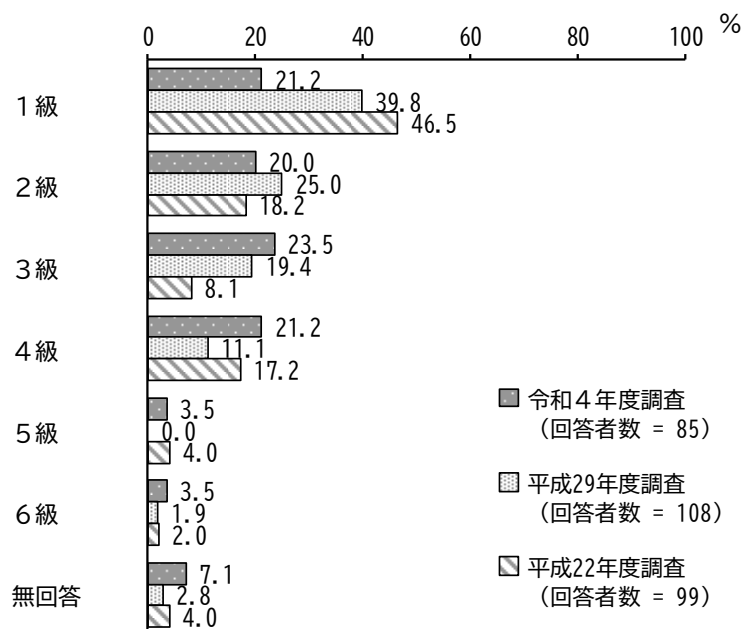




問7 (問6で「持っている」に○をつけた方は次の設問の該当するものに○をつけてください。) あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障がいの程度は総合等級の何級ですか。(○は1つ)

「3級」の割合が23.5%と最も高く、次いで「1級」、「4級」の割合が21.2%となっています。

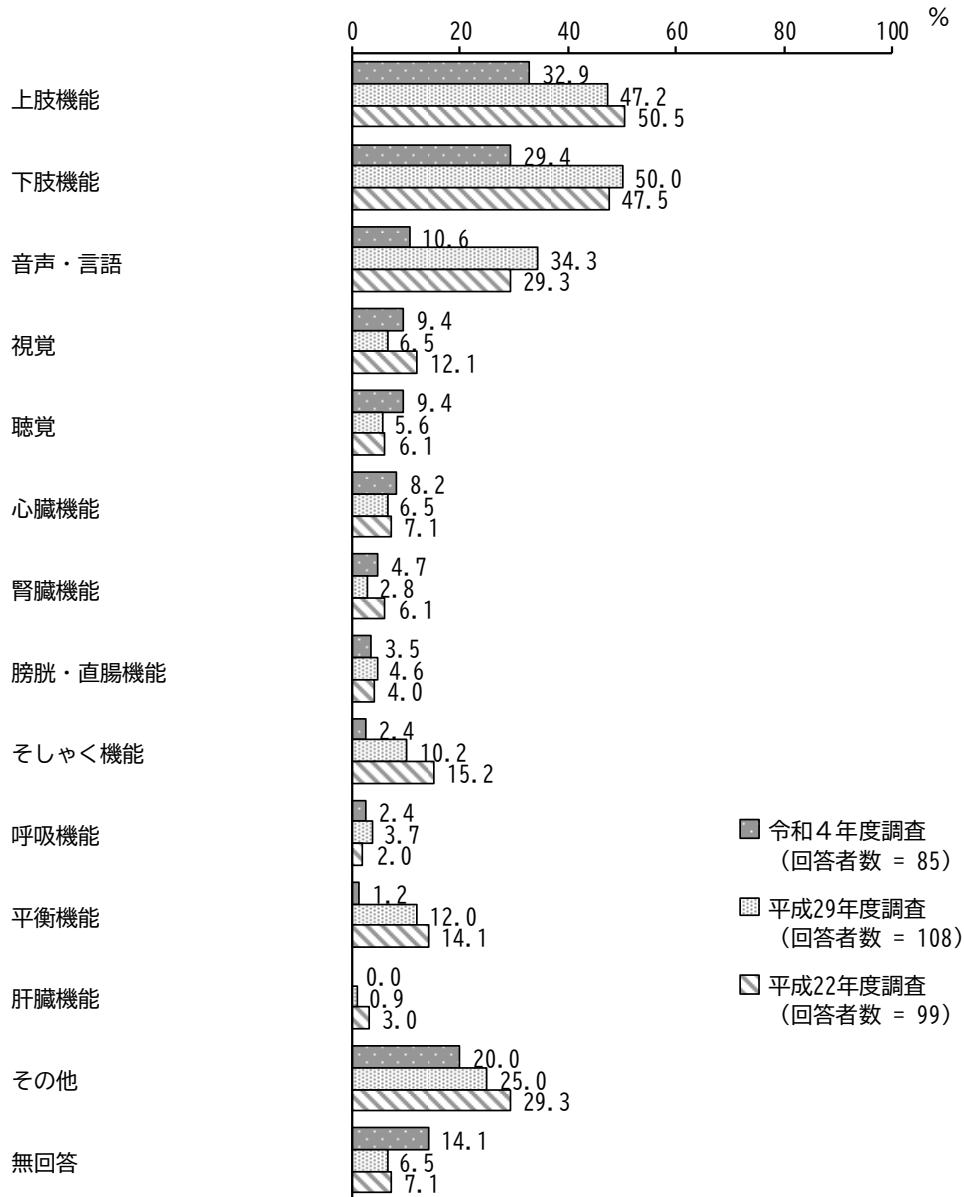
平成29年度調査と比較すると、「4級」の割合が増加しています。一方、「1級」の割合が減少しています。



問8 あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「上肢機能」の割合が32.9%と最も高く、次いで「下肢機能」の割合が29.4%、「音声・言語」の割合が10.6%となっています。

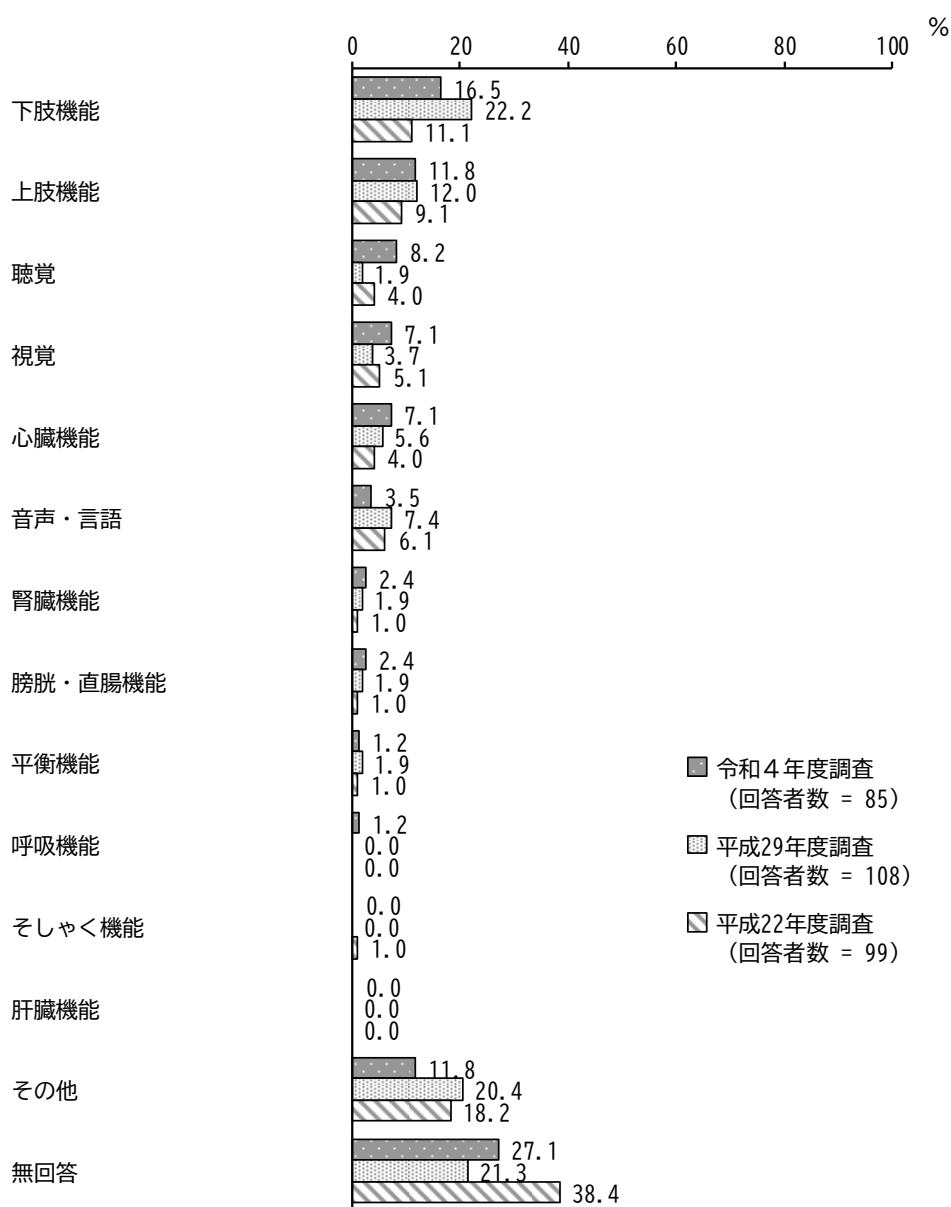
平成29年度調査と比較すると、「音声・言語」「そしゃく機能」「平衡機能」「上肢機能」「下肢機能」の割合が減少しています。



問9 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なものを1つお答えください。(あてはまる番号を問8から1つご記入ください。)

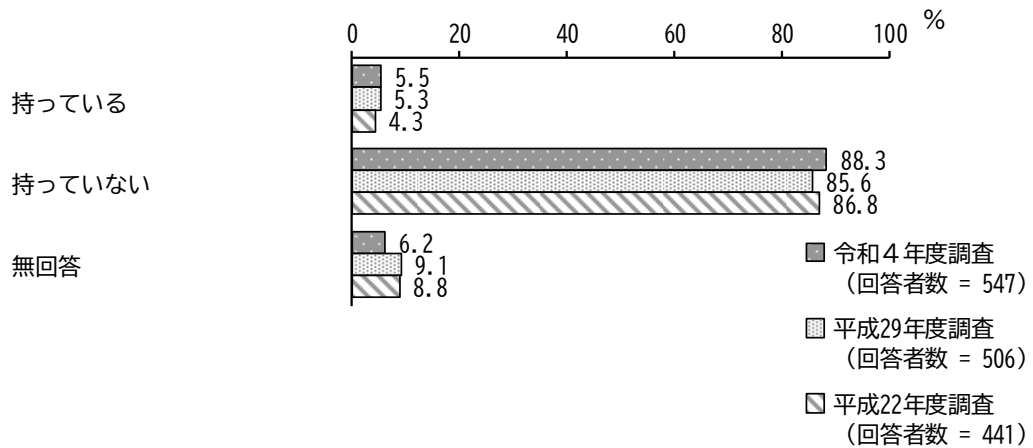
「下肢機能」の割合が16.5%と最も高く、次いで「上肢機能」の割合が11.8%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「聴覚」の割合が増加しています。一方、「下肢機能」の割合が減少しています。



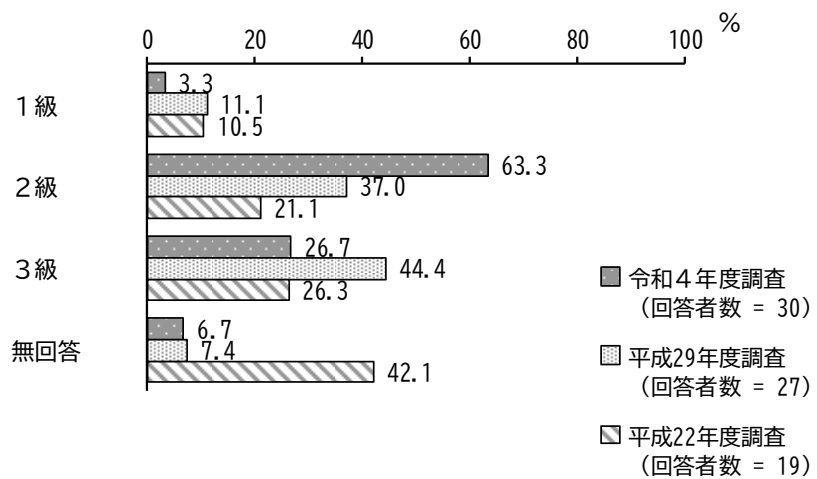
問10 あなたは、「精神障害者保健福祉手帳」を持っていますか。(○は1つ)

「持っている」の割合が5.5%、「持っていない」の割合が88.3%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



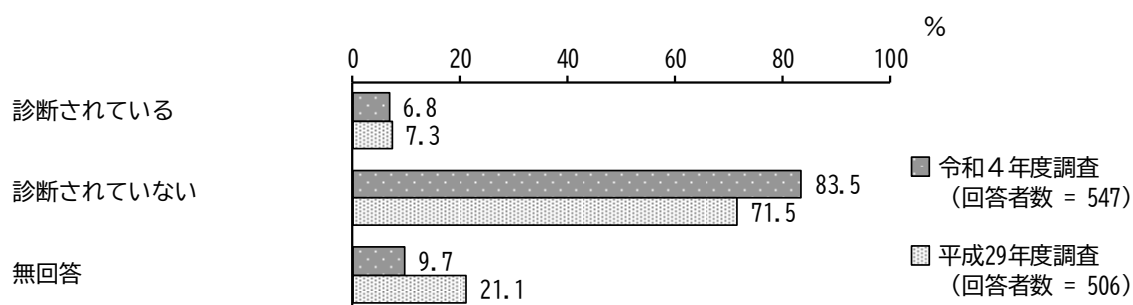
問11 (問10で「持っている」に○をつけた方のみお答えください。) 障がいの程度は、何級ですか。(○は1つ)

「2級」の割合が63.3%と最も高く、次いで「3級」の割合が26.7%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、「2級」の割合が増加しています。一方、「1級」「3級」の割合が減少しています。



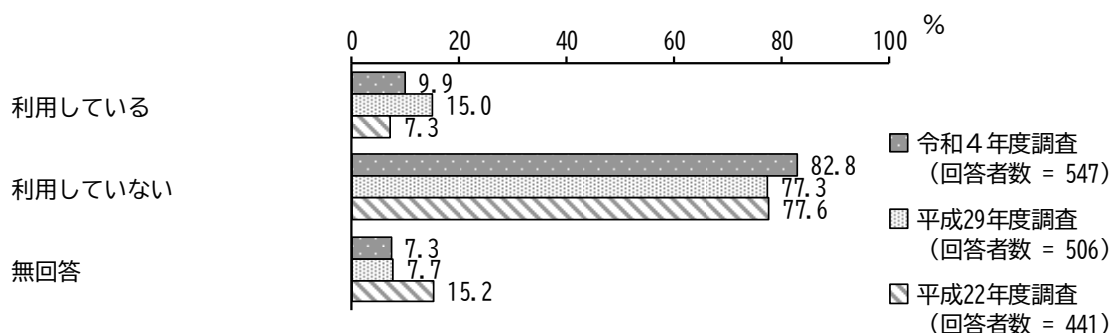
問12 あなたは、難病と診断されていますか。(○は1つ)

「診断されている」の割合が6.8%、「診断されていない」の割合が83.5%となっています。平成29年度調査と比較すると、「診断されていない」の割合が増加しています。



問13 介護保険サービス（訪問介護や通所介護等）を利用していますか。(○は1つ)

「利用している」の割合が9.9%、「利用していない」の割合が82.8%となっています。平成29年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。一方、「利用している」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「利用している」の割合が高くなっています。

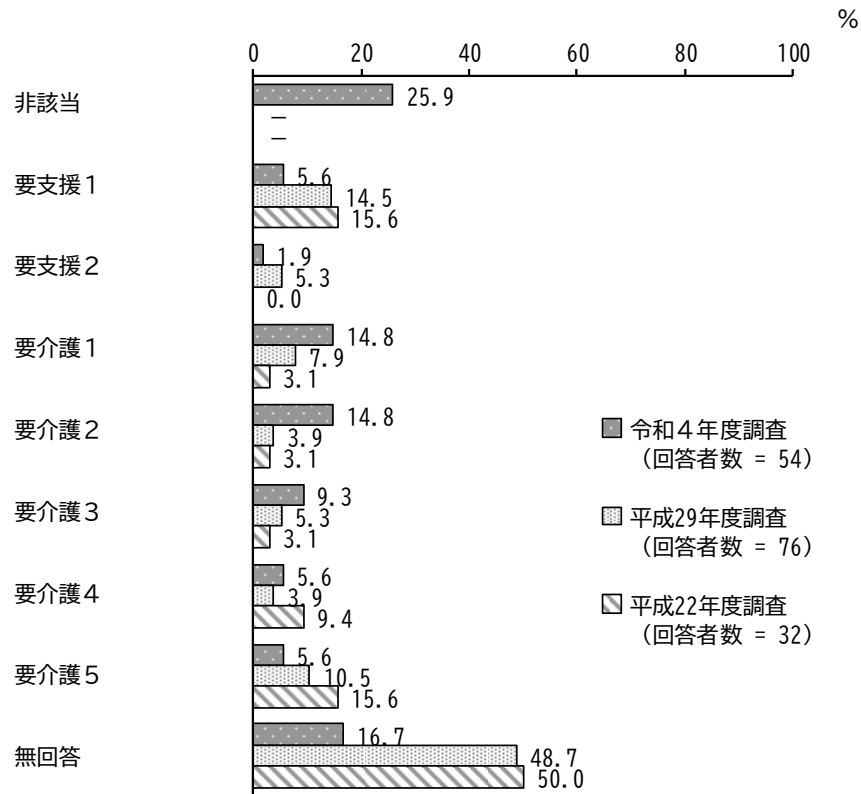
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全体	547	9.9	82.8	7.3
18歳未満	134	2.2	97.0	0.7
18～39歳	195	4.6	91.3	4.1
40～64歳	150	10.7	78.7	10.7
65歳以上	53	49.1	45.3	5.7

問 14 (問 13 で「利用している」に○をつけた方のみお答えください。) 該当する要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

「非該当」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「要介護1」、「要介護2」の割合が 14.8%となっています。

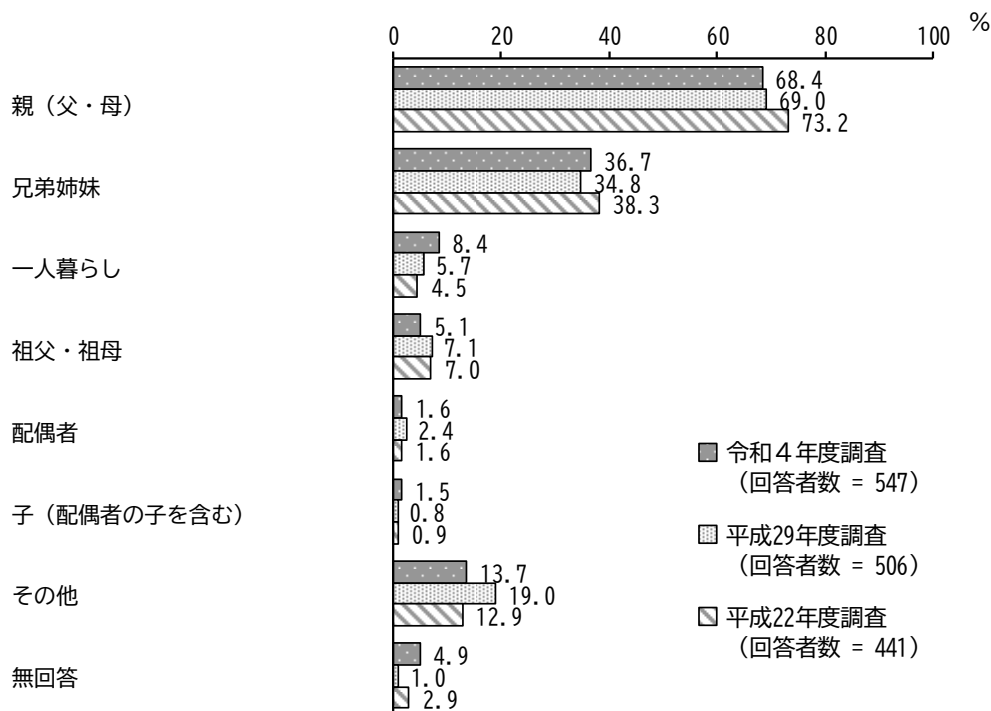
平成 29 年度調査と比較すると、「要介護1」「要介護2」の割合が増加しています。一方、「要支援1」の割合が減少しています。



問15 あなたは、現在、誰と一緒に生活していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「親(父・母)」の割合が68.4%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の割合が36.7%となっています。

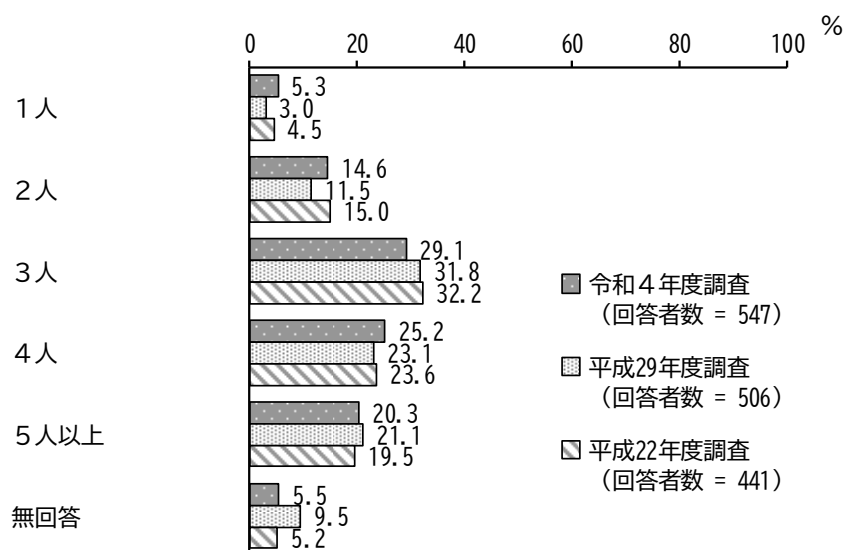
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問16 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。(○は1つ)

「3人」の割合が29.1%と最も高く、次いで「4人」の割合が25.2%、「5人以上」の割合が20.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 17 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけて下さい。(1～17について各々○は1つ)

『4 簡単な調理をすること』『12 お金の管理をすること』『15 病院に行くこと』で「全部に手助けが必要」の割合が5割以上となっています。

『9 室内の掃除・整理整頓をすること』で「一部に手助けが必要」の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無回 答
1 歩くこと	547	88.5	7.3	3.1	1.1
2 食事をすること	547	79.5	16.8	2.0	1.6
3 食事の支度や後片付けをすること	547	37.3	28.2	32.5	2.0
4 簡単な調理をすること	547	26.9	18.6	52.1	2.4
5 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	547	73.3	19.6	5.9	1.3
6 トイレで用を足し、後始末をすること	547	68.7	21.9	8.4	0.9
7 入浴し、身体や髪を洗うこと	547	58.5	24.9	15.7	0.9
8 歯磨き・洗顔等をすること	547	64.5	21.2	12.8	1.5
9 室内の掃除・整理整頓をすること	547	29.8	35.8	32.7	1.6
10 洗濯をすること	547	31.6	20.5	46.3	1.6
11 布団を干すこと	547	27.8	23.0	46.4	2.7
12 お金の管理をすること	547	15.2	25.8	57.4	1.6
13 電話を受けたり、かけたりすること	547	35.8	22.5	40.2	1.5
14 定期的に服薬すること	547	35.5	25.8	35.1	3.7
15 病院に行くこと	547	23.9	21.9	51.6	2.6
16 近所に買い物に行くこと	547	39.7	19.0	39.7	1.6
17 バス・都電・電車を利用すること	547	40.8	22.1	34.9	2.2



## 〈平成 29 年度調査〉

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回答
1 歩くこと	506	82.8	6.9	9.3	1.0
2 食事をすること	506	76.1	14.0	7.7	2.2
3 食事の支度や後片付けをすること	506	32.4	31.2	34.2	2.2
4 簡単な調理をすること	506	22.1	21.7	53.2	3.0
5 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	506	70.8	16.4	11.9	1.0
6 トイレで用を足し、後始末をすること	506	68.2	16.8	13.8	1.2
7 入浴し、身体や髪を洗うこと	506	59.7	20.4	18.8	1.2
8 歯磨き・洗顔等をすること	506	63.0	20.0	15.8	1.2
9 室内の掃除・整理整頓をすること	506	29.8	35.2	33.2	1.8
10 洗濯をすること	506	29.6	24.7	44.1	1.6
11 布団を干すこと	506	27.9	24.5	45.8	1.8
12 お金の管理をすること	506	16.0	30.2	51.6	2.2
13 電話を受けたり、かけたりすること	506	35.0	23.9	39.7	1.4
14 定期的に服薬すること	506	37.7	21.1	37.7	3.4
15 病院に行くこと	506	26.3	21.5	50.0	2.2
16 近所に買い物に行くこと	506	39.7	20.0	39.1	1.2
17 バス・都電・電車を利用すること	506	41.9	20.6	36.6	1.0

〈平成 22 年度調査〉

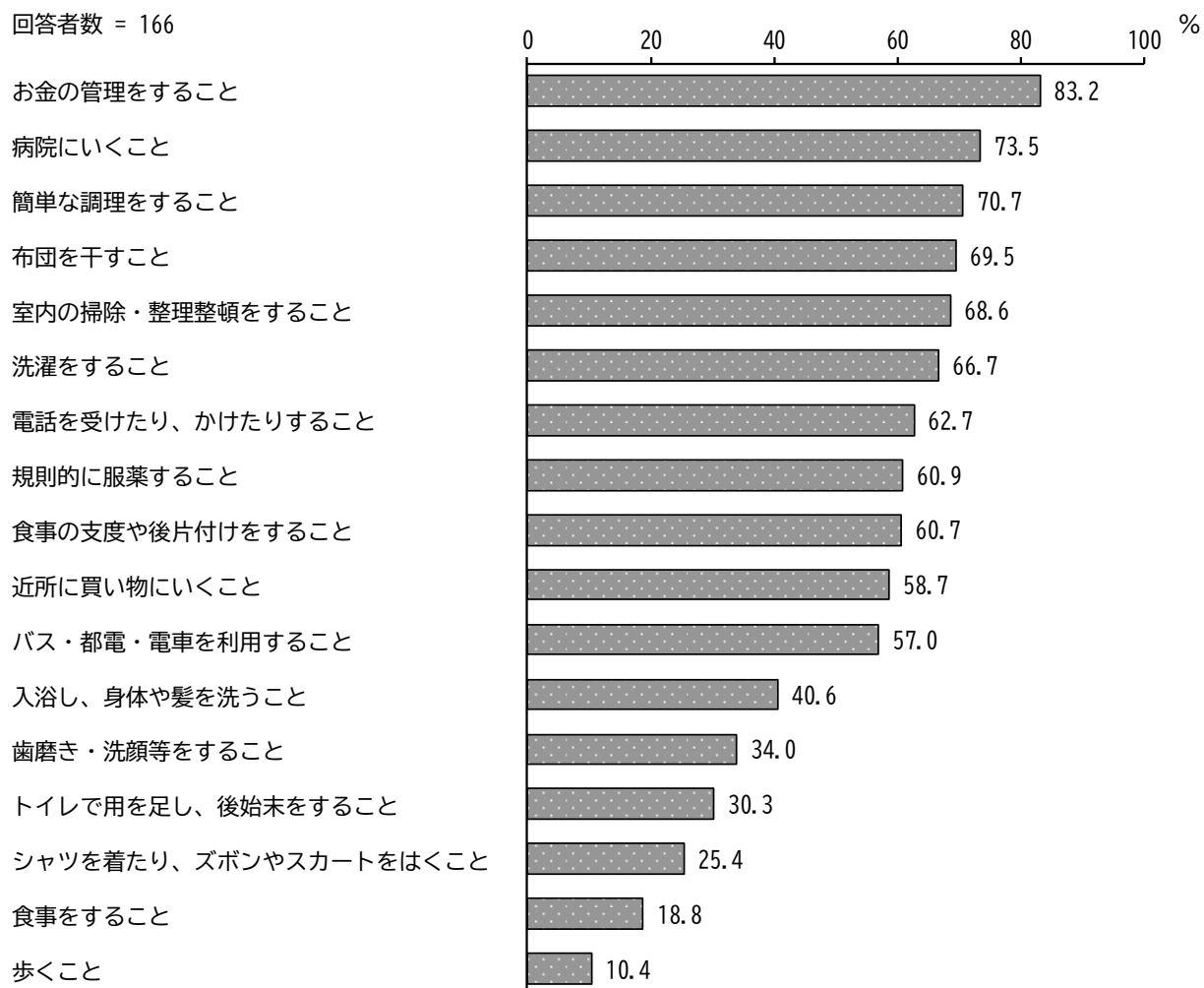
単位：％

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回答
1 歩くこと	441	82.5	5.4	8.6	3.4
2 食事をすること	441	74.4	14.5	7.7	3.4
3 食事の支度や後片付けをすること	441	31.7	30.8	32.9	4.5
4 簡単な調理をすること	441	26.3	21.1	45.8	6.8
5 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	441	71.2	14.3	10.4	4.1
6 トイレで用を足し、後始末をすること	441	67.3	15.9	13.6	3.2
7 入浴し、身体や髪を洗うこと	441	62.4	15.0	19.3	3.4
8 歯磨き・洗顔等をすること	441	60.8	17.0	17.9	4.3
9 室内の掃除・整理整頓をすること	441	26.5	35.6	33.8	4.1
10 洗濯をすること	441	28.3	22.9	43.5	5.2
11 布団を干すこと	441	24.9	24.0	45.6	5.4
12 お金の管理をすること	441	16.3	23.4	54.6	5.7
13 電話を受けたり、かけたりすること	441	36.7	17.2	40.1	5.9
14 定期的に服薬すること	441	36.5	24.5	31.7	7.3
15 病院に行くこと	441	28.3	21.5	45.1	5.0
16 近所に買い物に行くこと	441	39.9	18.8	37.2	4.1
17 バス・都電・電車を利用すること	441	41.7	21.1	32.7	4.5

## 問 17 「一部に手助けが必要」、「全部に手助けが必要」を合わせた表

「一部に手助けが必要」、「全部に手助けが必要」を合わせた要介助の割合をみると、『お金の管理をすること』が 83.2%と最も高く、次いで、『病院に行くこと』が 73.5%、『簡単な調理をすること』が 70.7%となっています。

回答者数 = 166



II 調査結果 知的障がい者

【年齢別】（「一部に手助けが必要」と「全部に手助けが必要」を合わせた表）

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「入浴し、身体や髪を洗うこと」「歯磨き・洗顔等をする事」「洗濯をすること」「バス・都電・電車を利用すること」の割合が高くなっています。

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、全ての障がいの程度で「お金の管理をすること」の割合が高くなっています。

単位：%

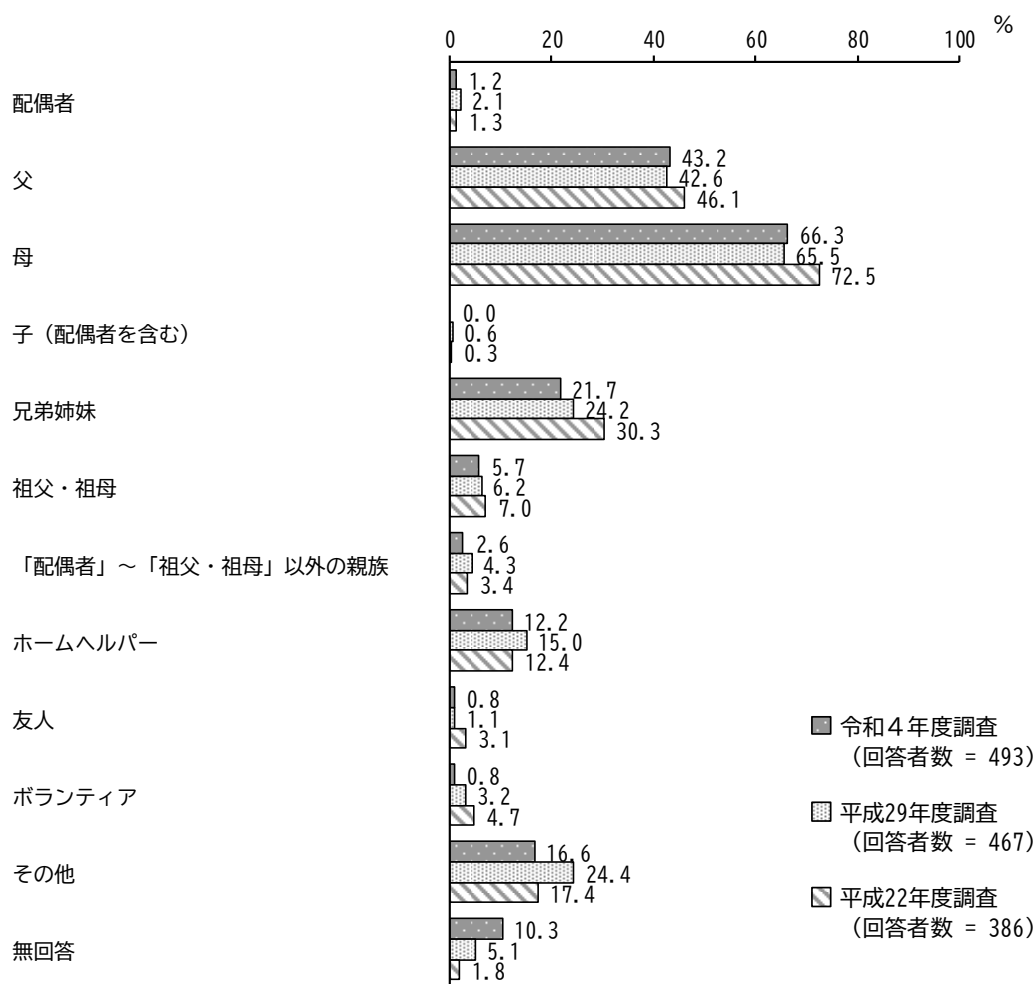
区分	回答者数（件）	お金の管理をすること	病院に行くこと	簡単な調理をすること	布団を干すこと	室内の掃除・整理整頓をすること	洗濯をすること	電話を受けたり、かけたこと	定期的に服薬すること
18歳未満	134	96.3	92.5	91.0	90.3	84.3	91.0	82.8	77.6
18～39歳	195	77.9	68.7	64.6	60.5	61.5	63.6	56.4	56.9
40～64歳	150	79.3	64.0	62.7	64.7	62.0	54.7	52.0	51.3
65歳以上	53	84.9	77.4	73.6	67.9	75.5	54.7	71.7	66.0
1度	5	83.2	73.5	70.7	69.5	68.6	66.7	62.7	60.9
2度	120	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0	80.0	80.0	80.0
3度	128	99.2	98.3	97.5	97.5	97.5	95.0	98.3	95.8
4度	272	93.8	89.8	84.4	80.5	78.1	75.8	75.0	68.8

区分	食事の支度や後片付けをすること	近所に買い物に行くこと	バス・都電・電車を利用すること	入浴し、身体や髪を洗うこと	歯磨き・洗顔等をすること	トイレで用を足し、後始末をすること	シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	食事をする事	歩くこと
18歳未満	77.6	82.1	81.3	67.2	59.7	50.7	44.8	31.3	14.9
18～39歳	51.8	48.7	42.1	29.7	25.1	24.1	19.5	14.4	3.6
40～64歳	58.7	48.7	51.3	32.7	28.0	22.7	18.0	14.0	10.0
65歳以上	64.2	66.0	73.6	41.5	22.6	26.4	24.5	17.0	26.4
1度	60.7	58.7	57.0	40.6	34.0	30.3	25.4	18.8	10.4
2度	100.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
3度	92.5	98.3	96.7	85.8	77.5	71.7	55.0	43.3	20.8
4度	71.9	75.0	76.6	46.1	37.5	31.3	26.6	19.5	10.2

問 18 (問 17 で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○につけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「母」の割合が 66.3%と最も高く、次いで「父」の割合が 43.2%、「兄弟姉妹」の割合が 21.7%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



II 調査結果 知的障がい者

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「父」「母」「ホームヘルパー」の割合が高くなっています。

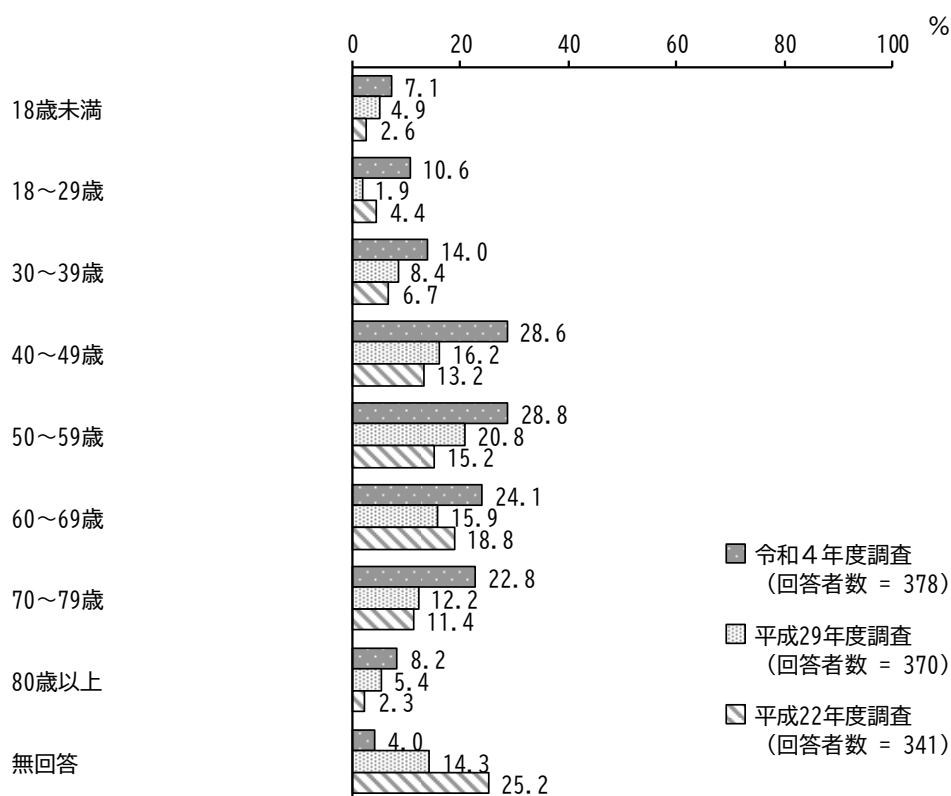
単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	父	母	子(配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父・祖母	「配偶者」・「祖父・祖母」以外の親族	ホームヘルパー	友人	ボランティア	その他	無回答
全 体	493	1.2	43.2	66.3	—	21.7	5.7	2.6	12.2	0.8	0.8	16.6	10.3
1 度	5	—	40.0	40.0	—	20.0	—	—	—	—	—	20.0	40.0
2 度	120	—	60.0	81.7	—	22.5	6.7	3.3	25.8	—	3.3	23.3	1.7
3 度	122	0.8	47.5	68.9	—	27.0	5.7	2.5	9.0	0.8	—	16.4	6.6
4 度	230	2.2	34.3	59.6	—	18.3	5.7	2.2	7.0	1.3	—	13.5	15.2

問19 (問18で「1 配偶者」～「7「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。)手助けをしている方の年齢は令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。(問18で「1 配偶者」～「7「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「50～59歳」の割合が28.8%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が28.6%、「60～69歳」の割合が24.1%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」「70～79歳」の割合が増加しています。



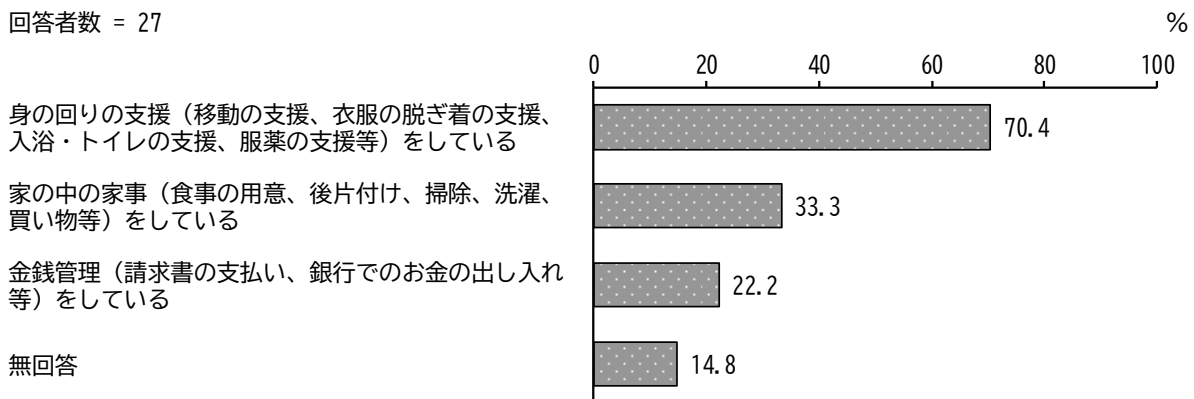
※平成29年度調査及び平成22年度調査では、年齢の区分は、「10歳代」「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」「70歳代」「80歳代以上」となっており、令和4年度調査の区分とは異なります。なお、経年比較の都合上、平成29年度以前の調査の「10歳代」を「18歳未満」、「20歳代」を「18～29歳」としてあります。

問 20 (問 19 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている 18 歳未満の人 (※) は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている 18 歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「身の回りの支援 (移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等) をしている」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「家の中の家事 (食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等) をしている」の割合が 33.3%、「金銭管理 (請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等) をしている」の割合が 22.2%となっています。

回答者数 = 27





## 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢で、「身の回りの支援（移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等）をしている」の割合が高くなっています。

40～64歳では、「家の中の家事（食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等）をしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	身の回りの支援（移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等）をしている	家の中の家事（食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等）をしている	金銭管理（請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等）をしている	無回答
全体	27	70.4	33.3	22.2	14.8
18歳未満	13	69.2	15.4	7.7	23.1
18～39歳	4	75.0	25.0	50.0	25.0
40～64歳	7	85.7	71.4	28.6	—
65歳以上	3	33.3	33.3	33.3	—

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

## 【障がいの程度別】

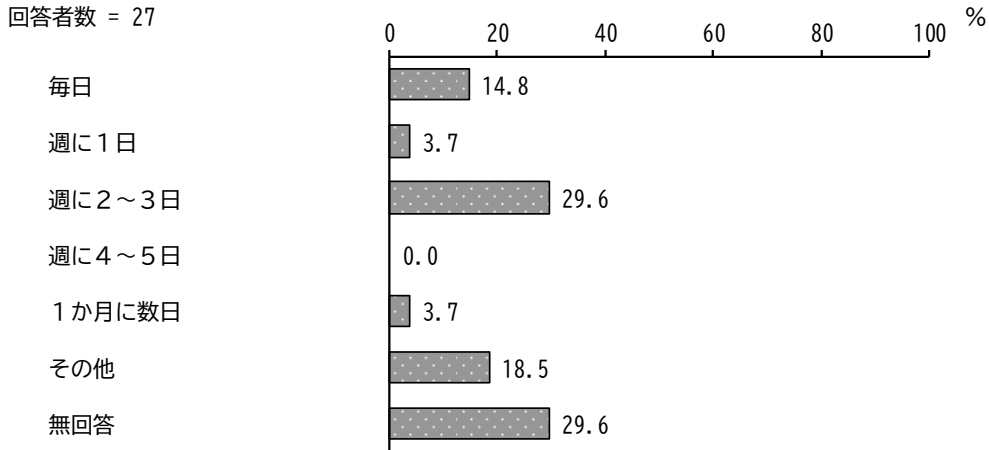
障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「家の中の家事（食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等）をしている」「身の回りの支援（移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等）をしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	身の回りの支援（移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等）をしている	家の中の家事（食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等）をしている	金銭管理（請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等）をしている	無回答
全体	27	70.4	33.3	22.2	14.8
1度	—	—	—	—	—
2度	11	81.8	45.5	18.2	9.1
3度	7	71.4	14.3	14.3	28.6
4度	9	55.6	33.3	33.3	11.1

問 21 (問 19 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「週に2～3日」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「毎日」の割合が 14.8%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「週に2～3日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	毎日	週に1日	週に2～3日	週に4～5日	1か月に数日	その他	無回答
全体	27	14.8	3.7	29.6	—	3.7	18.5	29.6
18歳未満	13	15.4	7.7	46.2	—	—	30.8	—
18～39歳	4	—	—	—	—	25.0	—	75.0
40～64歳	7	28.6	—	28.6	—	—	14.3	28.6
65歳以上	3	—	—	—	—	—	—	100.0

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

## 【障がいの程度別】

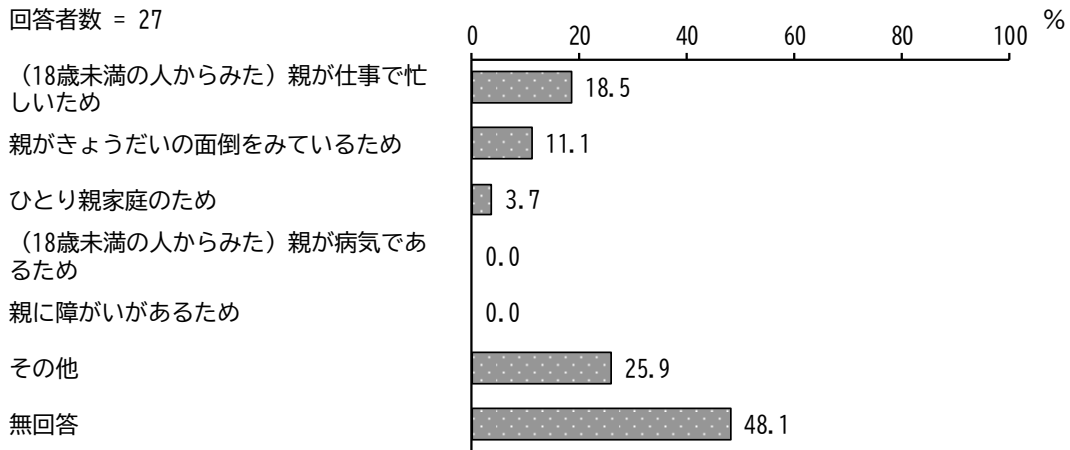
障がいの程度別にみると、全ての障がいの程度で、「週に2～3日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	毎日	週に1日	週に2～3日	週に4～5日	1か月に数日	その他	無回答
全 体	27	14.8	3.7	29.6	—	3.7	18.5	29.6
1度	—	—	—	—	—	—	—	—
2度	11	9.1	—	27.3	—	9.1	27.3	27.3
3度	7	14.3	14.3	28.6	—	—	28.6	14.3
4度	9	22.2	—	33.3	—	—	—	44.4

問 22 (問 19 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため」の割合が 18.5%と最も高く、次いで「親がきょうだいの面倒をみているため」の割合が 11.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	(18歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため	親がきょうだいの面倒をみているため	ひとり親家庭のため	(18歳未満の人からみた) 親が病気であるため	親に障がいがあるため	その他	無回答
全体	27	18.5	11.1	3.7	—	—	25.9	48.1
18歳未満	13	23.1	15.4	—	—	—	38.5	23.1
18～39歳	4	25.0	—	25.0	—	—	—	75.0
40～64歳	7	14.3	14.3	—	—	—	28.6	57.1
65歳以上	3	—	—	—	—	—	—	100.0

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

## 【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、3度で「(18歳未満の人からみた)親が仕事で忙しいため」の割合が高くなっています。

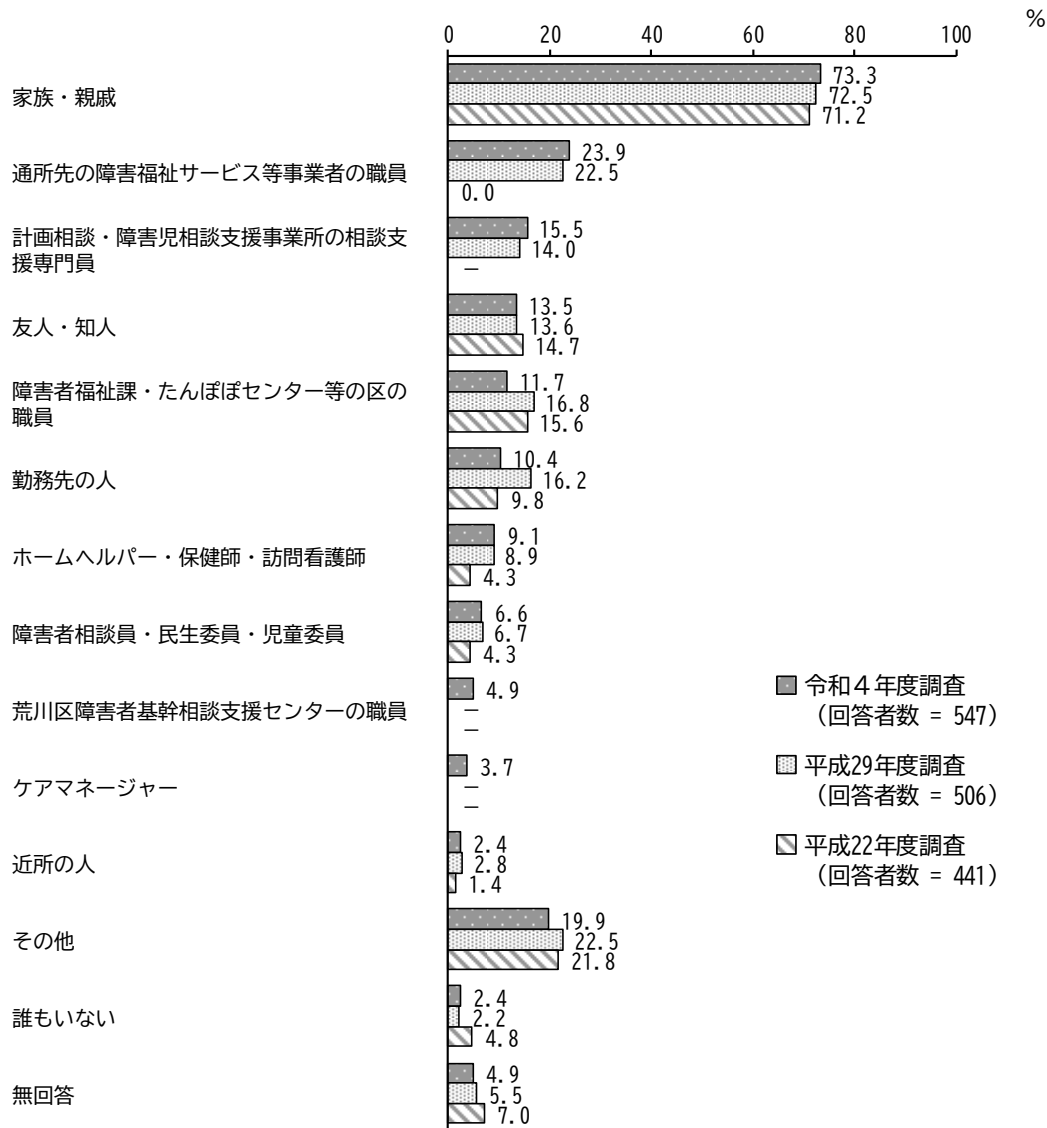
単位：%

区分	回答者数(件)	親が仕事で忙しいため (18歳未満の人からみた)	親がきょうだいの面倒をみ ているため	ひとり親家庭のため	親が病気であるため (18歳未満の人からみた)	親に障がいがあるため	その他	無回答
全 体	27	18.5	11.1	3.7	—	—	25.9	48.1
1 度	—	—	—	—	—	—	—	—
2 度	11	18.2	9.1	9.1	—	—	36.4	45.5
3 度	7	42.9	—	—	—	—	28.6	28.6
4 度	9	—	22.2	—	—	—	11.1	66.7

問 23 あなたが日常のことや困ったことを相談している人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が73.3%と最も高く、次いで「通所先の障害福祉サービス等事業者の職員」の割合が23.9%、「計画相談・障害児相談支援事業所の相談支援専門員」の割合が15.5%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「障害者福祉課・たんぼぼセンター等の区の職員」「勤務先の人」の割合が減少しています。



## 【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「通所先の障害福祉サービス等事業者の職員」の割合が、4度で「勤務先の人」「友人・知人」の割合が高くなっています。

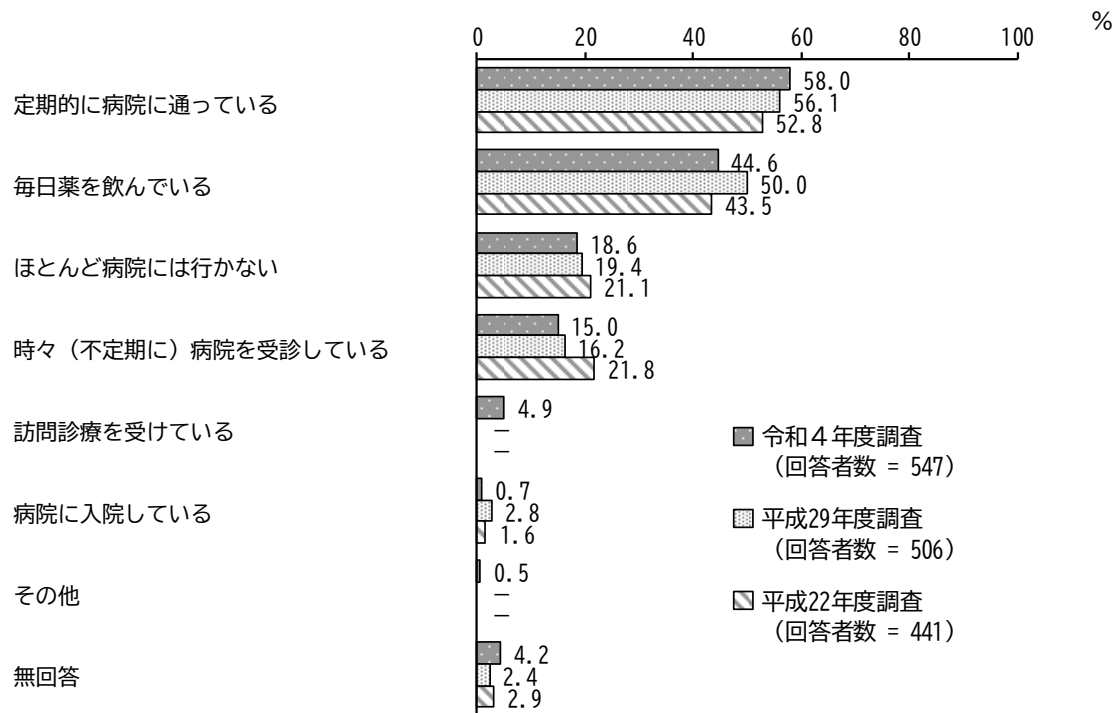
単位：%

区分	回答者数(件)	家族・親戚	通所先の障害福祉サービス等事業者の職員	計画相談・障害児相談支援事業所の相談支援専門員	友人・知人	障害者福祉課・たんぼセンター等の職員の職員	勤務先の人	ホームヘルパー・保健師・訪問看護師
全体	547	73.3	23.9	15.5	13.5	11.7	10.4	9.1
1度	5	60.0	20.0	20.0	—	20.0	—	—
2度	120	70.8	37.5	20.0	8.3	16.7	3.3	10.0
3度	128	74.2	29.7	15.6	7.0	13.3	4.7	8.6
4度	272	74.6	17.3	14.3	19.5	9.2	16.5	9.2

区分	障害者相談員・民生委員・児童委員	荒川区障害者基幹相談支援センターの職員	ケアマネージャー	近所の人	その他	誰もいない	無回答
全体	6.6	4.9	3.7	2.4	19.9	2.4	4.9
1度	—	—	—	—	—	—	40.0
2度	7.5	3.3	1.7	0.8	24.2	3.3	6.7
3度	7.8	4.7	3.9	2.3	18.8	0.8	4.7
4度	6.3	6.3	4.4	2.9	19.5	2.9	2.6

問 24 あなたは、病気等で病院に通っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「定期的に病院に通っている」の割合が58.0%と最も高く、次いで「毎日薬を飲んでいる」の割合が44.6%、「ほとんど病院には行かない」の割合が18.6%となっています。  
 平成29年度調査と比較すると、「毎日薬を飲んでいる」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「訪問診療を受けている」「毎日薬を飲んでいる」の割合が、40～64歳で「毎日薬を飲んでいる」「定期的に病院に通っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	定期的に病院に通っている	毎日薬を飲んでいる	ほとんど病院には行かない	時々(不定期に)病院を受診している	訪問診療を受けている	病院に入院している	その他	無回答
全体	547	58.0	44.6	18.6	15.0	4.9	0.7	0.5	4.2
18歳未満	134	55.2	28.4	21.6	17.9	1.5	0.7	0.7	3.0
18～39歳	195	56.4	44.1	23.6	14.9	1.0	-	1.0	4.6
40～64歳	150	64.7	56.7	12.7	13.3	7.3	1.3	-	3.3
65歳以上	53	54.7	58.5	9.4	15.1	20.8	1.9	-	3.8



【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「毎日薬を飲んでいる」「定期的に病院に通っている」の割合が高くなっています。

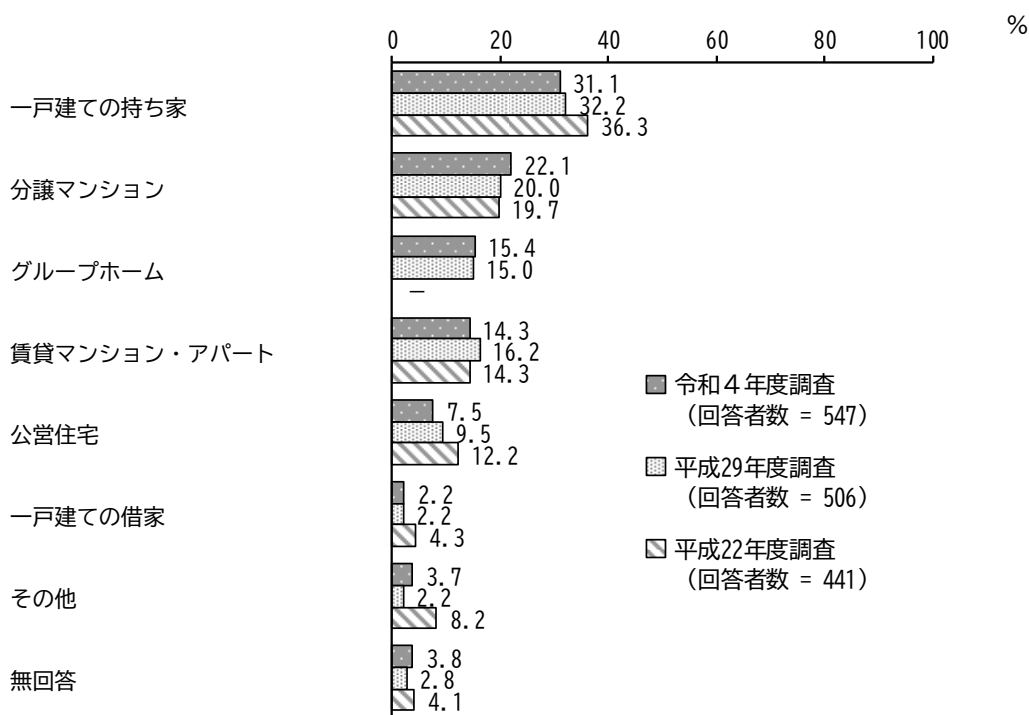
単位：％

区分	回答者数(件)	定期的に病院に通っている	毎日薬を飲んでいる	ほとんど病院には行かない	時々(不定期に)病院を受診している	訪問診療を受けている	病院に入院している	その他	無回答
全体	547	58.0	44.6	18.6	15.0	4.9	0.7	0.5	4.2
1度	5	40.0	40.0	—	—	20.0	40.0	—	—
2度	120	66.7	57.5	12.5	14.2	7.5	—	—	1.7
3度	128	53.1	40.6	22.7	18.0	3.9	0.8	—	2.3
4度	272	58.1	41.9	19.5	14.7	2.9	0.4	1.1	5.5

問 25 あなたのお住まいは次のうちどれですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。(○は1つ)

「一戸建ての持ち家」の割合が31.1%と最も高く、次いで「分譲マンション」の割合が22.1%、「グループホーム」の割合が15.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



II 調査結果 知的障がい者

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「分譲マンション」の割合が高くなっています。「グループホーム」では、障がいの程度が上がるごとに割合が高くなっています。

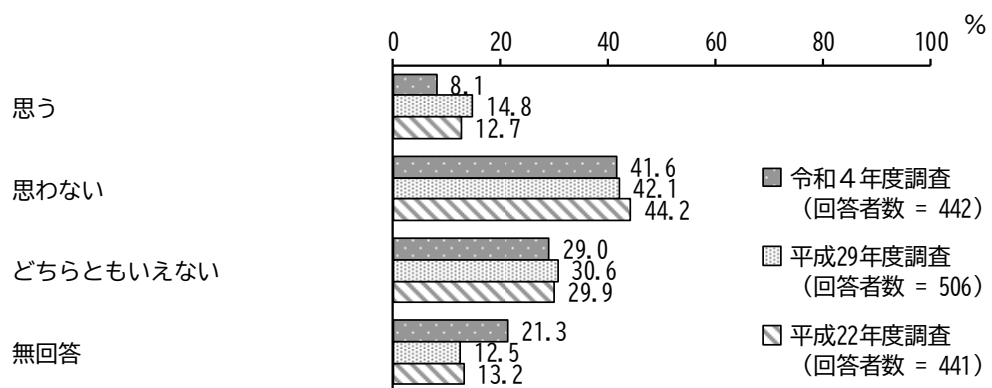
単位：％

区分	回答者数(件)	一戸建ての持ち家	分譲マンション	一戸建ての借家	賃貸マンション・アパート	公営住宅	グループホーム	その他	無回答
全体	547	31.1	22.1	2.2	14.3	7.5	15.4	3.7	3.8
1度	5	—	40.0	—	20.0	—	20.0	20.0	—
2度	120	31.7	28.3	—	9.2	9.2	18.3	1.7	1.7
3度	128	32.8	20.3	3.9	14.8	6.3	15.6	4.7	1.6
4度	272	30.5	21.0	2.6	16.5	7.4	14.7	2.6	4.8

問26 (問25で「グループホーム」以外に○をつけた方のみお答えください。) あなたは家族と離れて、グループホームに住んでみたいと思いますか。(○は1つ)

「思わない」の割合が41.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が29.0%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「思う」の割合が減少しています。



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「どちらともいえない」の割合が、18～39歳で「思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	思う	思わない	いどちらともいえない	無回答
全 体	442	8.1	41.6	29.0	21.3
18歳未満	133	8.3	36.1	36.8	18.8
18～39歳	161	6.8	46.6	31.7	14.9
40～64歳	106	8.5	41.5	22.6	27.4
65歳以上	34	11.8	41.2	8.8	38.2

## 【障がいの程度別】

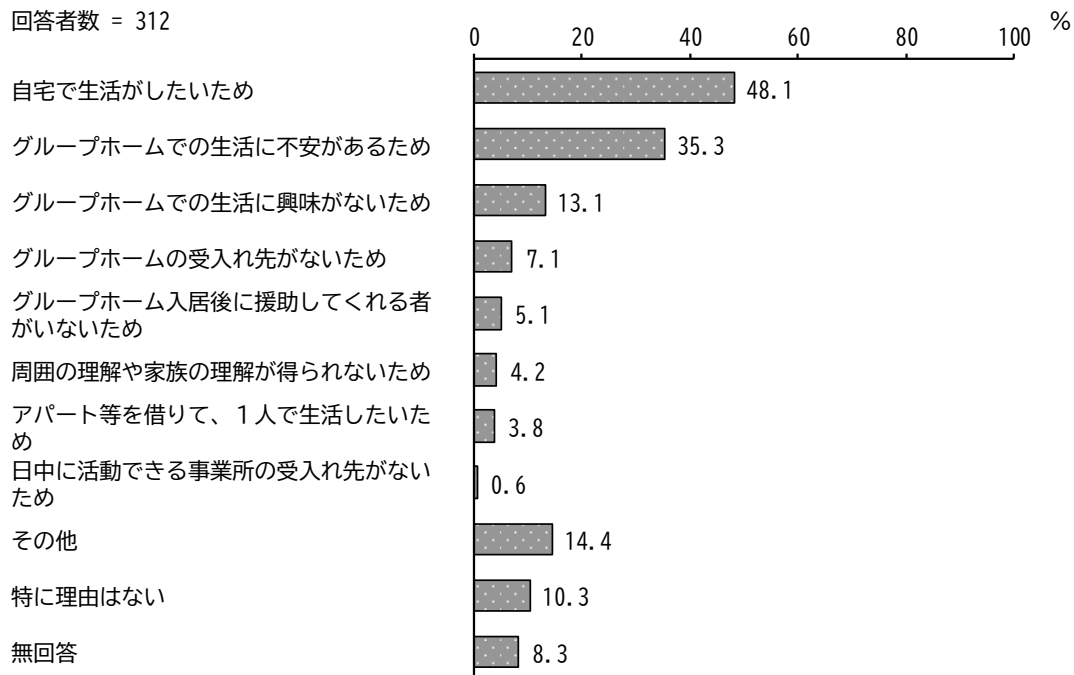
障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「どちらともいえない」の割合が、4度で「思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	思う	思わない	いどちらともいえない	無回答
全 体	442	8.1	41.6	29.0	21.3
1度	4	—	25.0	50.0	25.0
2度	96	15.6	26.0	44.8	13.5
3度	106	5.7	40.6	28.3	25.5
4度	219	5.9	50.2	23.3	20.5

問 27 (問 26 で「思わない」か「どちらともいえない」に○をつけた方のみお答えください。) グループホームに住んでみたいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「自宅で生活がしたいため」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「グループホームでの生活に不安があるため」の割合が 35.3%、「グループホームでの生活に興味がないため」の割合が 13.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「自宅で生活がしたいため」「グループホームでの生活に不安があるため」「グループホームでの生活に興味がないため」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自宅で生活がしたいため	グループホームでの生活に不安があるため	グループホームでの生活に興味がないため	グループホームの受入れ先がないため	グループホーム入居後に援助してくれる者がいないため	周囲の理解や家族の理解が得られないため	アパート等を借りて、1人で生活したいため	日中に活動できる事業所の受入れ先がないため	その他	特に理由はない	無回答
全体	312	48.1	35.3	13.1	7.1	5.1	4.2	3.8	0.6	14.4	10.3	8.3
18歳未満	97	26.8	24.7	6.2	5.2	5.2	4.1	1.0	2.1	27.8	13.4	13.4
18～39歳	126	65.1	45.2	21.4	7.9	5.6	5.6	4.0	—	10.3	7.1	2.4
40～64歳	68	45.6	29.4	11.8	7.4	1.5	2.9	7.4	—	4.4	10.3	13.2
65歳以上	17	41.2	41.2	—	5.9	17.6	—	—	—	11.8	17.6	5.9

## 【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、4度で「自宅で生活がしたいため」「グループホームでの生活に興味がないため」の割合が高くなっています。

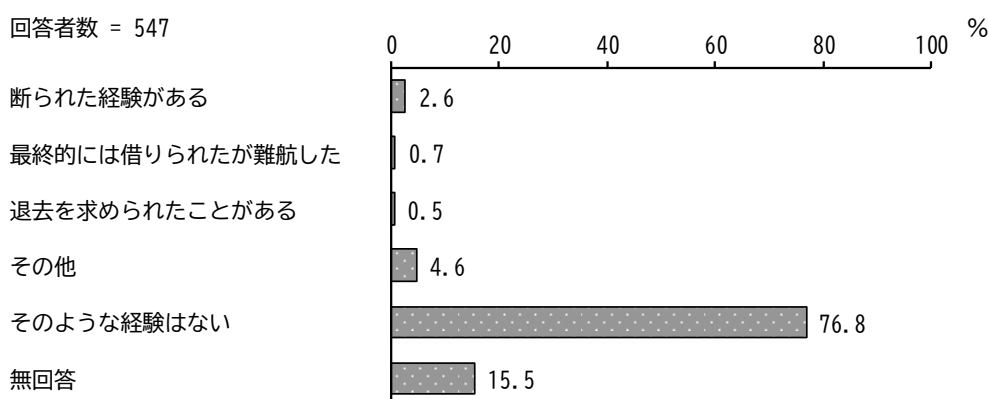
単位：%

区分	回答者数(件)	自宅で生活がしたいため	グループホームでの生活に不安があるため	グループホームでの生活に興味がないため	グループホームの受入れ先がないため	グループホーム入居後に援助してくれる者がいないため	周囲の理解や家族の理解が得られないため	アパート等を借りて、1人で生活したいため	日中に活動できる事業所の受入れ先がないため	その他	特に理由はない	無回答
全体	312	48.1	35.3	13.1	7.1	5.1	4.2	3.8	0.6	14.4	10.3	8.3
1度	3	33.3	33.3	—	33.3	33.3	—	—	—	—	—	33.3
2度	68	33.8	36.8	2.9	16.2	13.2	1.5	—	1.5	19.1	13.2	10.3
3度	73	43.8	31.5	6.8	5.5	4.1	8.2	—	1.4	21.9	8.2	11.0
4度	161	56.5	37.3	21.1	3.7	1.2	3.7	7.5	—	9.9	9.3	5.6

問28 あなた、またはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいを理由に断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「そのような経験はない」の割合が76.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 547



II 調査結果 知的障がい者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満や18～39歳で「そのような経験はない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	断られた経験がある	最終的には借りられたが難航した	退去を求められたことがある	その他	そのような経験はない	無回答
全体	547	2.6	0.7	0.5	4.6	76.8	15.5
18歳未満	134	2.2	—	—	6.7	85.1	6.0
18～39歳	195	2.1	—	—	3.1	82.1	12.8
40～64歳	150	2.7	1.3	2.0	5.3	69.3	21.3
65歳以上	53	3.8	1.9	—	1.9	69.8	24.5

【障がいの程度別】

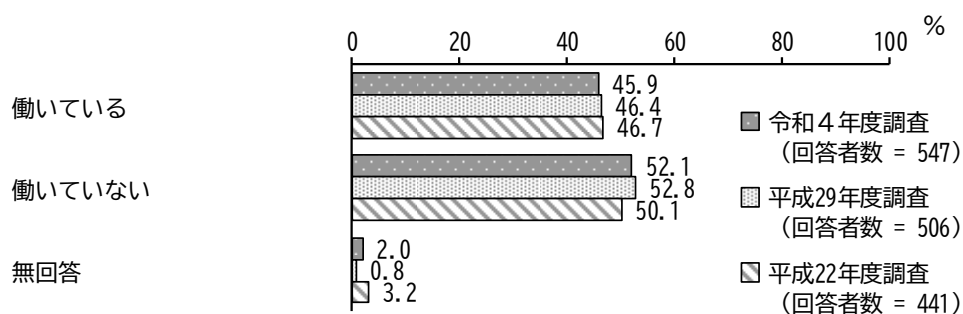
障がいの程度別にみると、他に比べ、4度で「そのような経験はない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	断られた経験がある	最終的には借りられたが難航した	退去を求められたことがある	その他	そのような経験はない	無回答
全体	547	2.6	0.7	0.5	4.6	76.8	15.5
1度	5	20.0	—	—	—	40.0	40.0
2度	120	1.7	—	—	5.8	75.0	17.5
3度	128	3.9	1.6	—	7.0	73.4	15.6
4度	272	1.8	0.4	1.1	2.9	81.3	13.2

問 29 あなたは、現在、働いていますか。(○は1つ)

「働いている」の割合が45.9%、「働いていない」の割合が52.1%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「働いていない」の割合が、18～39歳で「働いている」の割合が、65歳以上で「働いていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	働いている	働いていない	無回答
全 体	547	45.9	52.1	2.0
18歳未満	134	1.5	98.5	—
18～39歳	195	69.2	30.3	0.5
40～64歳	150	60.7	34.7	4.7
65歳以上	53	26.4	69.8	3.8

II 調査結果 知的障がい者

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「働いていない」の割合が、4度で「働いている」の割合が高くなっています。

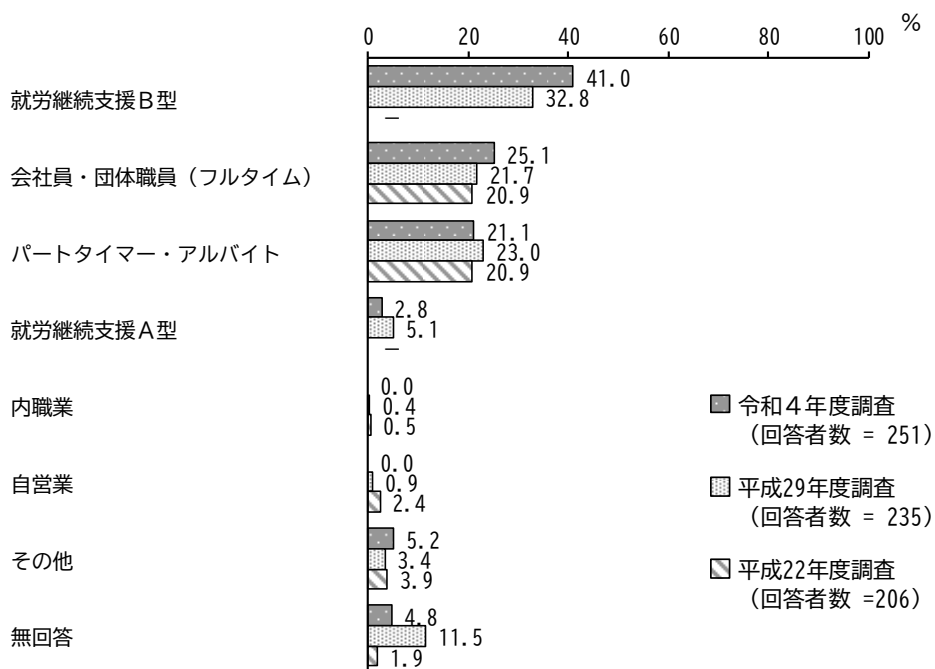
単位：%

区分	回答者数(件)	働いている	働いていない	無回答
全 体	547	45.9	52.1	2.0
1 度	5	20.0	60.0	20.0
2 度	120	25.0	74.2	0.8
3 度	128	43.8	52.3	3.9
4 度	272	57.4	41.5	1.1



問 30 (問 29 で「働いている」に○をつけた方のみお答えください。) それは次のうちのどの仕事ですか。(○は1つ)

「就労継続支援B型」の割合が41.0%と最も高く、次いで「会社員・団体職員(フルタイム)」の割合が25.1%、「パートタイマー・アルバイト」の割合が21.1%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、「就労継続支援B型」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「就労継続支援B型」の割合が、18～39歳で「会社員・団体職員(フルタイム)」の割合が、40～64歳で「就労継続支援B型」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	就労継続支援B型	会社員・団体職員(フルタイム)	パートタイマー・アルバイト	就労継続支援A型	内職業	自営業	その他	無回答
全体	251	41.0	25.1	21.1	2.8	-	-	5.2	4.8
18歳未満	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-
18～39歳	135	28.1	39.3	23.0	3.0	-	-	5.2	1.5
40～64歳	91	53.8	11.0	20.9	1.1	-	-	5.5	7.7
65歳以上	14	85.7	-	-	7.1	-	-	-	7.1

II 調査結果 知的障がい者

【障がいの程度別】

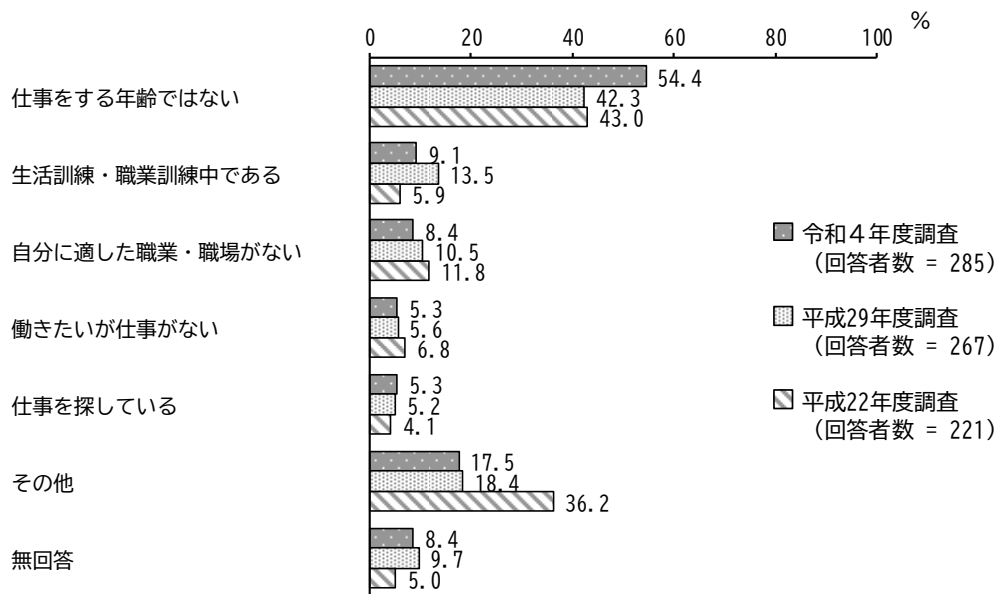
障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「就労継続支援B型」の割合が、3度で「就労継続支援B型」の割合が、4度で「会社員・団体職員（フルタイム）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	就労継続支援B型	会社員・団体職員 (フルタイム)	パートタイマー・アルバイト	就労継続支援A型	内職業	自営業	その他	無回答
全体	251	41.0	25.1	21.1	2.8	—	—	5.2	4.8
1度	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—
2度	30	76.7	3.3	6.7	—	—	—	6.7	6.7
3度	56	62.5	19.6	7.1	1.8	—	—	1.8	7.1
4度	156	27.6	32.1	27.6	3.8	—	—	5.8	3.2

問31 (問29で「働いていない」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「仕事をする年齢ではない」の割合が54.4%と最も高くなっています。  
平成29年度調査と比較すると、「仕事をする年齢ではない」の割合が増加しています。



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「仕事をする年齢ではない」の割合が、18～39歳で「生活訓練・職業訓練中である」の割合が、65歳以上で「仕事をする年齢ではない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事をする年齢ではない	生活訓練・職業訓練中である	自分に適した職業・職場がない	働きたいが仕事がない	仕事を探している	その他	無回答
全体	285	54.4	9.1	8.4	5.3	5.3	17.5	8.4
18歳未満	132	89.4	—	—	—	0.8	6.1	3.8
18～39歳	59	8.5	30.5	18.6	10.2	18.6	30.5	10.2
40～64歳	52	19.2	15.4	21.2	13.5	5.8	26.9	11.5
65歳以上	37	59.5	—	2.7	—	—	24.3	13.5

## 【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、3度や4度で「仕事をする年齢ではない」の割合が高くなっています。

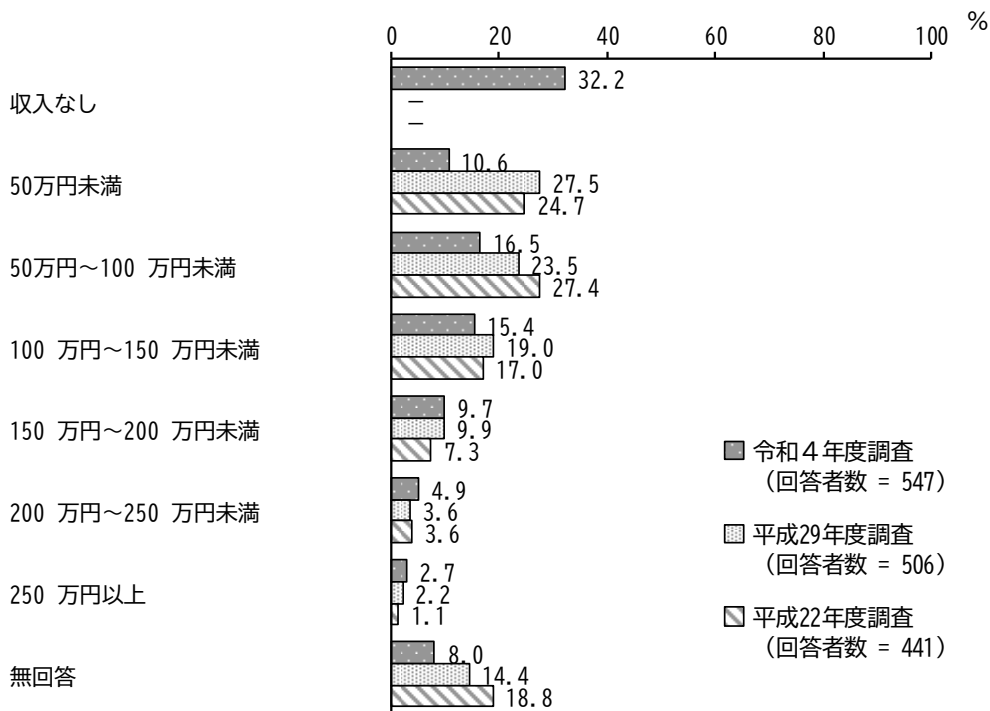
単位：％

区分	回答者数(件)	仕事をする年齢ではない	生活訓練・職業訓練中である	自分に適した職業・職場がない	働きたいが仕事がない	仕事を探している	その他	無回答
全体	285	54.4	9.1	8.4	5.3	5.3	17.5	8.4
1度	3	33.3	—	—	—	—	33.3	33.3
2度	89	41.6	14.6	10.1	—	—	23.6	11.2
3度	67	67.2	7.5	9.0	4.5	4.5	16.4	3.0
4度	113	61.9	7.1	6.2	8.8	9.7	12.4	5.3

問 32 あなたの令和3年中の年収（賃金・年金・手当等のすべての合計）は、税込みでいくらでしたか。（〇は1つ）

「収入なし」の割合が32.2%と最も高く、次いで「50万円～100万円未満」の割合が16.5%、「100万円～150万円未満」の割合が15.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「50万円未満」「50万円～100万円未満」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「収入なし」の割合が、65歳以上で「50万円～100万円未満」の割合が、40～64歳で「50万円未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	収入なし	50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～250万円未満	250万円以上	無回答
全体	547	32.2	10.6	16.5	15.4	9.7	4.9	2.7	8.0
18歳未満	134	88.8	6.0	1.5	0.7	0.7	-	-	2.2
18～39歳	195	14.4	7.2	20.0	19.5	16.9	8.7	5.1	8.2
40～64歳	150	14.7	18.0	20.0	20.0	10.0	6.7	2.0	8.7
65歳以上	53	11.3	15.1	28.3	20.8	5.7	-	3.8	15.1

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「収入なし」の割合が高くなっています。

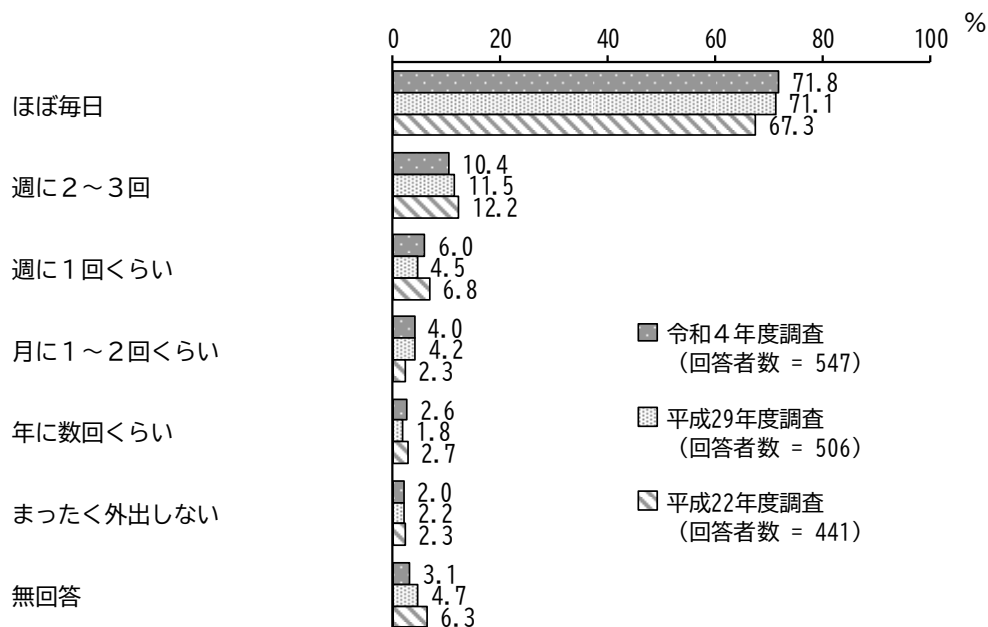
単位：％

区分	回答者数(件)	収入なし	50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～250万円未満	250万円以上	無回答
全体	547	32.2	10.6	16.5	15.4	9.7	4.9	2.7	8.0
1度	5	40.0	20.0	20.0	20.0	—	—	—	—
2度	120	41.7	8.3	10.0	16.7	10.8	3.3	0.8	8.3
3度	128	34.4	12.5	21.1	13.3	7.0	1.6	3.9	6.3
4度	272	28.7	10.3	16.5	15.1	11.4	7.7	3.3	7.0

問33 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出) (○は1つ)

「ほぼ毎日」の割合が71.8%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が10.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



II 調査結果 知的障がい者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「ほぼ毎日」の割合が、40～64歳で「週に2～3回」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回くらい	年に数回くらい	まったく外出しない	無回答
全体	547	71.8	10.4	6.0	4.0	2.6	2.0	3.1
18歳未満	134	94.0	1.5	1.5	1.5	0.7	—	0.7
18～39歳	195	70.8	11.8	6.2	5.6	2.6	0.5	2.6
40～64歳	150	63.3	16.0	8.7	2.7	2.0	1.3	6.0
65歳以上	53	47.2	15.1	5.7	7.5	7.5	15.1	1.9

【障がいの程度別】

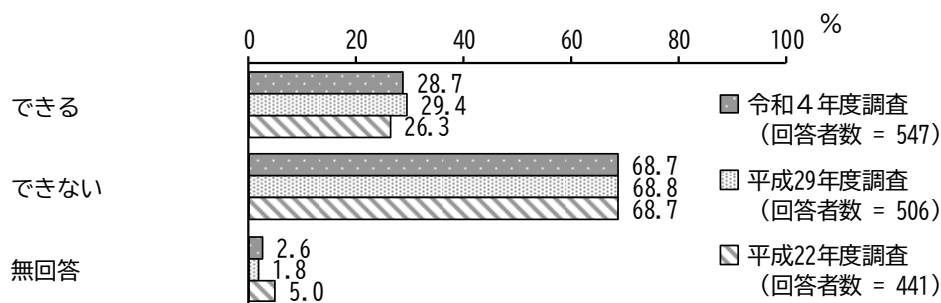
障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回くらい	年に数回くらい	まったく外出しない	無回答
全体	547	71.8	10.4	6.0	4.0	2.6	2.0	3.1
1度	5	40.0	20.0	—	—	—	20.0	20.0
2度	120	80.8	2.5	5.0	2.5	2.5	1.7	5.0
3度	128	73.4	9.4	5.5	3.9	3.1	1.6	3.1
4度	272	69.5	13.6	6.6	4.8	2.6	1.5	1.5

問 34 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。(○は1つ)

「できる」の割合が28.7%、「できない」の割合が68.7%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「できない」の割合が、18～39歳で「できる」の割合が、65歳以上で「できない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できる	できない	無回答
全 体	547	28.7	68.7	2.6
18歳未満	134	11.9	88.1	—
18～39歳	195	39.0	59.0	2.1
40～64歳	150	32.0	63.3	4.7
65歳以上	53	20.8	75.5	3.8

【障がいの程度別】

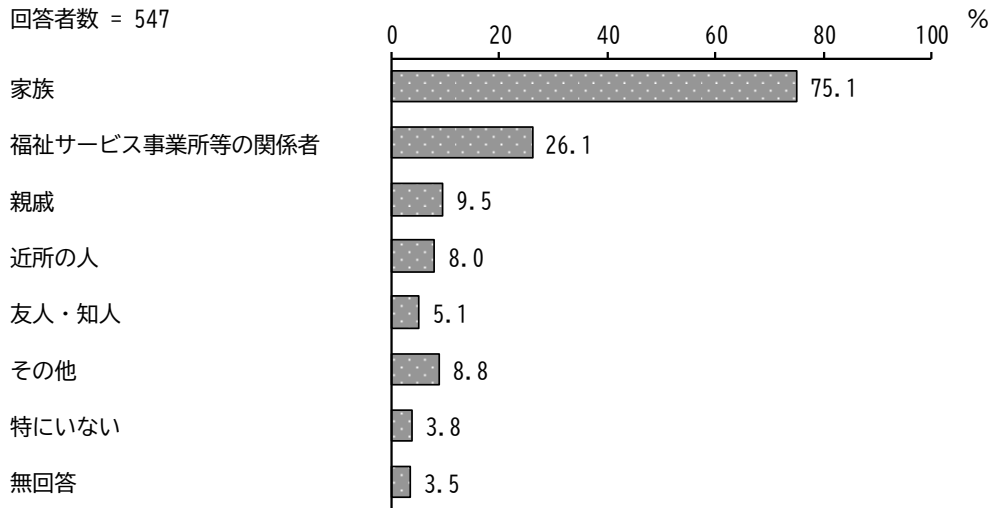
障がいの程度別にみると、他に比べ、2度や3度で「できない」の割合が、4度で「できる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できる	できない	無回答
全 体	547	28.7	68.7	2.6
1度	5	—	80.0	20.0
2度	120	0.8	98.3	0.8
3度	128	10.2	87.5	2.3
4度	272	48.9	48.5	2.6

問 35 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「福祉サービス事業所等の関係者」の割合が 26.1%となっています。



【避難の可否別】

避難の可否別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族	福祉サービス事業所等の関係者	親戚	近所の人	友人・知人	その他	特にいない	無回答
全体	547	75.1	26.1	9.5	8.0	5.1	8.8	3.8	3.5
できる	157	69.4	18.5	12.1	10.2	8.3	5.7	8.3	3.2
できない	376	79.8	29.8	8.8	7.2	4.0	10.4	2.1	0.8



問 36 知的障がい者に関するサービス、施設等の利用状況について、お伺いします。項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～40について各々○は1つ)

『4 計画相談支援(サービス等利用計画の作成)』で「現在利用している」の割合が、『26 たんぽぽセンター(心身障害者福祉センター)』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

『13 デイサービス』『31 グループホーム』『32 荒川区保健所』で「知っている」の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

区分	回答者数(件)	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない	無回答
1 ホームヘルプサービス	547	4.2	4.6	27.6	48.4	15.2
2 ガイドヘルパーの派遣	547	11.5	7.1	21.8	46.1	13.5
3 ショートステイ(短期入所)	547	5.3	12.4	37.1	32.9	12.2
4 計画相談支援(サービス等利用計画の作成)	547	39.1	5.7	14.4	29.4	11.3
5 地域移行支援(入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援)	547	1.8	1.6	17.6	65.4	13.5
6 地域定着支援(地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	547	1.3	0.4	19.0	65.1	14.3
7 児童発達支援	547	6.8	13.9	15.5	49.2	14.6
8 医療型児童発達支援	547	0.2	2.6	13.7	67.5	16.1
9 放課後等デイサービス	547	16.3	8.0	22.1	39.5	14.1
10 保育所等訪問支援	547	0.7	2.9	15.4	64.9	16.1
11 居宅訪問型児童発達支援	547	-	0.9	13.7	68.0	17.4
12 障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	547	11.0	6.2	16.8	49.5	16.5
13 デイサービス	547	4.0	4.9	41.7	34.7	14.6
14 緊急一時保護	547	0.4	3.7	33.5	47.7	14.8
15 日中一時支援サービス	547	4.6	4.0	24.7	51.4	15.4
16 施設入浴	547	2.7	3.8	28.7	50.6	14.1
17 日常生活用具の給付	547	0.7	1.1	22.9	60.5	14.8
18 補装具の交付、修理	547	3.1	2.9	21.0	58.9	14.1
19 紙おむつ等の給付	547	7.7	1.6	23.9	52.8	13.9
20 避難行動要支援者登録事業(避難行動要支援者個別支援計画等)	547	5.1	1.8	28.0	50.1	15.0

(次のページへ)

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない	無回答
21 就学相談・教育相談	547	4.0	23.6	21.8	36.2	14.4
22 成年後見人制度	547	2.6	0.4	42.2	41.9	13.0
23 地域福祉権利擁護事業（あんしんサポート）	547	2.0	2.7	21.8	58.7	14.8
24 コミュニティバス乗車券の支給	547	14.3	6.6	23.0	42.0	14.1
25 アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	547	10.6	19.6	33.8	24.5	11.5
26 たんぽぽセンター（心身障害者福祉センター）	547	4.2	31.4	28.5	24.5	11.3
27 地域活動支援センター（スクラムあらかわ）	547	7.7	9.0	27.4	43.3	12.6
28 精神障害者地域生活支援センター・アゼリア	547	0.4	3.1	21.0	61.4	14.1
29 荒川区精神障がい者相談支援事業所・コンパス	547	0.2	0.5	11.9	73.7	13.7
30 荒川区障害者基幹相談支援センター	547	1.1	0.7	13.5	69.1	15.5
31 グループホーム	547	13.2	1.5	43.0	30.9	11.5
32 荒川区保健所	547	4.0	26.7	42.2	14.1	13.0
33 就労移行支援・就労継続支援（福祉作業所）	547	14.4	6.6	38.2	28.0	12.8
34 生活介護施設（生活実習所等）	547	8.6	1.3	34.6	41.7	13.9
35 東京都心身障害者福祉センター	547	1.6	11.0	34.6	39.3	13.5
36 東京都障害者総合スポーツセンター	547	1.8	15.2	28.7	40.8	13.5
37 ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	547	1.1	11.3	36.0	38.6	13.0
38 じょぶあらかわ（就労支援センター）	547	7.7	8.6	28.3	42.4	13.0
39 東京都障害者休養ホーム	547	0.5	2.0	10.2	73.9	13.3
40 荒川区子ども家庭総合センター	547	2.0	8.4	19.6	56.7	13.3

（前ページの表 続き）

〈平成 29 年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない	無回答
1 ホームヘルプサービス	506	8.3	3.4	32.4	42.9	13.0
2 ガイドヘルパーの派遣	506	16.2	4.3	25.1	42.3	12.1
3 ショートステイ（短期入所）	506	8.5	10.7	35.0	32.6	13.2
4 計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	506	30.6	4.7	13.0	37.2	14.4
5 地域移行支援（入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援）	506	1.6	0.8	19.2	64.0	14.4
6 地域定着支援（地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	506	1.2	0.4	17.6	66.2	14.6
7 児童発達支援	506	2.4	7.3	15.2	55.7	19.4
8 医療型児童発達支援	506	1.2	1.0	13.4	67.0	17.4
9 放課後等デイサービス	506	9.7	3.4	24.1	46.4	16.4
10 保育所等訪問支援	506	0.2	1.0	13.0	67.6	18.2
11 居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
12 障害児相談支援（障害児支援利用計画の作成）	506	7.9	4.2	18.6	51.4	18.0
13 デイサービス	506	4.2	3.4	38.7	36.4	17.4
14 緊急一時保護	506	1.0	5.3	31.8	46.0	15.8
15 日中一時支援サービス	506	4.9	4.0	23.7	50.4	17.0
16 施設入浴	506	3.2	3.0	28.5	49.0	16.4
17 日常生活用具の給付	506	3.2	3.0	20.0	57.1	16.8
18 補装具の交付、修理	506	4.2	4.0	20.9	55.1	15.8
19 紙おむつ等の給付	506	10.3	1.6	22.9	50.2	15.0
20 避難行動要支援者登録事業 （避難行動要支援者個別支援計画等）	—	—	—	—	—	—

(次のページへ)

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない	無回答
21 就学相談・教育相談	506	3.8	17.4	22.7	37.9	18.2
22 成年後見人制度	506	0.0	0.2	41.5	40.5	17.8
23 地域福祉権利擁護事業（あんしんサポート）	506	0.0	0.4	23.7	58.7	17.2
24 コミュニティバス乗車券の支給	506	16.2	3.4	21.9	43.9	14.6
25 アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	506	12.1	17.8	33.4	24.7	12.1
26 たんぽぽセンター（心身障害者福祉センター）	506	4.7	25.7	29.8	26.1	13.6
27 地域活動支援センター（スクラムあらかわ）	506	10.3	7.5	24.5	45.3	12.5
28 精神障害者地域生活支援センター・アゼリア	506	1.2	2.0	18.6	63.4	14.8
29 荒川区精神障がい者相談支援事業所・コンパス	506	0.8	0.0	5.3	78.9	15.0
30 荒川区障害者基幹相談支援センター	—	—	—	—	—	—
31 グループホーム	506	0.0	0.8	39.3	35.8	24.1
32 荒川区保健所	506	6.7	22.9	38.7	16.8	14.8
33 就労移行支援・就労継続支援（福祉作業所）	506	0.2	5.1	34.0	33.4	27.3
34 生活介護施設（生活実習所等）	506	0.0	0.8	32.4	42.9	23.9
35 東京都心身障害者福祉センター	506	1.8	17.4	30.6	35.8	14.4
36 東京都障害者総合スポーツセンター	506	4.3	18.8	29.1	34.4	13.4
37 ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	506	2.2	10.9	35.8	37.2	14.0
38 じょぶあらかわ（就労支援センター）	506	10.1	8.1	24.5	43.7	13.6
39 東京都障害者休養ホーム	506	0.4	3.0	11.5	69.6	15.6
40 荒川区子ども家庭総合センター	—	—	—	—	—	—

（前ページの表 続き）

〈平成 22 年度調査〉

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない	無回答
1 ホームヘルプサービス	441	8.4	2.7	30.8	37.4	20.6
2 ガイドヘルパーの派遣	441	15.2	3.4	27.7	34.0	19.7
3 ショートステイ（短期入所）	441	2.7	7.0	32.9	34.5	22.9
4 計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	—	—	—	—	—	—
5 地域移行支援（入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援）	—	—	—	—	—	—
6 地域定着支援（地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	—	—	—	—	—	—
7 児童発達支援	—	—	—	—	—	—
8 医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
9 放課後等デイサービス	—	—	—	—	—	—
10 保育所等訪問支援	—	—	—	—	—	—
11 居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
12 障害児相談支援（障害児支援利用計画の作成）	—	—	—	—	—	—
13 デイサービス	441	4.3	1.8	32.9	35.6	25.4
14 緊急一時保護	441	1.8	12.0	27.4	37.2	21.5
15 日中一時支援サービス	441	5.4	2.7	16.6	50.3	24.9
16 施設入浴	441	—	—	—	—	—
17 日常生活用具の給付	441	3.4	2.0	16.3	52.6	25.6
18 補装具の交付、修理	441	5.4	4.1	15.2	50.3	24.9
19 紙おむつ等の給付	441	9.3	0.7	19.5	44.9	25.6
20 避難行動要支援者登録事業 （避難行動要支援者個別支援計画等）	441	—	—	—	—	—

(次のページへ)

II 調査結果 知的障がい者

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用 したことがある	知 っている	知 らない	無 回答
21 就学相談・教育相談	441	1.8	18.4	22.2	31.7	25.9
22 成年後見人制度	441	2.9	0.2	31.1	46.5	19.3
23 地域福祉権利擁護事業（あんしんサポート）	441	0.2	0.2	8.4	69.2	22.0
24 コミュニティバス乗車券の支給	441	12.5	4.5	18.4	43.5	21.1
25 アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	441	7.7	20.9	30.2	22.9	18.4
26 たんぽぽセンター（心身障害者福祉センター）	441	8.4	23.1	28.8	22.0	17.7
27 地域活動支援センター（スクラムあらかわ）	441	—	—	—	—	—
28 精神障害者地域生活支援センター・アゼリア	441	0.5	0.9	17.9	58.0	22.7
29 荒川区精神障がい者相談支援事業所・コンパス	—	—	—	—	—	—
30 荒川区障害者基幹相談支援センター	—	—	—	—	—	—
31 グループホーム・ケアホーム	441	7.7	0.9	30.6	40.4	20.4
32 荒川区保健所	441	3.9	24.3	41.7	11.8	18.4
33 福祉作業所	441	16.6	5.0	42.2	17.7	18.6
34 生活介護施設（生活実習所等）	441	9.1	1.4	32.4	36.1	21.1
35 東京都心身障害者福祉センター	441	1.4	18.1	31.5	28.8	20.2
36 東京都障害者総合スポーツセンター	441	5.2	19.7	24.5	27.9	22.7
37 ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	441	2.7	10.4	30.8	35.1	20.9
38 じょぶあらかわ（就労支援センター）	441	9.5	4.1	22.7	42.9	20.9
39 東京都障害者休養ホーム	441	0.0	4.5	10.2	62.4	22.9
40 荒川区子ども家庭総合センター	—	—	—	—	—	—

（前ページの表 続き）

【障がいの程度別】（「現在利用している」と「利用したことがある」を合わせた表）

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「計画相談支援（サービス等利用計画の作成）」「シヨートステイ（短期入所）」「ガイドヘルパーの派遣」「荒川区保健所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	ホームヘルプサービス	ガイドヘルパーの派遣	シヨートステイ（短期入所）	計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	地域移行支援（入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援）	地域定着支援（地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	児童発達支援	医療型児童発達支援
1度	5	5	—	—	60.0	60.0	—	—	20.0
2度	120	15.0	40.0	39.2	77.5	4.2	1.7	32.5	7.5
3度	128	7.0	19.5	16.4	48.4	3.1	0.8	24.2	1.6
4度	272	7.0	10.3	8.8	30.9	3.7	2.2	15.4	1.1

区分	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援	障害児相談支援（障害児支援利用計画の作成）	デイサービス	緊急一時保護	日中一時支援サービス	施設入浴	日常生活用具の給付
1度	40.0	—	—	20.0	20.0	—	20.0	—	—
2度	44.2	5.0	0.8	27.5	10.0	12.5	25.8	10.0	3.3
3度	29.7	3.9	1.6	21.1	13.3	3.1	6.3	9.4	2.3
4度	14.7	3.3	0.7	12.1	6.6	1.1	2.6	3.7	1.1

区分	補装具の交付、修理	紙おむつ等の給付	避難行動要支援者登録事業（避難行動要支援者個別支援計画等）	就学相談・教育相談	成年後見人制度	地域福祉権利擁護事業（あんしんサポート）	コミュニティバス乗車券の支給	アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	たんぽぽセンター（心身障害者福祉センター）
1度	40.0	40.0	—	20.0	20.0	—	20.0	—	—
2度	9.2	30.8	15.0	40.8	2.5	4.2	28.3	50.8	54.2
3度	5.5	4.7	3.9	29.7	5.5	6.3	20.3	35.9	39.1
4度	4.8	1.8	5.5	23.2	1.5	4.0	19.1	20.6	27.9

（次のページへ）

単位：%

区分	地域活動支援センター (スクラムあらかわ)	精神障害者地域生活支援 センター・アゼリア	荒川区精神障がい者相談 支援事業所・コンパス	荒川区障害者基幹相談支 援センター	グループホーム	荒川区保健所	就労移行支援・就労継続 支援(福祉作業所)	生活介護施設(生活実習 所等)	東京都心身障害者福祉セ ンター
1度	20.0	—	—	—	—	20.0	—	20.0	—
2度	37.5	1.7	0.8	1.7	20.8	48.3	16.7	35.8	24.2
3度	19.5	3.1	0.8	2.3	18.0	32.0	29.7	3.1	8.6
4度	7.0	4.4	0.7	1.8	11.8	24.6	21.0	2.2	10.7

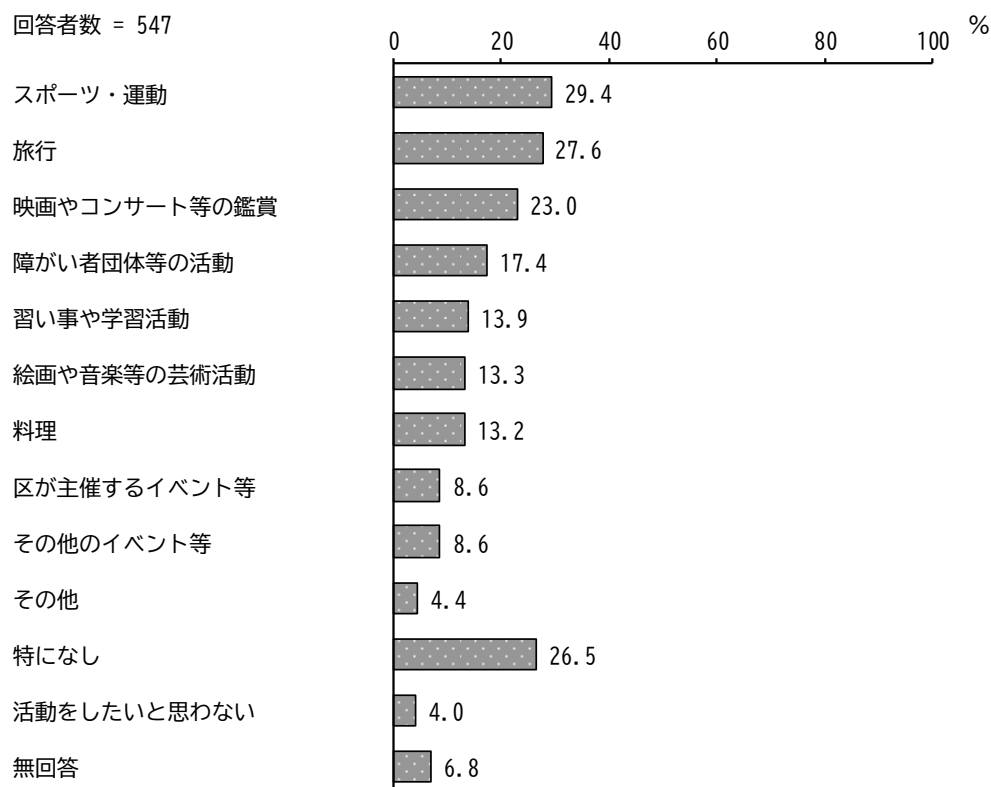
区分	東京都障害者総合スポー ツセンター	ハローワーク足立(足立 公共職業安定所)	じよぶあらかわ(就労支 援センター)	東京都障害者休養ホーム	荒川区子ども家庭総合セ ンター
1度	20.0	—	—	—	—
2度	34.2	1.7	1.7	5.0	13.3
3度	13.3	7.8	13.3	3.1	14.1
4度	12.5	20.2	24.6	1.5	8.5

(前ページの表 続き)



問 37 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「スポーツ・運動」の割合が29.4%と最も高く、次いで「旅行」の割合が27.6%、「特になし」の割合が26.5%となっています。



II 調査結果 知的障がい者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「旅行」「習い事や学習活動」「スポーツ・運動」の割合が高くなっています。

年齢が上がるにつれて、「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	スポーツ・運動	旅行	映画やコンサート等の鑑賞	障がい者団体等の活動	習い事や学習活動	絵画や音楽等の芸術活動	料理	区が主催するイベント等	その他のイベント等	その他	特になし	活動をしたと思わない	無回答
全体	547	29.4	27.6	23.0	17.4	13.9	13.3	13.2	8.6	8.6	4.4	26.5	4.0	6.8
18歳未満	134	47.8	50.7	26.1	14.2	34.3	19.4	15.7	6.0	10.4	2.2	21.6	—	2.2
18～39歳	195	29.7	28.2	27.2	17.4	8.7	11.8	19.0	9.7	7.2	4.1	27.7	3.1	3.6
40～64歳	150	21.3	15.3	19.3	24.0	8.0	11.3	8.7	12.0	11.3	6.7	25.3	6.0	8.7
65歳以上	53	11.3	7.5	11.3	9.4	—	9.4	1.9	3.8	1.9	3.8	39.6	13.2	15.1

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「スポーツ・運動」「障がい者団体等の活動」の割合が、3度で「障がい者団体等の活動」の割合が、4度で「映画やコンサート等の鑑賞」の割合が高くなっています。

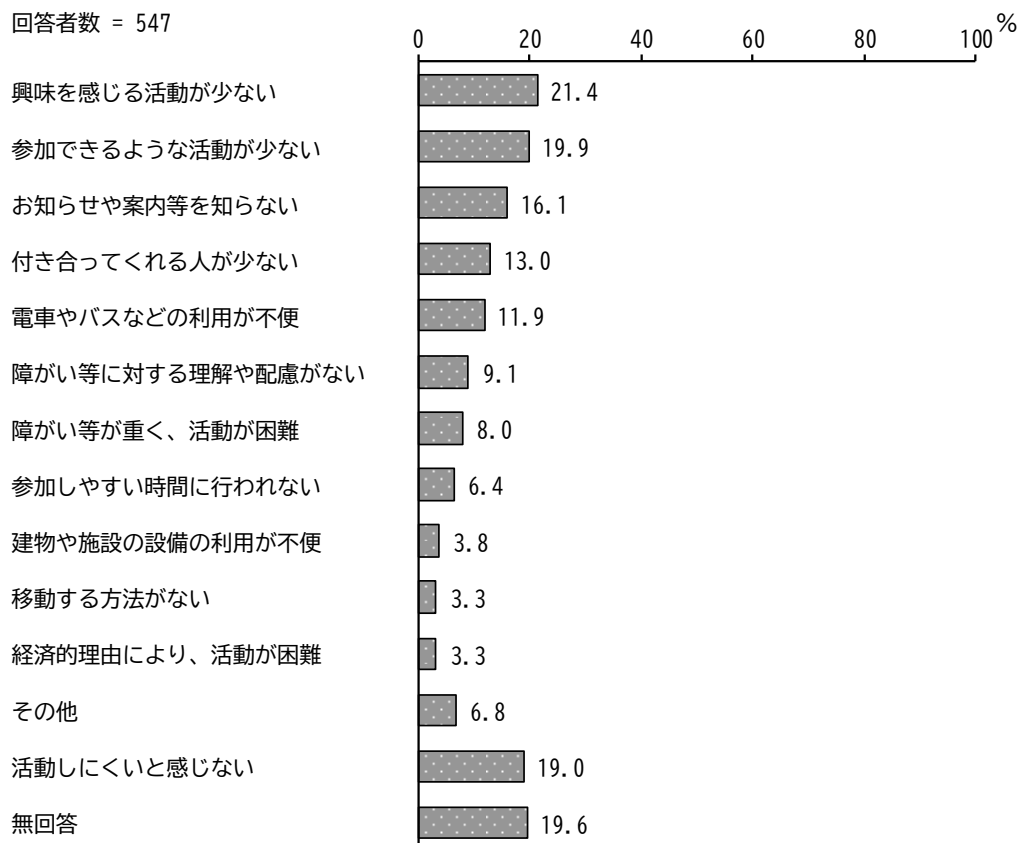
単位：％

区分	回答者数(件)	スポーツ・運動	旅行	映画やコンサート等の鑑賞	障がい者団体等の活動	習い事や学習活動	絵画や音楽等の芸術活動	料理	区が主催するイベント等	その他のイベント等	その他	特になし	活動をしたと思わない	無回答
全体	547	29.4	27.6	23.0	17.4	13.9	13.3	13.2	8.6	8.6	4.4	26.5	4.0	6.8
1度	5	20.0	20.0	—	20.0	—	40.0	—	—	—	20.0	—	—	20.0
2度	120	35.8	30.0	10.8	23.3	11.7	15.0	10.0	10.0	9.2	4.2	27.5	2.5	6.7
3度	128	29.7	28.9	23.4	23.4	15.6	14.1	7.0	11.7	7.8	5.5	25.8	3.1	4.7
4度	272	27.9	27.2	29.0	12.9	15.1	12.5	18.4	7.4	9.2	3.7	27.2	5.1	5.1

問 38 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

「興味を感じる活動が少ない」の割合が21.4%と最も高く、次いで「参加できるような活動が少ない」の割合が19.9%、「活動しにくいと感じない」の割合が19.0%となっています。

回答者数 = 547



II 調査結果 知的障がい者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「電車やバスなどの利用が不便」「お知らせや案内等を知らない」「参加できるような活動が少ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	興味を感じる活動が少ない	参加できるような活動が少ない	お知らせや案内等を知らない	付き合ってくれる人が少ない	電車やバスなどの利用が不便	障がい等に対する理解や配慮がない	障がい等が重く、活動が困難	参加しやすい時間に行われない	建物や施設の設備の利用が不便	移動する方法がない	経済的理由により、活動が困難	その他	活動しにくいと感じない	無回答
全体	547	21.4	19.9	16.1	13.0	11.9	9.1	8.0	6.4	3.8	3.3	3.3	6.8	19.0	19.6
18歳未満	134	17.2	26.9	23.9	8.2	20.1	12.7	8.2	8.2	5.2	2.2	3.7	5.2	19.4	10.4
18～39歳	195	26.2	19.0	16.4	18.5	10.3	12.3	8.2	8.7	4.1	3.1	3.1	8.2	21.0	13.8
40～64歳	150	20.7	18.0	11.3	9.3	7.3	4.0	6.7	4.0	1.3	2.0	3.3	7.3	18.0	27.3
65歳以上	53	17.0	11.3	11.3	15.1	7.5	3.8	11.3	—	5.7	7.5	3.8	5.7	15.1	35.8

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「参加できるような活動が少ない」の割合が、4度で「活動しにくいと感じない」の割合が、3度で「電車やバスなどの利用が不便」の割合が高くなっています。

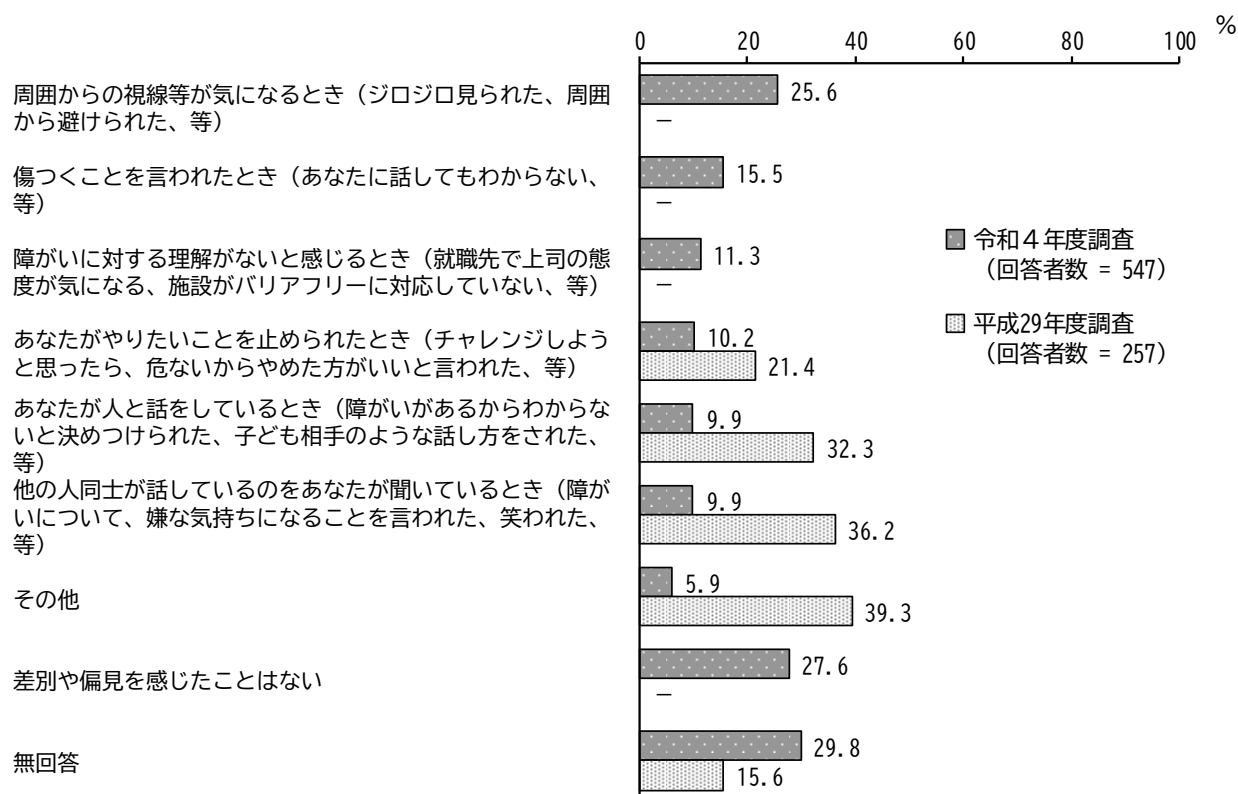
単位：%

区分	回答者数(件)	興味を感じる活動が少ない	参加できるような活動が少ない	お知らせや案内等を知らない	付き合ってくれる人が少ない	電車やバスなどの利用が不便	障がい等に対する理解や配慮がない	障がい等が重く、活動が困難	参加しやすい時間に行われない	建物や施設の設備の利用が不便	移動する方法がない	経済的理由により、活動が困難	その他	活動しにくいと感じない	無回答
全体	547	21.4	19.9	16.1	13.0	11.9	9.1	8.0	6.4	3.8	3.3	3.3	6.8	19.0	19.6
1度	5	—	20.0	20.0	—	—	—	20.0	—	—	—	—	—	—	60.0
2度	120	19.2	29.2	19.2	10.8	15.8	15.0	25.8	7.5	5.0	4.2	0.8	5.0	8.3	18.3
3度	128	21.1	23.4	11.7	14.1	17.2	7.8	3.1	7.0	3.1	2.3	3.1	7.0	15.6	20.3
4度	272	23.2	15.1	16.9	13.2	7.0	7.0	2.6	5.9	2.9	2.2	4.8	8.1	26.1	17.6

問 39 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。）（○はいくつでも）また差し支えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください。

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」の割合が 25.6%、「傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）」の割合が 15.5%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「あなたが人と話をしているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）」「他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）」「あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等）」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」「障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）	傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）	障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等）	あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったり、危ないからやめた方がいいと言われた、等）
全 体	547	25.6	15.5	11.3	10.2
18歳未満	134	32.8	20.1	16.4	14.9
18～39歳	195	26.7	19.5	13.8	11.8
40～64歳	150	21.3	10.7	8.0	8.0
65歳以上	53	20.8	7.5	1.9	1.9

区分	あなたが人と話しているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）	他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）	その他	差別や偏見を感じたことはない	無回答
全 体	9.9	9.9	5.9	27.6	29.8
18歳未満	10.4	10.4	9.7	26.9	17.2
18～39歳	11.8	10.8	6.2	27.2	28.2
40～64歳	10.0	10.7	2.0	29.3	35.3
65歳以上	3.8	5.7	5.7	28.3	41.5

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」の割合が、4度で「差別や偏見を感じたことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

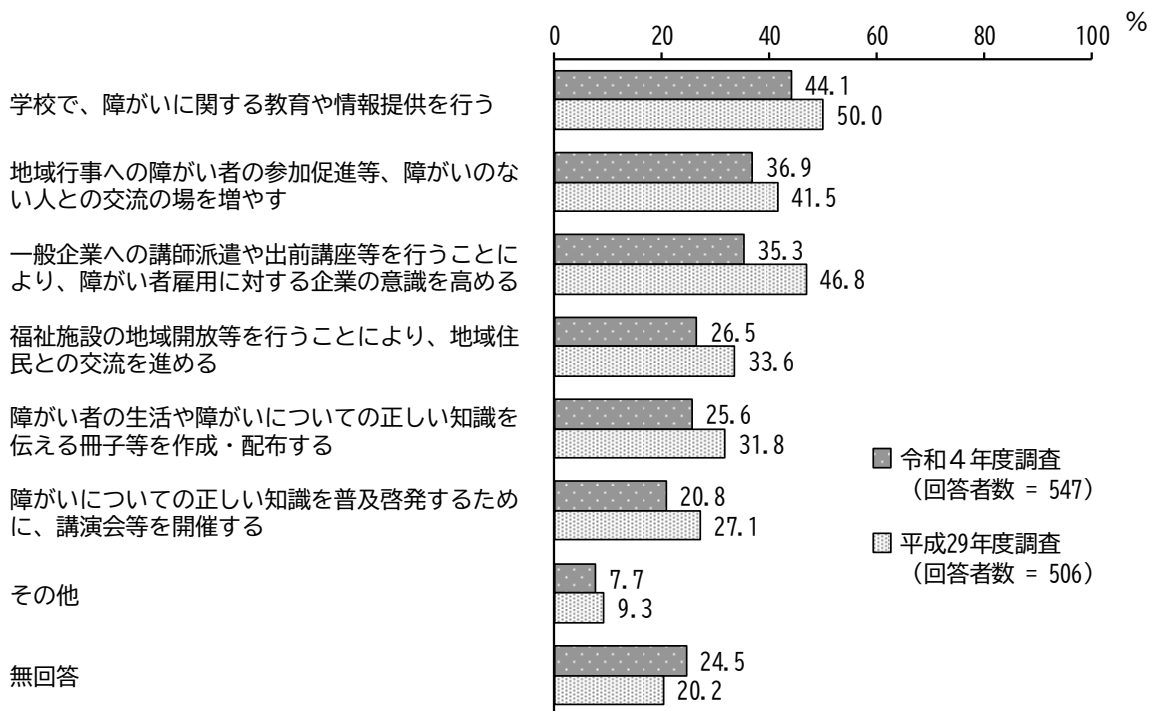
区分	回答者数(件)	周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)	傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)	障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)	あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったり、危ないからやめた方がいいと言われた、等)
全 体	547	25.6	15.5	11.3	10.2
1 度	5	20.0	20.0	20.0	20.0
2 度	120	42.5	15.8	11.7	8.3
3 度	128	30.5	18.8	13.3	7.8
4 度	272	16.9	14.7	11.0	12.5

区分	あなたが人と話しているとき(障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)	他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)	その他	差別や偏見を感じたことはない	無回答
全 体	9.9	9.9	5.9	27.6	29.8
1 度	20.0	—	—	—	60.0
2 度	5.8	5.8	10.0	12.5	25.0
3 度	10.9	10.9	4.7	24.2	34.4
4 度	11.8	11.8	4.8	37.1	26.8

問 40 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が重要だと思いますか。  
 (〇はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が 36.9%、「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が 35.3%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」「障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する」「障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する」「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が減少しています。





## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が、18～39歳で「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う	地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす	一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める	福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める	障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	その他	無回答
全体	547	44.1	36.9	35.3	26.5	25.6	20.8	7.7	24.5
18歳未満	134	67.9	35.8	42.5	23.1	32.8	21.6	10.4	14.2
18～39歳	195	44.6	36.4	45.1	26.7	25.1	23.6	9.2	21.5
40～64歳	150	32.0	39.3	24.7	28.7	24.7	18.0	4.7	30.7
65歳以上	53	18.9	35.8	15.1	30.2	11.3	15.1	3.8	39.6

II 調査結果 知的障がい者

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が、3度で「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」の割合が、4度で「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が高くなっています。

単位：%

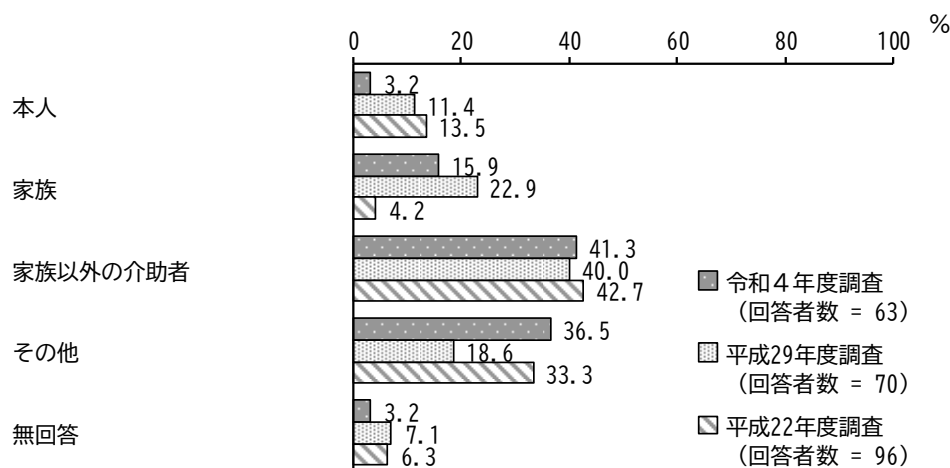
区分	回答者数(件)	学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う	地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす	一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める	福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める	障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	その他	無回答
全体	547	44.1	36.9	35.3	26.5	25.6	20.8	7.7	24.5
1度	5	60.0	20.0	20.0	—	—	—	—	40.0
2度	120	53.3	39.2	26.7	30.8	28.3	21.7	6.7	23.3
3度	128	44.5	39.8	34.4	34.4	20.3	21.1	6.3	28.9
4度	272	40.1	35.7	41.5	22.8	27.6	21.3	9.2	21.3

### 3 知的障がい者（施設入所者）調査の結果

#### 問1 この調査票を記入される方はどなたですか。（○は1つ）

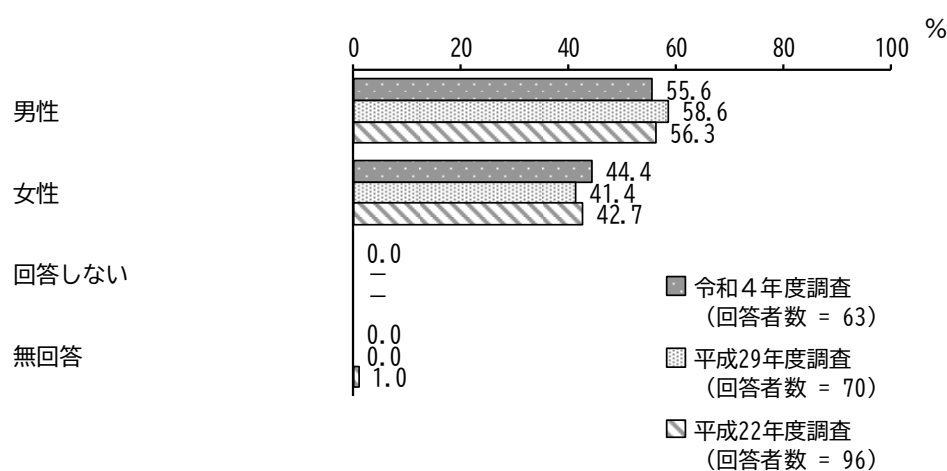
「家族以外の介助者」の割合が41.3%と最も高く、次いで「家族」の割合が15.9%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「本人」「家族」の割合が減少しています。



#### 問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

「男性」の割合が55.6%と最も高く、次いで「女性」の割合が44.4%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

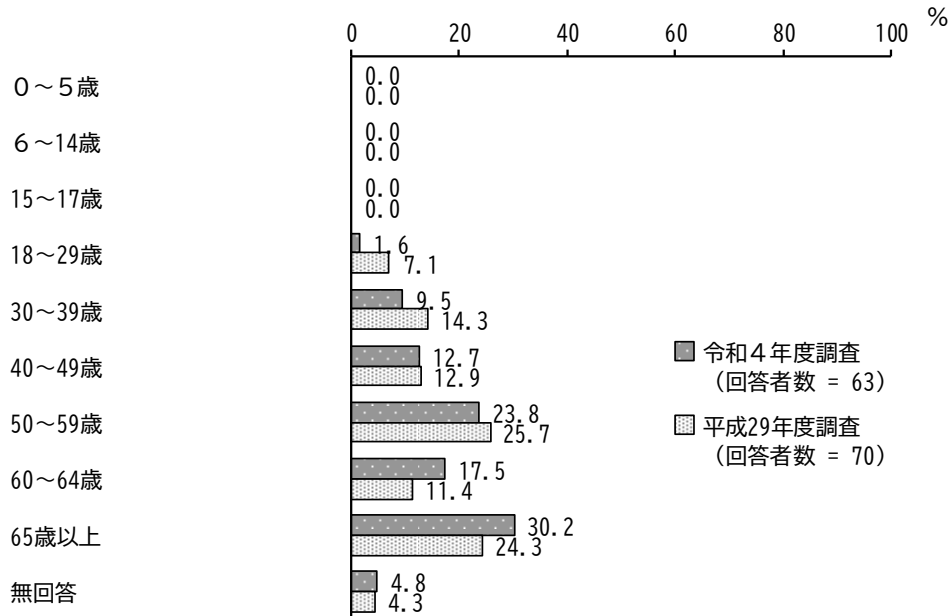


問3 あなたの年齢は令和4年4月1日現在、何歳ですか。

※平成29年度調査：平成29年4月1日現在

「65歳以上」の割合が30.2%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が23.8%、「60～64歳」の割合が17.5%となっています。

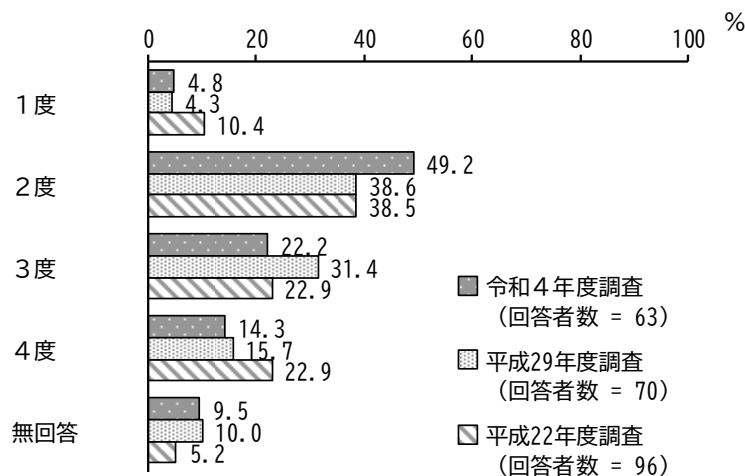
平成29年度調査と比較すると、「60～64歳」「65歳以上」の割合が増加しています。一方、「18～29歳」の割合が減少しています。



問4 あなたの「愛の手帳」に記載されている障がいの程度は、何度ですか。（〇は1つ）

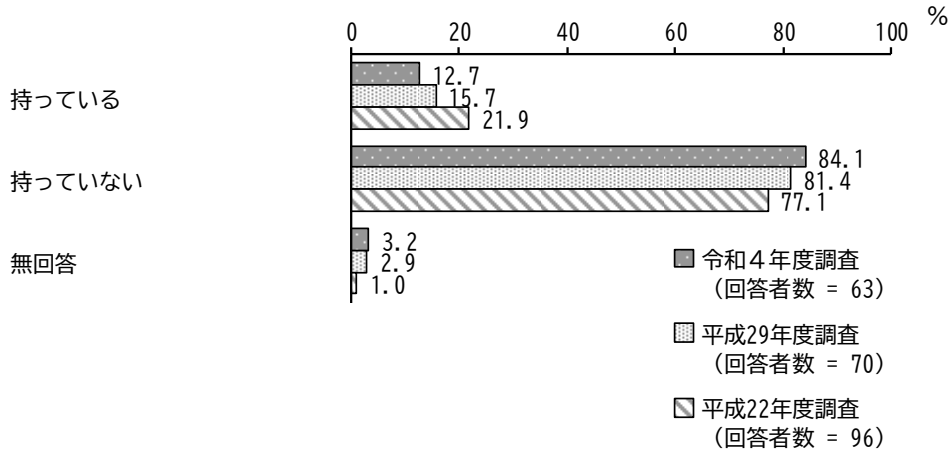
「2度」の割合が49.2%と最も高く、次いで「3度」の割合が22.2%、「4度」の割合が14.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「2度」の割合が増加しています。一方、「3度」の割合が減少しています。



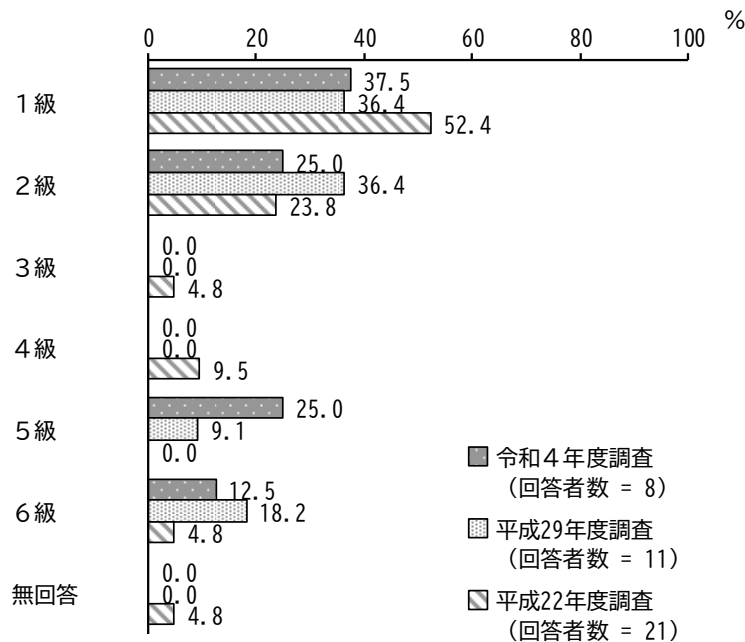
問5 あなたは「身体障害者手帳」を持っていますか。（〇は1つ）

「持っている」の割合が12.7%、「持っていない」の割合が84.1%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 （問5で「1 持っている」に〇をつけた方は次の設問の該当するものに〇をつけてください。）あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障がいの程度は総合等級の何級ですか。（〇は1つ）

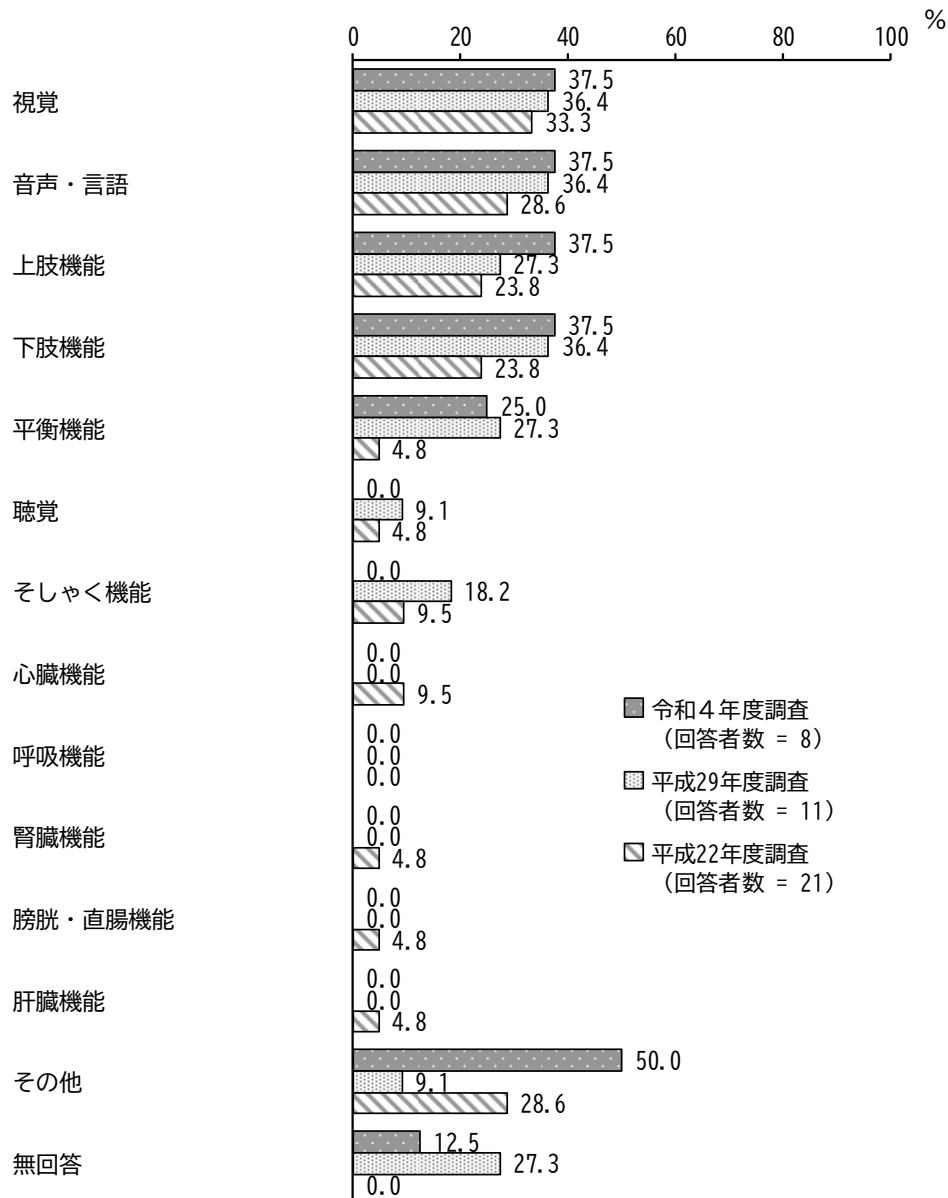
「1級」が3件となっています。「2級」、「5級」が2件となっています。  
平成29年度調査と比較すると、「5級」の割合が増加しています。一方、「2級」「6級」の割合が減少しています。



問7 あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「視覚」、「音声・言語」、「上肢機能」、「下肢機能」が3件となっています。

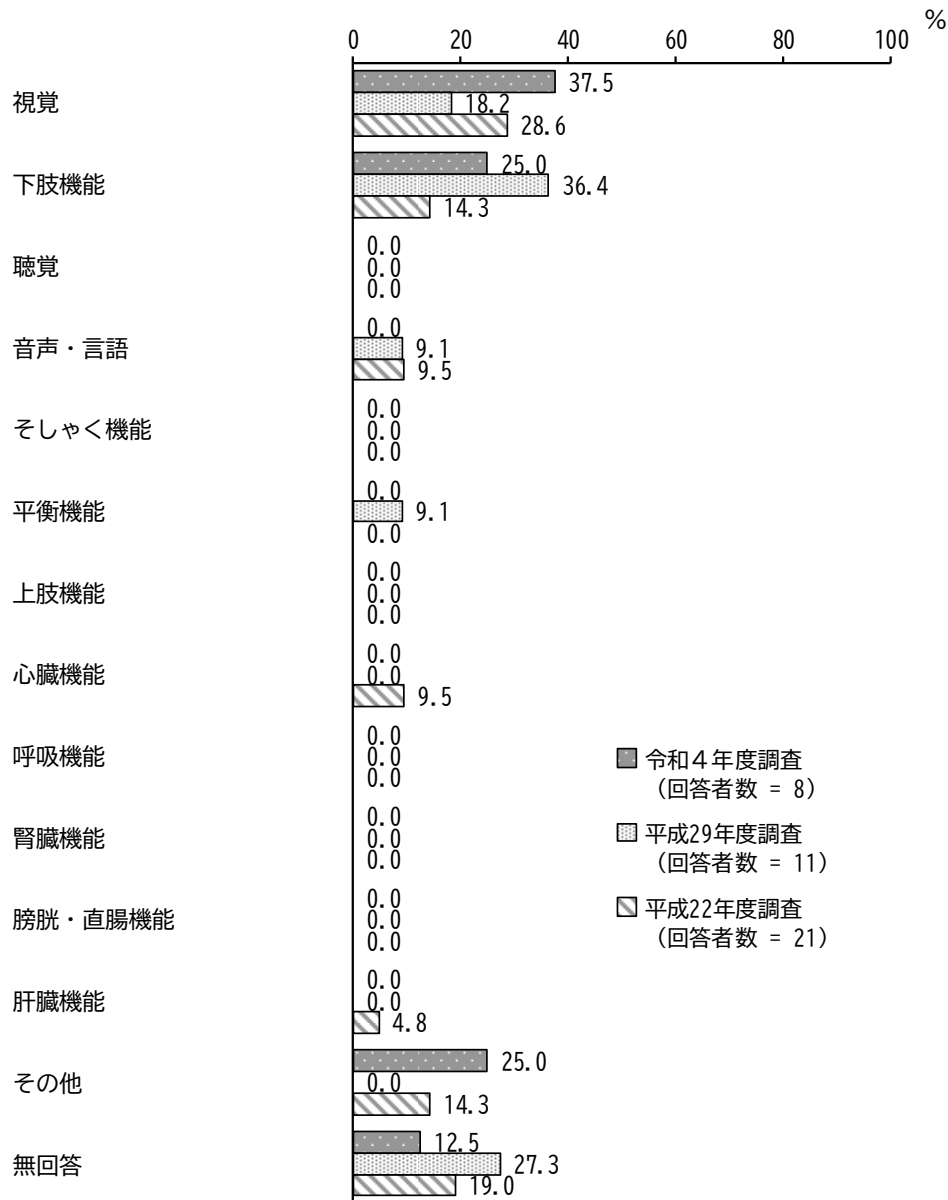
平成29年度調査と比較すると、「上肢機能」の割合が増加しています。一方、「聴覚」「そしゃく機能」の割合が減少しています。



問8 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なもの1つお答えください。（あてはまる番号を問7から1つご記入ください）

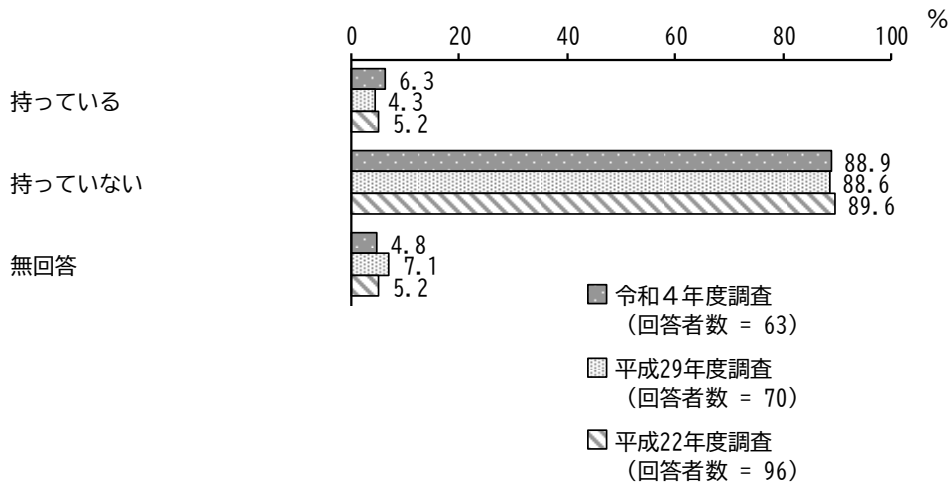
「視覚」が3件となっています。「下肢機能」が2件となっています。

平成29年度調査と比較すると、「視覚」の割合が増加しています。一方、「下肢機能」「音声・言語」「平衡機能」の割合が減少しています。



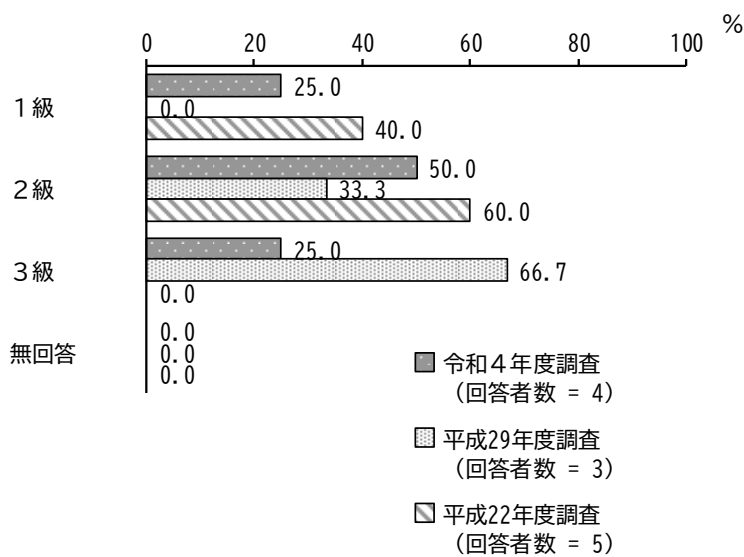
問9 あなたは、「精神障害者保健福祉手帳」を持っていますか。（○は1つ）

「持っている」の割合が6.3%、「持っていない」の割合が88.9%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問10 （問9で「1 持っている」に○をつけた方のみお答えください。）  
障がいの程度は、何級ですか。（○は1つ）

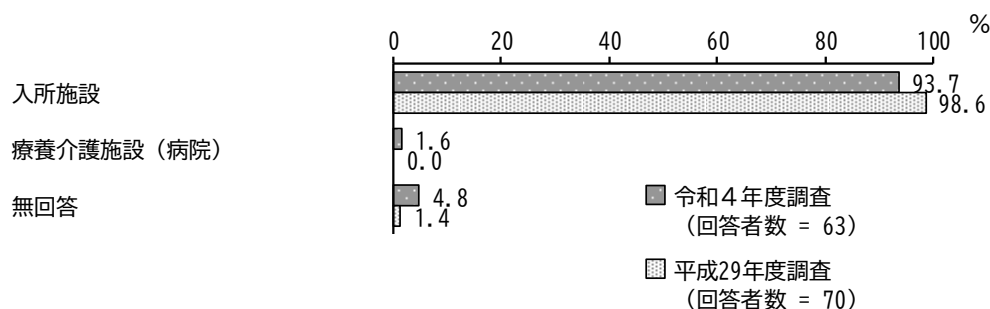
「2級」が2件となっています。「1級」、「3級」が1件となっています。  
平成29年度調査と比較すると、「1級」「2級」の割合が増加しています。一方、「3級」の割合が減少しています。





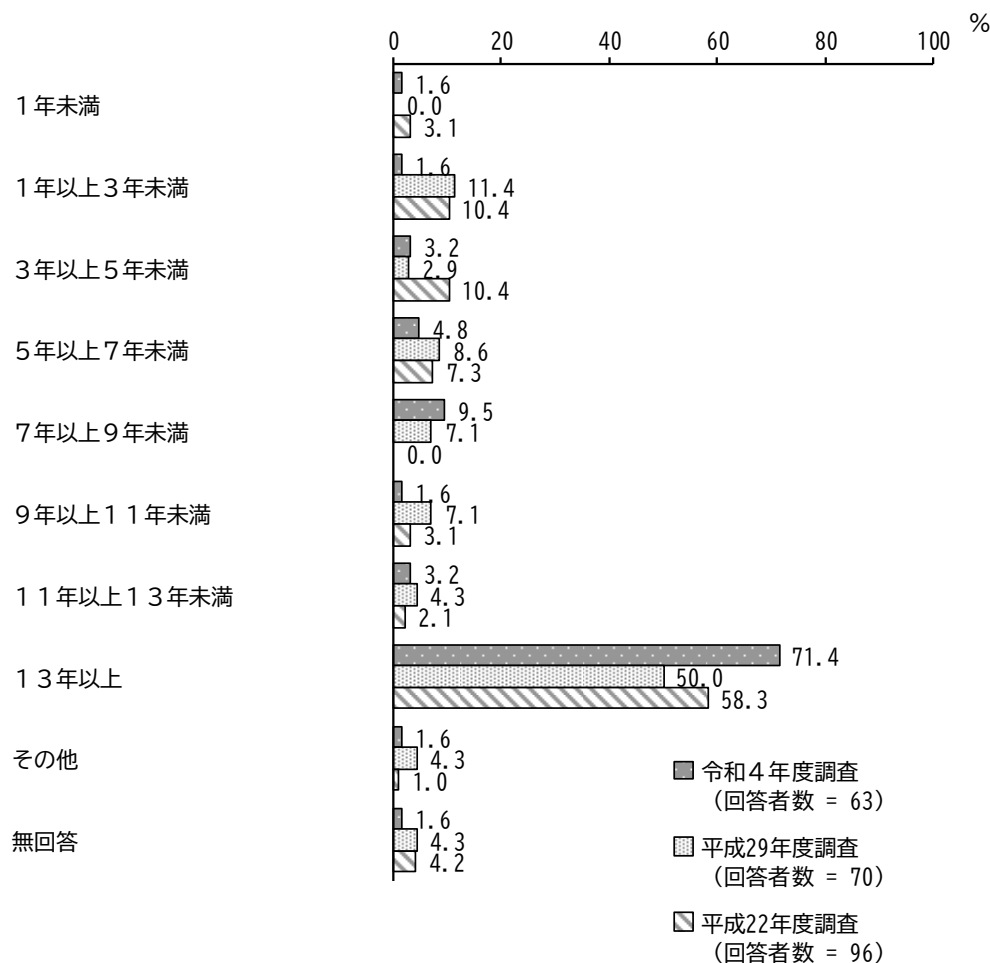
問 11 あなたが利用しているのは、どの施設ですか。（○は1つ）

「入所施設」の割合が93.7%、「療養介護施設（病院）」の割合が1.6%となっています。  
 平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



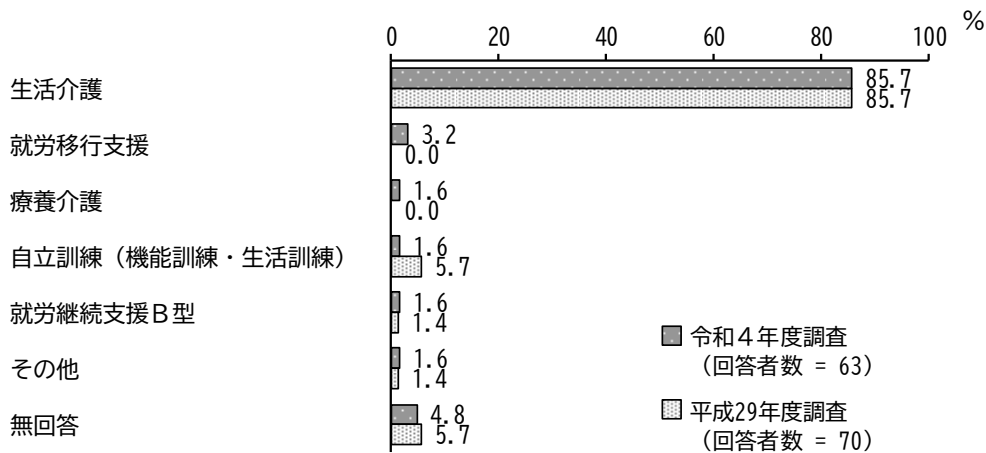
問 12 あなたがその施設を利用している年数は、どのくらいですか。（○は1つ）

「13年以上」の割合が71.4%と最も高くなっています。  
 平成29年度調査と比較すると、「13年以上」の割合が増加しています。一方、「1年以上3年未満」「9年以上11年未満」の割合が減少しています。



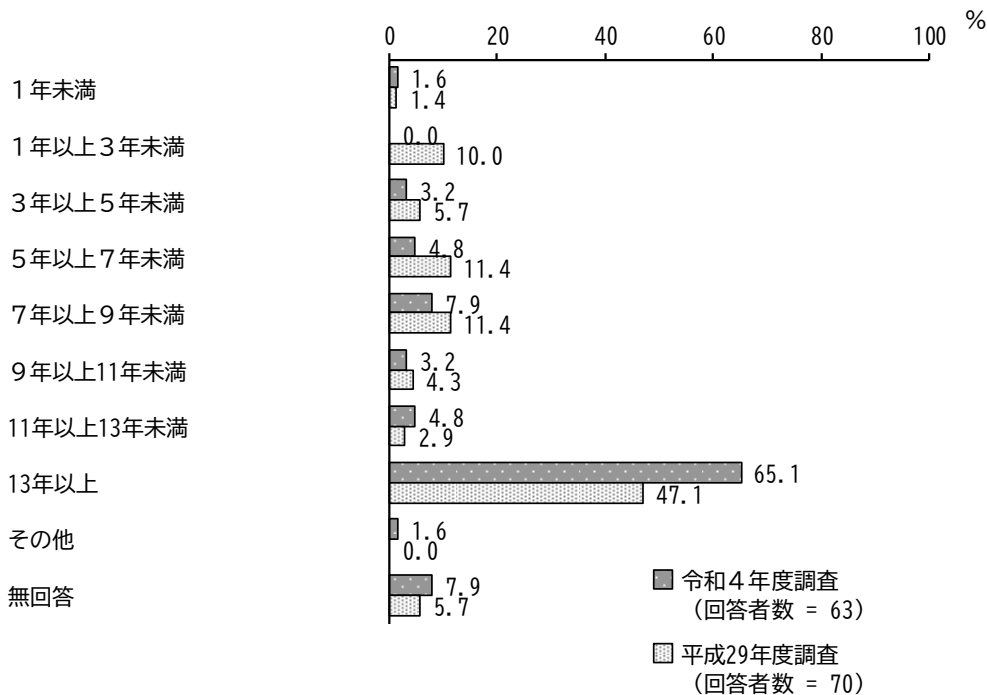
問 13 あなたが日中帯に利用しているのは、どのサービスですか。（○は1つ）

「生活介護」の割合が 85.7%と最も高くなっています。  
 平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 14 あなたが、その日中帯のサービスを利用している年数は、どのくらいですか。（○は1つ）

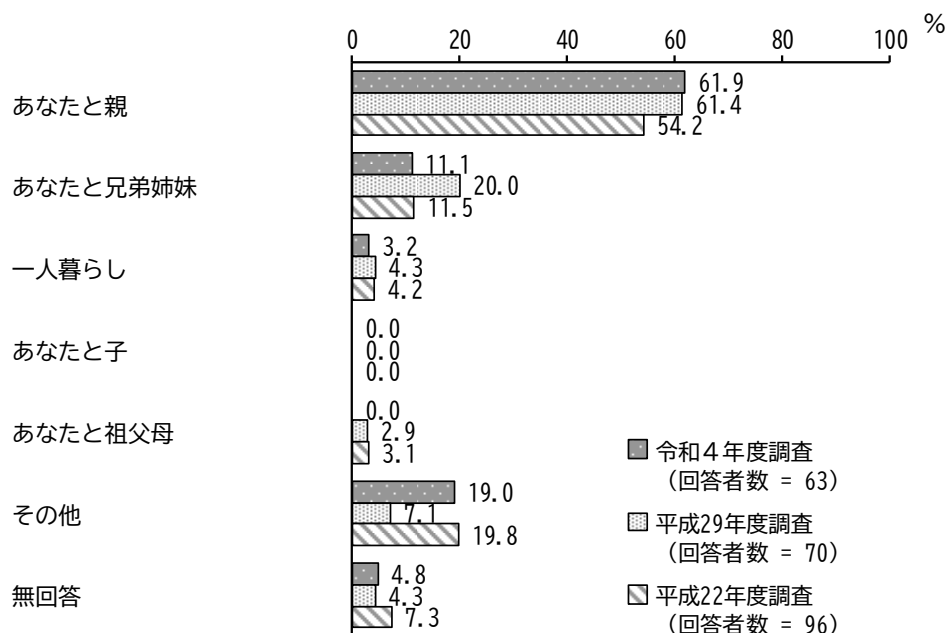
「13年以上」の割合が 65.1%と最も高くなっています。  
 平成 29 年度調査と比較すると、「13年以上」の割合が増加しています。一方、「1年以上3年未満」「5年以上7年未満」の割合が減少しています。



問 15 あなたが施設入所前に一緒に暮らしていた家族構成をお答えください。  
（○は1つ）

「あなたと親」の割合が61.9%と最も高く、次いで「あなたと兄弟姉妹」の割合が11.1%となっています。

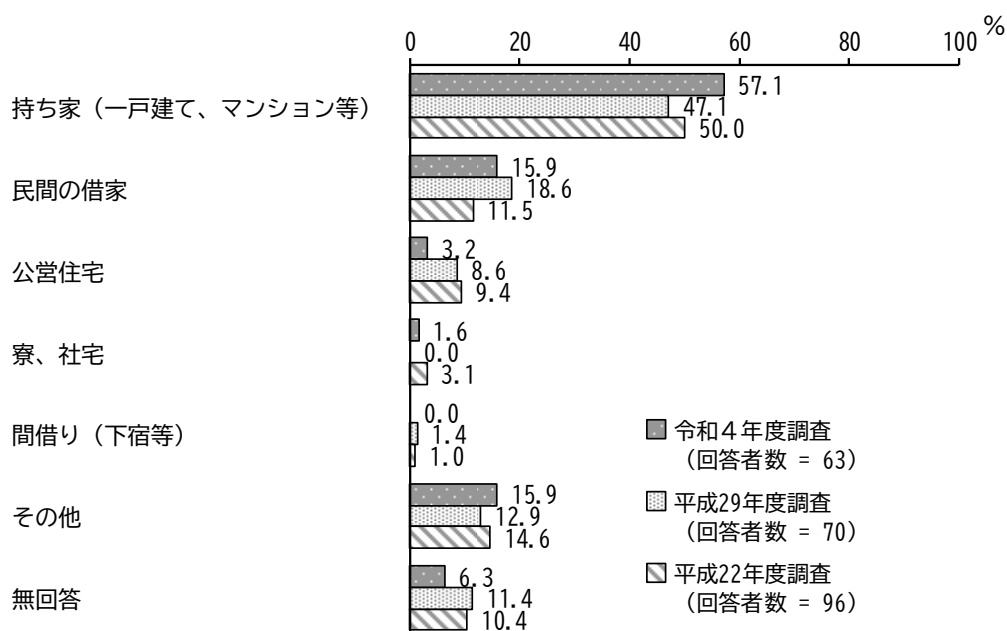
平成29年度調査と比較すると、「あなたと兄弟姉妹」の割合が減少しています。



問 16 あなたが施設入所前に暮らしていた住居形態をお答えください。（○は1つ）

「持ち家（一戸建て、マンション等）」の割合が57.1%と最も高く、次いで「民間の借家」の割合が15.9%となっています。

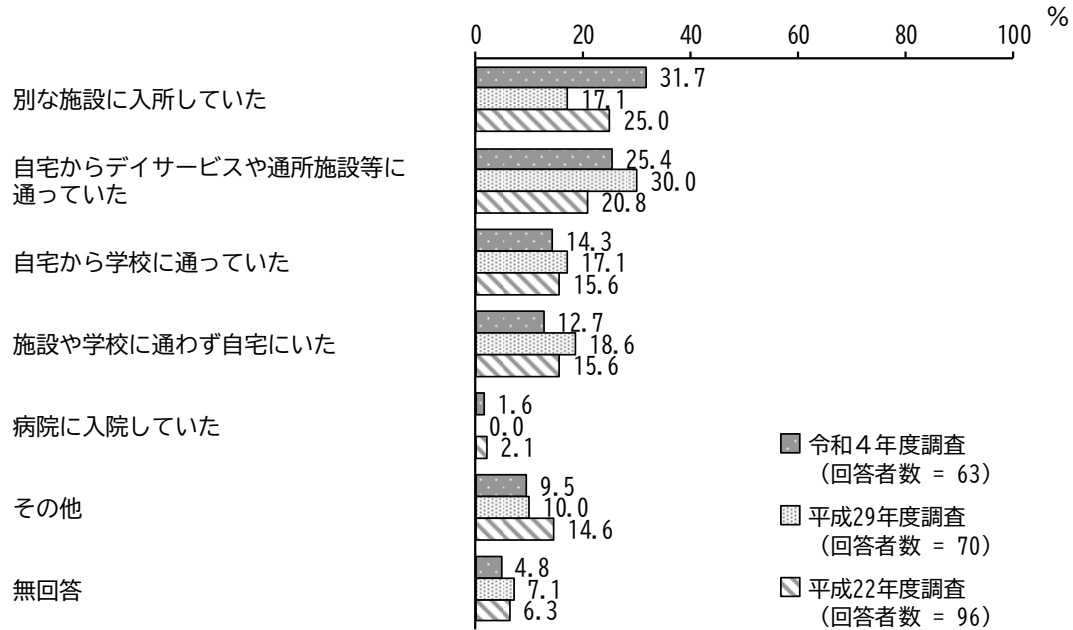
平成29年度調査と比較すると、「持ち家（一戸建て、マンション等）」の割合が増加しています。一方、「公営住宅」の割合が減少しています。



問 17 あなたが施設入所前に過ごしていた場所をお答えください。（○は1つ）

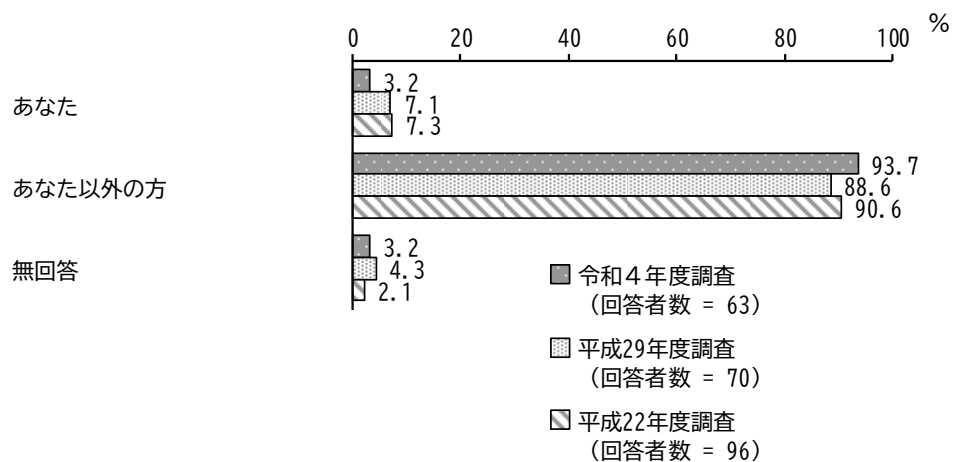
「別な施設に入所していた」の割合が31.7%と最も高く、次いで「自宅からデイサービスや通所施設等に通っていた」の割合が25.4%、「自宅から学校に通っていた」の割合が14.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「別な施設に入所していた」の割合が増加しています。一方、「施設や学校に通わず自宅にいた」の割合が減少しています。



問 18 あなたの施設入所を決めた方は誰ですか。（○は1つ）

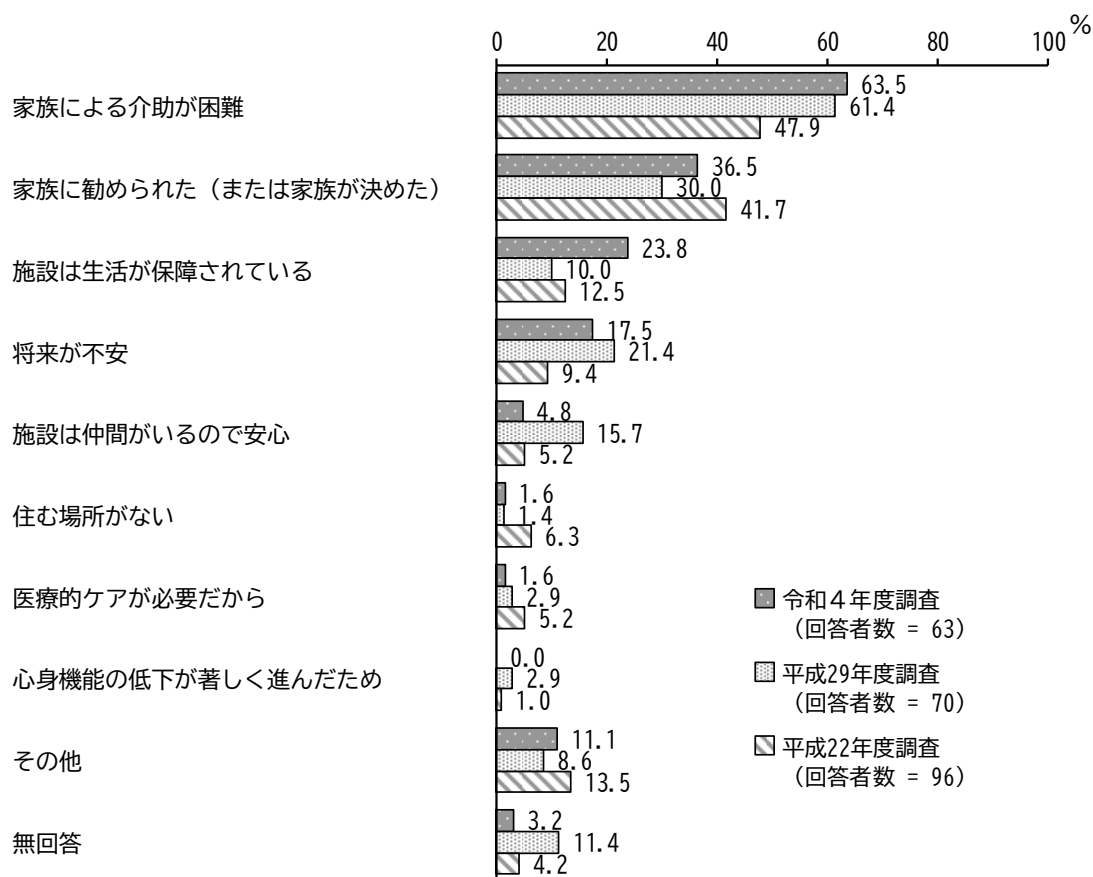
「あなた」の割合が3.2%、「あなた以外の方」の割合が93.7%となっています。平成29年度調査と比較すると、「あなた以外の方」の割合が増加しています。



## 問 19 あなたが施設入所を決めた理由は何ですか。（〇はいくつでも）

「家族による介助が困難」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「家族に勧められた（または家族が決めた）」の割合が 36.5%、「施設は生活が保障されている」の割合が 23.8%となっています。

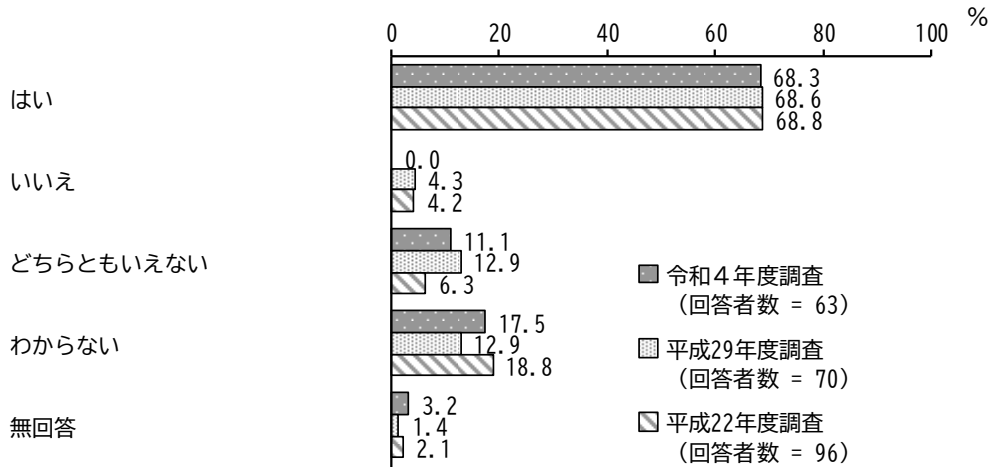
平成 29 年度調査と比較すると、「家族に勧められた（または家族が決めた）」「施設は生活が保障されている」の割合が増加しています。一方、「施設は仲間がいるので安心」の割合が減少しています。



問 20 施設では安心して生活できていますか。（○は1つ）

「はい」の割合が68.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.5%、「どちらともいえない」の割合が11.1%となっています。

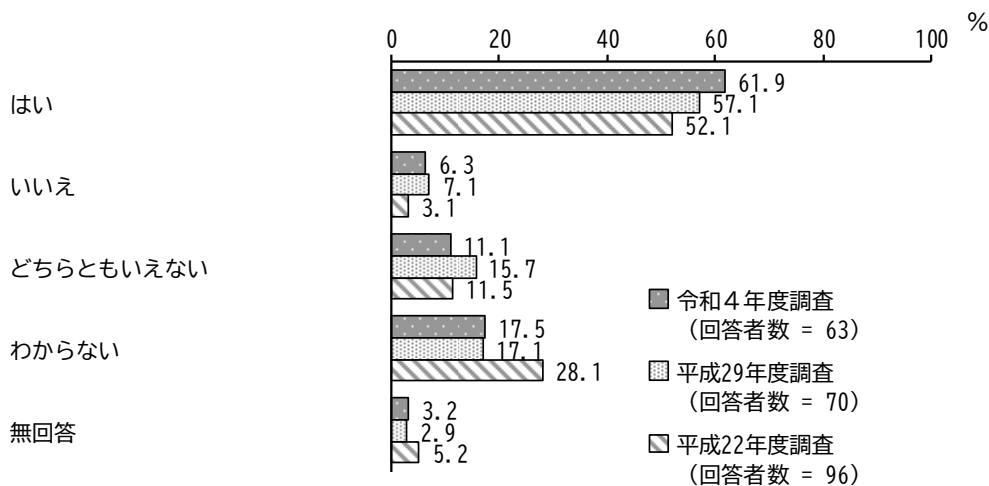
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21 施設では、利用者のプライバシーは守られていると思いますか。（○は1つ）

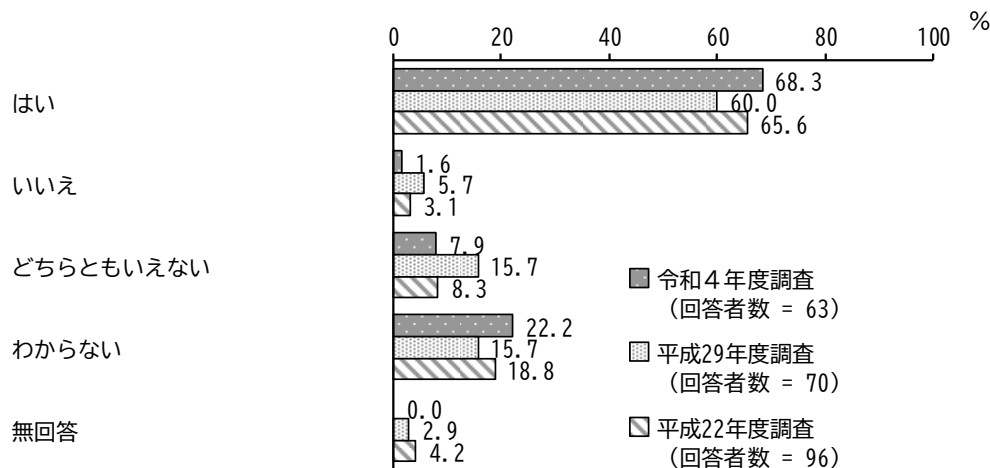
「はい」の割合が61.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.5%、「どちらともいえない」の割合が11.1%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 問 22 施設の職員の対応は丁寧ですか。（○は1つ）

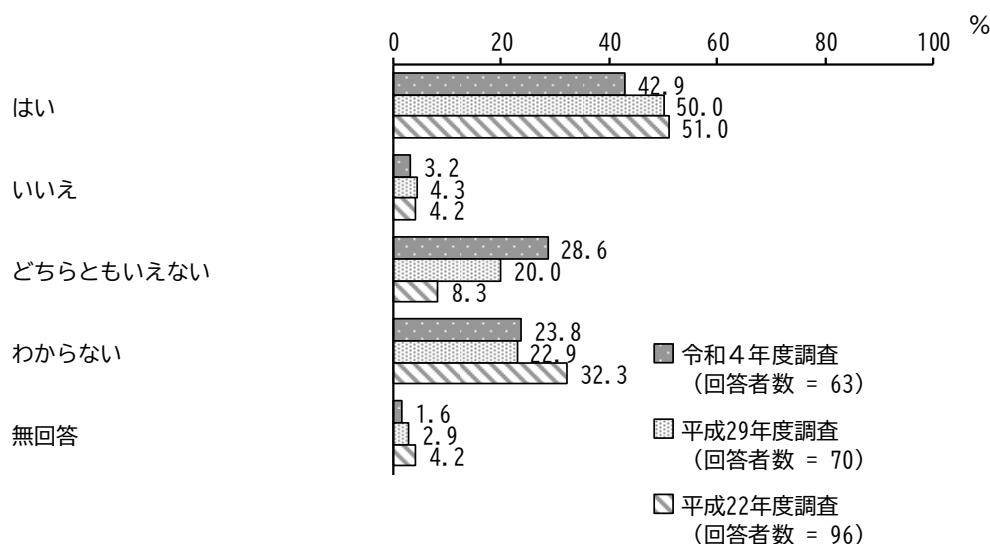
「はい」の割合が68.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が22.2%となっています。平成29年度調査と比較すると、「はい」「わからない」の割合が増加しています。一方、「どちらともいえない」の割合が減少しています。



## 問 23 施設に対する不満や要望を施設に言いやすいですか。（○は1つ）

「はい」の割合が42.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が28.6%、「わからない」の割合が23.8%となっています。

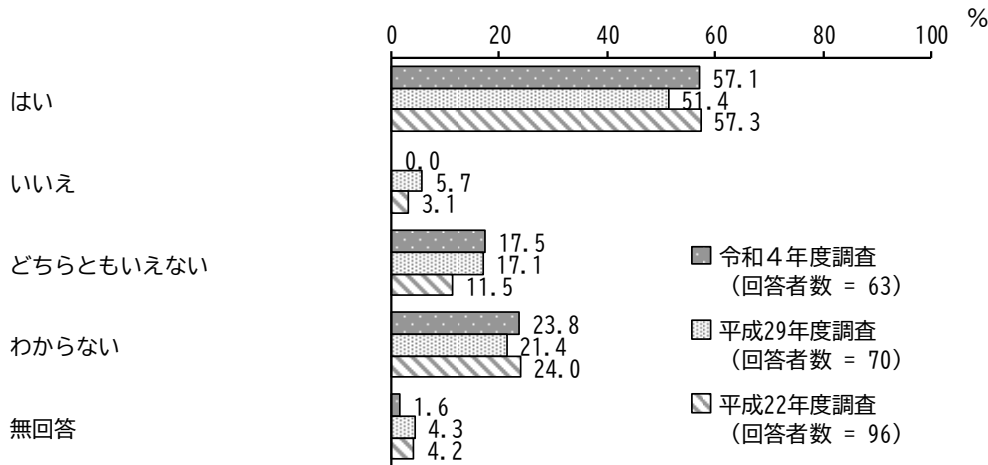
平成29年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



問 24 施設の職員はあなたの不満や要望に対してきちんと対応していますか。  
（○は1つ）

「はい」の割合が57.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が23.8%、「どちらともいえない」の割合が17.5%となっています。

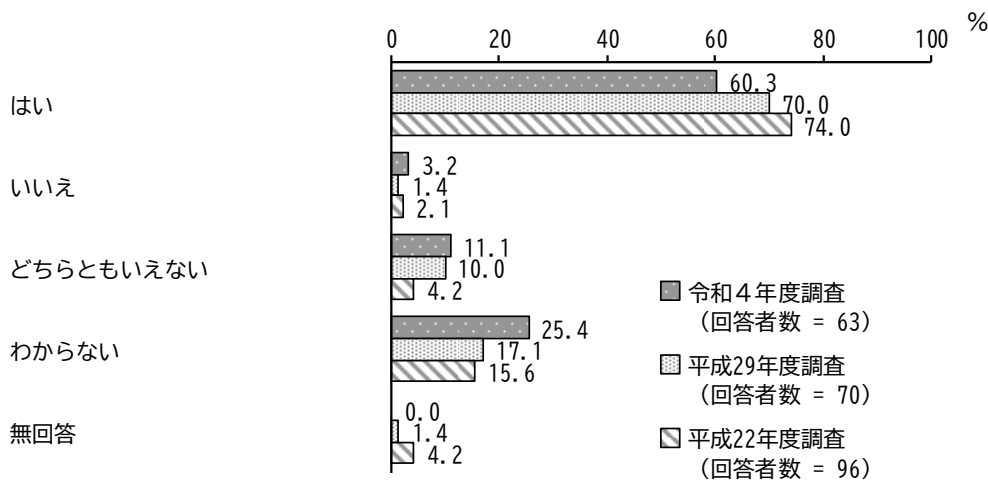
平成29年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



問 25 施設の設備は安心して使えますか。（○は1つ）

「はい」の割合が60.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が25.4%、「どちらともいえない」の割合が11.1%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。

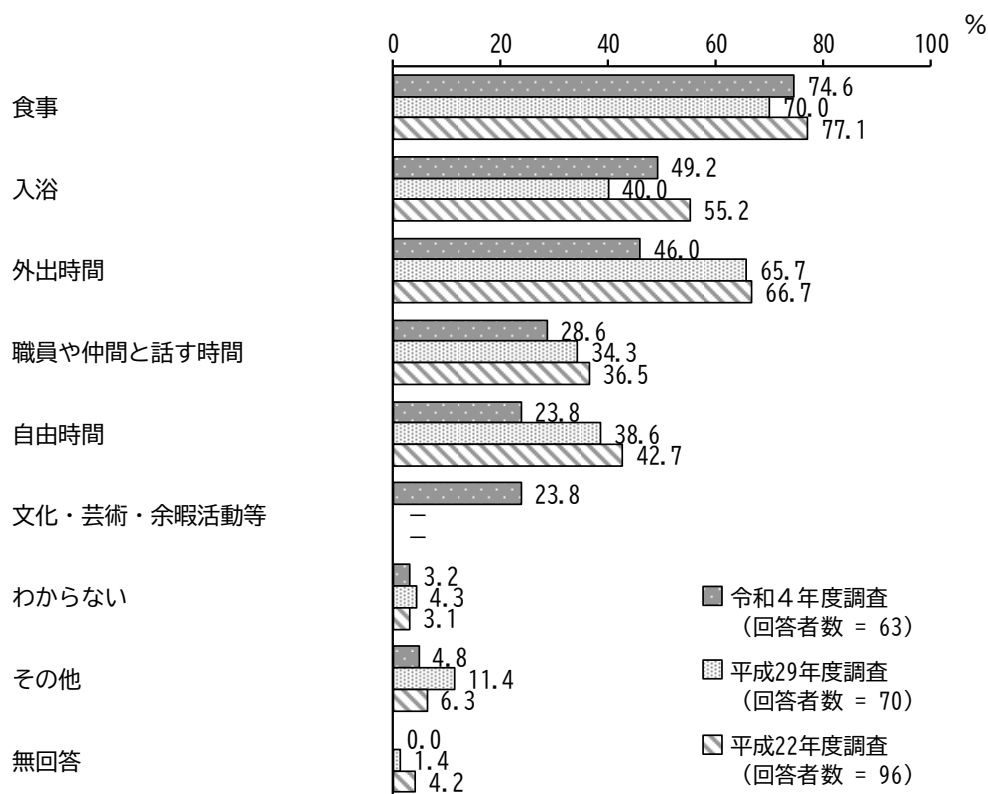




問 26 あなたは施設での生活のなかで楽しみにしていることは何ですか。  
（あてはまるものすべてに○）

「食事」の割合が74.6%と最も高く、次いで「入浴」の割合が49.2%、「外出時間」の割合が46.0%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「入浴」の割合が増加しています。一方、「自由時間」「外出時間」「職員や仲間と話す時間」の割合が減少しています。



II 調査結果 知的障がい者（施設入所者）

【年齢別】

年齢別にみると、ほとんどの年代で「食事」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	食事	入浴	外出時間	職員や仲間と話す時間	自由時間	文化・芸術・余暇活動等	わからない	その他	無回答
全 体	63	74.6	49.2	46.0	28.6	23.8	23.8	3.2	4.8	—
0～5歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6～14歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15～17歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～29歳	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
30～39歳	6	100.0	83.3	16.7	33.3	—	—	—	—	—
40～49歳	8	75.0	62.5	75.0	50.0	25.0	62.5	12.5	12.5	—
50～59歳	15	73.3	53.3	46.7	33.3	33.3	13.3	—	13.3	—
60～64歳	11	72.7	27.3	36.4	18.2	9.1	18.2	9.1	—	—
65歳以上	19	73.7	47.4	47.4	26.3	26.3	26.3	—	—	—

【障がいの程度別】

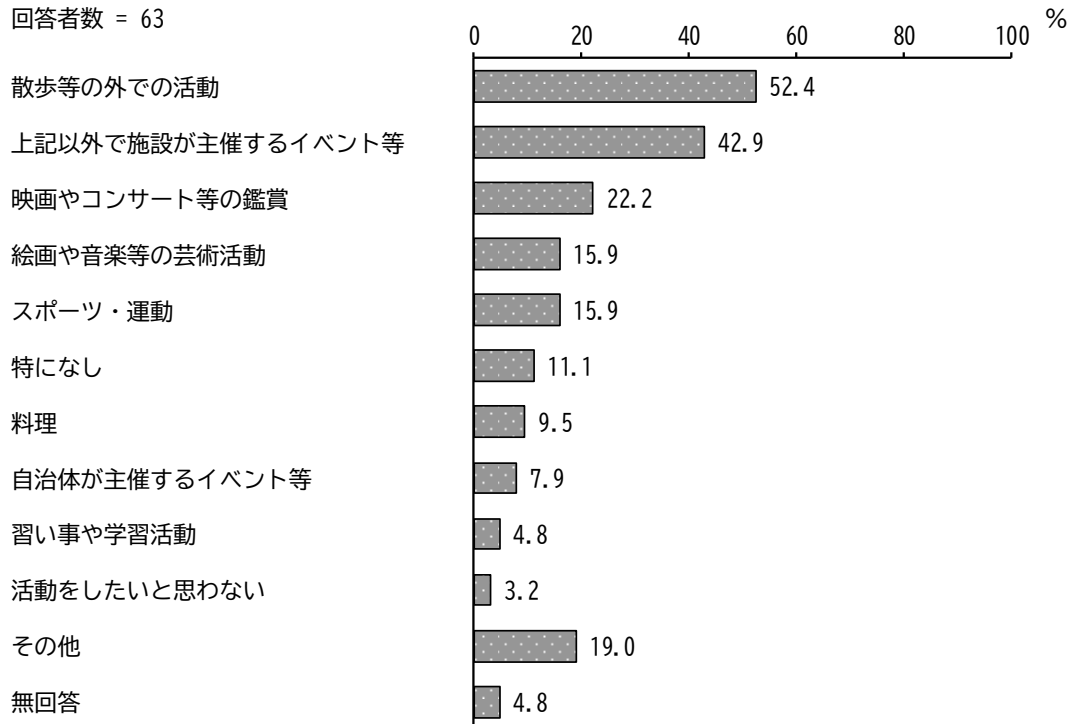
障がいの程度別にみると、他に比べ、2度で「外出時間」「入浴」「食事」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	食事	入浴	外出時間	職員や仲間と話す時間	自由時間	文化・芸術・余暇活動等	わからない	その他	無回答
全 体	63	74.6	49.2	46.0	28.6	23.8	23.8	3.2	4.8	—
1度	3	66.7	33.3	—	33.3	—	—	33.3	—	—
2度	31	80.6	61.3	58.1	25.8	25.8	16.1	3.2	3.2	—
3度	14	64.3	21.4	42.9	28.6	14.3	28.6	—	—	—
4度	9	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	55.6	—	22.2	—

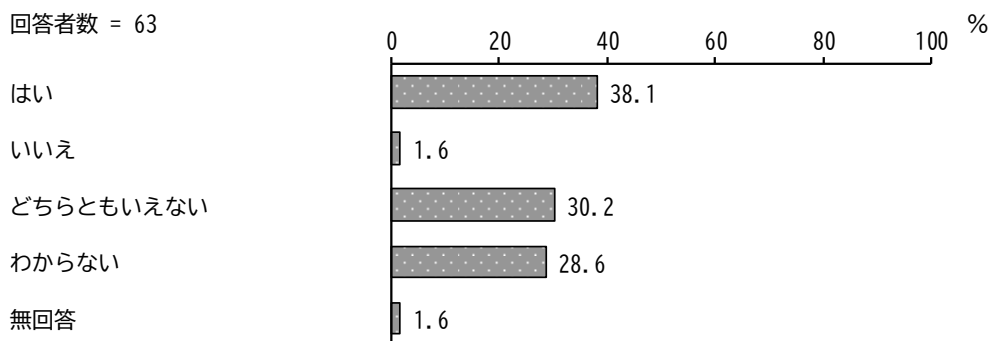
問 27 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「散歩等の外での活動」の割合が52.4%と最も高く、次いで「上記以外で施設が主催するイベント等」の割合が42.9%、「映画やコンサート等の鑑賞」の割合が22.2%となっています。



問 28 施設では、あなたの希望に沿った文化・芸術・余暇活動等に行えていますか。（○は1つ）

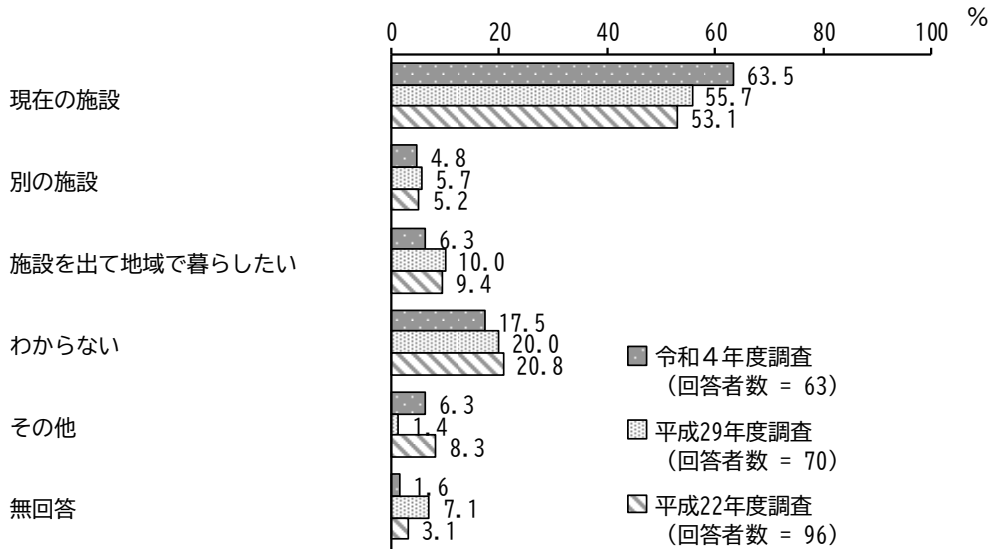
「はい」の割合が38.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が30.2%、「わからない」の割合が28.6%となっています。



問 29 今後生活したい場所はどこですか。（○は1つ）

「現在の施設」の割合が63.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.5%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「現在の施設」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、50～59歳、60～64歳、65歳以上で「現在の施設」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	現在の施設	施設を出て地域で暮らしたい	別の施設	わからない	その他	無回答
全体	63	63.5	6.3	4.8	17.5	6.3	1.6
0～5歳	—	—	—	—	—	—	—
6～14歳	—	—	—	—	—	—	—
15～17歳	—	—	—	—	—	—	—
18～29歳	1	—	—	—	100.0	—	—
30～39歳	6	50.0	—	16.7	33.3	—	—
40～49歳	8	50.0	12.5	—	25.0	12.5	—
50～59歳	15	40.0	13.3	—	26.7	13.3	6.7
60～64歳	11	81.8	—	—	18.2	—	—
65歳以上	19	84.2	5.3	5.3	—	5.3	—

## 【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、大きな差はみられません。

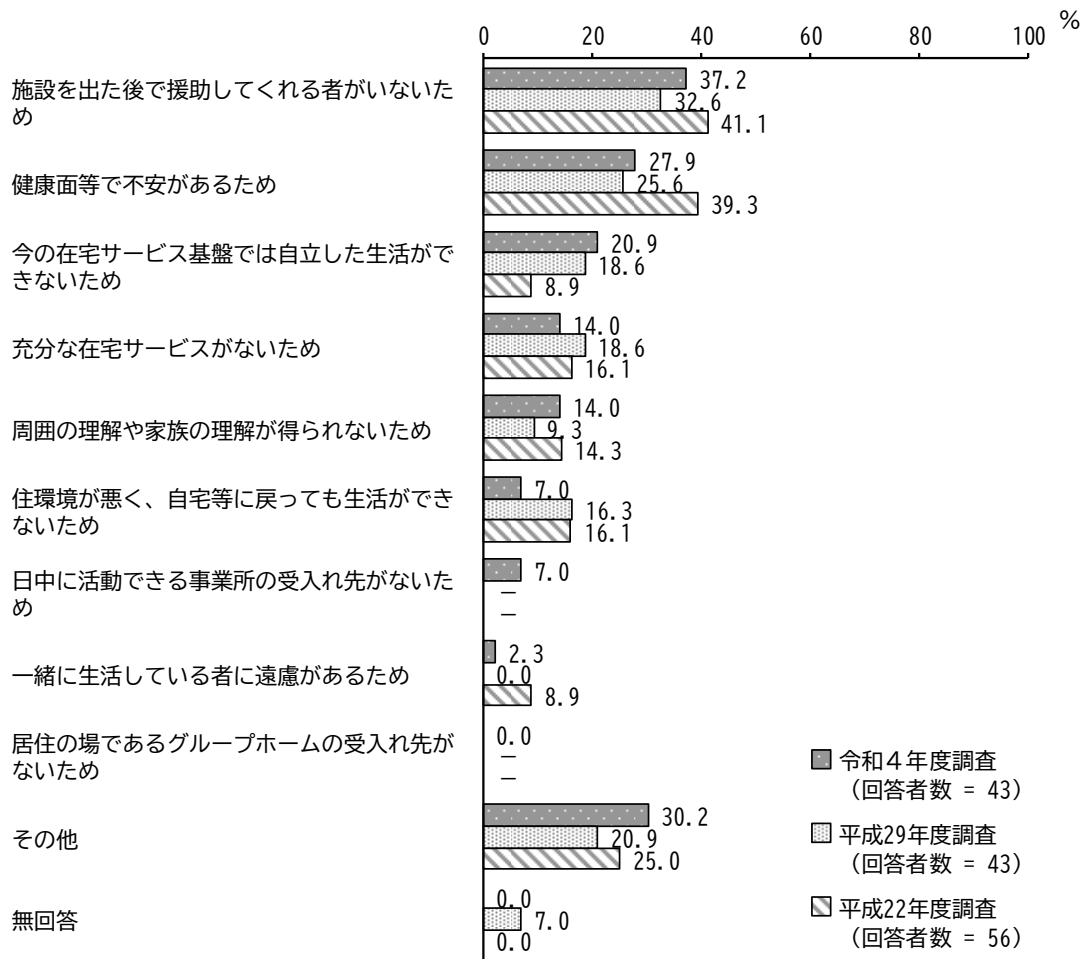
単位：％

区分	回答者数 (件)	現在の施設	別の施設	施設を出て地域で 暮らしたい	わからない	その他	無回答
全 体	63	63.5	4.8	6.3	17.5	6.3	1.6
1 度	3	100.0	—	—	—	—	—
2 度	31	61.3	3.2	9.7	19.4	3.2	3.2
3 度	14	57.1	—	7.1	21.4	14.3	—
4 度	9	66.7	22.2	—	11.1	—	—

問 30 （問 29 で「1 現在の施設」か「2 別の施設」を選択した方にお聞きします。）施設での生活を希望される理由は何ですか。（〇はいくつでも）

「施設を出た後で援助してくれる者がいないため」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「健康面等で不安があるため」の割合が 27.9%、「今の在宅サービス基盤では自立した生活ができないため」の割合が 20.9%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「住環境が悪く、自宅等に戻っても生活ができないため」の割合が減少しています。



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「健康面等で不安があるため」「今の在宅サービス基盤では自立した生活ができないため」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	施設を出た後で援助してくれる者がいないため	健康面等で不安があるため	今の在宅サービス基盤では自立した生活ができないため	十分な在宅サービスがないため	周囲の理解や家族の理解が得られないため
全体	43	37.2	27.9	20.9	14.0	14.0
0～5歳	—	—	—	—	—	—
6～14歳	—	—	—	—	—	—
15～17歳	—	—	—	—	—	—
18～29歳	—	—	—	—	—	—
30～39歳	4	25.0	—	50.0	25.0	25.0
40～49歳	4	50.0	—	25.0	—	—
50～59歳	6	50.0	33.3	—	16.7	16.7
60～64歳	9	44.4	33.3	11.1	22.2	11.1
65歳以上	17	29.4	41.2	29.4	5.9	17.6

区分	住環境が悪く、自宅等に帰っても生活ができないため	日中に活動できる事業所の受入れ先がないため	一緒に生活している者に遠慮があるため	居住の場であるグループホームの受入れ先がないため	その他	無回答
全体	7.0	7.0	2.3	—	30.2	—
0～5歳	—	—	—	—	—	—
6～14歳	—	—	—	—	—	—
15～17歳	—	—	—	—	—	—
18～29歳	—	—	—	—	—	—
30～39歳	—	—	—	—	25.0	—
40～49歳	—	—	—	—	50.0	—
50～59歳	16.7	—	16.7	—	16.7	—
60～64歳	11.1	11.1	—	—	22.2	—
65歳以上	5.9	11.8	—	—	35.3	—

II 調査結果 知的障がい者（施設入所者）

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	施設を出た後で援助してくれる者がいないため	健康面等で不安があるため	今の在宅サービス基盤では自立した生活ができないため	十分な在宅サービスがないため	周囲の理解や家族の理解が得られないため
全体	43	37.2	27.9	20.9	14.0	14.0
1度	3	100.0	33.3	66.7	33.3	33.3
2度	20	35.0	25.0	15.0	15.0	5.0
3度	8	25.0	37.5	25.0	—	12.5
4度	8	50.0	37.5	12.5	12.5	12.5

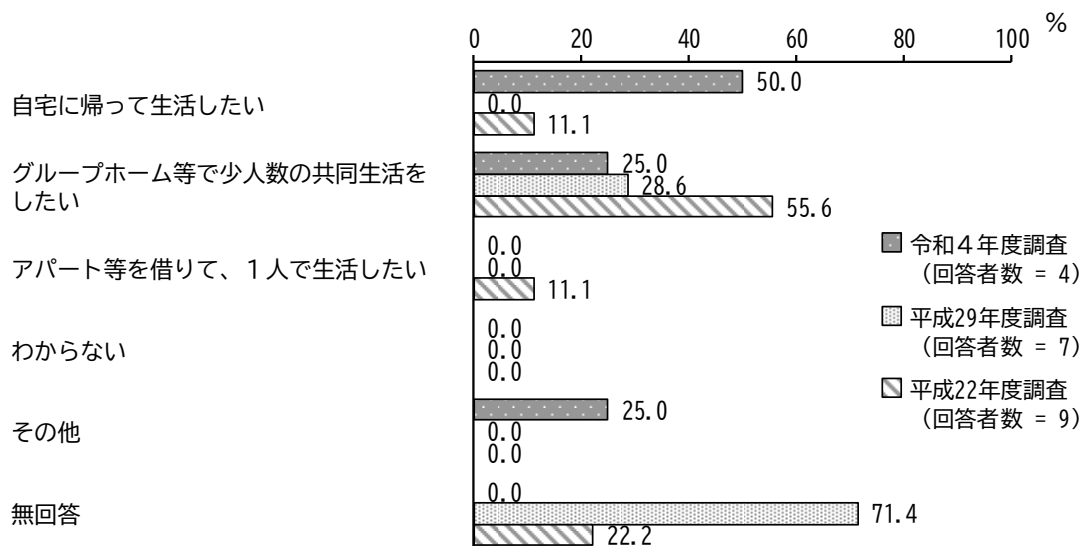
区分	住環境が悪く、自宅等に帰っても生活ができないため	日中に活動できる事業所の受入れ先がないため	一緒に生活している者に遠慮があるため	居住の場であるグループホームの受入れ先がないため	その他	無回答
全体	7.0	7.0	2.3	—	30.2	—
1度	—	33.3	—	—	—	—
2度	15.0	10.0	—	—	35.0	—
3度	—	—	—	—	37.5	—
4度	—	—	12.5	—	37.5	—



問 31 （問 29 で「3 施設を出て地域で暮らしたい」を選択された方にお聞きします。）施設を退所した後に生活したい場所はどこですか。（○は1つ）

「自宅に帰って生活したい」が2件となっています。「グループホーム等で少人数の共同生活をしたい」が1件となっています。

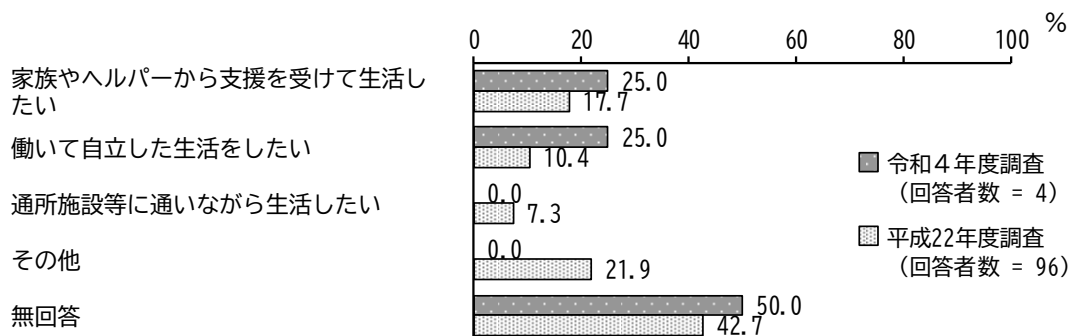
平成 29 年度調査と比較すると、「自宅に帰って生活したい」の割合が増加しています。



問 32 （問 29 で「3 施設を出て地域で暮らしたい」を選択された方にお聞きします。）施設退所後に希望する生活についてお答えください。（○は1つ）

「家族やヘルパーから支援を受けて生活したい」、「働いて自立した生活をしたい」が1件となっています。

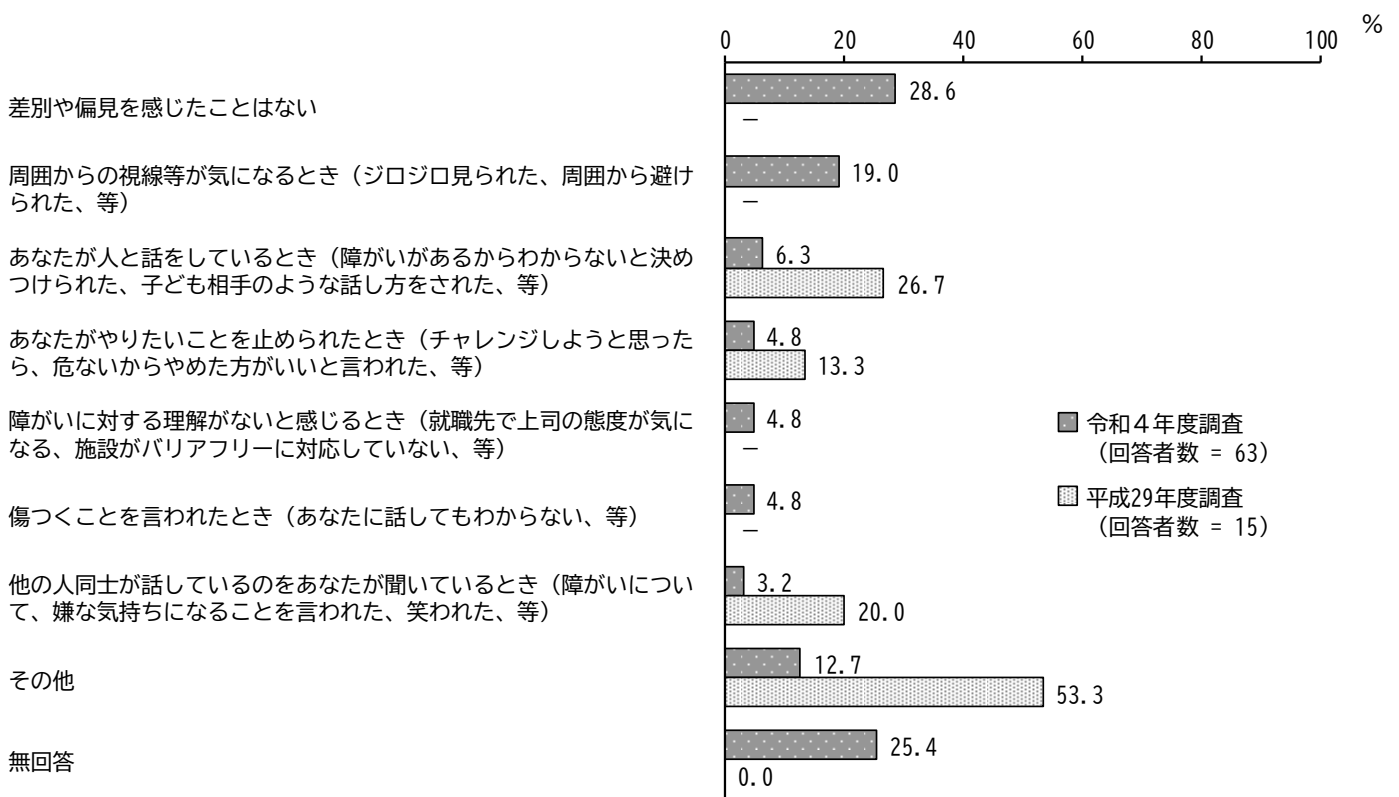
平成 22 年度調査と比較すると、「家族やヘルパーから支援を受けて生活したい」「働いて自立した生活をしたい」の割合が増加しています。一方、「通所施設等に通いながら生活したい」の割合が減少しています。



※平成 29 年度調査は回答者なし。

問 33 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。）  
（〇はいくつでも）

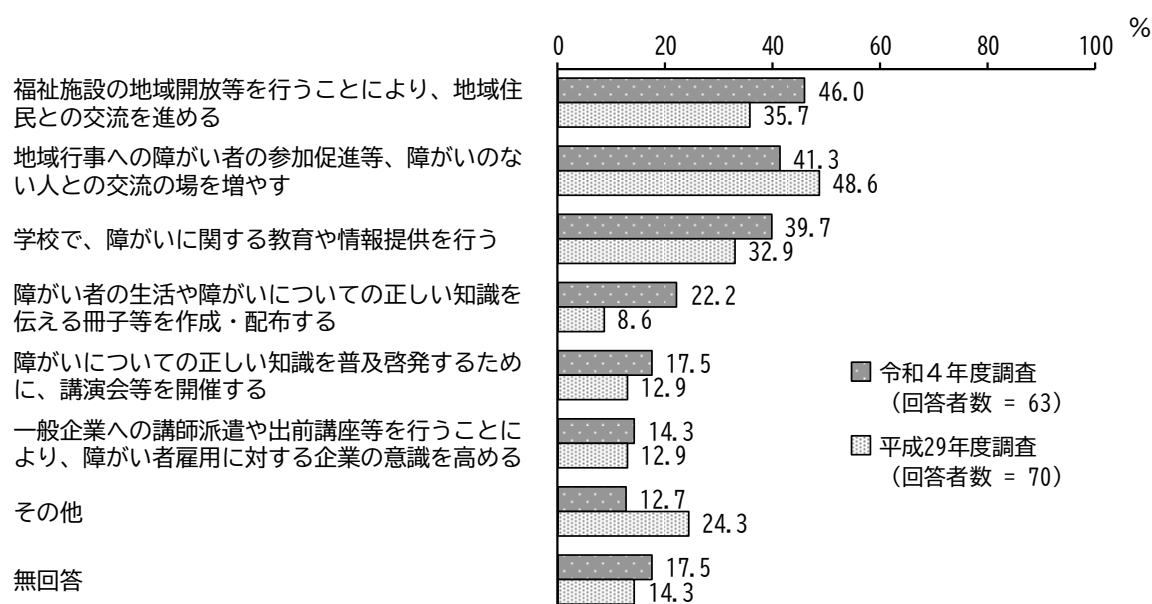
「差別や偏見を感じたことはない」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」の割合が 19.0%となっています。  
平成 29 年度調査と比較すると、「あなたが人と話をしているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）」「他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）」「あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等）」の割合が減少しています。



問 34 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が重要だと思いますか。  
 (〇はいくつでも)

「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」の割合が46.0%と最も高く、次いで「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が41.3%、「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が39.7%となっています。

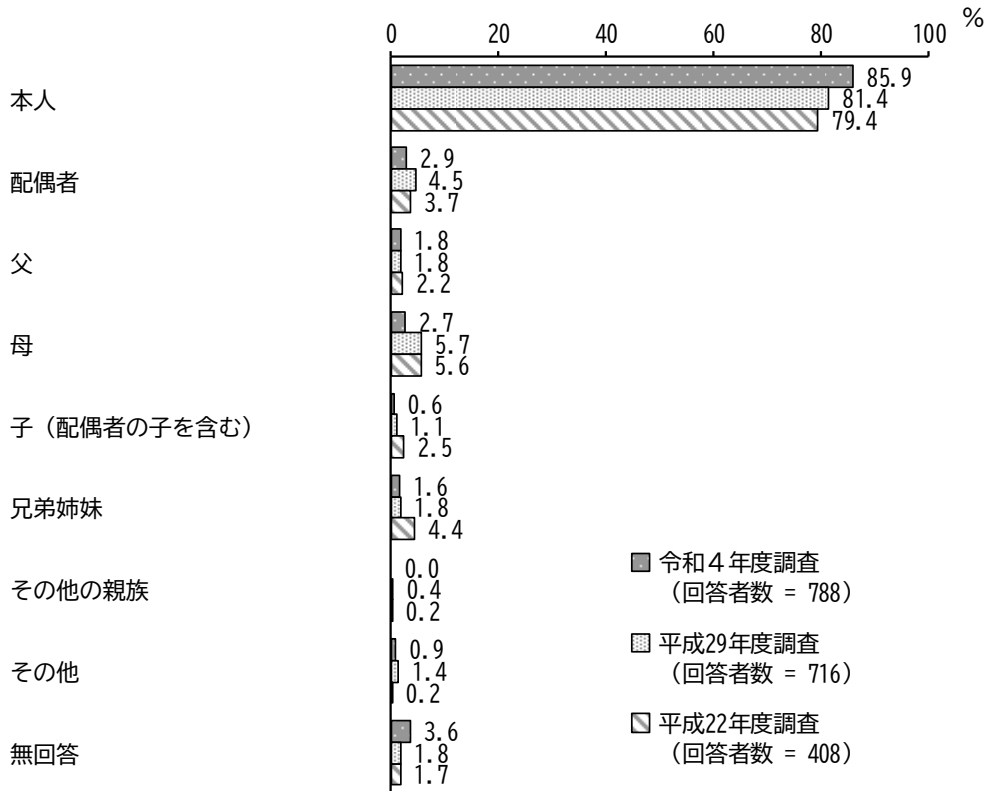
平成29年度調査と比較すると、「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」「障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する」の割合が増加しています。一方、「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が減少しています。



## 4 精神障がい者調査の結果

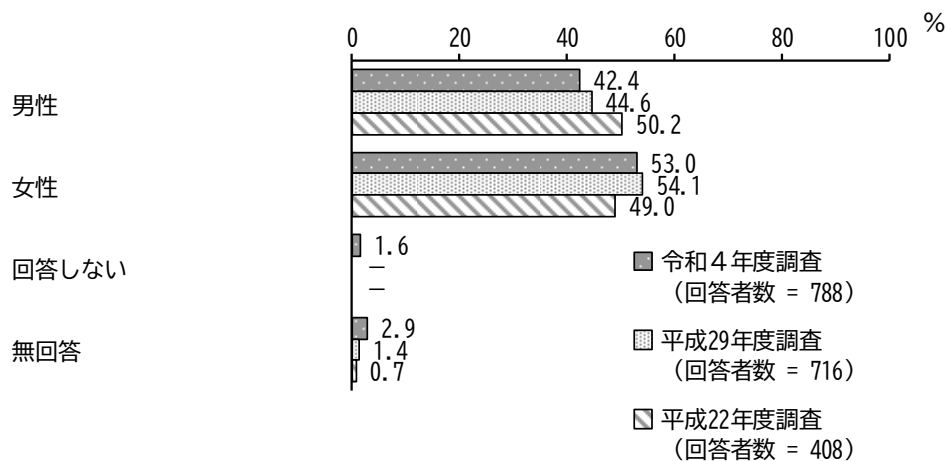
### 問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「本人」の割合が85.9%と最も高くなっています。  
 平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



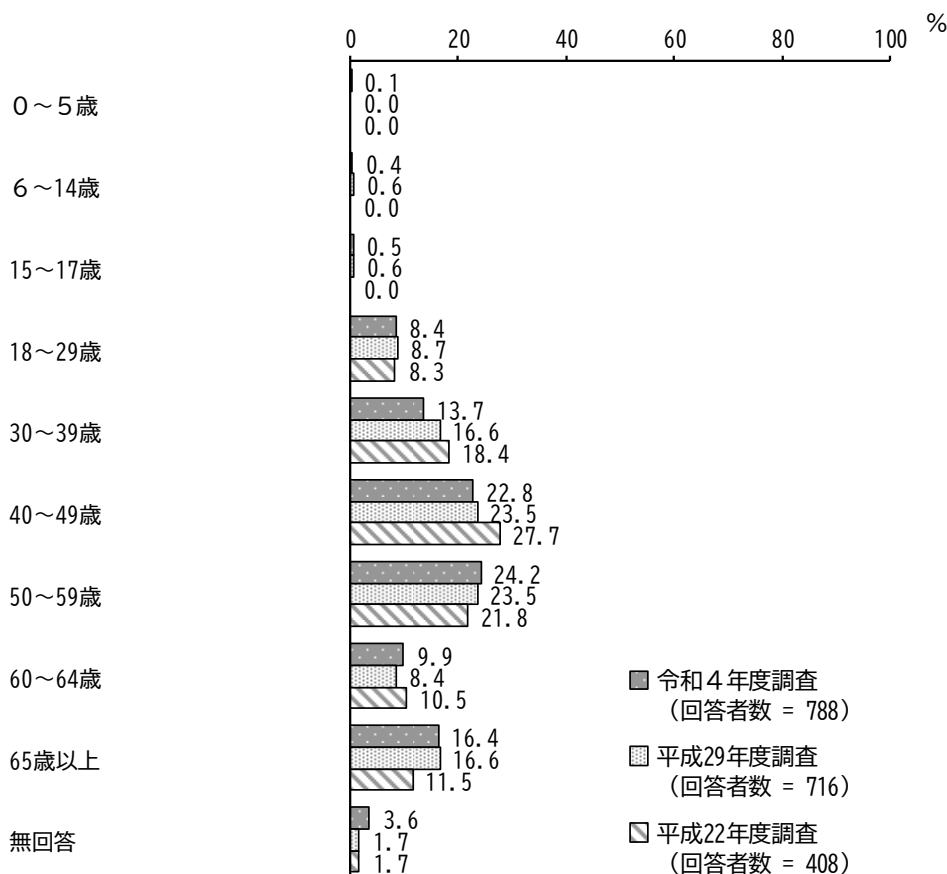
問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

※平成29年度調査：平成29年4月1日現在

※平成22年度調査：平成23年2月1日現在

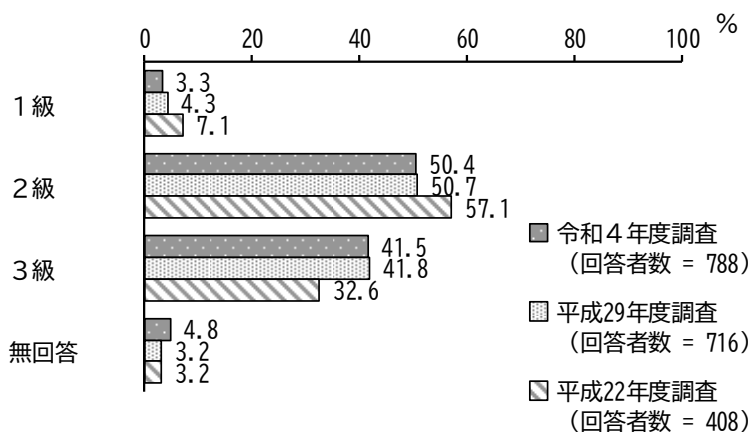
「50～59歳」の割合が24.2%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が22.8%、「65歳以上」の割合が16.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 あなたの「精神障害者保健福祉手帳」に記載されている障害の程度は、何級ですか。(○は1つ)

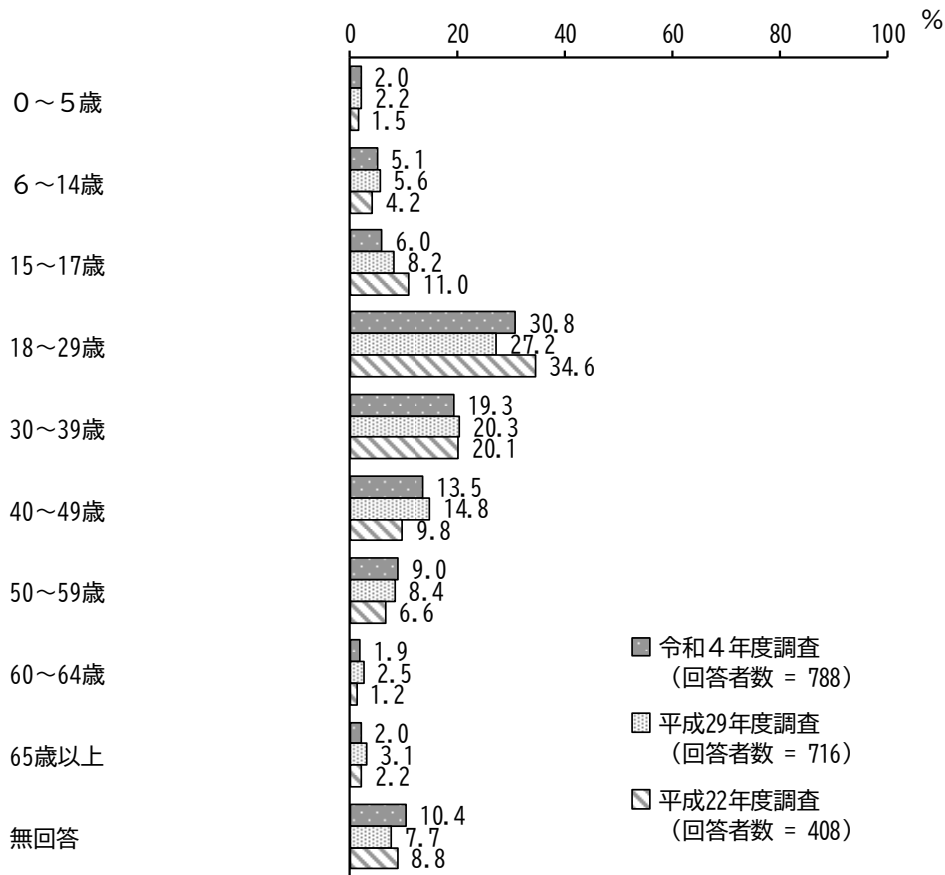
「2級」の割合が50.4%と最も高く、次いで「3級」の割合が41.5%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 あなたまたは家族の方が、最初に障がいに気がついたのはいつ頃ですか。そのときのあなたの年齢をお書きください。

「18～29歳」の割合が30.8%と最も高く、次いで「30～39歳」の割合が19.3%、「40～49歳」の割合が13.5%となっています。

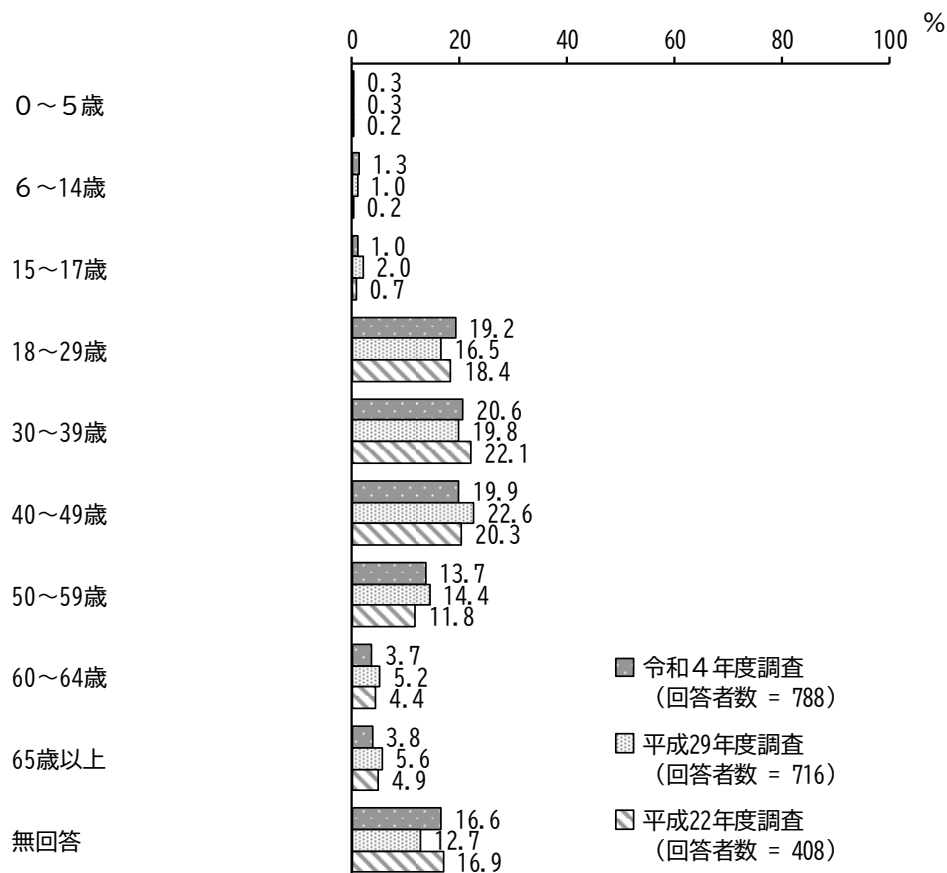
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 「精神障害者保健福祉手帳」は、何歳の時に取りましたか。

「30～39歳」の割合が20.6%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が19.9%、「18～29歳」の割合が19.2%となっています。

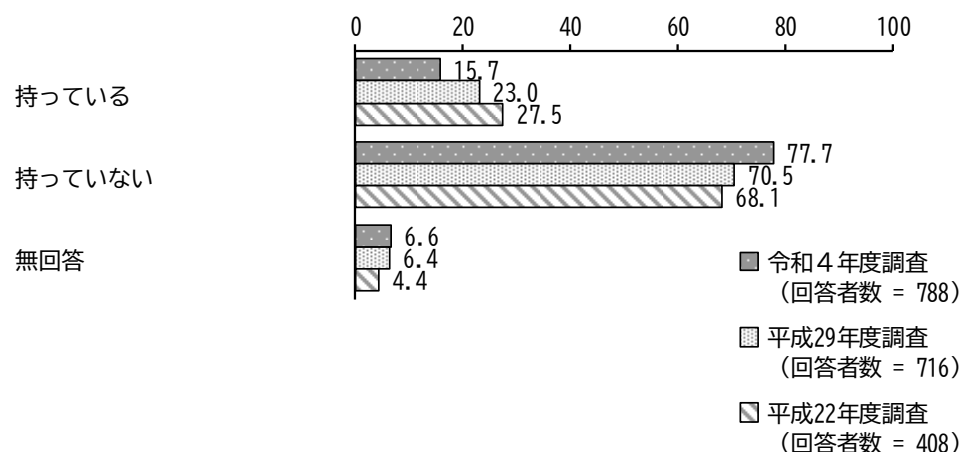
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 あなたは、「身体障害者手帳」を持っていますか。(○は1つ)

「持っている」の割合が15.7%、「持っていない」の割合が77.7%となっています。

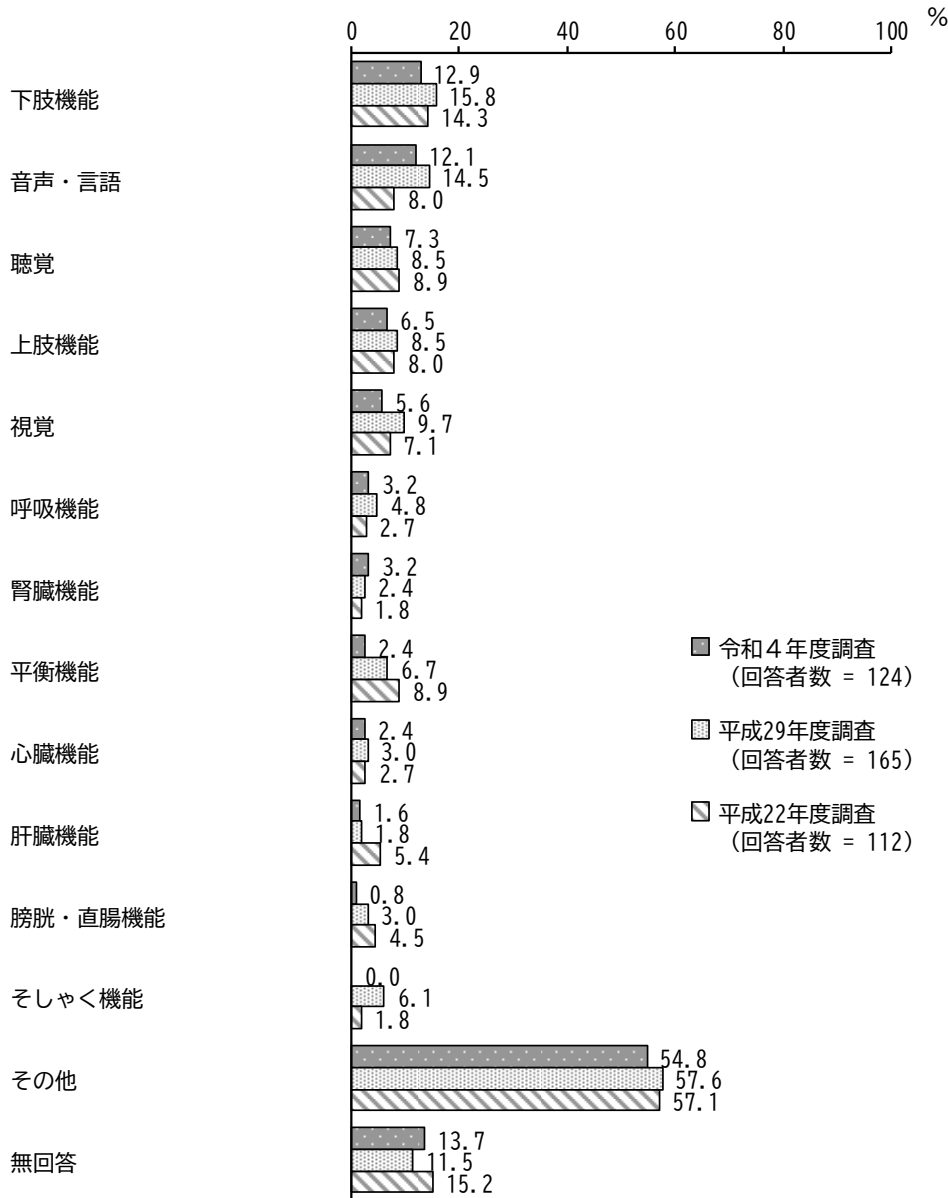
平成29年度調査と比較すると、「持っていない」の割合が増加しています。一方、「持っている」の割合が減少しています。



問8 (問7で「1 持っている」に○をつけた方のみお答えください。) あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「下肢機能」の割合が12.9%と最も高く、次いで「音声・言語」の割合が12.1%となっています。

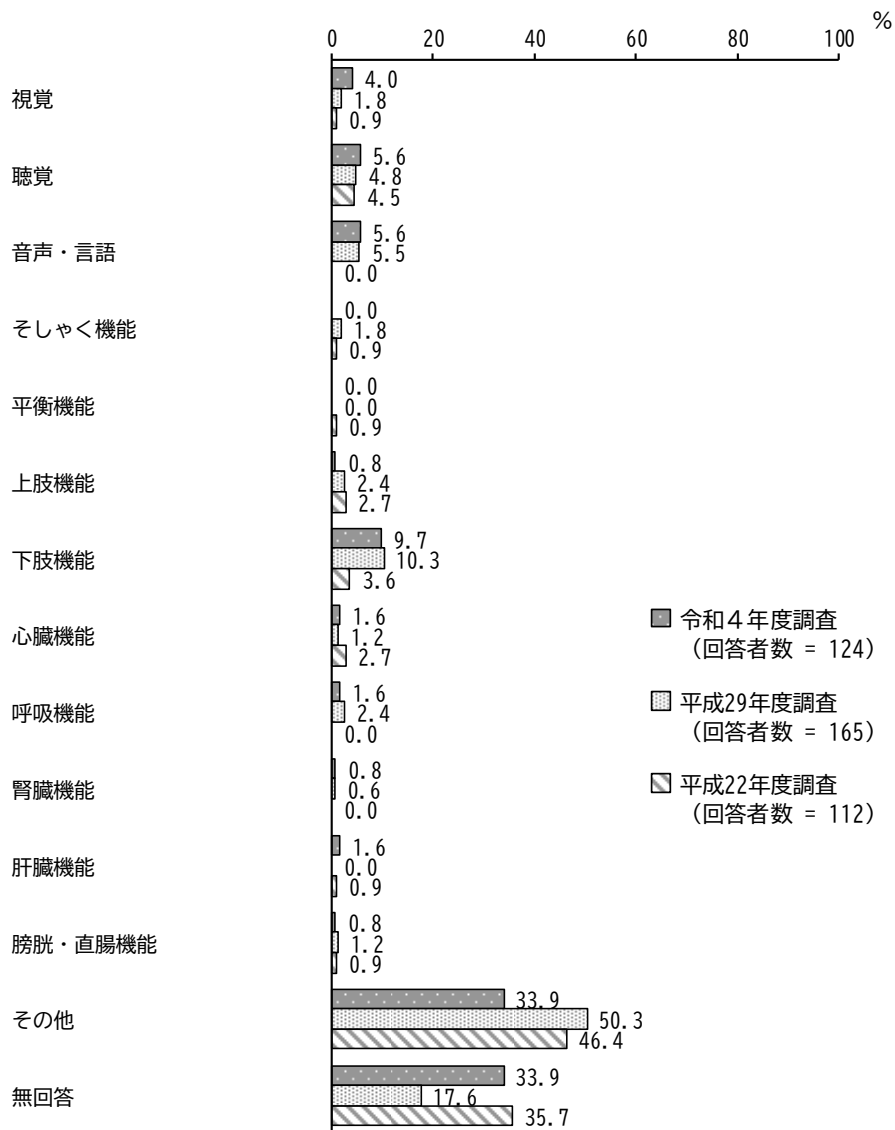
平成29年度調査と比較すると、「そしゃく機能」の割合が減少しています。





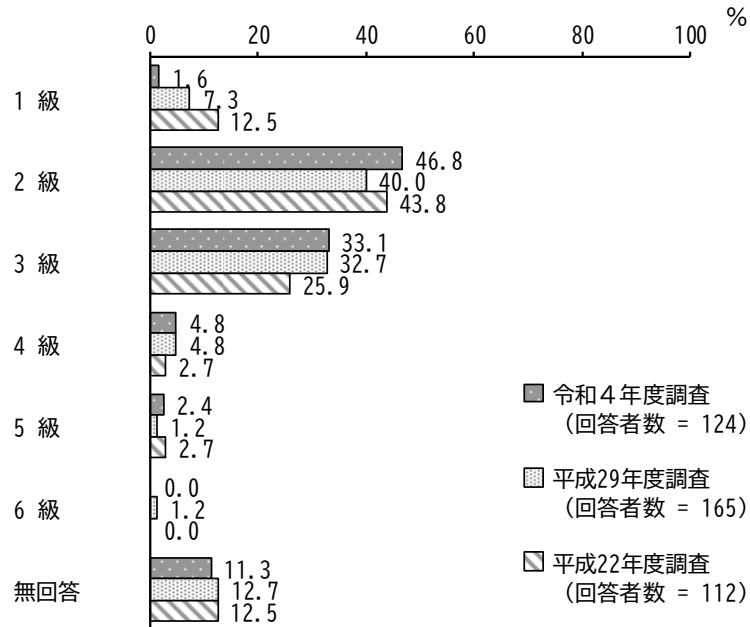
問9 (問8で○をつけた方のみお答えください。) あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なものを1つお答えください。(あてはまる番号を問8から1つご記入ください)

「下肢機能」の割合が9.7%と最も高くなっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



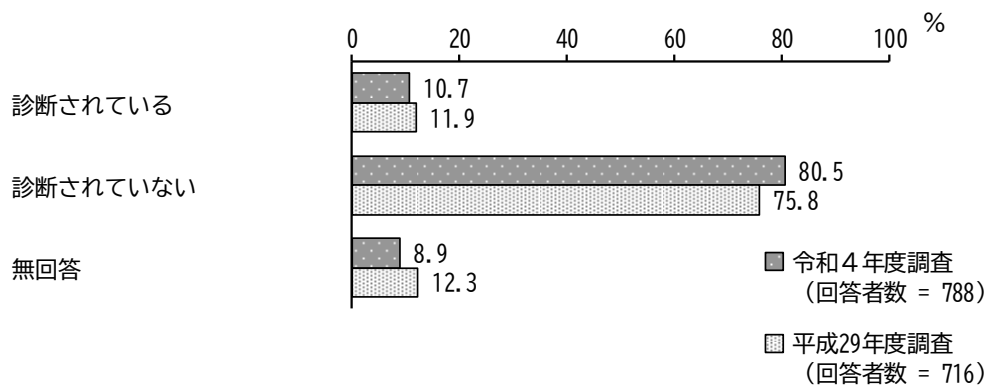
問10 (問7で「1 持っている」に○をつけた方のみお答えください。)「身体障害者手帳」に記載されている障害の程度は、何級ですか。(○は1つ)

「2 級」の割合が46.8%と最も高く、次いで「3 級」の割合が33.1%となっています。平成29年度調査と比較すると、「2 級」の割合が増加しています。一方、「1 級」の割合が減少しています。



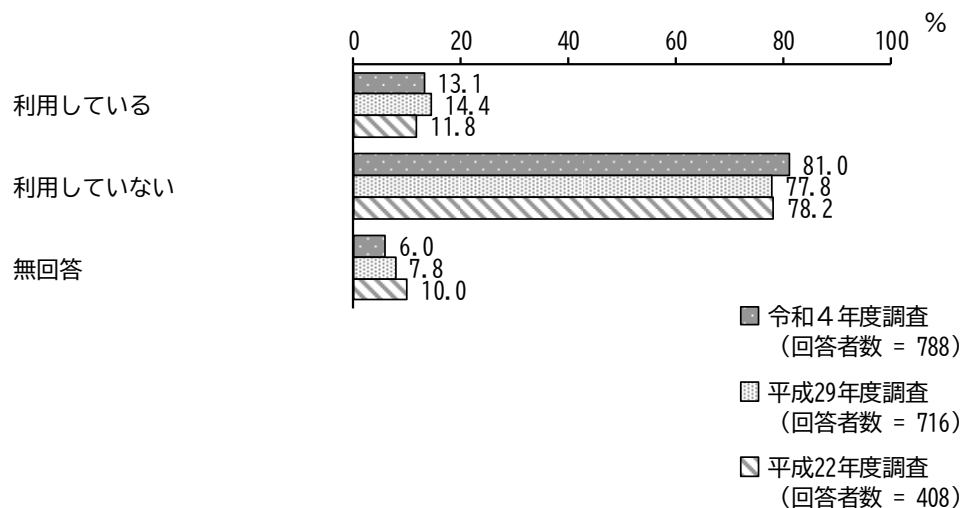
問11 あなたは、現在、難病と診断されていますか。(○は1つ)

「診断されている」の割合が10.7%、「診断されていない」の割合が80.5%となっています。平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問12 介護保険サービス（訪問介護・通所介護等）を利用していますか。（○は1つ）

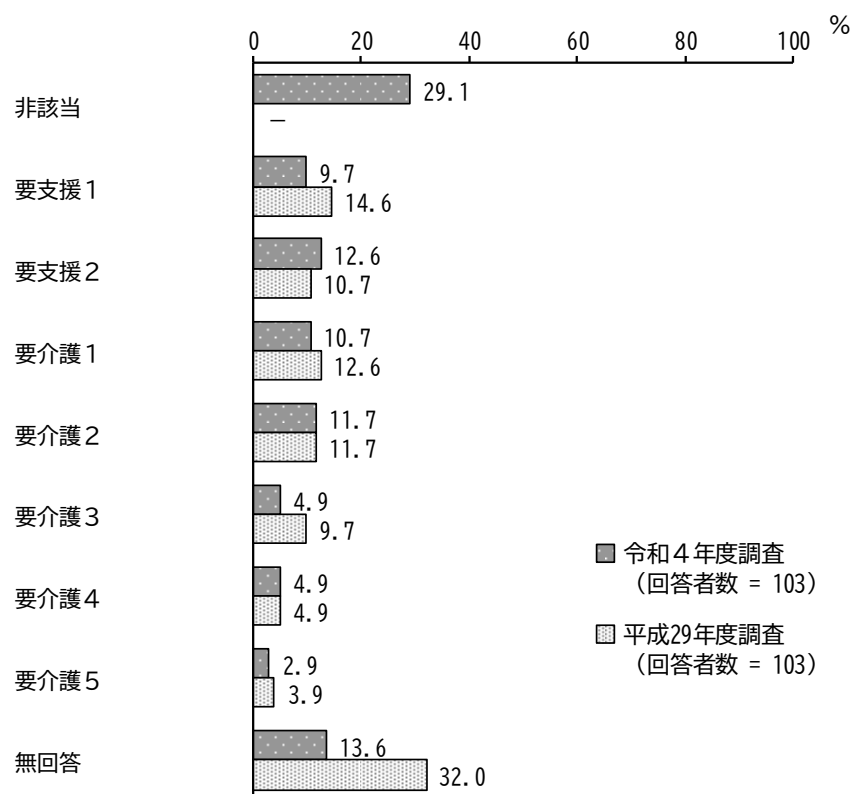
「利用している」の割合が13.1%、「利用していない」の割合が81.0%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問13 （問12で「1 利用している」に○をつけた方のみお答えください。）該当する要介護度に○をつけてください。（○は1つ）

「非該当」の割合が29.1%と最も高く、次いで「要支援2」の割合が12.6%、「要介護2」の割合が11.7%となっています。

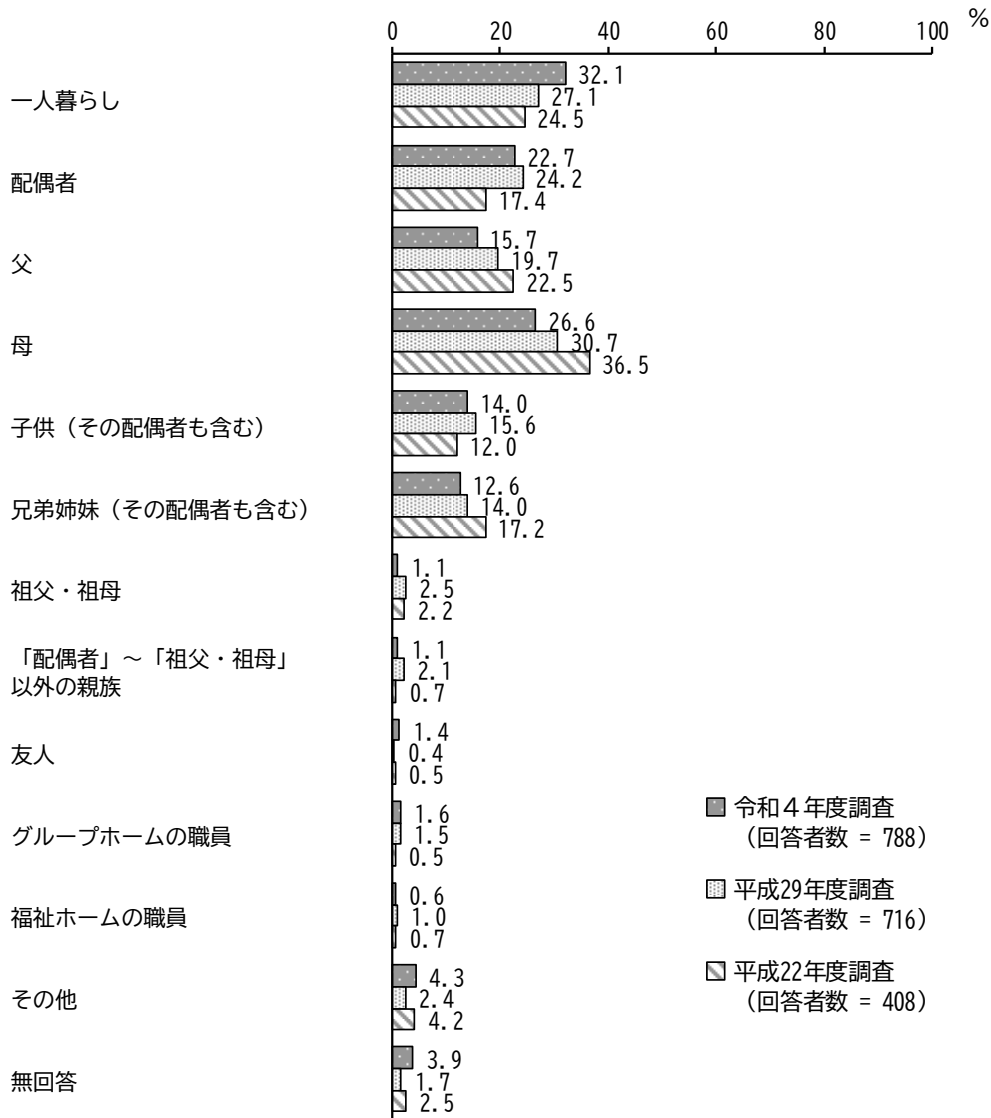
平成29年度調査と比較すると、「要支援1」「要介護3」の割合が減少しています。



問 14 あなたは、現在、どなたかと一緒に生活していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「一人暮らし」の割合が32.1%と最も高く、次いで「母」の割合が26.6%、「配偶者」の割合が22.7%となっています。

平成29年度調査と比較すると、一人暮らしの割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満や18～39歳で「父」「母」「兄弟姉妹（その配偶者も含む）」の割合が高くなっています。

年齢が上がるにつれて、「一人暮らし」の割合が高くなっています。

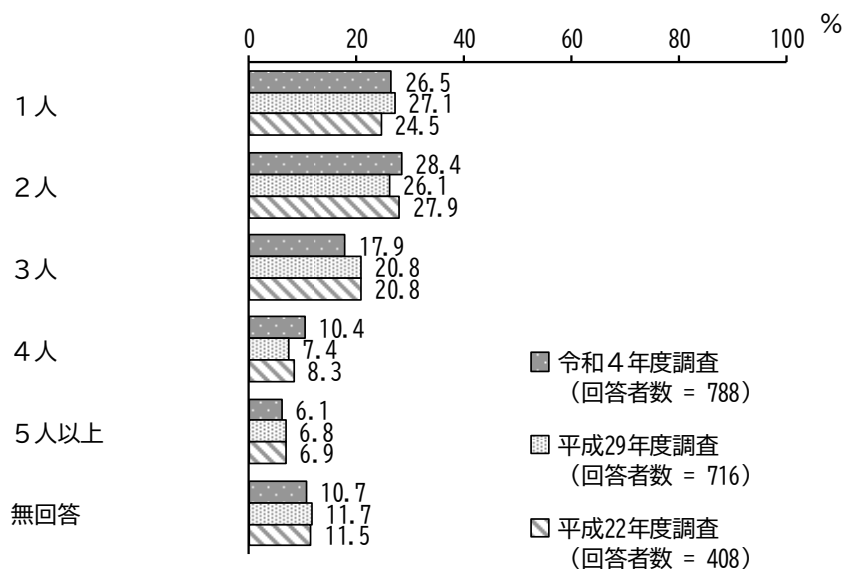
単位：％

区分	回答者数(件)	一人暮らし	配偶者	父	母	子供(その配偶者も含む)	兄弟姉妹(その配偶者も含む)	祖父・祖母	「配偶者」以外の親族 「祖父・祖母」	友人	グループホームの職員	福祉ホームの職員	その他	無回答
全体	788	32.1	22.7	15.7	26.6	14.0	12.6	1.1	1.1	1.4	1.6	0.6	4.3	3.9
18歳未満	8	12.5	—	37.5	75.0	—	37.5	—	12.5	—	—	—	—	—
18～39歳	174	19.5	19.0	38.5	47.7	7.5	25.3	4.6	1.7	1.7	1.7	0.6	5.2	0.6
40～64歳	449	35.9	24.3	11.1	25.8	17.1	8.9	0.2	0.9	1.8	1.6	0.4	4.5	0.7
65歳以上	129	43.4	28.7	1.6	3.1	15.5	8.5	—	0.8	—	2.3	1.6	3.9	2.3

問15 一緒に生活している方は、あなたを含めて合計で何人ですか。(○は1つ)

「2人」の割合が28.4%と最も高く、次いで「1人」の割合が26.5%、「3人」の割合が17.9%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 16 毎日の生活の中で、次のことがひとりでできますか。  
 それぞれの項目について、あてはまる欄の番号に○をつけてください。

『10 指示されたとおり服薬すること』で「自分でできる」の割合が、『2 身のまわりの掃除・整理整頓をすること』で「一部に手助けが必要」の割合が高くなっています。また、『12 近所づきあいをすること』で「全部に手助けが必要」の割合が高くなっています。

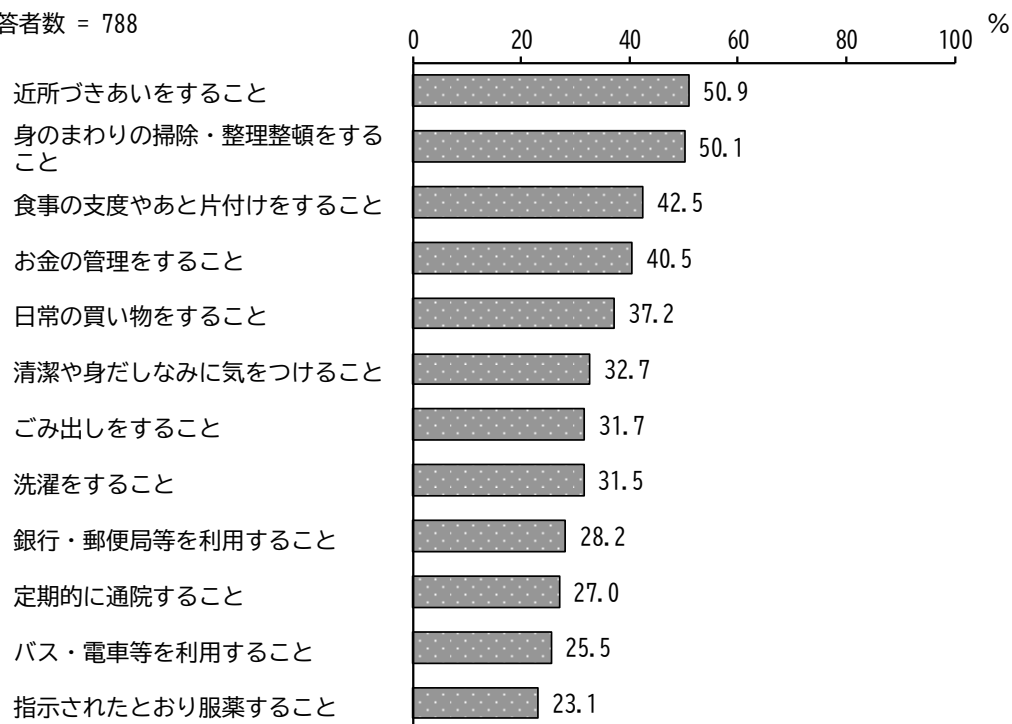
単位：％

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回答
1 食事の支度やあと片付けをすること	788	53.7	33.1	9.4	3.8
2 身のまわりの掃除・整理整頓をすること	788	46.3	39.0	11.2	3.6
3 ごみ出しをすること	788	64.2	20.7	11.0	4.1
4 洗濯をすること	788	64.0	20.8	10.7	4.6
5 日常の買い物をする	788	58.9	27.0	10.2	3.9
6 清潔や身だしなみに気をつける	788	63.1	27.5	5.2	4.2
7 お金の管理をすること	788	54.8	28.8	11.7	4.7
8 バス・電車等を利用すること	788	70.1	17.9	7.6	4.4
9 定期的に通院すること	788	68.4	18.0	9.0	4.6
10 指示されたとおり服薬すること	788	72.6	17.3	5.8	4.3
11 銀行・郵便局等を利用すること	788	67.5	18.7	9.5	4.3
12 近所づきあいをすること	788	43.0	31.3	19.5	6.1

（「全部に手助けが必要」と「一部に手助けが必要」を合わせた表）

『近所づきあいをする事』が 50.9%と最も高く、次いで、『身のまわりの掃除・整理整頓をする事』が 50.1%、『食事の支度やあと片付けをする事』が 42.5%となっています。

回答者数 = 788



【年齢別】（「全部に手助けが必要」と「一部に手助けが必要」を合わせた表）

年齢別でみると、18～39歳で『3ごみ出しをすること』『4洗濯をすること』『7お金の管理をすること』『12近所づきあいをする』の割合が高く、他の年代に比べ、全体的に割合が高くなっています。

【障がいの程度別】

障がいの程度別でみると、障がいの程度が重くなるほど、すべての項目で割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	食事の支度やあと片付けをすること	身のまわりの掃除・整理整頓をすること	ごみ出しをすること	洗濯をすること	日常の買い物をする	清潔や身だしなみに気をつけること
18歳未満	8	25.0	50.0	12.5	75.0	37.5	25.0
18～39歳	174	51.1	54.0	41.4	40.8	39.1	37.4
40～64歳	449	40.5	48.8	28.3	27.2	35.2	31.4
65歳以上	129	37.2	48.8	31.8	29.5	41.1	29.5
1級	26	61.5	76.9	65.4	57.7	69.2	65.4
2級	397	49.1	54.7	34.3	34.3	41.8	34.8
3級	327	32.7	42.5	26.0	25.4	29.1	26.3

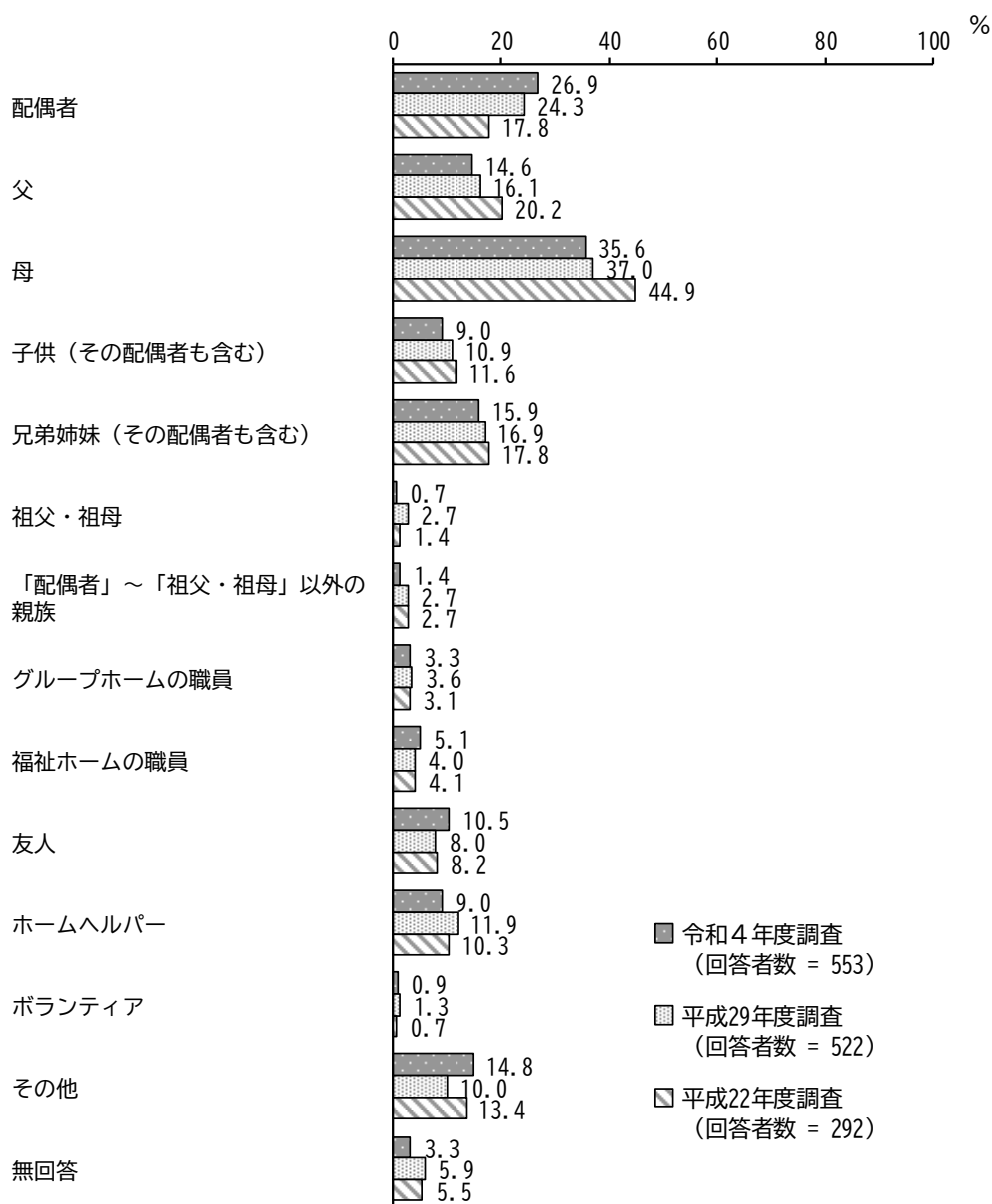
区分	お金の管理をすること	バス・電車等を利用すること	定期的に通院すること	指示されたとおり服薬すること	銀行・郵便局等を利用すること	近所づきあいをする
18歳未満	75.0	37.5	87.5	25.0	87.5	75.0
18～39歳	52.3	23.6	34.5	28.7	33.9	59.8
40～64歳	38.1	24.9	22.5	21.2	24.3	49.9
65歳以上	31.8	29.5	30.2	21.7	31.0	41.9
1級	76.9	69.2	53.8	69.2	61.5	73.1
2級	40.8	30.5	33.2	25.2	34.3	56.9
3級	37.6	16.2	17.7	16.5	18.0	42.8



問17 (問16で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「母」の割合が35.6%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が26.9%、「兄弟姉妹(その配偶者も含む)」の割合が15.9%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害の程度別】

障害の程度別にみると、全ての障がい程度で「母」の割合が高くなっています。

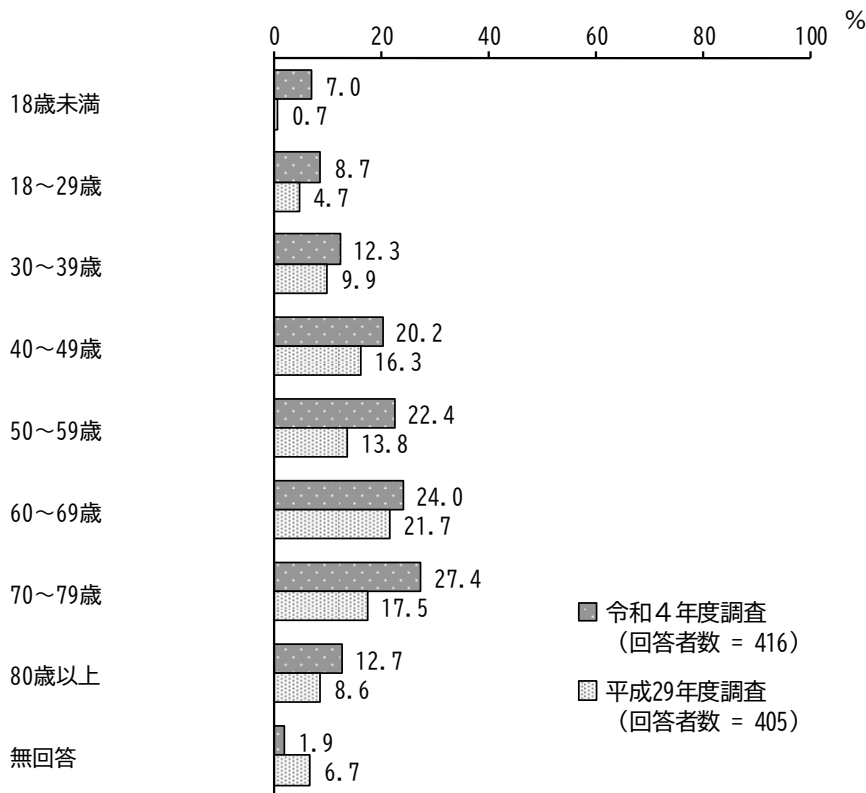
単位：％

区分	回答者数(件)	配偶者	父	母	子供(その配偶者も含む)	兄弟姉妹(その配偶者も含む)	祖父・祖母	「配偶者」以外 「祖父・祖母」以外の親族	職員	グループホームの職員	福祉ホームの職員	友人	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
全体	553	26.9	14.6	35.6	9.0	15.9	0.7	1.4	3.3	5.1	10.5	9.0	0.9	14.8	3.3	
1級	24	20.8	8.3	41.7	4.2	29.2	—	4.2	8.3	8.3	16.7	29.2	4.2	8.3	—	
2級	297	22.9	15.2	34.7	8.1	17.2	0.7	1.3	4.0	7.1	7.7	11.4	1.3	17.5	3.0	
3級	208	33.2	15.4	38.5	10.6	12.0	0.5	1.4	1.0	1.4	13.9	3.8	—	11.5	2.9	

問 18 (問 17で「1 配偶者」～「7 「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。

「70～79歳」の割合が27.4%と最も高く、次いで「60～69歳」の割合が24.0%、「50～59歳」の割合が22.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「18歳未満」「50～59歳」「70～79歳」の割合が増加しています。



※平成29年度調査及び平成22年度調査では、年齢の区分は、「10歳代」「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」「70歳代」「80歳代以上」となっており、令和4年度調査の区分とは異なります。

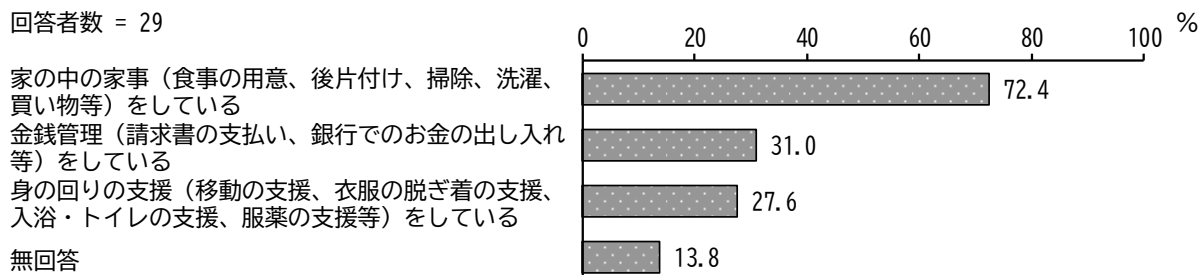
なお、経年比較の都合上、平成29年度以前の調査の「10歳代」を「18歳未満」、「20歳代」を「18～29歳」としております。

問 19 (問 18 で「ア」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている 18 歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている 18 歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている」の割合が 72.4%と最も高く、次いで「金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている」の割合が 31.0%、「身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている」の割合が 27.6%となっています。

回答者数 = 29



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、40～64 歳で「家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている	金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている	身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている	無回答
全体	29	72.4	31.0	27.6	13.8
18歳未満	2	—	—	—	100.0
18～39歳	4	50.0	25.0	25.0	—
40～64歳	18	83.3	27.8	27.8	11.1
65歳以上	4	75.0	75.0	25.0	—

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、2級で「金銭管理（請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等）をしている」の割合が高くなっています。

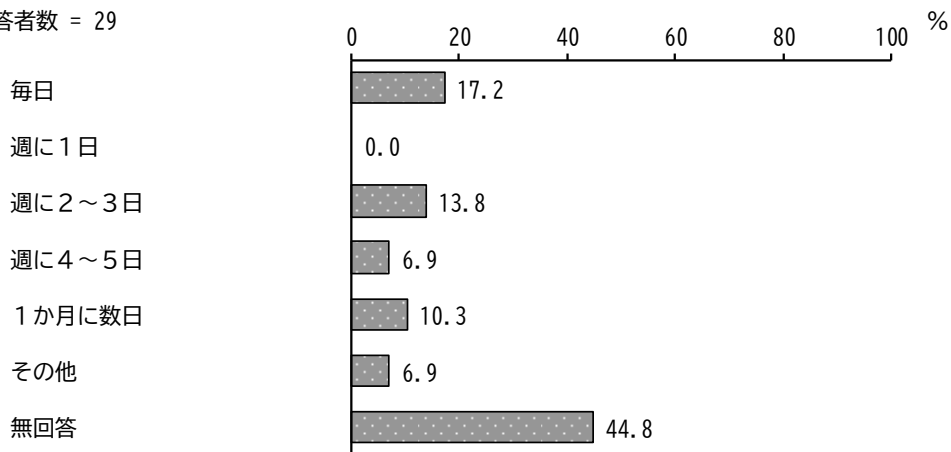
単位：%

区分	回答者数（件）	家の中の家事（食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等）をしている	金銭管理（請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等）をしている	身の回りの支援（移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等）をしている	無回答
全 体	29	72.4	31.0	27.6	13.8
1 級	—	—	—	—	—
2 級	16	75.0	43.8	31.3	12.5
3 級	11	72.7	18.2	18.2	9.1

問 20 （問 18 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。）18 歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。（○は1つ）

「毎日」の割合が17.2%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が13.8%、「1か月に数日」の割合が10.3%となっています。

回答者数 = 29



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、40～64歳で「毎日」、「週に2～3日」、「1か月に数日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	毎日	週に1日	週に2～3日	週に4～5日	1か月に数日	その他	無回答
全体	29	17.2	—	13.8	6.9	10.3	6.9	44.8
18歳未満	2	—	—	—	—	—	—	100.0
18～39歳	4	50.0	—	—	25.0	—	—	25.0
40～64歳	18	16.7	—	16.7	5.6	16.7	11.1	33.3
65歳以上	4	—	—	—	—	—	—	100.0

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

## 【障害の程度別】

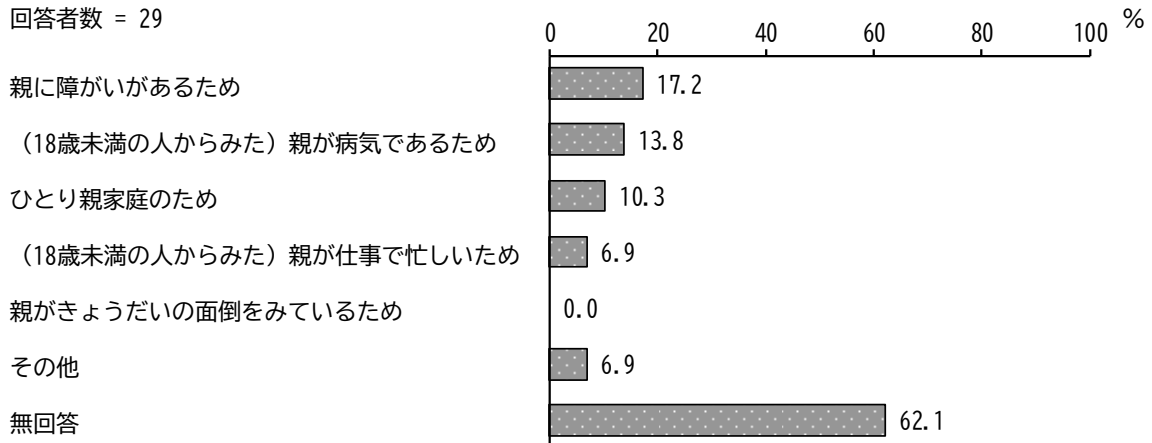
障害の程度別にみると、他に比べ、2級で「毎日」の割合が、3級で「週に2～3日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	毎日	週に1日	週に2～3日	週に4～5日	1か月に数日	その他	無回答
全体	29	17.2	—	13.8	6.9	10.3	6.9	44.8
1級	—	—	—	—	—	—	—	—
2級	16	31.3	—	—	—	12.5	—	56.3
3級	11	—	—	27.3	18.2	9.1	9.1	36.4

問 21 (問 18 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「親に障がいがあるため」の割合が 17.2%と最も高く、次いで「(18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため」の割合が 13.8%、「ひとり親家庭のため」の割合が 10.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39 歳で「(18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため」「親に障がいがあるため」、40～64 歳で「親に障がいがあるため」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	親に障がいがあるため	(18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため	ひとり親家庭のため	(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため	親がきょうだいの面倒をみているため	その他	無回答
全 体	29	17.2	13.8	10.3	6.9	—	6.9	62.1
18 歳未満	2	—	—	100.0	—	—	—	—
18～39 歳	4	25.0	25.0	—	—	—	25.0	50.0
40～64 歳	18	22.2	16.7	5.6	11.1	—	5.6	61.1
65 歳以上	4	—	—	—	—	—	—	100.0

## 【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、3級で「親に障がいがあるため」「(18歳未満の人からみた)親が病気であるため」の割合が高くなっています。

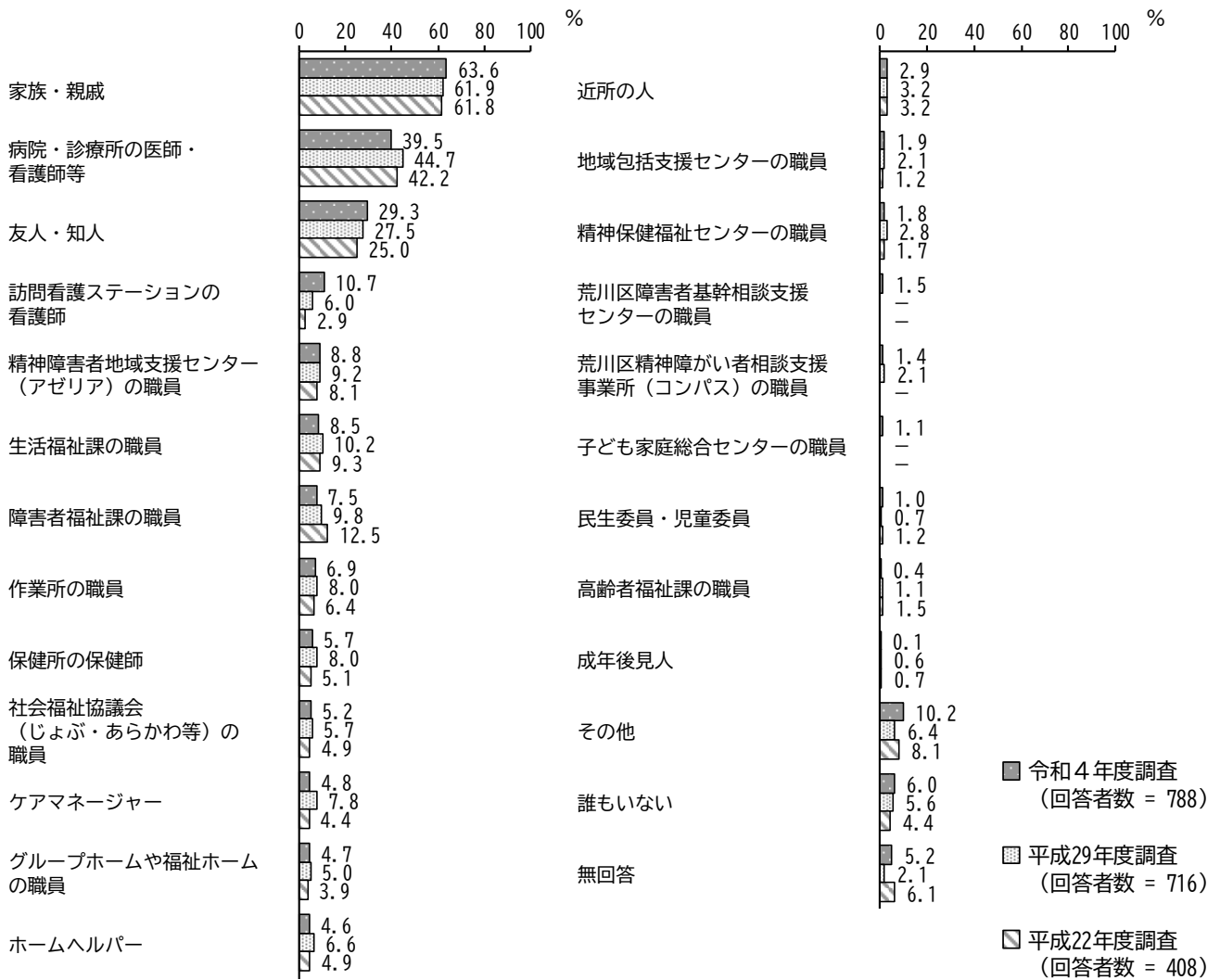
単位：%

区分	回答者数(件)	親に障がいがあるため	親が病気であるため (18歳未満の人からみた)	ひとり親家庭のため	親が仕事で忙しいため (18歳未満の人からみた)	親がきょうだいの面倒をみているため	その他	無回答
全 体	29	17.2	13.8	10.3	6.9	—	6.9	62.1
1級	—	—	—	—	—	—	—	—
2級	16	—	6.3	12.5	—	—	12.5	68.8
3級	11	45.5	27.3	9.1	18.2	—	—	45.5

問 22 日常のことで、現在あなたが相談している人はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が63.6%と最も高く、次いで「病院・診療所の医師・看護師等」の割合が39.5%、「友人・知人」の割合が29.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「病院・診療所の医師・看護師等」の割合が減少しています。





【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、1級で「家族・親戚」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親戚	病院・診療所の医師・看護師等	友人・知人	訪問看護ステーションの看護師	精神障害者地域支援センター(アゼリア)の職員	生活福祉課の職員	障害者福祉課の職員	作業所の職員	保健所の保健師	社会福祉協議会(じよぶ・あらかわ等)の職員	ケアマネージャー	グループホームや福祉ホームの職員
全体	788	63.6	39.5	29.3	10.7	8.8	8.5	7.5	6.9	5.7	5.2	4.8	4.7
1級	26	73.1	30.8	19.2	11.5	7.7	—	11.5	7.7	3.8	3.8	11.5	7.7
2級	397	67.0	41.3	29.0	15.1	11.1	11.1	8.1	8.6	6.0	4.8	7.1	5.5
3級	327	60.9	39.8	32.4	5.8	7.0	6.4	7.0	4.9	5.8	6.1	1.5	3.4

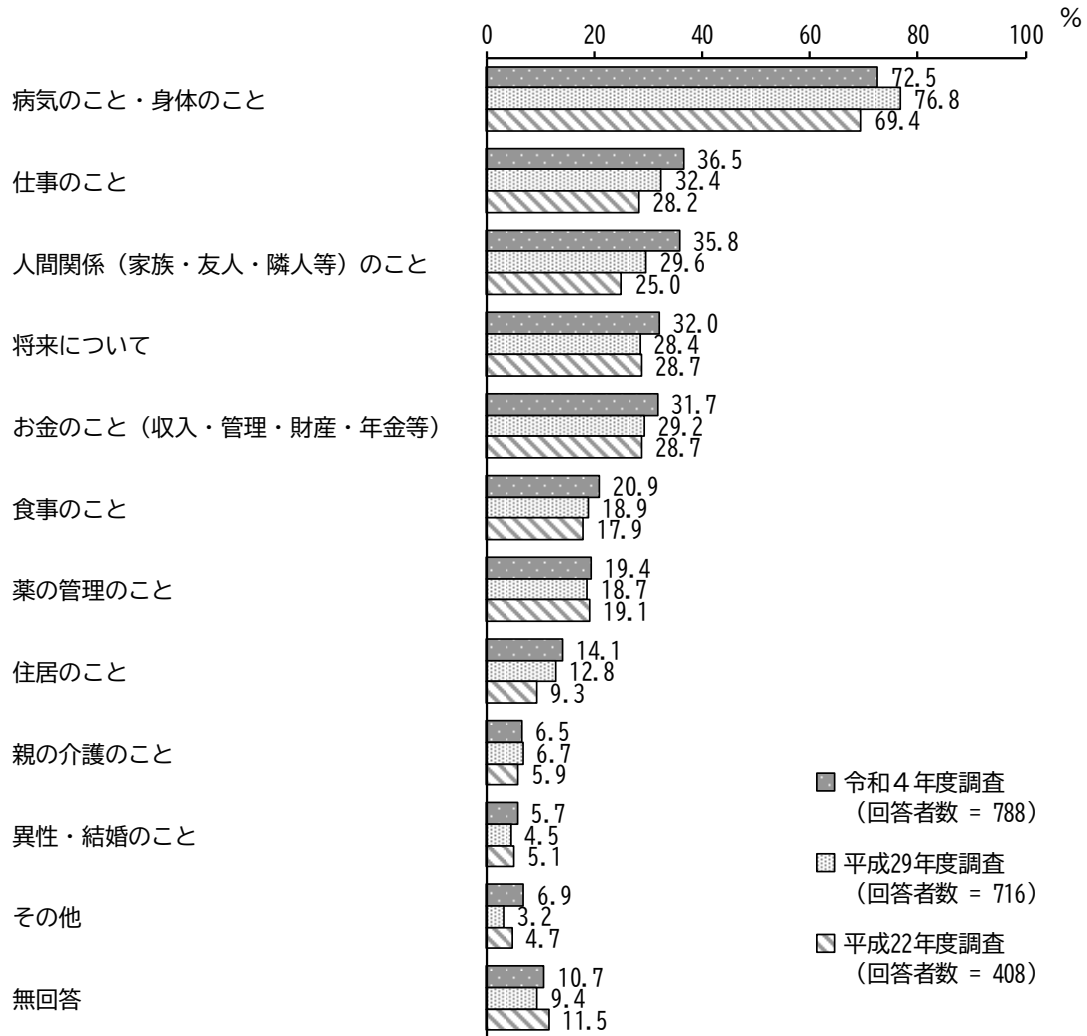
  

区分	ホームヘルパー	近所の人	地域包括支援センターの職員	精神保健福祉センターの職員	荒川区障害者基幹相談支援センターの職員	荒川区精神障がい者相談支援事業所(コンパス)の職員	子ども家庭総合センターの職員	民生委員・児童委員	高齢者福祉課の職員	成年後見人	その他	誰もいない	無回答
全体	4.6	2.9	1.9	1.8	1.5	1.4	1.1	1.0	0.4	0.1	10.2	6.0	5.2
1級	11.5	—	—	—	—	3.8	—	—	—	—	3.8	3.8	7.7
2級	6.5	4.0	2.8	2.0	1.8	1.5	1.3	1.5	0.8	0.3	10.3	3.3	3.0
3級	1.8	1.5	1.2	1.8	1.5	1.2	1.2	0.6	—	—	11.6	8.9	4.9

問 23 あなたが現在相談している内容は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「病気のこと・身体のこと」の割合が72.5%と最も高く、次いで「仕事のこと」の割合が36.5%、「人間関係（家族・友人・隣人等）のこと」の割合が35.8%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「人間関係（家族・友人・隣人等）のこと」の割合が増加しています。



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「仕事のこと」「将来について」「人間関係（家族・友人・隣人等）のこと」の割合が高くなっています。

全ての年齢で、「病気のこと・身体のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	病気のこと・身体のこと	仕事のこと	人間関係(家族・友人・隣人等)のこと	将来について	お金のこと(収入・管理・財産・年金等)	食事のこと	薬の管理のこと	住居のこと	親の介護のこと	異性・結婚のこと	その他	無回答
全体	788	72.5	36.5	35.8	32.0	31.7	20.9	19.4	14.1	6.5	5.7	6.9	10.7
18歳未満	8	25.0	12.5	25.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—	12.5
18～39歳	174	76.4	66.1	51.7	50.0	36.2	20.7	20.7	14.9	2.9	13.8	9.2	5.2
40～64歳	449	73.3	35.2	35.4	30.1	34.5	21.4	19.2	16.0	9.4	4.2	6.5	8.9
65歳以上	129	72.9	7.8	20.9	17.8	20.2	22.5	20.2	6.2	0.8	0.8	5.4	17.8

## 【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、3級で「仕事のこと」の割合が、2級で「食事のこと」「病気のこと・身体のこと」の割合が高くなっています。

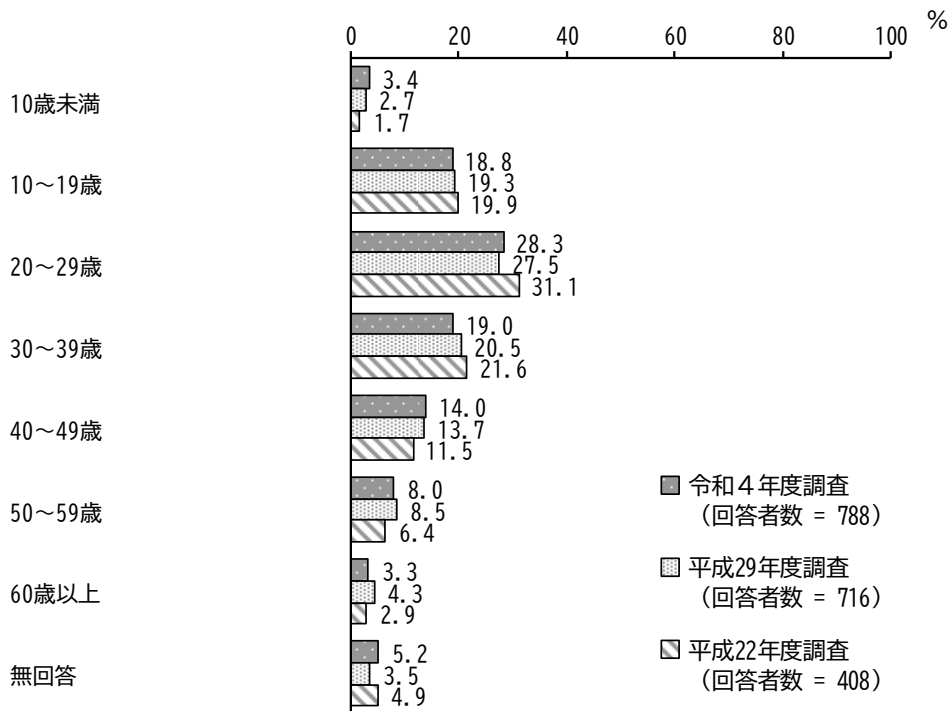
単位：％

区分	回答者数(件)	病気のこと・身体のこと	仕事のこと	人間関係(家族・友人・隣人等)のこと	将来について	お金のこと(収入・管理・財産・年金等)	食事のこと	薬の管理のこと	住居のこと	親の介護のこと	異性・結婚のこと	その他	無回答
全体	788	72.5	36.5	35.8	32.0	31.7	20.9	19.4	14.1	6.5	5.7	6.9	10.7
1級	26	65.4	11.5	23.1	34.6	26.9	26.9	26.9	15.4	3.8	3.8	11.5	11.5
2級	397	80.1	32.7	39.5	35.5	37.5	29.2	25.7	16.6	9.1	6.8	5.8	6.8
3級	327	67.3	45.6	34.9	29.4	26.9	11.9	12.5	11.3	4.0	4.9	7.3	11.6

問 24 あなたが初めて精神科（神経科・心療内科）で診察を受けたのは、何歳ごろですか（てんかんの場合は小児科・内科を含む）。（○は1つ）

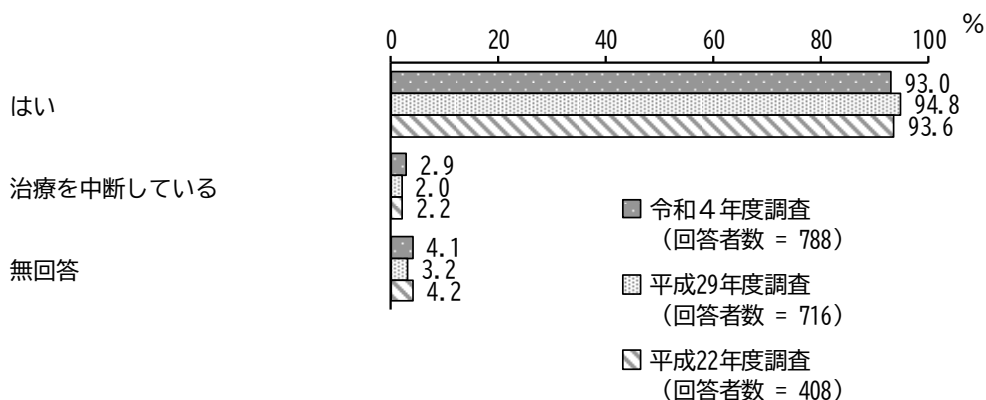
「20～29歳」の割合が28.3%と最も高く、次いで「30～39歳」の割合が19.0%、「10～19歳」の割合が18.8%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 25 あなたは現在、精神障がいについて治療を継続していますか。あてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）

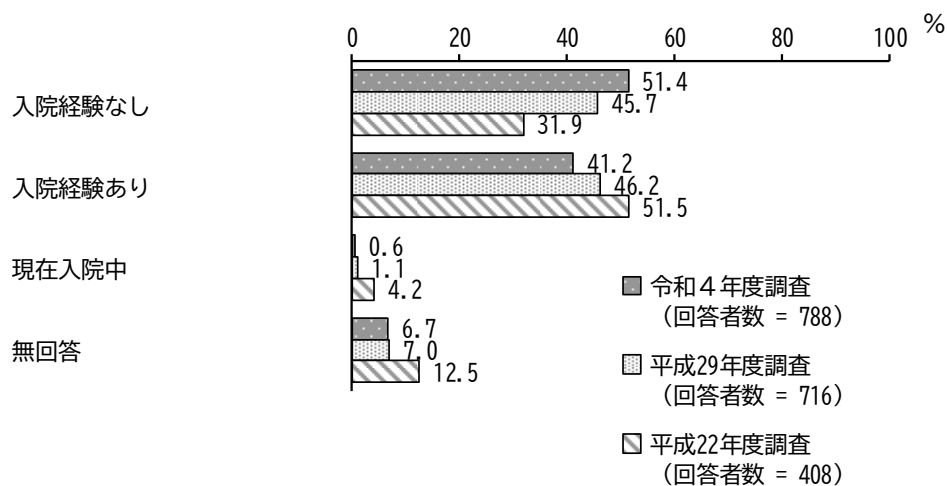
「はい」の割合が93.0%、「治療を中断している」の割合が2.9%となっています。平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 26 あなたは、これまでに精神科に入院したことがありますか。あてはまるものにつけてください。下線部には、入院の回数と、入院期間の合計を書き入れてください。(○は1つ)

「入院経験なし」の割合が51.4%と最も高く、次いで「入院経験あり」の割合が41.2%となっています。

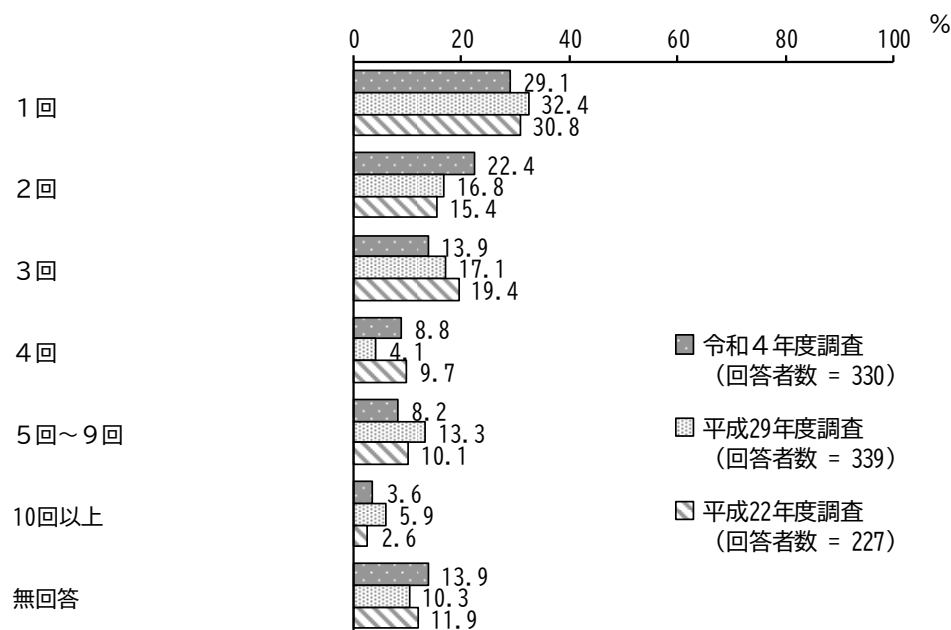
平成29年度調査と比較すると、「入院経験なし」の割合が増加しています。



### 入院回数

「1回」の割合が29.1%と最も高く、次いで「2回」の割合が22.4%、「3回」の割合が13.9%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「2回」の割合が増加しています。一方、「5回～9回」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「3回」「1回」の割合が高くなっています。

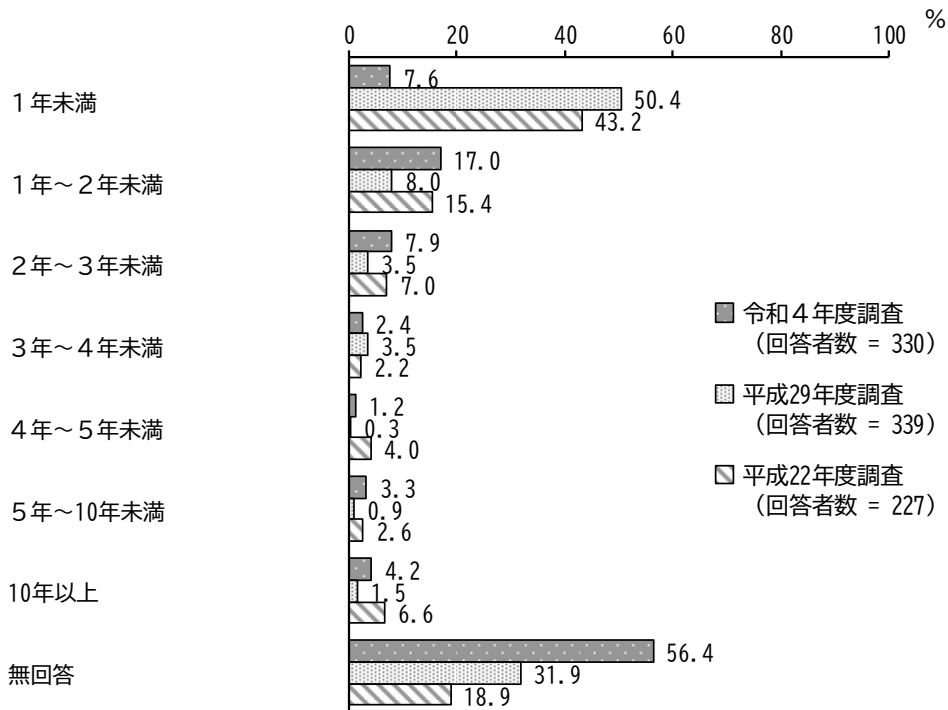
単位：％

区分	回答者数(件)	1回	2回	3回	4回	5回～9回	10回以上	無回答
全体	330	29.1	22.4	13.9	8.8	8.2	3.6	13.9
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	53	35.8	17.0	20.8	7.5	1.9	1.9	15.1
40～64歳	199	30.7	22.6	12.1	9.0	10.6	3.0	12.1
65歳以上	68	22.1	23.5	13.2	10.3	5.9	5.9	19.1

現在までの入院期間

「1年以上5年未満」の割合が28.5%と最も高くなっています。

平成29年度調査と比較すると、「1年～2年未満」の割合が増加しています。一方、「1年未満」の割合が減少しています。



## 【年齢別】

年齢別にみると、にみると、大きな差はみられません。

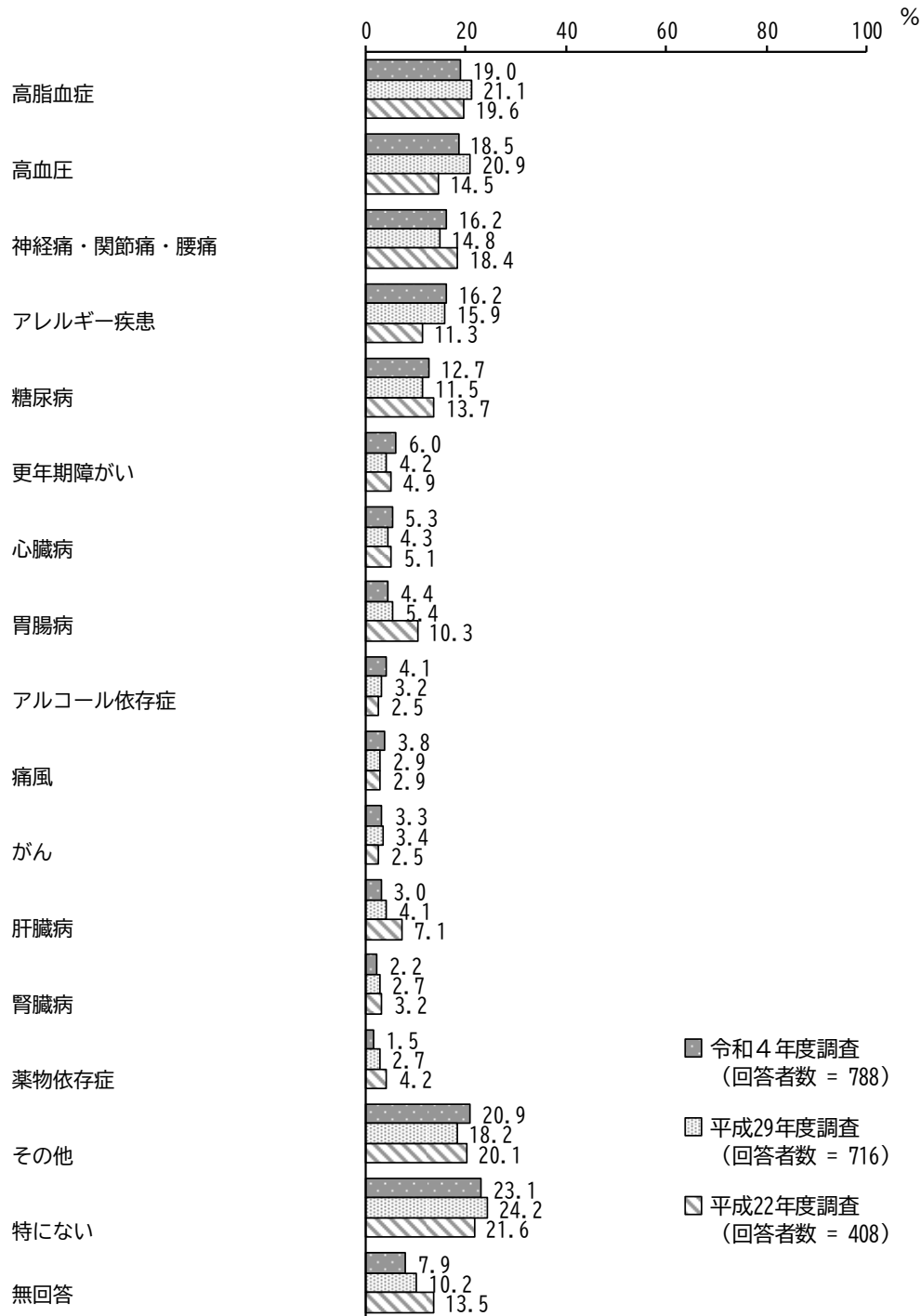
単位：％

区分	回答者数(件)	1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	無回答
全 体	330	7.6	17.0	7.9	2.4	1.2	3.3	4.2	56.4
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	53	13.2	15.1	5.7	1.9	—	—	3.8	60.4
40～64歳	199	8.5	17.6	7.0	2.0	1.0	2.0	2.5	59.3
65歳以上	68	1.5	16.2	11.8	4.4	2.9	8.8	10.3	44.1

問 27 あなたは、現在、以下にあるような病気（医師から診断されたもの）がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「特にない」の割合が23.1%と最も高く、次いで「その他」の割合が20.9%、「高脂血症」の割合が19.0%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。





## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「糖尿病」「高血圧」「高脂血症」の割合が高くなっています。また、年齢が下がるにつれて「特にない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	高脂血症	高血圧	痛 神経痛・関節痛・腰	アレルギー疾患	糖尿病	更年期障がい	心臓病	胃腸病
全 体	788	19.0	18.5	16.2	16.2	12.7	6.0	5.3	4.4
18歳未満	8	—	—	—	12.5	12.5	—	—	—
18～39歳	174	6.9	5.2	9.8	23.6	5.2	1.1	1.1	2.3
40～64歳	449	21.8	20.9	16.7	17.8	12.0	9.4	5.1	4.2
65歳以上	129	28.7	29.5	24.8	4.7	24.0	1.6	10.9	8.5

区分	アルコール依存症	痛風	がん	肝臓病	腎臓病	薬物依存症	その他	特にない	無回答
全 体	4.1	3.8	3.3	3.0	2.2	1.5	20.9	23.1	7.9
18歳未満	—	—	—	—	—	—	25.0	50.0	—
18～39歳	2.3	—	1.1	1.1	1.1	0.6	19.5	43.1	7.5
40～64歳	4.7	5.8	3.6	3.6	1.6	2.0	21.6	19.2	6.7
65歳以上	3.1	1.6	6.2	3.9	6.2	1.6	21.7	10.9	7.0

問 28 問 27 の病気の治療を受けていますか。(それぞれの項目の番号のどちらかに○をつけてください。)

『更年期障がい』で「治療していない」の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	治療している	治療していない	無回答
心臓病	42	64.3	23.8	11.9
高血圧	146	80.1	9.6	10.3
高脂血症（高コレステロール等）	150	70.7	18.7	10.7
糖尿病	100	82.0	11.0	7.0
胃腸病	35	77.1	20.0	2.9
肝臓病	24	41.7	25.0	33.3
腎臓病	17	58.8	23.5	17.6
アルコール依存症	32	46.9	25.0	28.1
薬物依存症	12	83.3	8.3	8.3
痛風	30	70.0	20.0	10.0
神経痛・関節痛・腰痛	128	60.9	22.7	16.4
アレルギー疾患	128	68.0	22.7	9.4
更年期障がい	47	55.3	38.3	6.4
がん	26	73.1	19.2	7.7
その他	165	72.1	10.3	17.6

〈平成 29 年度調査〉

単位：%

区分	回答者数 (件)	治療 している	治療 していない	無 回答
心臓病	31	64.5	25.8	9.7
高血圧	150	84.0	8.0	8.0
高脂血症（高コレステロール等）	151	68.9	19.2	11.9
糖尿病	82	73.2	15.9	11.0
胃腸病	39	89.7	5.1	5.1
肝臓病	29	58.6	20.7	20.7
腎臓病	19	42.1	52.6	5.3
アルコール依存症	23	69.6	21.7	8.7
薬物依存症	19	63.2	26.3	10.5
痛風	21	76.2	14.3	9.5
神経痛・関節痛・腰痛	106	69.8	17.0	13.2
アレルギー疾患	114	55.3	29.8	14.9
更年期障がい	30	26.7	53.3	20.0
がん	24	70.8	20.8	8.3
その他	130	66.2	12.3	21.5

II 調査結果 精神障がい者

〈平成 22 年度調査〉

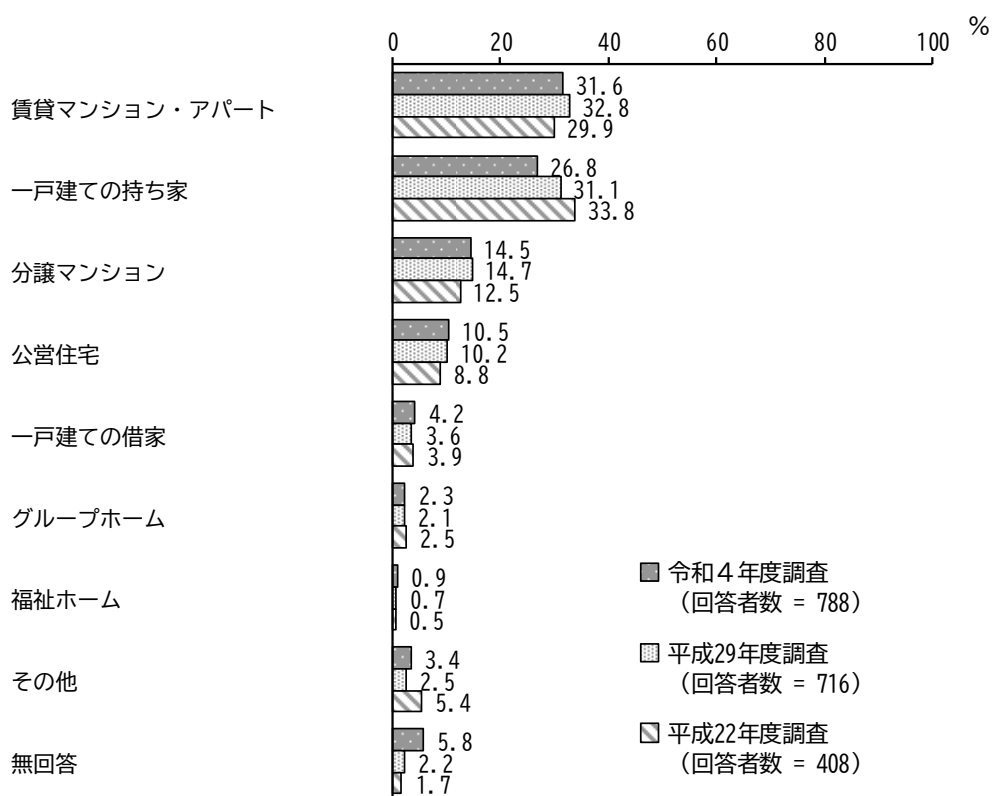
単位：％

区分	回答者数 (件)	治療 している	治療 していない	無 回答
心臓病	21	57.1	38.1	4.8
高血圧	59	89.8	10.2	0.0
高脂血症（高コレステロール等）	80	75.0	18.8	6.3
糖尿病	56	87.5	7.1	5.4
胃腸病	42	76.2	9.5	14.3
肝臓病	29	62.1	20.7	17.2
腎臓病	13	61.5	23.1	15.4
アルコール依存症	10	90.0	0.0	10.0
薬物依存症	17	70.6	17.6	11.8
痛風	12	75.0	25.0	0.0
神経痛・関節痛・腰痛	75	68.0	21.3	10.7
アレルギー疾患	46	65.2	26.1	8.7
更年期障がい	20	45.0	30.0	25.0
がん	10	70.0	20.0	10.0
その他	82	74.4	8.5	17.1

問 29 あなたのお住まいは次のうちどれですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。(○は1つ)

「賃貸マンション・アパート」の割合が31.6%と最も高く、次いで「一戸建ての持ち家」の割合が26.8%、「分譲マンション」の割合が14.5%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、1級で「一戸建ての持ち家」の割合が、3級で「賃貸マンション・アパート」の割合が高くなっています。

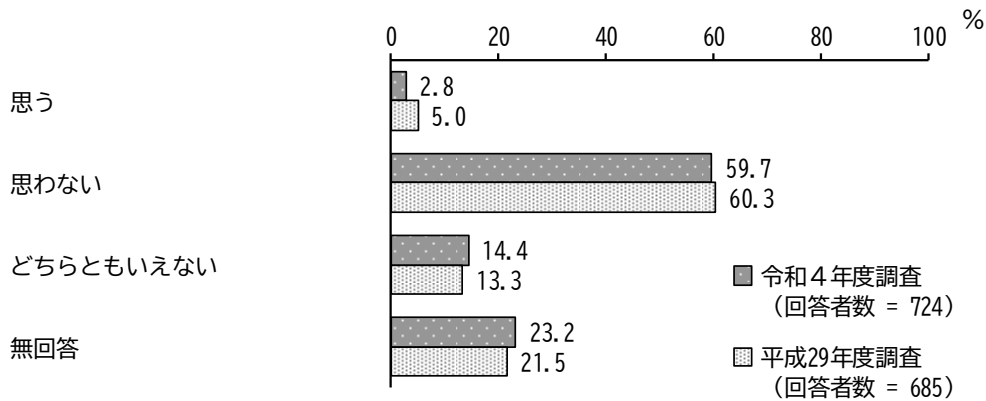
単位：%

区分	回答者数(件)	賃貸マンション・アパート	一戸建ての持ち家	分譲マンション	公営住宅	一戸建ての借家	グループホーム	福祉ホーム	その他	無回答
全体	788	31.6	26.8	14.5	10.5	4.2	2.3	0.9	3.4	5.8
1級	26	11.5	34.6	15.4	7.7	7.7	3.8	3.8	7.7	7.7
2級	397	29.2	27.2	12.1	14.1	4.5	3.0	1.5	3.8	4.5
3級	327	36.7	25.1	18.7	7.3	3.4	0.9	—	3.1	4.9

問30 問29で「6 グループホーム」以外に○をつけた方にお聞きします。あなたはご家族と離れて、グループホームに住んでみたいと思いますか。(○は1つ)

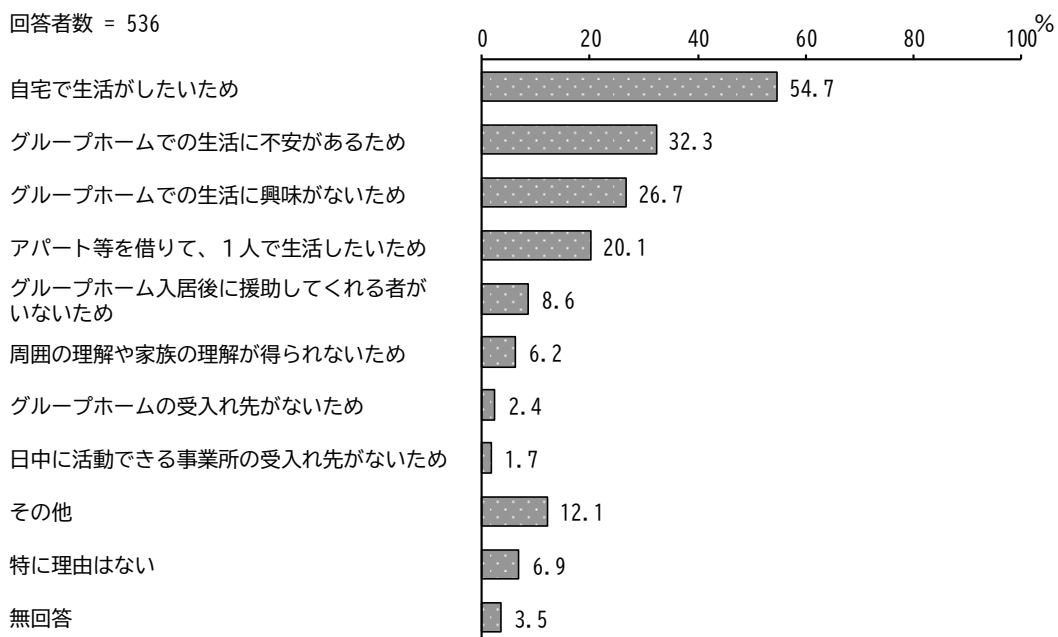
「思わない」の割合が59.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が14.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問31 (問30で「2 思わない」か「3 どちらともいえない」に○をつけた方のみお答えください。) グループホームに住んでみたいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「自宅で生活がしたいため」の割合が54.7%と最も高く、次いで「グループホームでの生活に不安があるため」の割合が32.3%、「グループホームでの生活に興味がないため」の割合が26.7%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「アパート等を借りて、1人で生活したいため」「グループホームでの生活に興味がないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自宅で生活がしたいため	グループホームでの生活に不安があるため	グループホームでの生活に興味がないため	アパート等を借りて、1人で生活したいため	グループホーム入居後に援助してくれる者がいないため	周囲の理解や家族の理解が得られないため	グループホームの受入れ先がないため	日中に活動できる事業所の受入れ先がないため	その他	特に理由はない	無回答
全 体	536	54.7	32.3	26.7	20.1	8.6	6.2	2.4	1.7	12.1	6.9	3.5
18歳未満	6	66.7	16.7	16.7	16.7	—	—	16.7	—	—	16.7	—
18～39歳	131	47.3	36.6	35.1	29.0	5.3	8.4	—	—	12.2	7.6	1.5
40～64歳	303	58.1	33.3	25.4	16.8	9.2	4.0	3.3	1.7	12.2	6.3	4.0
65歳以上	87	52.9	24.1	18.4	19.5	11.5	10.3	2.3	4.6	12.6	8.0	3.4

【障害の程度別】

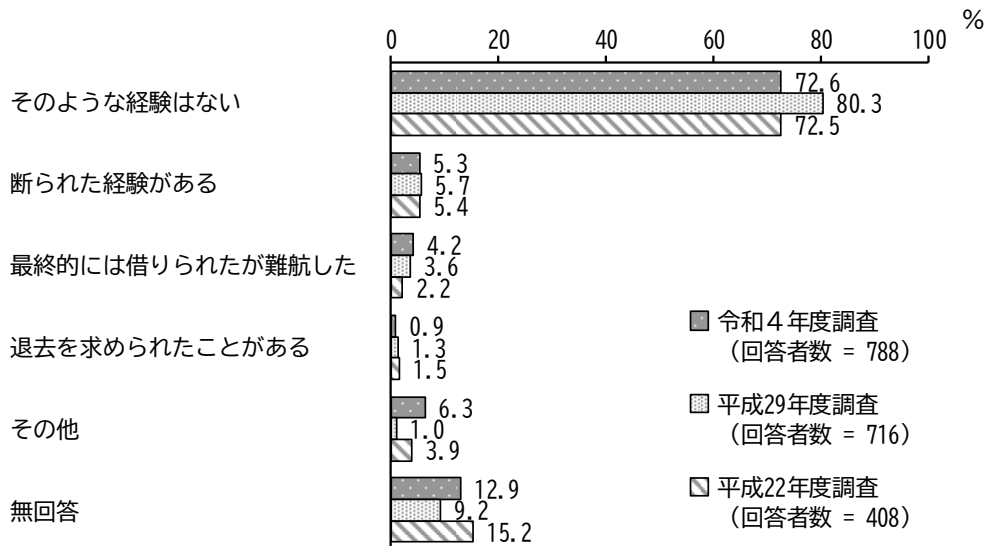
障害の程度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	自宅で生活がしたいため	グループホームでの生活に不安があるため	グループホームでの生活に興味がないため	アパート等を借りて、1人で生活したいため	グループホーム入居後に援助してくれる者がいないため	周囲の理解や家族の理解が得られないため	グループホームの受入れ先がないため	日中に活動できる事業所の受入れ先がないため	その他	特に理由はない	無回答
全 体	536	54.7	32.3	26.7	20.1	8.6	6.2	2.4	1.7	12.1	6.9	3.5
1級	17	52.9	17.6	17.6	5.9	—	—	—	5.9	17.6	5.9	5.9
2級	270	57.8	34.8	24.1	20.4	11.1	8.5	3.7	2.2	13.7	5.6	3.3
3級	233	51.1	30.9	30.9	20.6	6.0	3.4	1.3	0.9	10.3	9.0	3.0

問 32 あなた、またはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいを理由に断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「そのような経験はない」の割合が72.6%と最も高くなっています。  
平成29年度調査と比較すると、「そのような経験はない」の割合が減少しています。



【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、3級で「そのような経験はない」の割合が高くなっています。

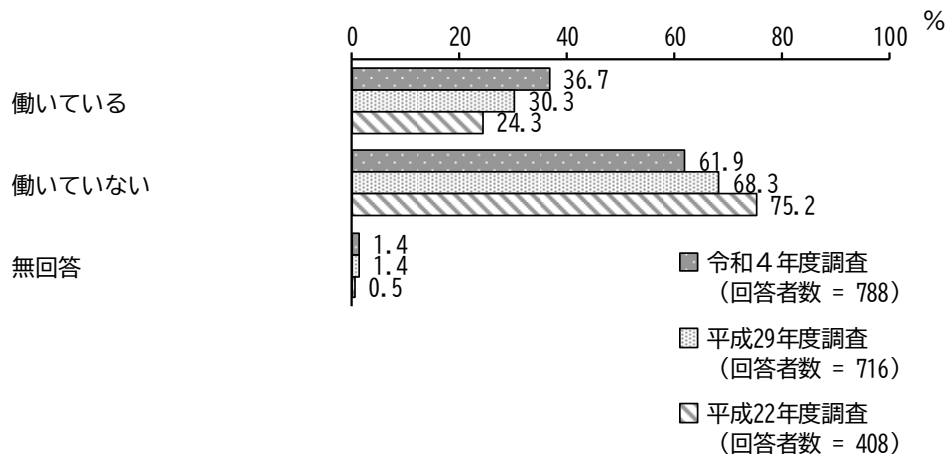
単位：%

区分	回答者数 (件)	断られた経験がある	最終的には借りられたが難航した	退去を求められたことがある	その他	そのような経験はない	無回答
全 体	788	5.3	4.2	0.9	6.3	72.6	12.9
1 級	26	3.8	—	—	3.8	61.5	30.8
2 級	397	6.5	5.5	1.5	6.5	68.8	13.6
3 級	327	4.3	3.1	0.3	6.4	80.7	7.3



問 33 あなたは、現在、働いていますか。(○は1つ)

「働いている」の割合が36.7%、「働いていない」の割合が61.9%となっています。  
 平成29年度調査と比較すると、「働いている」の割合が増加しています。一方、「働いていない」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「働いていない」の割合が、18～39歳で「働いている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	働いている	働いていない	無回答
全 体	788	36.7	61.9	1.4
18歳未満	8	12.5	87.5	—
18～39歳	174	51.1	48.3	0.6
40～64歳	449	38.5	61.0	0.4
65歳以上	129	14.7	82.2	3.1

II 調査結果 精神障がい者

【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、1級や2級で「働いていない」の割合が、3級で「働いている」の割合が高くなっています。

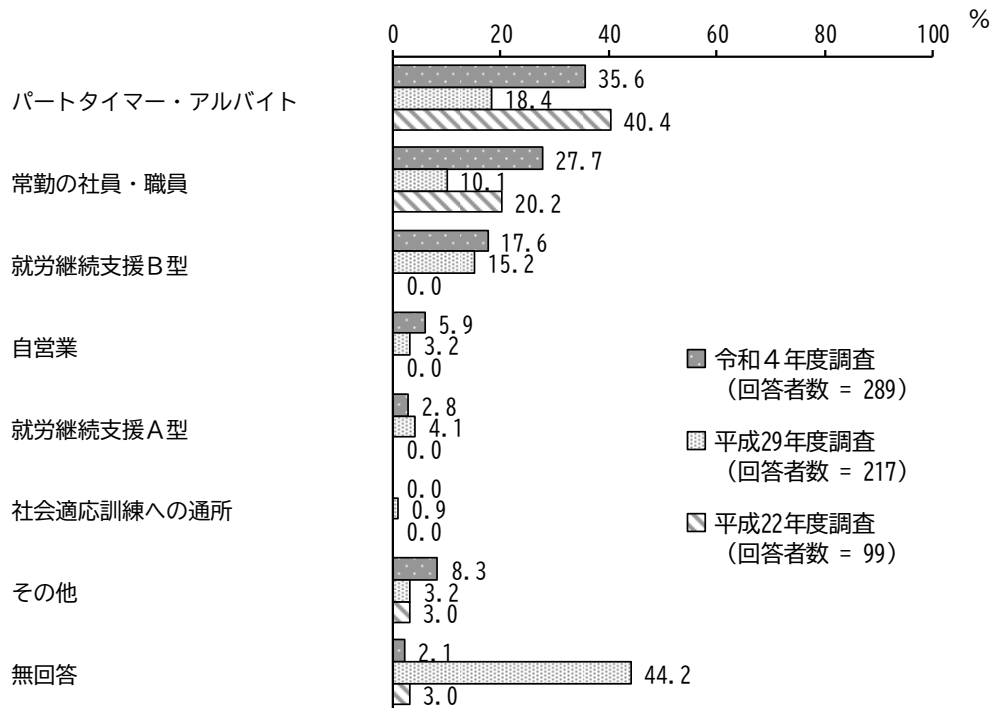
単位：％

区分	回答者数 (件)	働いている	働いていない	無回答
全 体	788	36.7	61.9	1.4
1級	26	11.5	88.5	—
2級	397	27.5	72.0	0.5
3級	327	50.8	47.4	1.8

問 34 (問 33で「1 働いている」に○をつけた方のみお答えください。) それは次のうちのどの仕事ですか。(○は1つ)

「パートタイマー・アルバイト」の割合が35.6%と最も高く、次いで「常勤の社員・職員」の割合が27.7%、「就労継続支援B型」の割合が17.6%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「常勤の社員・職員」「パートタイマー・アルバイト」の割合が増加しています。



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「常勤の社員・職員」の割合が、65歳以上で「就労継続支援B型」「パートタイマー・アルバイト」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	パートタイマー・アルバイト	常勤の社員・職員	就労継続支援B型	自営業	就労継続支援A型	通所 社会適応訓練への	その他	無回答
全体	289	35.6	27.7	17.6	5.9	2.8	—	8.3	2.1
18歳未満	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—
18～39歳	89	39.3	38.2	11.2	2.2	1.1	—	6.7	1.1
40～64歳	173	34.1	25.4	20.8	5.2	4.0	—	8.1	2.3
65歳以上	19	42.1	—	26.3	21.1	—	—	5.3	5.3

## 【障害の程度別】

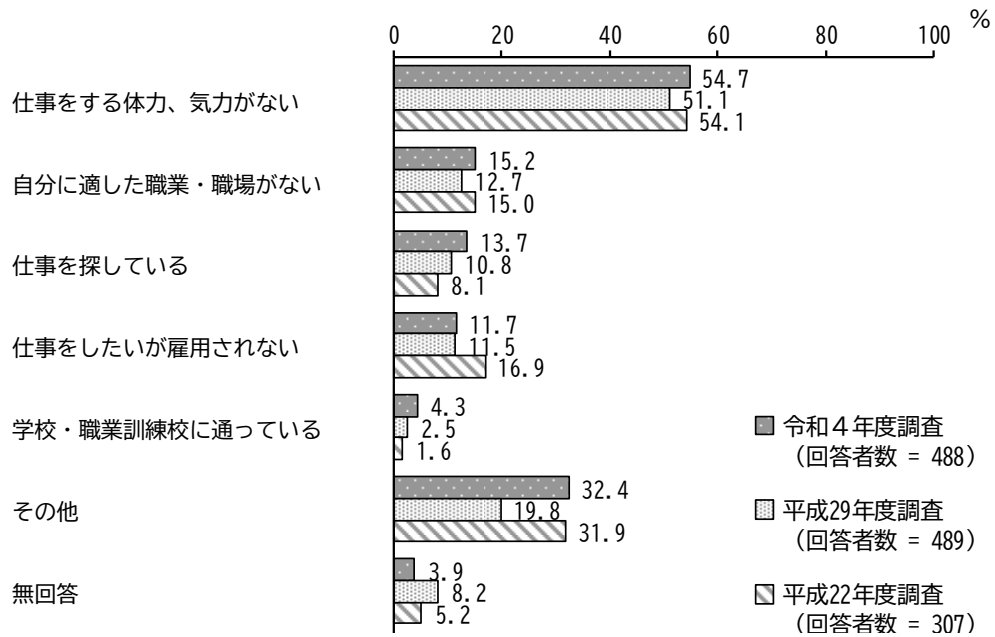
障害の程度別にみると、他に比べ、2級で「就労継続支援B型」の割合が、3級で「常勤の社員・職員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	パートタイマー・アルバイト	常勤の社員・職員	就労継続支援B型	自営業	就労継続支援A型	通所 社会適応訓練への	その他	無回答
全体	289	35.6	27.7	17.6	5.9	2.8	—	8.3	2.1
1級	3	—	66.7	33.3	—	—	—	—	—
2級	109	30.3	19.3	31.2	6.4	5.5	—	5.5	1.8
3級	166	39.8	33.7	9.0	4.8	1.2	—	9.0	2.4

問 35 (問 33 で「2 働いていない」に○をつけた方のみお答え下さい。)  
 あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「仕事をする体力、気力がない」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「自分に適した職業・職場がない」の割合が 15.2%、「仕事を探している」の割合が 13.7%となっています。  
 平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39 歳で「仕事を探している」「自分に適した職業・職場がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	仕事をする体力、気力がない	自分に適した職業・職場がない	仕事を探している	仕事をしたいが雇用されない	学校・職業訓練校に通っている	その他	無回答
全体	488	54.7	15.2	13.7	11.7	4.3	32.4	3.9
18 歳未満	7	—	—	—	—	100.0	—	—
18～39 歳	84	53.6	22.6	28.6	13.1	11.9	26.2	—
40～64 歳	274	57.7	16.1	14.2	13.5	1.5	31.8	4.0
65 歳以上	106	48.1	9.4	3.8	7.5	—	42.5	6.6

【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、3級で「仕事を探している」の割合が高くなっています。

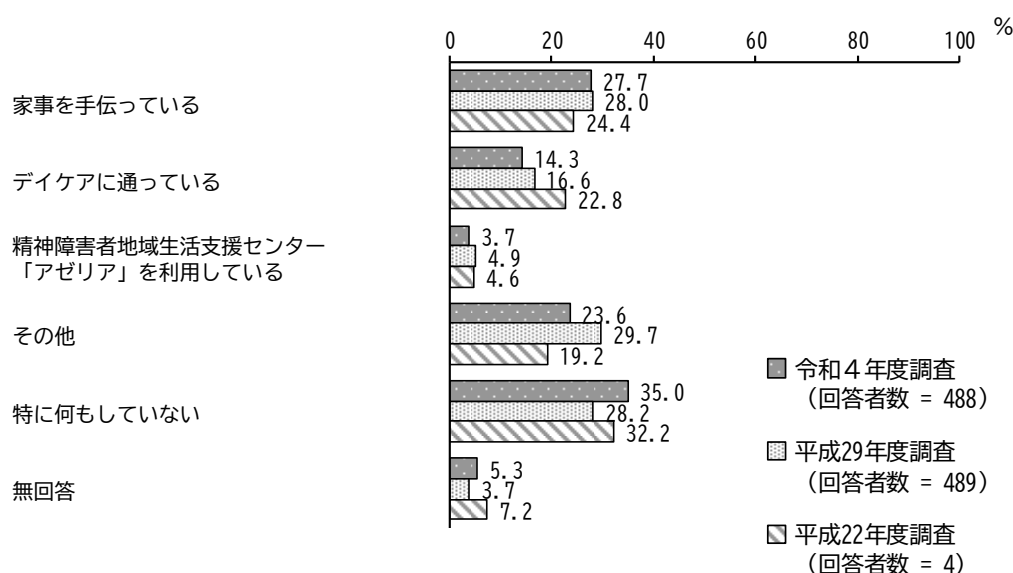
単位：％

区分	回答者数 (件)	仕事をする体力、 力がない	自分に適した職業・ 職場がない	仕事を探している	仕事をしたいが雇 用されない	学校・職業訓練校に 通っている	その他	無回答
全 体	488	54.7	15.2	13.7	11.7	4.3	32.4	3.9
1級	23	47.8	8.7	4.3	4.3	—	39.1	8.7
2級	286	55.9	15.7	9.8	10.5	4.2	34.3	2.4
3級	155	52.9	16.1	24.5	16.1	5.8	27.7	5.2

問 36 (問 33で「2 働いていない」に○をつけた方のみお答えください。あなたは、日常どのように過ごしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「特に何もしていない」の割合が35.0%と最も高く、次いで「家事を手伝っている」の割合が27.7%、「デイケアに通っている」の割合が14.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「特に何もしていない」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「特に何もしていない」の割合が、18～39歳で「家事を手伝っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家事を手伝っている	デイケアに通っている	精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用している	その他	特に何もしていない	無回答
全 体	488	27.7	14.3	3.7	23.6	35.0	5.3
18歳未満	7	14.3	—	—	—	71.4	14.3
18～39歳	84	34.5	6.0	2.4	31.0	28.6	8.3
40～64歳	274	32.1	15.7	4.7	24.1	31.0	3.6
65歳以上	106	12.3	17.9	2.8	16.0	50.9	4.7

【障害の程度別】

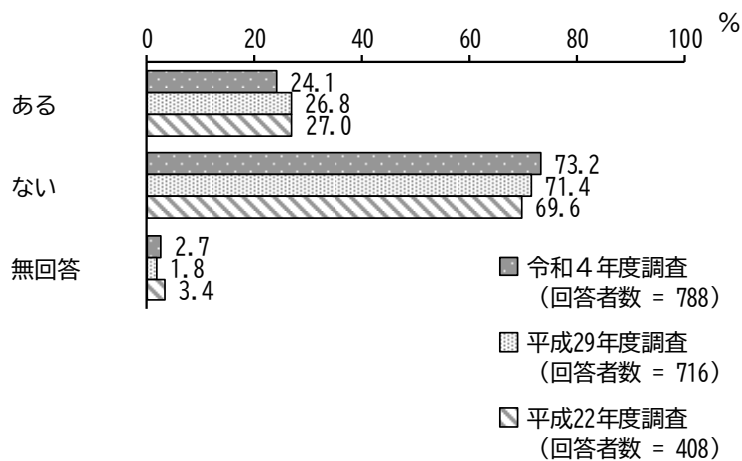
障害の程度別にみると、他に比べ、1級で「特に何もしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家事を手伝っている	デイケアに通っている	精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用している	その他	特に何もしていない	無回答
全 体	488	27.7	14.3	3.7	23.6	35.0	5.3
1級	23	13.0	17.4	—	8.7	56.5	4.3
2級	286	28.3	16.1	5.2	22.7	35.3	3.8
3級	155	29.0	11.0	1.9	27.1	32.9	5.8

問 37 あなたは精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用（来所、電話を含む。）したことがありますか。（○は1つ）

「ある」の割合が24.1%、「ない」の割合が73.2%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	788	24.1	73.2	2.7
18歳未満	8	—	100.0	—
18～39歳	174	26.4	73.0	0.6
40～64歳	449	26.9	71.3	1.8
65歳以上	129	12.4	82.2	5.4

II 調査結果 精神障がい者

【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、1級で「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

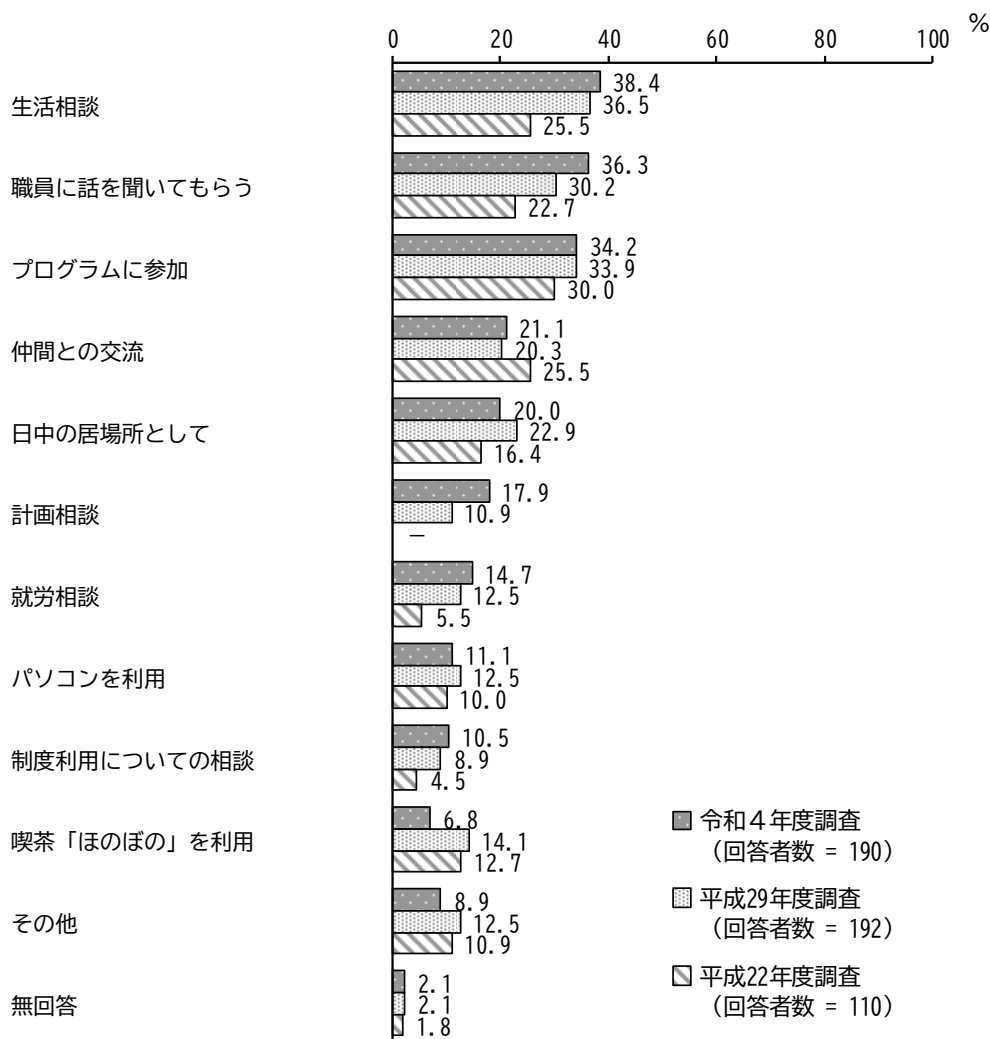
区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	788	24.1	73.2	2.7
1級	26	15.4	80.8	3.8
2級	397	29.0	70.0	1.0
3級	327	19.6	77.7	2.8



問 38 (問 37 で「1 ある」に○をつけた方のみお答えください。)  
 精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用する目的は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「生活相談」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「職員に話を聞いてもらう」の割合が 36.3%、「プログラムに参加」の割合が 34.2%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「職員に話を聞いてもらう」「計画相談」の割合が増加しています。一方、「喫茶「ほのぼの」を利用」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「日中の居場所として」や「職員に話を聞いてもらう」の割合が、65歳以上で「パソコンを利用」の割合が、40～64歳で「生活相談」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	生活相談	職員に話を聞いてもらう	プログラムに参加	仲間との交流	日中の居場所として	計画相談	就労相談	パソコンを利用	制度利用についての相談	喫茶「ほのぼの」を利用	その他	無回答
全体	190	38.4	36.3	34.2	21.1	20.0	17.9	14.7	11.1	10.5	6.8	8.9	2.1
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	46	30.4	41.3	23.9	15.2	28.3	19.6	19.6	10.9	10.9	2.2	10.9	—
40～64歳	121	44.6	38.0	38.8	20.7	16.5	19.8	15.7	9.1	12.4	5.8	9.1	1.7
65歳以上	16	18.8	18.8	31.3	25.0	12.5	6.3	—	18.8	—	25.0	6.3	12.5

【障害の程度別】

障害の程度別にみると、大きな差はみられません。

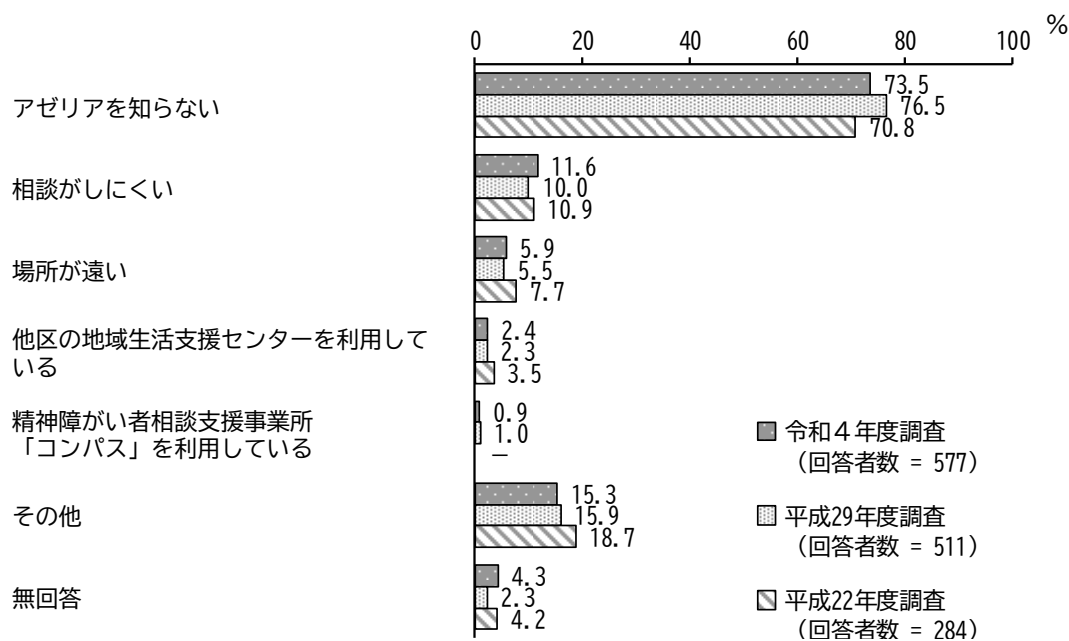
単位：％

区分	回答者数(件)	生活相談	職員に話を聞いてもらう	プログラムに参加	仲間との交流	日中の居場所として	計画相談	就労相談	パソコンを利用	制度利用についての相談	喫茶「ほのぼの」を利用	その他	無回答
全体	190	38.4	36.3	34.2	21.1	20.0	17.9	14.7	11.1	10.5	6.8	8.9	2.1
1級	4	100.0	75.0	25.0	25.0	—	100.0	25.0	—	75.0	—	—	—
2級	115	38.3	35.7	33.9	21.7	18.3	18.3	14.8	9.6	11.3	9.6	9.6	2.6
3級	64	35.9	37.5	35.9	17.2	21.9	14.1	14.1	12.5	6.3	1.6	9.4	1.6

問 39 (問 37 で「2 ない」に○をつけた方のみお答えください。) 精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「アゼリアを知らない」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「相談がしにくい」の割合が 11.6%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	アゼリアを知らない	相談がしにくい	場所が遠い	他区の地域生活支援センターを利用している	精神障がい者相談支援事業所「コンパス」を利用している	その他	無回答
全 体	577	73.5	11.6	5.9	2.4	0.9	15.3	4.3
18 歳未満	8	100.0	12.5	-	-	-	-	-
18～39 歳	127	77.2	10.2	4.7	0.8	0.8	17.3	1.6
40～64 歳	320	74.4	12.8	6.6	2.5	1.3	13.4	3.8
65 歳以上	106	68.9	7.5	4.7	2.8	-	18.9	9.4

【障害の程度別】

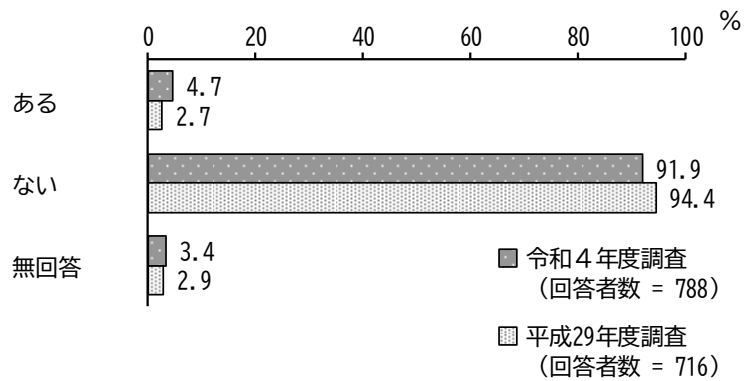
障害の程度別にみると、他に比べ、3級で「アゼリアを知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	アゼリアを知らない	相談がしにくい	場所が遠い	他区の地域生活支援センターを利用している	精神障がい者相談支援事業所「コンパス」を利用している	その他	無回答
全体	577	73.5	11.6	5.9	2.4	0.9	15.3	4.3
1級	21	71.4	—	4.8	—	—	14.3	14.3
2級	278	69.8	12.6	6.1	3.6	1.1	17.3	4.3
3級	254	78.7	11.4	5.5	1.2	0.8	13.4	3.1

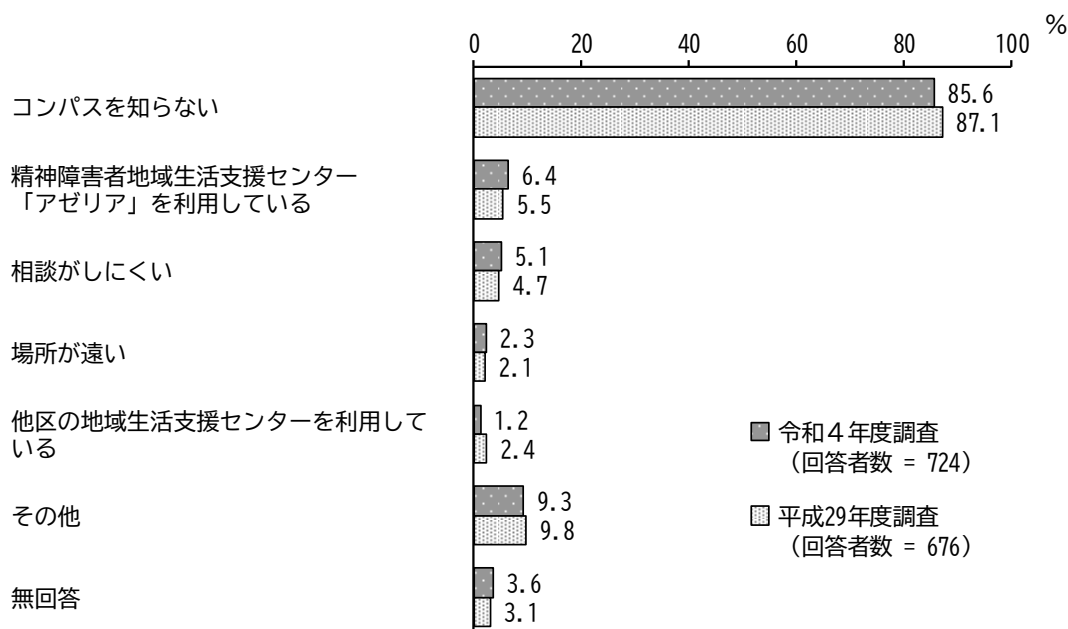
問 40 あなたは精神障がい者相談支援事業所「コンパス」を利用（来所、電話を含む。）したことがありますか。（○は1つ）

「ある」の割合が4.7%、「ない」の割合が91.9%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 41 (問 40 で「2 ない」に○をつけた方のみお答えください。) 精神障がい者相談支援事業所「コンパス」を利用しない理由は何ですか。

「コンパスを知らない」の割合が 85.6%と最も高くなっています。  
平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	コンパスを知らない	精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用している	相談がしにくい	場所が遠い	他区の地域生活支援センターを利用している	その他	無回答
全 体	724	85.6	6.4	5.1	2.3	1.2	9.3	3.6
18 歳未満	8	100.0	—	—	—	—	—	—
18～39 歳	158	87.3	6.3	5.1	3.8	0.6	9.5	0.6
40～64 歳	419	87.6	7.4	5.3	1.9	0.7	8.4	2.9
65 歳以上	119	78.2	3.4	3.4	2.5	3.4	13.4	8.4

【障害の程度別】

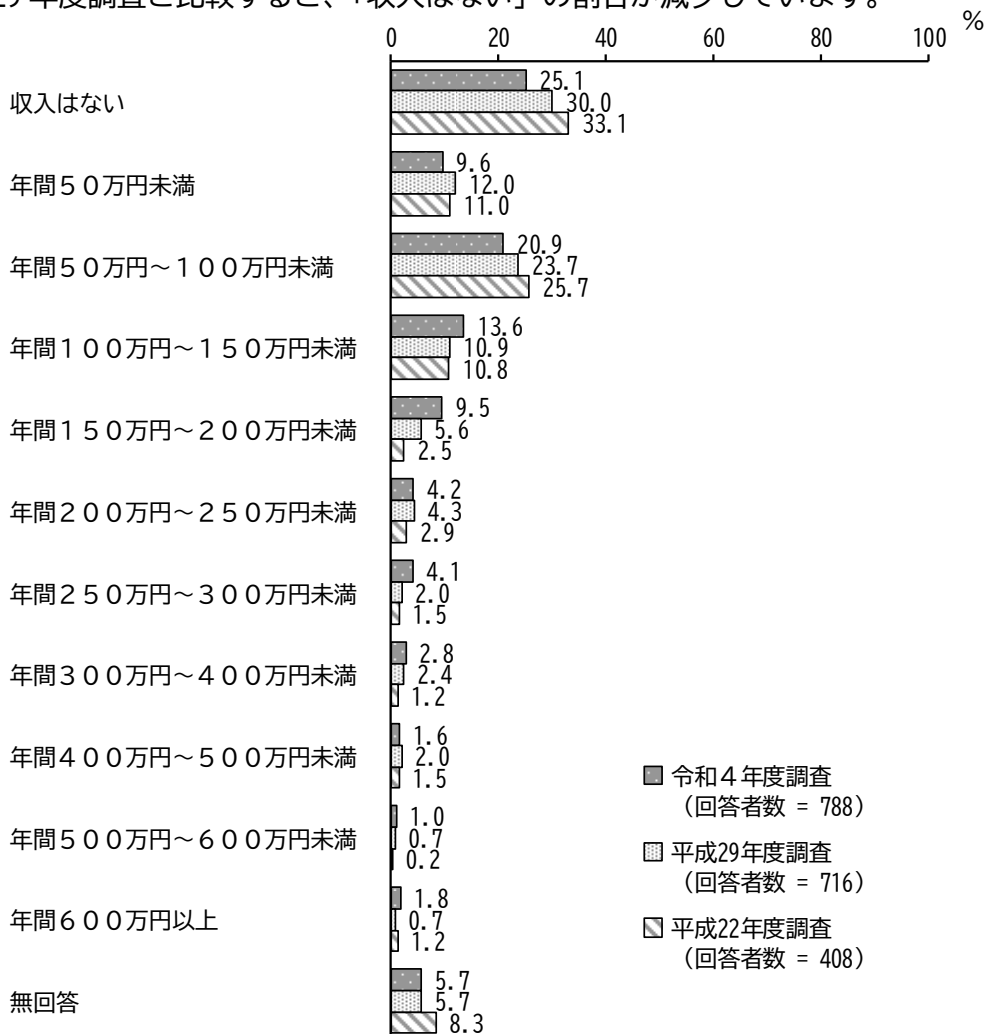
障害の程度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	コンパスを知らない	精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用している	相談がしにくい	場所が遠い	他区の地域生活支援センターを利用している	その他	無回答
全体	724	85.6	6.4	5.1	2.3	1.2	9.3	3.6
1級	24	83.3	8.3	—	—	—	8.3	8.3
2級	376	84.3	7.7	5.6	1.6	1.9	11.7	3.2
3級	299	88.3	4.7	4.7	3.7	0.3	6.7	3.0

問 42 あなたの令和3年中の年収（働いた年収・年金・手当等の合計）は、税込みでいくらでしたか。（○は1つ）

「収入はない」の割合が25.1%と最も高く、次いで「年間50万円～100万円未満」の割合が20.9%、「年間100万円～150万円未満」の割合が13.6%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、「収入はない」の割合が減少しています。



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「年間100万円～150万円未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	収入はない	年間50万円未満	年間50万円～100万円未満	年間100万円～150万円未満	年間150万円～200万円未満	年間200万円～250万円未満	年間250万円～300万円未満	年間300万円～400万円未満	年間400万円～500万円未満	年間500万円～600万円未満	年間600万円以上	無回答
全体	788	25.1	9.6	20.9	13.6	9.5	4.2	4.1	2.8	1.6	1.0	1.8	5.7
18歳未満	8	87.5	—	—	—	—	—	—	—	12.5	—	—	—
18～39歳	174	25.9	8.6	23.6	10.3	10.3	6.9	5.2	4.6	1.7	—	1.7	1.1
40～64歳	449	27.2	9.1	19.6	13.6	10.0	3.1	3.8	2.9	1.8	1.1	2.2	5.6
65歳以上	129	16.3	13.2	22.5	18.6	7.8	3.9	4.7	0.8	0.8	1.6	0.8	9.3

## 【障害の程度別】

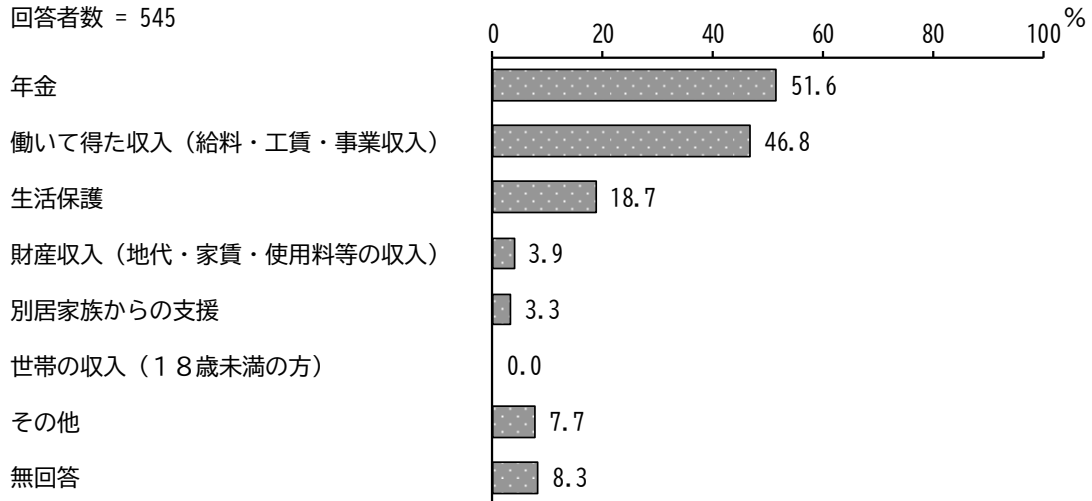
障害の程度別にみると、他に比べ、1級で「年間50万円～100万円未満」「収入はない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	収入はない	年間50万円未満	年間50万円～100万円未満	年間100万円～150万円未満	年間150万円～200万円未満	年間200万円～250万円未満	年間250万円～300万円未満	年間300万円～400万円未満	年間400万円～500万円未満	年間500万円～600万円未満	年間600万円以上	無回答
全体	788	25.1	9.6	20.9	13.6	9.5	4.2	4.1	2.8	1.6	1.0	1.8	5.7
1級	26	30.8	3.8	34.6	3.8	7.7	7.7	—	—	—	—	3.8	7.7
2級	397	25.7	9.8	24.4	13.6	9.3	3.8	4.5	0.5	0.8	0.5	0.5	6.5
3級	327	26.0	9.8	15.6	13.5	10.1	4.0	4.3	5.8	3.1	1.8	3.4	2.8

問 43 (問 42 で「2 年間50万円未満」～「11 年間600万円以上」に○をつけた方のみお答えください。あなたの収入の種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「年金」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「働いて得た収入(給料・工賃・事業収入)」の割合が 46.8%、「生活保護」の割合が 18.7%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「年金」「生活保護」の割合が、18～39歳で「働いて得た収入(給料・工賃・事業収入)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	年金	働いて得た収入 (給料・工賃・事業収入)	生活保護	財産収入 (地代・家賃・使用料等の収入)	別居家族からの支援	その他	世帯の収入 (18歳未満の方)	無回答
全体	545	51.6	46.8	18.7	3.9	3.3	7.7	—	8.3
18歳未満	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—
18～39歳	127	40.2	69.3	6.3	0.8	4.7	7.9	—	9.4
40～64歳	302	46.0	47.4	23.2	3.6	2.3	7.9	—	8.3
65歳以上	96	85.4	15.6	24.0	8.3	4.2	5.2	—	6.3



【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、1級や2級で「年金」の割合が、3級で「働いて得た収入（給料・工賃・事業収入）」の割合が高くなっています。

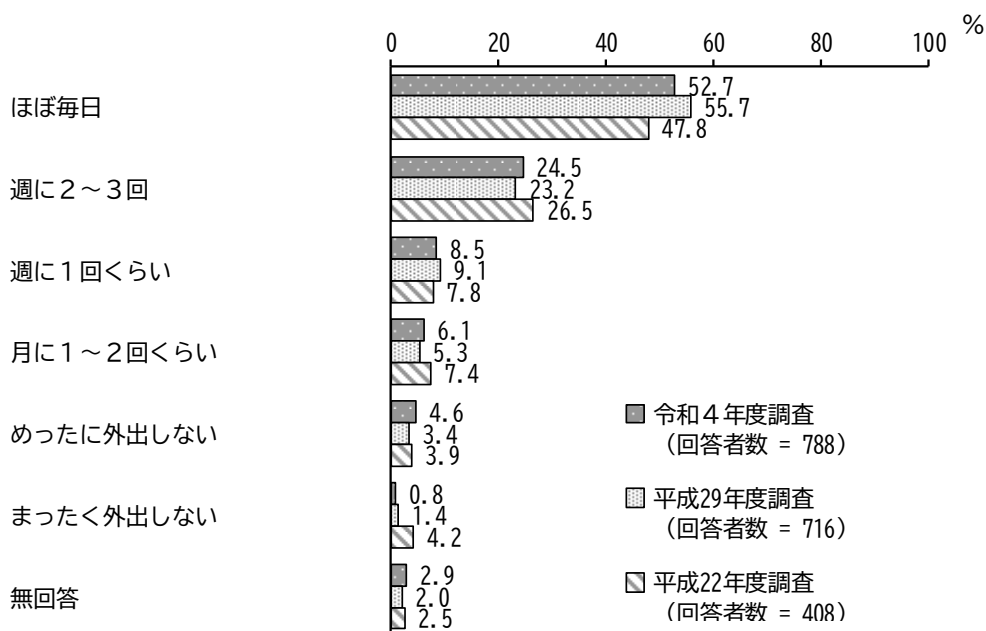
単位：％

区分	回答者数(件)	年金	働いて得た収入(給料・工賃・事業収入)	生活保護	財産収入(地代・家賃・使用料等の収入)	別居家族からの支援	その他	世帯の収入(18歳未満の方)	無回答
全体	545	51.6	46.8	18.7	3.9	3.3	7.7	—	8.3
1級	16	87.5	12.5	18.8	6.3	6.3	18.8	—	—
2級	269	69.1	36.1	23.0	3.0	3.7	7.4	—	7.4
3級	233	28.3	62.7	14.6	4.7	2.6	6.9	—	9.9

問 44 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出)

「ほぼ毎日」の割合が52.7%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が24.5%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



II 調査結果 精神障がい者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「ほぼ毎日」の割合が、65歳以上で「週に2～3回」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回くらい	めったに外出しない	まったく外出しない	無回答
全 体	788	52.7	24.5	8.5	6.1	4.6	0.8	2.9
18歳未満	8	87.5	—	—	—	—	12.5	—
18～39歳	174	63.2	17.8	9.8	4.0	4.0	—	1.1
40～64歳	449	53.7	25.8	7.8	6.0	4.0	0.4	2.2
65歳以上	129	36.4	31.0	10.9	9.3	7.0	1.6	3.9

【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、1級で「週に2～3回」の割合が、3級で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

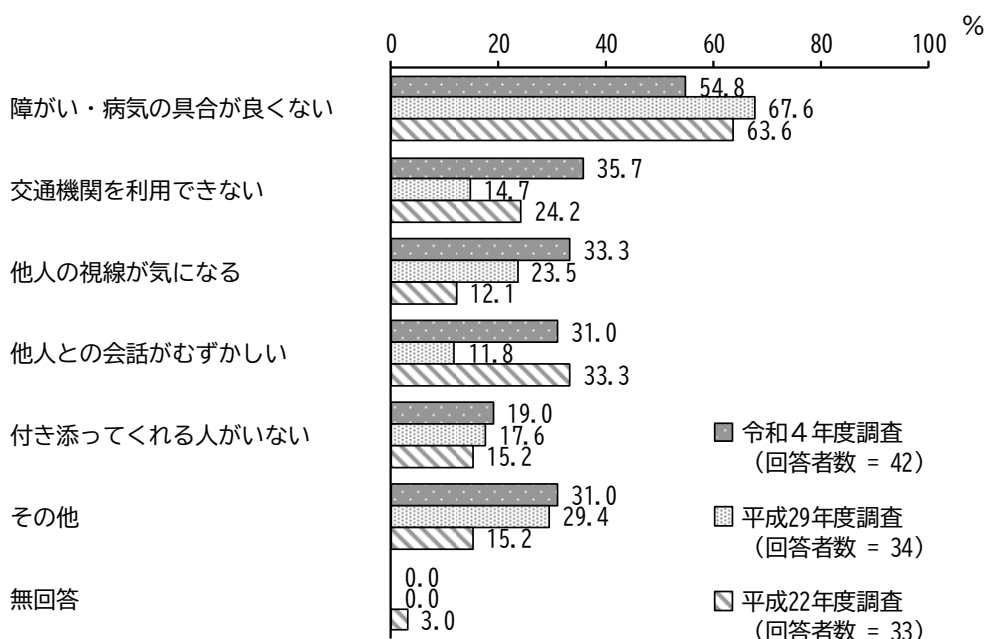
単位：%

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回くらい	めったに外出しない	まったく外出しない	無回答
全 体	788	52.7	24.5	8.5	6.1	4.6	0.8	2.9
1級	26	26.9	34.6	11.5	11.5	—	3.8	11.5
2級	397	48.6	23.9	11.3	7.1	5.5	1.0	2.5
3級	327	59.9	25.1	5.5	4.6	3.7	—	1.2

問 45 (問 44 で、「5 めったに外出しない」または「6 まったく外出しない」に○をつけた方のみお答えください。) あまり外出しない理由は何ですか。

「障がい・病気の具合が良くない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「交通機関を利用できない」の割合が 35.7%、「他人の視線が気になる」の割合が 33.3%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「他人との会話がむずかしい」「他人の視線が気になる」「交通機関を利用できない」の割合が増加しています。一方、「障がい・病気の具合が良くない」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「付き添ってくれる人がいない」の割合が、40～64歳で「障がい・病気の具合が良くない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	障がい・病気の具合が良くない	交通機関を利用できない	他人の視線が気になる	他人との会話がむずかしい	付き添ってくれる人がいない	その他	無回答
全 体	42	54.8	35.7	33.3	31.0	19.0	31.0	—
18歳未満	1	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—
18～39歳	7	57.1	71.4	57.1	42.9	28.6	42.9	—
40～64歳	20	60.0	25.0	30.0	30.0	15.0	40.0	—
65歳以上	11	45.5	27.3	18.2	18.2	27.3	9.1	—

【障害の程度別】

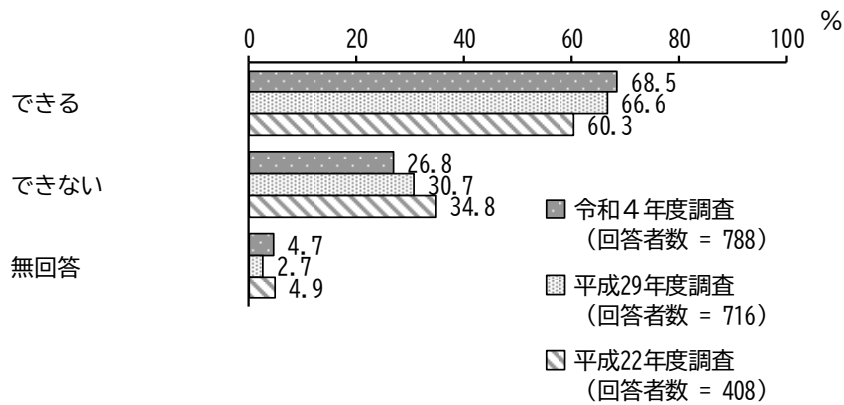
障害の程度別にみると、他に比べ、3級で「障がい・病気の具合が良くない」「他人との会話がむずかしい」「他人の視線が気になる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	障がい・病気の具合が良くない	交通機関を利用できない	他人の視線が気になる	他人との会話がむずかしい	付き添ってってくれる人がいない	その他
全体	42	54.8	35.7	33.3	31.0	19.0	31.0
1級	1	—	—	—	—	—	100.0
2級	26	50.0	42.3	34.6	30.8	23.1	30.8
3級	12	66.7	33.3	41.7	41.7	16.7	25.0

問 46 あなたは地震・火災等災害時に、ひとりで避難できますか。

「できる」の割合が68.5%、「できない」の割合が26.8%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「できない」の割合が、18～39歳で「できる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できる	できない	無回答
全 体	788	68.5	26.8	4.7
18歳未満	8	87.5	12.5	—
18～39歳	174	75.3	23.0	1.7
40～64歳	449	69.9	26.1	4.0
65歳以上	129	57.4	35.7	7.0

## 【障害の程度別】

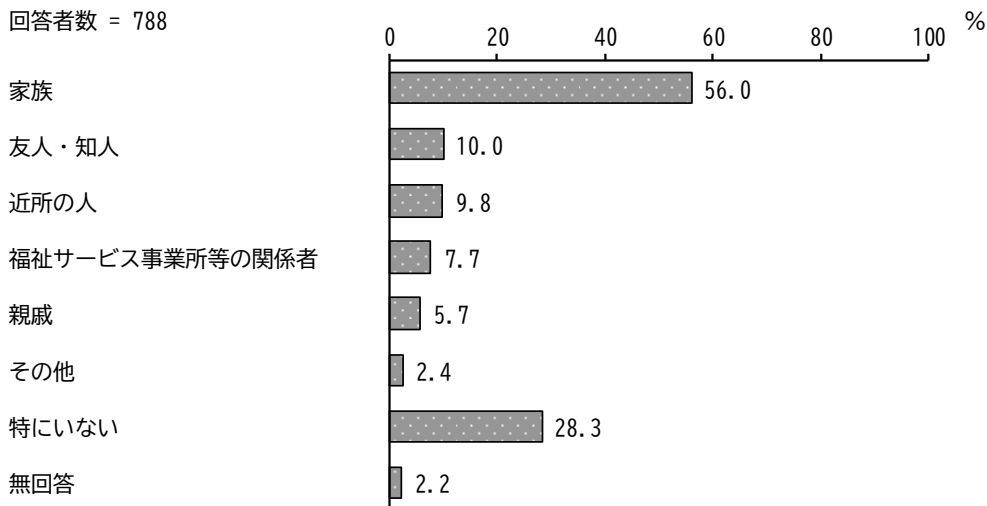
障害の程度別にみると、他に比べ、1級や2級で「できない」の割合が、3級で「できる」の割合が、2級で「できない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できる	できない	無回答
全 体	788	68.5	26.8	4.7
1級	26	34.6	53.8	11.5
2級	397	61.5	33.5	5.0
3級	327	80.7	16.8	2.4

問 47 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「特にいない」の割合が 28.3%、「友人・知人」の割合が 10.0%となっています。



【避難の可否別】

避難の可否別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族	友人・知人	近所の人	福祉サービス事業所等の関係者	親戚	その他	特にいない	無回答
全体	788	56.0	10.0	9.8	7.7	5.7	2.4	28.3	2.2
できる	540	59.1	11.9	10.6	8.0	5.9	1.3	27.2	0.6
できない	211	55.0	6.2	8.5	8.5	5.2	4.7	29.9	—

問 48 精神障がい者に関する施設・サービス等の利用状況について、お伺いします。項目ごとにあてはまる数字に○をつけてください。(1～33について各々○は1つ)

『医療費の公費負担』、『障害年金』や『都営交通無料乗車券』で「現在利用している」の割合が、『ハローワーク足立（足立公共職業安定所）』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	788	0.9	6.7	19.7	66.6	6.1
精神障害者地域生活支援センター（アゼリア）	788	7.9	13.1	15.7	57.6	5.7
荒川区精神障がい者相談支援事業所（コンパス）	788	0.9	2.2	6.9	83.6	6.5
荒川区障害者基幹相談支援センター	788	1.4	0.4	6.2	84.8	7.2
就労移行・就労継続支援（作業所）	788	10.7	11.4	19.9	51.6	6.3
グループホーム	788	1.8	2.7	34.1	54.7	6.7
福祉ホーム	788	0.6	0.5	17.6	74.4	6.9
じょぶあらかわ（障害者就労支援センター）	788	4.6	11.2	16.8	60.4	7.1
東京都障害者総合スポーツセンター	788	0.8	5.8	13.7	72.6	7.1
ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	788	3.4	31.5	28.6	29.2	7.4
医療費の公費負担	788	54.7	7.9	4.3	25.6	7.5
成年後見人制度	788	0.9	0.5	38.3	52.7	7.6
あんしんサポート（地域福祉権利擁護事業）	788	1.0	0.3	10.3	80.1	8.4
障害年金	788	40.2	2.4	30.5	19.9	7.0
社会適応訓練	788	0.8	2.5	15.1	74.5	7.1
ホームヘルプサービス	788	5.3	1.1	20.4	66.1	7.0
移動支援サービス	788	1.5	1.0	14.1	75.0	8.4
ショートステイ	788	1.0	2.2	27.9	60.4	8.5
計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	788	14.6	4.9	8.8	63.7	8.0
地域移行支援 （入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援）	788	0.8	1.8	9.4	80.1	8.0

(次のページへ)

II 調査結果 精神障がい者

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
地域定着支援 (地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	788	0.8	0.6	11.7	78.3	8.6
児童発達支援	788	0.3	0.6	9.3	80.5	9.4
放課後等デイサービス	788	0.6	0.3	16.1	73.1	9.9
障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	788	0.5	0.6	9.9	79.2	9.8
避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	788	3.9	1.9	17.4	67.8	9.0
保健所の保健師への相談	788	5.5	18.0	21.6	47.0	8.0
医療機関等のデイケア	788	8.2	10.7	25.4	46.6	9.1
訪問看護	788	13.3	4.1	35.5	38.6	8.5
こころの夜間電話相談	788	0.4	4.9	24.7	60.9	9.0
都営住宅の優先入居	788	4.9	2.5	32.6	50.5	9.4
都営交通無料乗車券	788	69.7	7.0	6.2	10.2	7.0
公立施設使用料の減額、免除	788	24.4	15.6	20.3	32.1	7.6
NHK受信料の減額、免除	788	27.7	4.6	26.0	35.7	6.1

(前ページの表 続き)



## 〈平成 29 年度調査〉

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用 したことがある	知 っているが利用して いない	知 らない	無 回 答
アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	716	1.0	8.5	20.0	61.2	9.4
精神障害者地域生活支援センター（アゼリア）	716	9.2	13.1	16.2	52.9	8.5
荒川区精神障がい者相談支援事業所（コンパス）	716	1.7	0.6	5.6	82.4	9.8
荒川区障害者基幹相談支援センター	—	—	—	—	—	—
就労移行・就労継続支援（作業所）	716	10.8	8.5	23.0	48.5	9.2
グループホーム	716	2.2	2.1	32.7	53.8	9.2
福祉ホーム	716	0.6	1.4	14.9	73.3	9.8
じよぶあらかわ（障害者就労支援センター）	716	5.0	9.6	16.8	59.2	9.4
東京都障害者総合スポーツセンター	716	0.6	5.6	14.7	68.6	10.6
ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	716	4.3	27.5	28.4	29.2	10.6
医療費の公費負担	716	57.1	7.4	4.5	21.5	9.5
成年後見人制度	716	1.0	0.4	33.8	54.1	10.8
あんしんサポート（地域福祉権利擁護事業）	716	0.8	0.7	9.6	78.6	10.2
障害年金	716	36.7	2.0	29.5	24.4	7.4
社会適応訓練	716	1.7	2.0	14.5	71.6	10.2
ホームヘルプサービス	716	6.8	2.5	22.6	58.4	9.6
移動支援サービス	716	2.2	1.1	14.7	72.3	9.6
ショートステイ	716	0.8	2.1	26.3	61.3	9.5
計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	716	12.3	3.9	7.4	66.8	9.6
地域移行支援 （入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援）	716	1.4	1.4	9.9	78.2	9.1

(次のページへ)

II 調査結果 精神障がい者

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
地域定着支援 (地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	716	0.8	0.6	9.5	79.7	9.4
児童発達支援	716	0.4	1.7	7.0	80.0	10.9
放課後等デイサービス	716	0.6	1.3	12.2	75.0	11.0
障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	716	1.4	1.5	8.2	77.0	11.9
避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	—	—	—	—	—	—
保健所の保健師への相談	716	6.1	14.0	19.8	49.9	10.2
医療機関等のデイケア	716	8.9	9.4	24.9	47.3	9.5
訪問看護	716	8.9	2.0	31.7	48.9	8.5
こころの夜間電話相談	716	0.4	5.3	17.5	68.3	8.5
都営住宅の優先入居	716	3.9	2.4	34.5	49.6	9.6
都営交通無料乗車券	716	71.9	5.3	8.9	7.1	6.7
公立施設使用料の減額、免除	716	24.7	15.5	18.9	31.6	9.4
NHK受信料の減額、免除	716	28.5	1.3	24.9	38.4	7.0

(前ページの表 続き)

〈平成 22 年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	408	1.2	10.0	15.7	53.7	19.4
精神障害者地域生活支援センター（アゼリア）	408	6.4	15.0	14.0	46.6	18.1
荒川区精神障がい者相談支援事業所（コンパス）	—	—	—	—	—	—
荒川区障害者基幹相談支援センター	—	—	—	—	—	—
授産施設・共同作業所	408	6.9	8.3	17.4	46.8	20.6
グループホーム	408	2.5	1.0	22.8	51.2	22.5
福祉ホーム	408	0.2	0.2	11.8	63.0	24.8
じよぶあらかわ（障害者就労支援センター）	408	4.2	11.0	12.7	51.5	20.6
東京都障害者総合スポーツセンター	408	0.7	8.1	13.2	54.9	23.0
ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	408	5.9	23.3	23.5	26.5	20.8
医療費の公費負担	408	55.6	5.6	4.2	15.9	18.6
成年後見人制度	408	1.5	0.5	21.1	53.2	23.8
あんしんサポート（地域福祉権利擁護事業）	408	1.0	0.5	6.9	68.6	23.0
障害年金	408	40.4	2.7	21.3	17.6	17.9
社会適応訓練	408	0.7	4.4	12.7	58.6	23.5
ホームヘルプサービス	408	5.1	1.5	24.0	47.3	22.1
移動支援サービス	408	1.2	0.0	12.7	62.0	24.0
ショートステイ	408	0.2	2.5	19.6	53.7	24.0
計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	—	—	—	—	—	—
地域移行支援 （入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援）	—	—	—	—	—	—

(次のページへ)

II 調査結果 精神障がい者

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用 したことがある	知 っているが利用 して いない	知 らない	無 回 答
地域定着支援 (地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	—	—	—	—	—	—
児童発達支援	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	—	—	—	—	—	—
障害児相談支援 (障害児支援利用計画の作成)	—	—	—	—	—	—
避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	—	—	—	—	—	—
保健所の保健師への相談	—	—	—	—	—	—
医療機関等のデイケア	408	12.7	9.6	18.4	37.3	22.1
訪問看護	408	5.1	1.2	27.7	43.1	22.8
こころの夜間電話相談	408	0.2	2.9	14.2	59.3	23.3
都営住宅の優先入居	408	4.9	1.5	24.3	44.4	25.0
都営交通無料乗車券	408	63.5	6.6	9.1	7.6	13.2
公立施設使用料の減額、免除	408	17.4	10.8	19.4	28.7	23.8
NHK受信料の減額、免除	408	27.2	1.2	18.9	35.3	17.4

(前ページの表 続き)

【障がいの程度別】

障がいの程度別で見ると、1級・2級で「障害年金」の割合が高くなっています。また、2級・3級で「都営交通無料乗車券」の割合が高くなっています。

「現在利用している」と「利用したことがある」をあわせた割合

単位：%

区分	回答者数(件)	アクロスあらかわ(障害者福祉会館)	精神障害者地域生活支援センター(アゼリア)	荒川区精神障がい者相談支援事業所(コンパス)	荒川区障害者基幹相談支援センター	就労移行・就労継続支援(作業所)	グループホーム	福祉ホーム	じよぶあらかわ(障害者就労支援センター)
1級	26	3.8	11.5	3.8	3.8	11.5	7.7	3.8	7.7
2級	397	8.3	25.4	2.0	2.8	23.7	6.3	1.8	14.6
3級	327	7.0	16.8	4.0	0.6	22.3	2.1	0.3	19.0

区分	東京都障害者総合スポーツセンター	定所) ハローワーク足立(足立公共職業安定所)	医療費の公費負担	成年後見人制度	あんしんサポート(地域福祉権利擁護事業)	障害年金	社会適応訓練	ホームヘルプサービス	移動支援サービス
1級	3.8	15.4	57.7	-	-	57.7	-	7.7	15.4
2級	6.5	28.7	61.2	2.0	2.3	57.4	3.5	9.3	3.3
3級	7.0	44.6	65.4	0.9	0.3	24.2	3.4	3.4	0.9

(次のページへ)

II 調査結果 精神障がい者

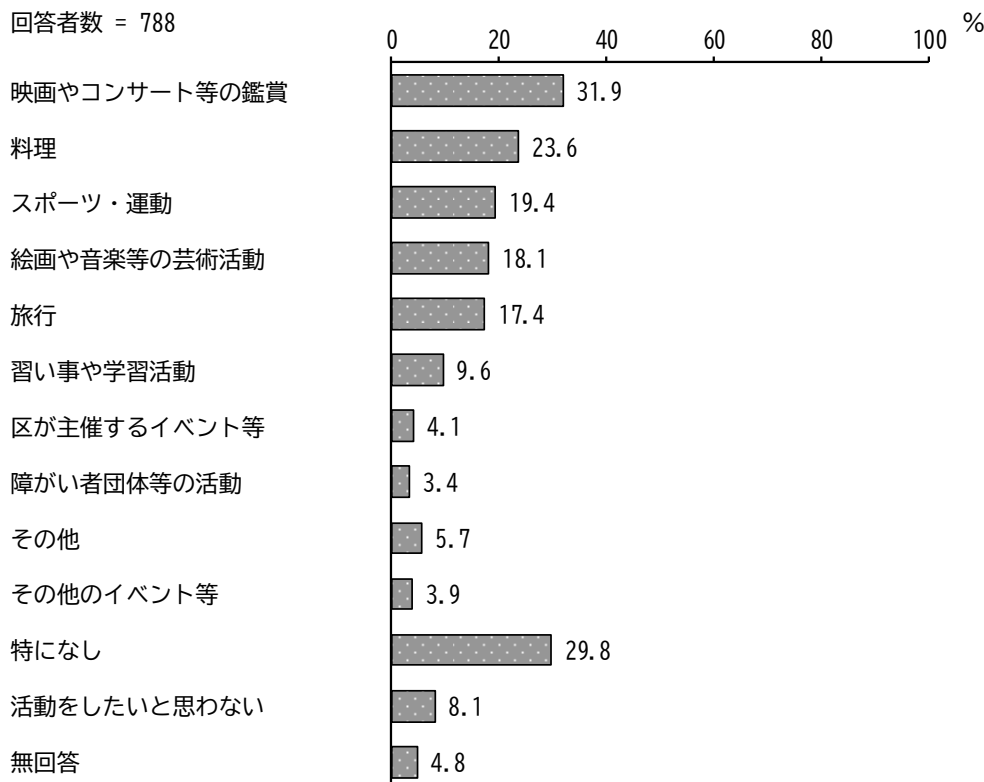
区分	シヨートステイ	計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	地域移行支援（入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援）	地域定着支援（地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	児童発達支援	放課後等デイサービス	障害児相談支援（障害児支援利用計画の作成）	避難行動要支援者登録事業（避難行動要支援者個別支援計画等）	保健所の保健師への相談
1級	15.4	26.9	3.8	-	-	-	-	7.7	23.1
2級	4.3	22.9	3.3	1.8	0.8	1.0	0.8	6.3	24.7
3級	0.6	15.6	1.2	0.9	1.2	0.9	1.8	5.8	22.9

区分	医療機関等のデイケア	訪問看護	こころの夜間電話相談	都営住宅の優先入居	都営交通無料乗車券	公立施設使用料の減額、免除	NHK受信料の減額、免除
1級	3.8	30.8	-	3.8	53.8	15.4	30.8
2級	25.7	22.9	7.1	10.3	77.3	41.6	37.3
3級	13.1	9.5	3.7	4.3	79.5	42.8	26.9

(前ページの表 続き)

問 49 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「映画やコンサート等の鑑賞」の割合が31.9%と最も高く、次いで「特になし」の割合が29.8%、「料理」の割合が23.6%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「絵画や音楽等の芸術活動」「映画やコンサート等の鑑賞」「料理」の割合が、65歳以上で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	映画やコンサート等の鑑賞	料理	スポーツ・運動	絵画や音楽等の芸術活動	旅行	習い事や学習活動	区が主催するイベント等	その他のイベント等	障がい者団体等の活動	その他	特になし	活動をしたと思わない	無回答
全体	788	31.9	23.6	19.4	18.1	17.4	9.6	4.1	3.9	3.4	5.7	29.8	8.1	4.8
18歳未満	8	37.5	—	25.0	37.5	50.0	12.5	12.5	—	—	—	—	12.5	—
18～39歳	174	48.9	37.9	30.5	35.1	29.9	19.5	4.0	6.3	4.0	4.6	17.8	4.0	2.3
40～64歳	449	31.2	23.4	18.0	14.5	14.9	7.8	3.8	3.3	3.3	5.6	30.7	8.7	4.0
65歳以上	129	14.0	9.3	10.9	10.1	9.3	3.9	5.4	3.1	3.1	7.0	45.0	10.9	7.8

II 調査結果 精神障がい者

【障害の程度別】

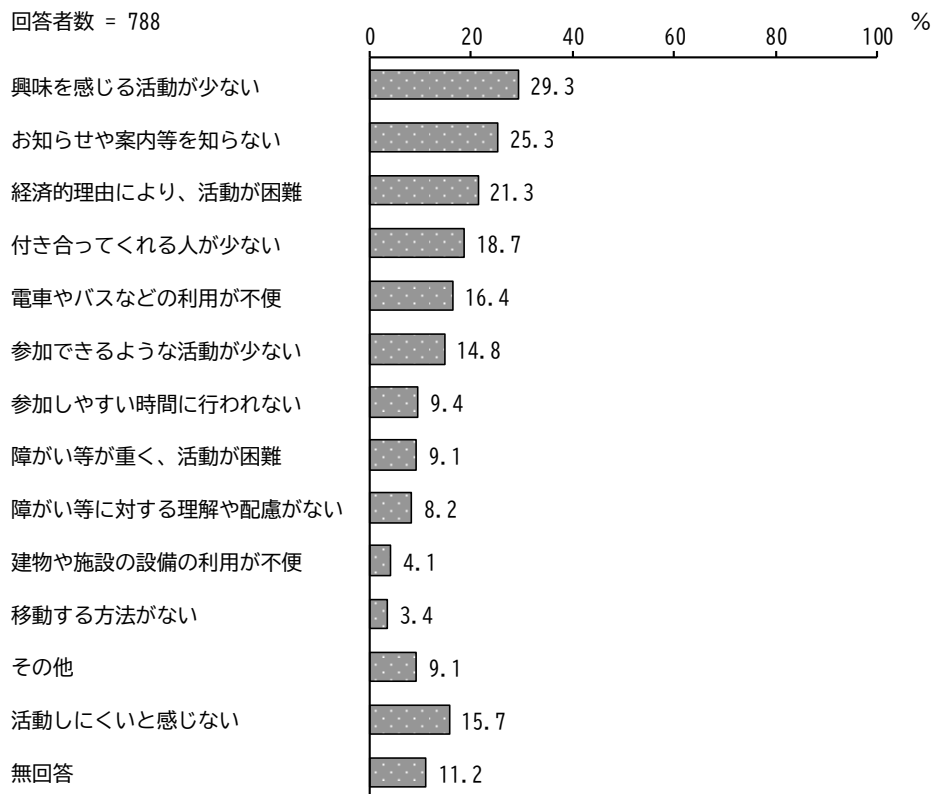
障害の程度別にみると、他に比べ、1級で「特になし」の割合が、3級で「映画やコンサート等の鑑賞」「旅行」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	映画やコンサート等の鑑賞	料理	スポーツ・運動	絵画や音楽等の芸術活動	旅行	習い事や学習活動	区が主催するイベント等	その他のイベント等	障がい者団体等の活動	その他	特になし	活動をしたくない	無回答
全体	788	31.9	23.6	19.4	18.1	17.4	9.6	4.1	3.9	3.4	5.7	29.8	8.1	4.8
1級	26	11.5	15.4	19.2	7.7	3.8	3.8	—	3.8	3.8	—	73.1	—	3.8
2級	397	29.5	21.7	17.1	17.4	14.4	7.8	4.0	3.0	3.3	6.5	32.0	10.8	5.3
3級	327	37.9	27.8	22.6	21.4	23.2	12.5	4.6	4.9	3.4	4.6	23.2	5.5	3.4

問 50 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「興味を感じる活動が少ない」の割合が29.3%と最も高く、次いで「お知らせや案内等を知らない」の割合が25.3%、「経済的理由により、活動が困難」の割合が21.3%となっています。





## 【年齢別】

年齢別にみると、18～39歳や40～64歳で「興味を感じる活動が少ない」の割合が高くなっています。65歳以上で「お知らせや案内等を知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	興味を感じる活動が少ない	お知らせや案内等を知らない	経済的理由により、活動が困難	付き合ってくれる人が少ない	電車やバスなどの利用が不便	参加できるような活動が少ない	参加しやすい時間に行われない	障がい等が重く、活動が困難	障がい等に対する理解や配慮がない	建物や施設の設備の利用が不便	移動する方法がない	その他	活動しにくいと感じない	無回答
全体	788	29.3	25.3	21.3	18.7	16.4	14.8	9.4	9.1	8.2	4.1	3.4	9.1	15.7	11.2
18歳未満	8	25.0	12.5	—	—	—	—	12.5	—	—	—	—	—	75.0	—
18～39歳	174	32.8	21.3	24.7	23.0	18.4	13.8	10.3	10.3	13.2	4.0	2.9	10.3	19.5	5.2
40～64歳	449	30.1	27.2	22.0	18.0	15.8	14.7	11.1	9.4	7.6	3.8	3.6	9.8	14.5	10.7
65歳以上	129	24.8	25.6	19.4	14.7	16.3	16.3	3.9	7.8	4.7	4.7	3.1	6.2	12.4	18.6

## 【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、1級で「お知らせや案内等を知らない」「電車やバスなどの利用が不便」の割合が高くなっています。

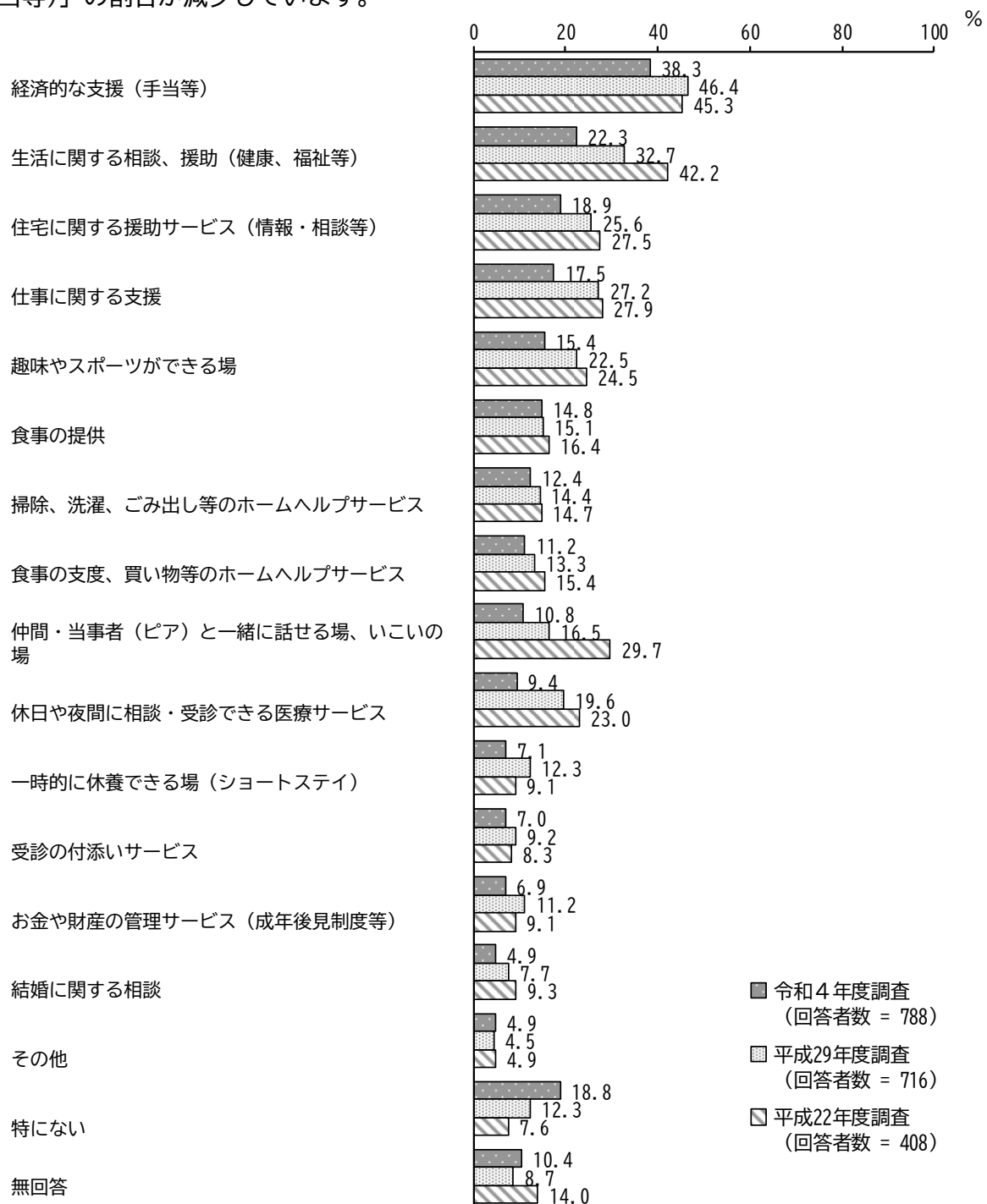
単位：％

区分	回答者数(件)	興味を感じる活動が少ない	お知らせや案内等を知らない	経済的理由により、活動が困難	付き合ってくれる人が少ない	電車やバスなどの利用が不便	参加できるような活動が少ない	参加しやすい時間に行われない	障がい等が重く、活動が困難	障がい等に対する理解や配慮がない	建物や施設の設備の利用が不便	移動する方法がない	その他	活動しにくいと感じない	無回答
全体	788	29.3	25.3	21.3	18.7	16.4	14.8	9.4	9.1	8.2	4.1	3.4	9.1	15.7	11.2
1級	26	23.1	34.6	11.5	23.1	23.1	15.4	15.4	26.9	3.8	23.1	23.1	3.8	15.4	15.4
2級	397	28.2	27.0	20.9	20.4	18.6	15.1	8.3	10.1	10.1	3.3	3.3	9.6	13.1	10.6
3級	327	31.5	22.9	24.2	16.2	13.1	14.1	11.3	7.0	6.7	3.4	2.1	9.2	19.6	10.4

問 51 あなたが必要だと思う制度やサービス等（現在、利用しているものも含む。）は何ですか。（〇は5つまで）

「経済的な支援（手当等）」の割合が38.3%と最も高く、次いで「生活に関する相談、援助（健康、福祉等）」の割合が22.3%、「住宅に関する援助サービス（情報・相談等）」の割合が18.9%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。一方、「住宅に関する援助サービス（情報・相談等）」「仲間・当事者（ピア）と一緒に話せる場、いこいの場」「一時的に休養できる場（ショートステイ）」「趣味やスポーツができる場」「生活に関する相談、援助（健康、福祉等）」「休日や夜間に相談・受診できる医療サービス」「仕事に関する支援」「経済的な支援（手当等）」の割合が減少しています。



【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、1級で「食事の支度、買い物等のホームヘルプサービス」「食事の提供」「掃除、洗濯、ごみ出し等のホームヘルプサービス」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	経済的な支援(手当等)	生活に関する相談、援助(健康、福祉等)	住宅に関する援助サービス(情報・相談等)	仕事に関する支援	趣味やスポーツができる場	食事の提供	掃除、洗濯、ごみ出し等のホームヘルプサービス	食事の支度、買い物等のホームヘルプサービス
全体	788	38.3	22.3	18.9	17.5	15.4	14.8	12.4	11.2
1級	26	7.7	26.9	11.5	3.8	11.5	26.9	19.2	26.9
2級	397	38.5	26.2	19.6	14.6	13.6	16.4	15.4	13.9
3級	327	43.4	18.0	19.6	23.2	18.0	11.9	9.2	6.4

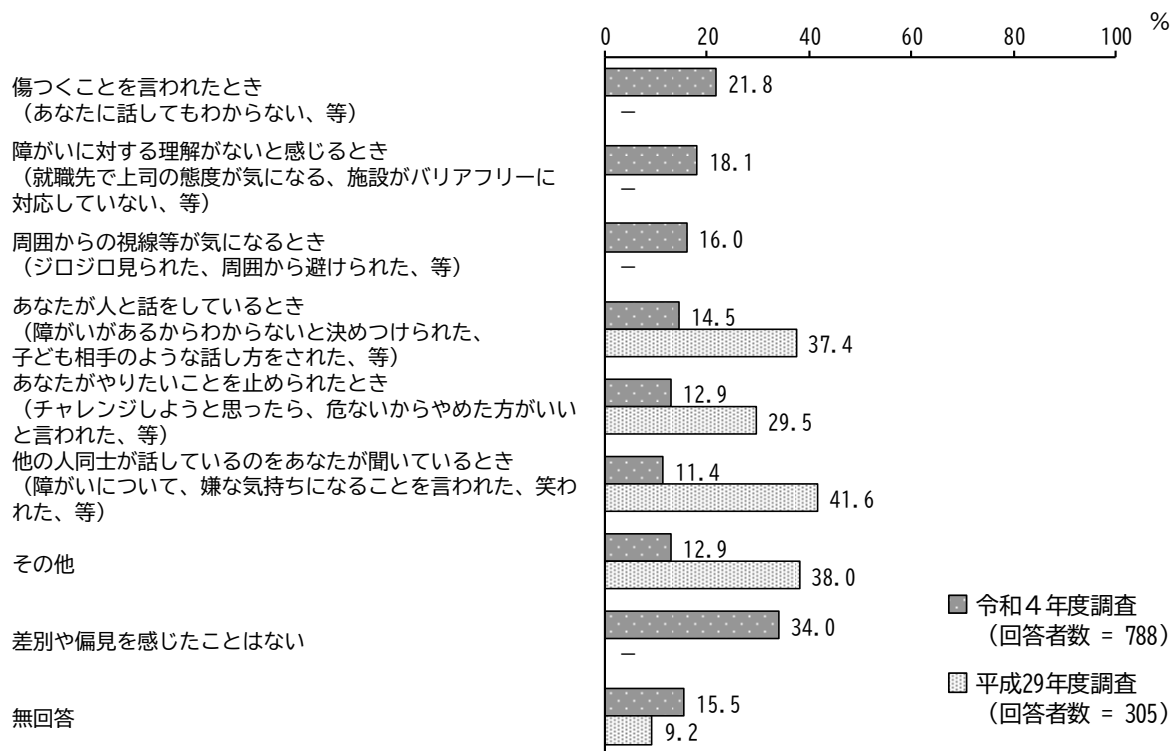
  

区分	仲間・当事者(ピア)と一緒に話せる場 いこいの場	休日や夜間に相談・受診できる医療サービス	一時的に休養できる場(ショートステイ)	受診の付添いサービス	お金や財産の管理サービス(成年後見制度等)	結婚に関する相談	その他	特になし	無回答
全体	10.8	9.4	7.1	7.0	6.9	4.9	4.9	18.8	10.4
1級	11.5	—	7.7	30.8	11.5	3.8	—	15.4	15.4
2級	11.8	11.8	6.5	9.1	6.5	4.0	6.0	18.6	10.6
3級	10.1	8.0	7.3	3.1	7.3	6.4	4.6	19.3	7.6

問 52 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。)  
(〇はいくつでも)

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)」の割合が 21.8%、「障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)」の割合が 18.1%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「あなたが人と話をしているとき(障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)」「他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)」「あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等)」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等）」「他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）」「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）	障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等）	周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）	あなたが人と話をしているとき（障がいがあるからわからない、決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）
全 体	788	21.8	18.1	16.0	14.5
18歳未満	8	37.5	12.5	—	—
18～39歳	174	31.6	32.2	25.9	20.1
40～64歳	449	21.6	16.7	14.5	15.6
65歳以上	129	9.3	5.4	11.6	7.0

区分	あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等）	他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）	その他	差別や偏見を感じたことはない	無回答
全 体	12.9	11.4	12.9	34.0	15.5
18歳未満	—	—	12.5	25.0	12.5
18～39歳	21.3	21.8	9.8	28.7	5.7
40～64歳	11.6	10.5	15.8	34.7	14.0
65歳以上	9.3	3.9	8.5	41.9	26.4

【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、3級で「障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等）」の割合が高くなっています。

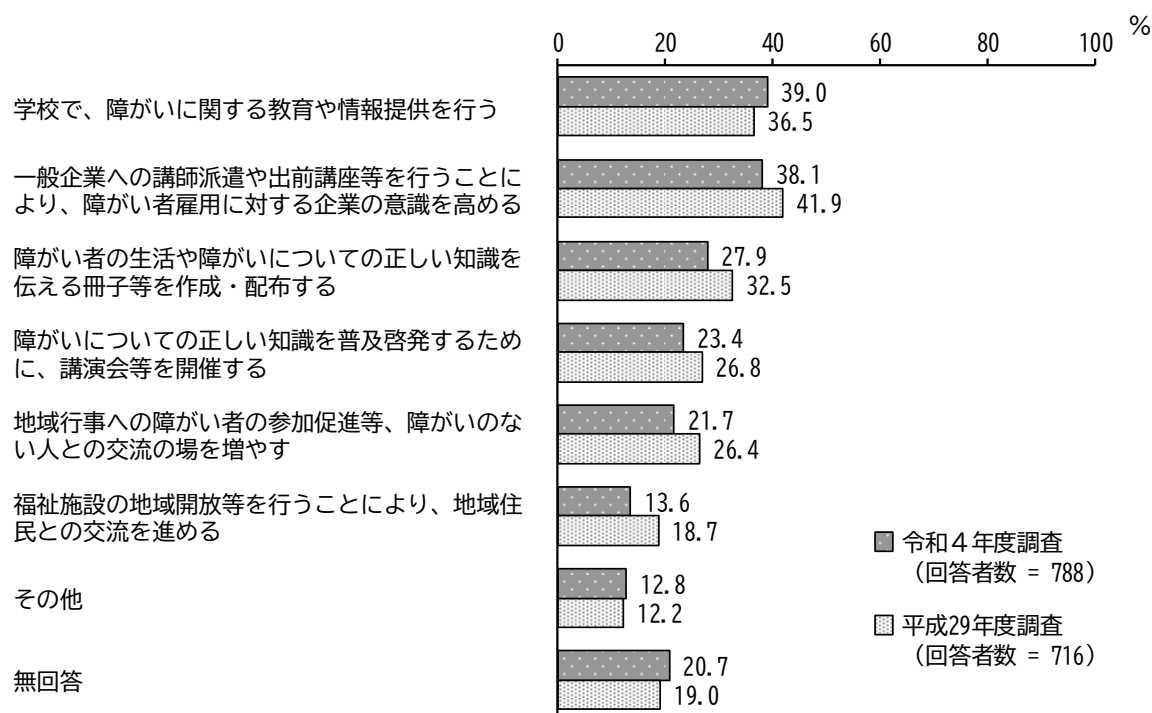
単位：%

区分	回答者数(件)	傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)	障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)	周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)	あなたが人と話しているとき(障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)	あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等)	他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)	その他	差別や偏見を感じたことはない	無回答
全 体	788	21.8	18.1	16.0	14.5	12.9	11.4	12.9	34.0	15.5
1級	26	3.8	—	19.2	11.5	15.4	3.8	15.4	34.6	23.1
2級	397	23.2	14.9	18.6	15.4	13.1	12.3	12.3	33.0	16.4
3級	327	22.6	24.2	13.8	15.0	13.5	11.9	13.8	36.4	9.8

問 53 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が 38.1%、「障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する」の割合が 27.9%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」の割合が減少しています。



II 調査結果 精神障がい者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」「障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う	一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める	障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす	福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める	その他	無回答
全体	788	39.0	38.1	27.9	23.4	21.7	13.6	12.8	20.7	
18歳未満	8	50.0	25.0	37.5	25.0	12.5	—	25.0	—	
18～39歳	174	55.7	52.3	33.9	26.4	20.1	9.8	16.7	8.0	
40～64歳	449	38.5	40.1	27.6	26.1	24.9	15.8	11.6	18.3	
65歳以上	129	24.8	16.3	24.0	13.2	16.3	13.2	13.2	38.8	

【障害の程度別】

障害の程度別にみると、他に比べ、3級で「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が、1級で「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が高くなっています。

単位：％

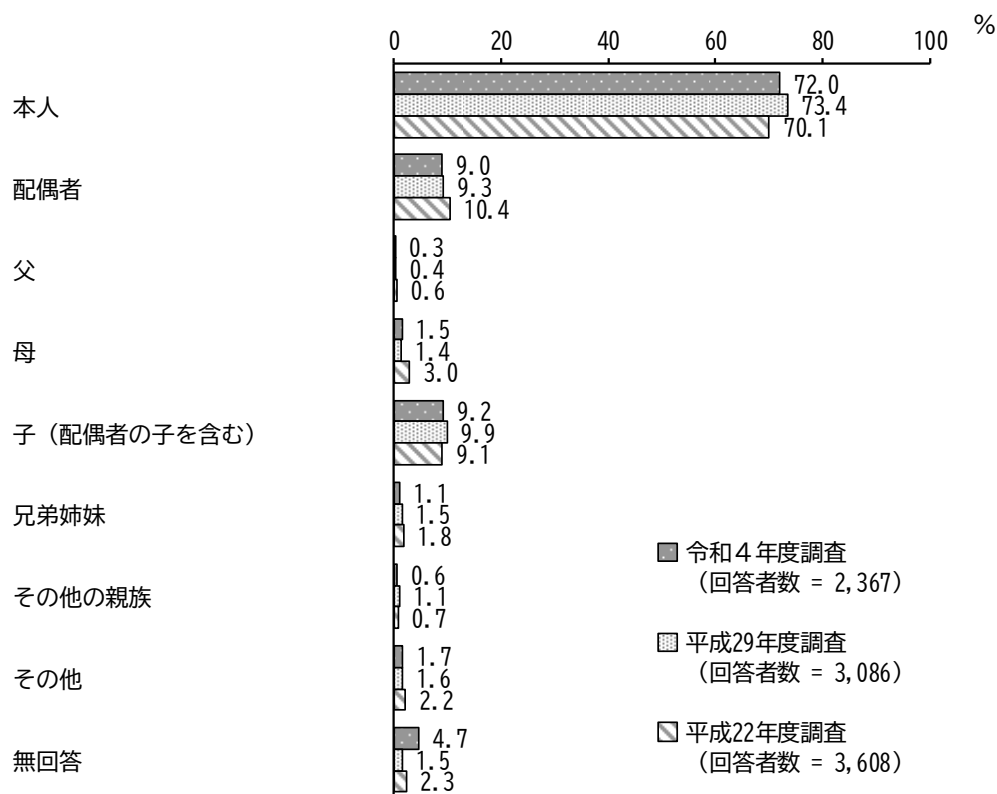
区分	回答者数(件)	学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う	一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める	障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす	福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める	その他	無回答
全体	788	39.0	38.1	27.9	23.4	21.7	13.6	12.8	20.7	
1級	26	46.2	30.8	30.8	11.5	19.2	7.7	15.4	23.1	
2級	397	36.8	33.0	28.7	26.4	24.9	17.1	14.4	21.7	
3級	327	44.0	46.8	28.7	22.0	19.0	10.4	11.3	15.9	



## 5 身体障がい者調査の結果

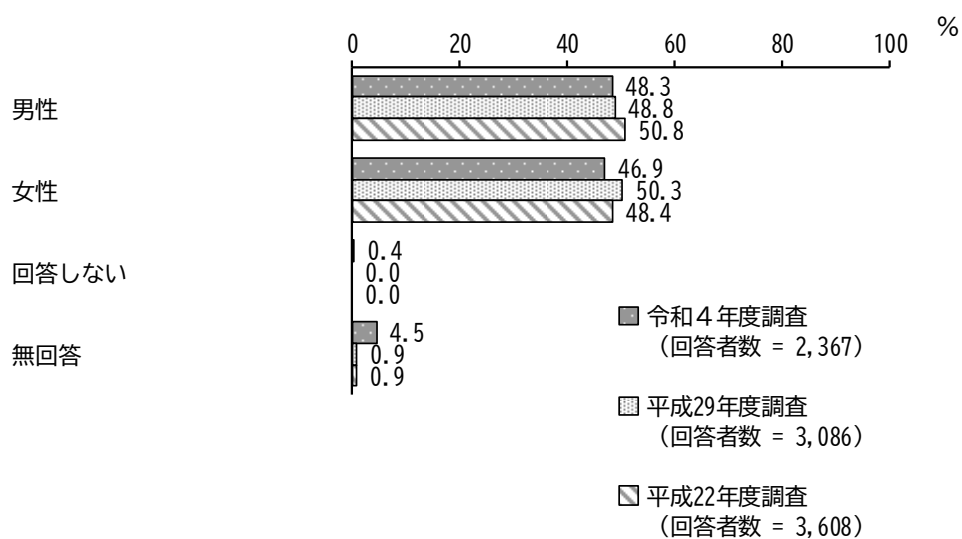
## 問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「本人」の割合が72.0%と最も高くなっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



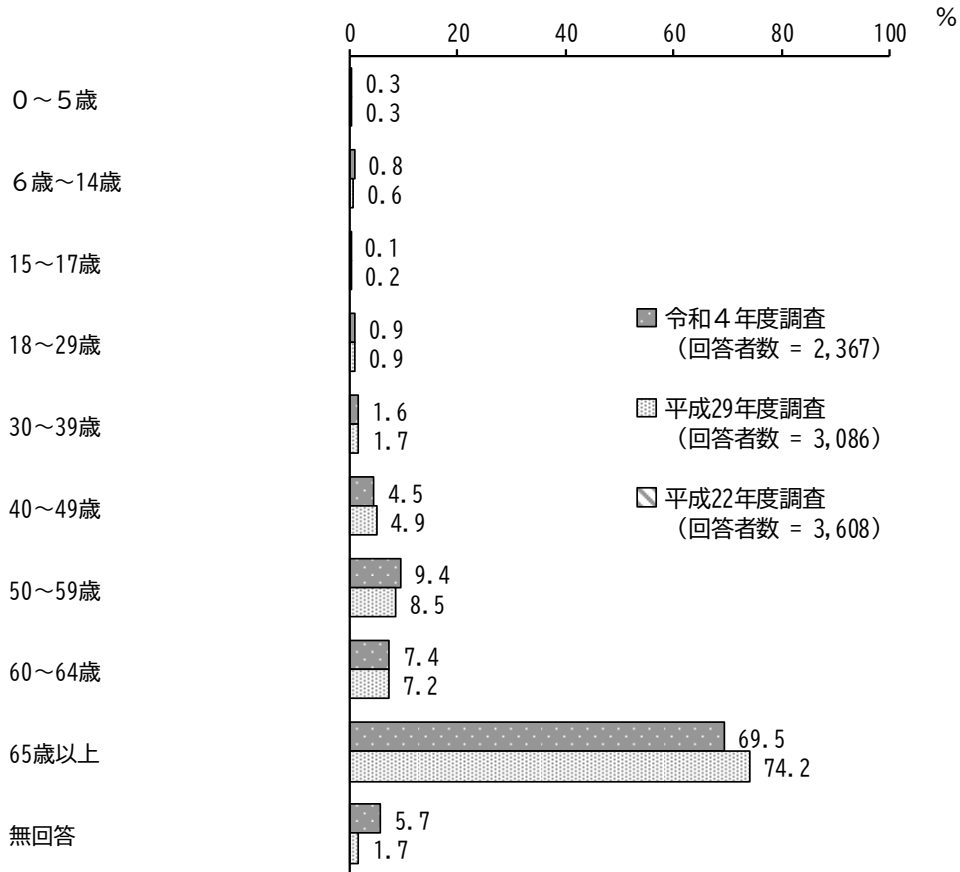
## 問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」の割合が48.3%、「女性」の割合が46.9%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。**  
 ※平成29年度調査：平成29年4月1日現在

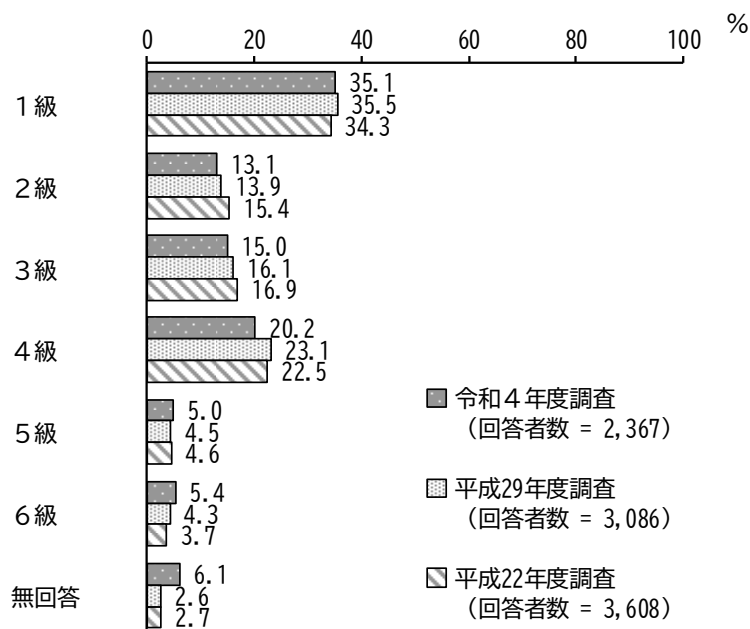
「65歳以上」の割合が69.5%と最も高くなっています。  
 平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障害の程度は、総合等級の何級ですか（〇は1つ）

「1級」の割合が35.1%と最も高く、次いで「4級」の割合が20.2%、「3級」の割合が15.0%となっています。

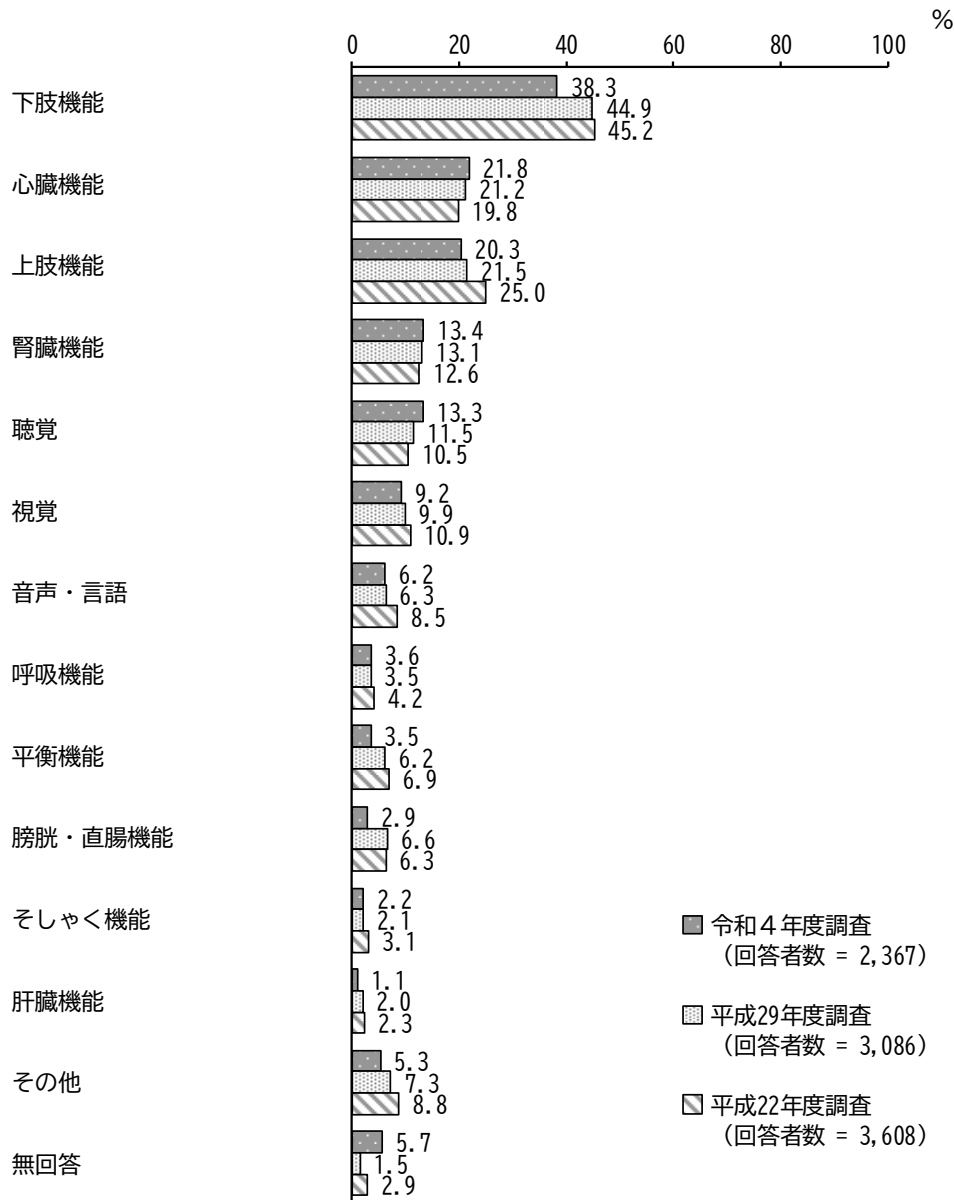
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「下肢機能」の割合が38.3%と最も高く、次いで「心臓機能」の割合が21.8%、「上肢機能」の割合が20.3%となっています。

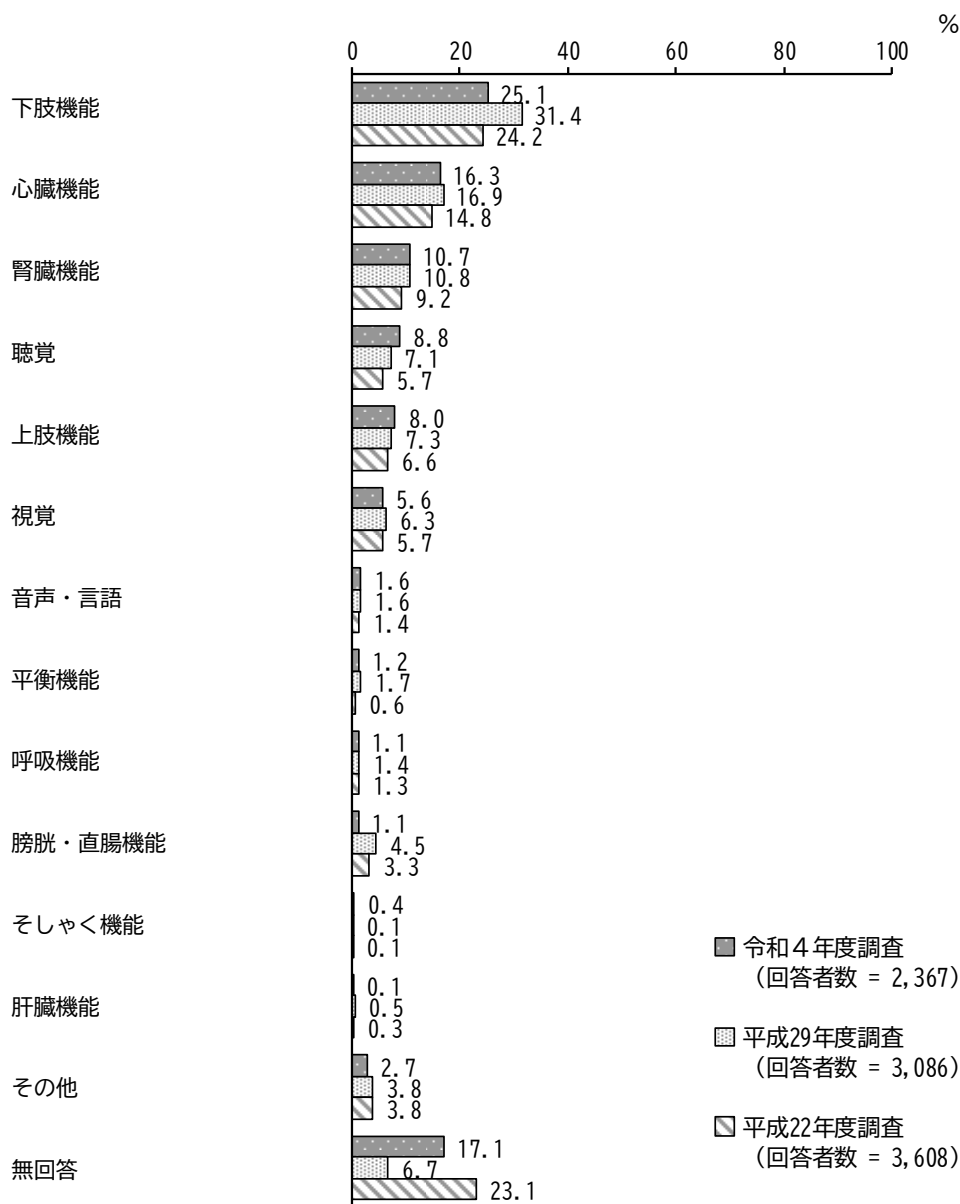
平成29年度調査と比較すると、「下肢機能」の割合が減少しています。



問6 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なものを1つお答えください。(あてはまる番号を1つご記入ください。)

「下肢機能」の割合が25.1%と最も高く、次いで「心臓機能」の割合が16.3%、「腎臓機能」の割合が10.7%となっています。

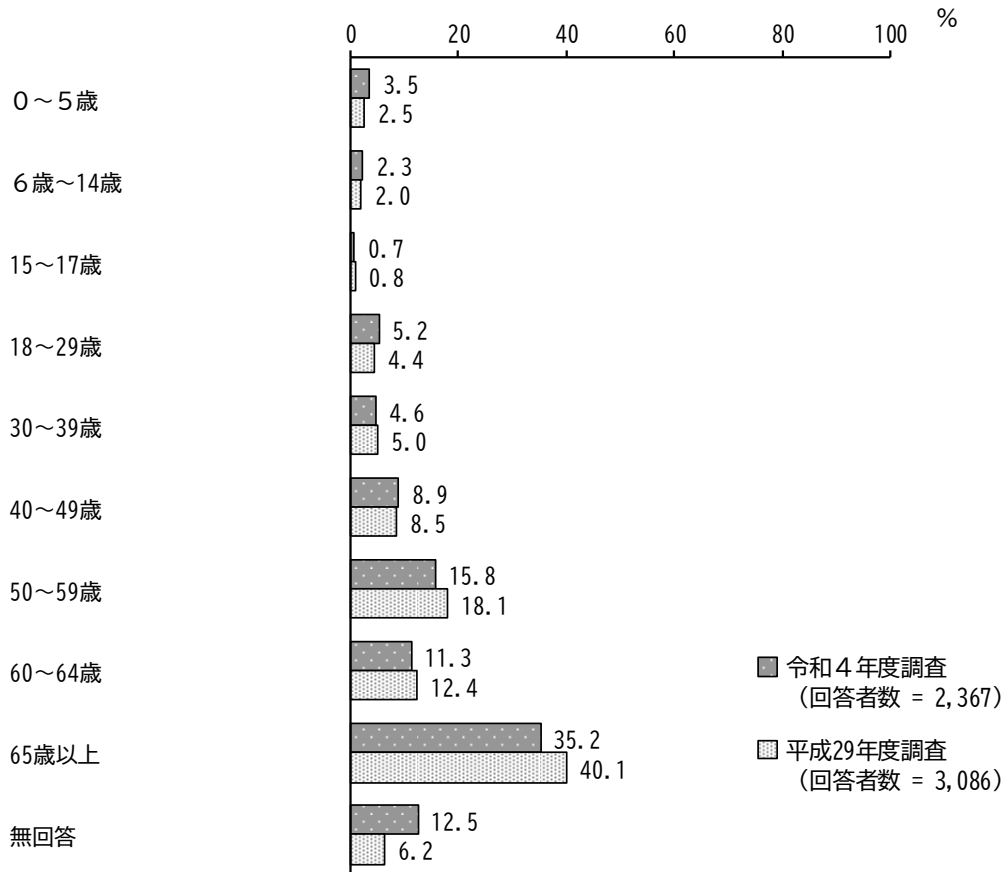
平成29年度調査と比較すると、「下肢機能」の割合が減少しています。



問7 「身体障害者手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

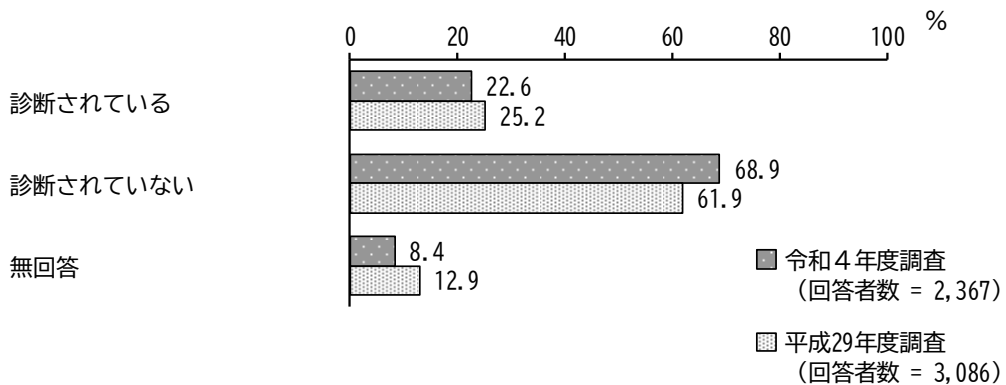
「65歳以上」の割合が35.2%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が15.8%、「60～64歳」の割合が11.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



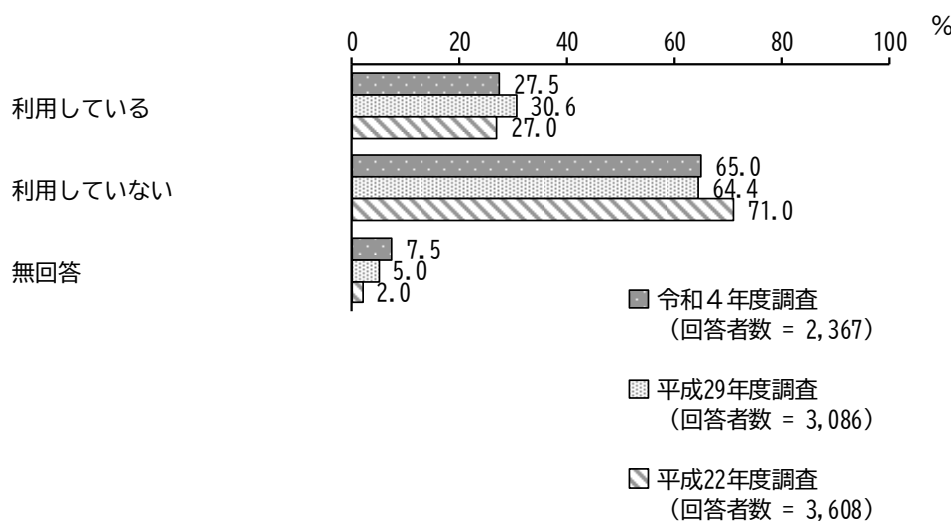
問8 あなたは、現在、難病と診断されていますか。(○は1つ)

「診断されている」の割合が22.6%、「診断されていない」の割合が68.9%となっています。平成29年度調査と比較すると、「診断されていない」の割合が増加しています。



問9 介護保険サービス（訪問介護・通所介護等）を利用していますか。（○は1つ）

「利用している」の割合が27.5%、「利用していない」の割合が65.0%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、18歳未満や18～39歳、40～64歳で「利用していない」の割合が高くなっています。

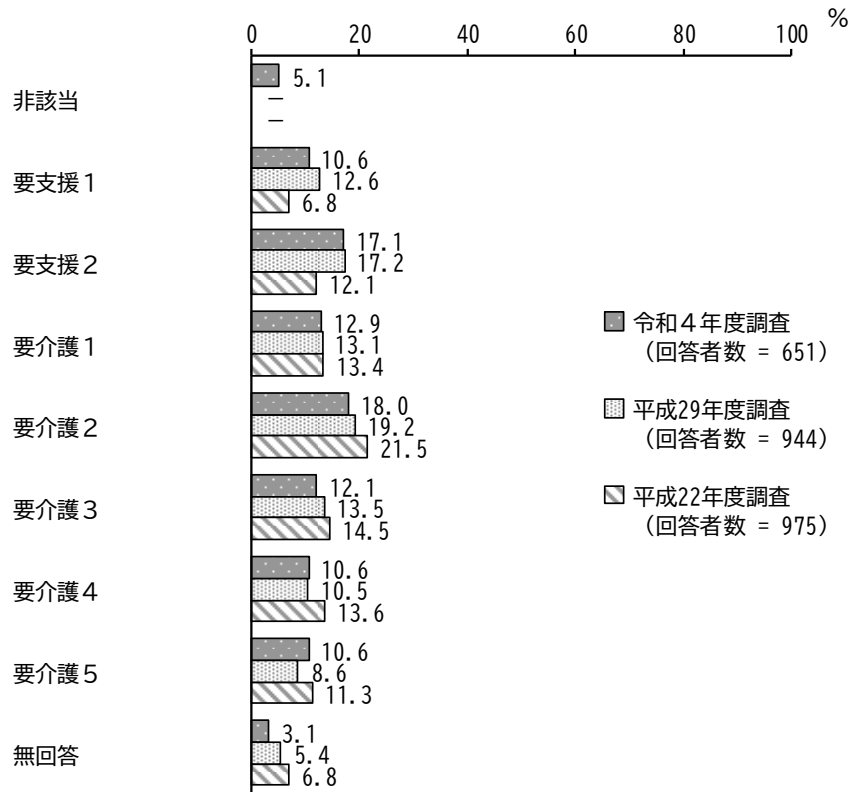
単位：%

区分	回答者数(件)	利用している	利用していない	無回答
全体	2367	27.5	65.0	7.5
18歳未満	25	28.0	72.0	—
18～39歳	54	11.1	87.0	1.9
40～64歳	466	14.4	84.5	1.1
65歳以上	1687	33.2	62.6	4.2

問10 (問9で「1 利用している」に○をつけた方のみお答えください。) 該当する要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

「要介護2」の割合が18.0%と最も高く、次いで「要支援2」の割合が17.1%、「要介護1」の割合が12.9%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はありません。

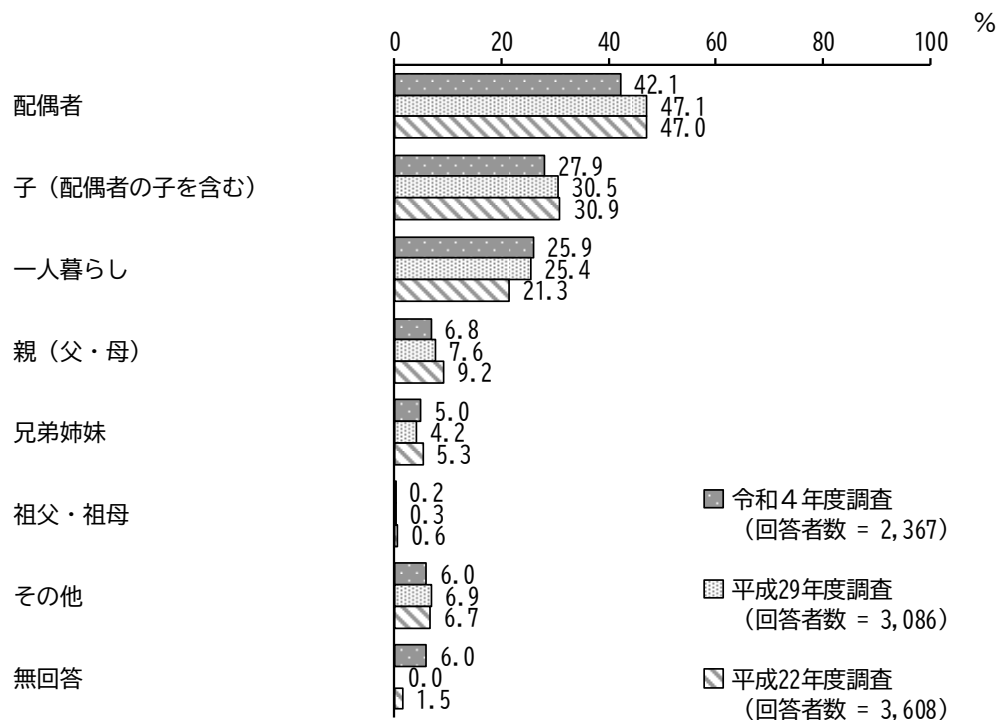




問11 あなたは、現在、どなたかと一緒に生活していますか。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が42.1%と最も高く、次いで「子（配偶者の子を含む）」の割合が27.9%、「一人暮らし」の割合が25.9%となっています。

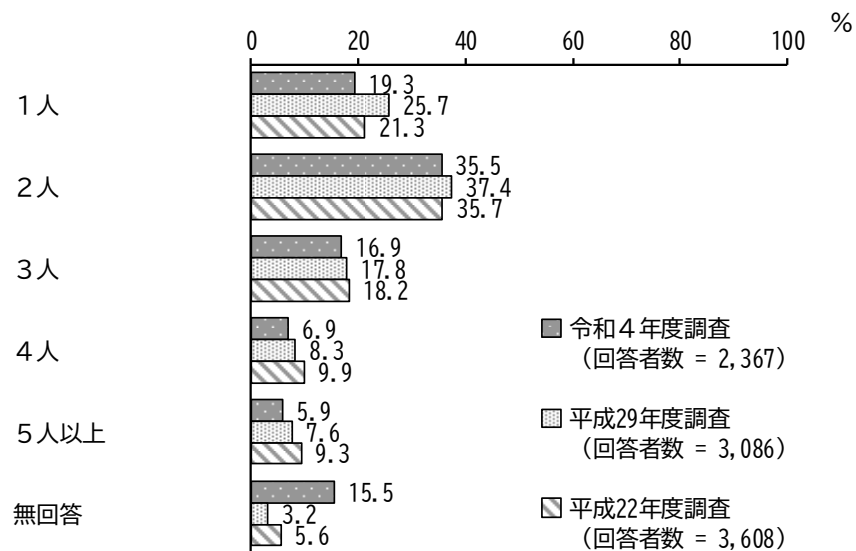
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 12 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。(〇は1つ)

「2人」の割合が35.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が19.3%、「3人」の割合が16.9%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「1人」の割合が減少しています。



問13 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～15について各々○は1つ)

「自分でできる」では『2 食事をすること』の割合が高くなっています。

「一部に手助けが必要」では『8 室内の掃除・整理整頓をすること』の割合が高くなっています。

「全部に手助けが必要」では『10 布団を干すこと』の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無回 答
1 歩くこと	2367	64.9	19.2	11.1	4.8
2 食事をすること	2367	82.5	9.3	3.7	4.6
3 食事の支度や後片付けをすること	2367	61.8	15.2	17.7	5.4
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	2367	75.1	12.6	7.7	4.6
5 トイレで用を足し、後始末をすること	2367	80.2	8.3	7.0	4.5
6 入浴し、身体や髪を洗うこと	2367	71.9	11.4	12.3	4.4
7 歯磨き・洗顔等をすること	2367	82.3	7.4	5.5	4.9
8 室内の掃除・整理整頓をすること	2367	54.0	21.6	18.8	5.6
9 洗濯をし、干し、たたむこと	2367	58.3	14.7	21.3	5.6
10 布団を干すこと	2367	46.0	17.0	29.8	7.1
11 電話を受けたり、かけたりすること	2367	68.7	12.1	14.1	5.1
12 規則的な服薬をすること	2367	74.1	10.2	10.2	5.5
13 病院に行くこと	2367	57.6	16.4	20.8	5.2
14 近所に日常の買い物に行くこと	2367	56.1	15.8	22.7	5.4
15 バス・都電・電車を利用すること	2367	56.7	14.7	23.0	5.6

II 調査結果 身体障がい者

〈平成 29 年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回答
1 歩くこと	3086	64.1	20.2	12.3	3.4
2 食事をすること	3086	81.0	11.0	4.6	3.3
3 食事の支度や後片付けをすること	3086	57.9	18.1	19.6	4.3
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	3086	74.4	14.4	8.5	2.8
5 トイレで用を足し、後始末をすること	3086	80.4	8.5	8.3	2.9
6 入浴し、身体や髪を洗うこと	3086	69.1	13.8	14.5	2.6
7 歯磨き・洗顔等をすること	3086	81.3	9.3	6.4	2.9
8 室内の掃除・整理整頓をすること	3086	49.9	24.9	21.5	3.7
9 洗濯をし、干し、たたむこと	3086	54.4	18.3	23.5	3.8
10 布団を干すこと	3086	41.7	18.6	34.2	5.6
11 電話を受けたり、かけたりすること	3086	69.4	11.7	15.5	3.3
12 規則的な服薬をすること	3086	75.0	11.2	10.6	3.3
13 病院に行くこと	3086	57.9	17.4	21.9	2.8
14 近所に日常の買い物に行くこと	3086	55.8	16.1	24.6	3.4
15 バス・都電・電車を利用すること	3086	57.8	14.2	24.7	3.3

〈平成 22 年度調査〉

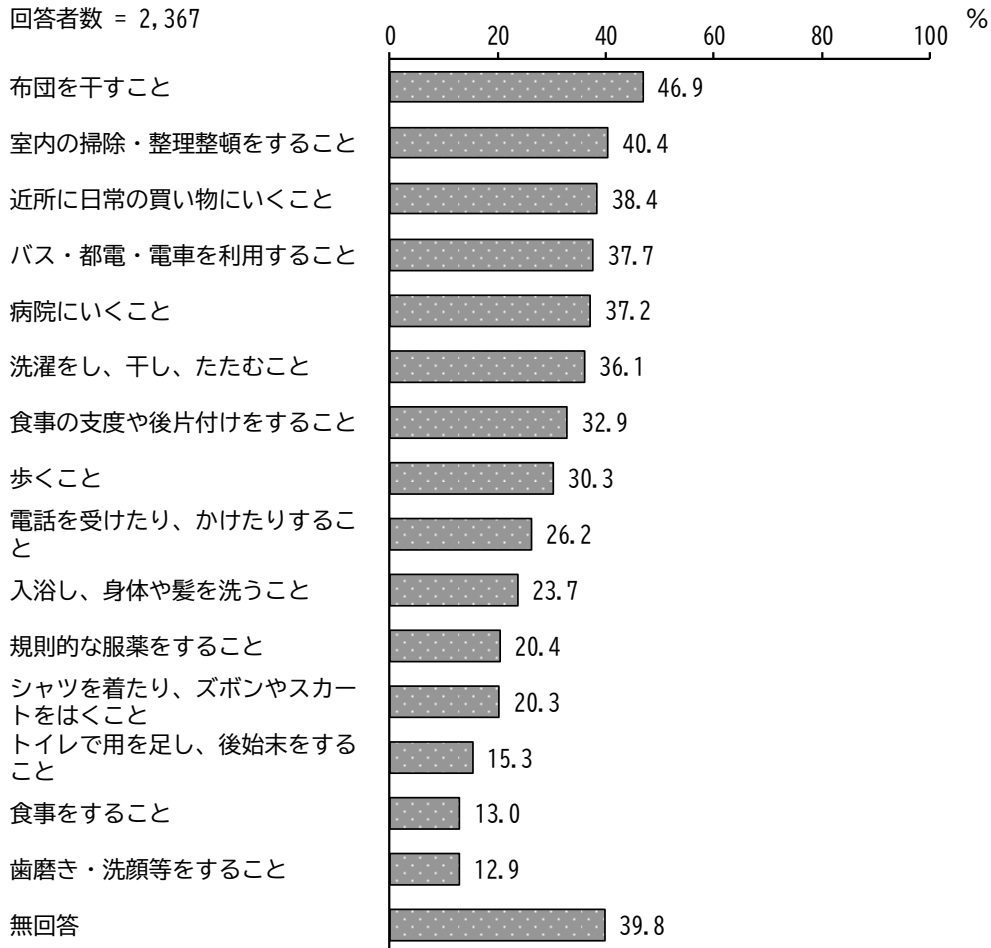
単位：%

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回 答
1 歩くこと	3608	61.1	20.0	12.9	6.0
2 食事をすること	3608	77.5	11.8	5.7	5.0
3 食事の支度や後片付けをすること	3608	53.0	15.9	23.4	7.6
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	3608	69.1	15.8	10.5	4.5
5 トイレで用を足し、後始末をすること	3608	75.9	9.1	10.4	4.6
6 入浴し、身体や髪を洗うこと	3608	65.4	13.0	16.8	4.8
7 歯磨き・洗顔等をすること	3608	76.0	10.0	8.8	5.2
8 室内の掃除・整理整頓をすること	3608	45.1	22.3	25.6	7.1
9 洗濯をし、干し、たたむこと	3608	49.4	16.3	26.4	8.0
10 布団を干すこと	3608	36.8	17.6	35.8	9.9
11 電話を受けたり、かけたりすること	3608	65.9	12.2	16.0	6.0
12 規則的な服薬をすること	3608	70.9	11.3	12.2	5.6
13 病院に行くこと	3608	53.5	16.2	25.1	5.2
14 近所に日常の買い物に行くこと	3608	50.4	15.6	26.9	7.2
15 バス・都電・電車を利用すること	3608	52.7	14.1	26.2	6.9

II 調査結果 身体障がい者

「一部に手助けが必要」、「全部に手助けが必要」を合わせた表

「一部に手助けが必要」、「全部に手助けが必要」をあわせた要介助の割合をみると、『布団を干すこと』が46.9%と最も高くなっています。



【障がいの程度別】（「一部に手助けが必要」、「全部に手助けが必要」を合わせた表）

障がいの程度別にみると、他に比べ、2級で「バス・都電・電車を利用すること」「病院に行くこと」「近所に日常の買い物に行くこと」「食事の支度や後片付けをすること」の割合が高くなっています。

単位：％

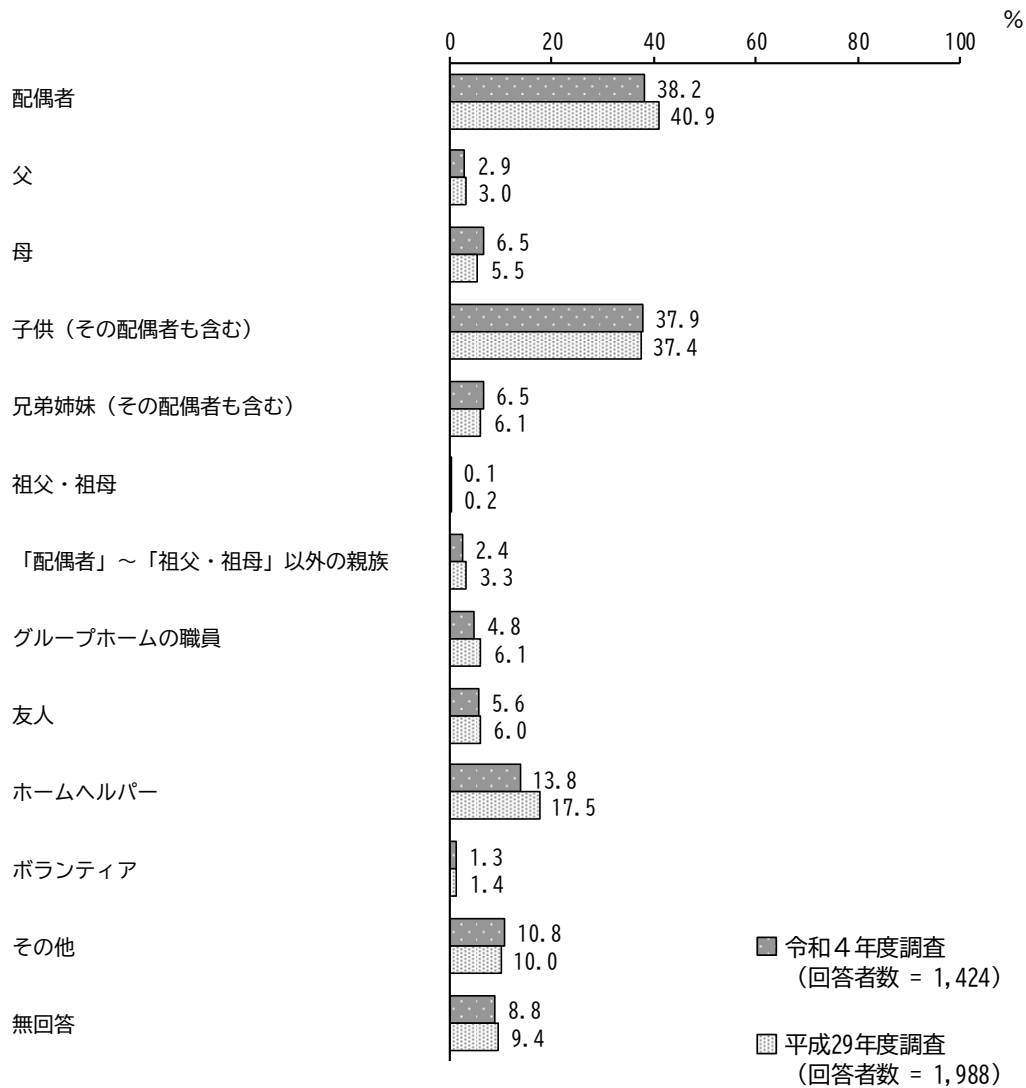
区分	回答者数(件)	布団を干すこと	室内の掃除・整理整頓をすること	近所に日常の買い物に行くこと	バス・都電・電車を利用すること	病院に行くこと	洗濯をし、干した、たたむこと	食事の支度や後片付けをすること	歩くこと
全体	2367	46.9	40.4	38.4	37.7	37.2	36.1	32.9	30.3
1級	830	45.9	40.0	40.0	40.0	39.4	37.1	35.3	32.8
2級	311	63.7	57.6	58.8	59.8	57.6	54.3	52.1	48.9
3級	356	50.8	41.9	41.6	36.5	35.7	35.4	29.2	27.8
4級	478	38.3	31.2	27.4	27.6	27.4	27.0	22.8	19.2
5級	119	42.0	37.0	28.6	25.2	26.9	28.6	26.1	26.9
6級	129	34.1	31.0	22.5	21.7	24.0	27.9	20.9	17.1

区分	電話を受けたり、かけたりすること	入浴し、身体や髪を洗うこと	規則的な服薬をすること	シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	トイレで用を足し、後始末をすること	食事をする事	歯磨き・洗顔等をする事	無回答
全体	26.2	23.7	20.4	20.3	15.3	13.0	12.9	39.8
1級	24.2	26.0	23.3	23.7	19.8	15.7	16.7	44.8
2級	41.2	42.1	32.5	37.6	27.7	23.8	22.8	15.1
3級	25.8	21.9	16.6	16.6	12.1	9.8	10.4	32.3
4級	21.5	14.0	13.0	10.9	6.7	4.2	4.6	49.2
5級	14.3	12.6	16.8	12.6	5.9	9.2	9.2	50.4
6級	33.3	11.6	13.2	11.6	7.0	10.1	5.4	45.0

問 14 (問 13 で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「子供(その配偶者も含む)」の割合が 37.9%、「ホームヘルパー」の割合が 13.8%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。





## 【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、4級で「子供（その配偶者も含む）」の割合が、2級で「ホームヘルパー」の割合が高くなっています。

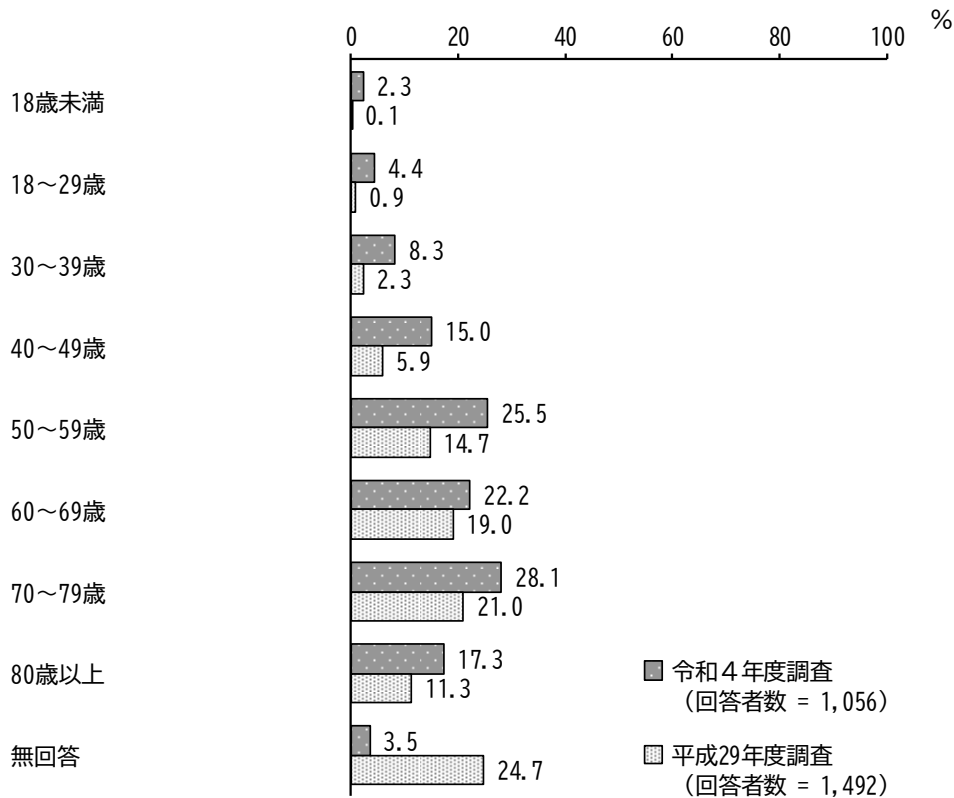
単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	父	母	子供 (その配偶者も含む)	兄弟姉妹 (その配偶者も含む)	祖父・祖母	「配偶者」 以外の親族	祖父・祖母	グループホームの職員	友人	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
全体	1424	38.2	2.9	6.5	37.9	6.5	0.1	2.4	4.8	5.6	13.8	1.3	10.8	8.8	
1級	458	38.4	3.3	6.8	35.4	8.3	—	2.2	5.0	5.0	17.2	0.9	13.3	6.3	
2級	264	37.1	4.5	11.7	31.1	7.6	—	2.3	3.8	7.2	19.3	1.9	14.0	7.2	
3級	241	41.1	3.3	5.8	41.1	4.6	0.8	2.9	3.3	5.4	9.1	2.5	9.1	8.3	
4級	243	36.6	0.8	1.6	46.9	4.5	—	1.2	4.5	4.9	6.6	0.8	6.6	14.0	
5級	59	35.6	—	5.1	39.0	6.8	—	1.7	6.8	6.8	10.2	1.7	15.3	8.5	
6級	71	40.8	5.6	9.9	33.8	5.6	—	5.6	2.8	5.6	5.6	—	4.2	11.3	

問 15 (問 14 で「1 配偶者」～「7 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。(問 14 で「1」～「7」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「70～79 歳」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「50～59 歳」の割合が 25.5%、「60～69 歳」の割合が 22.2%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「30～39 歳」「40～49 歳」「50～59 歳」「70～79 歳」「80 歳以上」の割合が増加しています。



※平成 29 年度調査及び平成 22 年度調査では、年齢の区分は、「10 歳代」「20 歳代」「30 歳代」「40 歳代」「50 歳代」「60 歳代」「70 歳代」「80 歳代以上」となっており、令和4年度調査の区分とは異なります。

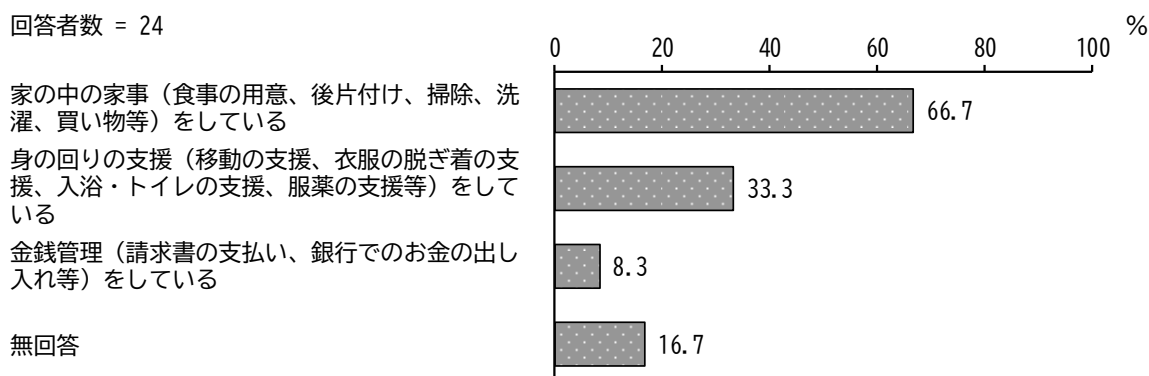
なお、経年比較の都合上、平成 29 年度以前の調査の「10 歳代」を「18 歳未満」、「20 歳代」を「18～29 歳」としております。

問 16 (問 15 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている 18 歳未満の人 (※) は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている 18 歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている」の割合が 66.7% と最も高く、次いで「身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている」の割合が 33.3% となっています。

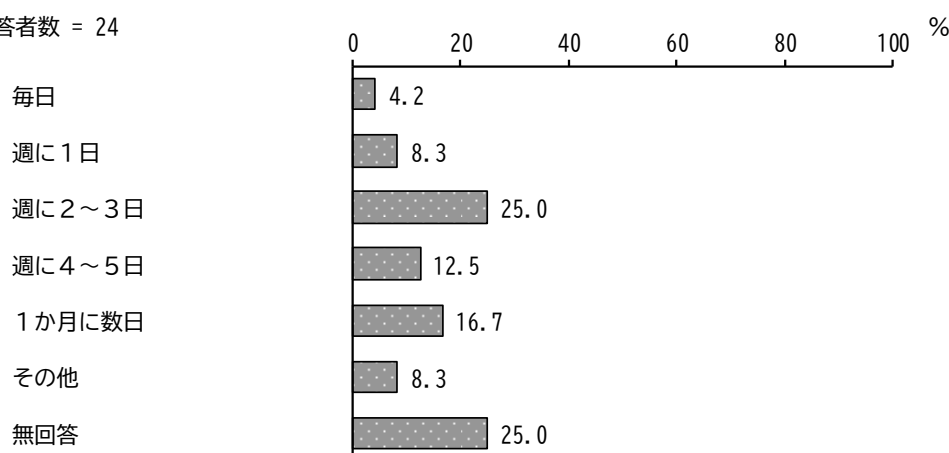
回答者数 = 24



問 17 (問 15 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「週に 2~3 日」の割合が 25.0% と最も高く、次いで「1 か月に数日」の割合が 16.7%、「週に 4~5 日」の割合が 12.5% となっています。

回答者数 = 24



II 調査結果 身体障がい者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、40～64歳で「週に4～5日」「1か月に数日」の割合が、65歳以上で「週に2～3日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	毎日	週に1日	週に2～3日	週に4～5日	1か月に数日	その他	無回答
全体	24	4.2	8.3	25.0	12.5	16.7	8.3	25.0
18歳未満	1	—	—	100.0	—	—	—	—
18～39歳	—	—	—	—	—	—	—	—
40～64歳	11	9.1	9.1	9.1	27.3	27.3	18.2	—
65歳以上	10	—	10.0	30.0	—	10.0	—	50.0

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、大きな差はみられません。

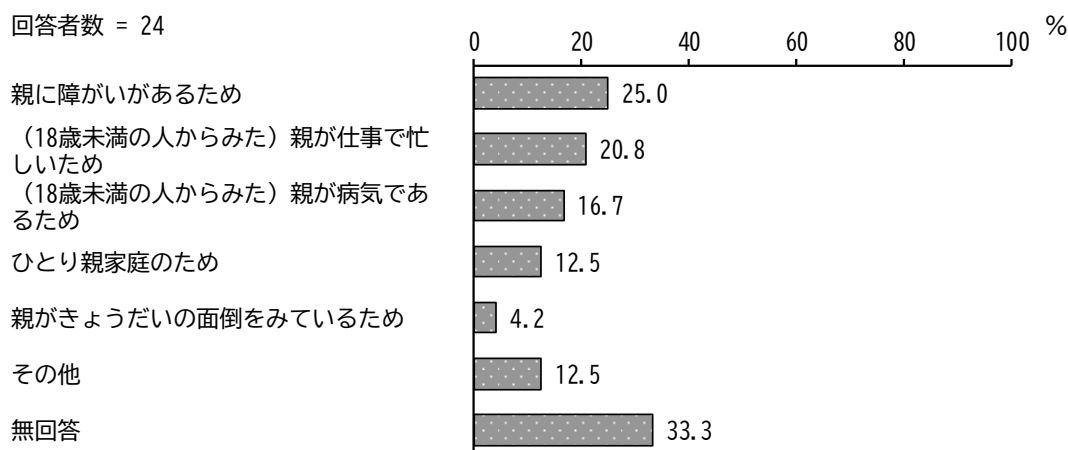
単位：％

区分	回答者数(件)	毎日	週に1日	週に2～3日	週に4～5日	1か月に数日	その他	無回答
全体	24	4.2	8.3	25.0	12.5	16.7	8.3	25.0
1級	9	—	11.1	22.2	33.3	11.1	11.1	11.1
2級	5	20.0	20.0	20.0	—	20.0	20.0	—
3級	4	—	—	25.0	—	25.0	—	50.0
4級	3	—	—	—	—	33.3	—	66.7
5級	1	—	—	100.0	—	—	—	—
6級	—	—	—	—	—	—	—	—

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

問 18 (問 15 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「親に障がいがあるため」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため」の割合が 20.8%、「(18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため」の割合が 16.7%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、40～64 歳で「親に障がいがあるため」「(18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため」の割合が、65 歳以上で「(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	親に障がいがあるため	(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため	(18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため	ひとり親家庭のため	親がきょうだいの面倒をみているため	その他	無回答
全 体	24	25.0	20.8	16.7	12.5	4.2	12.5	33.3
18 歳未満	1	—	—	—	—	100.0	100.0	—
18～39 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
40～64 歳	11	54.5	9.1	36.4	—	—	18.2	18.2
65 歳以上	10	—	40.0	—	20.0	—	—	50.0

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

II 調査結果 身体障がい者

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、2級で「親に障がいがあるため」の割合が高くなっています。

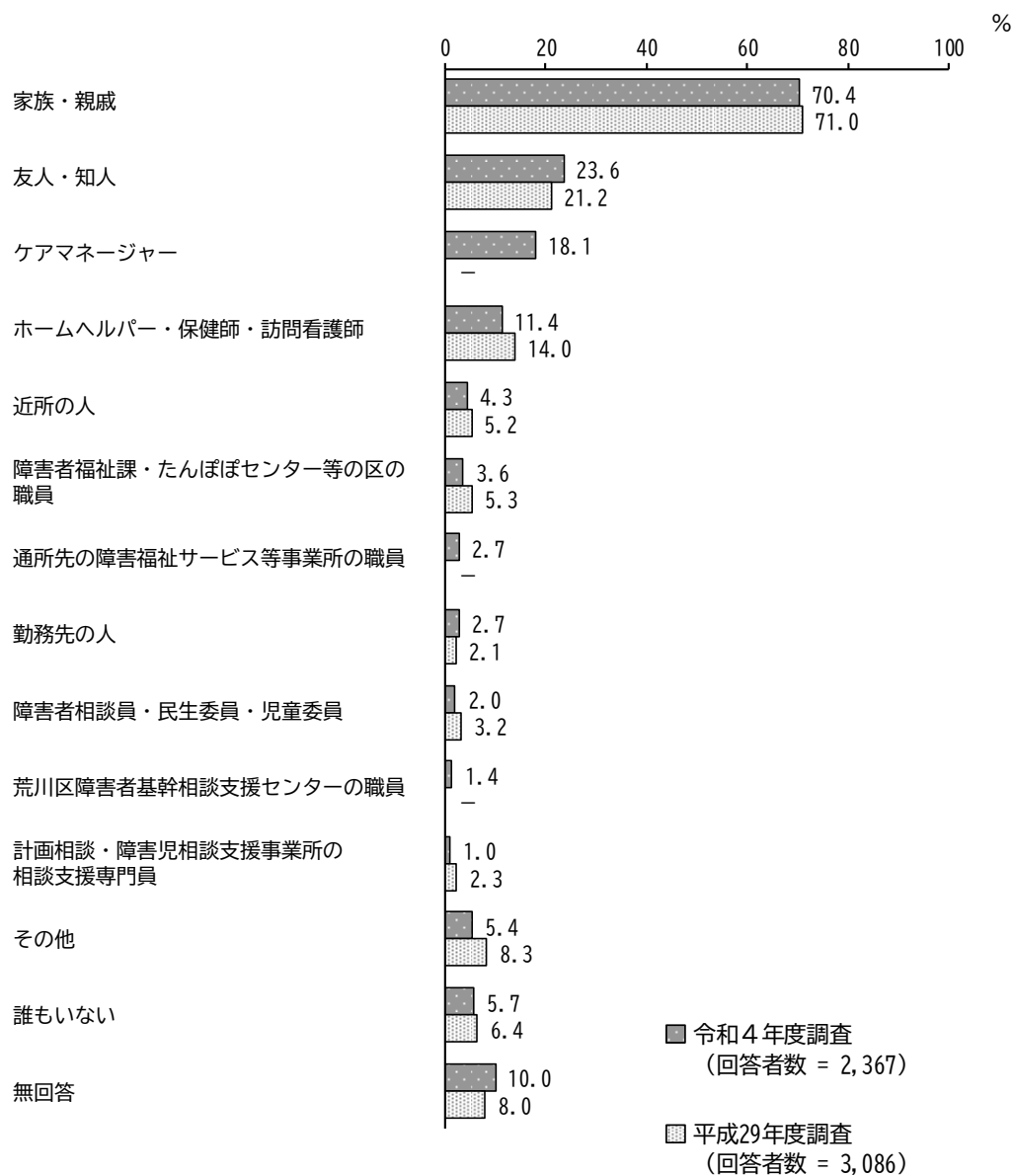
単位：%

区分	回答者数(件)	親に障がいがあるため	(18歳未満の人からみた)親が仕事で忙しいため	(18歳未満の人からみた)親が病気であるため	ひとり親家庭のため	親がきょうだいの面倒をみているため	その他	無回答
全 体	24	25.0	20.8	16.7	12.5	4.2	12.5	33.3
1級	9	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	22.2	22.2
2級	5	60.0	40.0	40.0	—	—	—	—
3級	4	—	25.0	25.0	—	—	25.0	50.0
4級	3	33.3	—	—	—	—	—	66.7
5級	1	—	—	—	—	—	—	100.0
6級	—	—	—	—	—	—	—	—

問 19 あなたが日常のことや困ったことを相談している人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が70.4%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が23.6%、「ケアマネージャー」の割合が18.1%となっています。

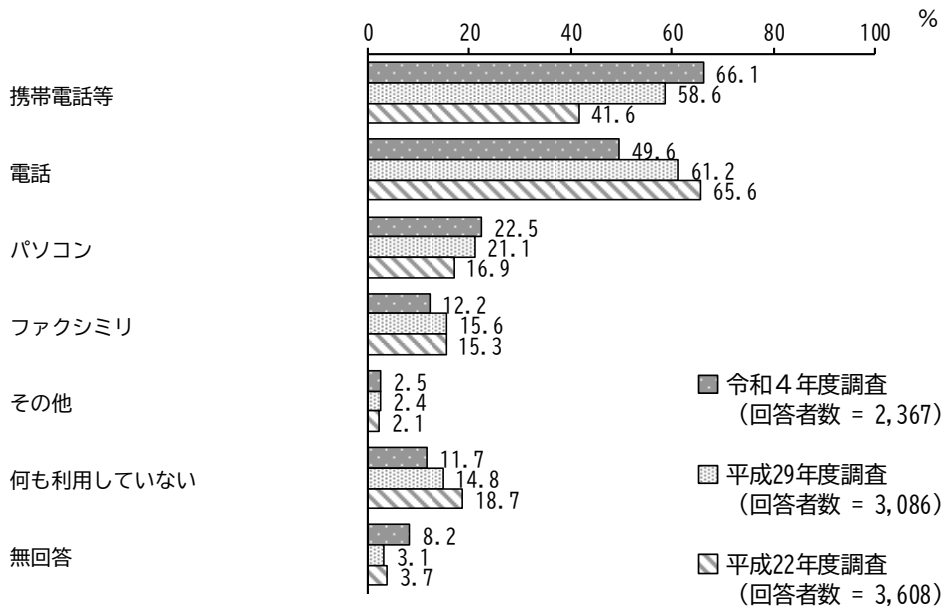
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 20 あなたは、日常生活で次のような機器を利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「携帯電話等」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「電話」の割合が 49.6%、「パソコン」の割合が 22.5%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「携帯電話等」の割合が増加しています。一方、「電話」の割合が減少しています。



【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、すべての年齢で「携帯電話等」の割合が高くなっています。

単位：%

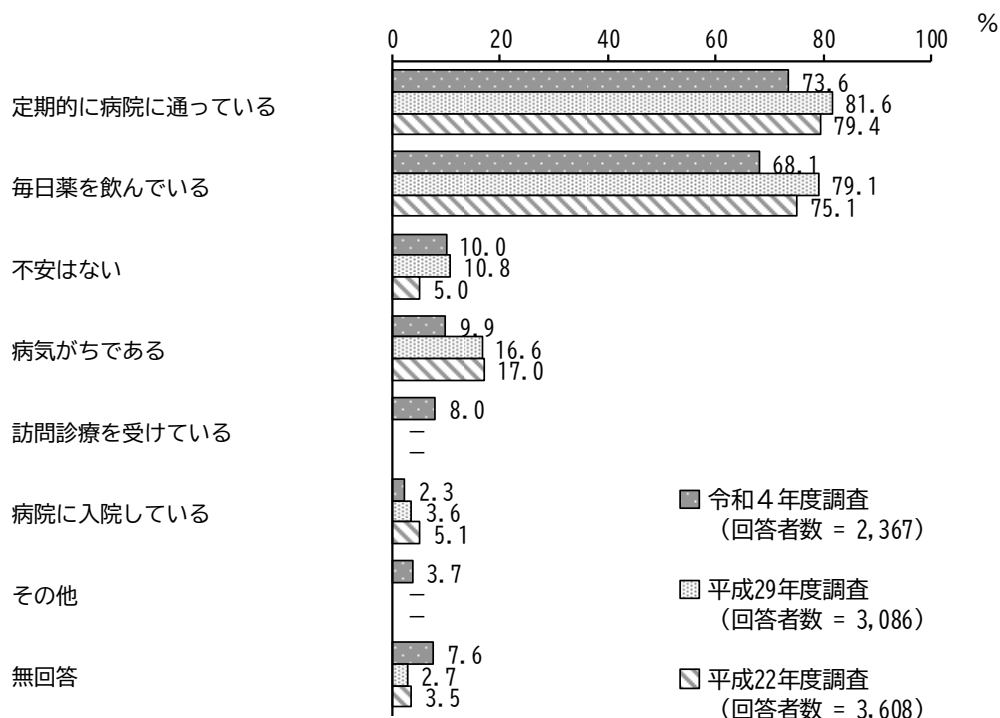
区分	回答者数 (件)	携帯電話等	電話	パソコン	ファクシミリ	その他	何も利用していない	無回答
全 体	2367	66.1	49.6	22.5	12.2	2.5	11.7	8.2
1 級	830	67.0	50.6	24.0	13.6	2.2	13.4	6.5
2 級	311	60.8	36.7	25.4	11.9	4.2	12.9	10.9
3 級	356	67.4	54.2	22.5	12.1	3.9	11.8	3.4
4 級	478	68.0	52.7	18.4	10.9	2.3	9.4	9.6
5 級	119	73.1	59.7	29.4	16.8	0.8	10.1	7.6
6 級	129	73.6	45.0	24.0	8.5	—	8.5	6.2



問 21 あなたは、病院に通う等、健康に不安がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「定期的に病院に通っている」の割合が73.6%と最も高く、次いで「毎日薬を飲んでいる」の割合が68.1%、「不安はない」の割合が10.0%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「定期的に病院に通っている」「毎日薬を飲んでいる」「病気がちである」の割合が減少しています。



【障がいの程度別】

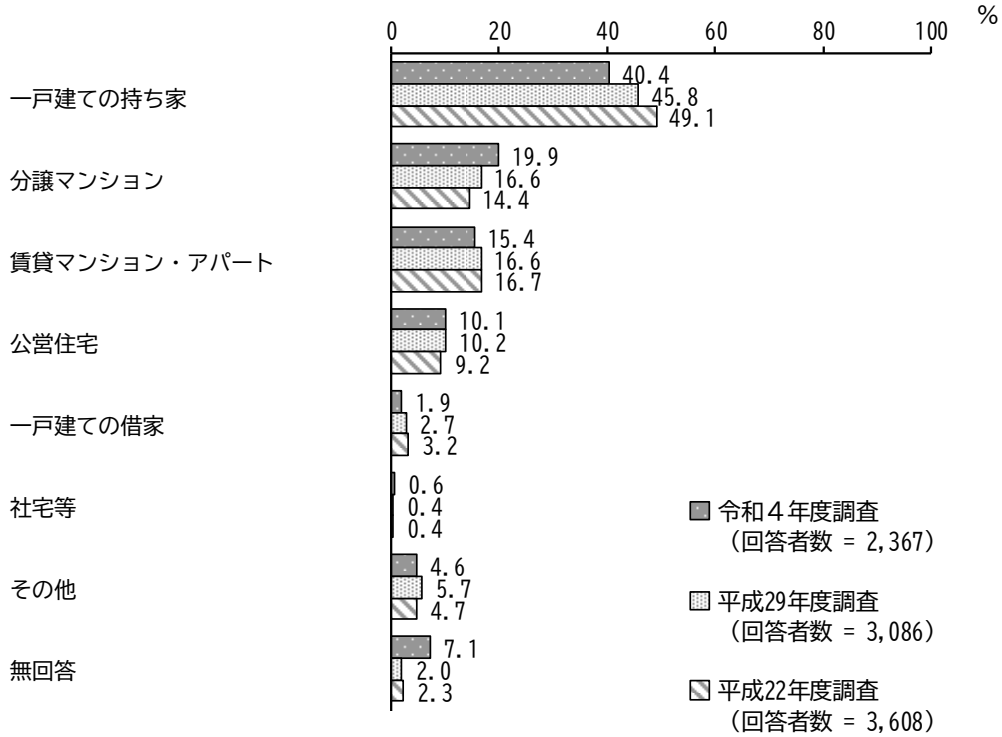
すべての等級で「定期的に病院に通っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	定期的に病院に通っている	毎日薬を飲んでいる	不安はない	病気がちである	訪問診療を受けている	病院に入院している	その他	無回答
全 体	2367	73.6	68.1	10.0	9.9	8.0	2.3	3.7	7.6
1 級	830	76.0	72.9	8.6	9.4	7.8	3.5	3.3	6.1
2 級	311	70.7	62.1	9.6	11.6	12.9	1.3	3.5	8.0
3 級	356	78.4	69.1	9.8	9.8	7.6	2.0	3.4	3.9
4 級	478	70.7	65.5	10.9	9.2	6.5	1.5	4.8	10.7
5 級	119	72.3	67.2	13.4	10.1	5.9	2.5	0.8	6.7
6 級	129	72.9	65.1	16.3	9.3	2.3	0.8	4.7	3.9

問 22 あなたの住まいは次のうちどれですか。(〇は1つ)

「一戸建ての持ち家」の割合が40.4%と最も高く、次いで「分譲マンション」の割合が19.9%、「賃貸マンション・アパート」の割合が15.4%となっています。  
 平成29年度調査と比較すると、「一戸建ての持ち家」の割合が減少しています。



【障がいの程度別】

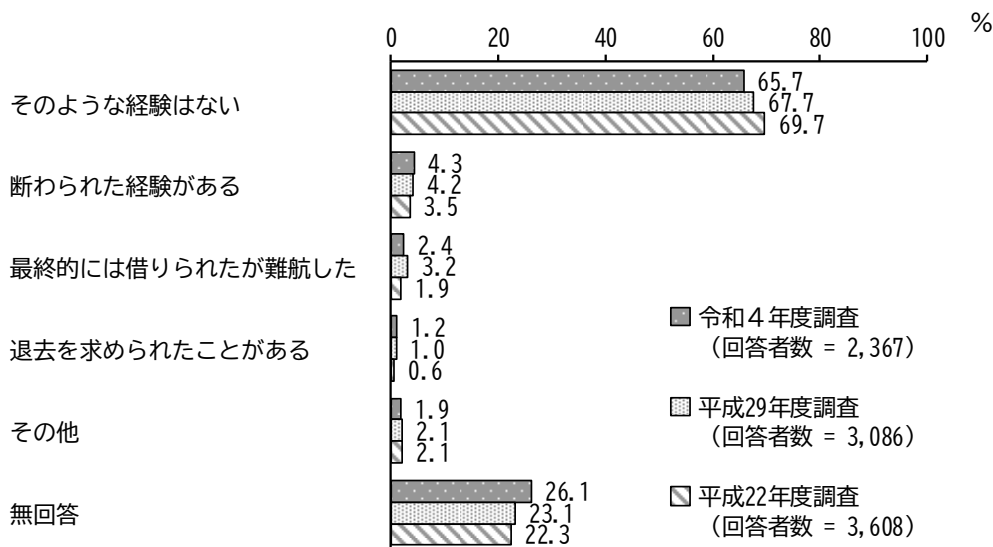
障がいの程度別にみると、他に比べ、6級で「賃貸マンション・アパート」「一戸建ての持ち家」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	一戸建ての持ち家	分譲マンション	賃貸マンション・アパート	公営住宅	一戸建ての借家	社宅等	その他	無回答
全体	2367	40.4	19.9	15.4	10.1	1.9	0.6	4.6	7.1
1級	830	40.0	20.5	15.9	10.1	2.0	0.2	5.7	5.5
2級	311	36.0	20.6	16.1	12.9	1.9	1.0	3.9	7.7
3級	356	43.0	23.3	12.4	10.1	1.1	1.1	3.9	5.1
4級	478	42.3	18.2	15.1	8.8	2.5	0.8	3.1	9.2
5級	119	37.0	22.7	15.1	10.9	4.2	—	5.0	5.0
6級	129	47.3	12.4	23.3	7.8	1.6	—	4.7	3.1

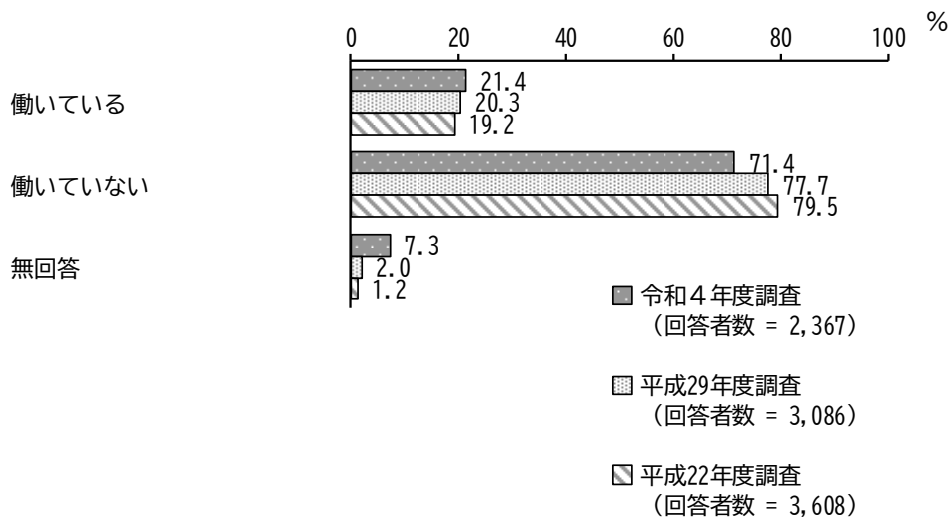
問 23 あなた（または家族の方）がアパートやマンションを借りようとしたとき断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「そのような経験はない」の割合が65.7%と最も高くなっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 24 あなたは、現在、働いていますか。（○は1つ）

「働いている」の割合が21.4%、「働いていない」の割合が71.4%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、「働いていない」の割合が減少しています。



II 調査結果 身体障がい者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳や40～64歳で「働いている」の割合が、18歳未満や65歳以上で「働いていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	働いている	働いていない	無回答
全 体	2367	21.4	71.4	7.3
18歳未満	25	—	100.0	—
18～39歳	54	75.9	20.4	3.7
40～64歳	466	48.9	46.6	4.5
65歳以上	1687	12.6	80.1	7.3

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、5級や6級で「働いている」の割合が、3級で「働いていない」の割合が高くなっています。

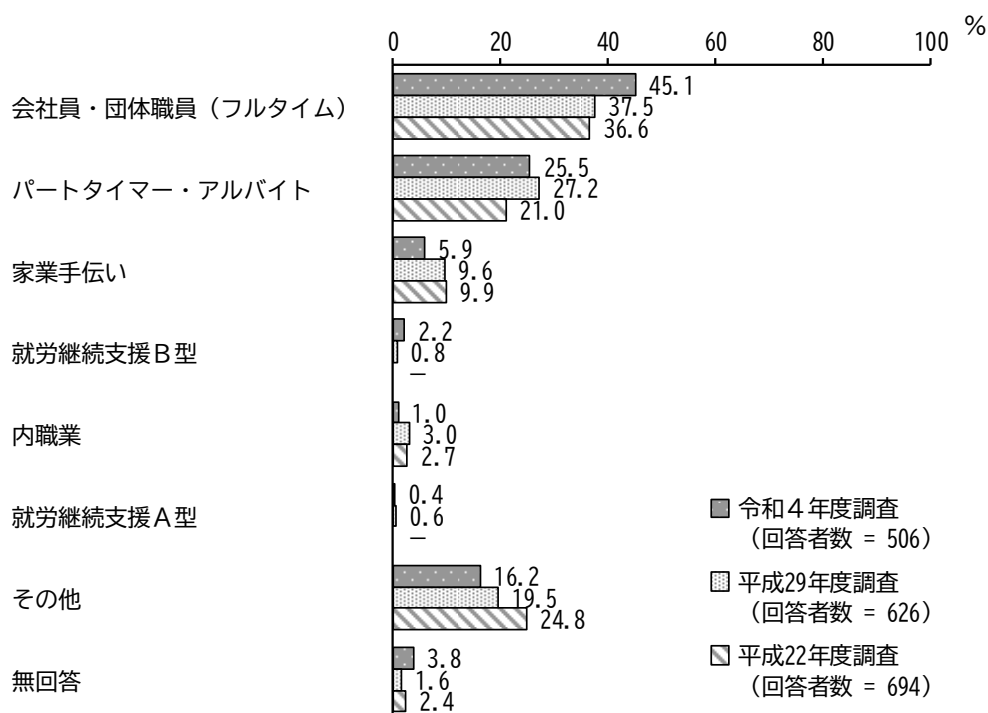
単位：%

区分	回答者数 (件)	働いている	働いていない	無回答
全 体	2367	21.4	71.4	7.3
1級	830	20.7	72.9	6.4
2級	311	18.6	73.3	8.0
3級	356	19.7	76.4	3.9
4級	478	22.6	68.0	9.4
5級	119	31.1	64.7	4.2
6級	129	29.5	65.9	4.7

問 25 (問 24 で「働いている」に○をつけた方のみお答えください。) それは次のうちのどの仕事ですか。(○は1つ)

「会社員・団体職員(フルタイム)」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト」の割合が 25.5%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「会社員・団体職員(フルタイム)」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳や40～64歳で「会社員・団体職員(フルタイム)」の割合が、65歳以上で「パートタイマー・アルバイト」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	会社員・団体職員(フルタイム)	パートタイマー・アルバイト	家業手伝い	就労継続支援B型	内職	就労継続支援A型	その他	無回答
全体	506	45.1	25.5	5.9	2.2	1.0	0.4	16.2	3.8
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	41	82.9	9.8	—	2.4	—	—	4.9	—
40～64歳	228	61.4	22.8	2.2	3.1	0.4	0.9	6.6	2.6
65歳以上	212	21.2	31.1	10.8	1.4	1.4	—	28.8	5.2

II 調査結果 身体障がい者

【障がいの程度別】

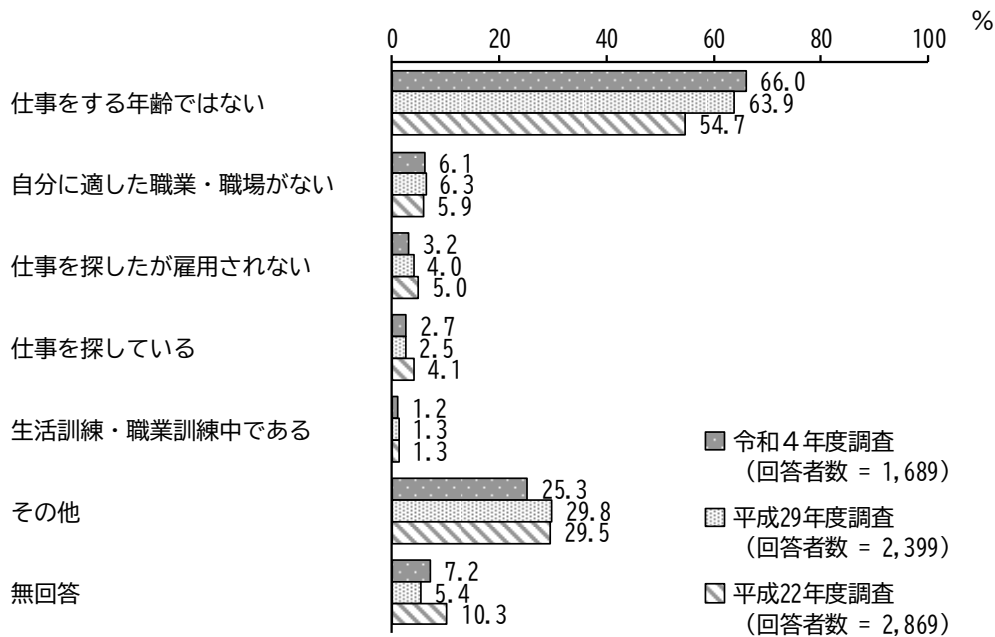
障がいの程度別にみると、他に比べ、2級で「会社員・団体職員（フルタイム）」の割合が、5級で「パートタイマー・アルバイト」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	会社員・団体職員 (フルタイム)	パートタイマー・ア ルバイト	家業手伝い	就労継続支援B型	内職業	就労継続支援A型	その他	無回答
全 体	506	45.1	25.5	5.9	2.2	1.0	0.4	16.2	3.8
1級	172	44.2	26.2	2.9	2.9	0.6	—	19.2	4.1
2級	58	60.3	17.2	3.4	3.4	—	1.7	13.8	—
3級	70	45.7	24.3	7.1	—	1.4	1.4	15.7	4.3
4級	108	41.7	25.9	10.2	2.8	0.9	—	14.8	3.7
5級	37	40.5	37.8	10.8	—	2.7	—	—	8.1
6級	38	50.0	26.3	—	—	—	—	23.7	—

問 26 (問 24 で「働いていない」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「仕事をする年齢ではない」の割合が 66.0%と最も高くなっています。  
平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満や65歳以上で「仕事をする年齢ではない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事をする年齢ではない	自分に適した職業・職場がない	仕事を探したが雇用されない	仕事を探している	生活訓練・職業訓練中である	その他	無回答
全体	1689	66.0	6.1	3.2	2.7	1.2	25.3	7.2
18歳未満	25	84.0	—	—	—	—	16.0	—
18～39歳	11	36.4	—	9.1	—	—	45.5	9.1
40～64歳	217	13.8	20.3	12.0	13.8	6.5	47.9	4.6
65歳以上	1352	74.5	4.4	1.8	1.1	0.4	21.5	7.5

## 【障がいの程度別】

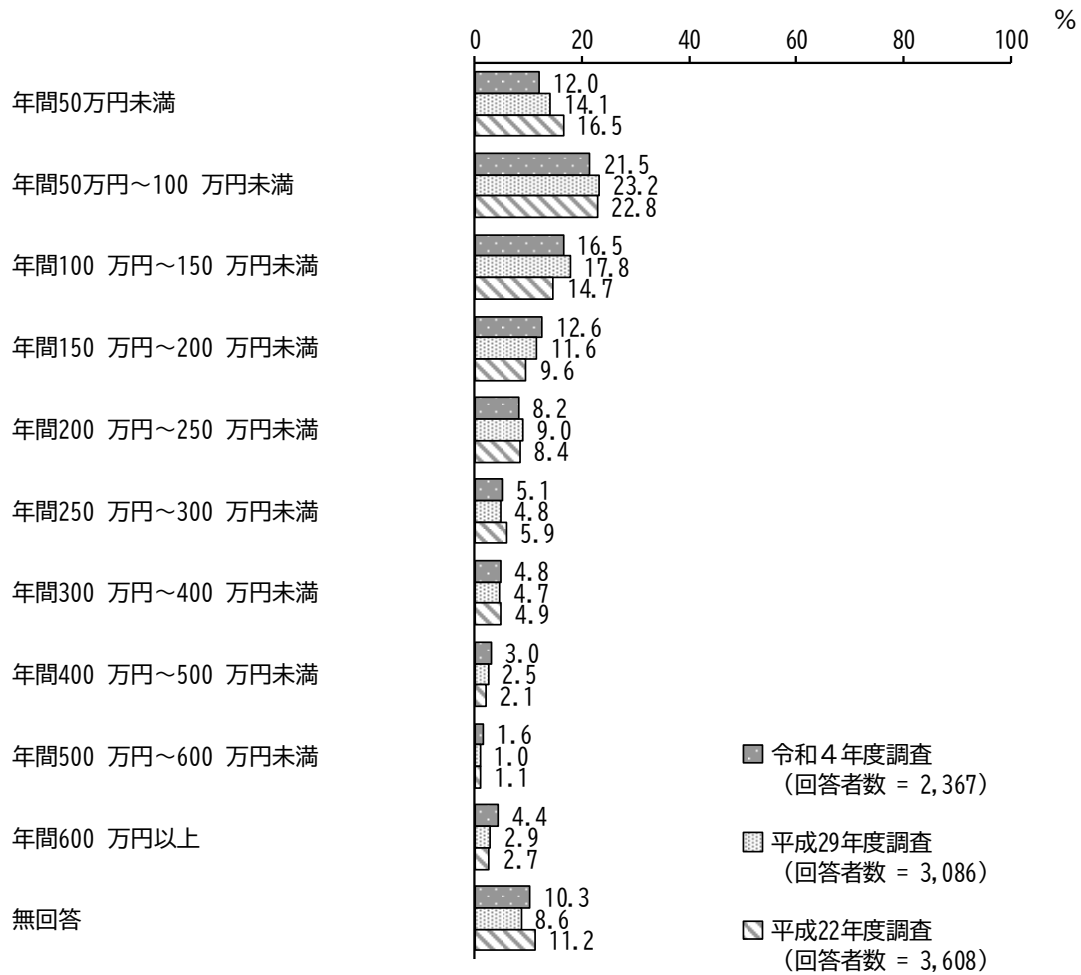
障がいの程度別にみると、すべての年齢で「仕事をする年齢ではない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事をする年齢ではない	自分に適した職業・職場がない	仕事を探したが雇用されない	仕事を探している	生活訓練・職業訓練中である	その他	無回答
全体	1689	66.0	6.1	3.2	2.7	1.2	25.3	7.2
1級	605	61.7	6.8	3.6	3.1	1.2	29.1	7.4
2級	228	62.7	6.1	2.6	3.1	1.8	29.4	7.5
3級	272	70.6	4.4	2.6	1.5	1.1	24.3	5.9
4級	325	72.3	8.3	2.5	2.2	0.6	19.1	6.5
5級	77	64.9	3.9	6.5	5.2	1.3	19.5	11.7
6級	85	65.9	5.9	4.7	4.7	2.4	21.2	4.7

問 27 あなたの令和3年中の年収（賃金・年金・手当等全ての合計）は、税込みでいくらでしたか。（〇は1つ）

「年間50万円～100万円未満」の割合が21.5%と最も高く、次いで「年間100万円～150万円未満」の割合が16.5%、「年間150万円～200万円未満」の割合が12.6%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。





## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「年間50万円未満」の割合が、18～39歳で「年間300万円～400万円未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	年間50万円未満	年間50万円～100万円未満	年間100万円～150万円未満	年間150万円～200万円未満	年間200万円～250万円未満	年間250万円～300万円未満	年間300万円～400万円未満	年間400万円～500万円未満	年間500万円～600万円未満	年間600万円以上	無回答
全体	2367	12.0	21.5	16.5	12.6	8.2	5.1	4.8	3.0	1.6	4.4	10.3
18歳未満	25	60.0	12.0	4.0	4.0	—	—	—	—	—	—	20.0
18～39歳	54	16.7	7.4	5.6	5.6	7.4	11.1	18.5	13.0	5.6	7.4	1.9
40～64歳	466	15.7	14.8	14.2	10.3	6.7	4.5	7.1	5.4	4.3	11.2	6.0
65歳以上	1687	10.1	23.7	18.0	13.5	9.0	5.2	4.0	2.2	0.9	2.7	10.8

## 【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、すべての程度で「年間50万円～100万円未満」の割合が高くなっています。

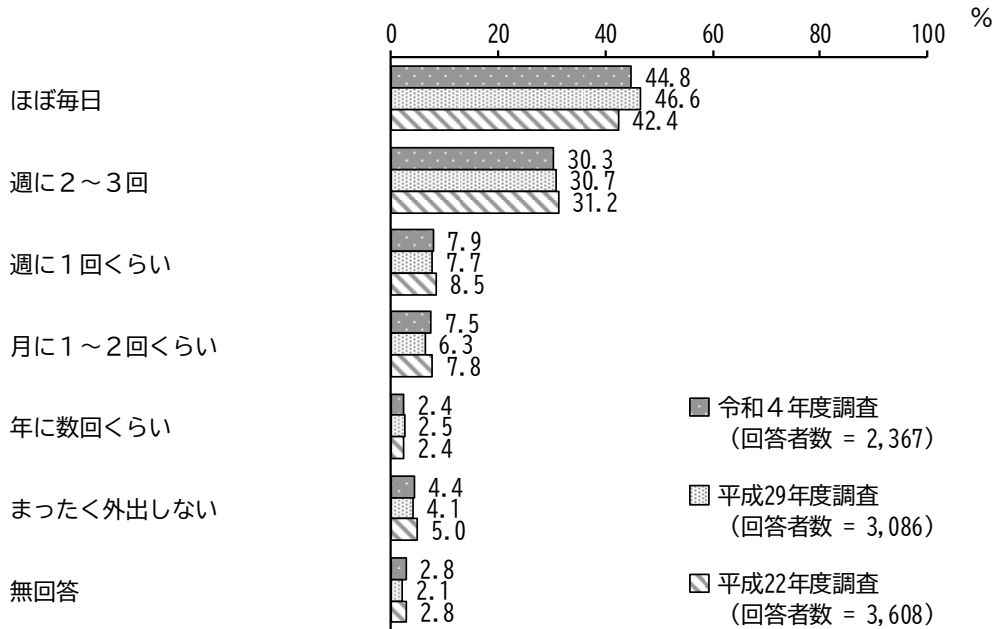
単位：％

区分	回答者数(件)	年間50万円未満	年間50万円～100万円未満	年間100万円～150万円未満	年間150万円～200万円未満	年間200万円～250万円未満	年間250万円～300万円未満	年間300万円～400万円未満	年間400万円～500万円未満	年間500万円～600万円未満	年間600万円以上	無回答
全体	2367	12.0	21.5	16.5	12.6	8.2	5.1	4.8	3.0	1.6	4.4	10.3
1級	830	11.4	20.5	17.6	12.0	8.6	4.6	5.2	3.6	2.7	4.2	9.6
2級	311	16.4	19.0	18.3	13.2	8.0	4.8	5.1	3.5	1.0	3.5	7.1
3級	356	13.5	23.0	14.9	11.5	7.6	5.6	4.2	2.0	1.1	4.2	12.4
4級	478	10.0	21.8	16.5	13.4	9.2	7.1	3.8	2.5	0.8	5.0	9.8
5級	119	6.7	19.3	16.0	12.6	10.1	5.0	8.4	3.4	1.7	7.6	9.2
6級	129	13.2	24.0	17.8	12.4	7.0	2.3	4.7	3.1	2.3	6.2	7.0

問 28 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出) (○は1つ)

「ほぼ毎日」の割合が44.8%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が30.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満、18～39歳、40～64歳で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回くらい	年に数回くらい	まったく外出しない	無回答
全体	2367	44.8	30.3	7.9	7.5	2.4	4.4	2.8
18歳未満	25	88.0	—	—	8.0	4.0	—	—
18～39歳	54	75.9	13.0	5.6	3.7	—	1.9	—
40～64歳	466	59.2	24.0	7.1	4.1	0.9	3.6	1.1
65歳以上	1687	39.5	33.3	8.4	8.4	2.9	4.5	3.1

## 【障がいの程度別】

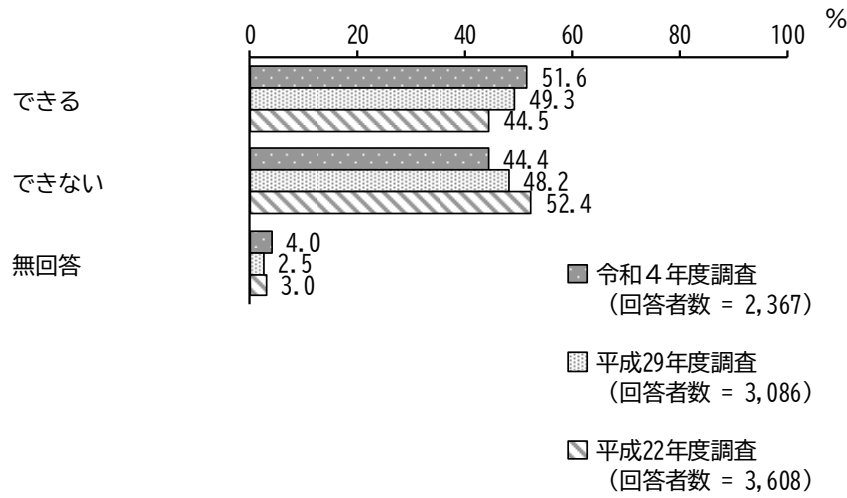
障がいの程度別にみると、他に比べ、6級で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回～ 1回未満	月に1～2回 未満	年に数回 未満	まったく外出 しない	無回答
全 体	2367	44.8	30.3	7.9	7.5	2.4	4.4	2.8
1級	830	46.3	29.8	4.7	8.0	3.3	5.4	2.7
2級	311	36.7	34.4	10.0	10.9	3.2	3.9	1.0
3級	356	42.1	29.8	9.8	8.7	1.7	3.9	3.9
4級	478	48.7	30.3	10.0	5.0	1.3	2.1	2.5
5級	119	47.1	25.2	11.8	5.9	2.5	5.0	2.5
6級	129	57.4	29.5	6.2	3.1	0.8	2.3	0.8

問 29 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。(○は1つ)

「できる」の割合が51.6%、「できない」の割合が44.4%となっています。  
 平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「できない」の割合が、18～39歳や40～64歳で「できる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できる	できない	無回答
全 体	2367	51.6	44.4	4.0
18歳未満	25	24.0	72.0	4.0
18～39歳	54	70.4	29.6	—
40～64歳	466	66.1	32.0	1.9
65歳以上	1687	47.7	48.2	4.1

## 【障がいの程度別】

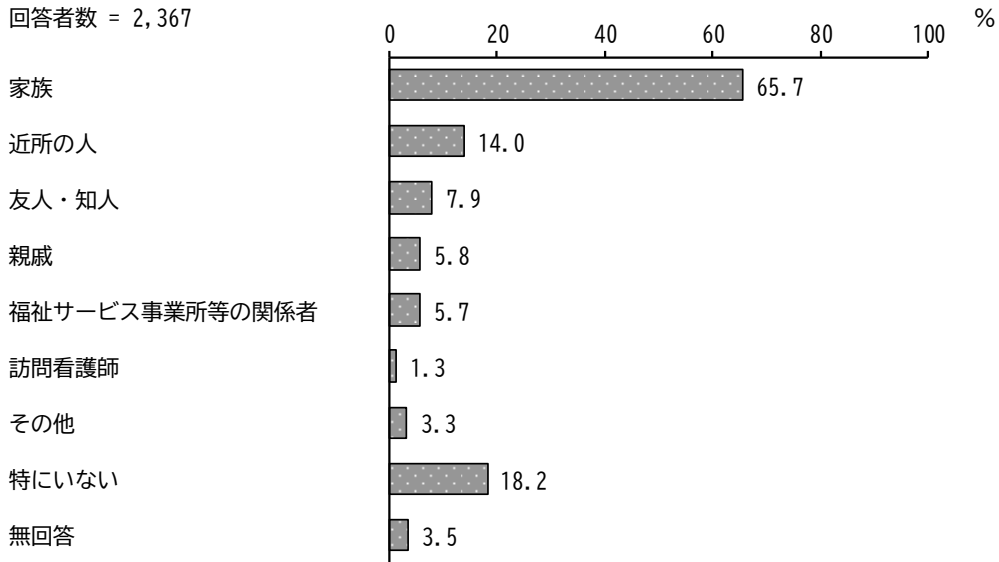
障がいの程度別にみると、他に比べ、2級で「できない」の割合が、2級以外で「できる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できる	できない	無回答
全 体	2367	51.6	44.4	4.0
1 級	830	50.7	45.3	4.0
2 級	311	32.8	65.6	1.6
3 級	356	50.8	45.2	3.9
4 級	478	59.8	35.6	4.6
5 級	119	58.8	39.5	1.7
6 級	129	72.1	24.8	3.1

問 30 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください（○はいくつでも）

「家族」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「特にいない」の割合が 18.2%、「近所の人」の割合が 14.0%となっています。



【避難の可否別】

避難の可否別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族	近所の人	友人・知人	親戚	福祉サービス事業 所等の関係者	訪問看護師	その他	特にいない	無回答
全 体	2367	65.7	14.0	7.9	5.8	5.7	1.3	3.3	18.2	3.5
できる	1222	66.9	17.7	11.6	7.5	1.6	0.4	1.3	22.0	1.1
できない	1050	68.3	10.2	4.1	4.1	10.8	2.3	5.8	14.0	1.9

問 31 身体障がい者に関するサービスの利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～35について各々○は1つ)

『13 デイサービス』で「知っているが利用していない」の割合が、『22 留守番看護師の派遣』で「知らない」の割合が高くなっています。また、『16 福祉タクシー券の支給』で「現在利用している」の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
1 ホームヘルプサービス	2367	9.1	3.0	46.7	24.7	16.5
2 ガイドヘルパー派遣事業	2367	1.6	0.8	31.6	46.5	19.5
3 ショートステイ（短期入所）	2367	2.4	4.2	49.6	25.3	18.5
4 計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	2367	10.8	3.6	26.6	39.7	19.3
5 地域移行支援 （入所・入院先を出て、地域での生活に戻るための支援）	2367	1.0	1.5	25.9	51.9	19.7
6 地域定着支援 （地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	2367	3.2	1.2	27.4	48.8	19.4
7 児童発達支援	2367	0.3	0.2	17.2	57.0	25.2
8 医療型児童発達支援	2367	0.1	0.1	16.3	58.0	25.4
9 放課後等デイサービス	2367	0.5	0.4	21.5	52.2	25.4
10 保育所等訪問支援	2367	0.3	0.1	16.3	57.6	25.7
11 居宅訪問型児童発達支援	2367	0.1	0.1	15.3	58.7	25.8
12 障害児相談支援（障害児支援利用計画の作成）	2367	0.5	0.3	18.3	54.9	26.0
13 デイサービス	2367	11.7	4.1	51.8	15.6	16.9
14 緊急一時保護	2367	0.3	0.3	23.4	54.2	21.7
15 日中一時支援サービス	2367	0.8	0.5	21.4	54.9	22.4
16 福祉タクシー券の支給	2367	37.1	6.4	24.5	19.3	12.8
17 補装具の交付・修理	2367	12.5	8.5	29.7	30.4	18.9
18 日常生活用具の給付	2367	6.7	4.7	28.7	40.1	19.8
19 住宅設備改善の助成	2367	4.6	9.1	34.3	32.5	19.5
20 紙おむつ等の給付	2367	11.1	2.2	37.8	31.5	17.4

(次のページへ)

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
21 対面音訳者の派遣	2367	0.1	0.1	18.6	59.8	21.3
22 留守番看護師の派遣	2367	0.1	0.2	16.6	62.3	20.7
23 手話通訳者の派遣	2367	0.7	0.6	18.3	58.6	21.8
24 寝具乾燥消毒	2367	0.4	0.2	19.0	59.9	20.5
25 巡回入浴サービス・施設入浴	2367	3.8	1.0	47.4	28.9	19.0
26 理美容サービス	2367	2.1	1.3	31.9	45.2	19.4
27 電話料金の補助	2367	3.7	1.1	17.6	59.1	18.5
28 配食サービス	2367	2.1	2.4	32.2	46.9	16.5
29 避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	2367	3.0	0.9	25.8	51.6	18.6
30 緊急通報システムの設置	2367	4.7	0.9	25.3	51.0	18.0
31 補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)利用	2367	0.1	0.2	41.6	37.3	20.8
32 就学相談・教育相談	2367	0.3	0.9	23.4	51.5	23.9
33 成年後見人制度	2367	0.5	0.3	36.8	40.3	22.1
34 地域福祉権利擁護事業(あんしんサポート)	2367	1.4	0.8	24.9	52.5	20.4
35 コミュニティバス乗車券支給	2367	9.8	4.0	24.9	44.3	17.0

(前ページの表 続き)



〈平成 29 年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用 したことがある	知 っているが利用 して いない	知 らない	無 回 答
1 ホームヘルプサービス	3086	11.7	4.2	48.8	19.5	15.8
2 ガイドヘルパー派遣事業	3086	2.3	0.8	33.8	43.2	19.9
3 ショートステイ（短期入所）	3086	2.4	4.2	50.8	24.1	18.4
4 計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	3086	10.7	4.2	26.2	39.1	19.8
5 地域移行支援 （入所・入院先を出て、地域での生活に戻るための支援）	3086	1.0	1.7	26.9	50.3	20.0
6 地域定着支援 （地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	3086	2.7	1.2	27.8	48.5	19.8
7 児童発達支援	3086	0.2	0.2	16.7	57.6	25.3
8 医療型児童発達支援	3086	0.2	0.1	14.9	59.3	25.5
9 放課後等デイサービス	3086	0.4	0.2	20.0	54.1	25.3
10 保育所等訪問支援	3086	0.1	0.2	15.9	57.8	26.0
11 居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
12 障害児相談支援（障害児支援利用計画の作成）	3086	0.3	0.4	18.2	54.3	26.8
13 デイサービス	3086	12.1	4.6	48.4	17.0	17.9
14 緊急一時保護	3086	0.4	0.4	23.5	52.9	22.8
15 日中一時支援サービス	3086	0.5	0.4	22.4	53.0	23.7
16 福祉タクシー券の支給	3086	39.2	5.3	24.8	18.0	12.7
17 補装具の交付・修理	3086	11.2	9.0	30.8	29.2	19.7
18 日常生活用具の給付	3086	8.2	4.7	28.7	37.1	21.2
19 住宅設備改善の助成	3086	3.8	10.0	36.9	29.4	19.9
20 紙おむつ等の給付	3086	10.4	2.7	40.3	28.0	18.6

(次のページへ)

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
21 対面音訳者の派遣	3086	0.2	0.3	18.8	57.6	23.1
22 留守番看護師の派遣	3086	0.3	0.2	17.8	59.8	21.9
23 手話通訳者の派遣	3086	0.6	0.8	20.0	55.4	23.2
24 寝具乾燥消毒	3086	0.5	0.2	19.9	57.6	21.8
25 巡回入浴サービス・施設入浴	3086	3.9	1.6	50.0	23.8	20.7
26 理美容サービス	3086	2.4	1.4	33.6	42.1	20.5
27 電話料金の補助	3086	4.0	1.1	19.9	54.9	20.1
28 配食サービス	3086	2.2	1.7	32.1	44.0	20.0
29 避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	—	—	—	—	—	—
30 緊急通報システムの設置	3086	4.2	1.1	29.0	49.2	16.4
31 補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)利用	3086	0.1	0.2	47.5	31.4	20.9
32 就学相談・教育相談	3086	0.1	0.8	25.0	49.8	24.4
33 成年後見人制度	3086	0.6	0.4	36.1	40.5	22.3
34 地域福祉権利擁護事業(あんしんサポート)	3086	0.8	0.8	26.5	50.8	21.1
35 コミュニティバス乗車券支給	3086	13.5	4.4	23.8	41.8	16.5

(前ページの表 続き)

〈平成 22 年度調査〉

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用 したことがある	知 っているが利用 して いない	知 らない	無 回 答
1 ホームヘルプサービス	3608	13.7	4.3	43.8	15.2	23.0
2 ガイドヘルパー派遣事業	3608	2.1	1.1	33.3	35.5	28.0
3 ショートステイ（短期入所）	3608	2.9	3.9	47.5	20.0	25.7
4 計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	—	—	—	—	—	—
5 地域移行支援 （入所・入院先を出て、地域での生活に戻るための支援）	—	—	—	—	—	—
6 地域定着支援 （地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	—	—	—	—	—	—
7 児童発達支援	—	—	—	—	—	—
8 医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
9 放課後等デイサービス	—	—	—	—	—	—
10 保育所等訪問支援	—	—	—	—	—	—
11 居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
12 障害児相談支援（障害児支援利用計画の作成）	—	—	—	—	—	—
13 デイサービス	3608	12.3	3.4	48.6	13.7	22.0
14 緊急一時保護	3608	0.2	0.9	28.6	42.3	28.1
15 日中一時支援サービス	3608	1.1	0.8	29.2	40.9	28.1
16 福祉タクシー券の支給	3608	38.4	6.4	24.2	15.2	15.8
17 補装具の交付・修理	3608	12.0	9.3	29.5	25.0	24.2
18 日常生活用具の給付	3608	6.4	4.4	28.8	34.1	26.4
19 住宅設備改善の助成	3608	4.3	10.6	34.7	25.9	24.5
20 紙おむつ等の給付	3608	10.5	2.4	40.3	23.7	23.1

(次のページへ)

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
21 対面音訳者の派遣	3608	0.2	0.4	22.6	48.7	28.1
22 留守番看護師の派遣	3608	0.2	0.3	21.2	51.3	26.9
23 手話通訳者の派遣	3608	0.5	0.7	24.3	46.7	27.9
24 寝具乾燥消毒	3608	0.4	0.3	21.6	50.3	27.4
25 巡回入浴サービス・施設入浴	3608	2.2	1.1	53.8	17.1	25.8
26 理美容サービス	3608	2.2	1.1	32.3	38.1	26.4
27 電話料金の補助	3608	2.5	0.9	20.4	50.3	25.9
28 配食サービス	3608	1.5	1.5	33.3	37.2	26.6
29 避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	3608	—	—	—	—	—
30 緊急通報システムの設置	3608	3.0	0.8	26.9	42.7	26.6
31 補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)利用	3608	0.2	0.2	43.9	28.2	27.5
32 就学相談・教育相談	3608	0.4	1.4	27.6	41.6	29.0
33 成年後見人制度	3608	0.8	0.2	31.2	40.0	27.9
34 地域福祉権利擁護事業(あんしんサポート)	3608	0.2	0.4	18.1	53.2	28.0
35 コミュニティバス乗車券支給	3608	11.3	3.2	21.6	39.1	24.8

(前ページの表 続き)

【障がいの程度別】（「現在利用している」、「利用したことがある」をあわせた表）

障がいの程度別にみると、他に比べ、1級や3級で「福祉タクシー券の支給」の割合が、2級で「補装具の交付・修理」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ホームヘルプサービス	ガイドヘルパー派遣事業	シヨートステイ(短期入所)	計画相談支援(サービス等利用計画の作成)	地域移行支援(入所・入院先を出て、地域での生活に戻るための支援)	地域定着支援(地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援
1級	830	13.6	3.3	7.8	16.1	2.4	4.7	0.5	0.2	1.0	—	0.1
2級	311	22.5	3.5	10.3	24.1	5.8	6.1	1.0	—	1.0	1.0	0.3
3級	356	10.1	0.6	6.2	13.8	2.2	3.9	0.3	—	0.8	0.3	—
4級	478	7.5	1.3	4.6	10.7	1.7	3.8	0.4	0.4	0.6	0.6	0.4
5級	119	5.9	2.5	5.9	6.7	1.7	2.5	—	—	0.8	—	—
6級	129	4.7	0.8	0.8	3.9	0.8	1.6	2.3	0.8	2.3	1.6	0.8

区分	障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	デイサービス	緊急一時保護	日中一時支援サービス	福祉タクシー券の支給	補装具の交付・修理	日常生活用具の給付	住宅設備改善の助成	紙おむつ等の給付	対面音訳者の派遣	留守番看護士の派遣	手話通訳者の派遣
1級	0.6	15.2	0.6	1.2	69.9	18.6	11.2	15.2	16.0	0.2	0.2	0.8
2級	1.9	23.5	0.6	2.9	46.6	36.7	21.9	21.9	21.5	—	—	5.5
3級	1.1	16.6	0.3	0.8	56.7	22.2	13.5	12.6	11.0	—	—	0.8
4級	0.4	13.6	0.6	0.6	5.6	16.9	7.5	12.1	7.3	0.4	0.8	0.4
5級	—	10.9	0.8	0.8	3.4	16.0	4.2	7.6	10.1	0.8	0.8	0.8
6級	2.3	10.1	1.6	1.6	5.4	20.9	3.1	3.9	4.7	0.8	0.8	0.8

(次のページへ)

単位：%

区分	寝具乾燥消毒	巡回入浴サービス・施設入浴	理美容サービス	電話料金の補助	配食サービス	避難行動要支援者登録事業（避難行動要支援者個別支援計画等）	緊急通報システムの設置	補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）利用	就学相談・教育相談	成年後見人制度	地域福祉権利擁護事業（あんしんサポート）	コミュニティバス乗券支給
1級	0.6	5.8	4.2	5.7	5.3	4.5	5.2	0.2	0.8	1.1	2.3	12.4
2級	0.6	5.1	3.5	7.7	5.5	10.0	6.8	0.3	2.9	0.6	2.9	14.1
3級	0.6	4.5	3.4	3.4	3.7	2.2	5.6	—	1.4	0.3	2.0	15.2
4級	0.4	2.7	1.7	2.9	1.7	1.3	4.6	0.2	0.6	0.6	1.5	13.4
5級	1.7	3.4	3.4	3.4	6.7	1.7	5.0	0.8	0.8	0.8	1.7	15.1
6級	0.8	2.3	1.6	5.4	3.9	3.9	7.8	1.6	2.3	1.6	3.1	18.6

（前ページの表 続き）

問 32 身体障がい者に関する施設の利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～14について各々○は1つ)

『9 荒川区保健所』で「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
1 アクロスあらかわ(障害者福祉会館)	2367	2.4	4.4	28.3	48.3	16.6
2 たんぽぽセンターの療育訓練	2367	0.6	2.8	21.8	56.8	18.0
3 荒川福祉作業所、荒川生活実習所	2367	0.2	0.4	24.9	56.2	18.3
4 希望の家(本所・分場)	2367	0.3	0.2	21.1	60.0	18.4
5 荒川区障害者基幹相談支援センター	2367	0.3	0.8	20.0	60.9	18.1
6 作業所(就労継続支援、就労移行支援事業所)	2367	0.6	0.5	20.7	59.4	18.8
7 グループホーム	2367	0.7	0.3	27.8	52.9	18.3
8 じょぶあらかわ(障害者就労支援センター)	2367	0.5	1.2	17.4	61.5	19.4
9 荒川区保健所	2367	1.6	13.6	46.1	20.3	18.3
10 東京都心身障害者福祉センター	2367	0.7	3.7	27.4	49.5	18.7
11 東京都障害者総合スポーツセンター	2367	0.7	3.9	24.5	51.8	19.0
12 ハローワーク足立(足立公共職業安定所)	2367	0.6	10.0	33.9	36.6	18.9
13 東京都障害者休養ホーム	2367	0.1	0.8	15.5	64.9	18.7
14 荒川区子ども家庭総合センター	2367	0.2	0.3	16.6	63.0	19.9

II 調査結果 身体障がい者

〈平成 29 年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
1 アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	3086	3.1	4.5	30.0	45.5	16.9
2 たんぽぽセンターの療育訓練	3086	1.0	2.4	24.2	53.2	19.2
3 荒川福祉作業所、荒川生活実習所	3086	0.1	0.4	26.4	53.5	19.6
4 希望の家（本所・分場）	3086	0.2	0.3	21.1	58.6	19.9
5 荒川区障害者基幹相談支援センター	—	—	—	—	—	—
6 作業所（就労継続支援、就労移行支援事業所）	3086	0.3	0.2	21.3	58.0	20.1
7 グループホーム	3086	0.6	0.2	27.8	51.4	19.9
8 じょぶあらかわ（障害者就労支援センター）	3086	0.4	1.2	18.9	59.0	20.5
9 荒川区保健所	3086	1.6	11.3	48.5	19.1	19.4
10 東京都心身障害者福祉センター	3086	0.9	4.8	29.2	45.7	19.4
11 東京都障害者総合スポーツセンター	3086	0.7	3.8	27.7	48.0	19.7
12 ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	3086	1.0	9.1	34.5	35.8	19.6
13 東京都障害者休養ホーム	3086	0.3	0.9	17.9	61.5	19.5
14 荒川区子ども家庭総合センター	—	—	—	—	—	—



〈平成 22 年度調査〉

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用 したことがある	知 っているが利用 して いない	知 らない	無 回 答
1 アクロスあらかわ(障害者福祉会館)	3608	3.1	6.2	30.0	39.2	21.5
2 たんぽぽセンターの療育訓練	3608	1.0	2.9	23.5	48.3	24.3
3 荒川福祉作業所、荒川生活実習所	3608	0.6	0.6	26.8	46.7	25.2
4 希望の家(本所・分場)	3608	0.7	0.6	20.7	52.5	25.5
5 荒川区障害者基幹相談支援センター	—	—	—	—	—	—
6 作業所(就労継続支援、就労移行支援事業所)	—	—	—	—	—	—
7 グループホーム	3608	0.2	0.5	19.6	53.8	25.9
8 じょぶあらかわ(障害者就労支援センター)	3608	0.3	1.0	18.0	53.9	26.7
9 荒川区保健所	3608	1.2	13.6	48.1	12.4	24.6
10 東京都心身障害者福祉センター	3608	0.7	6.1	30.3	37.2	25.7
11 東京都障害者総合スポーツセンター	3608	0.8	4.4	27.8	41.5	25.6
12 ハローワーク足立(足立公共職業安定所)	3608	1.2	8.9	35.5	28.7	25.6
13 東京都障害者休養ホーム	3608	0.1	1.2	17.8	55.3	25.5
14 荒川区子ども家庭総合センター	—	—	—	—	—	—

II 調査結果 身体障がい者

【障がいの程度別】（「現在利用している」、「利用したことがある」をあわせた表）

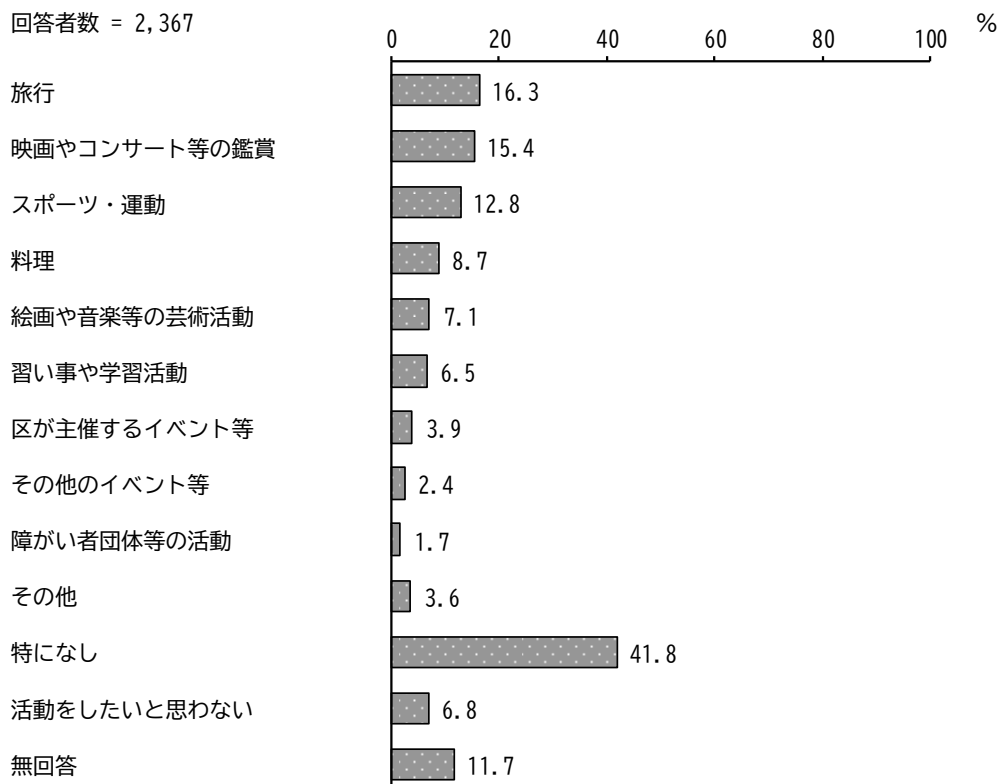
障がいの程度別にみると、他に比べ、2級で「アクロスあらかわ（障害者福祉会館）」「ハローワーク足立（足立公共職業安定所）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	たんぼセンターの療育訓練	荒川福祉作業所、荒川生活実習所	希望の家（本所・分場）	荒川区障害者基幹相談支援センター	作業所（就労継続支援、就労移行支援事業）	グループホーム	じよぶあらかわ（障害者就労支援センター）	荒川区保健所	東京都心身障害者福祉センター	東京都障害者総合スポーツセンター	立公共職業安定所（足立公共職業安定所）	東京都障害者休養ホーム	荒川区子ども家庭総合センター
1級	830	6.5	2.5	0.5	0.4	0.8	0.8	0.7	1.1	16.9	4.0	3.6	10.4	0.6	0.2
2級	311	14.5	9.3	0.6	—	0.6	1.9	1.0	4.8	17.7	10.6	12.5	17.4	1.3	1.0
3級	356	7.3	2.2	0.3	0.3	0.8	0.8	0.6	1.4	15.7	3.1	4.2	9.8	0.3	0.3
4級	478	3.6	1.9	0.6	0.4	1.7	1.0	1.5	1.5	12.3	3.6	2.7	8.2	0.8	0.6
5級	119	4.2	2.5	0.8	0.8	0.8	—	1.7	0.8	16.8	3.4	4.2	14.3	3.4	1.7
6級	129	7.0	4.7	2.3	2.3	0.8	1.6	0.8	1.6	10.9	1.6	2.3	9.3	0.8	0.8

問33 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「特になし」の割合が41.8%と最も高く、次いで「旅行」の割合が16.3%、「映画やコンサート等の鑑賞」の割合が15.4%となっています。



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「スポーツ・運動」「習い事や学習活動」の割合が、18～39歳で「映画やコンサート等の鑑賞」「旅行」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	旅行	映画やコンサート等の鑑賞	スポーツ・運動	料理	美術活動	絵画や音楽等の芸術活動	習い事や学習活動	区が主催するイベント等	その他のイベント等	障がい者団体等の活動	その他	特になし	活動をしたと思わない	無回答
全体	2367	16.3	15.4	12.8	8.7	7.1	6.5	3.9	2.4	1.7	3.6	41.8	6.8	11.7	
18歳未満	25	32.0	36.0	52.0	12.0	20.0	44.0	8.0	—	4.0	—	24.0	—	—	
18～39歳	54	48.1	53.7	42.6	37.0	22.2	9.3	5.6	11.1	3.7	3.7	16.7	1.9	3.7	
40～64歳	466	25.1	28.1	17.2	17.6	9.0	6.9	1.5	2.8	3.0	2.6	39.1	4.9	4.9	
65歳以上	1687	13.3	10.8	10.3	5.9	6.0	6.0	4.5	2.1	1.4	3.9	43.8	7.4	13.1	

## 【障がいの程度別】

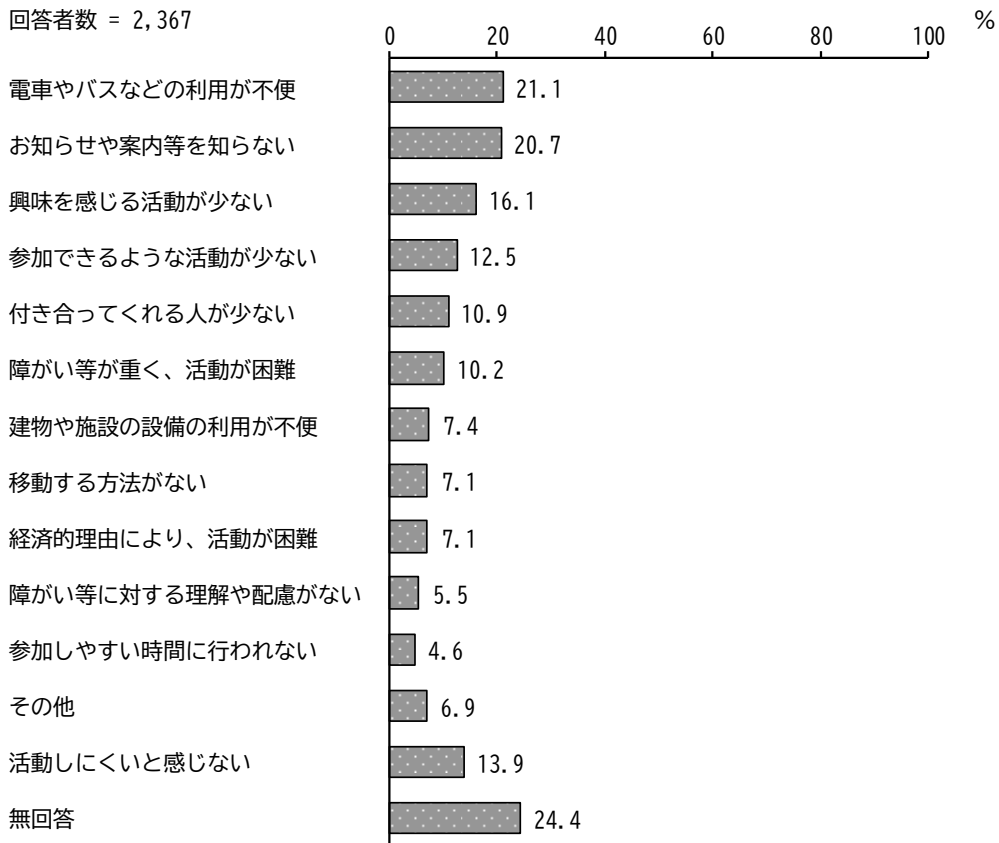
障がいの程度別にみると、すべての程度で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	旅行	映画やコンサート等の鑑賞	スポーツ・運動	料理	美術活動	絵画や音楽等の芸術活動	習い事や学習活動	区が主催するイベント等	その他のイベント等	障がい者団体等の活動	その他	特になし	活動をしたと思わない	無回答
全体	2367	16.3	15.4	12.8	8.7	7.1	6.5	3.9	2.4	1.7	3.6	41.8	6.8	11.7	
1級	830	16.3	14.9	11.3	8.2	5.7	4.8	2.7	1.4	1.6	3.5	45.5	5.2	11.6	
2級	311	16.4	16.1	15.4	10.0	7.7	5.8	3.2	3.9	5.1	2.3	43.1	8.4	9.0	
3級	356	18.0	18.0	12.1	9.8	9.0	8.7	3.4	2.0	2.0	5.6	40.2	6.2	10.1	
4級	478	16.3	14.4	14.2	9.4	7.3	7.9	6.5	2.5	0.4	4.6	39.1	7.1	11.3	
5級	119	17.6	18.5	15.1	9.2	9.2	9.2	5.9	3.4	0.8	0.8	42.0	7.6	10.9	
6級	129	20.9	19.4	16.3	8.5	10.1	7.8	3.1	3.9	0.8	1.6	38.0	8.5	8.5	

問 34 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

「電車やバスなどの利用が不便」の割合が21.1%と最も高く、次いで「お知らせや案内等知らない」の割合が20.7%、「興味を感じる活動が少ない」の割合が16.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満や18～39歳で「活動しにくいと感じない」の割合が、40～64歳で「電車やバスなどの利用が不便」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	電車やバスなどの利用が不便	お知らせや案内等を知らない	興味を感じる活動が少ない	参加できるような活動が少ない	付き合ってくれる人が少ない	障がい等が重く、活動が困難	建物や施設の設備の利用が不便	移動する方法がない	経済的理由により、活動が困難	障がい等に対する理解や配慮がない	参加しやすい時間に行われない	その他	活動しにくいと感じない	無回答
全体	2367	21.1	20.7	16.1	12.5	10.9	10.2	7.4	7.1	7.1	5.5	4.6	6.9	13.9	24.4
18歳未満	25	16.0	20.0	8.0	12.0	4.0	8.0	12.0	8.0	—	12.0	12.0	8.0	36.0	4.0
18～39歳	54	16.7	13.0	9.3	18.5	3.7	9.3	11.1	9.3	5.6	18.5	5.6	3.7	37.0	14.8
40～64歳	466	24.2	21.2	17.6	12.4	10.5	12.4	12.9	4.9	8.2	10.1	5.4	6.0	22.3	12.7
65歳以上	1687	20.6	21.2	16.7	12.6	11.4	9.7	5.5	7.9	7.2	4.0	4.5	7.4	11.1	27.2

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、2級で「電車やバスなどの利用が不便」「障がい等が重く、活動が困難」の割合が、4級で「活動しにくいと感じない」の割合が高くなっています。

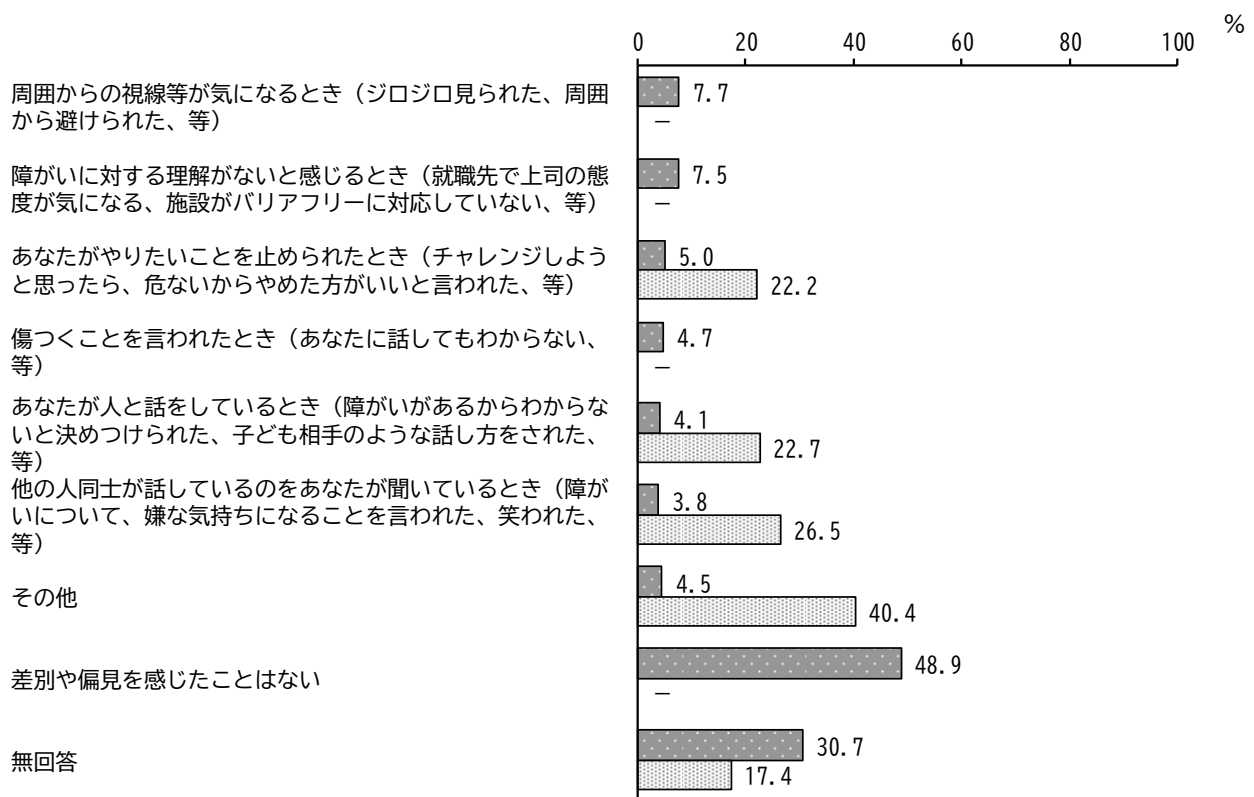
単位：％

区分	回答者数(件)	電車やバスなどの利用が不便	お知らせや案内等を知らない	興味を感じる活動が少ない	参加できるような活動が少ない	付き合ってくれる人が少ない	障がい等が重く、活動が困難	建物や施設の設備の利用が不便	移動する方法がない	経済的理由により、活動が困難	障がい等に対する理解や配慮がない	参加しやすい時間に行われない	その他	活動しにくいと感じない	無回答
全体	2367	21.1	20.7	16.1	12.5	10.9	10.2	7.4	7.1	7.1	5.5	4.6	6.9	13.9	24.4
1級	830	18.8	20.2	16.0	12.0	10.4	12.9	7.0	6.6	6.6	5.5	4.7	7.3	14.6	24.6
2級	311	34.1	25.4	16.7	17.0	11.9	18.0	15.4	11.9	7.4	12.2	5.5	4.2	5.8	17.4
3級	356	19.4	19.4	18.8	15.2	10.7	7.3	6.7	7.3	7.6	5.9	4.5	6.7	13.2	25.8
4級	478	19.5	19.9	15.3	11.5	12.3	4.8	2.9	5.4	6.1	3.3	5.0	9.0	19.0	23.6
5級	119	20.2	23.5	13.4	5.9	5.9	7.6	7.6	6.7	9.2	2.5	4.2	4.2	16.8	25.2
6級	129	16.3	20.2	20.2	8.5	9.3	4.7	4.7	5.4	10.1	3.1	3.9	10.9	16.3	24.0

問 35 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。）（〇はいくつでも）また差し支えなければ、〇をつけた内容について具体的に記入してください。

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が48.9%と最も高くなっています。

平成29年度調査と比較すると、「あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等）」「あなたが人と話をしているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）」「他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、18歳未満で「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)	障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)	あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったり、危ないからやめた方がいいと言われた、等)	傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)
全 体	2367	7.7	7.5	5.0	4.7
18歳未満	25	40.0	20.0	12.0	12.0
18～39歳	54	27.8	22.2	13.0	14.8
40～64歳	466	16.1	19.1	11.2	9.2
65歳以上	1687	4.6	4.0	3.0	3.1

区分	あなたが人と話しているとき(障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)	他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)	その他	差別や偏見を感じたことはない	無回答
全 体	4.1	3.8	4.5	48.9	30.7
18歳未満	12.0	12.0	4.0	36.0	12.0
18～39歳	9.3	13.0	5.6	35.2	16.7
40～64歳	7.7	7.9	9.2	41.8	16.3
65歳以上	3.0	2.4	3.1	52.7	33.8

II 調査結果 身体障がい者

【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)	障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)	あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等)	傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)
全体	2367	7.7	7.5	5.0	4.7
1級	830	7.0	6.7	5.1	4.9
2級	311	13.5	14.8	7.7	6.1
3級	356	7.6	6.5	4.8	4.8
4級	478	6.3	6.3	3.8	4.0
5級	119	10.9	10.1	4.2	4.2
6級	129	6.2	4.7	6.2	4.7

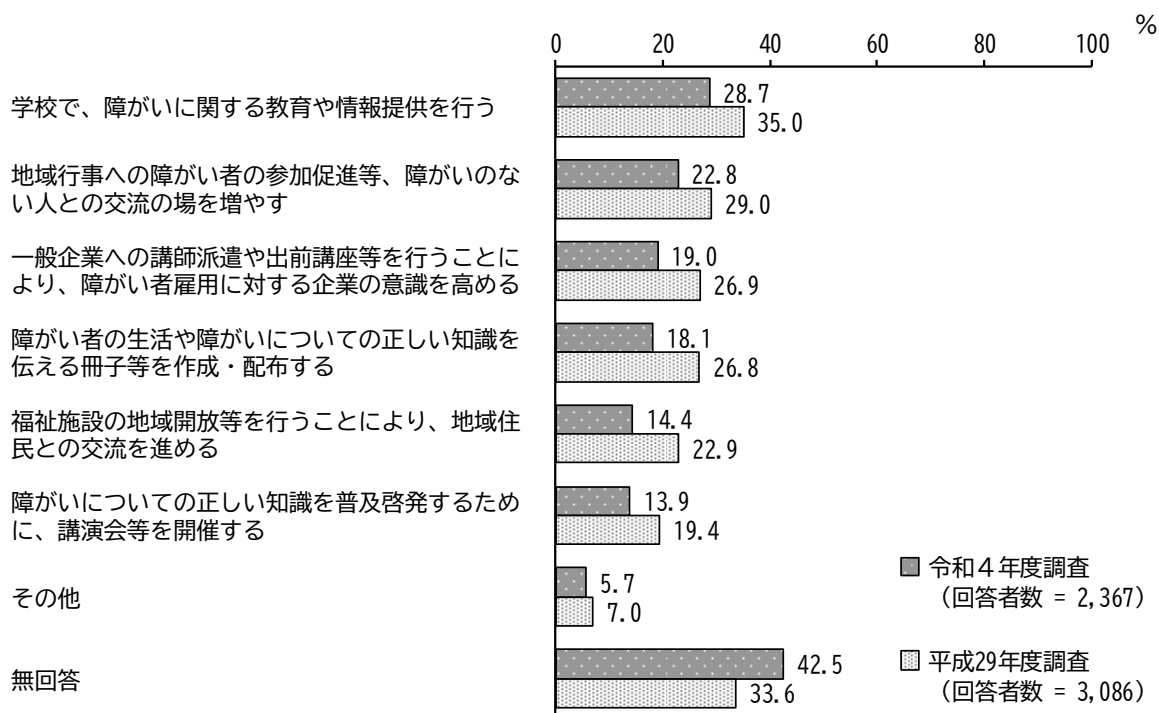
区分	あなたが人と話しているとき(障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)	他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)	その他	差別や偏見を感じたことはない	無回答
全体	4.1	3.8	4.5	48.9	30.7
1級	3.7	3.1	4.1	52.8	29.3
2級	6.4	7.4	4.8	41.2	29.6
3級	4.2	3.9	7.0	50.6	27.5
4級	3.1	2.3	3.6	51.7	29.7
5級	2.5	4.2	4.2	44.5	33.6
6級	8.5	7.0	3.9	46.5	29.5



問 36 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が重要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が 22.8%、「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が 19.0%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」「障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する」「障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する」「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18歳未満で「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が、18～39歳で「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う	地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす	一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める	障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する	福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	その他	無回答
全体	2367	28.7	22.8	19.0	18.1	14.4	13.9	5.7	42.5
18歳未満	25	64.0	40.0	24.0	20.0	16.0	24.0	4.0	12.0
18～39歳	54	53.7	35.2	42.6	22.2	11.1	24.1	20.4	11.1
40～64歳	466	44.2	23.6	37.1	24.0	15.9	19.1	10.1	21.0
65歳以上	1687	23.9	22.4	13.6	16.5	14.2	12.2	4.3	48.6

## 【障がいの程度別】

障がいの程度別にみると、他に比べ、5級で「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が、2級で「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」「障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う	地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす	一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める	障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する	福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	その他	無回答
全 体	2367	28.7	22.8	19.0	18.1	14.4	13.9	5.7	42.5
1 級	830	29.9	22.0	18.4	17.6	14.7	12.5	5.2	42.2
2 級	311	34.1	30.9	26.0	22.8	16.7	21.5	8.4	32.8
3 級	356	26.7	19.9	18.3	17.7	13.5	11.5	7.0	43.3
4 級	478	25.5	24.1	16.7	17.2	14.4	11.9	5.2	43.7
5 級	119	37.8	19.3	21.8	18.5	12.6	17.6	6.7	38.7
6 級	129	23.3	18.6	19.4	13.2	14.0	14.0	3.9	48.1

## 6 身体障がい者（施設入所者）調査の結果

※有効回答数は11件となっています。

問1 この調査票を記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

「本人」、「家族以外の介助者」が3件、「家族」が2件となっています。

問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

「男性」が8件、「女性」が3件となっています。

問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

「65歳以上」が5件、「60～64歳」が4件、「50～59歳」が2件となっています。

問4 あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障がいの程度は、総合等級の何級ですか。（○は1つ）

「1級」が6件、「2級」が2件、「4級」「5級」「6級」が1件となっています。

問5 あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「下肢機能」が7件、「上肢機能」が5件、「音声・言語」が4件、「視覚」が3件、「平衡機能」「呼吸機能」「膀胱・直腸機能」が1件となっています。

問6 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なものを1つお答えください。（あてはまる番号を1つご記入ください。）

「下肢機能」が4件、「視覚」が3件、「上肢機能」「呼吸機能」が1件となっています。

問7 あなたが利用しているのは、どの施設ですか。（○は1つ）

「入所施設」が9件、「療養介護施設（病院）」が1件となっています。

問8 あなたがその施設を利用している年数は、どのくらいですか。（○は1つ）

「13年以上」が6件、「1年未満」が2件、「1年以上3年未満」「5年以上7年未満」が1件となっています。

問9 あなたが日中帯に利用しているのは、どのサービスですか。（○は1つ）

「生活介護」が8件、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が2件となっています。

問10 あなたが日中帯のサービスを利用している年数は、どのくらいですか。

「13年以上」が4件、「1年未満」、「1年以上3年未満」、「5年以上7年未満」が2件となっています。

問11 あなたが施設入所前に一緒に暮らしていた家族構成をお答えください。

「一人暮らし」が6件、「あなたと親」が3件となっています。

問12 あなたが施設入所前に暮らしていた住居形態をお答えください。（○は1つ）

「持ち家（一戸建て、マンション等）」が4件、「民間の借家（一戸建て、マンション、アパート等）」が2件、「社宅等」「間借り（下宿等）」が1件となっています。

問13 あなたが施設入所前に暮らしていた住居で困っていたことはありましたか。

「玄関、家の中に段差や階段がある」、「トイレや風呂が使いにくい」、「ドアの開閉が困難（取手がかみにくい等）」が2件、「廊下が狭い」「廊下や階段に手すりがない」「台所が使いにくい」「スイッチやコンセントが使いにくい」「集合住宅の共用部分に階段や段差がある」が1件となっています。

問14 あなたが施設入所前に過ごしていた場所をお答えください。（○は1つ）

「施設や学校に通わず自宅にいた」が4件、「自宅からデイサービスや通所施設等に通っていた」、「病院に入院していた」が2件となっています。

問 15 あなたの施設入所を決めた方は誰ですか。（○は1つ）

「あなた」が3件、「あなた以外の方」が6件となっています。

問 16 あなたが施設入所を決めた理由は何ですか。（○はいくつでも）

「家族による介助が困難」が4件、「家族に勧められた（又は家族が決めた）」、「住む場所がない」が3件、「施設は生活が保障されている」が2件、「心身機能の低下が著しく進んだため」「将来が不安」が1件となっています。

問 17 施設では安心して生活できていますか。（○は1つ）

「はい」が9件、「わからない」が1件となっています。

問 18 施設では、利用者のプライバシーは守られていると思いますか。（○は1つ）

「はい」が9件、「わからない」が1件となっています。

問 19 施設の職員の対応は丁寧ですか。（○は1つ）

「はい」が7件、「どちらともいえない」が2件、「わからない」が1件となっています。

問 20 施設に対する不満や要望を施設に言いやすいですか。（○は1つ）

「はい」が6件、「どちらともいえない」が1件、「わからない」が2件となっています。

問 21 施設の職員はあなたの不満や要望に対してきちんと対応していますか。

「はい」が8件、「どちらともいえない」が1件、「わからない」が1件となっています。

問 22 施設の設備は安心して使えますか。（○は1つ）

「はい」が9件となっています。

問 23 あなたが施設での生活のなかで楽しみにしていることは何ですか。

「食事」が5件、「入浴」、「文化・芸術・余暇活動等」が3件、「外出時間」「職員や仲間と話す時間」「わからない」が2件、「自由時間」が1件となっています。

問 24 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「散歩等の外での活動」が4件、「スポーツ・運動」が3件、「絵画や音楽等の芸術活動」、「習い事や学習活動」「上記以外で施設が主催するイベント等」が2件となっています。

問 25 施設では、あなたの希望に沿った文化・芸術・余暇活動等は行えていますか。（○は1つ）

「はい」が5件、「いいえ」、「どちらともいえない」が2件、「わからない」が1件となっています。

問 26 今後生活したい場所はどこですか。（○は1つ）

「現在の施設」が6件、「施設を出て地域で暮らしたい」が2件、「わからない」が1件となっています。

問 27 （問 26 で「1 現在の施設」か「2 別の施設」を選択した方にお聞きします。）施設での生活を希望される理由は何ですか。（○はいくつでも）

「健康面等で不安があるため」が4件となっています。「施設を出た後で援助してくれる者がいないため」が3件、「十分な在宅サービスがないため」、「周囲の理解や家族の理解が得られないため」が1件となっています。

問 28 （問 26 で「3 施設を出て地域で暮らしたい」を選択された方にお聞きします。）施設を退所した後に生活したい場所はどこですか。（○は1つ）

「自宅に帰って生活したい」、「グループホーム等で少人数の共同生活をしたい」が1件となっています。

問 29 （問 26 で「3 施設を出て地域で暮らしたい」を選択された方にお聞きします。）施設退所後に希望する生活についてお答えください。（○は1つ）

「働いて自立した生活をしたい」が1件となっています。

問 30 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。）（○はいくつでも）

「あなたが人と話をしているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）」、「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」が3件、「他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）」、「差別や偏見を感じたことはない」が2件、「あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等）」「傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）」が1件となっています。

問 31 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

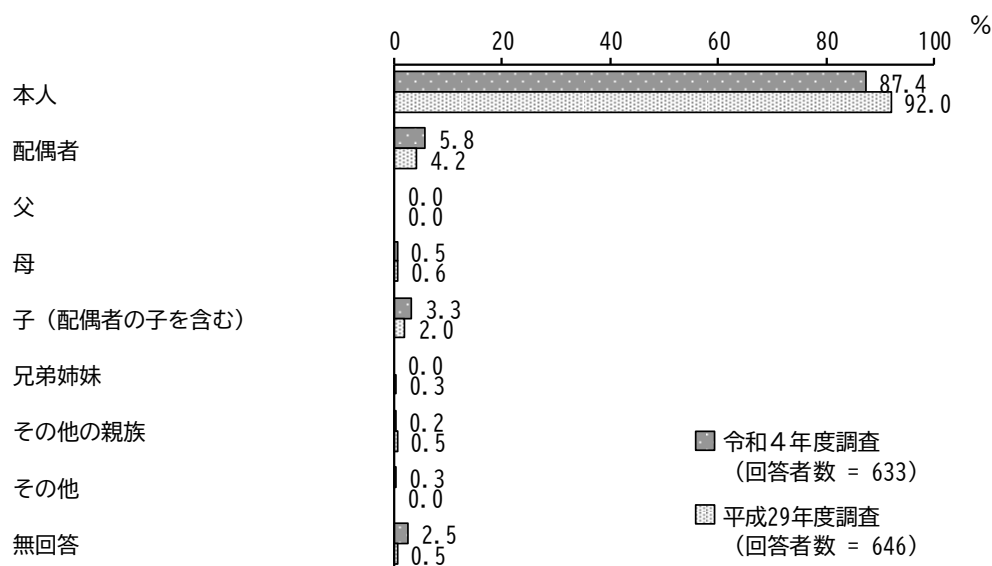
「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」が6件、「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」、「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」が4件、「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」「障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する」「障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する」が3件となっています。



## 7 難病罹患者調査の結果

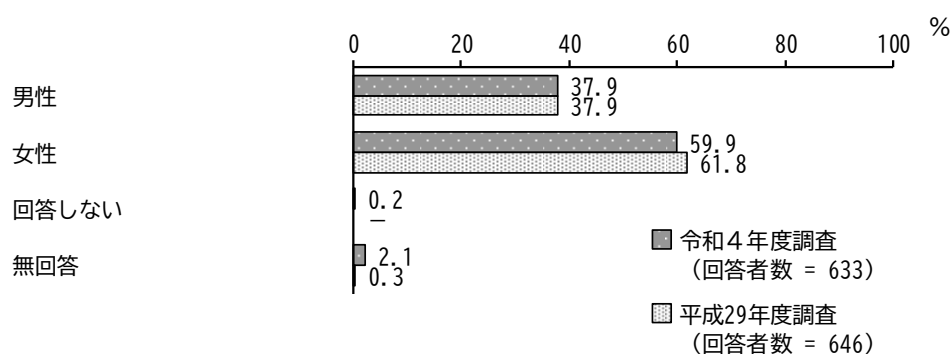
### 問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「本人」の割合が87.4%と最も高くなっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

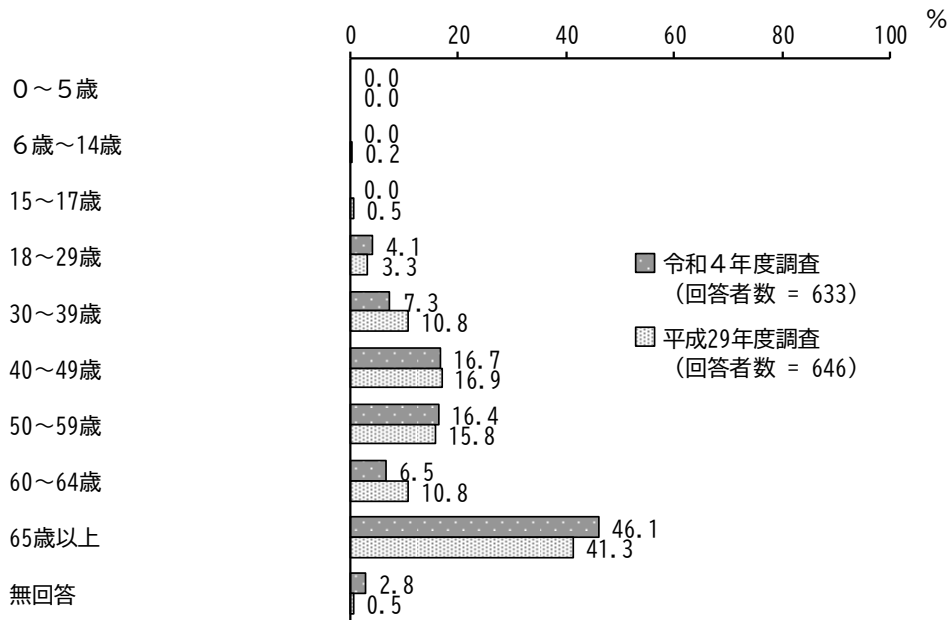
「女性」の割合が59.9%、「男性」の割合が37.9%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。**  
 ※平成29年度調査：平成29年4月1日現在

「65歳以上」の割合が46.1%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が16.7%、「50～59歳」の割合が16.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



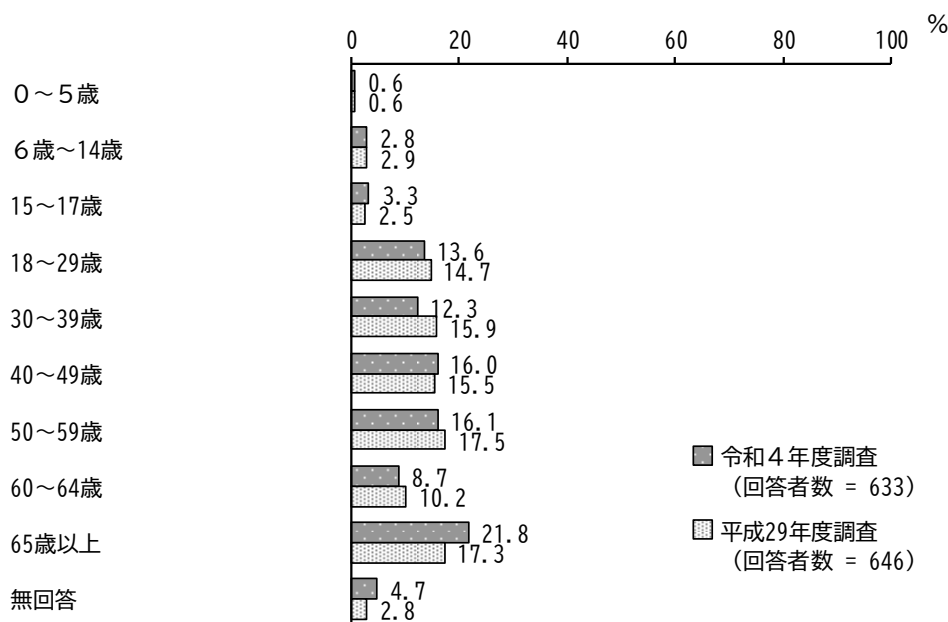
**問4 あなたの難病医療費等助成制度の医療券もしくは診断書に記載されているご病名をお書きください。**

主な病名	件数
潰瘍性大腸炎	79
パーキンソン病	70
全身性エリテマトーデス	33
クローン病	25
重症筋無力症	21
全身性強皮症	19
好酸球性副鼻腔炎	14
原発性胆汁性胆管炎	12
シェーグレン症候群	11
その他	213

問5 あなたが、問4で回答された病気になった（または病気であることを知った）のは何歳ごろですか。

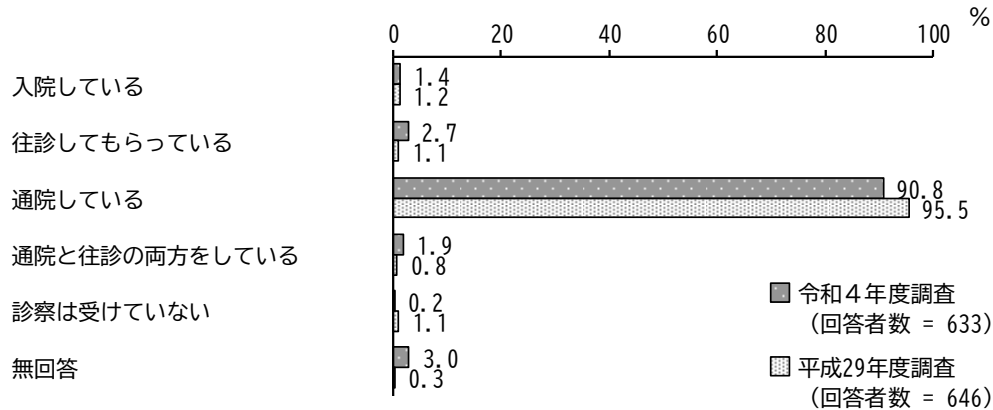
「65歳以上」の割合が21.8%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が16.1%、「40～49歳」の割合が16.0%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問6 問4で回答された病気について、現在も継続的に医師の診察を受けていますか。(〇は1つ)**

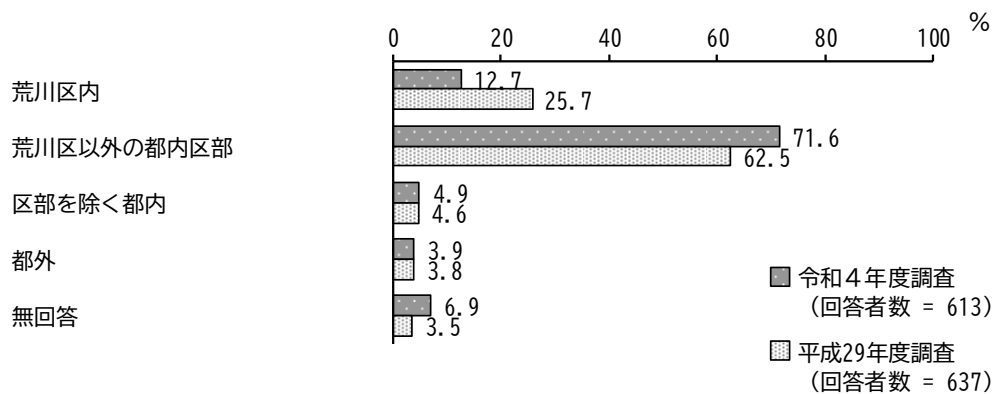
「通院している」の割合が90.8%と最も高くなっています。  
 平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問7 (問6で「1 入院している」から「4 通院と往診の両方をしている」〇をつけた方のみお答えください。) 問4で回答された病気のために診察を受けている医療機関はどこにありますか。(〇は1つ)**

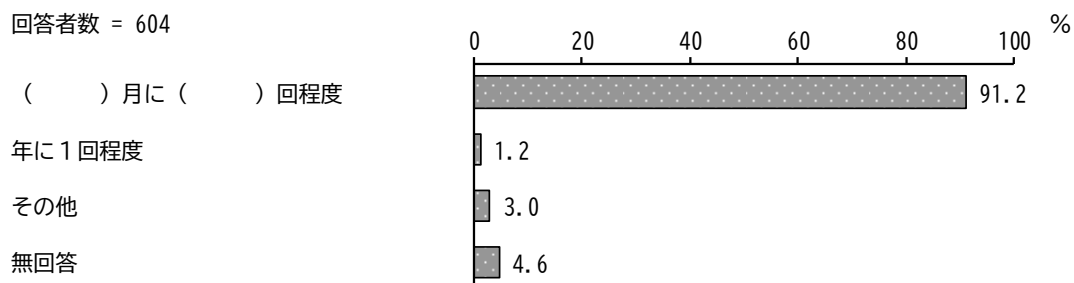
「荒川区以外の都内区部」の割合が71.6%と最も高く、次いで「荒川区内」の割合が12.7%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「荒川区以外の都内区部」の割合が増加しています。一方、「荒川区内」の割合が減少しています。



問8 (問6で「2 往診してもらっている」から「4 通院と往診の両方をしてい  
る」に○をつけた方のみお答えください。) 診療の頻度はどのくらいですか。  
(○は1つ)

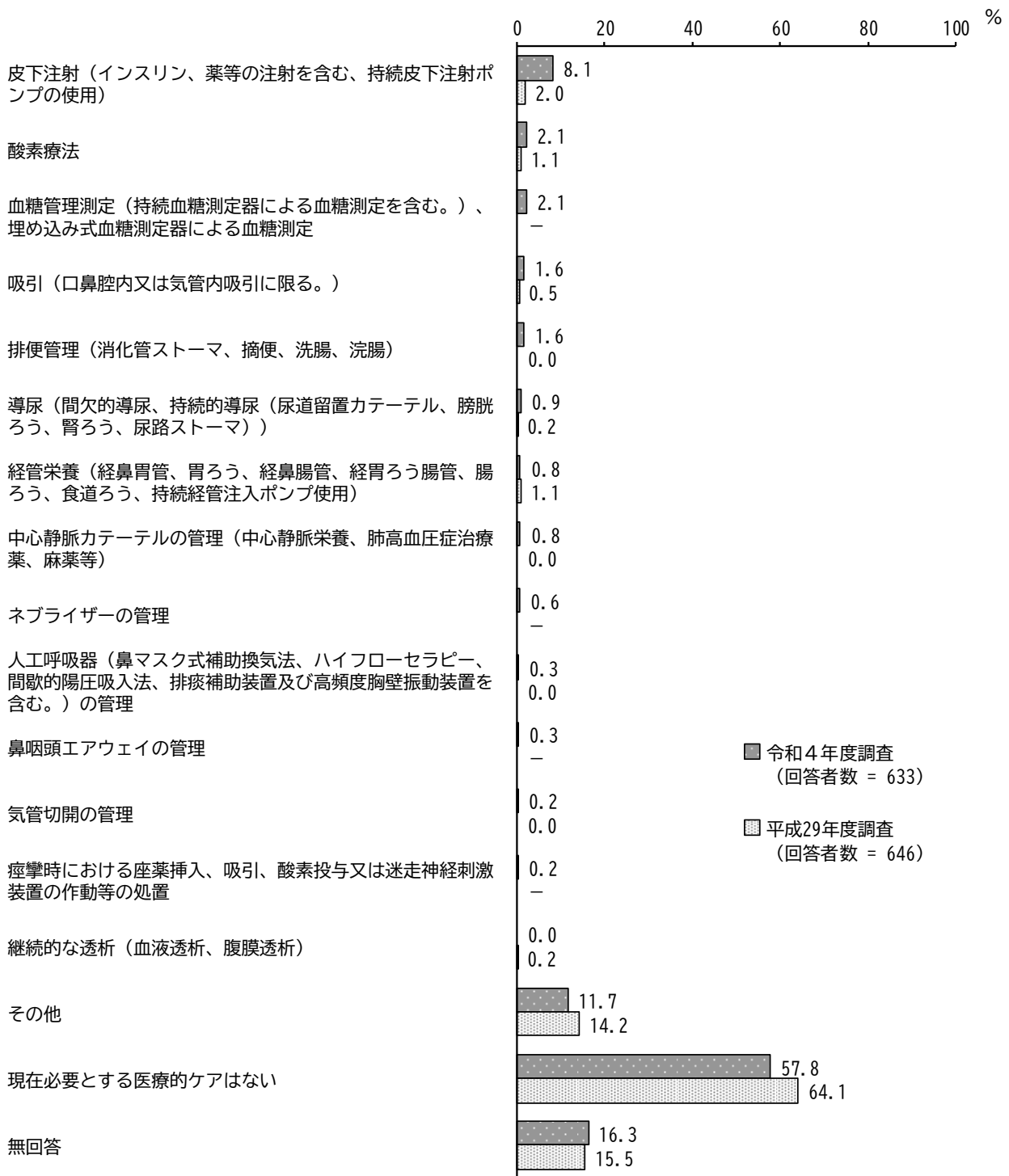
「( )月に( )回程度」の割合が91.2%と最も高くなっており、その中でも、2  
月に1回程度の回答が最も多くなっています。



1月に1回程度	140件
1月に1.5回程度	5件
1月に2回程度	25件
1月に2.5回程度	1件
1月に3回程度	2件
1月に15回程度	1件
1.5月に1回程度	10件
2月に1回程度	213件
2月に1.5回程度	2件
2.5月に1回程度	12件
3月に1回程度	114件
3月に1.5回程度	1件
3月に2回程度	3件
3.5月に1回程度	1件
4月に1回程度	2件
4.5月に1回程度	2件
6月に1回程度	8件
10月に2回程度	1件
12月に2回程度	1件

問9 あなたが、現在必要とする医療的ケアはありますか。(〇はいくつでも)

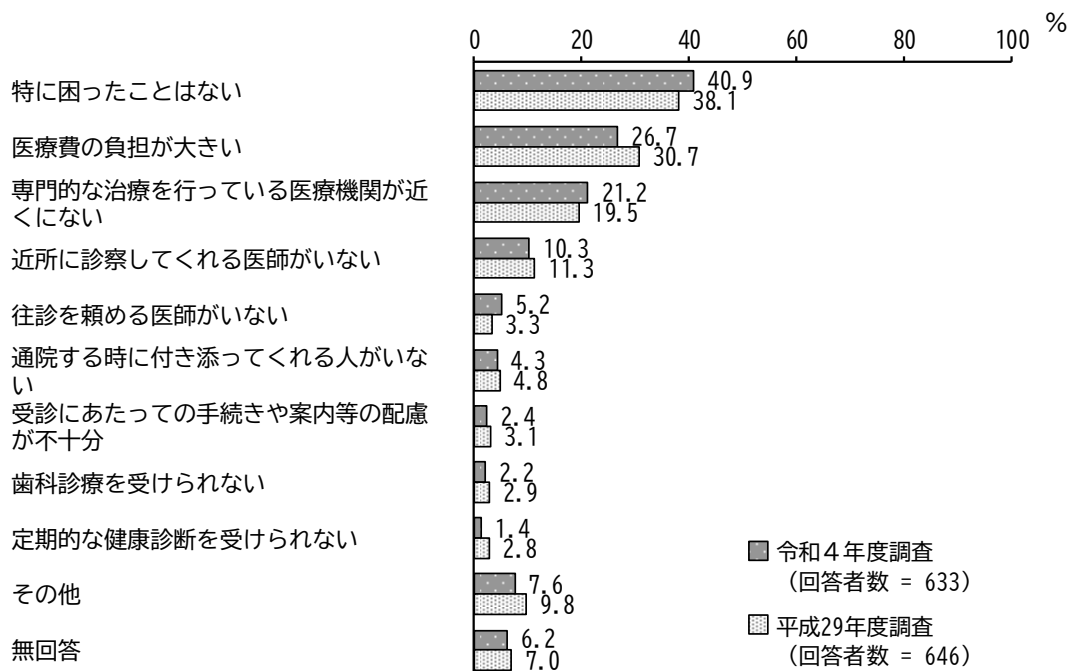
「現在必要とする医療的ケアはない」の割合が57.8%と最も高くなっています。



問 10 あなたは、医療や健康管理について、困ったり不便に思ったことはありますか。  
(○はいくつでも)

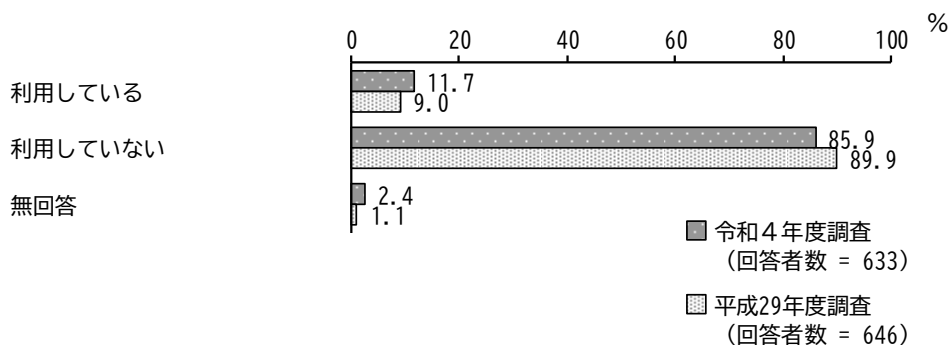
「特に困ったことはない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「医療費の負担が大きい」の割合が26.7%、「専門的な治療を行っている医療機関が近くにない」の割合が21.2%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「医療費の負担が大きい」の割合が減少しています。



問 11 介護保険サービス（訪問介護・通所介護等）を利用していますか。(○は1つ)

「利用している」の割合が11.7%、「利用していない」の割合が85.9%となっています。平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



II 調査結果 難病罹患者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳や40～64歳で「利用していない」の割合が、65歳以上で「利用している」の割合が高くなっています。

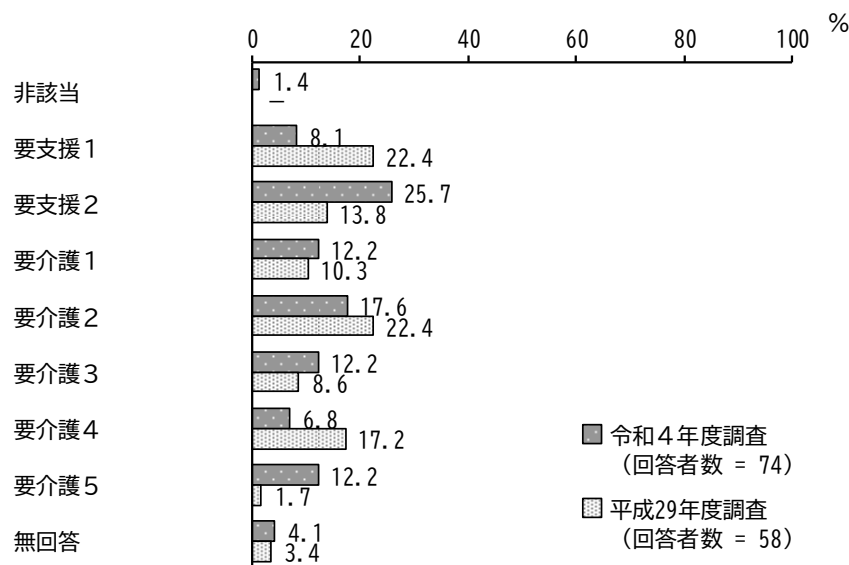
単位：％

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全 体	633	11.7	85.9	2.4
18歳未満	—	—	—	—
18～39歳	72	—	98.6	1.4
40～64歳	251	1.2	98.4	0.4
65歳以上	292	23.3	72.6	4.1

問12 (問11で「1 利用している」に○をつけた方のみお答えください。) 該当する要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

「要支援2」の割合が25.7%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が17.6%、「要介護1」、「要介護3」の割合が12.2%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「要支援2」「要介護5」の割合が増加しています。一方、「要支援1」「要介護4」の割合が減少しています。

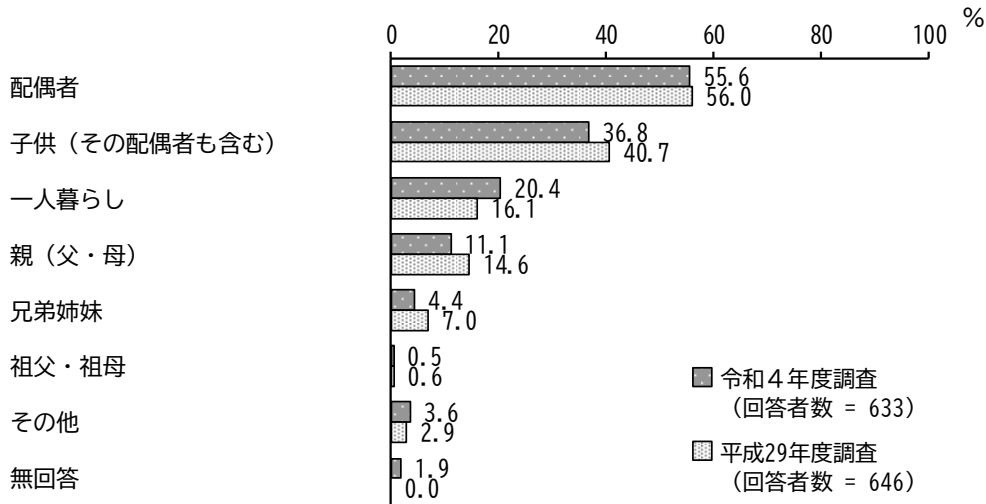




問 13 あなたは、現在、どなたかと一緒に生活していますか。(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「子供(その配偶者も含む)」の割合が 36.8%、「一人暮らし」の割合が 20.4%となっています。

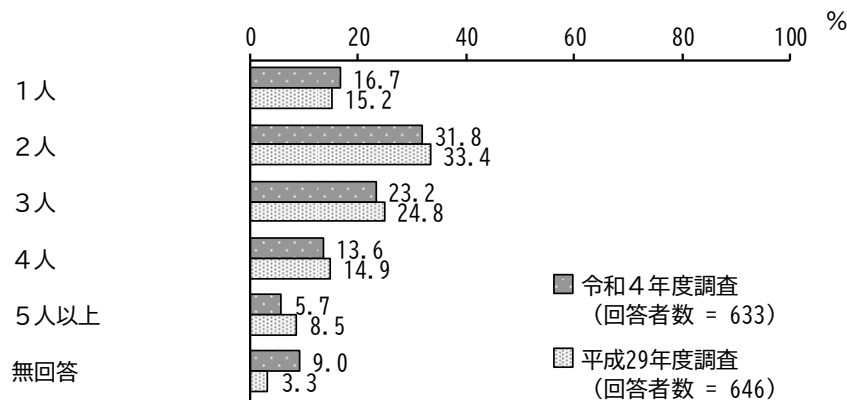
平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 14 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。(○は1つ)

「2人」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が 23.2%、「1人」の割合が 16.7%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 15 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。

「全部に手助けが必要」で『10 布団を干すこと』『13 病院に行くこと』『14 近所に日常の買い物に行くこと』『15 バス・都電・電車を利用すること』の割合が高くなっています。

「一部に手助けが必要」で『8 室内の掃除・整理整頓をすること』『10 布団を干すこと』の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回 答
1 歩くこと	633	85.6	8.4	3.8	2.2
2 食事をする	633	92.6	2.7	2.1	2.7
3 食事の支度や後片付けをする	633	83.1	8.5	5.8	2.5
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはく	633	89.1	6.2	2.7	2.1
5 トイレで用を足し、後始末をする	633	92.3	3.5	2.4	1.9
6 入浴し、身体や髪を洗う	633	89.6	4.6	4.1	1.7
7 歯磨き・洗顔等をする	633	92.9	2.1	3.0	2.1
8 室内の掃除・整理整頓を	633	79.0	13.3	5.8	1.9
9 洗濯をし、干し、たたむ	633	81.4	9.3	6.8	2.5
10 布団を干す	633	75.2	10.3	11.7	2.8
11 電話を受けたり、かけたり	633	90.0	3.9	4.1	1.9
12 規則的な服薬を	633	90.2	3.6	3.9	2.2
13 病院に行く	633	80.1	9.8	8.1	2.1
14 近所に日常の買い物に行く	633	80.1	8.7	9.0	2.2
15 バス・都電・電車を利用	633	81.0	8.2	8.4	2.4

## 〈平成 29 年度調査〉

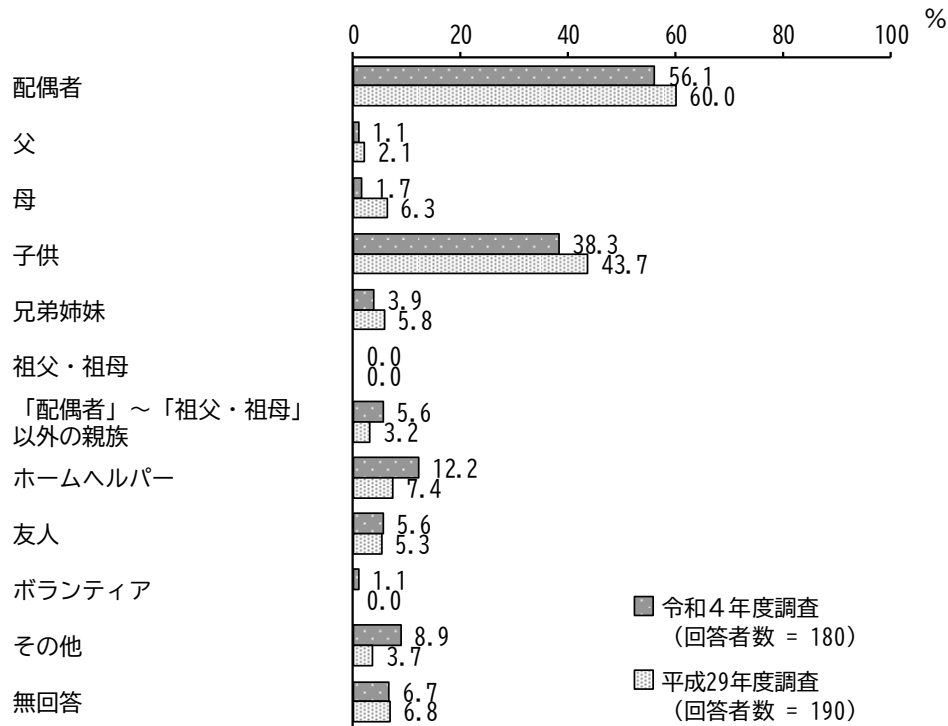
単位：%

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回答
1 歩くこと	646	87.9	7.6	2.3	2.2
2 食事をすること	646	93.8	2.9	1.2	2.0
3 食事の支度や後片付けをすること	646	82.0	9.8	6.2	2.0
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	646	91.5	5.3	2.3	0.9
5 トイレで用を足し、後始末をすること	646	94.7	2.0	2.2	1.1
6 入浴し、身体や髪を洗うこと	646	91.5	3.7	3.7	1.1
7 歯磨き・洗顔等をすること	646	94.1	2.6	1.5	1.7
8 室内の掃除・整理整頓をすること	646	78.8	13.2	5.9	2.2
9 洗濯をし、干し、たたむこと	646	80.7	10.5	6.8	2.0
10 布団を干すこと	646	73.2	11.9	12.2	2.6
11 電話を受けたり、かけたりすること	646	91.5	4.5	3.3	0.8
12 規則的な服薬をすること	646	92.0	3.4	3.4	1.2
13 病院に行くこと	646	83.3	9.4	6.0	1.2
14 近所に日常の買い物に行くこと	646	80.3	10.7	7.1	1.9
15 バス・都電・電車を利用すること	646	84.7	6.7	7.0	1.7

問16 (問15で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が56.1%と最も高く、次いで「子供」の割合が38.3%、「ホームヘルパー」の割合が12.2%となっています。

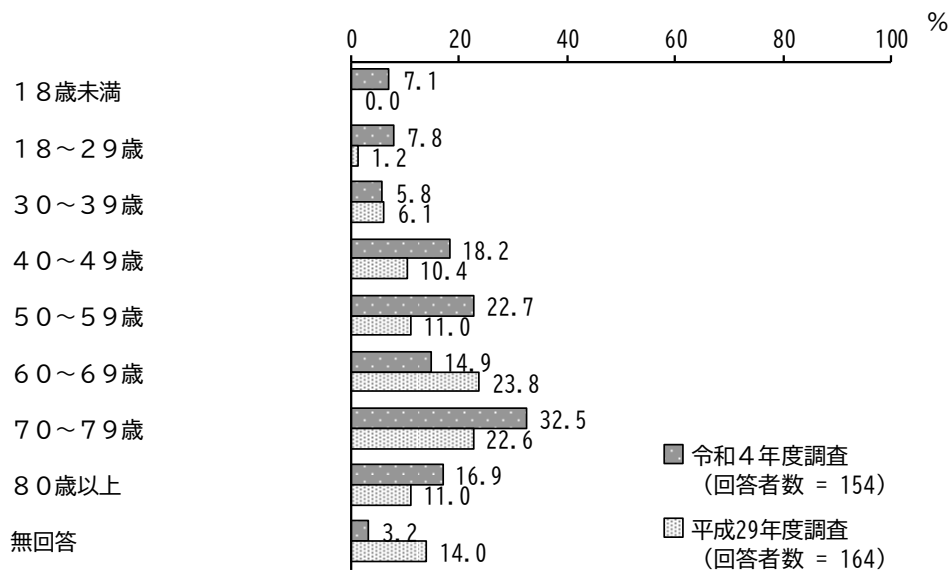
平成29年度調査と比較すると、「子供」の割合が減少しています。



問17 (問16で「1 配偶者」～「7 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。(問16で「1」～「7」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「70～79歳」の割合が32.5%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が22.7%、「40～49歳」の割合が18.2%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「18歳未満」「18～29歳」「40～49歳」「50～59歳」「70～79歳」「80歳以上」の割合が増加しています。一方、「60～69歳」の割合が減少しています。



※平成29年度調査及び平成22年度調査では、年齢の区分は、「10歳代」「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」「70歳代」「80歳代以上」となっており、令和4年度調査の区分とは異なります。

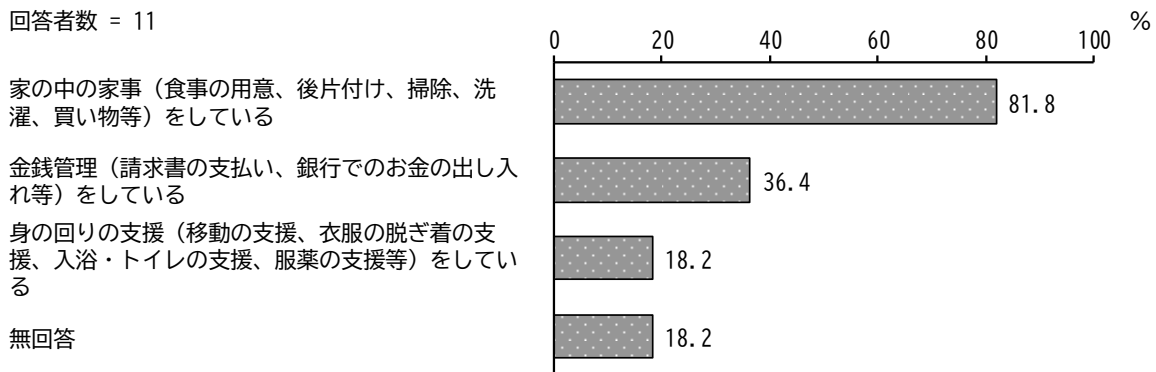
なお、経年比較の都合上、平成29年度以前の調査の「10歳代」を「18歳未満」、「20歳代」を「18～29歳」としております。

問 18 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている 18 歳未満の人 (※) は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている 18 歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「家の中の家事 (食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等) をしている」の割合が 81.8% と最も高く、次いで「金銭管理 (請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等) をしている」の割合が 36.4%、「身の回りの支援 (移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等) をしている」の割合が 18.2% となっています。

回答者数 = 11



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

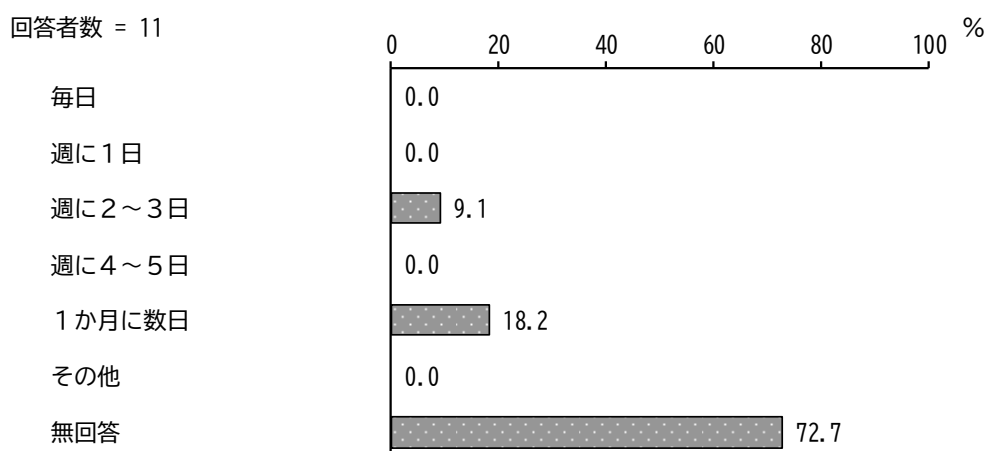
単位：%

区分	回答者数 (件)	家の中の家事 (食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等) をしている	金銭管理 (請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等) をしている	身の回りの支援 (移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等) をしている	無回答
全体	11	81.8	36.4	18.2	18.2
18 歳未満	—	—	—	—	—
18～39 歳	—	—	—	—	—
40～64 歳	1	100.0	—	—	—
65 歳以上	9	77.8	33.3	11.1	22.2

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

問 19 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「1 か月に数日」の割合が 18.2%と最も高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

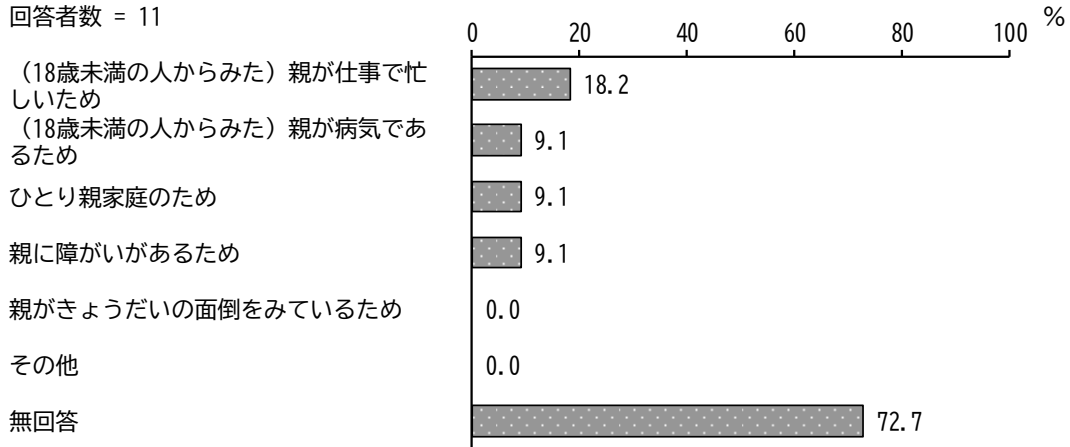
区分	回答者数(件)	毎日1か月に数日	週に1日	週に2~3日	週に4~5日	1か月に数日	その他	無回答
全 体	11	—	—	9.1	—	18.2	—	72.7
18 歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
18~39 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
40~64 歳	1	—	—	100.0	—	—	—	—
65 歳以上	9	—	—	—	—	22.2	—	77.8

※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。

問 20 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「(18 歳未満の人からみた)親が仕事で忙しいため」の割合が 18.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 11



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	(18歳未満の人からみた) 親が病気であるため	(18歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため	ひとり親家庭のため	親がきょうだいの面倒をみているため	親に障がいがあるため	その他	無回答
全 体	11	9.1	18.2	9.1	—	9.1	—	72.7
18 歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
40～64 歳	1	100.0	100.0	—	—	100.0	—	—
65 歳以上	9	—	11.1	11.1	—	—	—	77.8

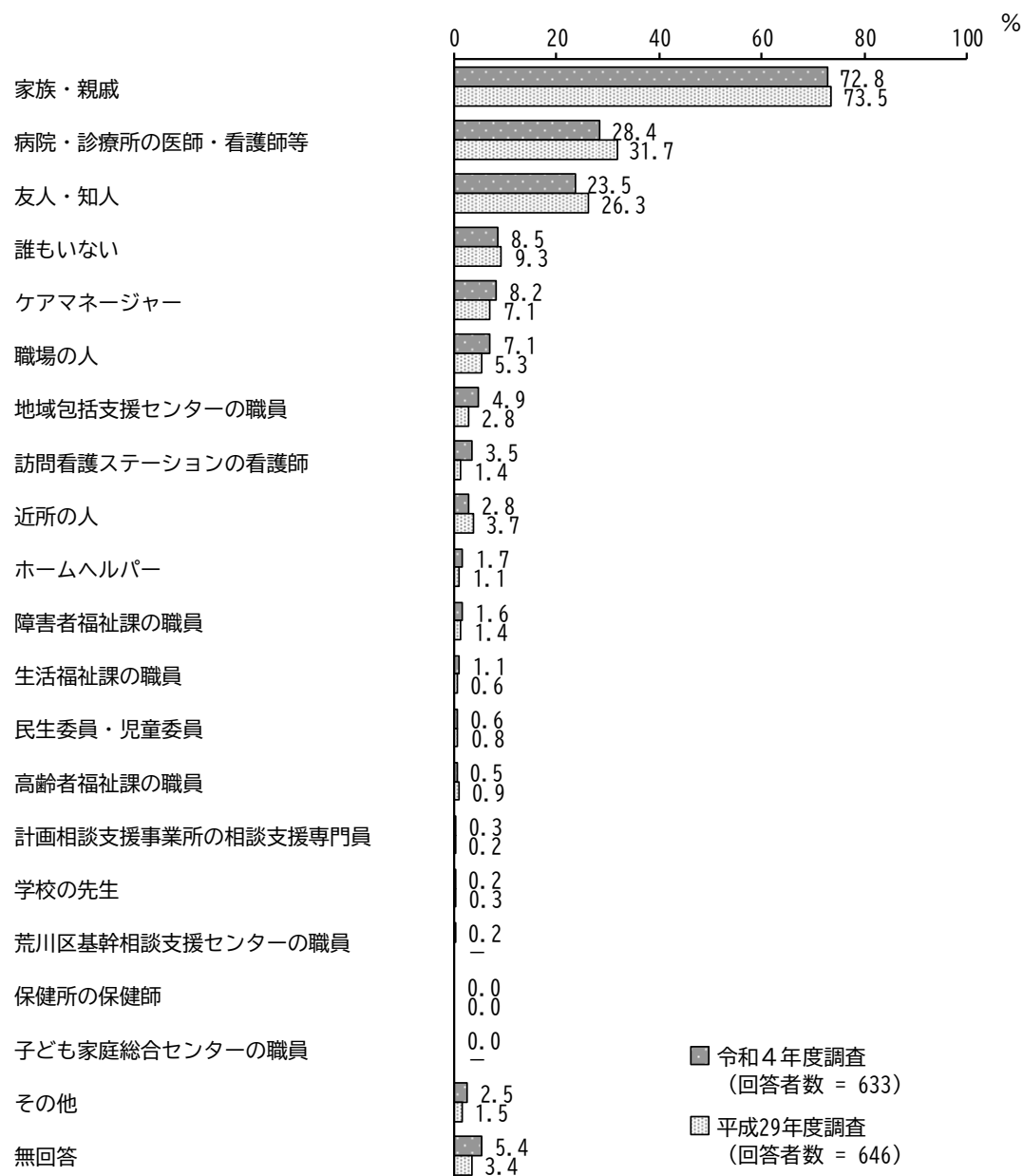
※区分の年齢別は、本調査対象者の本人の年齢となっています。



問 21 日常のことで、現在あなたが相談している人はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「家族・親戚」の割合が72.8%と最も高く、次いで「病院・診療所の医師・看護師等」の割合が28.4%、「友人・知人」の割合が23.5%となっています。

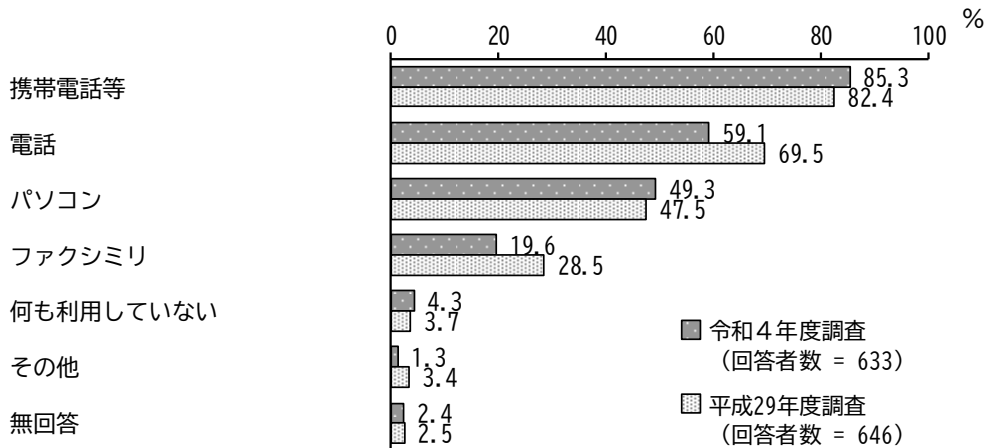
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22 あなたは、日常生活で次のような機器を利用していますか。(〇はいくつでも)

「携帯電話等」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「電話」の割合が 59.1%、「パソコン」の割合が 49.3%となっています。

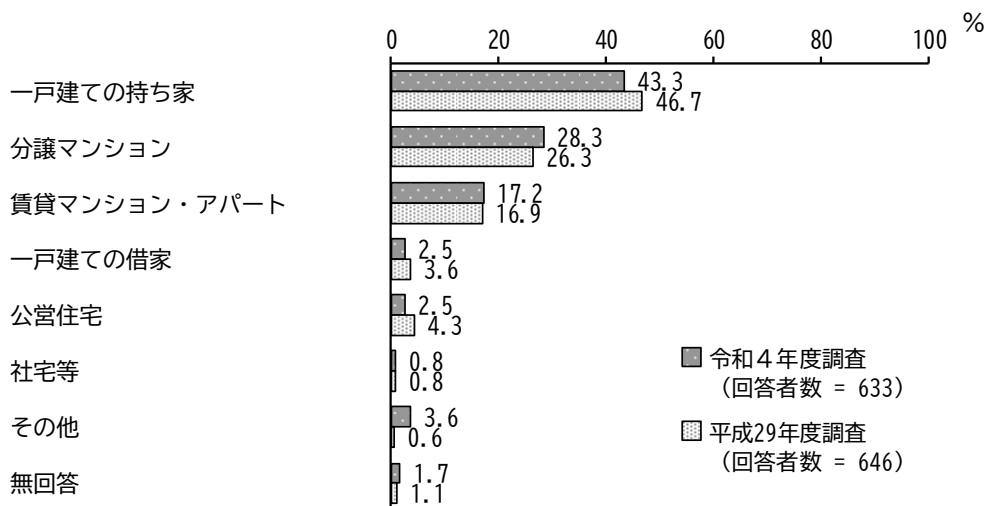
平成 29 年度調査と比較すると、「電話」「ファクシミリ」の割合が減少しています。



問 23 あなたのお住まいは次のうちどれですか。あてはまるもの〇をつけてください。(〇は1つ)

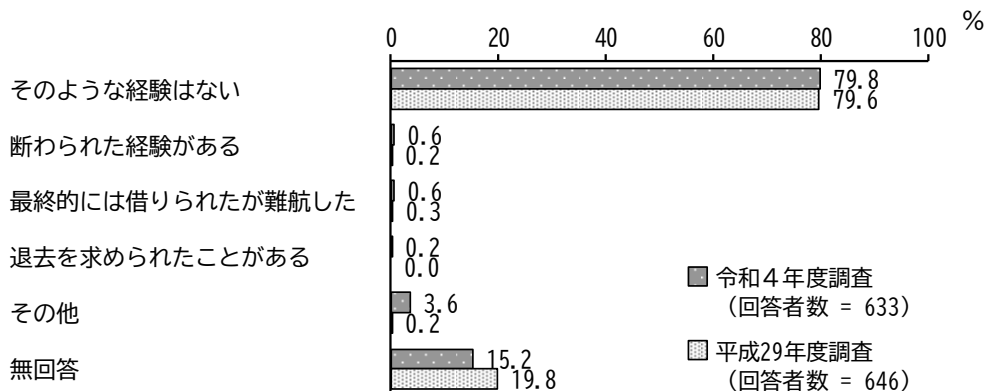
「一戸建ての持ち家」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「分譲マンション」の割合が 28.3%、「賃貸マンション・アパート」の割合が 17.2%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



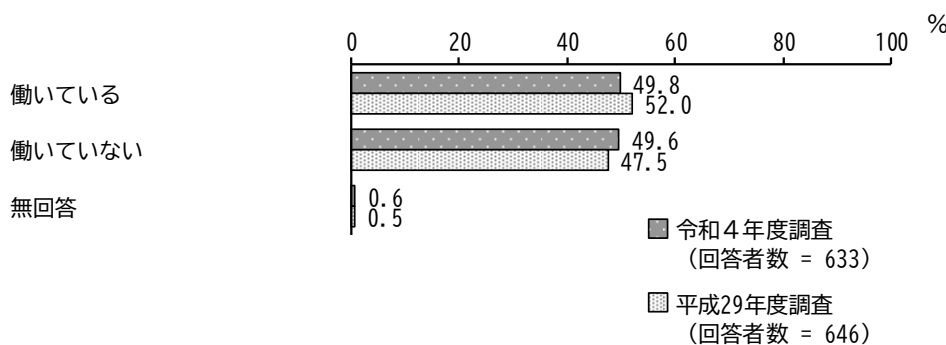
問 24 あなた（または家族の方）がアパートやマンションを借りようとしたとき、難病を理由に断られたことがありますか。（○はいくつでも）

「そのような経験はない」の割合が 79.8%と最も高くなっています。  
 平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 25 あなたは、現在、働いていますか。（○は1つ）

「働いている」の割合が 49.8%、「働いていない」の割合が 49.6%となっています。  
 平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



II 調査結果 難病罹患者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳や40～64歳で「働いている」の割合が、65歳以上で「働いていない」の割合が高くなっています。

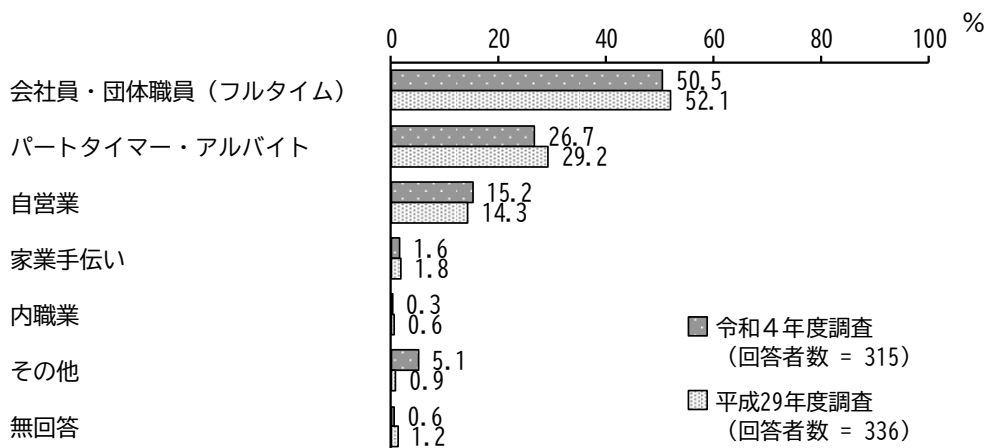
単位：％

区分	回答者数 (件)	働いている	働いていない	無回答
全 体	633	49.8	49.6	0.6
18歳未満	—	—	—	—
18～39歳	72	84.7	15.3	—
40～64歳	251	73.3	26.7	—
65歳以上	292	21.2	77.7	1.0

問 26 (問 25 で「1 働いている」に○をつけた方のみお答えください。) それは次のうちのどの仕事ですか。(○は1つ)

「会社員・団体職員（フルタイム）」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト」の割合が 26.7%、「自営業」の割合が 15.2%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「会社員・団体職員（フルタイム）」の割合が、65歳以上で「自営業」の割合が高くなっています。

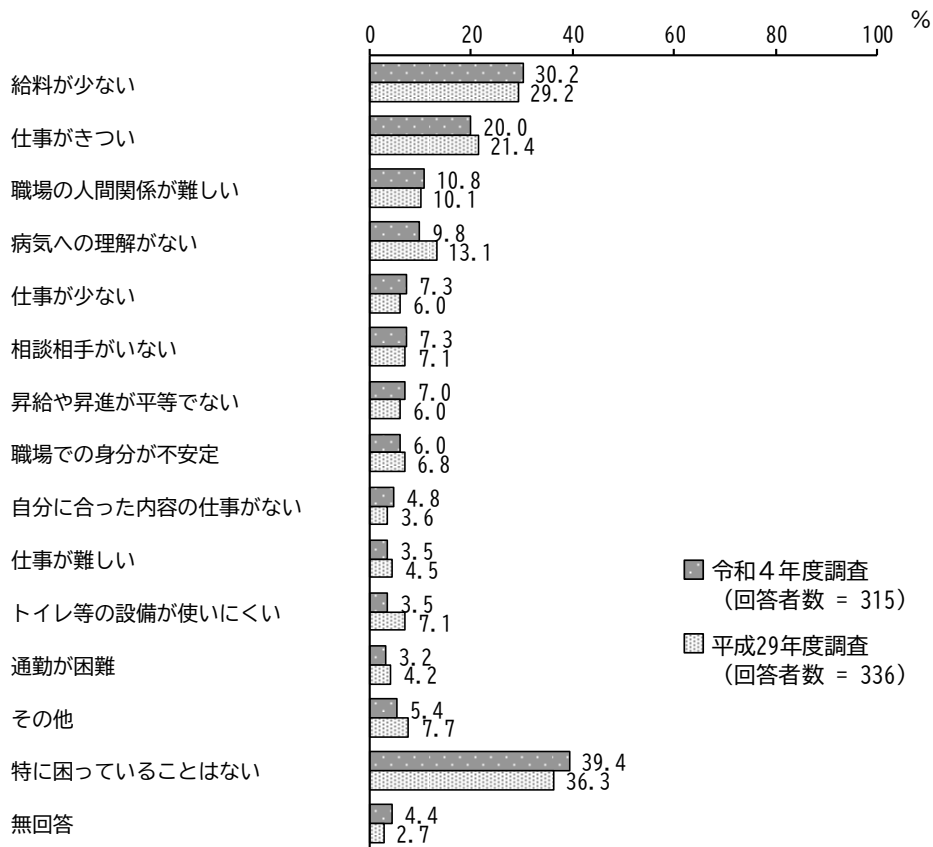
単位：％

区分	回答者数(件)	会社員・団体職員(フルタイム)	パートタイマー・アルバイト	自営業	家業手伝い	内職業	その他	無回答
全 体	315	50.5	26.7	15.2	1.6	0.3	5.1	0.6
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	61	77.0	13.1	4.9	1.6	—	3.3	—
40～64歳	184	53.3	31.0	10.3	—	0.5	4.9	—
65歳以上	62	19.4	27.4	37.1	6.5	—	8.1	1.6

問 27 (問 25 で「1 働いている」に○をつけた方のみお答えください。) 仕事をする上で困っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「特に困っていることはない」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「給料が少ない」の割合が 30.2%、「仕事がつい」の割合が 20.0%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、すべての年齢で「特に困っていることはない」の割合が高くなっています。

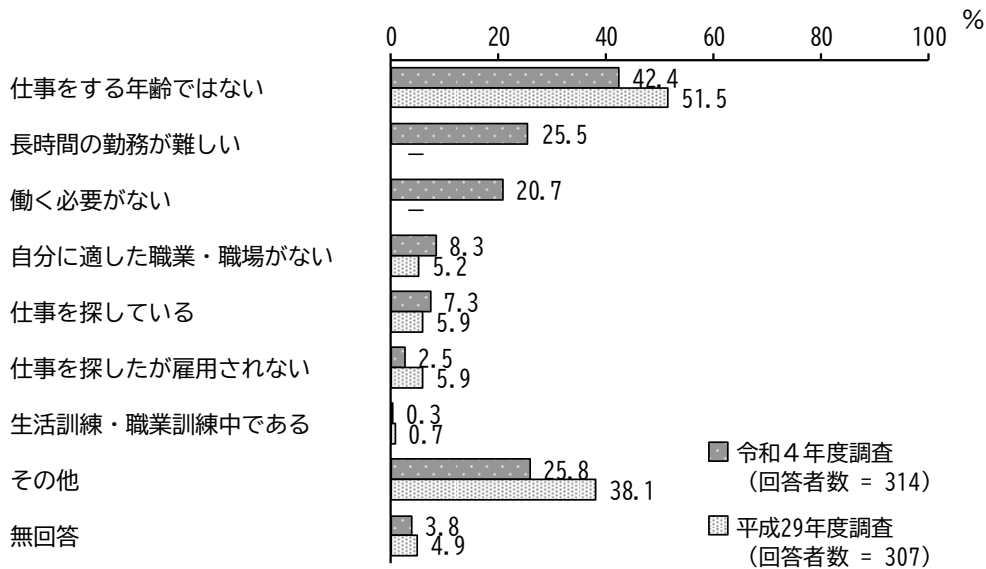
単位：％

区分	回答者数(件)	給料が少ない	仕事がついつい	職場の人間関係が難しい	病気への理解がない	仕事が少ない	相談相手がいない	昇給や昇進が平等でない	職場での身分が不安定	自分に合った内容の仕事がない	仕事が多い	トイレ等の設備が使いにくい	通勤が困難	その他	特に困っていることはない	無回答
全 体	315	30.2	20.0	10.8	9.8	7.3	7.3	7.0	6.0	4.8	3.5	3.5	3.2	5.4	39.4	4.4
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	61	29.5	18.0	8.2	9.8	1.6	6.6	6.6	3.3	3.3	—	4.9	4.9	4.9	41.0	4.9
40～64歳	184	33.2	22.3	13.6	12.5	8.2	9.2	8.7	8.7	6.0	5.4	4.3	2.7	7.1	34.8	3.3
65歳以上	62	21.0	16.1	6.5	3.2	9.7	3.2	3.2	1.6	—	1.6	—	3.2	1.6	50.0	8.1

問 28 (問 25 で「2 働いていない」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。(○はいくつでも)

「仕事をする年齢ではない」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「長時間の勤務が難しい」の割合が 25.5%、「働く必要がない」の割合が 20.7%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「仕事をする年齢ではない」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、40～64 歳で「長時間の勤務が難しい」の割合が、65 歳以上で「仕事をする年齢ではない」の割合が高くなっています。

単位：%

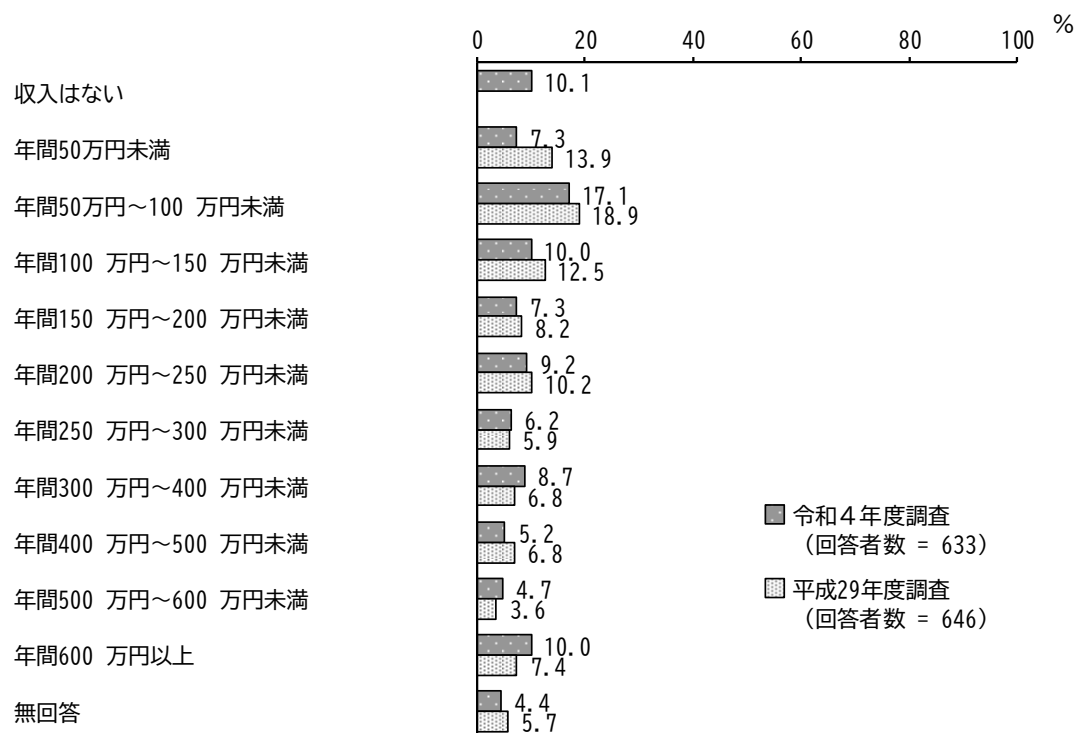
区分	回答者数 (件)	仕事をする年齢ではない	長時間の勤務が難しい	働く必要がない	自分に適した職業・職場がない	仕事を探している	仕事を探したが雇用されない	生活訓練・職業訓練中である	その他	無回答
全体	314	42.4	25.5	20.7	8.3	7.3	2.5	0.3	25.8	3.8
18 歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18～39 歳	11	9.1	18.2	18.2	9.1	36.4	-	-	45.5	-
40～64 歳	67	9.0	38.8	16.4	16.4	22.4	6.0	1.5	40.3	-
65 歳以上	227	54.6	21.1	22.5	6.2	1.8	1.8	-	20.3	4.8



問 29 あなたの令和3年中の年収（賃金・年金・手当等全ての合計）は、税込みでいくらでしたか。（〇は1つ）

「年間 50 万円～100 万円未満」の割合が 17.1%と最も高く、次いで「収入はない」の割合が 10.1%、「年間 100 万円～150 万円未満」、「年間 600 万円以上」の割合が 10.0%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「収入はない」の割合が増加しています。一方、「年間 50 万円未満」の割合が減少しています。



II 調査結果 難病罹患者

【年齢別】

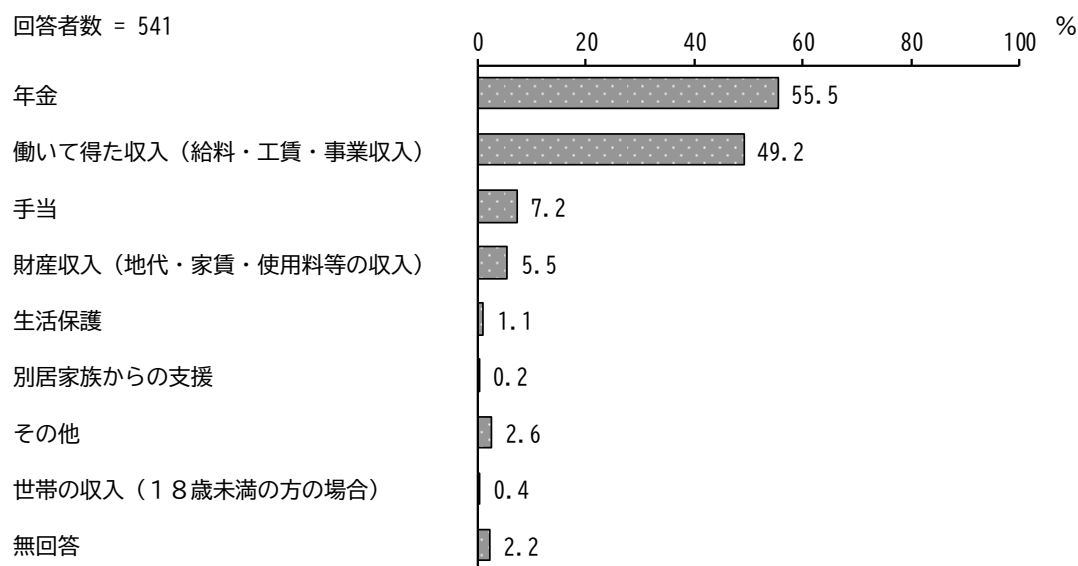
年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「年間300万円～400万円未満」の割合が、40～64歳で「年間600万円以上」「収入はない」の割合が、65歳以上で「年間100万円～150万円未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	収入はない	年間50万円未満	年間50万円～100万円未満	年間100万円～150万円未満	年間150万円～200万円未満	年間200万円～250万円未満	年間250万円～300万円未満	年間300万円～400万円未満	年間400万円～500万円未満	年間500万円～600万円未満	年間600万円以上	無回答
全体	633	10.1	7.3	17.1	10.0	7.3	9.2	6.2	8.7	5.2	4.7	10.0	4.4
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	72	9.7	5.6	9.7	2.8	4.2	8.3	6.9	20.8	11.1	11.1	9.7	—
40～64歳	251	15.5	6.4	15.9	5.2	2.8	5.2	7.6	8.4	8.0	7.2	17.1	0.8
65歳以上	292	5.8	7.5	19.5	16.1	11.3	13.0	5.1	6.5	1.4	1.4	4.1	8.2

問 30 (問 29 で「2 年間 50 万円未満」～「11 年間 600 万円以上」に○をつけた方のみお答えください) あなたの収入の種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「年金」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「働いて得た収入(給料・工賃・事業収入)」の割合が 49.2%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳や40～64歳で「働いて得た収入(給料・工賃・事業収入)」の割合が、65歳以上で「年金」の割合が高くなっています。

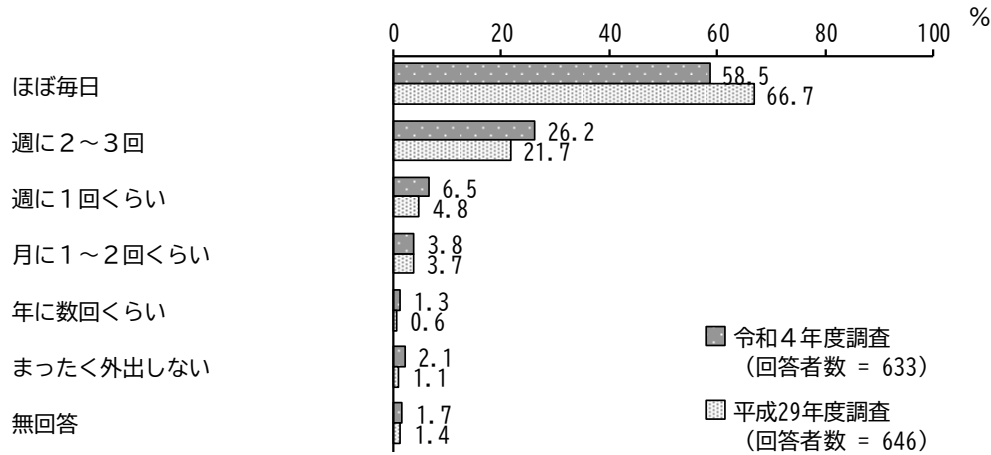
単位：%

区分	回答者数 (件)	年金	働いて得た収入 (給料・工賃・事業収入)	手当	財産収入 (地代・家賃・使用料等の収入)	生活保護	別居家族からの支援	その他	世帯の収入 (18歳未満の方の場合)	無回答
全 体	541	55.5	49.2	7.2	5.5	1.1	0.2	2.6	0.4	2.2
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	65	26.2	69.2	9.2	—	—	—	3.1	—	—
40～64歳	210	22.9	75.2	10.5	1.9	0.5	0.5	2.4	0.5	0.5
65歳以上	251	91.2	22.7	3.2	10.0	2.0	—	2.4	0.4	3.2

問 31 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出) (○は1つ)

「ほぼ毎日」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が 26.2%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」の割合が減少しています。



【年齢別】

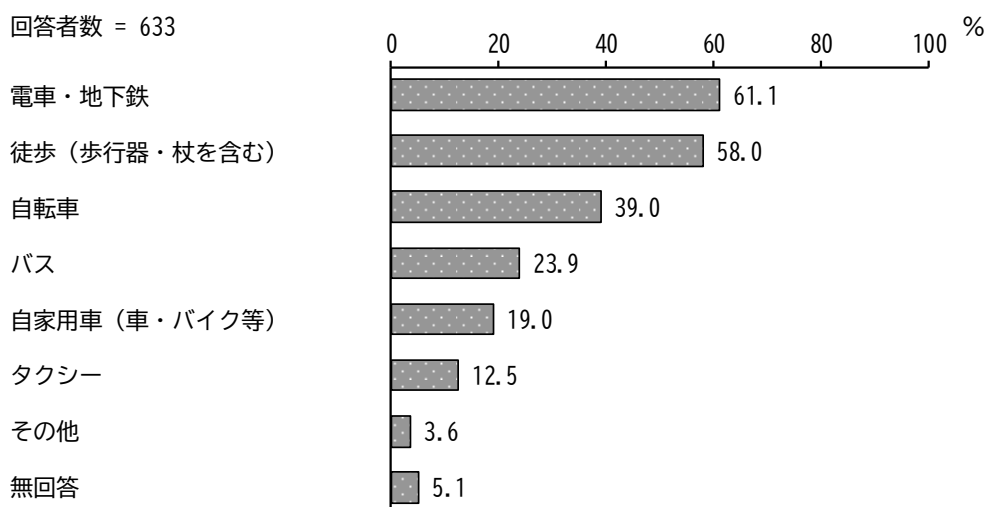
年齢別にみると、他に比べ、18～39歳や40～64歳で「ほぼ毎日」の割合が、65歳以上で「週に2～3回」の割合が高くなっています。

単位: %

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回くらい	年に数回くらい	まったく外出しない	無回答
全体	633	58.5	26.2	6.5	3.8	1.3	2.1	1.7
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	72	91.7	8.3	—	—	—	—	—
40～64歳	251	72.9	21.5	4.4	1.2	—	—	—
65歳以上	292	39.7	32.9	10.3	6.8	2.7	4.1	3.4

問 32 あなたがよく利用する外出の方法は何ですか（○は3つ）

「電車・地下鉄」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「徒歩（歩行器・杖を含む）」の割合が 58.0%、「自転車」の割合が 39.0%となっています。



【年齢別】

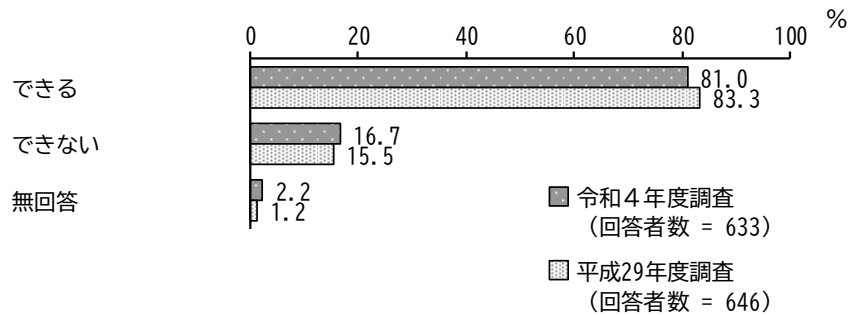
年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「電車・地下鉄」の割合が、40～64歳で「電車・地下鉄」「自転車」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「バス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	電車・地下鉄	徒歩 (歩行器・杖を 含む)	自転車	バス	自家用車 (車・バイ ク等)	タクシ ー	その他	無回 答
全 体	633	61.1	58.0	39.0	23.9	19.0	12.5	3.6	5.1
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	72	84.7	59.7	41.7	15.3	15.3	5.6	1.4	2.8
40～64歳	251	75.3	58.6	50.6	17.9	23.9	5.6	0.8	2.4
65歳以上	292	44.2	57.9	28.4	30.8	16.1	18.8	6.5	7.9

問 33 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。(○は1つ)

「できる」の割合が81.0%、「できない」の割合が16.7%となっています。  
 平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

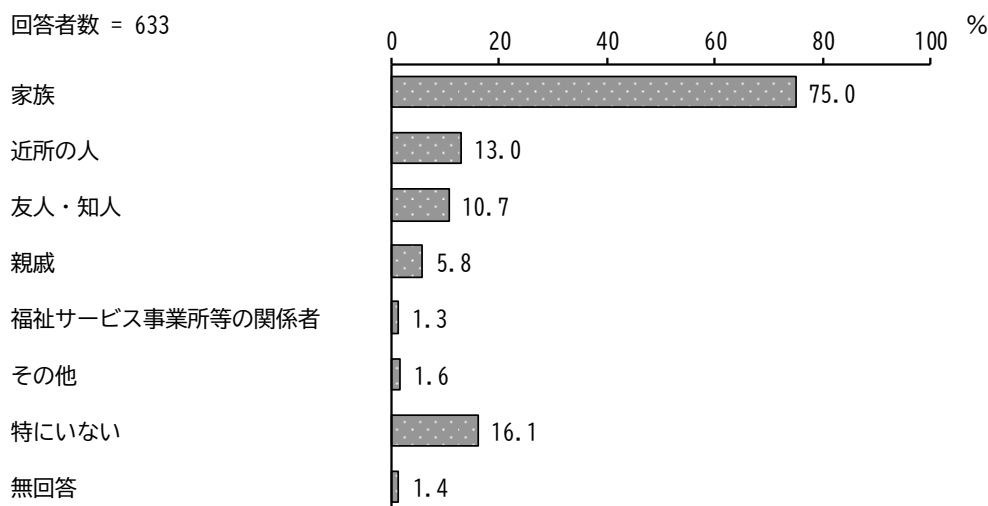
年齢別にみると、他に比べ、18～39歳や40～64歳で「できる」の割合が、65歳以上で「できない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	できる	できない	無回答
全 体	633	81.0	16.7	2.2
18歳未満	—	—	—	—
18～39歳	72	100.0	—	—
40～64歳	251	96.4	2.8	0.8
65歳以上	292	63.4	32.5	4.1

問 34 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族」の割合が75.0%と最も高く、次いで「特にいない」の割合が16.1%、「近所の人」の割合が13.0%となっています。



【避難の可否別】

避難の可否別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族	近所の人	友人・知人	親戚	福祉サービス事業所等の関係者	その他	特にいない	無回答
全体	633	75.0	13.0	10.7	5.8	1.3	1.6	16.1	1.4
できる	513	77.2	12.7	12.7	6.4	—	1.0	16.8	0.2
できない	106	68.9	16.0	2.8	3.8	7.5	4.7	13.2	1.9

問 35 難病の方に関するサービス、施設等の利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

『ショートステイ（短期入所）』『デイサービス』『荒川区保健所』で「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。

「利用したことがある」で『荒川区保健所』『ハローワーク足立（足立公共職業安定所）』の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用 したことがある	知 っているが利用して いない	知 らない	無 回答
ホームヘルプサービス	633	3.2	1.1	38.1	44.2	13.4
ガイドヘルパー派遣事業	633	0.2	0.5	23.1	60.8	15.5
ショートステイ（短期入所）	633	0.6	1.1	46.3	37.1	14.8
デイサービス	633	5.5	2.1	50.9	29.5	12.0
計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	633	4.7	1.4	22.9	55.9	15.0
地域移行支援 （入所・入院先を出て、地域での生活に戻るための支援）	633	0.2	0.5	20.9	63.3	15.2
地域定着支援 （地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	633	1.3	0.9	18.2	64.8	14.8
補装具の交付・修理	633	1.7	1.6	25.4	56.1	15.2
日常生活用具の給付	633	2.4	1.3	22.7	58.9	14.7
就学相談・教育相談	633	-	0.8	23.2	59.6	16.4
アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	633	1.1	1.1	28.6	54.5	14.7
じよぶあらかわ（障害者就労支援センター）	633	0.2	0.3	19.3	64.5	15.8
荒川区保健所	633	1.4	12.6	51.3	19.4	15.2
東京都難病相談・支援センター	633	1.4	4.6	38.9	40.8	14.4
東京都障害者総合スポーツセンター	633	0.5	0.6	24.5	59.1	15.3
ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	633	0.8	10.4	36.8	37.3	14.7
荒川区子ども家庭総合センター	633	-	1.4	22.3	60.7	15.6



〈平成 29 年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用 したことがある	知 っているが利用 して いない	知 らない	無 回 答
ホームヘルプサービス	646	1.4	0.9	44.1	43.5	10.1
ガイドヘルパー派遣事業	646	0.2	0.3	28.2	59.1	12.2
ショートステイ（短期入所）	646	0.8	0.9	44.4	43.0	10.8
デイサービス	646	4.3	1.5	50.0	34.7	9.4
計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	646	3.7	1.2	24.1	59.0	11.9
地域移行支援 （入所・入院先を出て、地域での生活に戻るための支援）	646	0.0	0.9	20.4	66.1	12.5
地域定着支援 （地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	646	1.1	0.2	21.4	65.5	11.9
補装具の交付・修理	646	0.6	1.9	24.6	60.7	12.2
日常生活用具の給付	646	1.4	1.4	22.8	62.8	11.6
就学相談・教育相談	646	0.2	0.3	27.1	57.9	14.6
アクロスあらかわ（障害者福社会館）	646	0.5	2.0	29.4	58.5	9.6
じょぶあらかわ（障害者就労支援センター）	646	0.0	0.3	18.9	70.1	10.7
荒川区保健所	646	1.2	9.9	49.4	28.9	10.5
東京都難病相談・支援センター	646	0.3	2.9	34.5	51.9	10.4
東京都障害者総合スポーツセンター	646	0.0	0.8	22.4	65.5	11.3
ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	646	0.6	7.0	35.9	45.7	10.8
荒川区子ども家庭総合センター	—	—	—	—	—	—

問 36 難病の方に関する医療助成制度等の利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

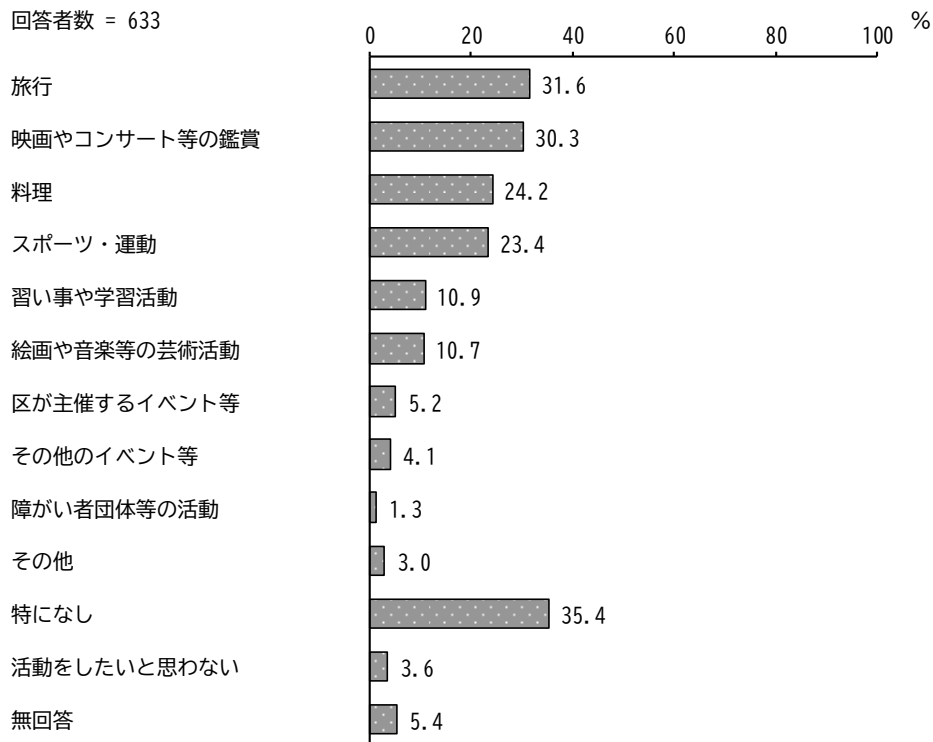
『難病等の医療費助成事業』で「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	自分 は 対 象 外 の 制 度 で あ る	知らない	無回答
心身障害者医療費助成事業（マル障）	633	2.5	1.4	5.2	33.6	36.3	20.9
難病等の医療費助成事業	633	74.1	3.6	2.8	1.9	8.2	9.3
自立支援医療（更生医療）	633	0.6	0.2	3.6	28.0	47.7	19.9
自立支援医療（育成医療）	633	0.2	0.2	2.8	27.5	49.1	20.2
自立支援医療（精神通院）	633	1.4	0.5	2.5	27.6	47.9	20.1
小児精神障害者入院医療費助成事業	633	-	0.3	2.1	29.1	48.0	20.5
療養介護事業	633	1.1	0.3	3.6	23.4	51.2	20.4
医療型児童発達支援事業	633	0.2	0.2	1.7	27.5	49.9	20.5

問 37 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「特になし」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「旅行」の割合が 31.6%、「映画やコンサート等の鑑賞」の割合が 30.3%となっています。



【年齢別】

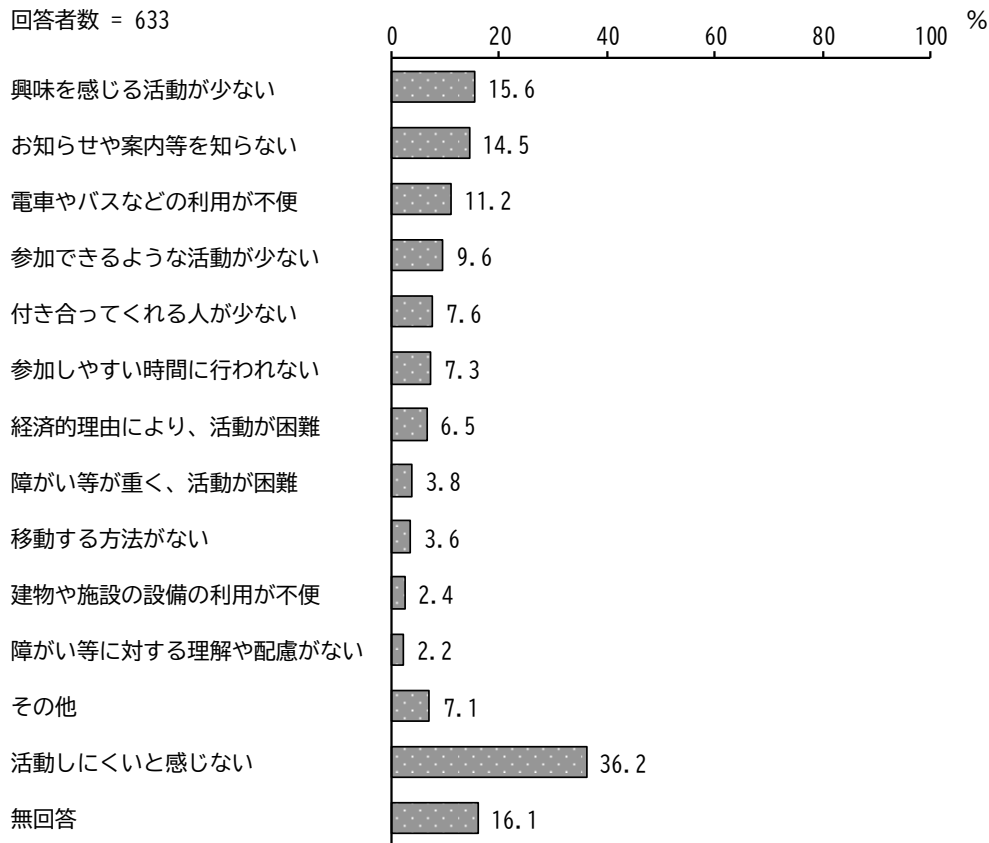
年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「映画やコンサート等の鑑賞」「料理」「旅行」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	旅行	映画やコンサート等の鑑賞	料理	スポーツ・運動	習い事や学習活動	絵画や音楽等の芸術活動	区が主催するイベント等	その他のイベント等	障がい者団体等の活動	その他	特になし	活動をしたと思わない	無回答
全体	633	31.6	30.3	24.2	23.4	10.9	10.7	5.2	4.1	1.3	3.0	35.4	3.6	5.4
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	72	55.6	63.9	52.8	43.1	13.9	19.4	6.9	11.1	—	—	11.1	1.4	2.8
40～64歳	251	40.6	39.8	33.5	27.9	11.6	13.9	3.6	4.0	1.2	2.4	28.3	3.6	1.6
65歳以上	292	18.2	14.0	8.9	15.1	9.9	6.2	6.2	2.7	1.7	3.8	47.9	4.5	8.6

問 38 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

「活動しにくいと感じない」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「興味を感じる活動が少ない」の割合が 15.6%、「お知らせや案内等を知らない」の割合が 14.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳や40～64歳で「活動しにくいと感じない」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「電車やバスなどの利用が不便」の割合が高くなっています。

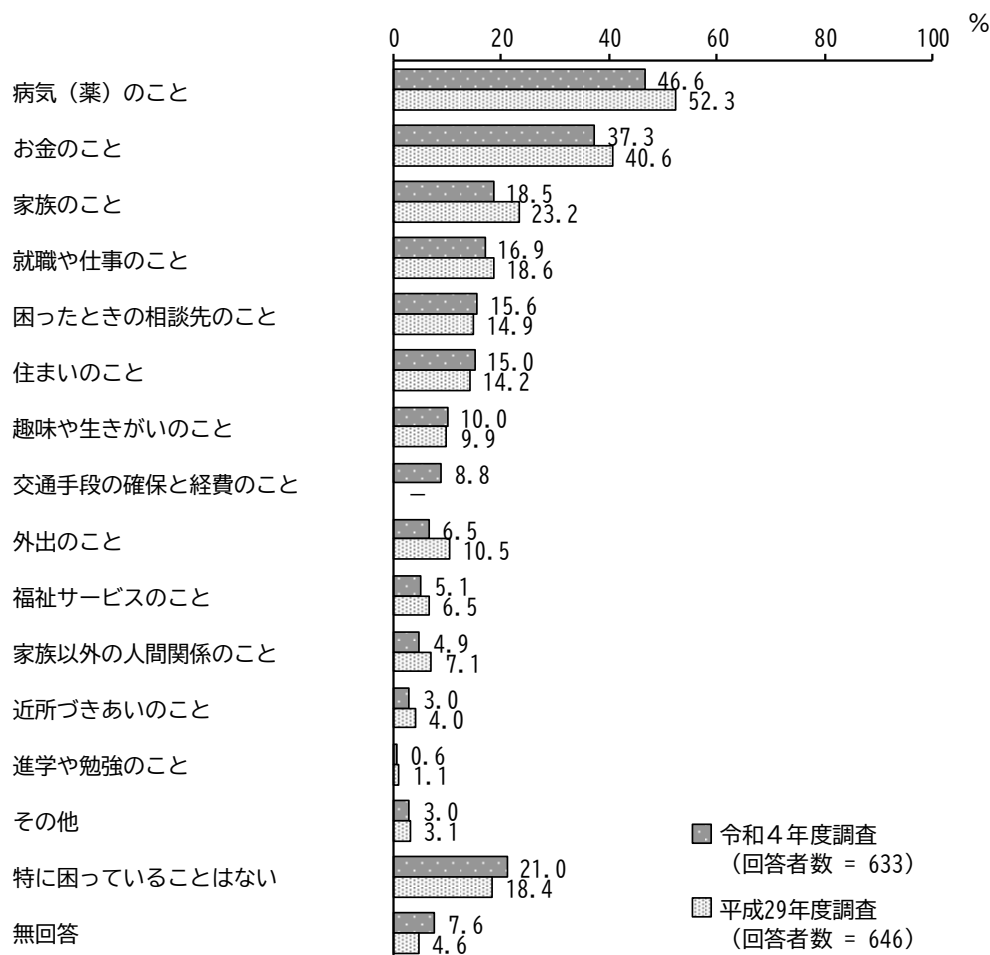
単位：%

区分	回答者数 (件)	興味を感じる活動が少ない	お知らせや案内等を知らない	電車やバスなどの利用が不便	参加できるような活動が少ない	付き合ってくれる人が少ない	参加しやすい時間に行われたい	経済的理由により、活動が困難	障がい等が重く、活動が困難	移動する方法がない	建物や施設の設備の利用が不便	障がい等に対する理解や配慮がない	その他	活動しにくいと感じない	無回答
全体	633	15.6	14.5	11.2	9.6	7.6	7.3	6.5	3.8	3.6	2.4	2.2	7.1	36.2	16.1
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	72	6.9	4.2	5.6	2.8	2.8	6.9	8.3	—	—	1.4	2.8	1.4	65.3	6.9
40～64歳	251	15.5	15.5	6.0	8.8	6.8	10.4	6.8	0.8	0.8	0.8	2.4	7.2	48.2	9.6
65歳以上	292	17.1	16.8	16.1	12.0	9.9	4.5	6.2	7.5	6.8	3.8	2.1	7.2	20.2	23.3

問 39 現在、あなたが特に困ったり、不安に思っていることは何ですか。  
(〇はいくつでも)

「病気(薬)のこと」の割合が46.6%と最も高く、次いで「お金のこと」の割合が37.3%、「特に困っていることはない」の割合が21.0%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「病気(薬)のこと」「家族のこと」の割合が減少しています。



II 調査結果 難病罹患者

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳や40～64歳で「就職や仕事のこと」「お金のこと」の割合が高くなっています。

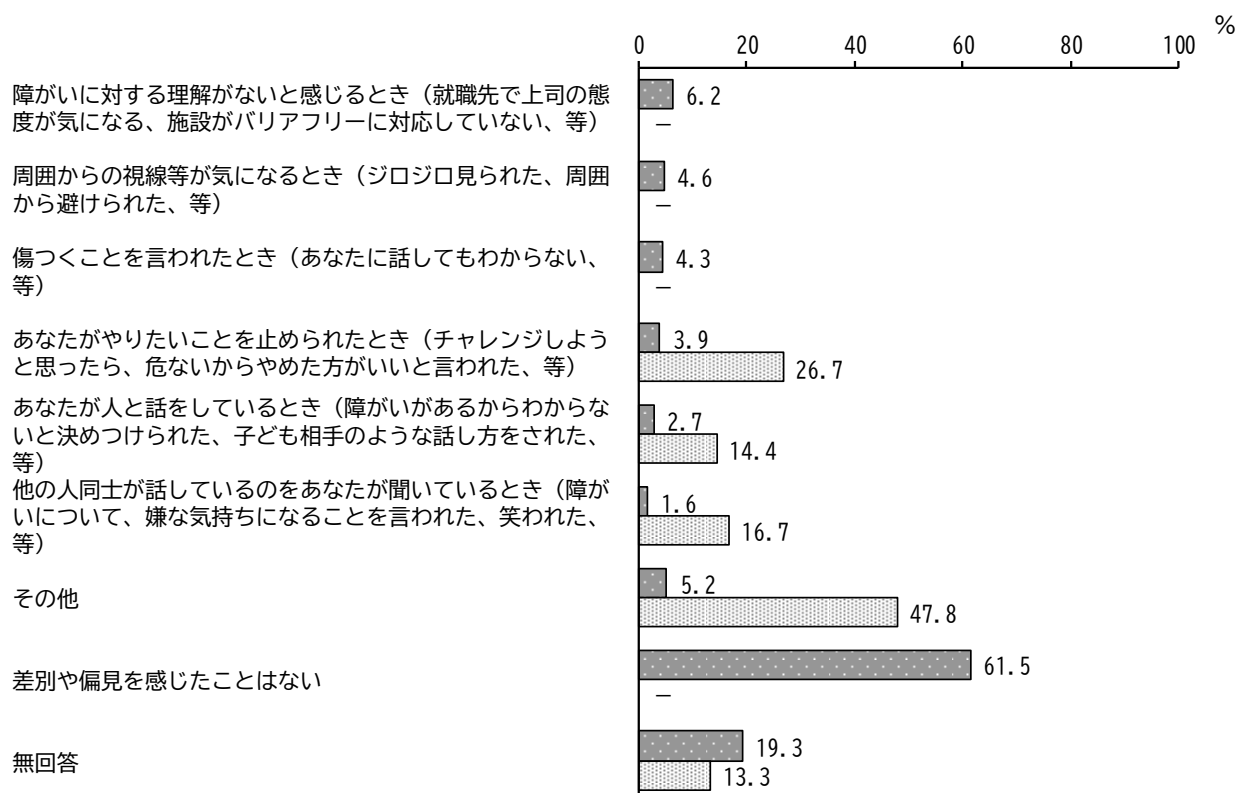
単位：%

区分	回答者数(件)	病気(薬)のこと	お金のこと	家族のこと	就職や仕事のこと	困ったときの相談先のこと	住まいのこと	趣味や生きがいのこと	交通手段の確保と経費のこと	外出のこと	福祉サービスのこと	家族以外の人間関係のこと	近所づきあいのこと	進学や勉強のこと	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	633	46.6	37.3	18.5	16.9	15.6	15.0	10.0	8.8	6.5	5.1	4.9	3.0	0.6	3.0	21.0	7.6
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	72	50.0	41.7	12.5	29.2	11.1	12.5	9.7	5.6	2.8	5.6	6.9	1.4	1.4	1.4	22.2	2.8
40～64歳	251	55.0	46.6	21.9	29.1	18.7	15.1	10.0	6.0	4.0	4.4	7.2	3.6	1.2	2.0	20.7	4.0
65歳以上	292	38.7	28.1	17.8	3.4	14.7	15.1	10.6	12.3	9.2	5.5	2.4	2.7	—	3.8	21.6	11.6

問 40 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どんな時に感じたことがありますか。）（○はいくつでも）また差し支えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください。

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が61.5%と最も高くなっています。

平成29年度調査と比較すると、「あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等）」「あなたが人と話をしているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）」「他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、すべての年齢で「差別や偏見を感じたことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	障がいに対する理解がないと感じるとき (就職先で上司の態度が気になる、施設 がバリアフリーに対応していない、等)	周囲からの視線等が気になるとき(ジロ ジロ見られた、周囲から避けられた、等)	傷つくことを言われたとき(あなたに話 してもわからない、等)	あなたがやりたいことを止められたとき (チャレンジしようと思ったら、危ない からやめた方がいいと言われた、等)
全 体	633	6.2	4.6	4.3	3.9
18歳未満	—	—	—	—	—
18～39歳	72	12.5	4.2	4.2	4.2
40～64歳	251	10.0	6.0	7.2	5.6
65歳以上	292	1.7	3.4	2.1	2.4

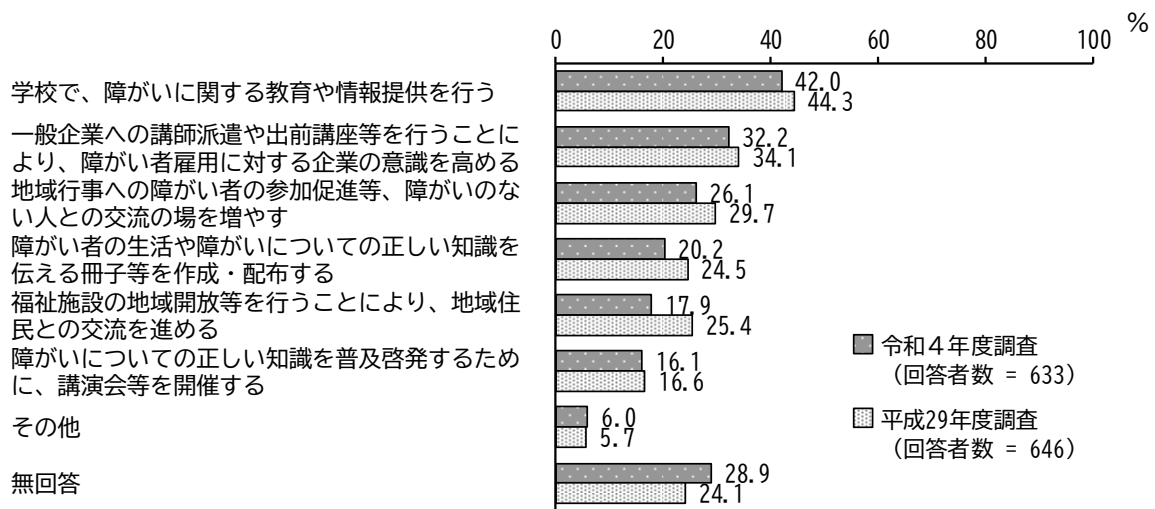
区分	あなたが人と話をしているとき(障がい があるからわからないと決めつけられ た、子ども相手のような話し方をされた、 等)	他の人同士が話しているのをあなたが聞 いているとき(障がいについて嫌な気持 ちになることを言われた、笑われた、等)	その他	差別や偏見を感じたことはない	無回答
全 体	2.7	1.6	5.2	61.5	19.3
18歳未満	—	—	—	—	—
18～39歳	5.6	2.8	2.8	65.3	6.9
40～64歳	3.6	2.8	6.4	62.5	11.6
65歳以上	1.0	0.3	4.8	61.3	27.4



問 41 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が 32.2%、「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が 26.1%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、18～39歳で「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が、40～64歳で「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が高くなっています。

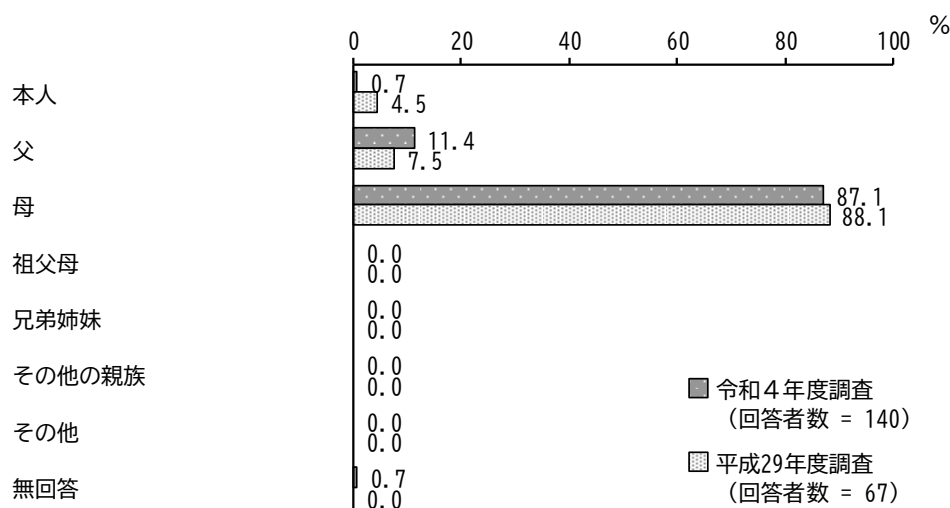
単位：%

区分	回答者数(件)	学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う	一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める	地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす	障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する	福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	その他	無回答
全体	633	42.0	32.2	26.1	20.2	17.9	16.1	6.0	28.9
18歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18～39歳	72	54.2	52.8	25.0	20.8	19.4	16.7	9.7	15.3
40～64歳	251	52.2	43.0	27.1	20.3	16.7	20.3	9.6	16.7
65歳以上	292	30.5	19.2	26.4	19.9	18.8	13.4	2.4	41.8

## 8 障がい児通所支援利用者調査の結果

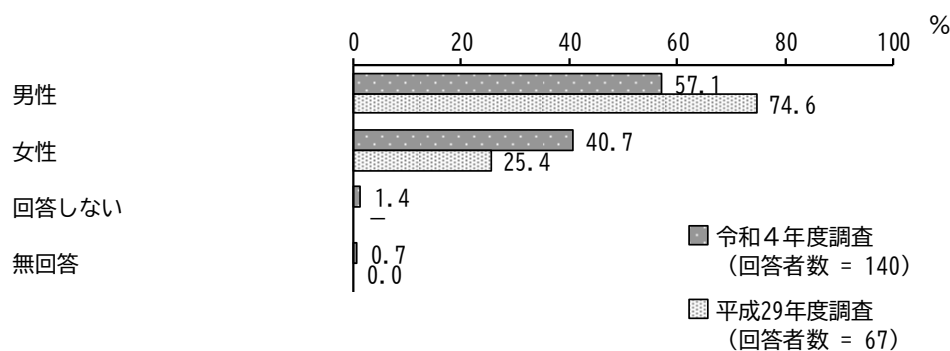
### 問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「母」の割合が87.1%と最も高く、次いで「父」の割合が11.4%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

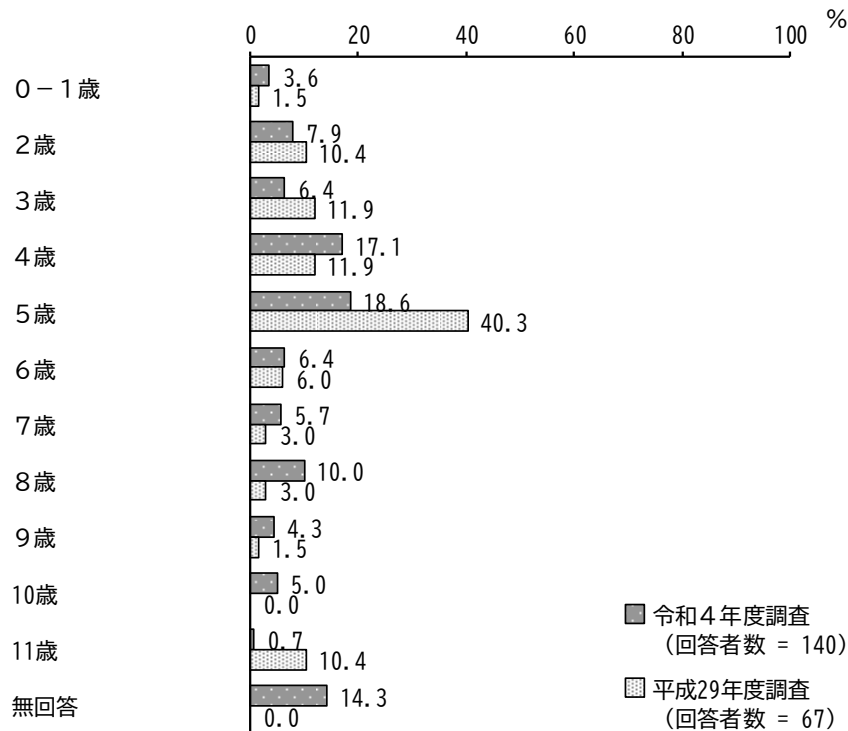
「男性」の割合が57.1%、「女性」の割合が40.7%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、「女性」の割合が増加しています。一方、「男性」の割合が減少しています。



**問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。**  
 ※平成29年度調査：平成29年4月1日現在

「5歳」の割合が18.6%と最も高く、次いで「4歳」の割合が17.1%、「8歳」の割合が10.0%となっています。

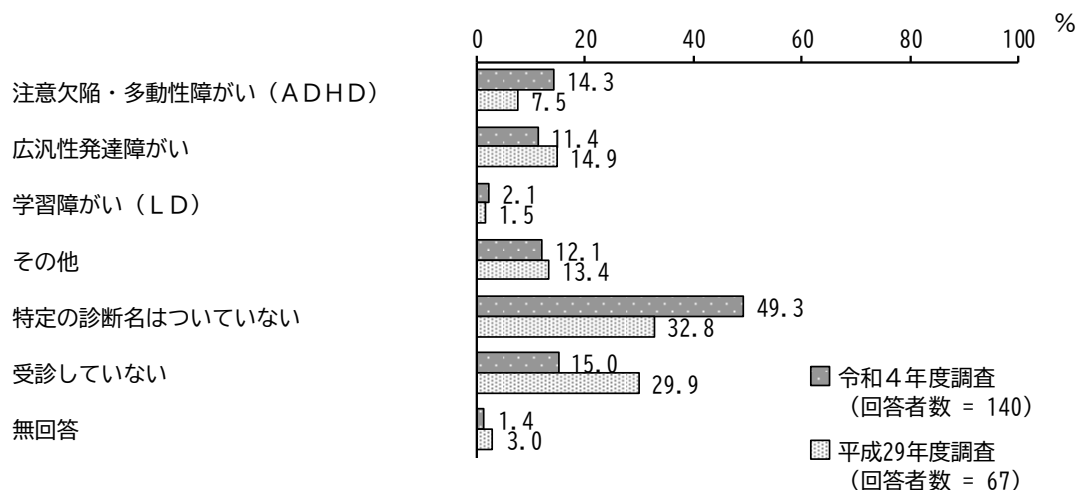
平成29年度調査と比較すると、「4歳」「8歳」の割合が増加しています。一方、「3歳」「5歳」「11歳」の割合が減少しています。



**問4 診断名等ありましたらお答えください。(〇はいくつでも)**

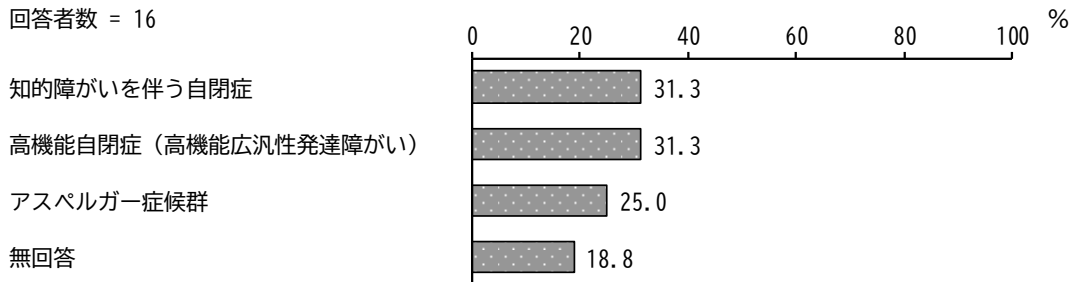
「特定の診断名はついていない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「受診していない」の割合が15.0%、「注意欠陥・多動性障がい (ADHD)」の割合が14.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「注意欠陥・多動性障がい (ADHD)」 「特定の診断名はついていない」の割合が増加しています。一方、「受診していない」の割合が減少しています。



広汎性発達障がい

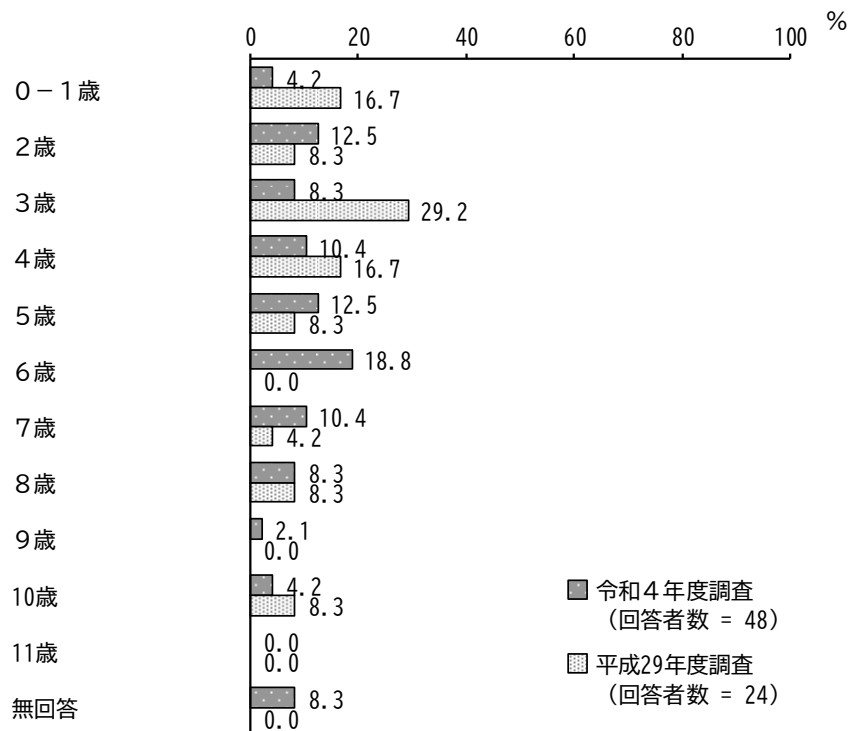
「知的障がいを伴う自閉症」、「高機能自閉症（高機能広汎性発達障がい）」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「アスペルガー症候群」の割合が 25.0%となっています。



問5 (問4で「1 広汎性発達障がい」から「4 その他」と答えた方は次の設問にお答えください。) 最初に診断を受けたのは何歳のころですか。

「6歳」の割合が 18.8%と最も高く、次いで「2歳」、「5歳」の割合が 12.5%となっています。

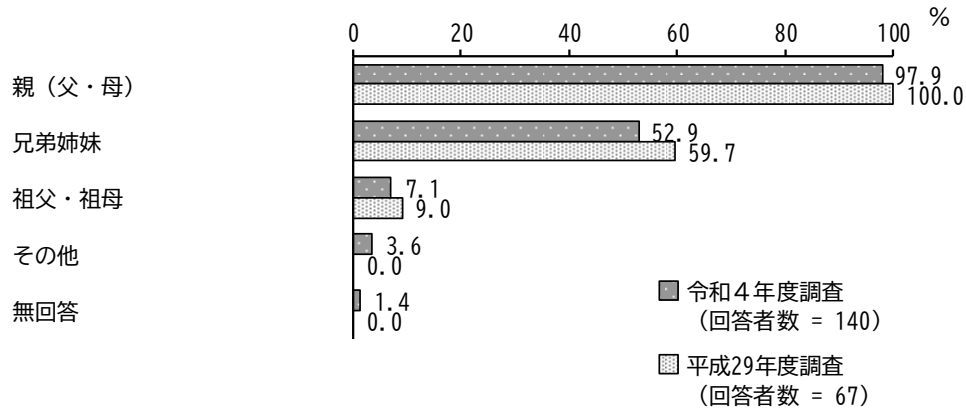
平成 29 年度調査と比較すると、「6歳」「7歳」の割合が増加しています。一方、「0-1歳」「3歳」「4歳」の割合が減少しています。



問6 あなたは、現在、誰と一緒に生活していますか（〇はいくつでも）

「親（父・母）」の割合が97.9%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の割合が52.9%となっています。

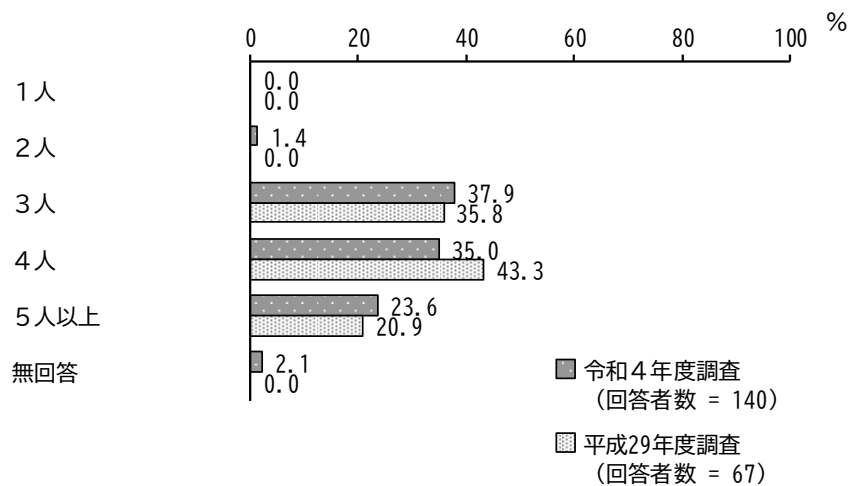
平成29年度調査と比較すると、「兄弟姉妹」の割合が減少しています。



問7 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。（〇は1つ）

「3人」の割合が37.9%と最も高く、次いで「4人」の割合が35.0%、「5人以上」の割合が23.6%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「4人」の割合が減少しています。



問8 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～8について各々○は1つ)

『1 歩くこと』で「自分でできる」の割合が高く、『7 室内の掃除・整理整頓をすること』で「一部に手助けが必要」の割合が高くなっています。また、『8 バス・都電・電車を利用すること』で「全部に手助けが必要」の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回答
1 歩くこと	140	93.6	1.4	3.6	1.4
2 食事をすること	140	82.1	12.9	3.6	1.4
3 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	140	67.1	23.6	7.9	1.4
4 トイレで用を足し、後始末をすること	140	58.6	29.3	10.7	1.4
5 入浴し、身体や髪を洗うこと	140	36.4	42.9	19.3	1.4
6 歯磨き・洗顔等をすること	140	41.4	44.3	12.9	1.4
7 室内の掃除・整理整頓をすること	140	18.6	52.9	27.1	1.4
8 バス・都電・電車を利用すること	140	12.9	35.0	50.7	1.4

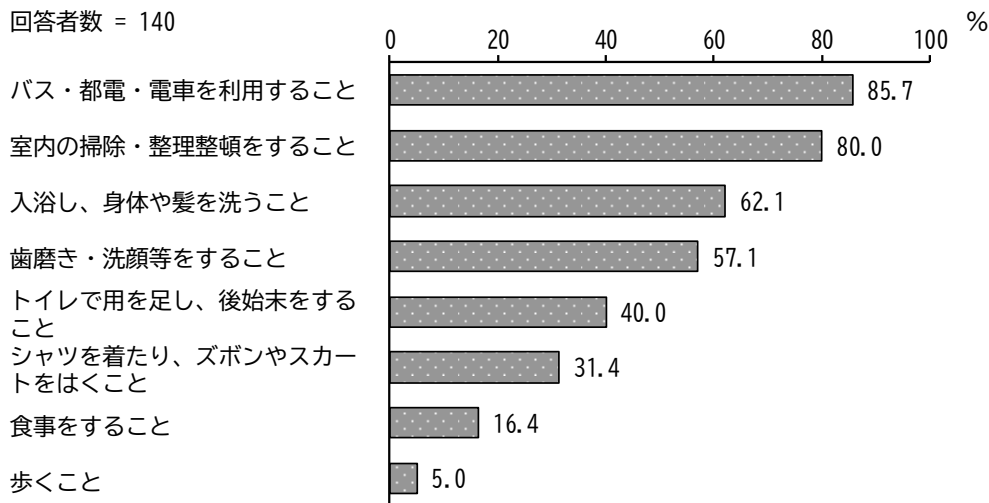
〈平成29年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回答
1 歩くこと	67	94.0	1.5	4.5	0.0
2 食事をすること	67	73.1	23.9	3.0	0.0
3 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	67	65.7	20.9	13.4	0.0
4 トイレで用を足し、後始末をすること	67	56.7	28.4	14.9	0.0
5 入浴し、身体や髪を洗うこと	67	34.3	37.3	28.4	0.0
6 歯磨き・洗顔等をすること	67	37.3	43.3	19.4	0.0
7 室内の掃除・整理整頓をすること	67	22.4	50.7	26.9	0.0
8 バス・都電・電車を利用すること	67	11.9	25.4	62.7	0.0

「一部に手助けが必要」、「全部に手助けが必要」を合わせた表

「一部に手助けが必要」、「全部に手助けが必要」をあわせた要介助の割合をみると、『バス・都電・電車を利用すること』が85.7%と最も高くなっています。



【障がいの程度別】（「一部に手助けが必要」、「全部に手助けが必要」をあわせた表）

障がいの程度別にみると、他に比べ、受診していないで「入浴し、身体や髪を洗うこと」「歯磨き・洗顔等をすること」の割合が、特定の診断名はついていないで「入浴し、身体や髪を洗うこと」の割合が高くなっています。

単位：%

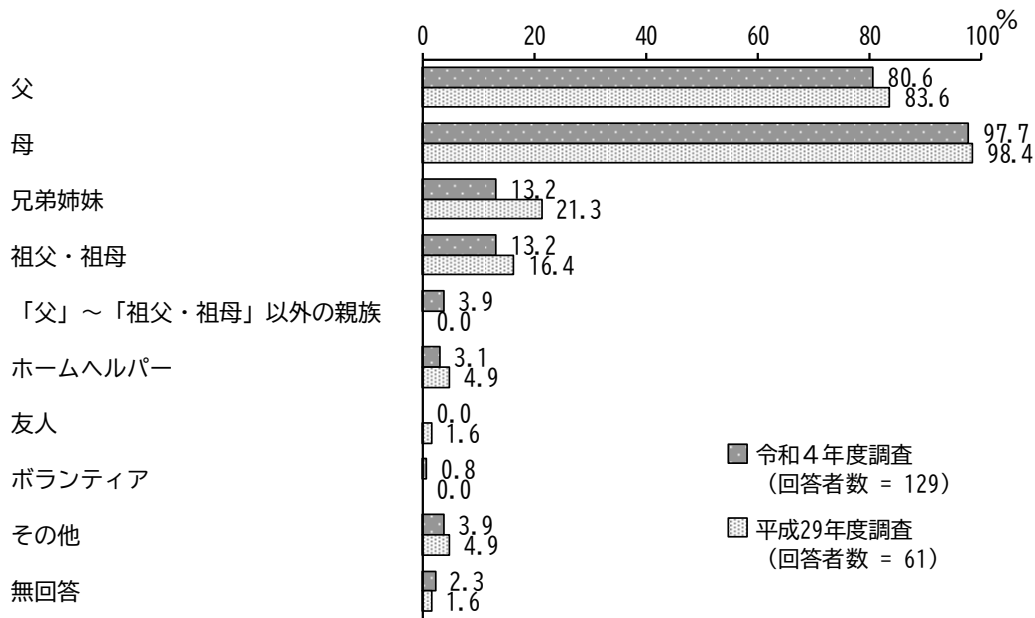
区分	回答者数(件)	バス・都電・電車を利用すること	室内の掃除・整理整頓をすること	入浴し、身体や髪を洗うこと	歯磨き・洗顔等をすること	トイレで用を足し、後始末をすること	シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	食事をすること	歩くこと
広汎性発達障がい	16	75.0	81.3	37.5	37.5	31.3	18.8	25.0	—
学習障がい(LD)	3	66.7	66.7	—	33.3	—	—	—	—
注意欠陥・多動性障がい(ADHD)	20	80.0	85.0	30.0	50.0	15.0	20.0	—	5.0
その他	17	76.5	82.4	70.6	58.8	47.1	29.4	41.2	11.8
特定の診断名はついていない	69	89.9	81.2	72.5	60.9	46.4	37.7	15.9	5.8
受診していない	21	95.2	76.2	76.2	66.7	47.6	33.3	9.5	—



問9 (問8で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。(○はいくつでも)

「母」の割合が97.7%と最も高く、次いで「父」の割合が80.6%、「兄弟姉妹」、「祖父・祖母」の割合が13.2%となっています。

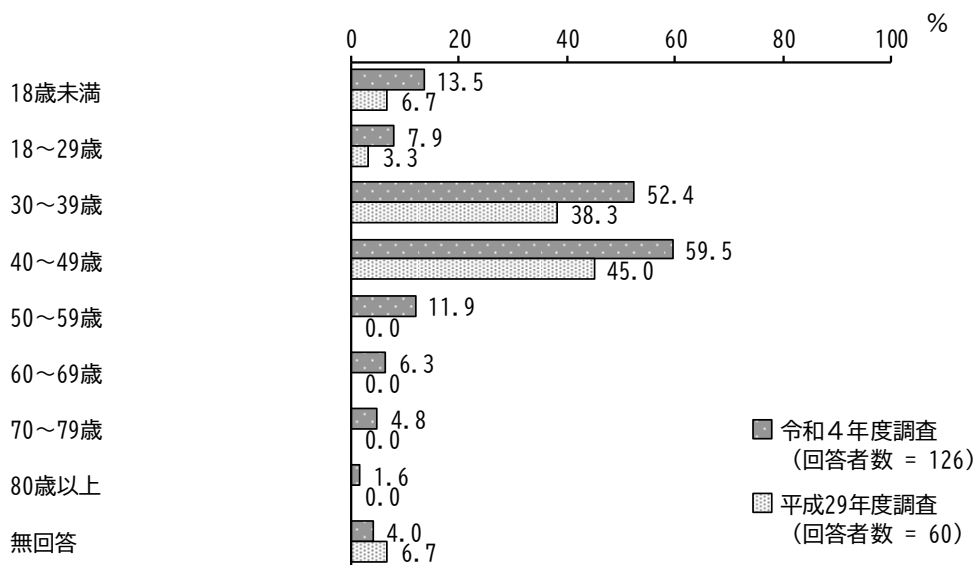
平成29年度調査と比較すると、「兄弟姉妹」の割合が減少しています。



問10 (問9で「1 父」～「5 父」～「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。(問9で「1 父」～「5 父」～「祖父・祖母」以外の親族」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「40～49歳」の割合が59.5%と最も高く、次いで「30～39歳」の割合が52.4%、「18歳未満」の割合が13.5%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「18歳未満」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」の割合が増加しています。



※平成29年度調査及び平成22年度調査では、年齢の区分は、「10歳代」「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」「70歳代」「80歳代以上」となっており、令和4年度調査の区分とは異なります。

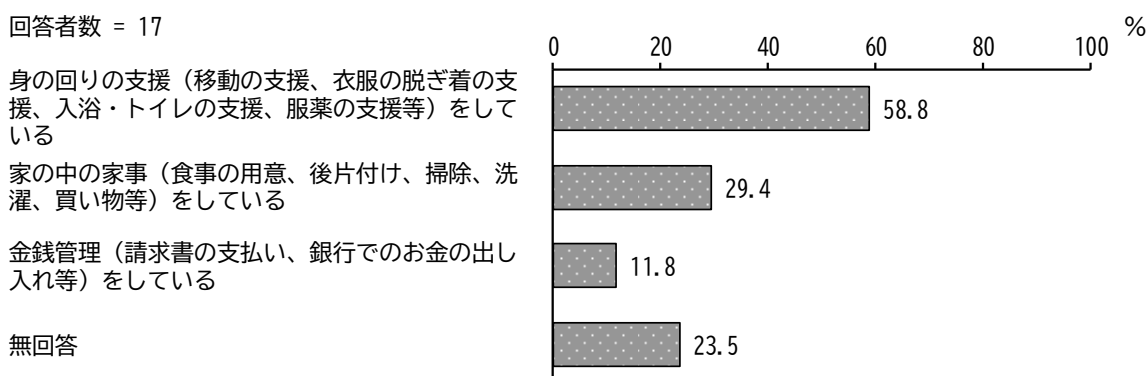
なお、経年比較の都合上、平成29年度以前の調査の「10歳代」を「18歳未満」、「20歳代」を「18～29歳」としております。

問11 (問10で「ア 18歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている18歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている」の割合が58.8%と最も高く、次いで「家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている」の割合が29.4%、「金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 17



【年齢別】

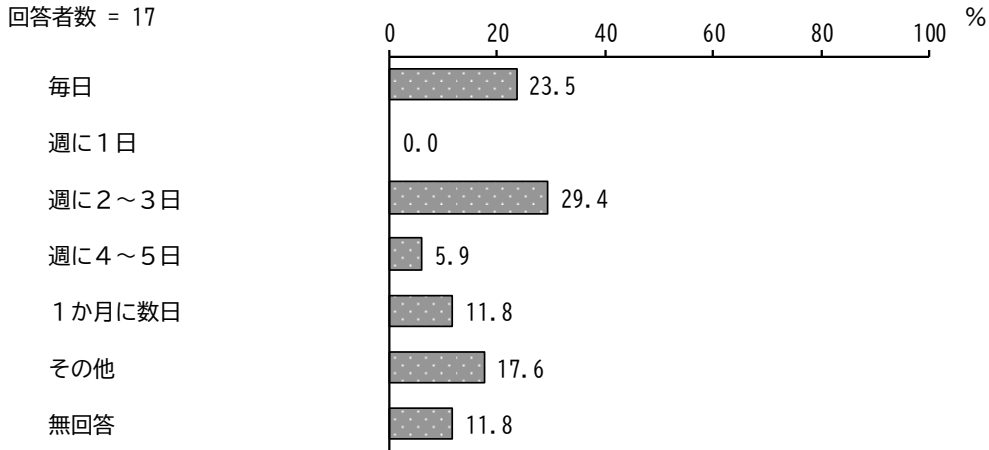
年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている	家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている	金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている	無回答
全体	17	58.8	29.4	11.8	23.5
0-1歳	1	100.0	100.0	100.0	-
2歳	1	100.0	-	-	-
3歳	1	-	100.0	-	-
4歳	4	25.0	-	-	75.0
5歳	4	100.0	-	-	-
6歳	1	100.0	-	-	-
7歳	-	-	-	-	-
8歳	2	50.0	100.0	50.0	-
9歳	-	-	-	-	-
10歳	2	50.0	50.0	-	-
11歳	-	-	-	-	-

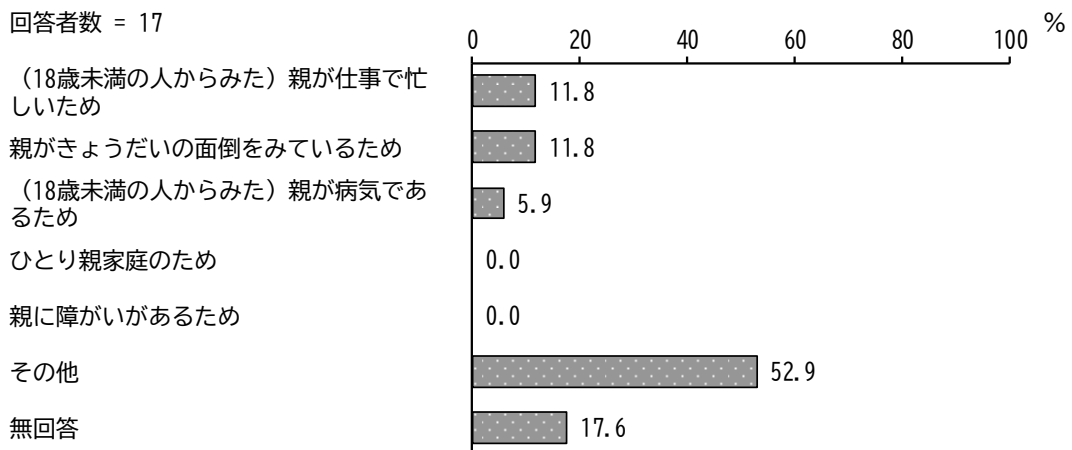
問12 (問10で「18歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「週に2～3日」の割合が29.4%と最も高く、次いで「毎日」の割合が23.5%、「1か月に数日」の割合が11.8%となっています。



問13 (問10で「ア 18歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

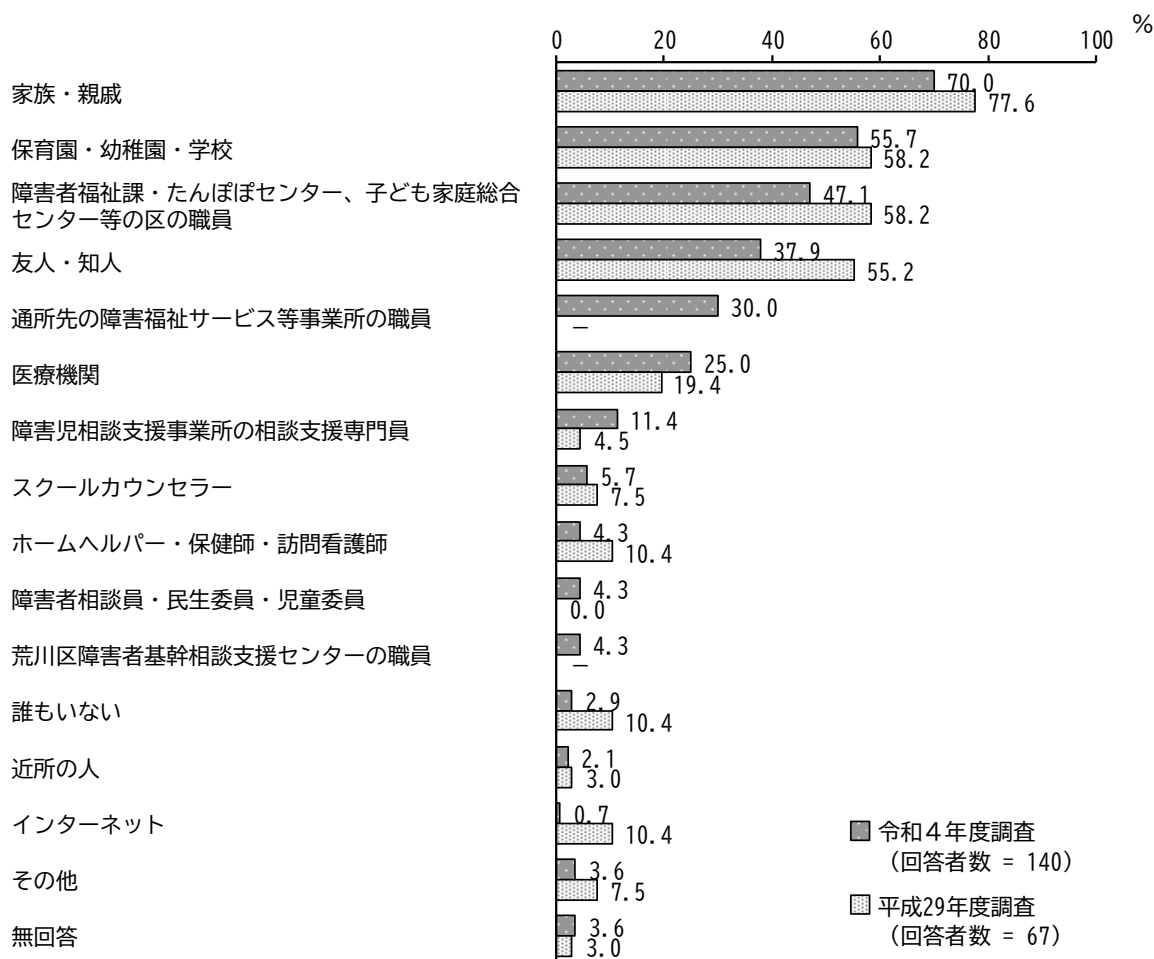
「(18歳未満の人からみた)親が仕事で忙しいため」、「親がきょうだいの面倒をみているため」の割合が11.8%と最も高くなっています。



問 14 あなたまたは保護者の方が、日常のことや困ったことを相談している人はいますか。(〇はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が70.0%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園・学校」の割合が55.7%、「障害者福祉課・たんぽぽセンター、子ども家庭総合センター等の区の職員」の割合が47.1%となっています。

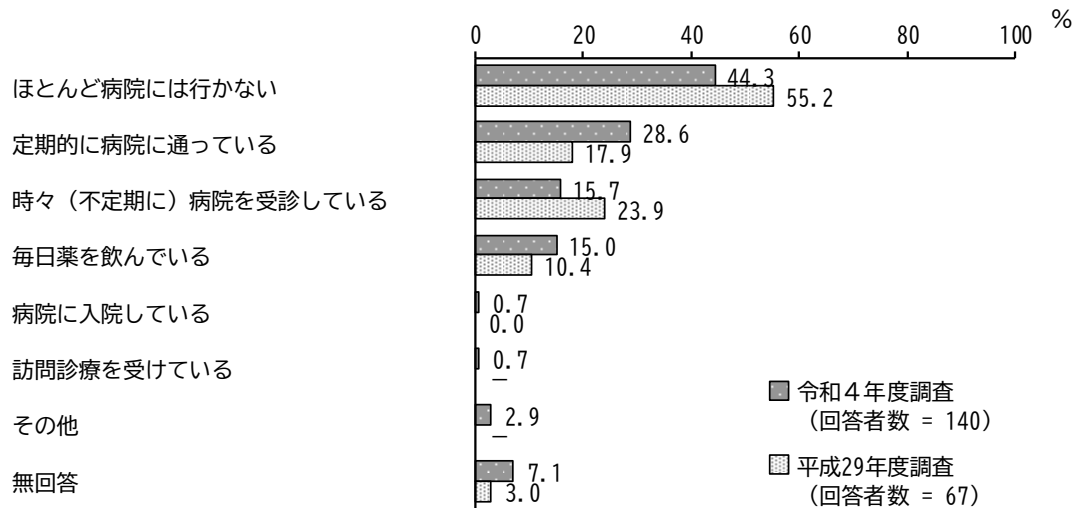
平成29年度調査と比較すると、「医療機関」「障害児相談支援事業所の相談支援専門員」の割合が増加しています。一方、「家族・親戚」「障害者福祉課・たんぽぽセンター、子ども家庭総合センター等の区の職員」「友人・知人」「ホームヘルパー・保健師・訪問看護師」「誰もいない」「インターネット」の割合が減少しています。



問 15 あなたは、病気等で病院に通っていますか。(〇はいくつでも)

「ほとんど病院には行かない」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「定期的に病院に通っている」の割合が 28.6%、「時々（不定期に）病院を受診している」の割合が 15.7%となっています。

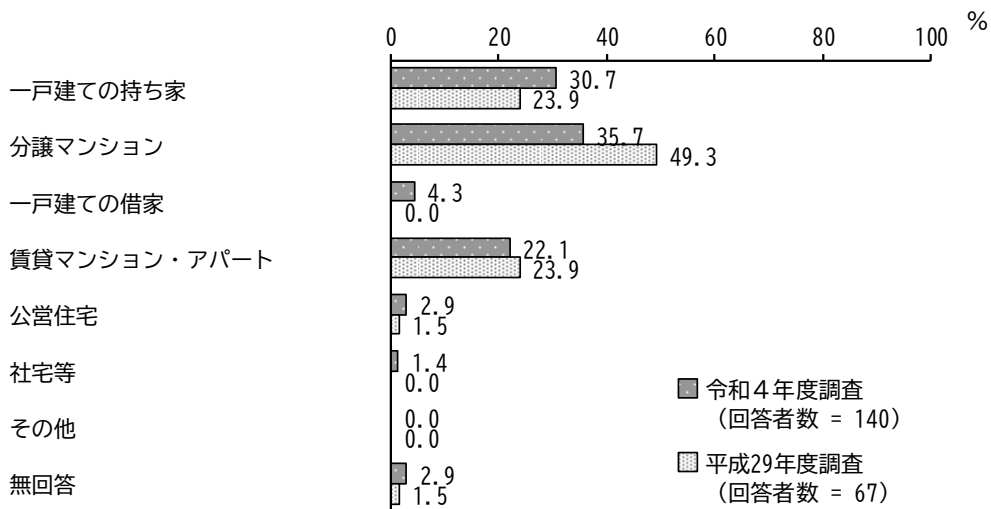
平成 29 年度調査と比較すると、「定期的に病院に通っている」「毎日薬を飲んでいる」の割合が増加しています。一方、「時々（不定期に）病院を受診している」「ほとんど病院には行かない」の割合が減少しています。



問 16 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(〇は1つ)

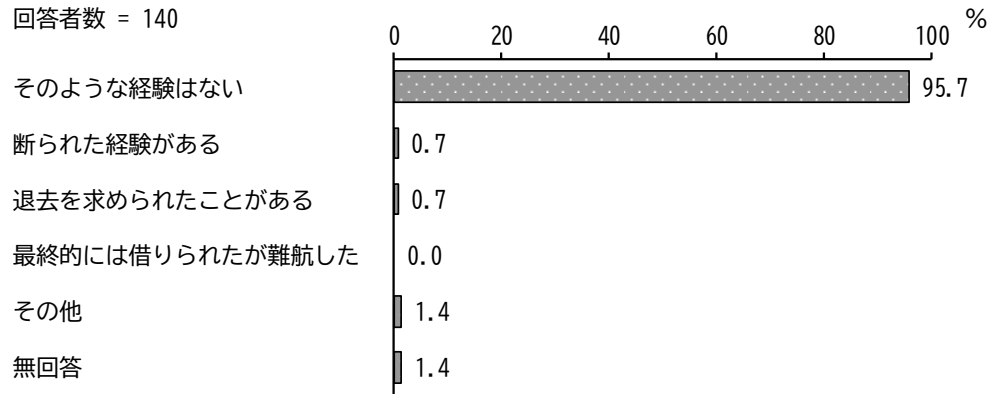
「分譲マンション」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「一戸建ての持ち家」の割合が 30.7%、「賃貸マンション・アパート」の割合が 22.1%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「一戸建ての持ち家」の割合が増加しています。一方、「分譲マンション」の割合が減少しています。



問 17 あなた、またはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいを理由に断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

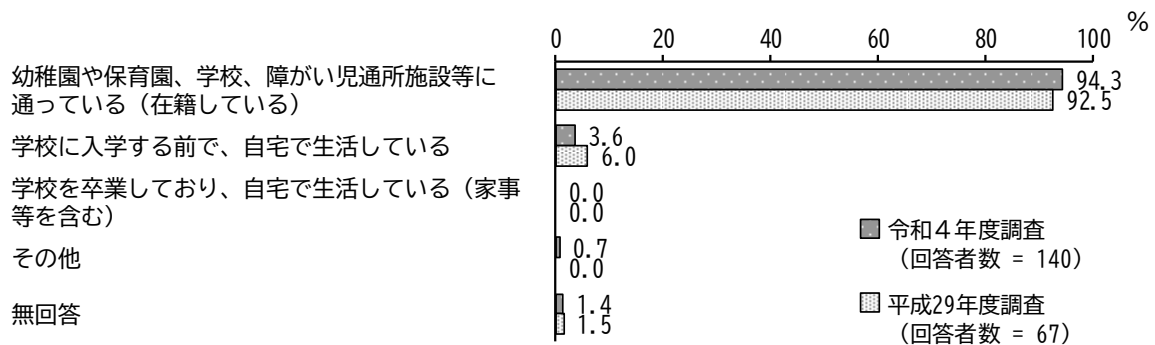
「そのような経験はない」の割合が95.7%と最も高くなっています。



問 18 あなたは、平日の昼間は、主にどこで（何をして）過ごしていますか。(○は1つ)

「幼稚園や保育園、学校、障がい児通所施設等に通っている（在籍している）」の割合が94.3%と最も高くなっています。

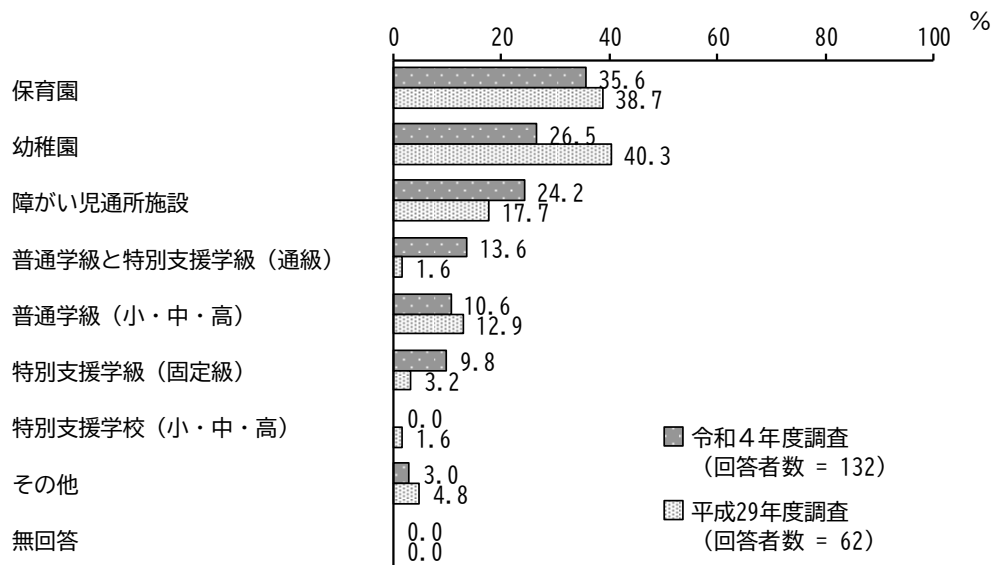
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 19 (問 18 で「幼稚園や保育園、学校、障がい児通所施設等に通っている」に○をつけた方のみお答えください。) 通園・通学・通所先はどこですか。  
(○は2つまで)

「保育園」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 26.5%、「障がい児通所施設」の割合が 24.2%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「障がい児通所施設」「特別支援学級（固定級）」「普通学級と特別支援学級（通級）」の割合が増加しています。一方、「保育園」「幼稚園」の割合が減少しています。

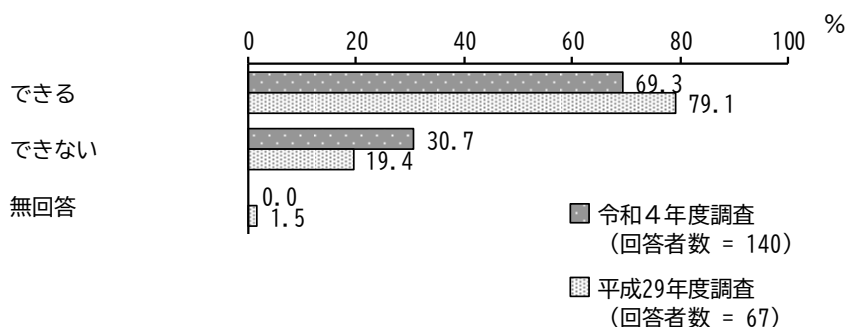




問 20 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか（お子さんが未就学児の場合は、保護者の方ひとりでお子さんを連れて避難することができますか）。  
（○は1つ）

「できる」の割合が69.3%、「できない」の割合が30.7%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「できない」の割合が増加しています。一方、「できる」の割合が減少しています。



【年齢別】

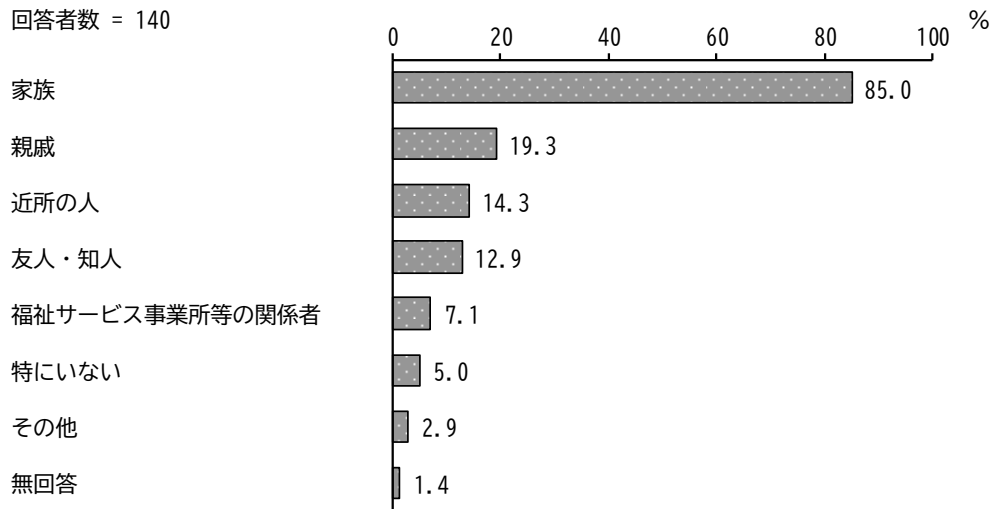
年齢別にみると、他に比べ、4歳や5歳で「できる」の割合が、2歳で「できない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できる	できない	無回答
全 体	140	69.3	30.7	—
0-1歳	5	60.0	40.0	—
2歳	11	63.6	36.4	—
3歳	9	77.8	22.2	—
4歳	24	75.0	25.0	—
5歳	26	100.0	—	—
6歳	9	66.7	33.3	—
7歳	8	25.0	75.0	—
8歳	14	64.3	35.7	—
9歳	6	16.7	83.3	—
10歳	7	57.1	42.9	—
11歳	1	100.0	—	—

問 21 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族」の割合が 85.0%と最も高く、次いで「親戚」の割合が 19.3%、「近所の人」の割合が 14.3%となっています。



【避難の可否別】

避難の可否別にひとりでの避難を援助してくれる人をみると、できないで「家族」の割合が、できるで「近所の人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族	親戚	友人・知人	近所の人	福祉サービス事業所等の関係者	その他	特にない	無回答
全体	140	85.0	19.3	12.9	14.3	7.1	2.9	5.0	1.4
できる	97	82.5	18.6	17.5	19.6	6.2	2.1	4.1	2.1
できない	43	90.7	20.9	2.3	2.3	9.3	4.7	7.0	—

問 22 サービス、施設等の利用状況について、お伺いします。項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～19について各々○は1つ)

『8 放課後等デイサービス』『16 荒川区保健所』『19 荒川区子ども家庭総合センター』で「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。

『4 児童発達支援』『9 障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)』『13 たんぽぽセンター(心身障害者福祉センター)』で「現在利用している」の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用 している	利用 した こと がある	知 つ て い る が 利 用 し て い な い	知 ら な い	無 回 答
1 ホームヘルプサービス	140	-	1.4	21.4	66.4	10.7
2 ガイドヘルパーの派遣	140	-	-	15.7	73.6	10.7
3 ショートステイ(短期入所)	140	-	0.7	35.7	51.4	12.1
4 児童発達支援	140	46.4	11.4	24.3	11.4	6.4
5 医療型児童発達支援	140	5.7	0.7	28.6	55.0	10.0
6 保育所等訪問支援	140	2.9	1.4	27.1	57.9	10.7
7 居宅訪問型児童発達支援	140	1.4	-	15.0	71.4	12.1
8 放課後等デイサービス	140	31.4	2.1	43.6	15.0	7.9
9 障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	140	52.1	7.1	15.0	17.1	8.6
10 日中一時支援サービス	140	-	-	17.1	72.1	10.7
11 就学相談・教育相談	140	20.7	22.9	25.0	24.3	7.1
12 アクロスあらかわ(障害者福祉会館)	140	7.1	5.0	32.1	46.4	9.3
13 たんぽぽセンター(心身障害者福祉センター)	140	45.7	37.9	10.7	2.1	3.6
14 精神障害者地域生活支援センター・アゼリア	140	-	1.4	12.1	76.4	10.0
15 荒川区障害者基幹相談支援センター	140	0.7	0.7	12.9	76.4	9.3
16 荒川区保健所	140	5.0	33.6	46.4	6.4	8.6
17 東京都心身障害者福祉センター	140	0.7	0.7	20.7	68.6	9.3
18 東京都障害者総合スポーツセンター	140	-	1.4	15.7	73.6	9.3
19 荒川区子ども家庭総合センター	140	0.7	15.0	45.7	30.7	7.9

II 調査結果 障がい児通所支援利用者

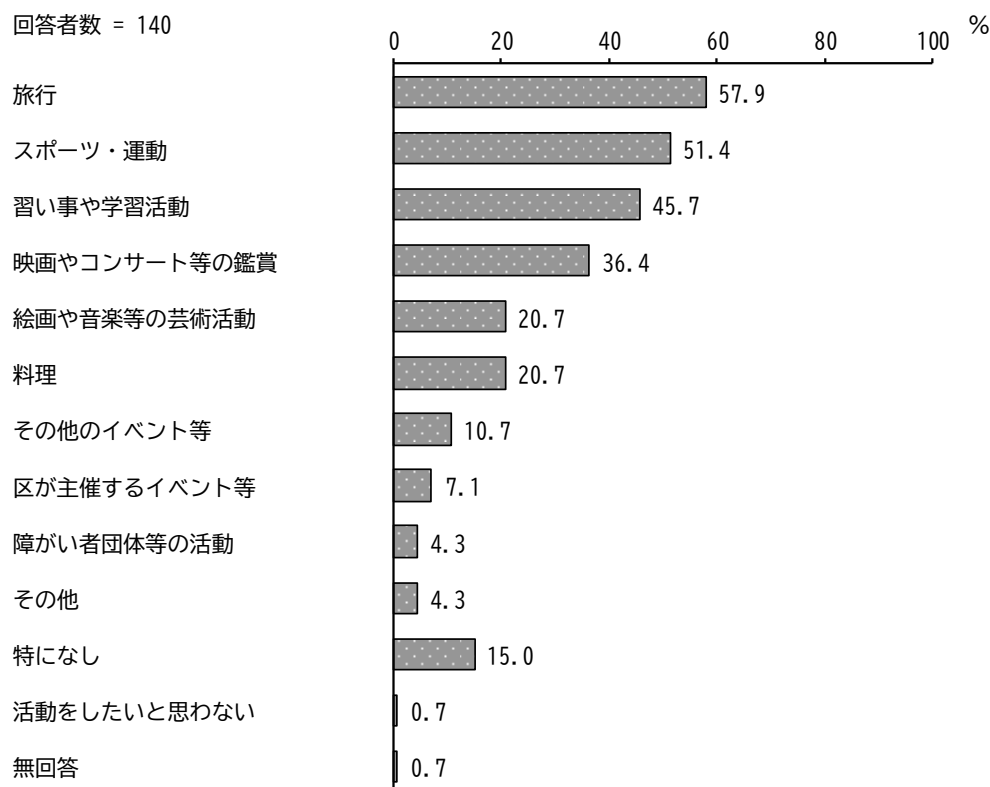
〈平成 29 年度調査〉

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用 したことがある	知 っているが利用 して いない	知 らない	無 回 答
1 ホームヘルプサービス	67	3.0	0.0	28.4	55.2	13.4
2 ガイドヘルパーの派遣	67	0.0	0.0	14.9	71.6	13.4
3 ショートステイ（短期入所）	67	0.0	0.0	35.8	50.7	13.4
4 児童発達支援	67	28.4	10.4	28.4	22.4	10.4
5 医療型児童発達支援	67	3.0	0.0	20.9	62.7	13.4
6 保育所等訪問支援	67	1.5	1.5	25.4	58.2	13.4
7 居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
8 放課後等デイサービス	67	16.4	1.5	4.5	0.0	77.6
9 障害児相談支援（障害児支援利用計画の作成）	67	25.4	10.4	23.9	29.9	10.4
10 日中一時支援サービス	67	0.0	0.0	14.9	71.6	13.4
11 就学相談・教育相談	67	11.9	11.9	32.8	29.9	13.4
12 アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	67	14.9	11.9	31.3	29.9	11.9
13 たんぽぽセンター（心身障害者福祉センター）	67	68.7	19.4	9.0	1.5	1.5
14 精神障害者地域生活支援センター・アゼリア	67	0.0	0.0	19.4	65.7	14.9
15 荒川区障害者基幹相談支援センター	—	—	—	—	—	—
16 荒川区保健所	67	1.5	49.3	28.4	9.0	11.9
17 東京都心身障害者福祉センター	67	0.0	1.5	25.4	59.7	13.4
18 東京都障害者総合スポーツセンター	67	0.0	0.0	22.4	64.2	13.4
19 荒川区子ども家庭総合センター	—	—	—	—	—	—

問 23 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「旅行」の割合が57.9%と最も高く、次いで「スポーツ・運動」の割合が51.4%、「習い事や学習活動」の割合が45.7%となっています。



II 調査結果 障がい児通所支援利用者

【年齢別】

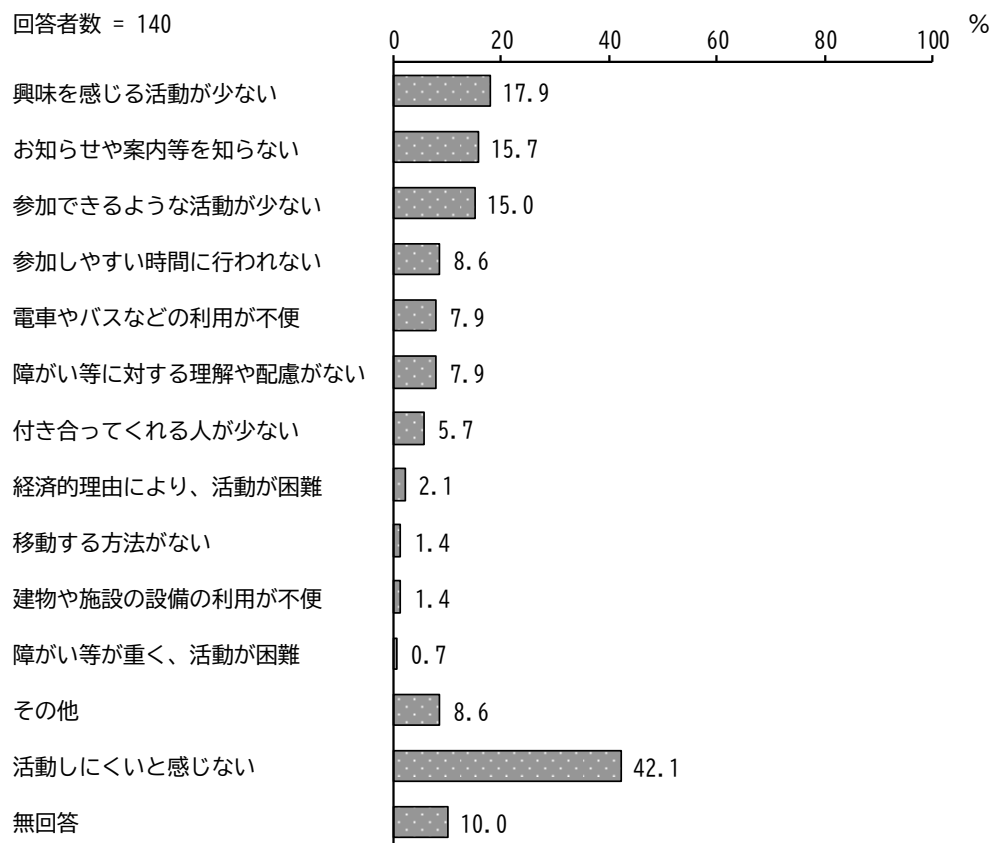
年齢別にみると、他に比べ、2歳で「特になし」の割合が、8歳で「習い事や学習活動」「料理」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	旅行	スポーツ・運動	習い事や学習活動	映画やコンサート等の鑑賞	絵画や音楽等の芸術活動	料理	その他のイベント等	区が主催するイベント等	障がい者団体等の活動	その他	特になし	活動をしたくない	無回答
全体	140	57.9	51.4	45.7	36.4	20.7	20.7	10.7	7.1	4.3	4.3	15.0	0.7	0.7
0-1歳	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-	40.0	-	20.0	-	-
2歳	11	36.4	18.2	-	9.1	9.1	18.2	-	-	-	-	45.5	-	-
3歳	9	55.6	11.1	22.2	22.2	11.1	-	22.2	-	-	11.1	22.2	-	-
4歳	24	54.2	41.7	58.3	29.2	8.3	16.7	8.3	4.2	8.3	8.3	8.3	-	-
5歳	26	61.5	69.2	57.7	42.3	38.5	26.9	23.1	11.5	-	3.8	19.2	-	-
6歳	9	66.7	66.7	55.6	33.3	33.3	11.1	11.1	22.2	-	-	11.1	-	-
7歳	8	75.0	62.5	62.5	37.5	12.5	50.0	-	-	-	-	12.5	-	-
8歳	14	64.3	64.3	71.4	57.1	28.6	42.9	7.1	14.3	7.1	14.3	7.1	-	-
9歳	6	66.7	83.3	33.3	50.0	33.3	-	33.3	16.7	-	-	-	-	-
10歳	7	71.4	71.4	85.7	100.0	28.6	28.6	-	-	-	-	-	-	-
11歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

問 24 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

「活動しにくいと感じない」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「興味を感じる活動が少ない」の割合が 17.9%、「お知らせや案内等を知らない」の割合が 15.7%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、2歳で「お知らせや案内等を知らない」の割合が、5歳で「活動しにくいと感じない」の割合が、8歳で「参加できるような活動が少ない」の割合が高くなっています。

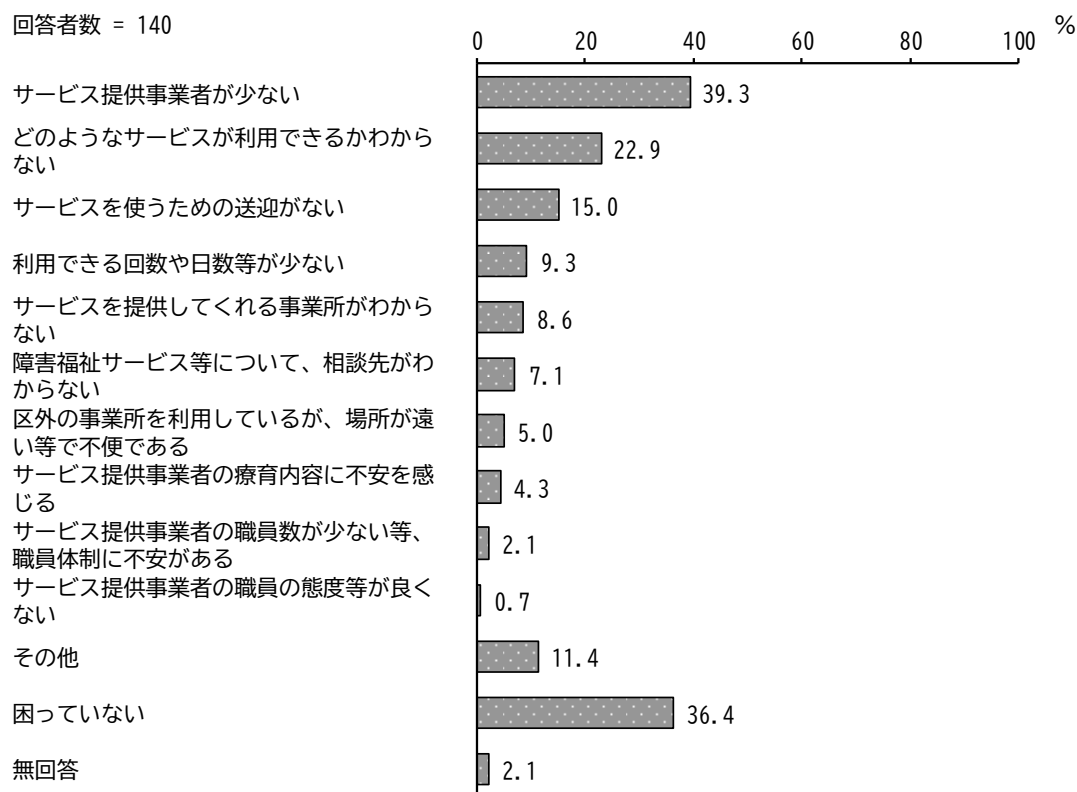
単位：%

区分	回答者数(件)	興味を感じる活動が少ない	お知らせや案内等を知らない	参加できるような活動が少ない	参加しやすい時間に行われない	電車やバスなどの利用が不便	障がい等に対する理解や配慮がない	障がい等に対する人が少ない	付き合ってくれる人が少ない	活動が困難	経済的理由により、活動が困難	移動する方法がない	建物や施設の設備の利用が不便	障がい等が重く、活動が困難	その他	活動しにくいと感じない	無回答
全体	140	17.9	15.7	15.0	8.6	7.9	7.9	5.7	2.1	1.4	1.4	0.7	8.6	42.1	10.0		
0-1歳	5	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	20.0	20.0		
2歳	11	18.2	36.4	18.2	18.2	27.3	9.1	9.1	-	-	9.1	-	-	36.4	9.1		
3歳	9	22.2	44.4	11.1	-	22.2	11.1	-	11.1	11.1	11.1	-	-	22.2	-		
4歳	24	12.5	8.3	12.5	16.7	4.2	8.3	4.2	-	-	-	-	16.7	37.5	20.8		
5歳	26	11.5	7.7	11.5	7.7	-	7.7	7.7	-	-	-	-	11.5	57.7	3.8		
6歳	9	11.1	11.1	11.1	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-	11.1	66.7	-		
7歳	8	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	62.5	-		
8歳	14	21.4	-	21.4	-	-	-	14.3	7.1	-	-	-	7.1	42.9	14.3		
9歳	6	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-		
10歳	7	28.6	28.6	14.3	-	14.3	28.6	-	-	-	-	-	-	28.6	14.3		
11歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-		



問 25 あなたは、障害福祉サービス等について、困っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「サービス提供事業者が少ない」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「困っていない」の割合が 36.4%、「どのようなサービスが利用できるかわからない」の割合が 22.9%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、8歳で「困っていない」の割合が、2歳で「サービスを使うための送迎がない」「サービス提供事業者が少ない」の割合が高くなっています。

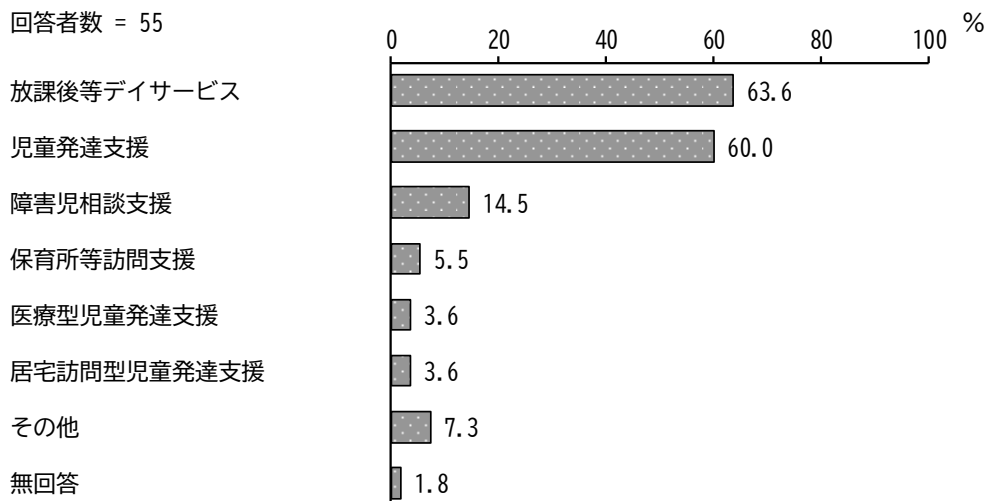
単位：%

区分	回答者数(件)	サービス提供事業者が少ない	どのようなサービスが利用できるかわからない	サービスを使うための送迎がない	利用できる回数や日数等が少ない	サービスを提供してくれる事業所がわからない	障害福祉サービス等について、相談先がわからない	障害福祉サービス等について、場所が遠い等で不便である	区外の事業所を利用しているが、場所が遠い等で不便である	サービス提供事業者の療育内容に不安を感じる	少ない等、職員体制に不安がある	サービス提供事業者の職員の態度等が良くない	その他	困っていない	無回答
全体	140	39.3	22.9	15.0	9.3	8.6	7.1	5.0	4.3	2.1	0.7	11.4	36.4	2.1	
0-1歳	5	20.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-	20.0	20.0	40.0	-	
2歳	11	45.5	27.3	27.3	9.1	18.2	9.1	9.1	-	9.1	-	18.2	27.3	-	
3歳	9	22.2	33.3	11.1	22.2	11.1	-	-	-	-	-	-	55.6	-	
4歳	24	41.7	25.0	16.7	20.8	-	4.2	12.5	8.3	4.2	-	12.5	33.3	-	
5歳	26	30.8	26.9	19.2	7.7	7.7	7.7	3.8	7.7	-	-	23.1	30.8	-	
6歳	9	55.6	11.1	33.3	11.1	11.1	-	-	-	-	-	11.1	44.4	-	
7歳	8	62.5	12.5	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	37.5	-	
8歳	14	14.3	7.1	-	-	-	14.3	-	-	-	-	7.1	57.1	7.1	
9歳	6	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-	-	50.0	-	
10歳	7	42.9	42.9	-	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	42.9	14.3	
11歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	

問 26 (問 25 で「サービス提供事業者が少ない」に○をつけた方のみお答えください。) 少ないと感じるサービスは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

「放課後等デイサービス」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「児童発達支援」の割合が 60.0%、「障害児相談支援」の割合が 14.5%となっています。

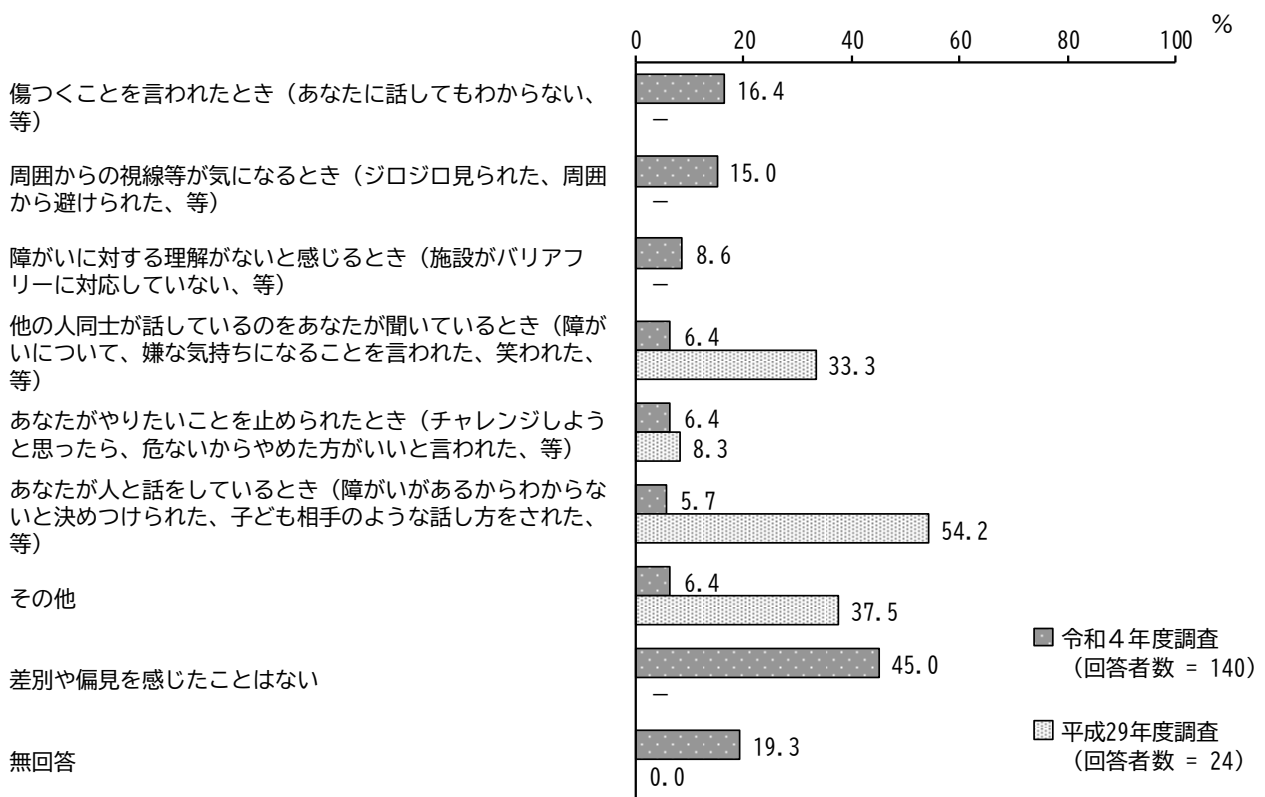
回答者数 = 55



問 27 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。）（〇はいくつでも）

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が45.0%と最も高く、次いで「傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）」の割合が16.4%、「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」の割合が15.0%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）」「あなたが人と話をしているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、4歳で「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」「差別や偏見を感じたことはない」の割合が、8歳で「傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）」の割合が高くなっています。

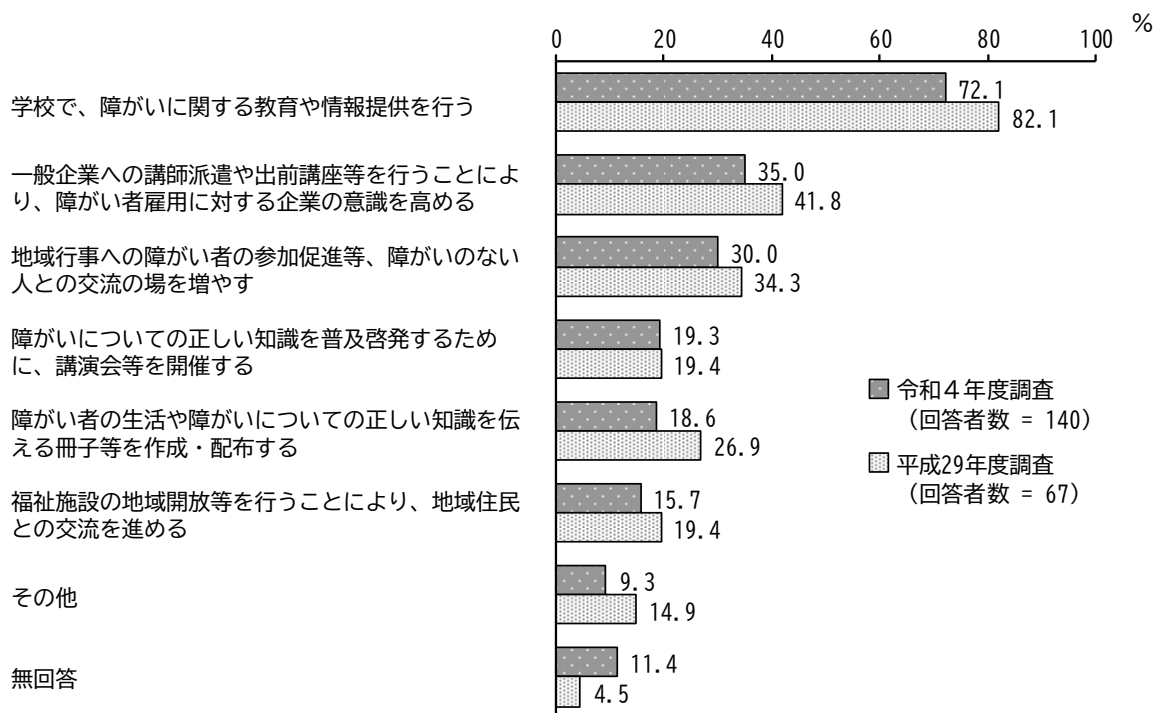
単位：%

区分	回答者数(件)	傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)	周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)	障がいに対する理解がないと感じるとき(施設がバリアフリーに対応していない、等)	他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)	あなたが話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)	あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等)	あなたが話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)	あなたが話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)	あなたが話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)	あなたが話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)
全体	140	16.4	15.0	8.6	6.4	6.4	5.7	6.4	45.0	19.3	
0-1歳	5	-	-	-	-	-	-	-	60.0	40.0	
2歳	11	-	18.2	18.2	18.2	-	-	9.1	27.3	27.3	
3歳	9	11.1	11.1	-	-	11.1	-	11.1	44.4	22.2	
4歳	24	16.7	20.8	12.5	4.2	4.2	12.5	8.3	50.0	12.5	
5歳	26	19.2	15.4	7.7	3.8	-	-	3.8	46.2	15.4	
6歳	9	22.2	22.2	11.1	-	11.1	11.1	-	55.6	11.1	
7歳	8	25.0	-	-	-	-	-	-	62.5	12.5	
8歳	14	21.4	14.3	7.1	14.3	14.3	14.3	14.3	42.9	21.4	
9歳	6	16.7	-	-	-	16.7	-	-	50.0	33.3	
10歳	7	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	57.1	-	
11歳	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	

問 28 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が重要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が72.1%と最も高く、次いで「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が35.0%、「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が30.0%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」「障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、4歳で「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が高くなっています。

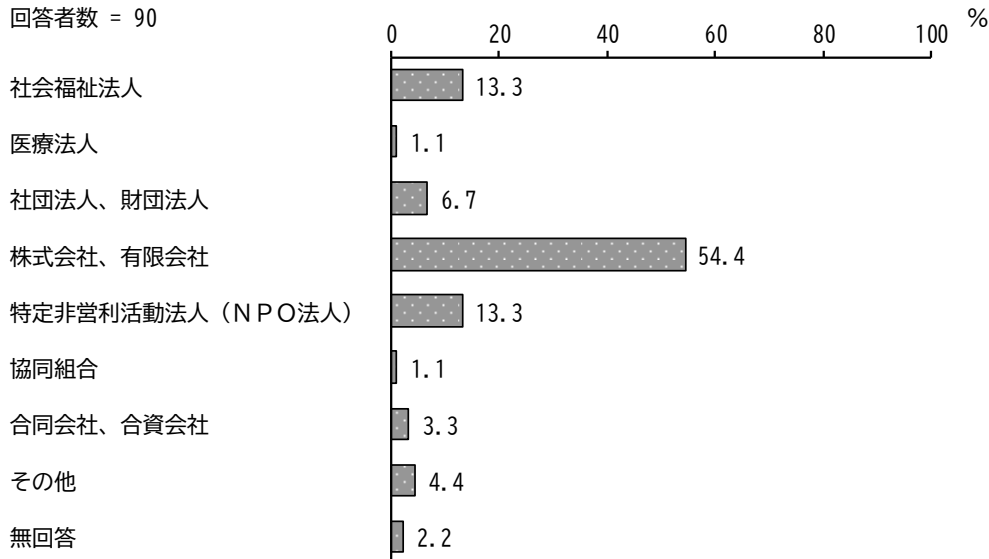
単位：%

区分	回答者数(件)	学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う	一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める	地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす	障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する	障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する	福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める	その他	無回答
全 体	140	72.1	35.0	30.0	19.3	18.6	15.7	9.3	11.4
0-1歳	5	60.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0	-	40.0
2歳	11	63.6	27.3	36.4	27.3	18.2	-	27.3	9.1
3歳	9	66.7	22.2	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	-
4歳	24	66.7	45.8	41.7	20.8	12.5	33.3	8.3	8.3
5歳	26	65.4	38.5	34.6	19.2	23.1	3.8	11.5	15.4
6歳	9	88.9	22.2	11.1	11.1	-	22.2	11.1	11.1
7歳	8	100.0	75.0	37.5	-	25.0	25.0	-	-
8歳	14	64.3	42.9	21.4	14.3	21.4	14.3	7.1	21.4
9歳	6	100.0	-	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-
10歳	7	85.7	57.1	42.9	57.1	14.3	28.6	14.3	-
11歳	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-

## 9 障害福祉サービス等事業所調査の結果

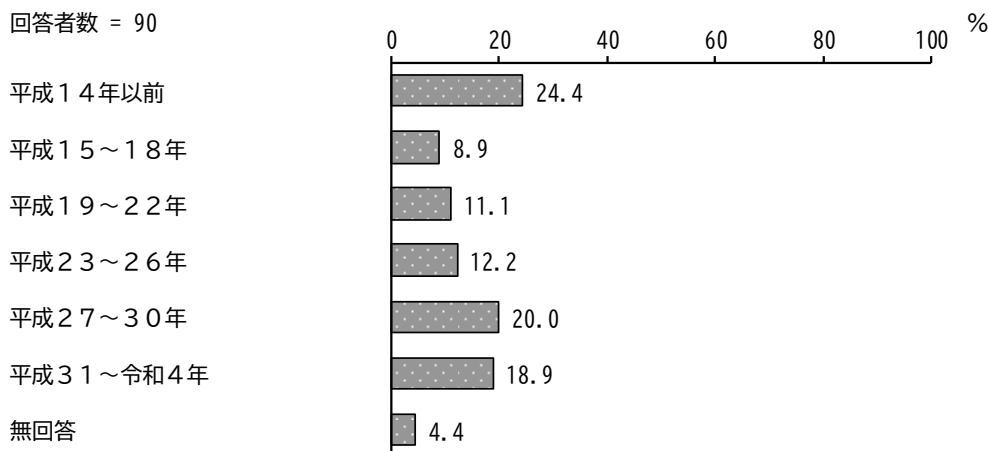
### 問1 貴事業所の経営主体をお答えください。(○は1つ)

「株式会社、有限会社」の割合が54.4%と最も高く、次いで「社会福祉法人」、「特定非営利活動法人（NPO法人）」の割合が13.3%となっています。



### 問2 貴事業者の開業年をお答えください。(○は1つ)

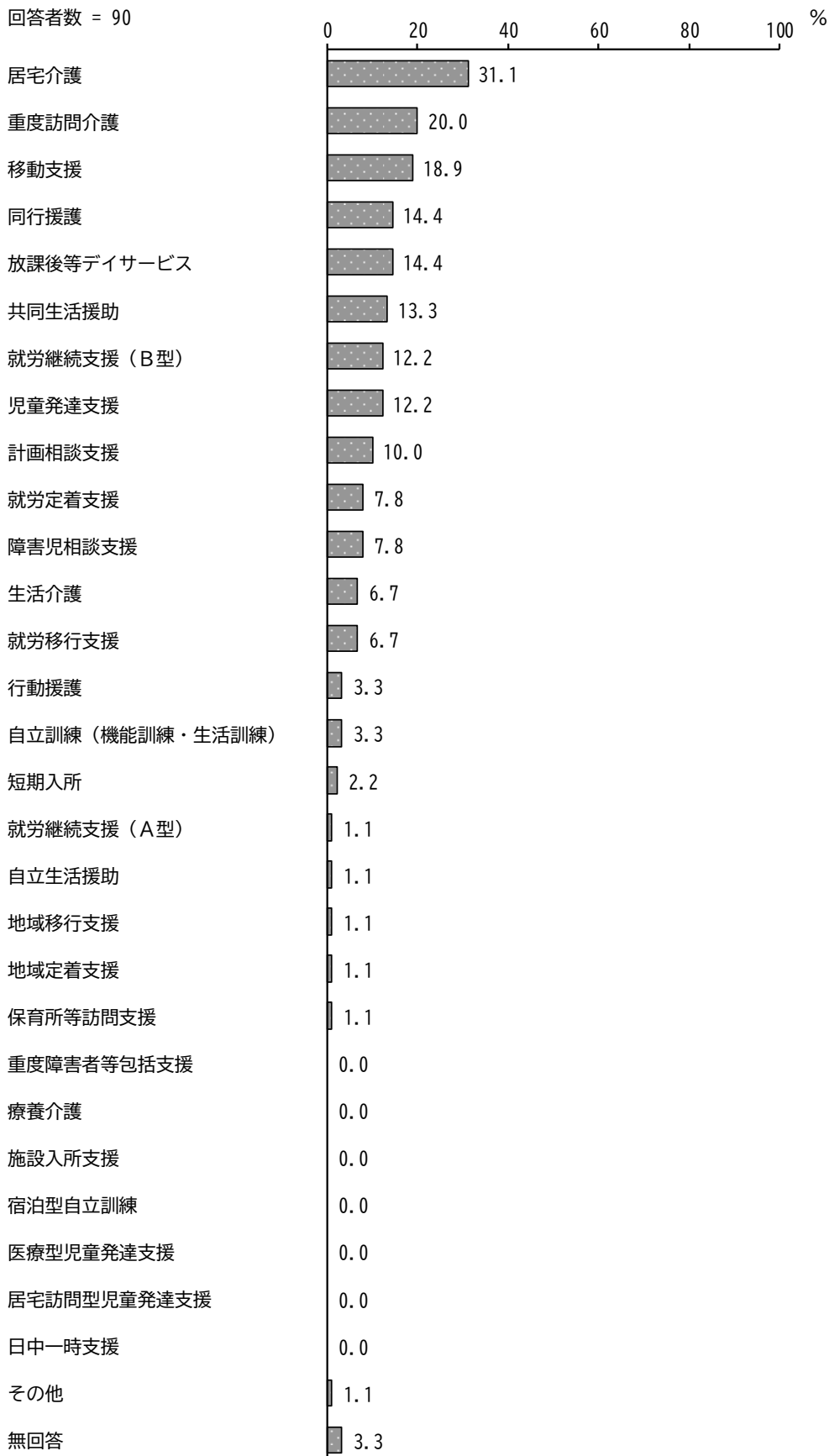
「平成14年以前」の割合が24.4%と最も高く、次いで「平成27～30年」の割合が20.0%、「平成31～令和4年」の割合が18.9%となっています。





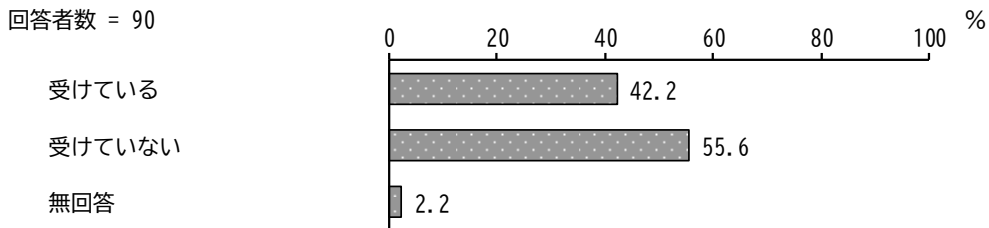
問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス等をお答えください。  
(〇はいくつでも)

「居宅介護」の割合が31.1%と最も高く、次いで「重度訪問介護」の割合が20.0%、「移動支援」の割合が18.9%となっています。



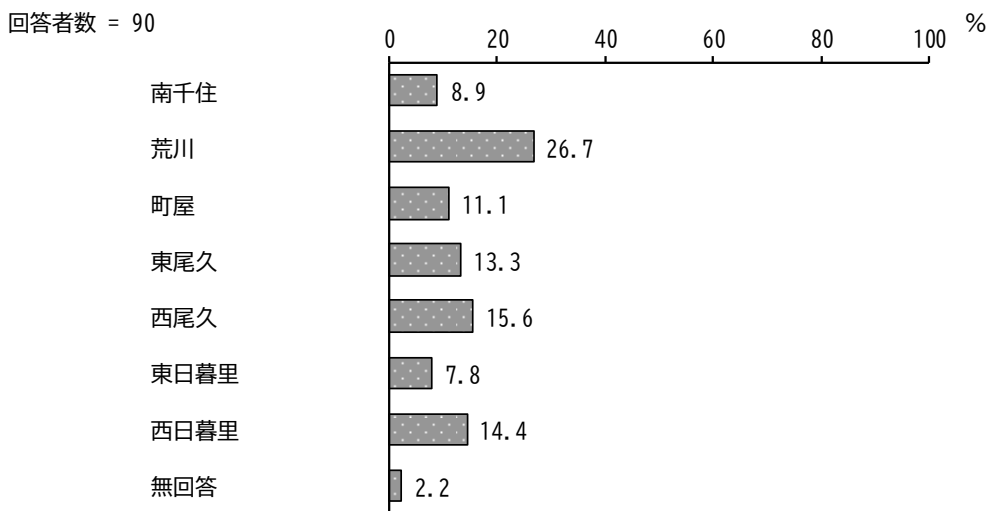
**問4 貴事業所は介護保険サービスの指定を受けていますか。(〇は1つ)**

「受けている」の割合が42.2%、「受けていない」の割合が55.6%となっています。



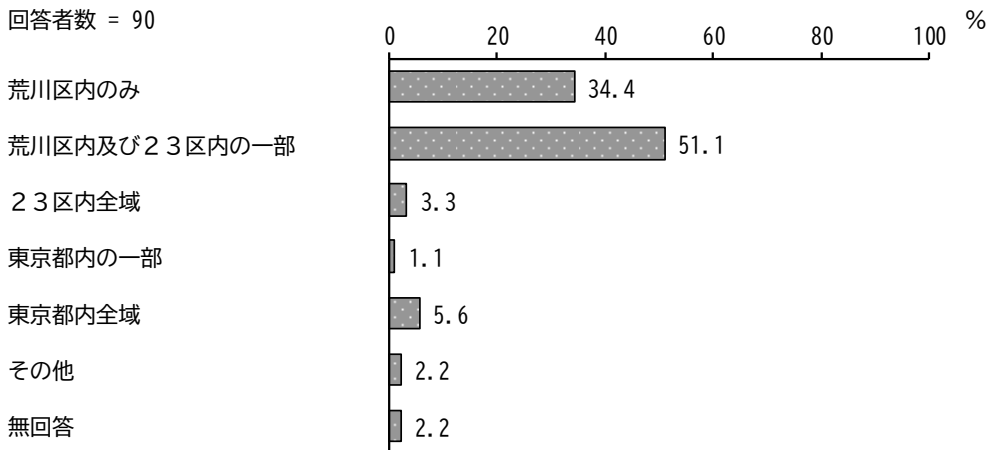
**問5 貴事業所の所在地をお答えください。(〇は1つ)**

「荒川」の割合が26.7%と最も高く、次いで「西尾久」の割合が15.6%、「西日暮里」の割合が14.4%となっています。



**問6 貴事業所が事業の実施区域としている区域をお答えください。(〇は1つ)**

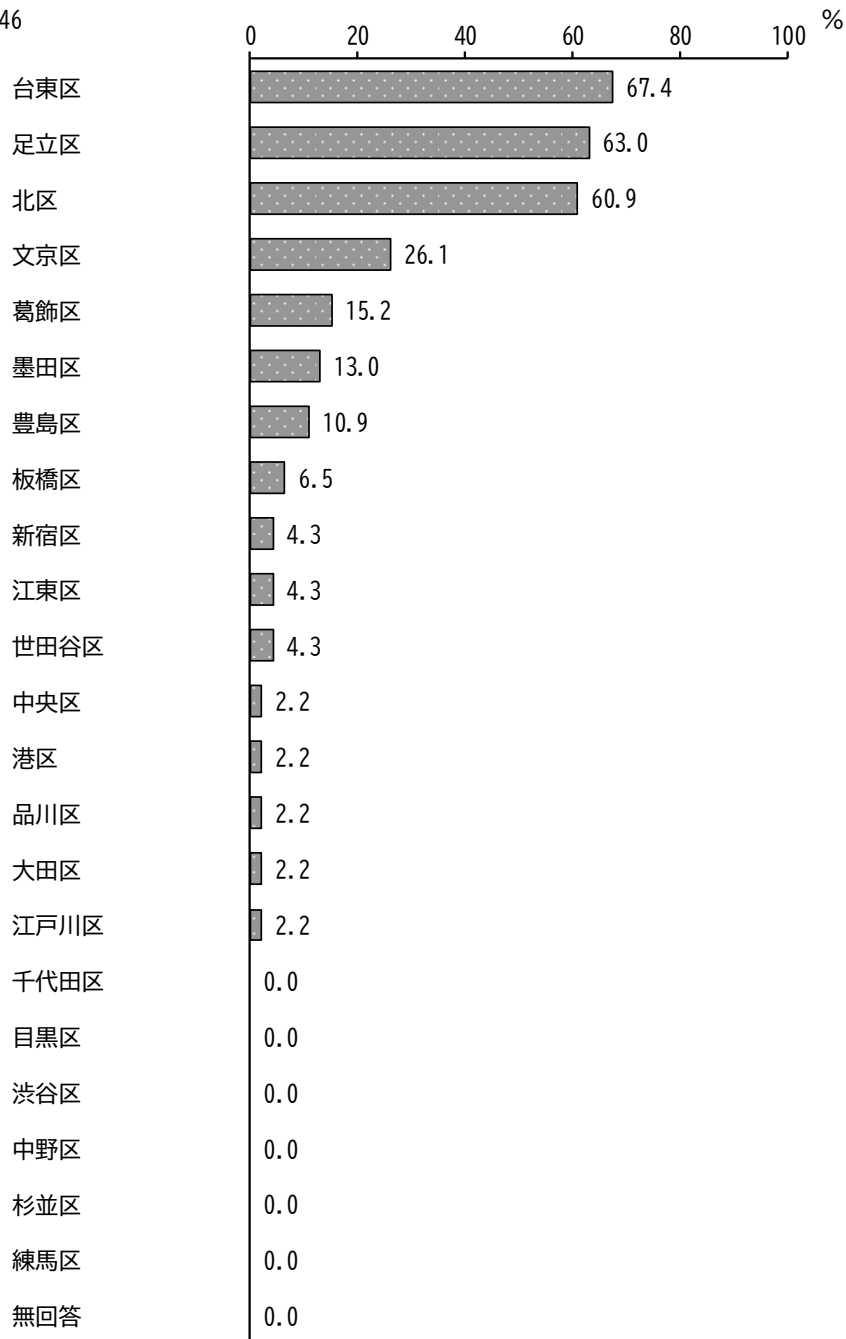
「荒川区内及び23区内の一部」の割合が51.1%と最も高く、次いで「荒川区内のみ」の割合が34.4%となっています。



問7 (問6で「2 荒川区内及び23区内の一部」に○をつけた事業所のみお答えください。) 貴事業所が事業の実施区域としている23区はどこですか。  
(○はいくつでも)

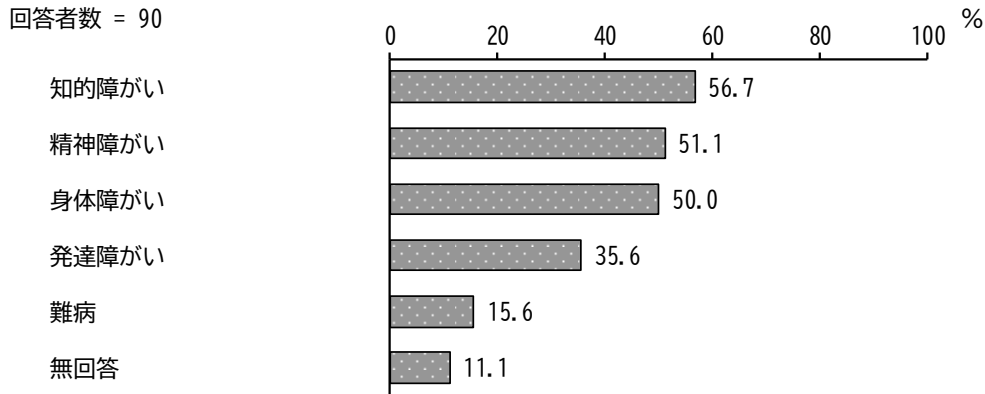
「台東区」の割合が67.4%と最も高く、次いで「足立区」の割合が63.0%、「北区」の割合が60.9%となっています。

回答者数 = 46



問8 貴事業所でサービスを提供している利用者数（契約者数）について、障がい別にお答えください。該当する選択肢に○をし、（ ）内に人数を記載ください。なお、重複障がいの方については、主たる障がいについてお答えください。  
（○はいくつでも）

「知的障がい」の割合が56.7%と最も高く、次いで「精神障がい」の割合が51.1%、「身体障がい」の割合が50.0%となっています。



	契約者数（平均）	うち児童（平均）
身体障がい	8.57人	2.91人
知的障がい	25.65人	17.17人
精神障がい	17.51人	0.73人
発達障がい	21.61人	26.81人
難病	3.18人	2.11人

【サービス種別】

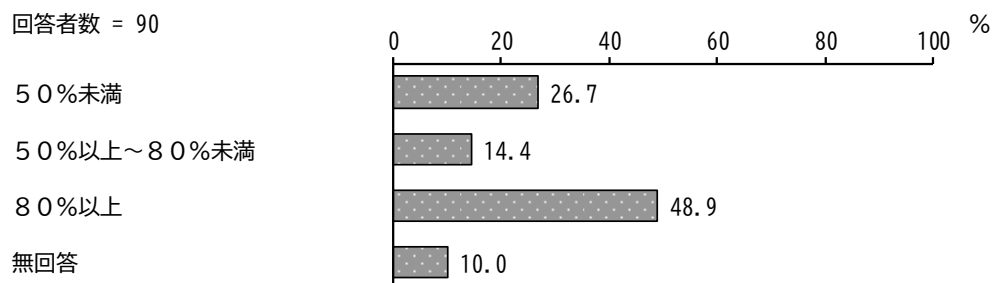
サービス種別にみると、他に比べ、児童発達支援で「発達障がい」の割合が、居宅介護や同行援護、重度訪問介護で「身体障がい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	知的障がい	精神障がい	身体障がい	発達障がい	難病	無回答
全体	90	56.7	51.1	50.0	35.6	15.6	11.1
居宅介護	28	46.4	50.0	85.7	25.0	21.4	14.3
重度訪問介護	18	38.9	50.0	83.3	16.7	16.7	16.7
同行援護	13	69.2	69.2	84.6	23.1	30.8	15.4
行動援護	3	66.7	66.7	100.0	—	33.3	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—	—
短期入所	2	100.0	100.0	50.0	—	50.0	—
療養介護	—	—	—	—	—	—	—
生活介護	6	66.7	—	83.3	—	33.3	16.7
施設入所支援	—	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	3	—	100.0	—	—	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	83.3	83.3	83.3	66.7	16.7	—
就労継続支援（A型）	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0	—
就労継続支援（B型）	11	63.6	81.8	45.5	18.2	—	—
就労定着支援	7	42.9	85.7	28.6	42.9	14.3	—
共同生活援助	12	50.0	58.3	8.3	16.7	8.3	8.3
自立生活援助	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
地域移行支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
地域定着支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
計画相談支援	9	88.9	88.9	66.7	66.7	33.3	—
障害児相談支援	7	85.7	85.7	71.4	57.1	42.9	—
児童発達支援	11	72.7	9.1	72.7	72.7	36.4	—
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	84.6	30.8	53.8	61.5	38.5	7.7
保育所等訪問支援	1	100.0	—	100.0	100.0	100.0	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—
移動支援	17	58.8	52.9	82.4	29.4	23.5	17.6
日中一時支援	—	—	—	—	—	—	—
その他	1	—	—	—	—	—	100.0

問9 問8でご回答いただいた内容のうち、荒川区で支給決定を受けた方の割合について、お答えください。(〇は1つ)

「80%以上」の割合が48.9%と最も高く、次いで「50%未満」の割合が26.7%、「50%以上～80%未満」の割合が14.4%となっています。



【サービス種別】

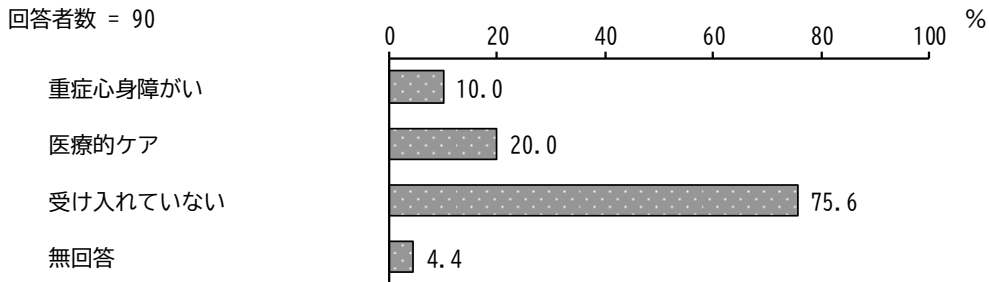
サービス種別にみると、他に比べ、同行援護で「80%以上」の割合が、児童発達支援で「50%未満」の割合が、放課後等デイサービスで「50%以上～80%未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	50%未満	50%以上 80%未満	80%以上	無回答
全体	90	26.7	14.4	48.9	10.0
居宅介護	28	10.7	7.1	71.4	10.7
重度訪問介護	18	11.1	11.1	66.7	11.1
同行援護	13	7.7	7.7	76.9	7.7
行動援護	3	—	—	100.0	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—
短期入所	2	—	—	100.0	—
療養介護	—	—	—	—	—
生活介護	6	33.3	—	50.0	16.7
施設入所支援	—	—	—	—	—
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	3	66.7	—	33.3	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	83.3	—	16.7	—
就労継続支援(A型)	1	—	100.0	—	—
就労継続支援(B型)	11	36.4	9.1	54.5	—
就労定着支援	7	57.1	—	42.9	—
共同生活援助	12	41.7	16.7	33.3	8.3
自立生活援助	1	—	100.0	—	—
地域移行支援	1	—	100.0	—	—
地域定着支援	1	—	100.0	—	—
計画相談支援	9	11.1	11.1	77.8	—
障害児相談支援	7	—	14.3	85.7	—
児童発達支援	11	54.5	9.1	36.4	—
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	30.8	38.5	23.1	7.7
保育所等訪問支援	1	100.0	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—
移動支援	17	5.9	11.8	70.6	11.8
日中一時支援	—	—	—	—	—
その他	1	—	—	—	100.0

問10 問8でご回答いただいた内容について、貴事業所で重症心身障がい又は医療行為を必要とする状態（以下「医療的ケア」という。）にある方の受入れ状況をお答えください。なお、重複する場合は、医療的ケアの項目に記載ください。  
 (〇はいくつでも)

「受け入れていない」の割合が75.6%と最も高く、次いで「医療的ケア」の割合が20.0%、「重症心身障がい」の割合が10.0%となっています。



	受け入れ者数 (平均)	うち児童 (平均)
重症心身障がい	9.63 人	6.67 人
医療的ケア	4.44 人	2.38 人



【サービス種別】

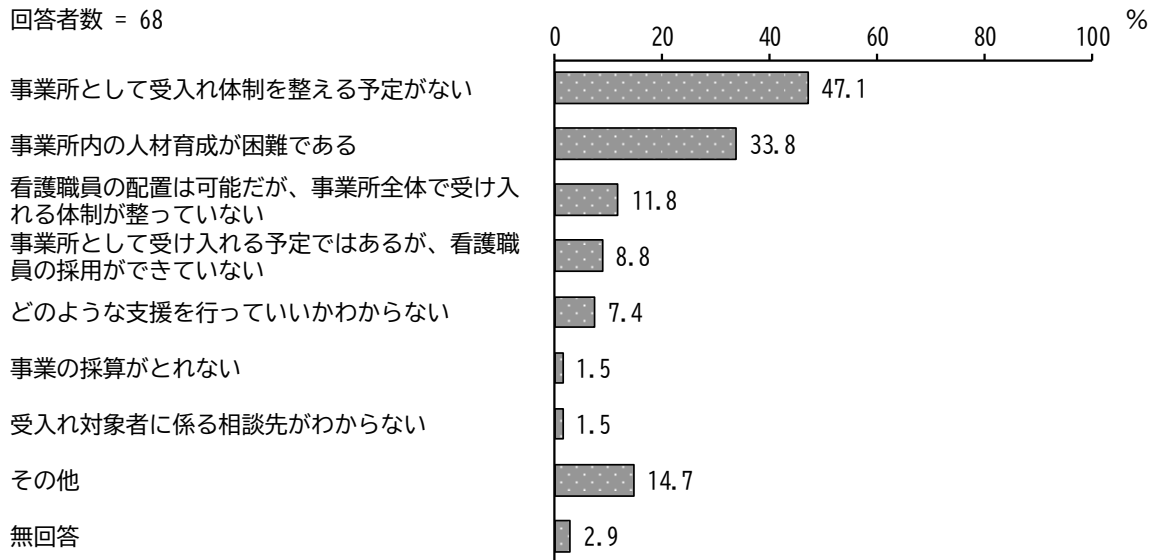
サービス種別にみると、他に比べ、児童発達支援で「医療的ケア」「重症心身障がい」の割合が、就労継続支援（B型）で「受け入れていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	受け入れてい ない	医療的ケ ア	重症心身障 がい	無回 答
全 体	90	75.6	20.0	10.0	4.4
居宅介護	28	75.0	21.4	10.7	3.6
重度訪問介護	18	66.7	27.8	11.1	5.6
同行援護	13	53.8	38.5	23.1	7.7
行動援護	3	100.0	—	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—
短期入所	2	100.0	—	—	—
療養介護	—	—	—	—	—
生活介護	6	33.3	66.7	33.3	—
施設入所支援	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	3	100.0	—	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	100.0	—	—	—
就労継続支援（A型）	1	100.0	—	—	—
就労継続支援（B型）	11	100.0	—	—	—
就労定着支援	7	100.0	—	—	—
共同生活援助	12	83.3	8.3	—	8.3
自立生活援助	1	—	100.0	100.0	—
地域移行支援	1	—	100.0	100.0	—
地域定着支援	1	—	100.0	100.0	—
計画相談支援	9	55.6	44.4	33.3	—
障害児相談支援	7	42.9	57.1	42.9	—
児童発達支援	11	36.4	63.6	45.5	—
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	69.2	30.8	30.8	—
保育所等訪問支援	1	—	100.0	100.0	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—
移動支援	17	64.7	29.4	11.8	5.9
日中一時支援	—	—	—	—	—
その他	1	—	—	—	100.0

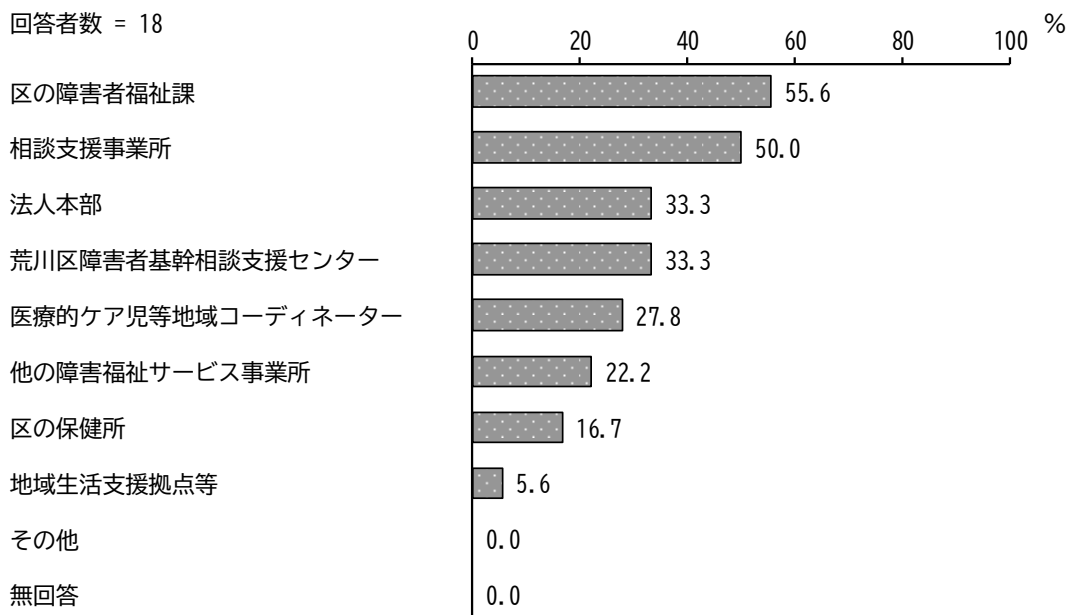
問 11 (問 10 で「3 受け入れていない」に○をつけた事業所のみお答えください。) 貴事業所で重症心身障がい又医療的ケアが必要な方の受入れを行っていない理由をお答えください。(○はいくつでも)

「事業所として受入れ体制を整える予定がない」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「事業所内の人材育成が困難である」の割合が 33.8%、「看護職員の配置は可能だが、事業所全体で受け入れる体制が整っていない」の割合が 11.8%となっています。



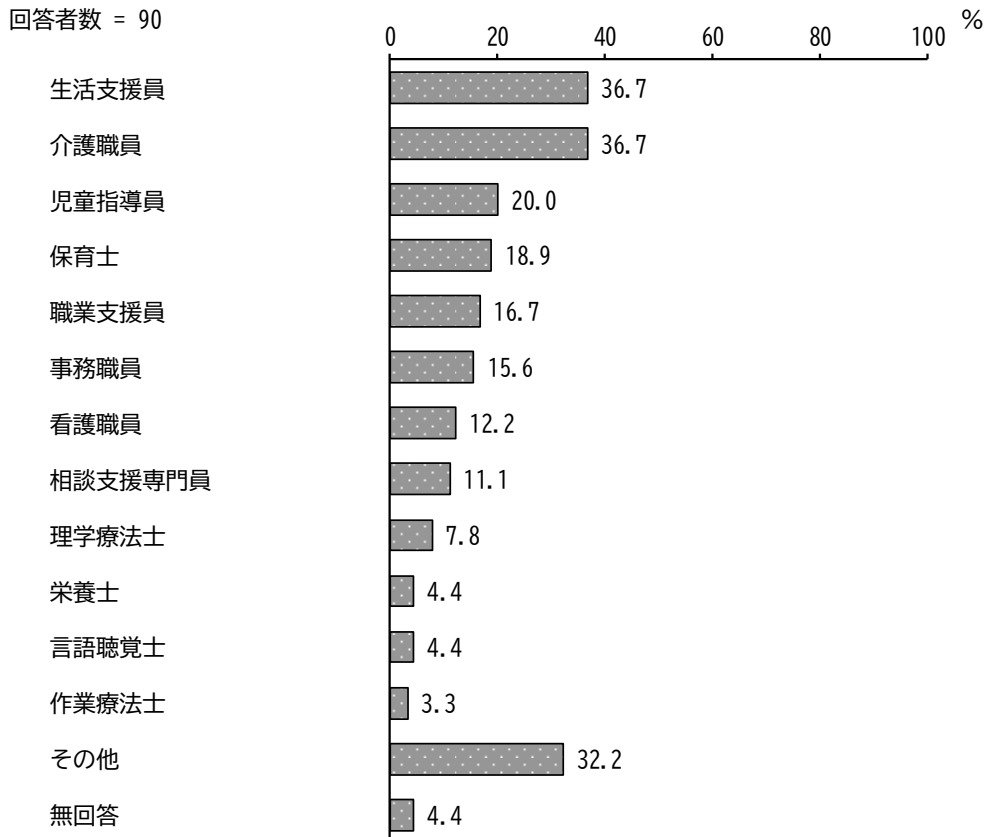
問 12 (問 10 で「1 重症心身障がい」又は「2 医療的ケア」に○をつけた事業所のみお答えください。) 貴事業所で重症心身障がい又医療的ケアが必要な方の支援等について、困った時の相談先をお答えください。(○はいくつでも)

「区の障害者福祉課」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「相談支援事業所」の割合が 50.0%、「法人本部」、「荒川区障害者基幹相談支援センター」の割合が 33.3%となっています。



問 13 貴事業所の職種別職員数をお答えください。(〇はいくつでも)

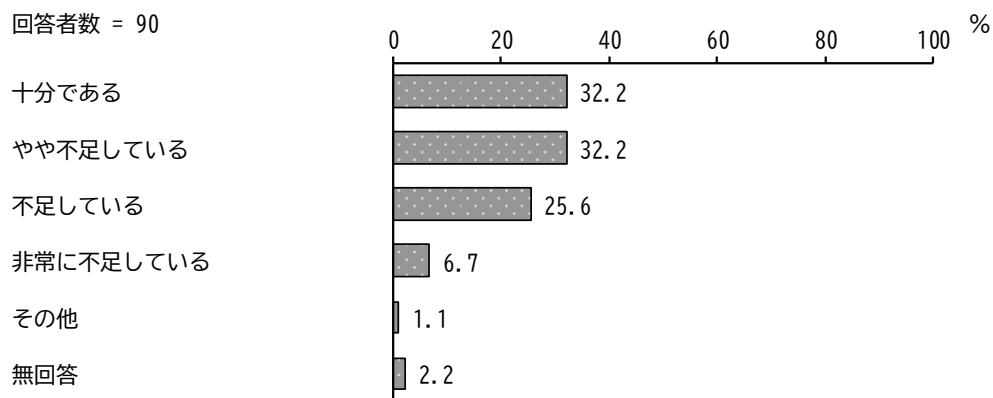
「生活支援員」、「介護職員」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「児童指導員」の割合が 20.0%となっています。



	職種別職員数 (平均)
生活支援員	6.97 人
介護職員	11.78 人
看護職員	3.09 人
栄養士	1.00 人
理学療法士	1.43 人
作業療法士	2.00 人
言語聴覚士	1.25 人
職業支援員	2.73 人
児童指導員	3.50 人
保育士	2.47 人
相談支援専門員	4.50 人
事務職員	1.64 人

問 14 貴事業所の職員の充足状況をお答えください。(○は1つ)

「十分である」、「やや不足している」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「不足している」の割合が 25.6%となっています。



【サービス種別】

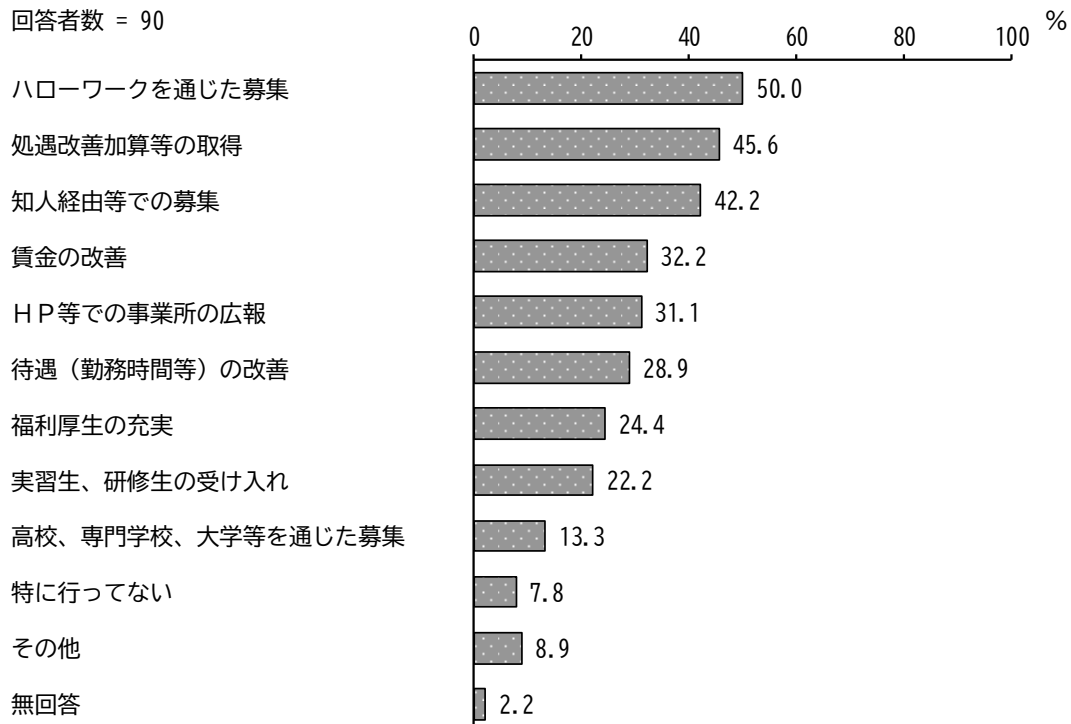
サービス種別にみると、他に比べ、児童発達支援で「十分である」の割合が、移動支援で「不足している」の割合が、就労継続支援（B型）で「やや不足している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	十分である	やや不足している	不足している	非常に不足している	その他	無回答
全 体	90	32.2	32.2	25.6	6.7	1.1	2.2
居宅介護	28	10.7	32.1	35.7	21.4	—	—
重度訪問介護	18	5.6	38.9	33.3	22.2	—	—
同行援護	13	15.4	23.1	38.5	23.1	—	—
行動援護	3	—	33.3	33.3	33.3	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—	—
短期入所	2	—	—	50.0	50.0	—	—
療養介護	—	—	—	—	—	—	—
生活介護	6	16.7	50.0	33.3	—	—	—
施設入所支援	—	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	3	66.7	33.3	—	—	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	50.0	50.0	—	—	—	—
就労継続支援（A型）	1	—	100.0	—	—	—	—
就労継続支援（B型）	11	36.4	45.5	9.1	—	9.1	—
就労定着支援	7	57.1	28.6	14.3	—	—	—
共同生活援助	12	33.3	41.7	16.7	8.3	—	—
自立生活援助	1	—	—	100.0	—	—	—
地域移行支援	1	—	—	100.0	—	—	—
地域定着支援	1	—	—	100.0	—	—	—
計画相談支援	9	11.1	22.2	55.6	11.1	—	—
障害児相談支援	7	14.3	—	71.4	14.3	—	—
児童発達支援	11	54.5	18.2	27.3	—	—	—
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	23.1	30.8	30.8	7.7	—	7.7
保育所等訪問支援	1	—	100.0	—	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—
移動支援	17	11.8	29.4	41.2	17.6	—	—
日中一時支援	—	—	—	—	—	—	—
その他	1	100.0	—	—	—	—	—

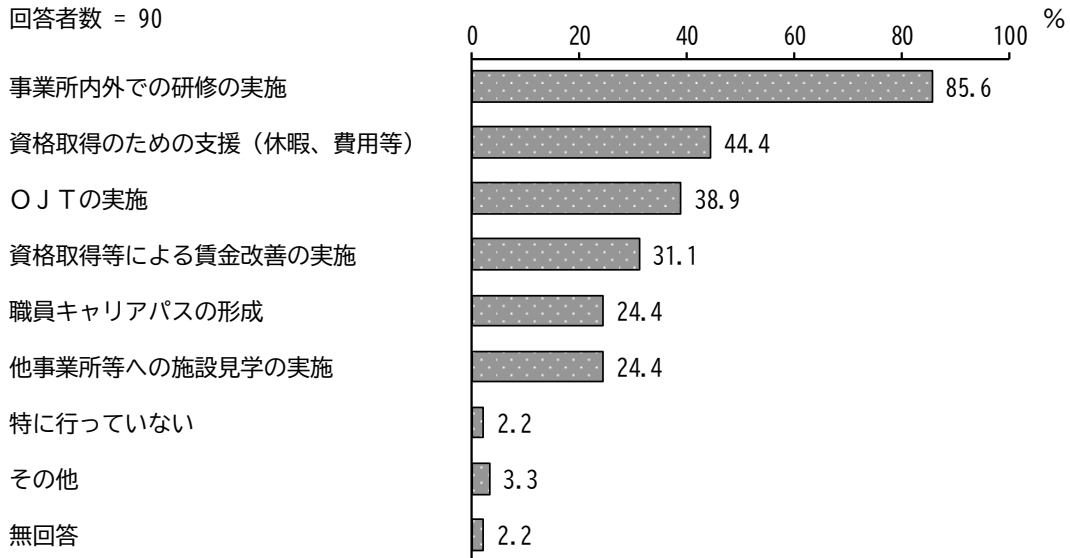
問 15 貴事業所の人材確保のための取り組みについてお答えください。  
(〇はいくつでも)

「ハローワークを通じた募集」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「処遇改善加算等の取得」の割合が 45.6%、「知人経由等での募集」の割合が 42.2%となっています。



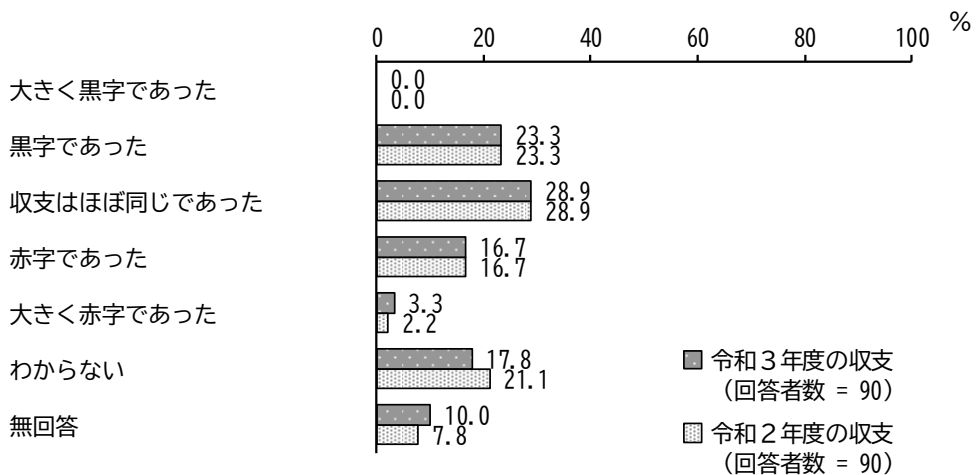
問 16 貴事業所の人材育成のための取り組みについてお答えください。  
 (〇はいくつでも)

「事業所内外での研修の実施」の割合が 85.6%と最も高く、次いで「資格取得のための支援(休暇、費用等)」の割合が 44.4%、「OJTの実施」の割合が 38.9%となっています。



問 17 貴事業所の障がい者支援に関する事業について、過去2年度の収支についてそれぞれお答えください。(〇は年度ごとに1つ)

過去2年度の収支をみると、大きな差はみられません。



令和3年度

【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、重度訪問介護や同行援護、移動支援で「赤字であった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	大きく黒字であった	黒字であった	収支はほぼ同じであった	赤字であった	大きく赤字であった	わからない	無回答
全体	90	－	23.3	28.9	16.7	3.3	17.8	10.0
居宅介護	28	－	10.7	32.1	32.1	3.6	14.3	7.1
重度訪問介護	18	－	11.1	33.3	50.0	－	－	5.6
同行援護	13	－	15.4	30.8	38.5	－	15.4	－
行動援護	3	－	－	66.7	－	－	33.3	－
重度障害者等包括支援	－	－	－	－	－	－	－	－
短期入所	2	－	－	－	－	－	100.0	－
療養介護	－	－	－	－	－	－	－	－
生活介護	6	－	－	33.3	－	－	33.3	33.3
施設入所支援	－	－	－	－	－	－	－	－
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	3	－	－	100.0	－	－	－	－
宿泊型自立訓練	－	－	－	－	－	－	－	－
就労移行支援	6	－	33.3	16.7	33.3	－	16.7	－
就労継続支援(A型)	1	－	－	100.0	－	－	－	－
就労継続支援(B型)	11	－	36.4	36.4	9.1	－	9.1	9.1
就労定着支援	7	－	57.1	14.3	14.3	－	14.3	－
共同生活援助	12	－	16.7	16.7	16.7	16.7	25.0	8.3
自立生活援助	1	－	100.0	－	－	－	－	－
地域移行支援	1	－	100.0	－	－	－	－	－
地域定着支援	1	－	100.0	－	－	－	－	－
計画相談支援	9	－	33.3	11.1	22.2	－	33.3	－
障害児相談支援	7	－	42.9	－	14.3	－	42.9	－
児童発達支援	11	－	27.3	27.3	－	－	18.2	27.3
医療型児童発達支援	－	－	－	－	－	－	－	－
放課後等デイサービス	13	－	23.1	30.8	7.7	－	15.4	23.1
保育所等訪問支援	1	－	－	100.0	－	－	－	－
居宅訪問型児童発達支援	－	－	－	－	－	－	－	－
移動支援	17	－	5.9	29.4	41.2	5.9	11.8	5.9
日中一時支援	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	1	－	－	100.0	－	－	－	－



## 令和2年度

## 【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、重度訪問介護や同行援護、移動支援「収支はほぼ同じであった」の割合が高くなっています。

単位：％

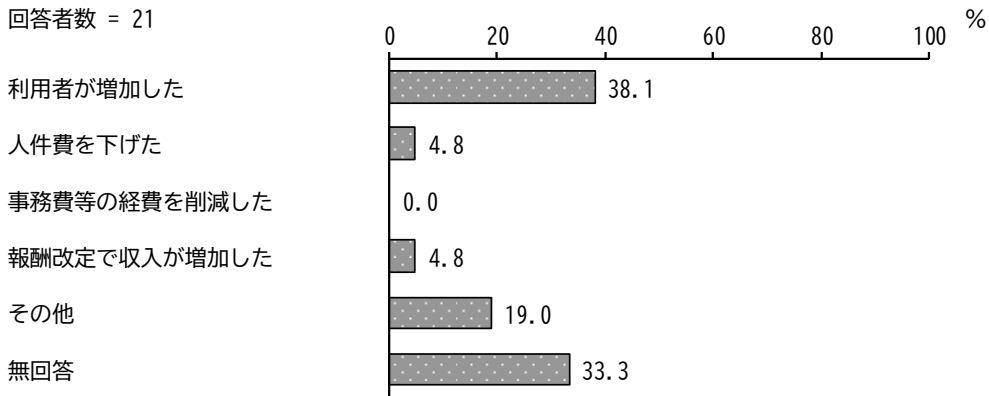
区分	回答者数(件)	大きく黒字であった	黒字であった	収支はほぼ同じであった	赤字であった	大きく赤字であった	わからない	無回答
全体	90	－	23.3	28.9	16.7	2.2	21.1	7.8
居宅介護	28	－	7.1	50.0	21.4	－	14.3	7.1
重度訪問介護	18	－	11.1	55.6	27.8	－	－	5.6
同行援護	13	－	15.4	38.5	30.8	－	15.4	－
行動援護	3	－	－	66.7	－	－	33.3	－
重度障害者等包括支援	－	－	－	－	－	－	－	－
短期入所	2	－	－	－	－	－	100.0	－
療養介護	－	－	－	－	－	－	－	－
生活介護	6	－	33.3	33.3	－	－	33.3	－
施設入所支援	－	－	－	－	－	－	－	－
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	3	－	66.7	33.3	－	－	－	－
宿泊型自立訓練	－	－	－	－	－	－	－	－
就労移行支援	6	－	33.3	16.7	16.7	－	33.3	－
就労継続支援(A型)	1	－	－	－	100.0	－	－	－
就労継続支援(B型)	11	－	36.4	27.3	9.1	－	18.2	9.1
就労定着支援	7	－	57.1	14.3	14.3	－	14.3	－
共同生活援助	12	－	33.3	8.3	16.7	8.3	33.3	－
自立生活援助	1	－	100.0	－	－	－	－	－
地域移行支援	1	－	100.0	－	－	－	－	－
地域定着支援	1	－	100.0	－	－	－	－	－
計画相談支援	9	－	11.1	11.1	33.3	11.1	33.3	－
障害児相談支援	7	－	14.3	－	28.6	14.3	42.9	－
児童発達支援	11	－	36.4	9.1	18.2	－	18.2	18.2
医療型児童発達支援	－	－	－	－	－	－	－	－
放課後等デイサービス	13	－	23.1	23.1	15.4	－	23.1	15.4
保育所等訪問支援	1	－	－	－	100.0	－	－	－
居宅訪問型児童発達支援	－	－	－	－	－	－	－	－
移動支援	17	－	－	52.9	29.4	－	11.8	5.9
日中一時支援	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	1	－	－	100.0	－	－	－	－

問 18 問 17 の収支の状況を受けて、黒字又は赤字等の理由についてお答えください。  
 (〇は年度ごとに1つ)

令和2年度の収支状況の理由

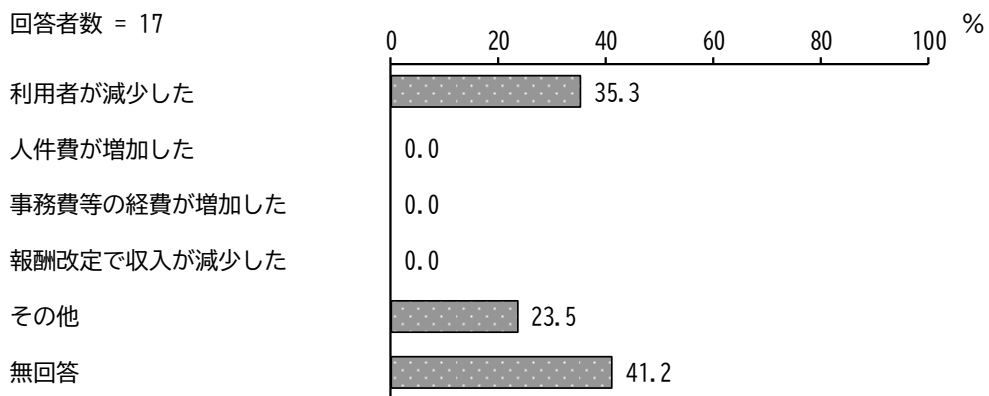
【黒字】

「利用者が増加した」の割合が 38.1%と最も高くなっています。



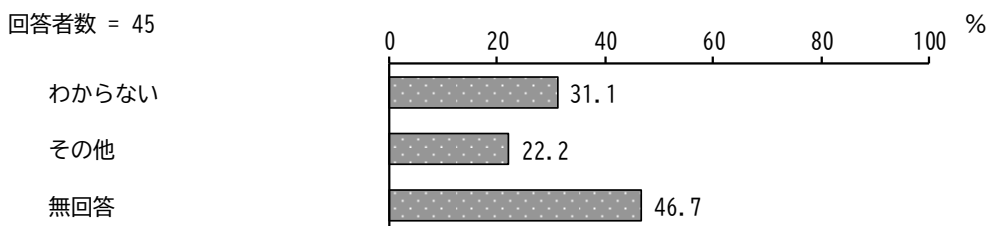
【赤字】

「利用者が減少した」の割合が 35.3%と最も高くなっています。



【その他】

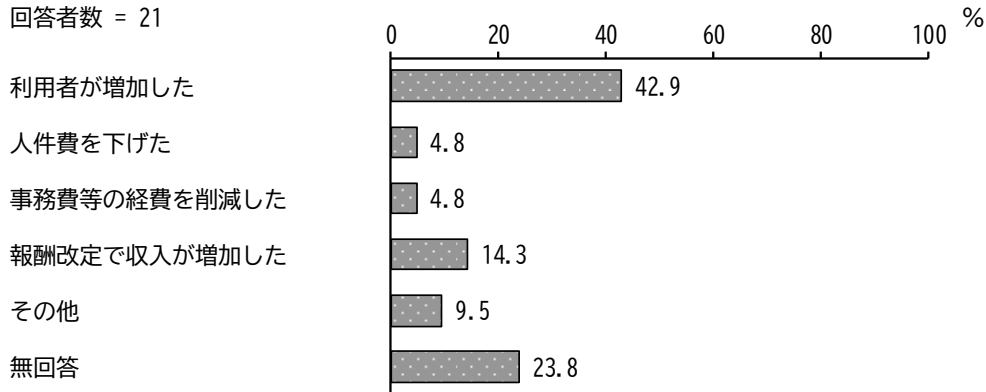
「わからない」の割合が 31.1%と最も高くなっています。



### 令和3年度の収支状況の理由

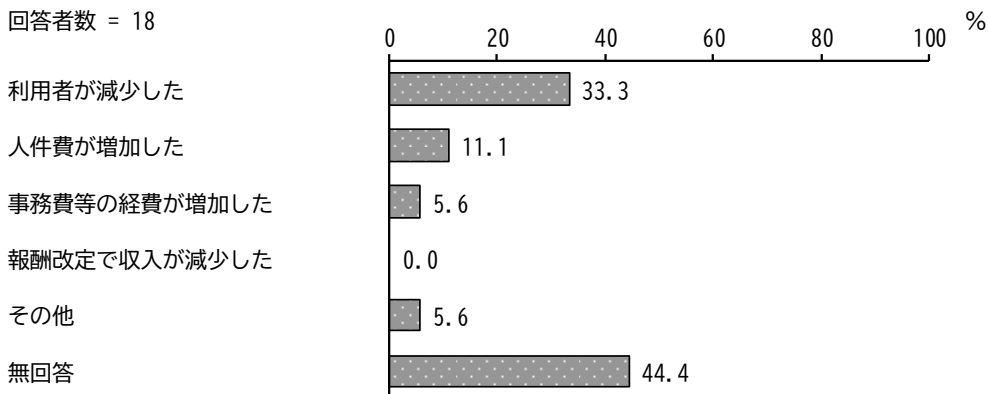
#### 【黒字】

「利用者が増加した」の割合が42.9%と最も高くなっています。



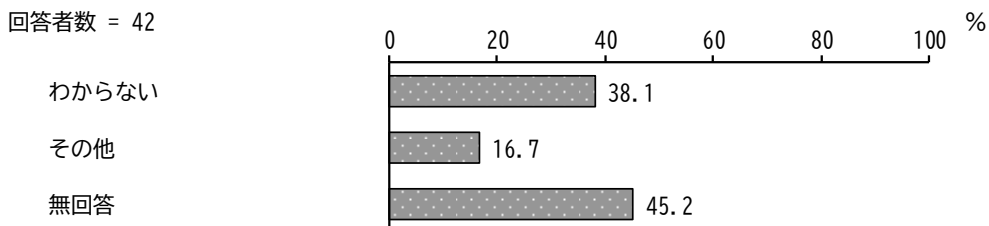
#### 【赤字】

「利用者が減少した」の割合が33.3%と最も高く、次いで「人件費が増加した」の割合が11.1%となっています。



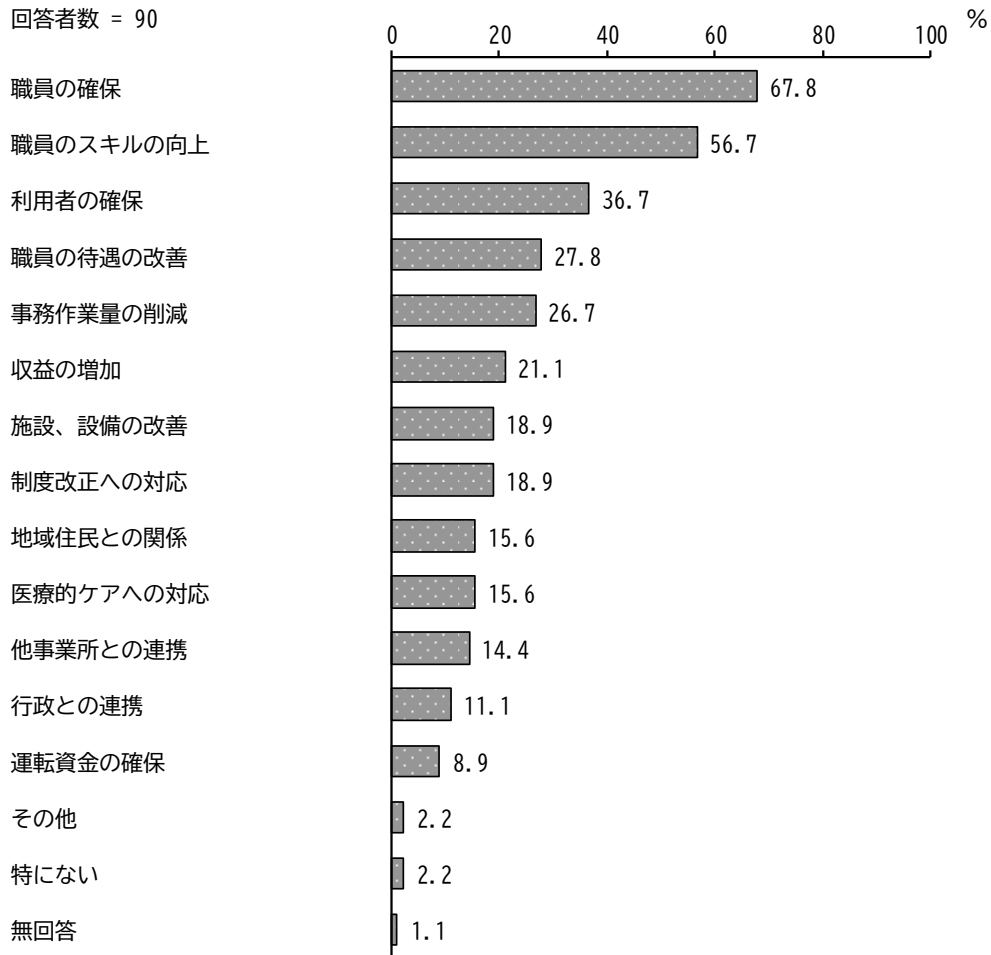
#### 【その他】

「わからない」の割合が38.1%と最も高くなっています。



問 19 貴事業所の経営上の課題をお答えください。(〇はいくつでも)

「職員の確保」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「職員のスキルの向上」の割合が 56.7%、「利用者の確保」の割合が 36.7%となっています。



## 【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、放課後等デイサービスで「職員のスキルの向上」の割合が、児童発達支援で「医療的ケアへの対応」の割合が、就労継続支援（B型）で「利用者の確保」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	職員の確保	職員のスキルの向上	利用者の確保	職員の待遇の改善	事務作業量の削減	収益の増加	施設、設備の改善	制度改正への対応
全体	90	67.8	56.7	36.7	27.8	26.7	21.1	18.9	18.9
居宅介護	28	78.6	39.3	42.9	25.0	32.1	21.4	3.6	10.7
重度訪問介護	18	83.3	38.9	44.4	22.2	27.8	16.7	—	5.6
同行援護	13	61.5	46.2	46.2	7.7	15.4	23.1	—	7.7
行動援護	3	100.0	100.0	—	—	100.0	—	—	33.3
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—	—	—	—
短期入所	2	100.0	100.0	—	—	50.0	—	—	50.0
療養介護	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生活介護	6	100.0	66.7	16.7	50.0	16.7	—	33.3	16.7
施設入所支援	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	3	—	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	—	33.3
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	33.3	83.3	66.7	16.7	50.0	16.7	33.3	16.7
就労継続支援（A型）	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—
就労継続支援（B型）	11	45.5	63.6	63.6	36.4	27.3	45.5	36.4	36.4
就労定着支援	7	57.1	57.1	28.6	42.9	28.6	28.6	42.9	28.6
共同生活援助	12	91.7	66.7	58.3	50.0	33.3	—	33.3	25.0
自立生活援助	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
地域移行支援	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
地域定着支援	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
計画相談支援	9	55.6	55.6	11.1	22.2	44.4	33.3	22.2	33.3
障害児相談支援	7	57.1	42.9	—	14.3	42.9	28.6	14.3	28.6
児童発達支援	11	72.7	63.6	9.1	18.2	27.3	9.1	18.2	18.2
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	53.8	92.3	7.7	30.8	15.4	46.2	15.4	23.1
保育所等訪問支援	1	100.0	100.0	—	—	—	100.0	100.0	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—	—	—
移動支援	17	70.6	35.3	47.1	11.8	23.5	17.6	—	5.9
日中一時支援	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—

(次のページへ)

II 調査結果 障害福祉サービス等事業所

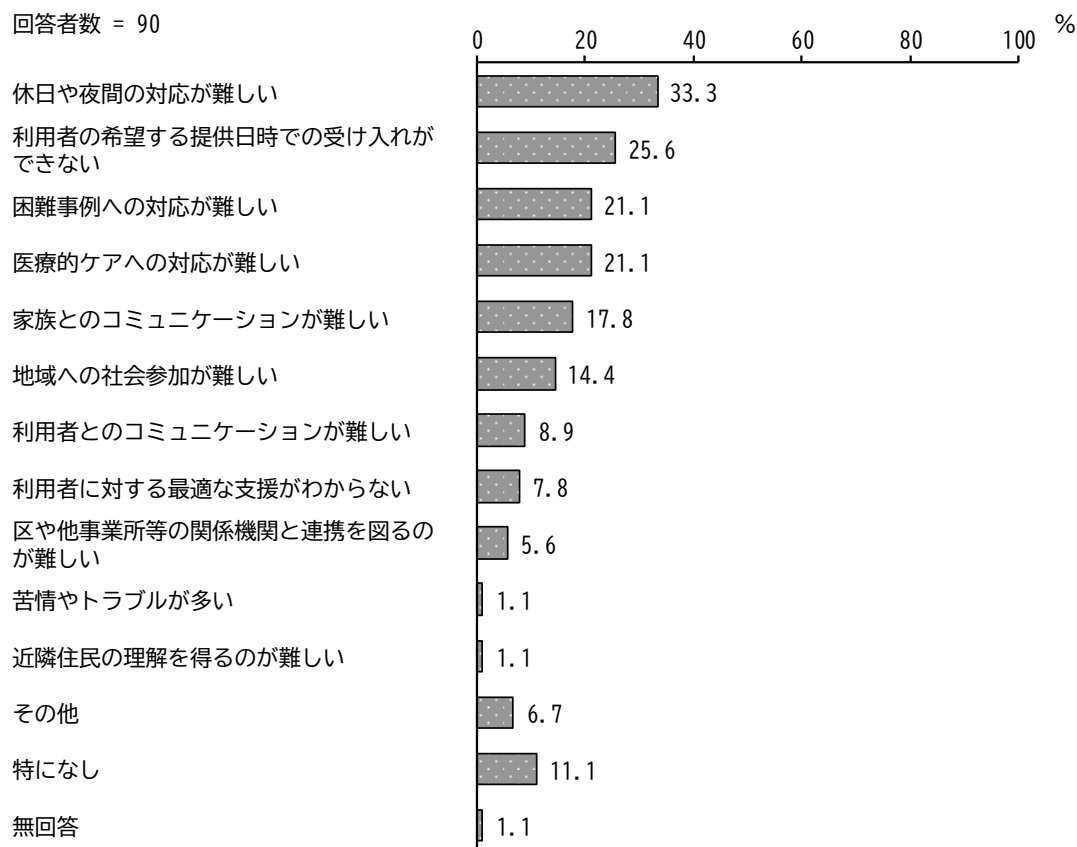
単位：％

区分	地域住民との関係	医療的ケアへの対応	他事業所との連携	行政との連携	運転資金の確保	その他	特にな	無回答
全 体	15.6	15.6	14.4	11.1	8.9	2.2	2.2	1.1
居宅介護	10.7	10.7	10.7	3.6	3.6	7.1	—	3.6
重度訪問介護	—	16.7	5.6	—	5.6	5.6	—	—
同行援護	—	23.1	—	—	7.7	15.4	—	7.7
行動援護	—	—	—	—	—	—	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—	—	—
短期入所	—	—	—	—	—	—	—	—
療養介護	—	—	—	—	—	—	—	—
生活介護	33.3	33.3	33.3	16.7	—	—	—	—
施設入所支援	—	—	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	—	—	33.3	—	—	—	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7	—	—	—
就労継続支援（A型）	—	—	—	—	100.0	—	—	—
就労継続支援（B型）	18.2	27.3	18.2	18.2	18.2	—	—	—
就労定着支援	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	—	14.3	—
共同生活援助	25.0	16.7	16.7	33.3	33.3	—	—	—
自立生活援助	—	—	—	—	—	—	—	—
地域移行支援	—	—	—	—	—	—	—	—
地域定着支援	—	—	—	—	—	—	—	—
計画相談支援	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1	—	11.1	11.1
障害児相談支援	—	14.3	14.3	—	—	—	14.3	14.3
児童発達支援	27.3	45.5	18.2	9.1	—	—	—	9.1
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	7.7	15.4	7.7	7.7	—	—	—	—
保育所等訪問支援	—	—	—	—	—	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—	—
移動支援	5.9	11.8	5.9	5.9	5.9	11.8	—	5.9
日中一時支援	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	100.0	—	—	—	—	—	—	—

（前ページの表 続き）

問 20 貴事業所でのサービスの提供において、課題をお答えください。  
 (〇はいくつでも)

「休日や夜間の対応が難しい」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「利用者の希望する提供日時での受け入れができない」の割合が 25.6%、「困難事例への対応が難しい」、「医療的ケアへの対応が難しい」の割合が 21.1%となっています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、同行援護で「休日や夜間の対応が難しい」の割合が、共同生活援助で「家族とのコミュニケーションが難しい」の割合が、児童発達支援で「地域への社会参加が難しい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	休日や夜間の対応が難しい	利用者の希望する提供できない	困難事例への対応が難しい	医療的ケアへの対応が難しい	家族とのコミュニケーションが難しい	地域への社会参加が難しい	利用者とのコミュニケーションが難しい
全体	90	33.3	25.6	21.1	21.1	17.8	14.4	8.9
居宅介護	28	60.7	42.9	28.6	32.1	14.3	7.1	10.7
重度訪問介護	18	55.6	44.4	22.2	22.2	16.7	—	16.7
同行援護	13	92.3	53.8	30.8	38.5	23.1	7.7	15.4
行動援護	3	33.3	33.3	66.7	—	33.3	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—	—	—
短期入所	2	50.0	50.0	—	—	50.0	—	—
療養介護	—	—	—	—	—	—	—	—
生活介護	6	—	—	—	—	16.7	33.3	50.0
施設入所支援	—	—	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	3	33.3	—	33.3	33.3	—	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	66.7	—	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3
就労継続支援（A型）	1	—	—	100.0	100.0	—	—	—
就労継続支援（B型）	11	18.2	9.1	27.3	9.1	18.2	18.2	18.2
就労定着支援	7	14.3	—	14.3	14.3	14.3	—	—
共同生活援助	12	25.0	8.3	16.7	16.7	50.0	25.0	8.3
自立生活援助	1	—	—	—	—	—	—	—
地域移行支援	1	—	—	—	—	—	—	—
地域定着支援	1	—	—	—	—	—	—	—
計画相談支援	9	44.4	22.2	22.2	22.2	33.3	11.1	—
障害児相談支援	7	57.1	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	—
児童発達支援	11	27.3	45.5	9.1	27.3	—	45.5	18.2
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	15.4	46.2	15.4	7.7	30.8	23.1	15.4
保育所等訪問支援	1	—	100.0	—	—	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—	—
移動支援	17	58.8	47.1	35.3	29.4	17.6	11.8	5.9
日中一時支援	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	1	—	—	—	—	—	100.0	—

(次のページへ)



単位：％

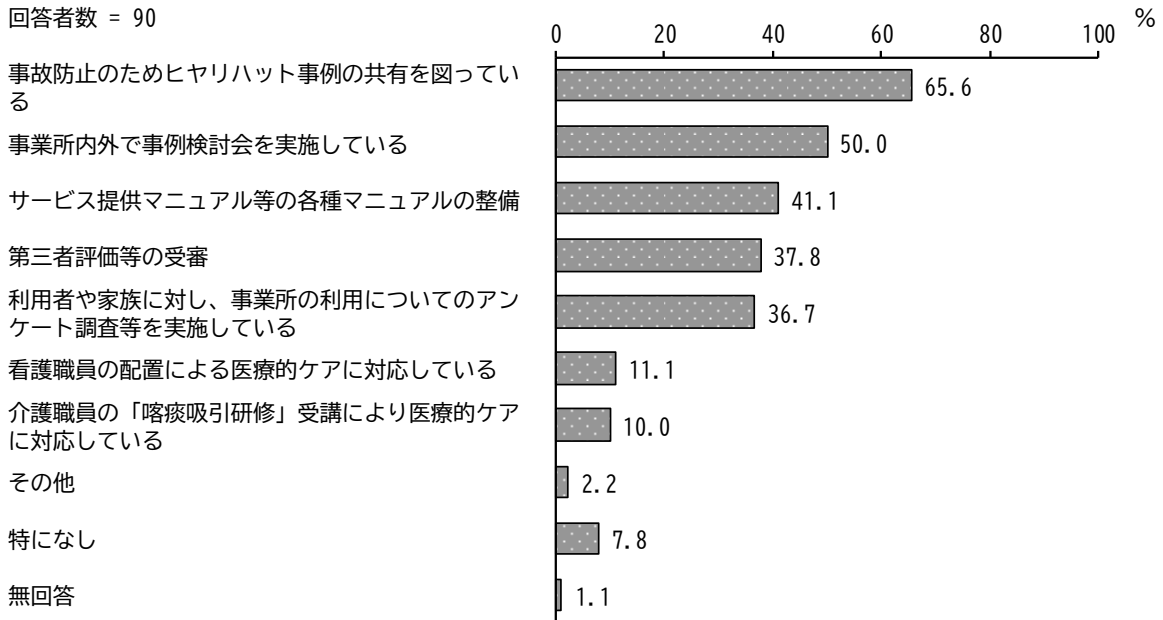
区分	利用者に対する最適な支援がわからない	区や他事業所等の関係機関と連携を図るのが難しい	い苦情やトラブルが多い	近隣住民の理解を得るのが難しい	その他	特になし	無回答
全体	7.8	5.6	1.1	1.1	6.7	11.1	1.1
居宅介護	3.6	3.6	—	—	3.6	3.6	—
重度訪問介護	—	—	—	—	5.6	5.6	—
同行援護	—	—	—	—	7.7	—	—
行動援護	—	—	—	—	—	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—	—
短期入所	—	—	—	—	—	50.0	—
療養介護	—	—	—	—	—	—	—
生活介護	—	—	—	—	33.3	16.7	—
施設入所支援	—	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	—	—	—	—	—	33.3	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	33.3	—	—	—	—	—	—
就労継続支援（A型）	—	—	—	—	—	—	—
就労継続支援（B型）	18.2	9.1	—	—	—	27.3	—
就労定着支援	14.3	14.3	—	—	14.3	42.9	—
共同生活援助	8.3	—	8.3	—	16.7	—	—
自立生活援助	—	—	—	—	—	100.0	—
地域移行支援	—	—	—	—	—	100.0	—
地域定着支援	—	—	—	—	—	100.0	—
計画相談支援	—	11.1	—	—	—	22.2	—
障害児相談支援	—	14.3	—	—	—	28.6	—
児童発達支援	—	9.1	—	9.1	—	—	—
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	15.4	—	—	—	—	—	7.7
保育所等訪問支援	—	—	—	—	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—
移動支援	—	5.9	—	—	5.9	5.9	—
日中一時支援	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

（前ページの表 続き）

問 21 貴事業所がサービス向上のために取り組んでいることをお答えください。  
 (〇はいくつでも)

「事故防止のためヒヤリハット事例の共有を図っている」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「事業所内外で事例検討会を実施している」の割合が 50.0%、「サービス提供マニュアル等の各種マニュアルの整備」の割合が 41.1%となっています。

回答者数 = 90



【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、共同生活援助と就労継続支援（B型）で「第三者評価等の受審」の割合が、児童発達支援で「利用者や家族に対し、事業所の利用についてのアンケート調査等を実施している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	事故防止のためヒヤリハット事例の共有を図っている	事業所内外で事例検討会を実施している	サービス提供マニュアル等の各種マニュアルの整備	第三者評価等の受審	利用者や家族に対し、事業所の利用についてのアンケート調査等を実施している
全 体	90	65.6	50.0	41.1	37.8	36.7
居宅介護	28	50.0	32.1	35.7	7.1	14.3
重度訪問介護	18	44.4	38.9	38.9	11.1	16.7
同行援護	13	38.5	38.5	30.8	—	7.7
行動援護	3	33.3	—	33.3	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—
短期入所	2	100.0	—	50.0	50.0	50.0
療養介護	—	—	—	—	—	—
生活介護	6	50.0	16.7	16.7	33.3	66.7
施設入所支援	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	3	66.7	33.3	33.3	100.0	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	66.7	100.0	50.0	33.3	66.7
就労継続支援（A型）	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
就労継続支援（B型）	11	90.9	72.7	54.5	81.8	36.4
就労定着支援	7	42.9	71.4	42.9	57.1	42.9
共同生活援助	12	58.3	66.7	25.0	83.3	16.7
自立生活援助	1	100.0	100.0	—	—	—
地域移行支援	1	100.0	100.0	—	—	—
地域定着支援	1	100.0	100.0	—	—	—
計画相談支援	9	66.7	77.8	33.3	33.3	22.2
障害児相談支援	7	71.4	71.4	28.6	14.3	14.3
児童発達支援	11	72.7	36.4	63.6	18.2	63.6
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	76.9	15.4	46.2	7.7	61.5
保育所等訪問支援	1	—	100.0	100.0	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
移動支援	17	47.1	41.2	47.1	11.8	17.6
日中一時支援	—	—	—	—	—	—
その他	1	100.0	100.0	—	—	—

（次のページへ）

単位：%

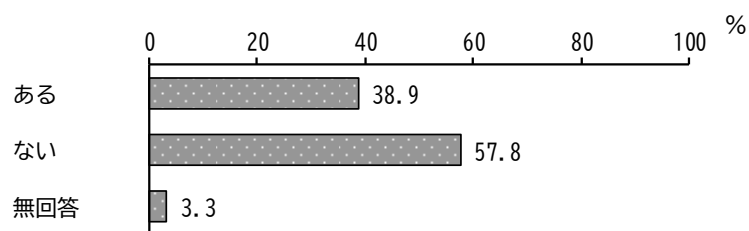
区分	看護職員の配置による医療的ケアに対応している	介護職員の「喀痰吸引研修」受講により医療的ケアに対応している	その他	特になし	無回答
全体	11.1	10.0	2.2	7.8	1.1
居宅介護	—	17.9	3.6	21.4	3.6
重度訪問介護	—	27.8	—	22.2	—
同行援護	—	23.1	7.7	15.4	7.7
行動援護	—	—	—	33.3	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—
短期入所	—	—	—	—	—
療養介護	—	—	—	—	—
生活介護	66.7	50.0	—	33.3	—
施設入所支援	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	—	—	—	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—
就労移行支援	33.3	—	—	—	—
就労継続支援（A型）	—	—	—	—	—
就労継続支援（B型）	18.2	—	—	—	—
就労定着支援	14.3	—	14.3	—	—
共同生活援助	8.3	8.3	—	—	—
自立生活援助	100.0	—	—	—	—
地域移行支援	100.0	—	—	—	—
地域定着支援	100.0	—	—	—	—
計画相談支援	22.2	—	—	—	11.1
障害児相談支援	14.3	—	—	—	14.3
児童発達支援	36.4	18.2	—	—	9.1
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	23.1	15.4	—	—	—
保育所等訪問支援	—	—	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—
移動支援	—	23.5	5.9	11.8	5.9
日中一時支援	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—

（前ページの表 続き）

## 問 22 貴事業所では、第三者評価を受けたことがありますか。(○は1つ)

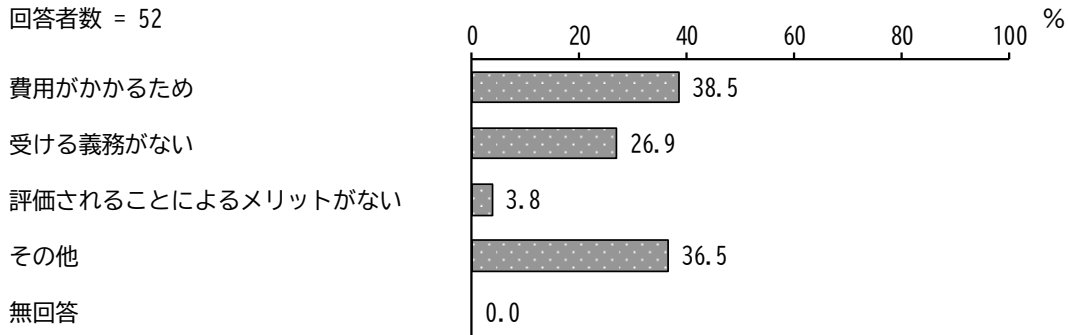
「ある」の割合が38.9%、「ない」の割合が57.8%となっています。

回答者数 = 90



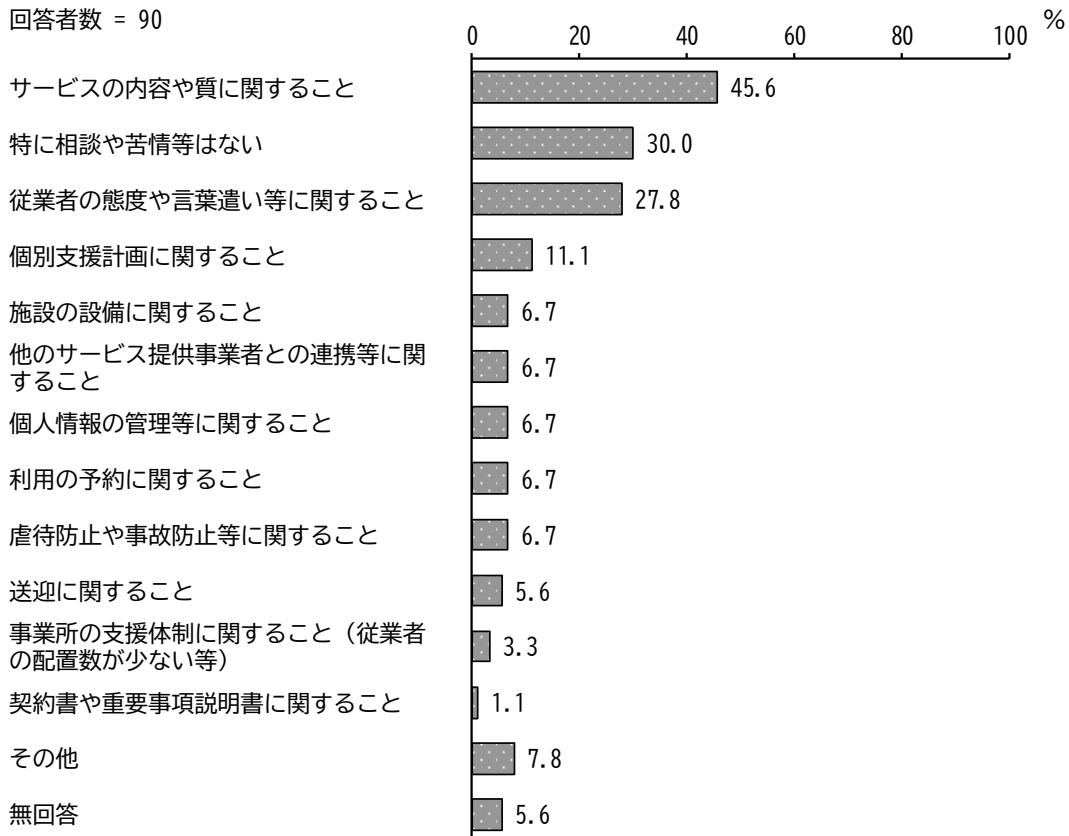
問 23 (問 22 で「2 ない」に○をつけた事業所のみお答えください。) 第三者評価を受けたことがない理由をお答えください。(○はいくつでも)

「費用がかかるため」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「受ける義務がない」の割合が 26.9%となっています。



問 24 貴事業所では、利用者や家族からどのような相談や苦情等を受けたことがありますか (○はいくつでも)

「サービスの内容や質に関すること」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「特に相談や苦情等はない」の割合が 30.0%、「従業員の態度や言葉遣い等に関すること」の割合が 27.8%となっています。

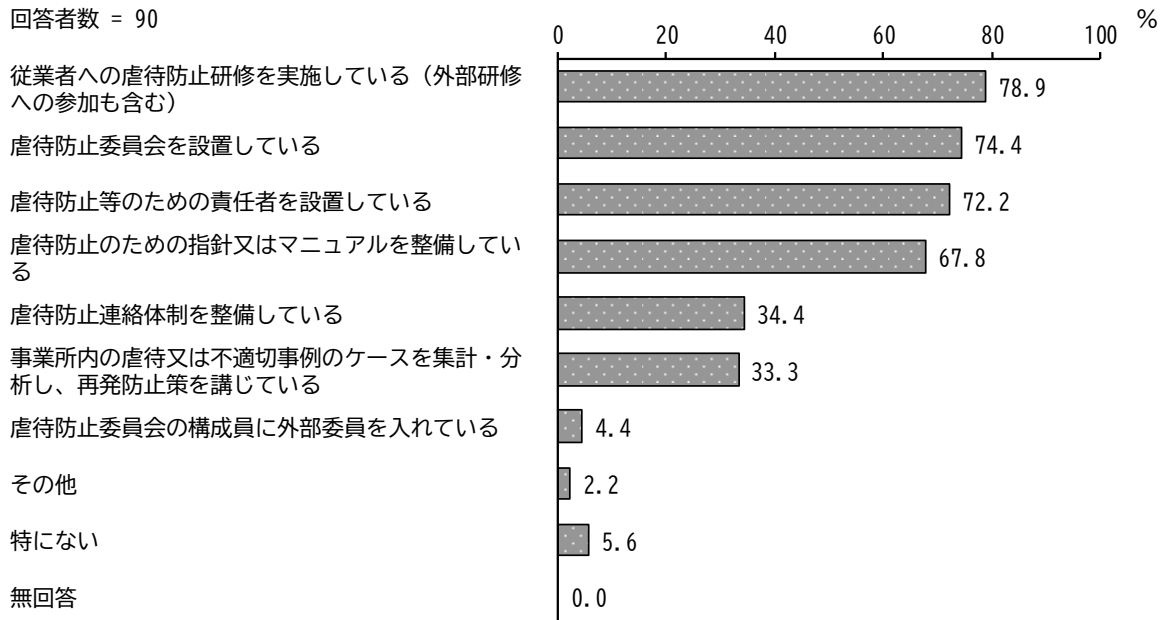


問 25 (問 24 で 1~12 に○をつけた事業所のみお答えください。) 利用者や家族からの相談や苦情等に対して、どのような対応をしましたか。以下に具体的に記載してください。

主な意見
訪問して具体的に答えた。誤りは謝罪して改善した。
利用児が通っている園と連携した。(見学をしに行ったり施設の見学を受け入れたり)
追加や振替えの利用について調整をした。
冷暖房の充実→設備の整備。
職員で話し合い、対応策を考えた上で利用者か御家族に説明をした。
面談を実施し話し合いの時間を設けた。説明を行い、至らない点について直接謝罪をして改善していく旨をお伝えし納得頂いた。
内容等については説明・謝罪。
具体的に更に詳しく児童の話を伺い、文面と言葉(話し合い)との関連で計画内容を共に見直しした。
ヘルパーに内容を伝え、対応のやり方を考えた。
該当ヘルパーに伝え、ヘルパーの意見を聞く。正確な内容を確認し、改善策を練る。
従業員に周知、意識改革などに向けて話し合いの場を設ける。
口頭にて対応。
ヘルパーの指導の見直し。
計画作成担当者と相談。
担当者会議の開催。
内部で会議を開き、対応方法について、確認をした。
相談者の方には謝罪をした。
発生状況や対応については区に事故報告をあげている。
個別具体的に回答している。
送迎車が1台しかないことに対する苦情だったので単におわびをした。
個別に伝え、改善を図る。
支援や個別支援計画に関する質問が多数のため、担当支援員だけでなく、サービス管理責任者からも支援の説明を継続的に行うようにしている。
すぐにお詫びをし、事情を確認した上でマナーについては研修を実施し改善を図った。
対策委員を中心に、外部(大学教員)を招いて検討した。
当事者及び家族や支援行政自治体と連携して事故対策を策定・実施した。(都及び荒川区と、当事者の支援自治体から了解を受けた)
職員のスキルアップ方法等を含めて保護者へ伝えると同時にタイミング等を考慮し、保護者への信頼関係の構築をする。
送迎については、福祉サービスの紹介を行い柔軟に対応。
開所に際して、パンフレットや見学にて口頭等で説明した。

問 26 貴事業所では、虐待防止対策について、どのような取り組みを行っているかお答えください。(〇はいくつでも)

「従業員への虐待防止研修を実施している（外部研修への参加も含む）」の割合が 78.9%と最も高く、次いで「虐待防止委員会を設置している」の割合が 74.4%、「虐待防止等のための責任者を設置している」の割合が 72.2%となっています。





【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、児童発達支援で「虐待防止委員会を設置している」「虐待防止連絡体制を整備している」の割合が、放課後等デイサービスで「虐待防止委員会を設置している」の割合が、就労継続支援（B型）で「事業所内の虐待又は不適切事例のケースを集計・分析し、再発防止策を講じている」「虐待防止連絡体制を整備している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	従業者への虐待防止研修を実施している(外部研修への参加も含む)	虐待防止委員会を設置している	虐待防止等のための責任者を設置している	虐待防止のための指針又はマニュアルを整備している	虐待防止連絡体制を整備している
全体	90	78.9	74.4	72.2	67.8	34.4
居宅介護	28	71.4	46.4	53.6	64.3	28.6
重度訪問介護	18	66.7	44.4	50.0	72.2	27.8
同行援護	13	76.9	38.5	46.2	61.5	38.5
行動援護	3	100.0	100.0	100.0	66.7	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—
短期入所	2	100.0	100.0	50.0	—	—
療養介護	—	—	—	—	—	—
生活介護	6	66.7	83.3	66.7	66.7	33.3
施設入所支援	—	—	—	—	—	—
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	3	66.7	100.0	66.7	33.3	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	83.3	83.3	83.3	66.7	66.7
就労継続支援(A型)	1	—	—	100.0	100.0	—
就労継続支援(B型)	11	72.7	90.9	81.8	81.8	54.5
就労定着支援	7	85.7	71.4	71.4	71.4	42.9
共同生活援助	12	75.0	83.3	66.7	58.3	25.0
自立生活援助	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—
地域移行支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—
地域定着支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—
計画相談支援	9	100.0	77.8	88.9	66.7	33.3
障害児相談支援	7	100.0	85.7	100.0	71.4	28.6
児童発達支援	11	90.9	100.0	90.9	81.8	54.5
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	84.6	100.0	76.9	53.8	30.8
保育所等訪問支援	1	—	100.0	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
移動支援	17	88.2	52.9	64.7	64.7	41.2
日中一時支援	—	—	—	—	—	—
その他	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—

(次のページへ)

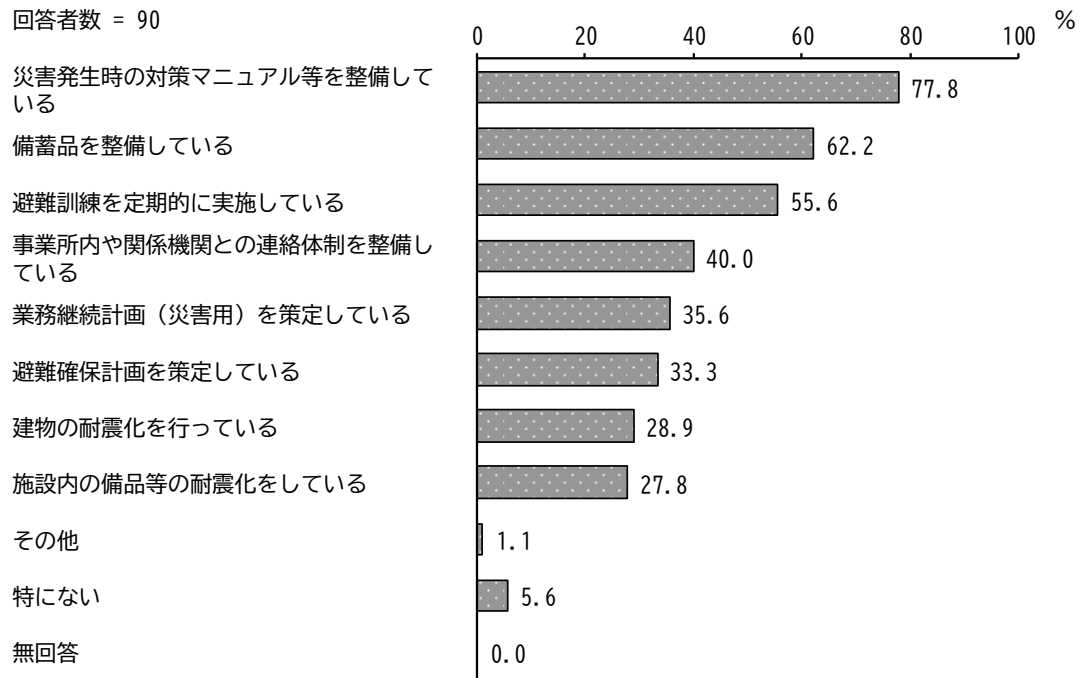
単位：%

区分	事業所内の虐待又は不適切事例のケースを集計・分析し、再発防止策を講じている	虐待防止委員会の構成員に外部委員を入れている	その他	特にない	無回答
全体	33.3	4.4	2.2	5.6	—
居宅介護	17.9	—	3.6	14.3	—
重度訪問介護	16.7	—	5.6	11.1	—
同行援護	15.4	—	7.7	7.7	—
行動援護	—	—	—	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—
短期入所	—	—	—	—	—
療養介護	—	—	—	—	—
生活介護	—	—	—	16.7	—
施設入所支援	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	—	—	—	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—
就労移行支援	66.7	—	—	—	—
就労継続支援（A型）	—	—	—	—	—
就労継続支援（B型）	54.5	9.1	9.1	—	—
就労定着支援	57.1	—	—	—	—
共同生活援助	33.3	8.3	—	—	—
自立生活援助	100.0	—	—	—	—
地域移行支援	100.0	—	—	—	—
地域定着支援	100.0	—	—	—	—
計画相談支援	22.2	—	—	—	—
障害児相談支援	28.6	—	—	—	—
児童発達支援	27.3	18.2	—	—	—
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	38.5	7.7	—	—	—
保育所等訪問支援	—	—	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—
移動支援	29.4	—	5.9	5.9	—
日中一時支援	—	—	—	—	—
その他	100.0	—	—	—	—

（前ページの表 続き）

問 27 貴事業所では、災害時の対策についてどのような取り組みをしているかお答えください。

「災害発生時の対策マニュアル等を整備している」の割合が 77.8%と最も高く、次いで「備蓄品を整備している」の割合が 62.2%、「避難訓練を定期的実施している」の割合が 55.6%となっています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、児童発達支援や放課後等デイサービスで「避難訓練を定期的実施している」の割合が、就労継続支援（B型）で「事業所内や関係機関との連絡体制を整備している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	災害発生時の対策マニュアル等を整備している	備蓄品を整備している	避難訓練を定期的実施している	事業所内や関係機関との連絡体制を整備している	業務継続計画(災害用)を策定している
全体	90	77.8	62.2	55.6	40.0	35.6
居宅介護	28	78.6	32.1	10.7	21.4	21.4
重度訪問介護	18	88.9	33.3	5.6	27.8	22.2
同行援護	13	76.9	30.8	23.1	30.8	7.7
行動援護	3	100.0	66.7	33.3	—	66.7
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—
短期入所	2	100.0	100.0	50.0	—	50.0
療養介護	—	—	—	—	—	—
生活介護	6	83.3	50.0	66.7	66.7	33.3
施設入所支援	—	—	—	—	—	—
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	3	33.3	66.7	66.7	100.0	66.7
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	83.3	83.3	100.0	83.3	66.7
就労継続支援(A型)	1	100.0	100.0	100.0	—	—
就労継続支援(B型)	11	63.6	63.6	81.8	72.7	36.4
就労定着支援	7	71.4	100.0	85.7	42.9	42.9
共同生活援助	12	83.3	66.7	75.0	33.3	16.7
自立生活援助	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0
地域移行支援	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0
地域定着支援	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0
計画相談支援	9	77.8	66.7	55.6	44.4	44.4
障害児相談支援	7	100.0	57.1	42.9	42.9	42.9
児童発達支援	11	81.8	63.6	90.9	63.6	45.5
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	76.9	69.2	92.3	30.8	38.5
保育所等訪問支援	1	—	—	—	100.0	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
移動支援	17	76.5	41.2	17.6	35.3	23.5
日中一時支援	—	—	—	—	—	—
その他	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0

(次のページへ)

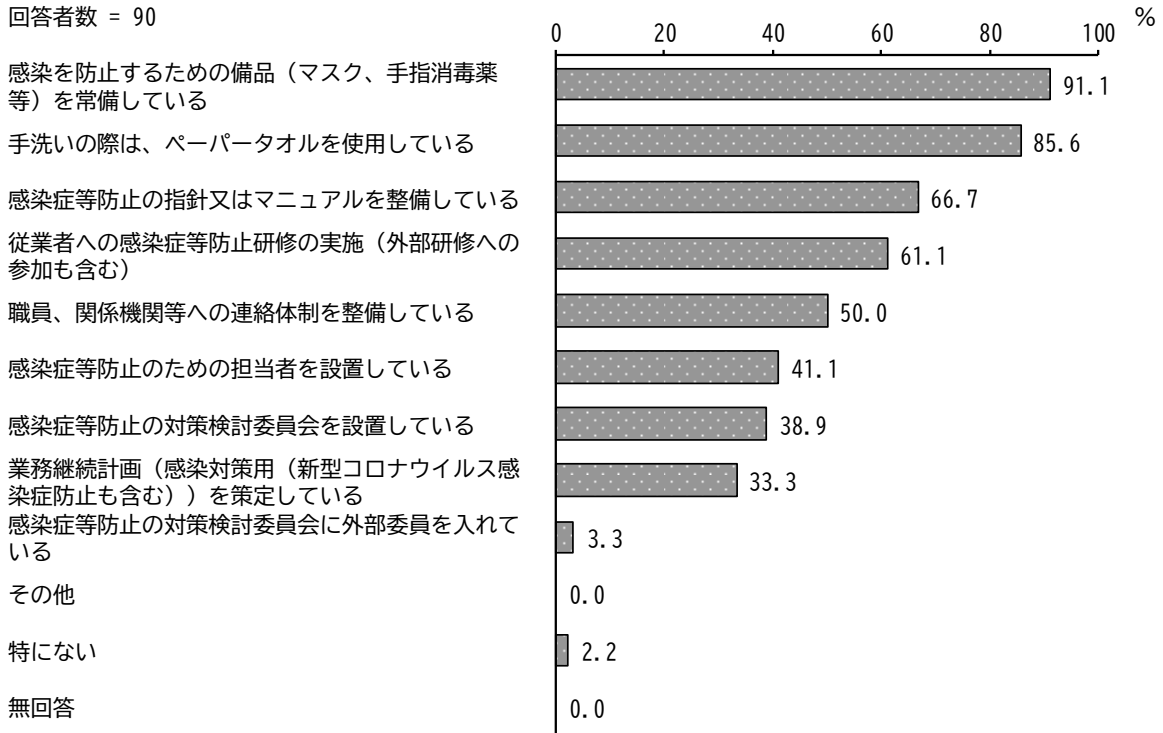
区分	避難確保計画を策定している	建物の耐震化を行っている	施設内の備品等の耐震化をしている	その他	特にない	無回答
全体	33.3	28.9	27.8	1.1	5.6	—
居宅介護	7.1	3.6	3.6	3.6	14.3	—
重度訪問介護	—	—	—	—	11.1	—
同行援護	7.7	—	—	7.7	15.4	—
行動援護	33.3	—	—	—	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—
短期入所	100.0	50.0	50.0	—	—	—
療養介護	—	—	—	—	—	—
生活介護	16.7	66.7	16.7	—	—	—
施設入所支援	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	66.7	33.3	33.3	—	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	50.0	33.3	50.0	—	—	—
就労継続支援（A型）	100.0	—	—	—	—	—
就労継続支援（B型）	45.5	45.5	54.5	—	9.1	—
就労定着支援	57.1	42.9	71.4	—	—	—
共同生活援助	33.3	25.0	16.7	—	—	—
自立生活援助	—	—	100.0	—	—	—
地域移行支援	—	—	100.0	—	—	—
地域定着支援	—	—	100.0	—	—	—
計画相談支援	22.2	11.1	11.1	—	—	—
障害児相談支援	28.6	14.3	14.3	—	—	—
児童発達支援	45.5	54.5	36.4	—	—	—
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	61.5	30.8	30.8	—	—	—
保育所等訪問支援	—	—	100.0	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
移動支援	11.8	5.9	—	5.9	17.6	—
日中一時支援	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	100.0	—	—	—

(前ページの表 続き)

問 28 貴事業所では、感染症及び食中毒の予防及びまん延防止（以下「感染症等防止」という。）の対策についてどのような取り組みをしているかお答えください。  
（〇はいくつでも）

「感染を防止するための備品（マスク、手指消毒薬等）を常備している」の割合が 91.1%と最も高く、次いで「手洗いの際は、ペーパータオルを使用している」の割合が 85.6%、「感染症等防止の指針又はマニュアルを整備している」の割合が 66.7%となっています。

回答者数 = 90



【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、放課後等デイサービスで「感染症等防止の指針又はマニュアルを整備している」の割合が、就労継続支援（B型）で「職員、関係機関等への連絡体制を整備している」の割合が、児童発達支援で「職員、関係機関等への連絡体制を整備している」「業務継続計画（感染対策用（新型コロナウイルス感染症防止も含む））を策定している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	感染症を防止するための備品（マスク、手指消毒薬等）を常備している	手洗いの際は、ペーパータオルを使用している	感染症等防止の指針又はマニュアルを整備している	従業者への感染症等防止研修の実施（外部研修への参加も含む）	職員、関係機関等への連絡体制を整備している	感染症等防止のための担当者を設置している
全体	90	91.1	85.6	66.7	61.1	50.0	41.1
居宅介護	28	89.3	85.7	67.9	64.3	42.9	42.9
重度訪問介護	18	83.3	83.3	77.8	61.1	38.9	44.4
同行援護	13	84.6	76.9	69.2	69.2	46.2	38.5
行動援護	3	100.0	100.0	100.0	66.7	—	66.7
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—	—
短期入所	2	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—
療養介護	—	—	—	—	—	—	—
生活介護	6	100.0	100.0	50.0	83.3	83.3	33.3
施設入所支援	—	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	3	100.0	66.7	66.7	66.7	66.7	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	83.3	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3
就労継続支援（A型）	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
就労継続支援（B型）	11	100.0	72.7	63.6	27.3	72.7	45.5
就労定着支援	7	100.0	100.0	57.1	42.9	71.4	71.4
共同生活援助	12	75.0	83.3	50.0	58.3	16.7	16.7
自立生活援助	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
地域移行支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
地域定着支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
計画相談支援	9	100.0	66.7	88.9	66.7	55.6	66.7
障害児相談支援	7	100.0	57.1	100.0	85.7	57.1	57.1
児童発達支援	11	90.9	90.9	81.8	63.6	72.7	27.3
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	100.0	100.0	92.3	69.2	61.5	46.2
保育所等訪問支援	1	100.0	100.0	100.0	—	100.0	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—	—
移動支援	17	88.2	82.4	76.5	64.7	41.2	52.9
日中一時支援	—	—	—	—	—	—	—
その他	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—

（次のページへ）

単位：％

区分	感染症等防止の対策検討委員会を設置している	業務継続計画（感染対策用）（新型コロナウイルス感染症防止も含む）を策定している	感染症等防止の対策検討委員会に外部委員を 入れている	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	38.9	33.3	3.3	—	2.2	—
居宅介護	28.6	28.6	7.1	—	—	—
重度訪問介護	33.3	22.2	11.1	—	—	—
同行援護	30.8	7.7	7.7	—	—	—
行動援護	66.7	66.7	—	—	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—
短期入所	50.0	—	—	—	—	—
療養介護	—	—	—	—	—	—
生活介護	33.3	33.3	—	—	—	—
施設入所支援	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	100.0	33.3	—	—	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	33.3	33.3	—	—	—	—
就労継続支援（A型）	—	100.0	—	—	—	—
就労継続支援（B型）	27.3	27.3	—	—	—	—
就労定着支援	42.9	42.9	—	—	—	—
共同生活援助	16.7	8.3	—	—	8.3	—
自立生活援助	100.0	100.0	—	—	—	—
地域移行支援	100.0	100.0	—	—	—	—
地域定着支援	100.0	100.0	—	—	—	—
計画相談支援	55.6	55.6	—	—	—	—
障害児相談支援	57.1	71.4	—	—	—	—
児童発達支援	45.5	54.5	9.1	—	9.1	—
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	53.8	53.8	7.7	—	—	—
保育所等訪問支援	—	—	—	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
移動支援	41.2	29.4	11.8	—	—	—
日中一時支援	—	—	—	—	—	—
その他	100.0	100.0	—	—	—	—

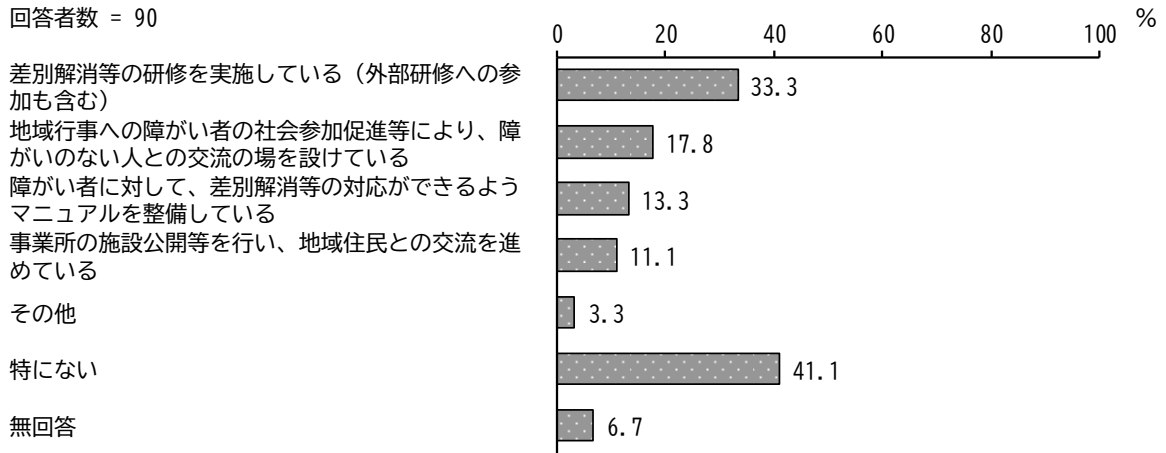
（前ページの表 続き）



問 29 貴事業所では、障がい者の差別解消及び合理的配慮（以下「差別解消等」という。）を進めていくために取り組んでいることをお答えください。（〇いくつでも）

「特にない」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「差別解消等の研修を実施している（外部研修への参加も含む）」の割合が 33.3%、「地域行事への障がい者の社会参加促進等により、障がいのない人との交流の場を設けている」の割合が 17.8%となっています。

回答者数 = 90



【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、就労継続支援（B型）で「地域行事への障がい者の社会参加促進等により、障がいのない人との交流の場を設けている」「事業所の施設公開等を行い、地域住民との交流を進めている」の割合が、共同生活援助で「差別解消等の研修を実施している（外部研修への参加も含む）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	差別解消等の研修 を実施している(外 部研修への参加も 含む)	地域行事への障が い者の社会参加促 進等により、障がい のない人との交流 の場を設けている	障がい者に対して、 差別解消等の対応 ができるようマニ ユアルを整備して いる
全 体	90	33.3	17.8	13.3
居宅介護	28	25.0	3.6	17.9
重度訪問介護	18	16.7	5.6	27.8
同行援護	13	30.8	7.7	23.1
行動援護	3	33.3	—	66.7
重度障害者等包括支援	—	—	—	—
短期入所	2	50.0	—	—
療養介護	—	—	—	—
生活介護	6	33.3	33.3	—
施設入所支援	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	3	33.3	66.7	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—
就労移行支援	6	50.0	33.3	33.3
就労継続支援（A型）	1	—	100.0	—
就労継続支援（B型）	11	45.5	45.5	18.2
就労定着支援	7	14.3	28.6	14.3
共同生活援助	12	50.0	25.0	8.3
自立生活援助	1	100.0	—	—
地域移行支援	1	100.0	—	—
地域定着支援	1	100.0	—	—
計画相談支援	9	44.4	22.2	11.1
障害児相談支援	7	57.1	14.3	14.3
児童発達支援	11	27.3	—	9.1
医療型児童発達支援	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	30.8	—	—
保育所等訪問支援	1	100.0	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—
移動支援	17	29.4	5.9	11.8
日中一時支援	—	—	—	—
その他	1	100.0	—	—

(次のページへ)

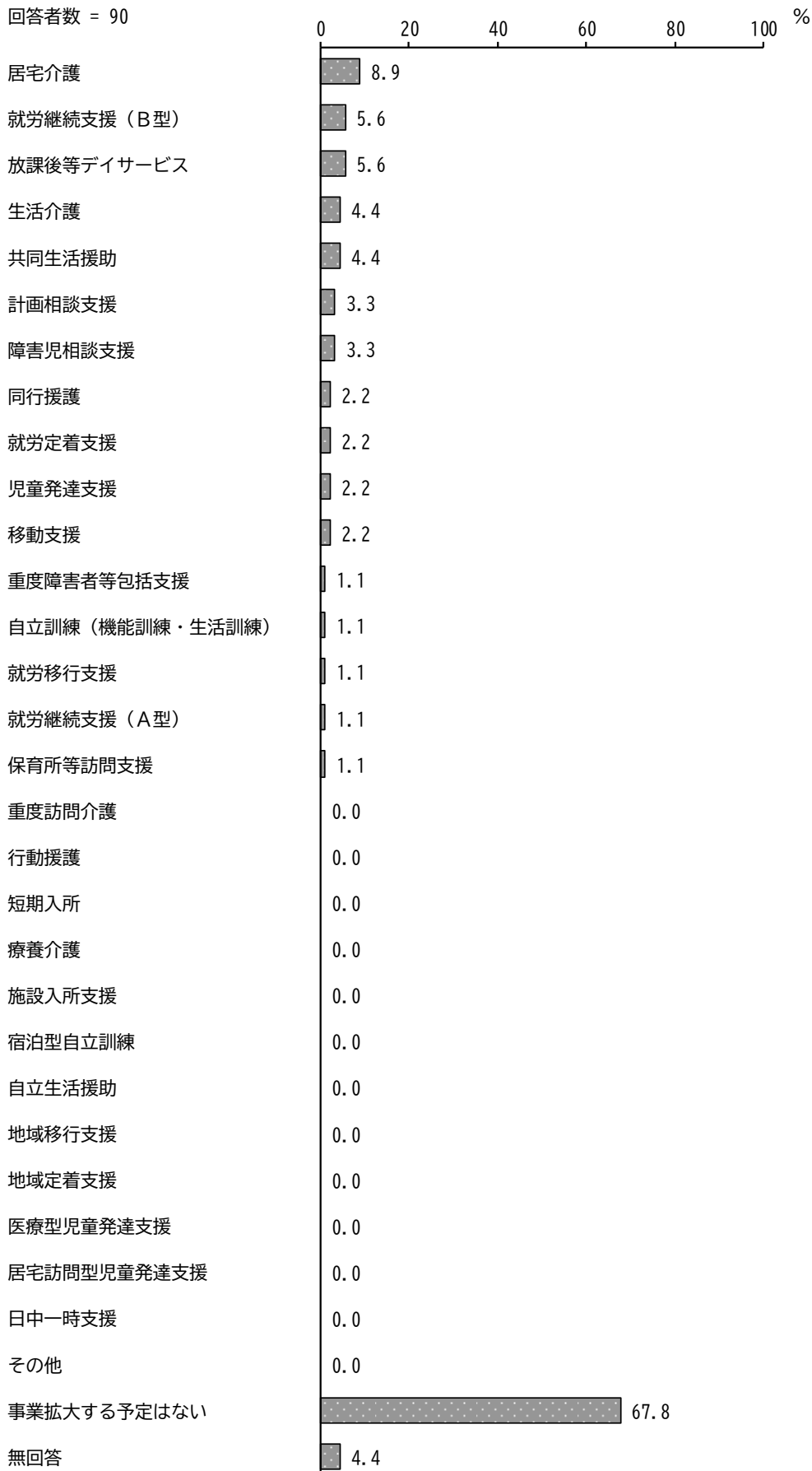
単位：％

区分	事業所の施設公開等を行い、地域住民との交流を進めている	その他	特にない	無回答
全 体	11.1	3.3	41.1	6.7
居宅介護	—	—	53.6	3.6
重度訪問介護	—	—	50.0	5.6
同行援護	—	—	46.2	—
行動援護	—	—	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—
短期入所	—	—	50.0	—
療養介護	—	—	—	—
生活介護	33.3	—	66.7	—
施設入所支援	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	—	33.3	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—
就労移行支援	16.7	—	16.7	—
就労継続支援（A型）	100.0	—	—	—
就労継続支援（B型）	27.3	9.1	18.2	9.1
就労定着支援	—	—	42.9	14.3
共同生活援助	16.7	8.3	16.7	8.3
自立生活援助	—	—	—	—
地域移行支援	—	—	—	—
地域定着支援	—	—	—	—
計画相談支援	22.2	11.1	33.3	—
障害児相談支援	14.3	—	42.9	—
児童発達支援	—	—	63.6	9.1
医療型児童発達支援	—	—	—	—
放課後等デイサービス	—	—	53.8	15.4
保育所等訪問支援	—	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—
移動支援	—	—	47.1	5.9
日中一時支援	—	—	—	—
その他	—	—	—	—

(前ページの表 続き)

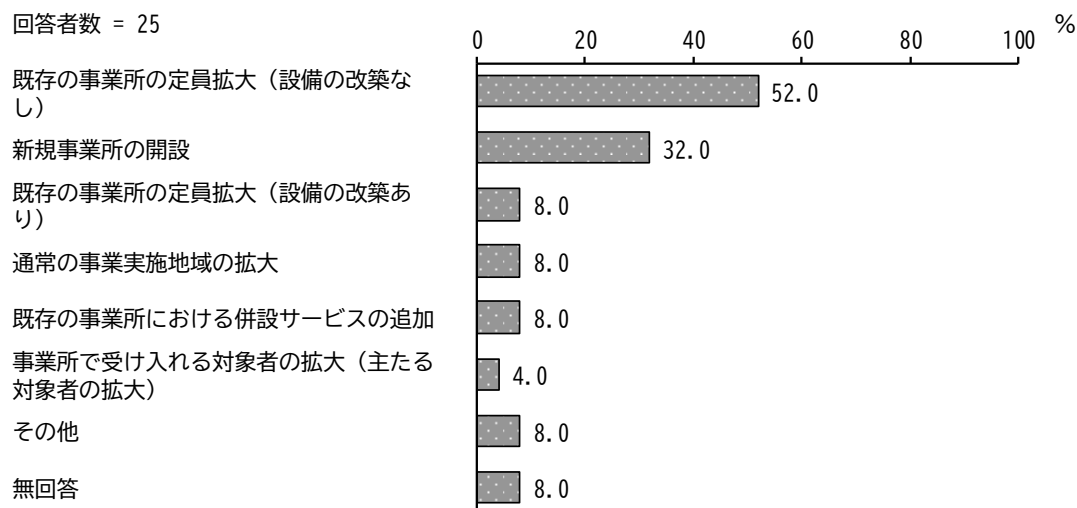
問 30 貴事業所において、今後、既存の事業所の定員拡大や新たな事業所の新規開設等の事業拡大を考えている障害福祉サービス等をお答えください。(〇はいくつでも)

「事業拡大する予定はない」の割合が 67.8%と最も高くなっています。



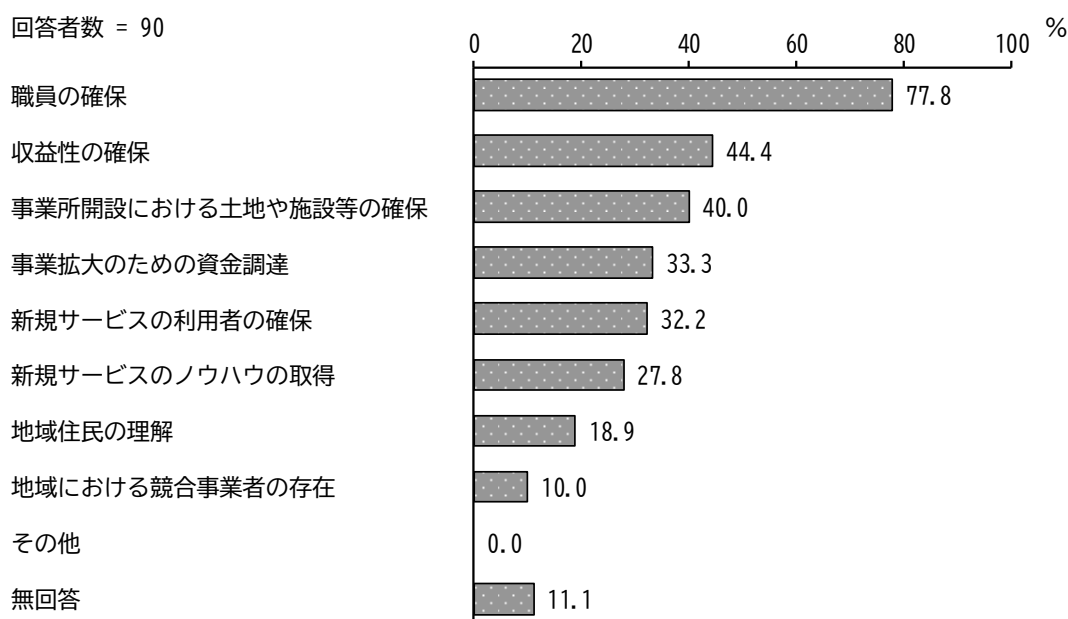
問 31 (問 30 で 30 以外に○をつけた事業所のみお答えください。) 貴事業所で検討されている事業拡大の詳細についてお答えください。貴事業所の事業拡大で優先度の高いものについて○を2つまでつけてください。(○は2つ)

「既存の事業所の定員拡大(設備の改築なし)」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「新規事業所の開設」の割合が 32.0%となっています。



問 32 仮に貴事業所において、事業拡大を行うと想定した場合、事業拡大をするにあたり、課題だと考えられることをお答えください。(○はいくつでも)

「職員の確保」の割合が 77.8%と最も高く、次いで「収益性の確保」の割合が 44.4%、「事業所開設における土地や施設等の確保」の割合が 40.0%となっています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、就労継続支援（B型）で「新規サービスの利用者の確保」「事業所開設における土地や施設等の確保」の割合が、児童発達支援で「地域住民の理解」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	職員の確保	収益性の確保	事業所開設における 土地や施設等の確保	事業拡大のための資 金調達	新規サービスの利用 者の確保
全 体	90	77.8	44.4	40.0	33.3	32.2
居宅介護	28	85.7	46.4	17.9	25.0	25.0
重度訪問介護	18	88.9	33.3	22.2	27.8	27.8
同行援護	13	84.6	53.8	15.4	30.8	38.5
行動援護	3	100.0	—	—	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	—
短期入所	2	100.0	—	—	—	—
療養介護	—	—	—	—	—	—
生活介護	6	100.0	50.0	50.0	33.3	33.3
施設入所支援	—	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	3	100.0	33.3	66.7	66.7	66.7
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	66.7	83.3	66.7	33.3	83.3
就労継続支援（A型）	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—
就労継続支援（B型）	11	72.7	54.5	63.6	45.5	63.6
就労定着支援	7	57.1	42.9	57.1	14.3	28.6
共同生活援助	12	83.3	25.0	41.7	41.7	33.3
自立生活援助	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—
地域移行支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—
地域定着支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—
計画相談支援	9	66.7	55.6	22.2	44.4	33.3
障害児相談支援	7	85.7	57.1	14.3	42.9	28.6
児童発達支援	11	81.8	54.5	54.5	54.5	36.4
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	13	69.2	53.8	53.8	38.5	38.5
保育所等訪問支援	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—	—
移動支援	17	82.4	52.9	23.5	35.3	35.3
日中一時支援	—	—	—	—	—	—
その他	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—

(次のページへ)

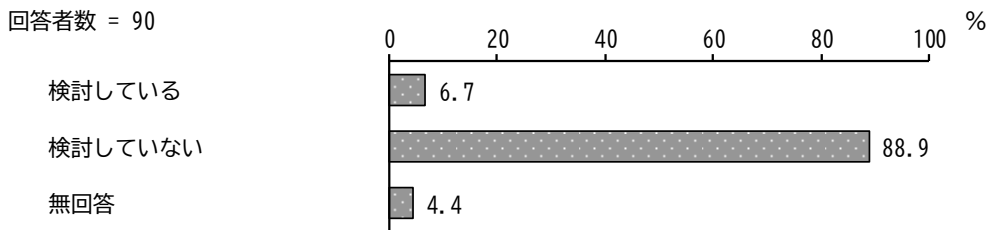
単位：％

区分	新規サービスの ハウスの取得	地域住民の理解	地域における競合事業者の存在	その他	無回答
全 体	27.8	18.9	10.0	－	11.1
居宅介護	25.0	10.7	14.3	－	10.7
重度訪問介護	27.8	11.1	11.1	－	11.1
同行援護	23.1	7.7	30.8	－	7.7
行動援護	－	－	－	－	－
重度障害者等包括支援	－	－	－	－	－
短期入所	－	－	－	－	－
療養介護	－	－	－	－	－
生活介護	50.0	50.0	－	－	－
施設入所支援	－	－	－	－	－
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	66.7	33.3	－	－	－
宿泊型自立訓練	－	－	－	－	－
就労移行支援	50.0	－	33.3	－	－
就労継続支援（A型）	－	－	－	－	－
就労継続支援（B型）	45.5	18.2	9.1	－	9.1
就労定着支援	14.3	－	14.3	－	14.3
共同生活援助	16.7	41.7	8.3	－	－
自立生活援助	－	－	－	－	－
地域移行支援	－	－	－	－	－
地域定着支援	－	－	－	－	－
計画相談支援	－	－	33.3	－	11.1
障害児相談支援	－	－	42.9	－	－
児童発達支援	36.4	45.5	9.1	－	9.1
医療型児童発達支援	－	－	－	－	－
放課後等デイサービス	38.5	30.8	7.7	－	23.1
保育所等訪問支援	－	－	－	－	－
居宅訪問型児童発達支援	－	－	－	－	－
移動支援	23.5	17.6	23.5	－	11.8
日中一時支援	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－

（前ページの表 続き）

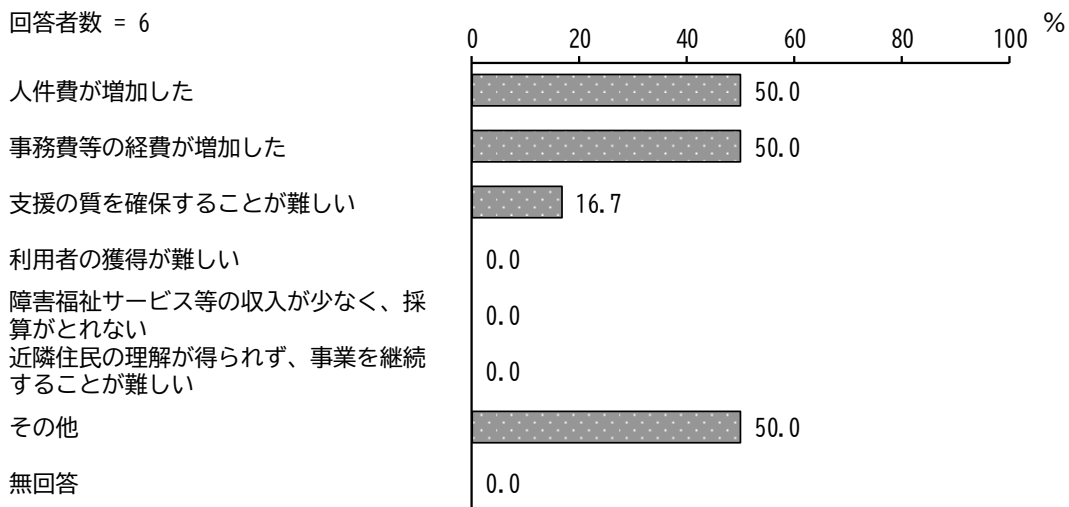
問 33 貴事業所において、今後、事業所の休止や廃止等による事業縮小を考えているか  
お答えください。(○は1つ)

「検討している」の割合が 6.7%、「検討していない」の割合が 88.9%となっています。



問 34 (問 33 で「1 検討している」に○をつけた事業所のみお答えください。) 事業縮小を検討している理由をお答えください。(○はいくつでも)

「人件費が増加した」、「事務費等の経費が増加した」が 3 件となっています。「支援の質を確保することが難しい」が 1 件となっています。

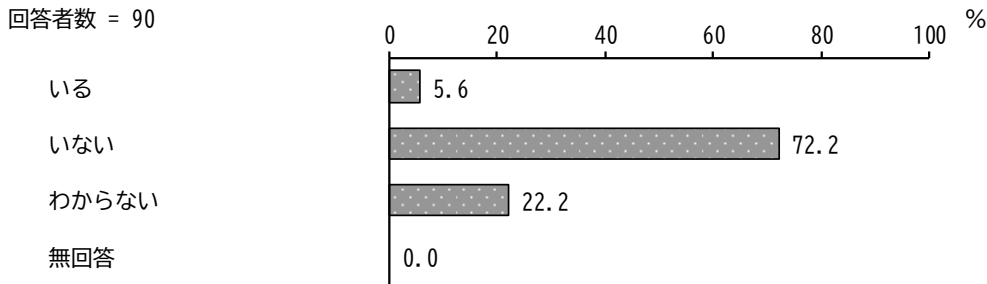




問 35 貴事業所でサービスを提供している利用者の世帯の中で、ヤングケアラー等（※）だと思われる世帯があるかどうかお答えください。（○は1つ）

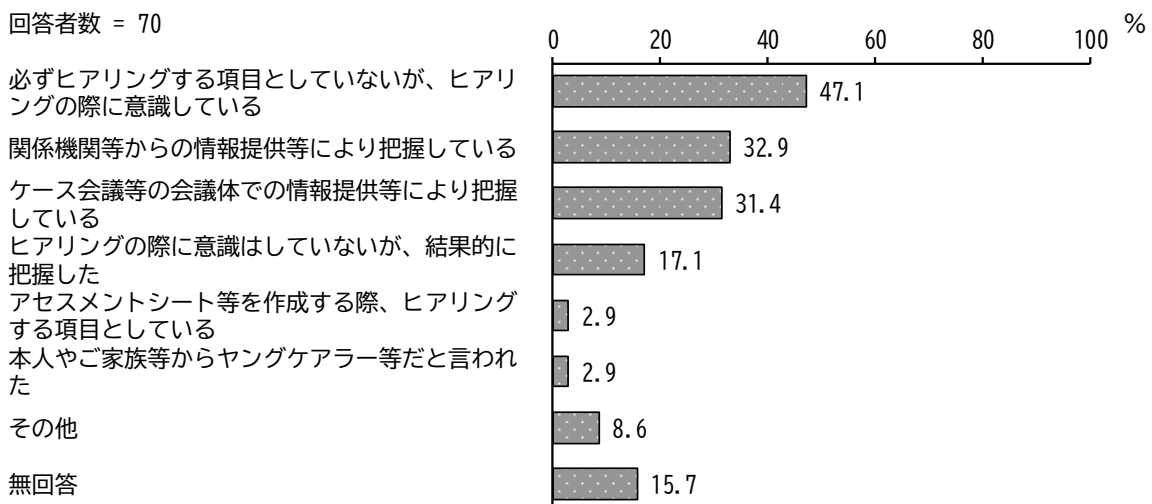
※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「いない」の割合が72.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が22.2%となっています。



問 36 （問 35 で1又は2に○をつけた事業所のみお答えください。）貴事業所では、ヤングケアラー等だと思われる方について、どのように把握しているかお答えください。（○はいくつでも）

「必ずヒアリングする項目としていないが、ヒアリングの際に意識している」の割合が47.1%と最も高く、次いで「関係機関等からの情報提供等により把握している」の割合が32.9%、「ケース会議等の会議体での情報提供等により把握している」の割合が31.4%となっています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、他に比べ、共同生活援助で「ヒアリングの際に意識はしていないが、結果的に把握した」の割合が、就労継続支援（B型）で「関係機関等からの情報提供等により把握している」の割合が、同行援護で「必ずヒアリングする項目としていないが、ヒアリングの際に意識している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	必ずヒアリングする項目としていないが、ヒアリングの際に意識している	関係機関等からの情報提供等により把握している	ケース会議等の情報提供等により把握している	ヒアリングの際に意識はしていないが、結果的に把握した
全体	70	47.1	32.9	31.4	17.1
居宅介護	25	48.0	36.0	32.0	20.0
重度訪問介護	16	43.8	31.3	25.0	12.5
同行援護	12	58.3	41.7	33.3	16.7
行動援護	—	—	—	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—
短期入所	—	—	—	—	—
療養介護	—	—	—	—	—
生活介護	3	66.7	33.3	33.3	33.3
施設入所支援	—	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	1	—	—	—	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—	—
就労移行支援	6	66.7	50.0	16.7	16.7
就労継続支援（A型）	1	—	—	—	—
就労継続支援（B型）	10	30.0	50.0	30.0	10.0
就労定着支援	7	57.1	57.1	28.6	14.3
共同生活援助	10	20.0	20.0	30.0	40.0
自立生活援助	1	100.0	100.0	100.0	—
地域移行支援	1	100.0	100.0	100.0	—
地域定着支援	1	100.0	100.0	100.0	—
計画相談支援	6	100.0	66.7	50.0	—
障害児相談支援	5	100.0	60.0	60.0	—
児童発達支援	6	66.7	16.7	16.7	—
医療型児童発達支援	—	—	—	—	—
放課後等デイサービス	7	57.1	—	14.3	—
保育所等訪問支援	1	100.0	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—	—
移動支援	15	40.0	33.3	40.0	20.0
日中一時支援	—	—	—	—	—
その他	1	100.0	100.0	100.0	—

（次のページへ）

単位：％

区分	アセスメントシート等を作成する際、ヒアリングする項目としている	本人やご家族等からヤングケアラー等だと言われた	その他	無回答
全 体	2.9	2.9	8.6	15.7
居宅介護	4.0	4.0	—	12.0
重度訪問介護	6.3	6.3	—	18.8
同行援護	—	—	—	16.7
行動援護	—	—	—	—
重度障害者等包括支援	—	—	—	—
短期入所	—	—	—	—
療養介護	—	—	—	—
生活介護	—	—	66.7	—
施設入所支援	—	—	—	—
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	—	—	100.0	—
宿泊型自立訓練	—	—	—	—
就労移行支援	—	—	—	16.7
就労継続支援（A型）	—	—	—	100.0
就労継続支援（B型）	—	—	20.0	20.0
就労定着支援	—	—	—	14.3
共同生活援助	10.0	—	20.0	—
自立生活援助	—	—	—	—
地域移行支援	—	—	—	—
地域定着支援	—	—	—	—
計画相談支援	—	—	—	—
障害児相談支援	—	—	—	—
児童発達支援	—	16.7	—	33.3
医療型児童発達支援	—	—	—	—
放課後等デイサービス	—	—	—	42.9
保育所等訪問支援	—	—	—	—
居宅訪問型児童発達支援	—	—	—	—
移動支援	6.7	6.7	—	13.3
日中一時支援	—	—	—	—
その他	—	—	—	—

（前ページの表 続き）

## Ⅲ 自由回答

### 1 医療的ケア・重症心身障がい者児調査

分類回答	
障がい者に対する理解、教育について	4
専門機器についての相談先について	2
親亡き後の受け入れ先について	2
介護者の負担、不安について	3
区への要望、意見について	11
日常生活、楽しみについて	6
施設増設、施設サービス、情報発信について	4
福祉課への要望、知識教育について	5
公共交通機関、移動について	2
医療児ケアについて	3
災害時について	1
アンケートについて	2
その他	1

### 2 知的障がい者調査

◎障がい児	
知的障がい者に対する理解の促進をしてほしい	34
親や親族がいなくなった後の不安・心配	27
学校卒業後等に働ける施設を近くに提供してほしい	1
卒業後も毎日通えるような受け入れ場所がほしい	3
区内に特別支援学校をつくってほしい	2
就労支援を充実してほしい	4
障がい児を預けられる場所がほしい	10
◎サービス	
施設について	5
グループホームや生活寮等の充実をしてほしい	16
サービスの内容をもっと充実してほしい	11
スポーツ施設や音楽教室がほしい	7
◎区等への要望	
職員は親身になって対応してほしい	5

◎情報・相談	
施設やサービス等の情報提供をもっとしてほしい	6
相談体制の充実をしてほしい	5
◎今後の心配・困りごと	
神経を使う	1
◎経済的支援	
経済的な問題で今後どうなるか不安だ	2
障害年金や手当を拡充してほしい	5
障がい者の賃金を上げてほしい	1
◎住居	
都営住宅を利用したい・住まいに困っている	2
◎保健・医療	
知的障がい者に理解を示す病院が区内にほしい	3
病院の受入体制を整えてほしい	2
◎その他	
その他	5
現在の状況に満足している	14
アンケートに対する意見	5

### 3 知的障がい者（施設入所者）調査

現在の状況について（2件）  
 福祉サービスについて（3件）  
 その他（2件）

### 4 精神障がい者調査

◎就労・親亡き後	
親や親族がいなくなった後や今後が不安・心配	13
就労に関する不安がある	1
障がい者に理解のある職場をつくってほしい	19
◎経済的支援	
経済的不安がある	26
障害年金がもらえない・金額を上げてほしい	4
◎情報・相談	
施設やサービス等の情報提供をもっとしてほしい	15
相談体制の充実をしてほしい	22
両親の介護が心配	1

Ⅲ 自由回答

◎今後の生活の心配・困りごと	
周囲から理解されない	1
病気の不安、加齢による衰えが心配	5
人とコミュニケーションをとるのが煩わしい	5
ひとりの時や日常生活に不安・困難が生じる	2
◎サービス	
福祉サービスの充実をしてほしい	12
交流の場がほしい	6
グループホーム等入居施設の増設をしてほしい	1
施設の充実をしてほしい	3
◎区等への要望	
精神障がい者に対する理解の促進をしてほしい	28
都営住宅を利用したい・住まいに困っている	9
職員は親身になって対応してほしい	8
自立支援等の手続きに対する意見	3
プライバシーの保護	1
精神障害者保健福祉手帳の更新を5年に1度ぐらいにしてほしい	8
◎保健・医療	
医療費を負担・軽減してほしい	5
精神・神経科系の医療機関の充実や増設をしてほしい	5
◎移動・交通	
タクシー券が欲しい	2
地下鉄の全線、JRなども無料にしてほしい	3
都営交通乗車券を何回でも発行してほしい	4
◎その他	
その他	18
現在の状況に満足している	8
アンケートに対する意見	4

## 5 身体障がい者調査

◎就労・親亡き後	
就労に関すること	5
障がい者に理解のある職場をつくってほしい	13
◎経済的支援	
経済的援助をしてほしい（補助金・給付金・助成）	29
経済的不安がある	2
金銭的負担軽減の制度改善	8
障害年金がもらえない・金額を上げてほしい	4
◎情報・相談	
施設やサービス等の情報提供	24
相談体制の充実	11
◎今後の生活の心配・困りごと	
ひとりの時や日常生活に不安・困難（将来の不安）	11
病気の不安、加齢による衰えが心配	4
◎サービス	
福祉サービスの充実（設備・支給品・システムの充実）	22
サービスの制度改善（区の支援等）	17
施設の増設・充実（介護施設・学校施設）	10
障害等級の認定に関して	8
その他	10
◎区等への要望	
障がい者に対する理解の促進	88
職員は親身になって対応してほしい	8
区の対応に満足・感謝	42
区への一般的要望	8
都営住宅・住まい（入居・家賃）	5
◎保健・医療	
病院への要望・不満	5

Ⅲ 自由回答

◎移動・交通	
道路の整備（バリアフリー）	24
タクシー券（支給者選定、金額等）	36
交通施設の改善（エレベーター・エスカレーター）をしてほしい	6
その他（優先席）（障害者への配慮等）	13
地下鉄の全線、JRなども無料にしてほしい	1
駐車に関して（身障者用駐車スペースの設置数、立地等）	1
自転車に関して（マナーが悪く危険、駐輪場の設置数等）	3
コミュニティバス（運行経路、ノンステップバスの普及等）	6
都営交通乗車券（無料）（例：助かっている等）	9
◎その他	
現況に満足（感謝）	7
現在の生活報告	33
その他	20
現在の病状報告	26
アンケートに対する意見	19

## 6 身体障がい者（施設入所者）

病院、薬局での対応の悪さを改善してほしいとの要望（1件）

要介護度の区分変更見直し申請を慎重に判断してほしいとの要望（1件）

酸素吸入装着時の移動手段についてのご要望（1件）

## 7 難病罹患者調査

◎手続きや認定	
申請手続きが煩雑・難しい/申請期間が短い	5
毎年更新手続きするのが大変/用意する書類に費用がかかる	13
難病医療券が大きすぎる/個人情報載せていることへの不安/携帯しにくい	4
◎就労	
難病者への雇用拡大/再就職・転職が困難/病気による失業	8
仕事を続ける不安	1



◎経済的支援	
医療費の補助拡充／医療費や検査費が負担に感じる	28
通院のための交通費負担軽減／交通機関全般の割引や無料化／タクシー券	11
経済的援助をしてほしい（補助金・給付金・助成）／家賃など	7
金銭的負担軽減の制度改善	6
難病と同時に発生している病気にも補助がほしい	2
特養ホームへの入居ができるようにしてほしい	1
◎情報・相談	
難病者に対する理解の促進をしてほしい	17
施設やサービス等の情報提供をしてほしい	8
どこに相談に行けばよいかわからない／気軽に話に行ける場所がほしい	7
心のケアがほしい／「難病」という言葉の重み	1
ヘルプマークの周知をしてほしい	3
障がい者総合支援法についての具体的案内がほしい	3
◎社会生活について	
どんな状況の人も生活しやすい社会を望む（難病、障がい等）	5
出来る範囲で普通に生活したい	6
難病患者同士／地域の人との交流の場がほしい	1
自分の経験を活かして、他の病気の人役に立ちたい	1
自分もできることをしたい（地域活動、ドナー登録）	1
◎今後の生活の心配・困りごと	
経済的不安がある	3
難病では身障者手帳がもらえない／障がい者並みの支援が受けられない	1
病気の不安、加齢による衰えが心配	6
災害時が不安	1
ひとりになった時の不安	3
◎サービス	
配食サービスの65歳以上制限の撤廃	1
趣味の講座などは難病者枠がほしい	2
◎区等への要望	
職員は親身になって対応してほしい／優しく対応してほしい	1
区内に手続窓口を増やして	1
区の対応に満足・感謝	19
土日にも障害福祉課を開いてほしい	2

Ⅲ 自由回答

◎保健・医療	
近くに専門医がない	1
早く良い薬／治療方法を／病気に関する最新情報がほしい	5
病院への要望・不満	4
◎その他	
現況に満足（感謝）	2
現在の生活報告	2
現在の病状報告	6
アンケートに対する意見	9
その他	1

8 障がい児通所支援利用者調査

◎保護者のケア	
保護者への配慮、アドバイス、情報が欲しい	12
保護者への配慮やアドバイスに感謝している	1
保護者の交流が欲しい	2
◎施設について	
施設やサービスを利用して満足	5
通える所（クラス・施設）を増やして／通うのが不便／利用したいのにできない	24
区内施設の連携が足りない	2
区でことばについての発達支援を受けたい	1
◎費用について	
もっと区で費用負担をしてほしい	5
◎社会生活	
障がい者が理解される／偏見がなくなる社会に	5

9 障害福祉サービス等事業所調査

分類回答	
移動支援について	2
人材不足について	2
区への要望、意見について	4
将来への不安	2
就労について	1

# IV 調査票

## 1 医療的ケア・重症心身障がい者児

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

1 本人	5 子(配偶者の子を含む)
2 配偶者	6 兄弟姉妹
3 父	7 その他の親族
4 母	8 その他( )

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

歳

問4 あなたがお持ちの手帳等はどれですか。また、手帳をお持ちの方は、等級をお答えください。(○はいくつでも)

「5 該当なし」に○をつけた方は、問10へお進みください。

取得している手帳等	取得していない手帳等
(○はいくつでも) 身体障害者手帳 1級・2級・3級・4級・5級・6級 →問5へ 愛の手帳 1度・2度・3度・4度 →問8へ 精神障害者保健福祉手帳 1級・2級・3級 →問9へ 難病 該当なし →問10へ	(○はそれぞれ1つ) 1級・2級・3級・4級・5級・6級 →問5へ

問5 (問4で「1 身体障害者手帳」に○をつけた方のみお答えください。)

あなたの身体障がい部位・症状はどれですか。あてはまるものがあるばすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 視覚	6 上肢機能	11 膀胱・直腸機能
2 聴覚	7 下肢機能	12 肝臓機能
3 音声・言語	8 心臓機能	13 その他( )
4 そしやく機能	9 呼吸機能	
5 平衡機能	10 腎臓機能	

問6 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なもの1つをお答えください。(あてはまる番号を1つご記入ください。)

(上記問5の項目の)

生活のニーズや福祉に関する調査  
 (医療的ケア児者・重症心身障害児者の方へ)

この調査は、生活状況や障がい者施策へのご要望を伺い、障がい者プランに反映する事を目的として行うものです。  
 ご回答いただいた結果は、とりまとめ、「〇〇の意見が何パーセント」というような資料を作成しますので、回答者のお名前が出る等のご迷惑をかけることはありません。

何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

- 質問の中では、ご本人のことを「あなた」と表現しています。
- 回答は、ご本人がお答え可能な場合はご本人、ご本人にお答えいただくことが難しい場合は、ご家族の方等がご本人の立場に立って回答を記入してください。
- 回答は、当てはまる番号を○で囲むか、言葉や数字を記入してください。

■調査問い合わせ先

荒川区福祉部障害者福祉課

【調査の内容や記入方法等についてのお問合せ】  
 電話 03-3802-3111 内線2685  
 【障がい者プランについてのお問合せ】  
 電話 03-3802-3111 内線2681

問11 介護保険サービス（訪問介護・通所介護等）を利用していますか。  
(○は1つ)

1 利用している →問12へ      2 利用していない →問13へ

問12 (問11で「1.利用している」に○をつけた方のみお答えください。)  
該当する要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

ア 非該当	エ 要介護1	キ 要介護4
イ 要支援1	オ 要介護2	ク 要介護5
ウ 要支援2	カ 要介護3	

問13 あなたは、現在、誰と一緒に生活していますか。(○はいくつでも)

1 一人暮らし	5 兄弟姉妹
2 配偶者	6 祖父・祖母
3 親(父・母)	7 その他( )
4 子(配偶者の子を含む)	

問14 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。(○は1つ)

ア 1人	エ 4人
イ 2人	オ 5人以上
ウ 3人	

問15 あなたは次のような日常生活の動作がひとりですべてできますか。  
それぞれの項目についてあなたはまる欄の番号に○をつけてください。  
(1～16について各々○は1つ)

日常生活の動作	自分でできる	一部に手助けが必要	全部に手助けが必要
1 歩くこと	1	2	3
2 食事すること	1	2	3
3 食事の支度や後片付けすること	1	2	3
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	1	2	3
5 トイレで用を足し、後始末すること	1	2	3
6 入浴し、身体や髪を洗うこと	1	2	3
7 歯磨き・洗顔等すること	1	2	3

問7 「身体障害者手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

歳

問8 (問4で「2.愛の手帳」に○をつけた方のみお答えください。)  
「愛の手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

歳

問9 (問4で「3.精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方のみお答えください。)  
「精神障害者保健福祉手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

歳

問10 あなたが、現在必要とする医療的ケアはありますか。(○はいくつでも)

1 人工呼吸器(麻マスク式補助換気法、ハイローラーセラピー、間歇的陽圧吸入法、排痰補助装置及び高頻度胸壁振動装置を含む。)の管理
2 気管切開の管理
3 鼻咽喉エアウェイの管理
4 酸素療法
5 吸引(口鼻腔内又は気管内吸引に限る。)
6 ネプライザーの管理
7 経管栄養(経鼻胃管、胃ろう、経鼻腸管、経胃ろう腸管、腸ろう、食道ろう、持続経管注入ポンプ使用)
8 中心静脈カテーテルの管理(中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬等)
9 皮下注射(インスリン、薬等の注射を含む、持続皮下注射ポンプの使用)
10 血糖管理測定(持続血糖測定器による血糖測定を含む。)、埋め込み式血糖測定器による血糖測定
11 継続的な透析(血液透析、腹膜透析)
12 排便管理(消化管ストーマ、嚥便、洗腸)
13 導尿(間欠的導尿、持続的導尿(尿道留置カテーテル、膀胱ろう、腎ろう、尿管ストーマ))
14 経導尿時における尿管挿入、吸引、酸素投与又は迷走神経刺激装置の作動等の処置
15 その他( )
16 現在必要とする医療的ケアはない

日常生活の動作	自分でできる	一部に手助けが必要	全部に手助けが必要
8 室内の掃除・整理整頓をすること	1	2	3
9 洗濯をし、干し、たたむこと	1	2	3
10 布団を干すこと	1	2	3
11 電話を受けたり、かけたりすること	1	2	3
12 規則的な服薬をすること	1	2	3
13 病院に行くこと	1	2	3
14 近所に日用品の買い物に行くこと	1	2	3
15 バス・都電・都バスを利用すること	1	2	3
16 医療的ケアを行うこと	1	2	3

問16 (問15で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。)

あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 配偶者	8 グループホームの職員
2 父	9 友人
3 母	10 ホームヘルパー
4 子供(その配偶者も含む)	11 ボランティア
5 兄弟姉妹(その配偶者も含む)	12 その他( )
6 祖父・祖母	
7 1～6以外の親族	

問17 (問16で「1」～「7」に○をつけた方のみお答えください。)

手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。(問16で「1」～「7」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「ア」に○をつけた方は問18へお進みください。「ア」以外に○をつけた方は、問21へお進みください。

ア 18歳未満	→ 問18～20	エ 40～49歳	キ 70～79歳
イ 18～29歳		オ 50～59歳	ク 80歳以上
ウ 30～39歳		カ 60～69歳	

問18 (問17で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

手助けをしている18歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※ 床ずれ、褥瘡、褥瘡、褥瘡の若者の褥瘡の予防、家族の世話を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

1 家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物)をしている
2 金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている
3 身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている

問19 (問17で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

18歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1 毎日	3 週に2～3日	5 1か月に数日
2 週に1日	4 週に4～5日	6 その他( )

問20 (問17で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

18歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 (18歳未満の人からみたら)親が病気であるため
2 (18歳未満の人からみたら)親が仕事で忙しいため
3 ひとり親家庭のため
4 親がきょうだいの面倒をみているため
5 親に障がいがあるため
6 その他( )

問21 あなたが日常のことで悩んだことや困ったことを相談している人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	家族・親戚
2	友人・知人
3	近所の人
4	ホームヘルパー・訪問看護師
5	保健師
6	障害者相談員・民生委員・児童委員
7	障害者福祉課・たんぼほセンター等の職員の職員
8	計画相談・障害児相談支援事業所の相談支援専門員
9	荒川区障害者基幹相談支援センターの職員
10	通所先の障害福祉サービス等事業者の職員
11	ケアマネジャー
12	医療的ケア児等地域コーディネーター
13	その他 ( )
14	誰もいない

問22 あなたは、病院への通院や訪問診療をどのくらい行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	病院に入院している
2	病院を毎月受診している
3	病院を2か月以上から6か月以上1回受診している
4	病院を7か月以上から1年に1回受診している
5	定期的に訪問診療を受けている
6	時々(不定期に)訪問診療を受けている
7	病院や訪問診療等での診療をほとんど受けない

問23 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(○は1つ)

1	戸建ての持ち家
2	分譲マンション
3	戸建ての借家
4	賃貸マンション・アパート
5	公営住宅
6	社宅等
7	その他 ( )

問24 あなたまたはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいや理由に附られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	附られた経験がある
2	最終的には借りられたが難航した
3	違差を求められたことがある
4	その他 ( )
5	そのような経験はない

問25 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出)(○は1つ)

1	ほぼ毎日	4	月に1~2回くらい
2	週に2~3回	5	年に数回くらい
3	週に1回くらい	6	まったく外出しない

問26 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。

1	できる
2	できない

問27 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	家族	5	福祉サービス事業所等の関係者
2	親戚	6	訪問看護師
3	友人・知人	7	その他 ( )
4	近所の人	8	特にない

問28 あなたは、地震・火災等の災害時に備えて保有している医療機器等の予備はありますか。(○はいくつでも)

1	発電機	5	カテテル
2	蓄電池	6	経管栄養・栄養食等
3	カーインバーター	7	その他 ( )
4	薬剤・物品	8	特にない

問29 障害福祉サービス、施設等の利用状況について、お伺いします。それ  
それ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

障害福祉サービス等の利用	現在利用している	利用していること	利用していないが	知らない
1 居宅介護（ホームヘルプ）	1	2	3	4
2 重度訪問介護	1	2	3	4
3 同行援護	1	2	3	4
4 行動援護	1	2	3	4
5 短期入所（ショートステイ）	1	2	3	4
6 療養介護	1	2	3	4
7 生活介護	1	2	3	4
8 施設入所支援	1	2	3	4
9 グループホーム（共同生活援助）	1	2	3	4
10 地域移行支援（入所・入院先を出て地域での生活に原るための支援）	1	2	3	4
11 地域定着支援（地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	1	2	3	4
12 児童発達支援	1	2	3	4
13 医療型児童発達支援	1	2	3	4
14 放課後等デイサービス	1	2	3	4
15 保育所等訪問支援	1	2	3	4
16 居宅訪問型児童発達支援	1	2	3	4
17 障害児入所施設（福祉型・医療型）	1	2	3	4
18 計画相談支援・障害児相談支援	1	2	3	4
19 デイサービス	1	2	3	4
20 緊急一時保護	1	2	3	4
21 日中一時支援サービス	1	2	3	4
22 巡回入浴サービス・施設入浴	1	2	3	4
23 日常生活用具の給付	1	2	3	4
24 補償の交付・修理	1	2	3	4
25 福祉タクシー等の支援	1	2	3	4
26 リフト付自動車利用助成	1	2	3	4

障害福祉サービス等の利用	現在利用している	利用していること	利用していないが	知らない
27 自動車燃料費の助成	1	2	3	4
28 住宅設備改善の助成	1	2	3	4
29 紙おむつ等の給付	1	2	3	4
30 留守番看護士の派遣	1	2	3	4
31 寝具乾燥消毒	1	2	3	4
32 理美容サービス	1	2	3	4
33 配食サービス	1	2	3	4
34 避難行動要支援者登録事業（避難行動要支援者個別支援計画等）	1	2	3	4
35 緊急通報システムの設置	1	2	3	4
36 補助犬（盲導犬・警導犬・介助犬）利用	1	2	3	4
37 成年後見人制度	1	2	3	4
38 地域福祉権利擁護事業（あんしんサポート）	1	2	3	4
39 コミュニティバス乗車券支給	1	2	3	4
40 医療的ケア児等家庭サポーター事業	1	2	3	4
41 医療的ケア児等地域コーディネーター	1	2	3	4

問30 施設の利用状況について、お伺いします。それぞれの項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

施設の利用	現在利用している	利用していること	利用していないが	知らない
1 アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	1	2	3	4
2 たんぽぽセンターの療育訓練	1	2	3	4
3 荒川福祉作業所、荒川生活実習所	1	2	3	4
4 希望の家（本所・分所）	1	2	3	4

施設の利用	現在利用している	利用があること	利用していないが	知らない
5 じよぶあらかわ（障害者就労支援センター）	1	2	3	4
6 荒川区障害者基幹相談支援センター	1	2	3	4
7 荒川区保健所	1	2	3	4
8 東京都心身障害者福祉センター	1	2	3	4
9 東京都障害者総合スポーツセンター	1	2	3	4
10 東京都障害者休業ホーム	1	2	3	4
11 荒川区子ども家庭総合支援センター	1	2	3	4

問31 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 絵画や音楽等の芸術活動	7 障がい者団体等の活動
2 映画やコンサート等の鑑賞	8 区が主催するイベント等
3 スポーツ・運動	9 その他のイベント等
4 料理	10 その他( )
5 買い物や学習活動	11 籍になし
6 旅行	12 活動をしたとは思わない

問32 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 電車やバスなどの利用が不便
2 移動する方法がない
3 建物や施設の設備の利用が不便
4 障がい等が重く、活動が困難
5 お知らせや案内等を知らない
6 参加しやすい時間に行わない
7 経済的理由により、活動が困難
8 障がい等に対する理解や配慮がない
9 付き合ってくれる人が少ない
10 参加できるような活動が少ない
11 興味を感じる活動が少ない
12 その他( )
13 活動しにくいと感じない

問33 あなたは、障害福祉サービス等について、困っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 重症心身障害児者を受け入れる事業所が少ない
2 医療的ケアが行える事業所が少ない
3 事業所に看護職員等の配置が少ない
4 重症心身障害児者受け入れや医療的ケアを行っている事業所ではあるが、事業所の対応状況に不安がある
5 区外の事業所を利用しているが、場所が遠い等で未復である
6 障害福祉サービス等について、相違先がわからない
7 どのようなサービスが利用できるかわからない
8 サービスを提供してくれる事業所がわからない
9 サービスを使うための返迎がない
10 その他( )
11 困っていない



問34 あなたは、障がい者を理田とする差別や偏見や偏見について、どのような時に感じることがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方などが、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか)(〇はいくつでも) また差し支えなければ、〇をつけた内容について具体的に記入してください

- 1 あなたが人と話をしているとき(障がいがあるからわからなから決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)  
→具体的に ( )
- 2 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)  
→具体的に ( )
- 3 あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危ないからやめられた方がいいと言われた、等)  
→具体的に ( )
- 4 障がいに対する理解がないと感じるとき(就労先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)  
→具体的に ( )
- 5 周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)  
→具体的に ( )
- 6 傷つくことを言われたとき(あなたに監してもわからない、等)  
→具体的に ( )
- 7 その他  
→具体的に ( )
- 8 差別や偏見を感じたことはない

問35 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす
- 2 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める
- 3 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う
- 4 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する
- 5 障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する
- 6 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める
- 7 その他 ( )

問36 障害福祉、医療的ケア児者支援等に関するご意見を自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

## 2 愛の手帳所有者

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

1 本人	5 子(配偶者の子を含む)
2 配偶者	6 兄弟姉妹
3 父	7 その他の親族
4 母	8 その他( )

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 あなたの年齢は令和4年4月1日現在、何歳ですか。

歳

問4 あなたの「愛の手帳」に記載されている障害の程度は、何度ですか。(○は1つ)

ア 1度	イ 2度	ウ 3度	エ 4度
------	------	------	------

問5 「愛の手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

歳

問6 あなたは「身体障害者手帳」を持っていますか。(○は1つ)  
 「1 持っている」に○をつけた方は、問7へお進みください。「2 持っていない」に○をつけた方は、問10へお進みください。

1 持っている	→問7へ	2 持っていない	→問10へ
---------	------	----------	-------

問7 (問6で「1 持っている」に○をつけた方は次の設問の該当するものに○をつけてください)

あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障害の程度は総合等級の何級ですか。(○は1つ)

ア 1級	ウ 3級	オ 5級
イ 2級	エ 4級	カ 6級

### 生活のニーズや福祉に関する調査 (愛の手帳をお持ちの方へ)

この調査は、生活状況や障がい者施策へのご要望を伺い、障がい者プランに反映する事を自的として行うものです。  
 ご回答いただいた結果は、とりまとめで「〇〇の意見が何パーセント」というような資料を作成しますので、回答者のお名前が出る等のご迷惑をかけることは決してありません。  
 何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

- 質問の中では、ご本人のことを「あなた」と表現しています。
- 回答は、ご本人がお答え可能な場合はご本人、ご本人にお答えいただくことが難しい場合は、ご家族の方等がご本人の立場に立って回答を記入してください。
- 回答は、当てはまる番号を○で囲むか、言葉や数字を記入してください。

■調査問い合わせ先  
 荒川区福祉部障害者福祉課  
 【調査の内容や記入方法等についてのお問合せ】  
 電話 03-3802-3111 内線2685  
 【障がい者プランについてのお問合せ】  
 電話 03-3802-3111 内線2681

問8 あなたの身体機能がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 視覚	6 上肢機能	11 膀胱・直腸機能
2 聴覚	7 下肢機能	12 肝臓機能
3 音声・言語	8 心臓機能	13 その他( )
4 そしやく機能	9 呼吸機能	
5 平衡機能	10 腎臓機能	

問9 あなたの身体機能がいの部位・症状のなかで主なものをお答えください。(あてはまる番号を問8から1つご記入ください。)

(上記問8の項目の) \_\_\_\_\_ 番

問10 あなたは、「精神障害者保健福祉手帳」を持っていますか。(○は1つ)

1 持っている → 問11へ      2 持っていない → 問12へ

問11 (問10で「1」持っているに○をつけた方のみお答えください。)

障がいの程度は、何級ですか。(○は1つ)

ア 1 級      イ 2 級      ウ 3 級

問12 あなたは、難病と診断されていますか。(○は1つ)

1 診断されている      2 診断されていない

問13 介護保険サービス(訪問介護や通所介護等)を利用していますか。(○は1つ)

1 利用している → 問14へ      2 利用していない → 問15へ

問14 (問13で「1」利用しているに○をつけた方のみお答えください。)

該当する要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

ア 非該当	エ 要介護1	キ 要介護4
イ 要支援1	オ 要介護2	ク 要介護5
ウ 要支援2	カ 要介護3	

問15 あなたは、現在、誰と一緒に生活していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 一人暮らし	5 兄弟姉妹
2 配偶者	6 祖父・祖母
3 親(父・母)	7 その他( )
4 子(配偶者の子を含む)	

問16 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。(○は1つ)

ア 1人      ウ 3人      オ 5人以上

イ 2人      エ 4人

問17 あなたは次のような日常生活の動作がひとりですべてできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけて下さい。(1~17について各々○は1つ)

	自分でできる	一部に手が付けが必要	全端に手が付けが必要
1 歩くこと	1	2	3
2 食事をすること	1	2	3
3 食事の支度や後片付けをすること	1	2	3
4 簡単な調理をすること	1	2	3
5 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	1	2	3
6 トイレで用を足し、後始末をすること	1	2	3
7 入浴し、身体や髪を洗うこと	1	2	3
8 歯磨き・洗顔等をすること	1	2	3
9 室内の掃除・整理整頓をすること	1	2	3
10 洗濯をすること	1	2	3
11 布団を畳むこと	1	2	3
12 お金の管理をすること	1	2	3

日常生活の動作 日常生活の動作	自分でできる	一部に助けが必要	全部に助けが必要
13 電話を受けたり、かけたこと	1	2	3
14 規則的に服薬すること	1	2	3
15 病院に行くこと	1	2	3
16 近所に買い物に行くこと	1	2	3
17 バス・都電・電車を利用すること	1	2	3

問18 (問17で「一部に助けが必要」または「全部に助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。)

あなたが日常生活を送るうえで、誰から助けを受けていますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 配偶者
- 2 父
- 3 母
- 4 子(配偶者を含む)
- 5 兄弟姉妹
- 6 祖父・祖母
- 7 1～6以外の親族
- 8 ホームヘルパー
- 9 友人
- 10 ボランティア
- 11 その他( )

問19へ

問19 (問18で「1」～「7」に○をつけた方のみお答えください。)

助けを受けている方の年齢は令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。(問18で「1」～「7」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「ア」に○をつけた方は問20へお進みください。「ア」以外に○をつけた方は、問23へお進みください。

ア 18歳未満	→ 問20～22へ	エ 40～49歳	キ 70～79歳
イ 18～29歳		オ 50～59歳	ク 80歳以上
ウ 30～39歳		カ 60～69歳	

問20 (問19で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

助けを受けている18歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※ 単米、大人がする予定されているような家事や、家族の世話を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラ」等と呼ばれています。

- 1 家の中の家事(食卓の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている
- 2 金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている
- 3 身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている

問21 (問19で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

18歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

- 1 毎日 3 週に2～3日 5 1か月に数日
- 2 週に1日 4 週に4～5日 6 その他( )

問22 (問19で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

18歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 (18歳未満の父からみた)親が病気でいるため
- 2 (18歳未満の父からみた)親が仕事で忙しいため
- 3 ひとり親家庭のため
- 4 親がきょうだいの面倒をみているため
- 5 親に障がいがあるため
- 6 その他( )

問23 あなたが日常のことや困ったことを相談している人はいいますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 家族・親戚
- 2 友人・知人
- 3 近所の人
- 4 ホームヘルパー・保健師・訪問看護師
- 5 障害者相談員・民生委員・児童委員
- 6 障害者福祉課・たんぼほセンター等の区の職員
- 7 計画相談・障害児相談支援事業所の相談支援専門員
- 8 荒川区障害者基幹相談支援センターの職員
- 9 通所先の障害福祉サービス等事業者の職員
- 10 ケアマネージャー
- 11 勤務先の人
- 12 その他 ( )
- 13 誰もいない

問24 あなたは、病気で病院に通っていますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 病院に入院している
- 2 定期的に病院に通っている
- 3 時々(不定期に)病院を受診している
- 4 訪問診療を受けている
- 5 毎日薬を飲んでる
- 6 ほとんど病院には行かない
- 7 その他 ( )

問25 あなたのお住まいは次のうちどれですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。(○は1つ)

- 1 一戸建ての持ち家
- 2 分譲マンション
- 3 一戸建ての借家
- 4 賃貸マンション・アパート
- 5 公営住宅
- 6 グループホーム → 問28へ
- 7 その他 ( )

問26 (問25で「6 グループホーム」以外に○をつけた方のみお答えください。)

あなたは家族と離れて、グループホームに住んでみたいと思いますか。

(○は1つ)

- 1 思う → 問28へ
- 2 思わない
- 3 どちらともいえない → 問27へ

7

問27 (問26で「2 思わない」か「3 どちらともいえない」に○をつけた方のみお答えください。)

グループホームに住んでみたいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 周囲の理解や家族の理解が得られないため
- 2 グループホーム入居後に援助してくれる者がいないため
- 3 グループホームでの生活に不安があるため
- 4 グループホームの受入れ先がないため
- 5 日中に活動できる事業所の受入れ先がないため
- 6 自宅で生活がしたいため
- 7 アパート等を借りて、1人で生活したいため
- 8 グループホームでの生活に興味がないため
- 9 その他 ( )
- 10 特に理由はない

問28 あなた、またはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいを理由に断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 断られた経験がある
- 2 最終的には借りられたが難航した
- 3 退去を求められたことがある
- 4 その他 ( )
- 5 そのような経験はない

問29 あなたは、現在、働いていますか。(○は1つ)

- 1 働いている → 問30へ
- 2 働いていない → 問31へ

問30 (問29で「1 働いている」に○をつけた方のみお答えください。)

それは次のうちのどの仕事ですか。(○は1つ)

- 1 会社員・団体職員(フルタイム)
- 2 パートタイマー・アルバイト
- 3 就労継続支援A型
- 4 就労継続支援B型
- 5 内職業
- 6 自営業
- 7 その他 ( )

8

問31 (問29で「2 働いていない」に○をつけた方のみお答えください。)

あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 働きたいが仕事がない
- 2 自分に適した職業・職場がない
- 3 仕事を探している
- 4 生涯訓練・職業訓練中である
- 5 仕事をする年齢ではない
- 6 その他( )

問32 あなたの令和3年中の年収(賞金・年金・手当等のすべての合計)は、税込みでいくらかでしたか。(○は1つ)

- 1 収入なし
- 2 50万円未満
- 3 50万円～100万円未満
- 4 100万円～150万円未満
- 5 150万円～200万円未満
- 6 200万円～250万円未満
- 7 250万円以上

問33 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出) (○は1つ)

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に2～3回
- 3 週に1回くらい
- 4 月に1～2回くらい
- 5 年に数回くらい
- 6 まったく外出しない

問34 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。(○は1つ)

- 1 できる
- 2 できない

問35 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 家族
- 2 親戚
- 3 友人・知人
- 4 近所の人
- 5 福祉サービス事業所等の関係者
- 6 その他( )
- 7 特にない

問36 知的障がい者に関するサービス、施設等の利用状況について、お伺いします。項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～40について各々○は1つ)

知的障がい者に関するサービスの利用	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない
1 ホームヘルプサービス	1	2	3	4
2 ガイドヘルパーの派遣	1	2	3	4
3 ショートステイ(短期入所)	1	2	3	4
4 計画相談支援(サービス等利用計画の作成)	1	2	3	4
5 地域移行支援(入所・入院先を出て地域での生活に居るための支援)	1	2	3	4
6 地域定着支援(地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	1	2	3	4
7 児童発達支援	1	2	3	4
8 医療型児童発達支援	1	2	3	4
9 放課後等デイサービス	1	2	3	4
10 保育所等訪問支援	1	2	3	4
11 居宅訪問型児童発達支援	1	2	3	4
12 障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	1	2	3	4
13 デイサービス	1	2	3	4
14 緊急一時保護	1	2	3	4
15 日中一時支援サービス	1	2	3	4
16 施設入浴	1	2	3	4
17 日常生活用具の給付	1	2	3	4
18 補装具の交付、修理	1	2	3	4
19 紙おむつ等の給付	1	2	3	4
20 避難行動支援者登録事業(避難行動要支援者個別支援計画等)	1	2	3	4
21 就学相談・教育相談	1	2	3	4
22 成年後見人制度	1	2	3	4

知的障がい者に関するサービスの利用	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない
23 地域福祉権利擁護事業（あんしんサポート）	1	2	3	4
24 コミュニティバス乗車券の支給	1	2	3	4
25 アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	1	2	3	4
26 たんぼばセンター（心身障害者福祉センター）	1	2	3	4
27 地域活動支援センター（スクラムあらかわ）	1	2	3	4
28 精神障害者地域生活支援センター・アゼリア	1	2	3	4
29 荒川区精神障がい者相談支援事業所・コンパス	1	2	3	4
30 荒川区障害者基幹相談支援センター	1	2	3	4
31 グループホーム	1	2	3	4
32 荒川区保徳所	1	2	3	4
33 就労移行支援・就労継続支援（福祉作業所）	1	2	3	4
34 生活介護施設（生活実習所等）	1	2	3	4
35 東京都心身障害者福祉センター	1	2	3	4
36 東京都障害者総合スポーツセンター	1	2	3	4
37 ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	1	2	3	4
38 じよぶあらかわ（就労支援センター）	1	2	3	4
39 東京都障害者休養ホーム	1	2	3	4
40 荒川区子ども家庭総合センター	1	2	3	4

問37 あなたは、この1年間に文化・芸術・スポーツ・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 絵画や音楽等の芸術活動	7 障がい者団体の活動
2 映画やコンサート等の鑑賞	8 区が主催するイベント等
3 スポーツ・運動	9 その他のイベント等
4 料理	10 その他( )
5 習い事や学習活動	11 特になし
6 旅行	12 活動をしたくない

問38 あなたは、文化・芸術・スポーツ・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 電車やバスなどの利用が不便	8 障がい等に対する理解や配慮がない
2 移動する方法がない	9 付き合ってくれる人が少ない
3 建物や施設の設備の利用が不便	10 参加できるような活動が少ない
4 障がい等が重く、活動が困難	11 興味を感じる活動が少ない
5 お知らせや案内等を知らない	12 その他( )
6 参加しやすい時間に行わない	13 活動しにくいと感じない
7 経済的理由により、活動が困難	

問39 あなたは、障がい者を理由とする差別や偏見について、どのような詩に感  
じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方  
等が、周囲からご本人に対する差別や偏見について、どのような詩に  
感じたことがありますか。)(○はいくつでも)  
また差し変えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してくだ  
さい。

- 1 あなたが人と話をしているとき(障がいがあるからわからないと決めつ  
けられた、子ども相手のような話し方をされた、等)  
→具体的に( )
- 2 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、  
嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)  
→具体的に( )
- 3 あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危  
ないからやめた方がいいと言われた、等)  
→具体的に( )
- 4 障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気  
なる、施設がバリアフリーに対応していない、等)  
→具体的に( )
- 5 周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられ  
た、等)  
→具体的に( )
- 6 驚つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)  
→具体的に( )
- 7 その他  
→具体的に( )
- 8 差別や偏見を感じたことはない

問40 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと想  
いますか。(○はいくつでも)

- 1 地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を  
増やす
- 2 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める
- 3 学校で、障がいに関する読書や情報提供を行う
- 4 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催す  
る
- 5 障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を  
作成・配布する
- 6 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に  
対する企業の意識を高める
- 7 その他( )

問41 知財障がい者福祉に関するご意見を自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～



### 3 愛の手帳所有者（施設入所）

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

1 本人	3 家族以外の介助者
2 家族	4 その他 ( )

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 あなたの年齢は令和4年4月1日現在、何歳ですか。

歳

問4 あなたの「愛の手帳」に記載されている障がいの程度は、何度ですか。(○は1つ)

ア 1度	ウ 3度
イ 2度	エ 4度

問5 あなたは「身体障害者手帳」を持っていますか。(○は1つ)

「2 持っていない」に○をつけた方は、問9へお進みください。

1 持っている →問6へ      2 持っていない →問9へ

問6 (問5で「1 持っている」に○をつけた方は次の設問の該当するものに○をつけてください)

あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障がいの程度は総合等級の何級ですか。(○は1つ)

ア 1級	ウ 3級	オ 5級
イ 2級	エ 4級	カ 6級

生活のニーズや福祉に関する調査  
 (愛の手帳をお持ちで施設入所又は療養介護を  
 利用されている方へ)

この調査は、生活状況や障がい者施設へのご要望を伺い、障がい者プランに反映することを目的として行うものです。  
 ご回答いただいた結果は、とりまとめ「〇〇の意見が何パーセント」というような資料を作成しますので、回答者のお名前が出る等のご迷惑をかけることは決してありません。何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

- 質問の中では、ご本人のことを「あなた」と表現しています。
- 回答は、ご本人がお答え可能な場合はご本人、ご本人にお答えいただくことが難しい場合は、ご家族の方等がご本人の立場に立って回答を記入してください。
- 回答は、当てはまる番号を○で囲むか、言葉や数字を記入してください。

■調査問い合わせ先  
 荒川区福祉部障書者福祉課  
 【調査の内容や記入方法等についてのお問合せ】  
 電話 03-3802-3111 内線2685  
 【障がい者プランについてのお問合せ】  
 電話 03-3802-3111 内線2681

問7 あなたの身体障がい部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 視覚	6 上肢機能	11 膀胱・直腸機能
2 聴覚	7 下肢機能	12 肝臓機能
3 音声・言語	8 心臓機能	13 その他 ( )
4 そしゃく機能	9 呼吸機能	
5 平衡機能	10 腎臓機能	

問8 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なもの1つお答えください。(あてはまる番号を問7から1つご記入ください)

(上記問7の項目の) \_\_\_\_\_ 番

問9 あなたは、「精神障害者保健福祉手帳」を持っていますか。(○は1つ)

1 持っている → 問10へ      2 持っていない → 問11へ

問10 (問9で「1」持っている)に○をつけた方のみお答えください。

障がいの程度は、何級ですか。(○は1つ)

ア 1級      イ 2級      ウ 3級

問11 あなたが利用しているのは、どの施設ですか。(○は1つ)

1 入所施設      2 療養介護施設(病院)

問12 あなたがその施設を利用している年数は、どのくらいですか。(○は1つ)

ア 1年未満	カ 9年以上11年未満
イ 1年以上3年未満	キ 11年以上13年未満
ウ 3年以上5年未満	ク 13年以上
エ 5年以上7年未満	ケ その他 ( )
オ 7年以上9年未満	

問13 あなたが日中帯に利用しているのは、どのサービスですか。(○は1つ)

1 生活介護
2 療養介護
3 自立訓練(機能訓練・生活訓練)
4 就労移行支援
5 就労継続支援B型
6 その他 ( )

問14 あなたが、その日中帯のサービスを利用している年数は、どのくらいですか。(○は1つ)

ア 1年未満
イ 1年以上3年未満
ウ 3年以上5年未満
エ 5年以上7年未満
オ 7年以上9年未満
カ 9年以上11年未満
キ 11年以上13年未満
ク 13年以上
ケ その他 ( )

問15 あなたが施設入所前に暮らしていた家族構成をお答えください。(○は1つ)

1 一人暮らし	3 あなたと子	5 あなたと兄弟姉妹
2 あなたと親	4 あなたと祖父母	6 その他 ( )

問16 あなたが施設入所前に暮らしていた住居形態をお答えください。(○は1つ)

1 持ち家(一戸建て、マンション等)	4 寮、社宅
2 公営住宅	5 間借り(下宿等)
3 民間の借家	6 その他 ( )
(一戸建て、マンション、アパート等)	

問17 あなたが施設入所前に過ごしていた場所をお答えください。(○は1つ)

1	施設や学校に通わず自宅にいた
2	自宅からデイサービスや通所施設等に通っていた
3	自宅から学校に通っていた
4	病院に入院していた
5	別な施設に入所していた
6	その他 ( )

問18 あなたの施設入所を決めた方は誰ですか。(○は1つ)

1	あなた
2	あなた以外の方

問19 あなたが施設入所を決めた理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	家族による介助が困難
2	心身機能の低下が著しく進んだため
3	将来が不安
4	家族に勧められた(または家族が決めた)
5	住む場所がない
6	施設は生活が保障されている
7	施設は仲間がいるので安心
8	医療的ケアが必要だから
9	その他 ( )

問20 施設では安心して生活できていますか。(○は1つ)

1	はい
2	いいえ
3	どちらともいえない
4	わからない

問21 施設では、利用者のプライバシーは守られていると思いますか。(○は1つ)

1	はい
2	いいえ
3	どちらともいえない
4	わからない

問22 施設の職員の対応は丁寧ですか。(○は1つ)

1	はい
2	いいえ
3	どちらともいえない
4	わからない

問23 施設に対する不満や要望を施設に言いやすいですか。(○は1つ)

1	はい
2	いいえ
3	どちらともいえない
4	わからない

問24 施設の職員はあなたの不満や要望に対してきちんと対応していますか。(○は1つ)

1	はい
2	いいえ
3	どちらともいえない
4	わからない

問25 施設の設備は安心して使えますか。(○は1つ)

1	はい
2	いいえ
3	どちらともいえない
4	わからない

問26 あなたは施設での生活のなかで楽しみにしていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	食事
2	入浴
3	自由時間
4	外出時間
5	職員や仲間と話す時間
6	文化・芸術・余暇活動等
7	わからない
8	その他 ( )

問27 あなたは、この1年間に文化・芸術・スポーツ・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 絵画や音楽等の芸術活動  | 7 自治体が主催するイベント等     |
| 2 映画やコンサート等の鑑賞 | 8 上記以外で施設が主催するイベント等 |
| 3 スポーツ・運動      | 9 その他 ( )           |
| 4 料理           | 10 特になし             |
| 5 習い事や学習活動     | 11 活動をしたいと思わない      |
| 6 散歩等の外での活動    |                     |

問28 施設では、あなたの希望に沿った文化・芸術・余暇活動等は行えていますか。(○は1つ)

- |       |             |
|-------|-------------|
| 1 はい  | 3 どちらともいえない |
| 2 いいえ | 4 わからない     |

問29 今後生活したい場所はどこですか。(○は1つ)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 現在の施設 → 問30へ            |
| 2 別の施設 → 問30へ             |
| 3 施設を出て地域で暮らしたい → 問31、32へ |
| 4 わからない                   |
| 5 その他 ( )                 |

問30 (問29で1か2を選択した方にお聞きします。)  
施設での生活を希望される理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 十分な在宅サービスがないため            |
| 2 今の在宅サービス基盤では自立した生活ができないため |
| 3 周囲の理解や家族の理解が得られないため       |
| 4 住環境が悪く、自宅等に戻っても生活ができないため  |
| 5 一緒に生活している者に遠慮があるため        |
| 6 施設を出た後で援助してくれる者がいないため     |
| 7 健康面等で不安があるため              |
| 8 居住の場であるグループホームの受入れ先がないため  |
| 9 日中に活動できる事業所の受入れ先がないため     |
| 10 その他 ( )                  |

問31 (問29で3を選択された方にお聞きします。)  
施設を退所した後生活したい場所はどこですか。(○は1つ)

- |                         |
|-------------------------|
| 1 自宅に帰って生活したい           |
| 2 アパート等を借りて、1人で生活したい    |
| 3 グループホーム等で少人数の共同生活をしたい |
| 4 わからない                 |
| 5 その他 ( )               |

問32 問29で3を選択された方にお聞きします。  
施設退所後に希望する生活についてお答えください。(○は1つ)

- |                        |
|------------------------|
| 1 家族やヘルパーから支援を受けて生活したい |
| 2 働いて自立した生活をしたい        |
| 3 通所施設等に通いながら生活したい     |
| 4 その他 ( )              |

問33 あなたは、障がい者を理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の芳等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。○はいくつでも)  
また差し変えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください。

- 1 あなたが穴と器をしているとき(障がいがあるからかわらないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)  
→具体的に ( )
- 2 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)  
→具体的に ( )
- 3 あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等)  
→具体的に ( )
- 4 障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)  
→具体的に ( )
- 5 周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)  
→具体的に ( )
- 6 傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)  
→具体的に ( )
- 7 その他  
→具体的に ( )
- 8 差別や偏見を感じたことはない

問34 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、荷が必要だと感じますか。(○はいくつでも)

- 1 地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす
- 2 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める
- 3 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う
- 4 障がいについての正しい知識を普及啓蒙するために、講演会等を開催する
- 5 障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する
- 6 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める
- 7 その他 ( )

問35 その他ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

# 4 精神障害者保健福祉手帳所有者

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

1 本人	5 子 (配偶者の子を含む)
2 配偶者	6 兄弟姉妹
3 父	7 その他の親族
4 母	8 その他 ( )

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

歳

問4 あなたの「精神障害者保健福祉手帳」に記載されている障害の程度は、何級ですか。(○は1つ)

ア 1級	イ 2級	ウ 3級
------	------	------

問5 あなたまたは家族の方が、最初に障がいに気がついたのはいつ頃ですか。そのときのあなたの年齢をお書きください。

歳

問6 「精神障害者保健福祉手帳」は、何歳の時に取りましたか。

歳

問7 あなたは、「身体障害者手帳」を持っていますか。(○は1つ)

「2 持っていない」に○をつけた方は、問11へお進みください。  
 1 持っている → 問8、9、10へ      2 持っていない → 問11へ

問8 (問7で「1 持っている」に○をつけた方のみお答えください。)

あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 視覚	6 上肢機能	11 肝臓機能
2 聴覚	7 下肢機能	12 膀胱・直腸機能
3 音声・言語	8 心臓機能	13 その他 ( )
4 そしゃく機能	9 呼吸機能	
5 平衡機能	10 腎臓機能	

## 生活のニーズや福祉に関する調査 (精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方へ)

この調査は、生活状況や障がい者施策へのご要望を伺い、障がい者プランに反映する事を目的として行うものです。  
 ご回答いただいた結果は、とりまとめ「〇〇の意見が何パーセント」というような資料を作成しますので、回答者のお名前が出る等のご迷惑をかけることは決してありません。  
 何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

- 質問の中では、ご本人のことを「あなた」と表現しています。
- 回答は、ご本人がお答え可能な場合はご本人、ご本人にお答えいただくことが難しい場合は、ご家族の方等がご本人の立場に立って回答を記入してください。
- 回答は、当てはまる番号を○で囲むか、言葉や数字を記入してください。

■調査問い合わせ先

荒川区福祉部障害者福祉課

【調査の内容や記入方法等についてのお問合せ】  
 電話 03-3802-3111 内線2692

【障がい者プランについてのお問合せ】  
 電話 03-3802-3111 内線2681

問16 毎日の生活の中で、次のことがひとりでできますか。それぞれの項目について、あてはまる欄の番号に○をつけてください。

日常生活の動作	自分でできる	必要に手助けが	必要に手助けが
1 食事の支度やあと片付けをすること	1	2	3
2 身のまわりの掃除・整理整頓をすること	1	2	3
3 ごみ出しをすること	1	2	3
4 洗濯をすること	1	2	3
5 日常の買い物をする	1	2	3
6 清潔や身だしなみに気をつけること	1	2	3
7 お金の管理をすること	1	2	3
8 バス・電車等を利用すること	1	2	3
9 定期的に通院すること	1	2	3
10 指示されたとおりに服薬すること	1	2	3
11 銀行・郵便局等を利用すること	1	2	3
12 近所づきあいをすること	1	2	3

問17 【問16で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。】

あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 配偶者	8 グループホームの職員
2 父	9 福祉ホームの職員
3 母	10 友人
4 子供 (その配偶者も含む)	11 ホームヘルパー
5 兄弟姉妹 (その配偶者も含む)	12 ボランティア
6 祖父・祖母	13 その他 ( )
7 1～6以外の親族	



問18へ

問9 【問8で○をつけた方のみお答えください。】

あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なものをも1つお答えください。(あてはまる番号を問8から1つご記入ください)

(前記問8の項目の) \_\_\_\_\_ 番

問10 【問7で「1」持っている」に○をつけた方のみお答えください。】

「身体障害者手帳」に記載されている障害の程度は、何級ですか。(○は1つ)

ア 1級 ウ 3級 オ 5級  
イ 2級 エ 4級 カ 6級

問11 あなたは、現在、難病と診断されていますか。(○は1つ)

1 診断されている 2 診断されていない

問12 介護保険サービス(訪問介護・通所介護等)を利用していますか。(○は1つ)

1 利用している →問13へ 2 利用していない →問14へ

問13 【問12で「1」利用している」に○をつけた方のみお答えください。】

該当する要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

ア 非該当 エ 要介護1 キ 要介護4  
イ 要支援1 オ 要介護2 ク 要介護5  
ウ 要支援2 カ 要介護3

問14 あなたは、現在、どなたかと一緒に生活していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 一人暮らし	8 2～7以外の親族
2 配偶者	9 友人
3 父	10 グループホームの職員
4 母	11 福祉ホームの職員
5 子供 (その配偶者も含む)	12 その他 ( )
6 兄弟姉妹 (その配偶者も含む)	
7 祖父・祖母	

問15 一緒に生活している方は、あなたを含めて合計で何人ですか。(○は1つ)

ア 1人 ウ 3人 オ 5人以上  
イ 2人 エ 4人

問18 (問17で「1」～「7」に○をつけた方のみお答えください。)

手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(問17で「1」～「7」に○を  
 複数つけた方は、○はいくつでも可)  
 「ア」に○をつけた方は問19へお進みください。「ア」以外に○をつけた  
 方は、問22へお進みください。

ア	18歳未満→問19～21へ	エ	40～49歳	キ	70～79歳
イ	18～29歳	オ	50～59歳	ク	80歳以上
ウ	30～39歳	カ	60～69歳		

問19 (問18で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

手助けをしている18歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行  
 っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつで  
 も)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話を  
 日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラ  
 ー」等と呼ばれています。

- 1 家中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をして  
 いる
- 2 金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている
- 3 身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支  
 援、服薬の支援等)をしている

問20 (問18で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

18歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1	毎日	3	週に2～3日	5	1か月に数日
2	週に1日	4	週に4～5日	6	その他( )

問21 (問18で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

18歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべ  
 てに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 (18歳未満の人からみたら)親が病気であるため
- 2 (18歳未満の人からみたら)親が仕事で忙しいため
- 3 ひとり親家庭のため
- 4 親がきょうだいの面倒をみているため
- 5 親に障がいがあるため
- 6 その他( )

問22 日常のことで、現在あなたが相談している人はいらっしゃいますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 家族・親戚
- 2 友人・知人
- 3 近所の人
- 4 民生委員・児童委員
- 5 作業所の職員
- 6 グループホームや福祉ホームの職員
- 7 精神障害者地域支援センター職員
- 8 荒川区精神障がい者相談支援事業所(コンパス)の職員
- 9 荒川区障害者基幹相談支援センター職員
- 10 障害者福祉課の職員
- 11 生活福祉課の職員
- 12 高齢者福祉課の職員
- 13 保健所の保健師
- 14 子ども家庭総合センターの職員
- 15 社会福祉協議会(じよぶ・あらかわ等)の職員
- 16 精神保健福祉センターの職員
- 17 地域包括支援センターの職員
- 18 病院・診療所の医師・看護師等
- 19 ケアマネージャー
- 20 ホームヘルパー
- 21 訪問看護ステーションの看護師
- 22 成年後見人
- 23 その他( )
- 24 誰もいない

問23 あなたが現在相談している内容は何ですか。あてはまるものすべてに  
 ○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 病気のことで・身体のこと
- 2 仕事のこと
- 3 親の介護のこと
- 4 人間関係(家族・友人・隣人等)のこと
- 5 異性・結婚のこと
- 6 お金のこと(収入・管理・財産・年金等)
- 7 食事のこと
- 8 薬の管理のこと
- 9 住居のこと
- 10 将来について
- 11 その他( )



問24 あなたが初めて精神科（神経科・心療内科）で診察を受けたのは、何歳ごろですか（てんかんの場合は小児科・内科を含む）。（○は1つ）

ア	10歳未満	エ	30～39歳	キ	60歳以上
イ	10～19歳	オ	40～49歳		
ウ	20～29歳	カ	50～59歳		

問25 あなたは現在、精神障がいについて治療を継続していますか。あてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）

1	はい	2	治療を中断している
---	----	---	-----------

問26 あなたは、これまでに精神科に入院したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。下線部には、入院の回数と、入院期間の合計を書き入れてください。（○は1つ）

1	入院経験なし	入院は	_____回
2	入院経験あり	・現在までの入院期間は	_____年_____か月
3	現在入院中	合計約	_____年_____か月

問27 あなたは、現在、以下にあるような病気（医師から診断されたもの）がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1	心臓病	7	腎臓病	14	がん
2	高血圧	8	アルコール依存症	15	その他（
3	高脂血症	9	薬物依存症	16	特でない
4	高コレステロール等	10	痛風		
5	糖尿病	11	神経痛・関節痛・腰痛		
6	胃腸病	12	アレルギー疾患		
		13	更年期障害がい		

問28 問27の病気の治療をうけていますか。（それぞれ項目の番号のどちらかに○をつけてください。）

	治療している	治療していない	
1	心臓病	1	2
2	高血圧	1	2
3	高脂血症（高コレステロール等）	1	2
4	糖尿病	1	2
5	胃腸病	1	2
6	肝臓病	1	2
7	腎臓病	1	2
8	アルコール依存症	1	2
9	薬物依存症	1	2
10	痛風	1	2
11	神経痛・関節痛・腰痛	1	2
12	アレルギー疾患	1	2
13	更年期障害がい	1	2
14	がん	1	2
15	その他（	1	2

問29 あなたのお住まいは次のうちどれですか。

あてはまるものひとつに○をつけてください。（○は1つ）

1	一戸建ての持ち家	6	グループホーム	→問32へ
2	分譲マンション	7	福祉ホーム	
3	一戸建ての借家	8	その他（	）
4	賃貸マンション・アパート			
5	公営住宅			

問30 問29で「6 グループホーム」以外に○をつけた方にお聞きます。

あなたはご家族と離れて、グループホームに住んでみたいと思いますか。（○は1つ）

1	思う→問32へ	2	思わない	3	どちらともいえない
---	---------	---	------	---	-----------

⇕  
問31へ

問31 【問30で「2 思わない」か「3 どちらともいえない」に○をつけた方のお答えください。】  
グループホームに住んでみたいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |    |                           |
|----|---------------------------|
| 1  | 周囲の理解や家族の理解が得られないため       |
| 2  | グループホーム入居後に援助してくれる者がいないため |
| 3  | グループホームでの生活に不安があるため       |
| 4  | グループホームの受入れ先がないため         |
| 5  | 日中に活動できる事業所の受入れ先がないため     |
| 6  | 自宅で生活がしたいため               |
| 7  | アパート等を借りて、1人で生活したいため      |
| 8  | グループホームでの生活に興味がないため       |
| 9  | その他( )                    |
| 10 | 特に理由はない                   |

問32 あなた、またはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいや理由に断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1 | 断られた経験がある       |
| 2 | 最終的には借りられたが難航した |
| 3 | 退去を求められたことがある   |
| 4 | その他( )          |
| 5 | そのような経験はない      |

問33 あなたは、現在、働いていますか。(○は1つ)

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1 | 働いている →問34へ     |
| 2 | 働いていない →問35、36へ |

問34 【問33で「1 働いている」に○をつけた方のお答えください。】  
それは次のうちのどの仕事ですか。(○は1つ)

- |   |               |   |            |
|---|---------------|---|------------|
| 1 | 常勤の社員・職員      | 5 | 社会適応訓練への通所 |
| 2 | パートタイマー・アルバイト | 6 | 自営業        |
| 3 | 就労継続支援A型      | 7 | その他( )     |
| 4 | 就労継続支援B型      |   |            |

問35 【問33で「2 働いていない」に○をつけた方のお答え下さい。】

あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1 | 仕事をしたいが雇用されない   |
| 2 | 自分に適した職業・職場がない  |
| 3 | 仕事を探している        |
| 4 | 学校・職業訓練校に通っている  |
| 5 | 仕事をすると体力、気力がでない |
| 6 | その他( )          |

問36 【問33で「2 働いていない」に○をつけた方のお答えください。】

あなたは、日常どのように過ごしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| 1 | デイケアに通っている                   |
| 2 | 精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用している |
| 3 | 家事を手伝っている                    |
| 4 | その他( )                       |
| 5 | 特に何もしていない                    |

問37 あなたは精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用(来所、電話を含む。)したことがありますか。(○は1つ)

- |   |          |
|---|----------|
| 1 | ある →問38へ |
| 2 | ない →問39へ |

問38 【問37で「1 ある」に○をつけた方のお答えください。】

精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用する目的は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |   |             |    |             |
|---|-------------|----|-------------|
| 1 | 生活相談        | 7  | 就労相談        |
| 2 | プログラムに参加    | 8  | 職員に話を聞いてもらう |
| 3 | パソコンを利用     | 9  | 制度利用についての相談 |
| 4 | 仲間との交流      | 10 | 計画相談        |
| 5 | 日中の居場所として   | 11 | その他( )      |
| 6 | 喫茶「ほのぼの」を利用 |    |             |

問43 (問42で「2」～「1.1」に○をつけた方のみお答えください。)  
 あなたの収入の種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 働いて得た収入 (給料・工賃・事業収入)  
 2 年金  
 3 財産収入 (地代・家賃・使用料等の収入)  
 4 別居家族からの支援  
 5 生活保護  
 6 その他 ( )  
 7 世帯の収入 (18歳未満の方)

問44 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出)  
 (○は1つ)

1 ほぼ毎日  
 2 週に2～3回  
 3 週に1回くらい  
 4 月に1～2回くらい  
 5 めったに外出しない  
 6 まったく外出しない →問45へ

問45 (問44で「5」または「6」に○をつけた方のみお答えください。)  
 あまり外出しない理由は何ですか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 障がい・病気の具合が良くない  
 2 付き添ってくれる人がいない  
 3 他人との会話がむずかしい  
 4 他人の視線が気になる  
 5 交通機関を利用できない  
 6 その他 ( )

問46 あなたは地震・火災等災害時に、ひとりで避難できますか。  
 (○は1つ)

1 できる 2 できない

問39 (問37で「2」～「ない」に○をつけた方のみお答えください。)  
 精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 アゼリアを知らない  
 2 精神障がい者相談支援事業所「コンパス」を利用している  
 3 他区の地域生活支援センターを利用している  
 4 場所が遠い  
 5 相談がしにくい  
 6 その他 ( )

問40 あなたは精神障がい者相談支援事業所「コンパス」を利用(来所、電話を含む。)したことがありますか。(○は1つ)

1 ある →問42へ 2 ない →問41へ

問41 (問40で「2」～「ない」に○をつけた方のみお答えください。)  
 精神障がい者相談支援事業所「コンパス」を利用しない理由は何ですか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 コンパスを知らない  
 2 精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用している  
 3 他区の地域生活支援センターを利用している  
 4 場所が遠い  
 5 相談がしにくい  
 6 その他 ( )

問42 あなたの令和3年中の年収(働いた年収・年金・手当等の合計)は、税込  
 みていくらでしたか。(○は1つ)

1 収入はない →問44へ  
 2 年間50万円未満  
 3 年間50万円～100万円未満  
 4 年間100万円～150万円未満  
 5 年間150万円～200万円未満  
 6 年間200万円～250万円未満  
 7 年間250万円～300万円未満  
 8 年間300万円～400万円未満  
 9 年間400万円～500万円未満  
 10 年間500万円～600万円未満  
 11 年間600万円以上 →問43へ

問47 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 家族	5 福祉サービス事業所等の関係者
2 親戚	6 その他( )
3 友人・知人	7 特になし
4 近所の人	

問48 精神障がい者に関する施設・サービス等の利用状況について、お伺いします。項目ごとにあてはまる数字に○をつけてください。(1～33について各々○は1つ)

精神障がい者に関する施設・サービス等の利用	現在利用している	利用したこと	利用しているがいない	知らない
1 アクロスあらかわ(障害者福祉会館)	1	2	3	4
2 精神障害者地域生活支援センター(アゼリア)	1	2	3	4
3 荒川区精神障がい者相談支援事業所(コンパス)	1	2	3	4
4 荒川区障害者基幹相談支援センター	1	2	3	4
5 就労移行・就労継続支援(作業所)	1	2	3	4
6 グループホーム	1	2	3	4
7 福祉ホーム	1	2	3	4
8 じよぶあらかわ(障害者就労支援センター)	1	2	3	4
9 東京都障害者総合サポートセンター	1	2	3	4
10 ハローワーク足立(足立公共職業安定所)	1	2	3	4
11 医療費の公費負担	1	2	3	4
12 成年後見人制度	1	2	3	4
13 あんしんサポート(地域福祉権利擁護事業)	1	2	3	4
14 障害年金	1	2	3	4
15 社会適応訓練	1	2	3	4
16 ホームヘルプアップサービス	1	2	3	4

精神障がい者に関する施設・サービス等の利用	現在利用している	利用したこと	利用しているがいない	知らない
17 移動支援サービス	1	2	3	4
18 ショートステイ	1	2	3	4
19 計画相談支援(サービス等利用計画の作成)	1	2	3	4
20 地域移行支援(入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援)	1	2	3	4
21 地域定着支援(地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	1	2	3	4
22 児童発達支援	1	2	3	4
23 放課後等デイサービス	1	2	3	4
24 障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	1	2	3	4
25 避難行動要支援者登録事業(避難行動要支援者個別支援計画等)	1	2	3	4
26 保健所の保健師への相談	1	2	3	4
27 医療機関等のダイヤケア	1	2	3	4
28 訪問看護	1	2	3	4
29 ところの夜間電話相談	1	2	3	4
30 都営住宅の優先入居	1	2	3	4
31 都営交通無料乗車券	1	2	3	4
32 公立施設使用料の減額、免除	1	2	3	4
33 NHK受信料の減額、免除	1	2	3	4

問49 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 絵画や音楽等の芸術活動	7 障がい者団体等の活動
2 映画やコンサート等の鑑賞	8 区が主催するイベント等
3 スポーツ・運動	9 その他のイベント等
4 料理	10 その他( )
5 習い事や学習活動	11 特になし
6 旅行	12 活動をしたと思わない

問50 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |    |                  |
|----|------------------|
| 1  | 電車やバスなどの利用が不便    |
| 2  | 移動する方法がない        |
| 3  | 建物や施設の設備の利用が不便   |
| 4  | 障がい等が重く、活動が困難    |
| 5  | お知らせや案内等を知らない    |
| 6  | 参加しやすい時間に行われない   |
| 7  | 経済的理由により、活動が困難   |
| 8  | 障がい等に対する理解や配慮がない |
| 9  | 付き合ってくれる人が少ない    |
| 10 | 参加できるような活動が少ない   |
| 11 | 興味を感じる活動が少ない     |
| 12 | その他 ( )          |
| 13 | 活動しにくいと感じない      |

問51 あなたが必要だと思ふ制度やサービス等（現在、利用しているものも含む。）は何ですか。(○は5つまで)

- |    |                          |
|----|--------------------------|
| 1  | 住宅に関する援助サービス（情報・相談等）     |
| 2  | 食事の提供                    |
| 3  | 食事の支度、買い物等のホームヘルプサービス    |
| 4  | 掃除、洗濯、ごみ出し等のホームヘルプサービス   |
| 5  | 受診の付添いサービス               |
| 6  | 仲間・当事者（ピア）と一緒に話せる場、いこいの場 |
| 7  | 一時的に休養できる場（ショートステイ）      |
| 8  | 趣味やスポーツができる場             |
| 9  | 生活に関する相談、援助（健康、福祉等）      |
| 10 | 結婚に関する相談                 |
| 11 | 休日や夜間に相談・受診できる医療サービス     |
| 12 | 仕事に関する支援                 |
| 13 | お金や財産の管理サービス（成年後見制度等）    |
| 14 | 経済的な支援（手当等）              |
| 15 | その他 ( )                  |
| 16 | 特にない                     |

問52 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。)(○はいくつでも)  
また差し支えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 | あなたが人と話をしているとき(障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)<br>→具体的に ( ) |
| 2 | 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)<br>→具体的に ( ) |
| 3 | あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思っただら、危ないからやめた方がいいと言われた、等)<br>→具体的に ( )   |
| 4 | 障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)<br>→具体的に ( )   |
| 5 | 周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)<br>→具体的に ( )                    |
| 6 | 傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)<br>→具体的に ( )                            |
| 7 | その他<br>→具体的に ( )  |
| 8 | 差別や偏見を感じたこととはない   |

問53 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 地域行事への障がいの参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす             |
| 2 | 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める               |
| 3 | 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う                         |
| 4 | 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する             |
| 5 | 障がいの生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する           |
| 6 | 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がいの者雇用に対する企業の意識を高める |
| 7 | その他 ( )                                       |

問54 精神保健福祉社に関するご意見やお困りのこと、より快適な生活をするために必要なこと等をお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

## 5 身体障害者手帳所有者

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

1 本人	5 子 (配偶者の子を含む)
2 配偶者	6 兄弟姉妹
3 父	7 その他の親族
4 母	8 その他 ( )

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

歳

問4 あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障害の程度は、総合等級の何級ですか。(○は1つ)

ア 1級	ウ 3級	オ 5級
イ 2級	エ 4級	カ 6級

問5 あなたの身体障がい(部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも))

1 視覚	6 上肢機能	11 膀胱・直腸機能
2 聴覚	7 下肢機能	12 肝臓機能
3 音声・言語	8 心臓機能	13 その他 ( )
4 そしやく機能	9 呼吸機能	
5 平衡機能	10 腎臓機能	

問6 あなたの身体障がい(部位・症状のなかで主なものを1つお答えください。(あてはまる番号を1つご記入ください。))

(上記問5の項目の) \_\_\_\_\_ 番

問7 「身体障害者手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

歳

問8 あなたは、現在、難病と診断されていますか。(○は1つ)

1 診断されている	2 診断されていない
-----------	------------

### 生活のニーズや福祉に関する調査 (身体障害者手帳をお持ちの方へ)

この調査は、生活状況や障がい者施策へのご要望を伺い、障がい者プランに反映する事を目的として行うものです。  
ご回答いただいた結果は、とりまとして「〇〇の意見が何パーセント」というような資料を作成しますので、回答者のお名前が出る等のご迷惑をかけることは決してありません。  
何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

- 質問の中では、ご本人のことを「あなた」と表現しています。
- 回答は、ご本人がお答え可能な場合はご本人、ご本人にお答えいただくことが難しい場合は、ご家族の方等がご本人の立場に立って回答を記入してください。
- 回答は、当てはまる番号を○で囲むか、言葉や数字を記入してください。

■調査問い合わせ先

荒川区福祉部障害者福祉課

【調査の内容や記入方法等についてのお問合せ】  
電話 03-3802-3111 内線2685

【障がい者プランについてのお問合せ】  
電話 03-3802-3111 内線2681

問9 介護保険サービス（訪問介護・通所介護等）を利用していますか。（○は1つ）

1 利用している →問10へ      2 利用していない →問11へ

問10 【問9で「1」利用している」に○をつけた方のみお答えください。】

該当する要介護度に○をつけてください。（○は1つ）

ア 非該当	エ 要介護1	キ 要介護4
イ 要支援1	オ 要介護2	ク 要介護5
ウ 要支援2	カ 要介護3	

問11 あなたは、現在、どなたかと一緒に生活していますか。

（○はいくつでも）

1 一人暮らし	5 兄弟姉妹
2 配偶者	6 祖父・祖母
3 親（父・母）	7 その他（      ）
4 子（配偶者の子を含む）	

問12 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。

（○は1つ）

ア 1人	エ 4人
イ 2人	オ 5人以上
ウ 3人	

問13 あなたは次のような日常生活の動作がひとりですることができますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。（1～15について各々○は1つ）

日常生活の動作	自分でできる	一部に手助けが必要	全部に手助けが必要
1 歩くこと	1	2	3
2 食事をすること	1	2	3
3 食事の支度や後片付けをすること	1	2	3
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	1	2	3
5 トイレで用を足し、後始末をすること	1	2	3
6 入浴し、身体や髪を洗うこと	1	2	3
7 歯磨き・洗顔等をすること	1	2	3
8 室内の掃除・整理整頓をすること	1	2	3
9 洗濯をし、干し、たたむこと	1	2	3
10 布団を干すこと	1	2	3
11 電話を受けたり、かけたこと	1	2	3
12 規則的な服薬をすること	1	2	3
13 病院にいくこと	1	2	3
14 近所に日常の買い物にいくこと	1	2	3
15 バス・都電・電車を利用すること	1	2	3

問14 【問13で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。】

あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。（○はいくつでも）

1 配偶者	8 グループホームの職員
2 父	9 友人
3 母	10 ホームヘルパー
4 子供（その配偶者も含む）	11 ボランティア
5 兄弟姉妹（その配偶者も含む）	12 その他（      ）
6 祖父・祖母	
7 1～6以外の親族	

問15へ



問15 (問14で「1」～「7」に○をつけた方のみお答えください。)  
 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。(問14で「1」～「7」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)  
 「ア」に○をつけた方は問16へお進みください。「ア」以外に○をつけた方は、問19へお進みください。

ア	18歳未満	→	問16～18へ	エ	40～49歳	キ	70～79歳
イ	18～29歳			オ	50～59歳	ク	80歳以上
ウ	30～39歳			カ	60～69歳		

問16 (問15で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)  
 手助けをしている18歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)  
 ※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

- 1 家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている
- 2 金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている
- 3 身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている

問17 (問15で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)  
 18歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1	毎日	3	週に2～3日	5	1か月に数日
2	週に1日	4	週に4～5日	6	その他( )

問18 (問15で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)  
 18歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 (18歳未満の人からみたら) 親が病気であるため
- 2 (18歳未満の人からみたら) 親が仕事で忙しいため
- 3 ひとり親家庭のため
- 4 親がきょうだいの面倒をみているため
- 5 親に障がいがあるため
- 6 その他( )

問19 あなたが日常のことや困ったことを相談している人はいいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 家族・親戚
- 2 友人・知人
- 3 近所の人
- 4 ホームヘルパー・保健師・訪問看護師
- 5 障害者相談員・民生委員・児童委員
- 6 障害者福祉課・たんぼぼセンター等の区の職員
- 7 計画相談・障害児相談支援事業所の相談支援専門員
- 8 荒川区障害者基幹相談支援センターの職員
- 9 通所先の障害福祉サービス等事業所の職員
- 10 ケアマネージャー
- 11 勤務先の人
- 12 その他( )
- 13 誰もいない

問20 あなたは、日常生活で次のような機器を利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 電話
- 2 ファクシミリ
- 3 携帯電話等
- 4 パソコン
- 5 その他( )
- 6 何も利用していない

問21 あなたは、病院に通う等、健康に不安がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 病院に入院している
- 2 定期的に病院に通っている
- 3 訪問診療を受けている
- 4 毎日薬を飲んでいる
- 5 病気がちである
- 6 不安はない
- 7 その他( )

問22 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(○は1つ)

- 1 一戸建ての持ち家
- 2 分譲マンション
- 3 一戸建ての借家
- 4 賃貸マンション・アパート
- 5 公営住宅
- 6 社宅等
- 7 その他( )

問23 あなた（または家族の方）がアパートやマンションを借りようとしたとき断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1 | 断われた経験がある       |
| 2 | 最終的には借りられたが難航した |
| 3 | 退去を求められたことがある   |
| 4 | その他（ ）          |
| 5 | そのような経験はない      |

問24 あなたは、現在、働いていますか。（○は1つ）

- |   |              |
|---|--------------|
| 1 | 働いている →問25へ  |
| 2 | 働いていない →問26へ |

問25 (問24で「1. 働いている」に○をつけた方のみお答えください。)

それは次のうちのどの仕事ですか。（○は1つ）

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1 | 会社員・団体職員（フルタイム） |
| 2 | パートタイム・アルバイト    |
| 3 | 就労継続支援A型        |
| 4 | 就労継続支援B型        |
| 5 | 内職業             |
| 6 | 家業手伝い           |
| 7 | その他（ ）          |

問26 (問24で「2. 働いていない」に○をつけた方のみお答えください。)

あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |   |                |
|---|----------------|
| 1 | 仕事を探したが雇用されない  |
| 2 | 自分に適した職業・職場がない |
| 3 | 仕事を探している       |
| 4 | 生活訓練・職業訓練中である  |
| 5 | 仕事をする年齢ではない    |
| 6 | その他（ ）         |

問27 あなたの令和3年中の年取（賃金・年金・手当等全での合計）は、税込みでいくらでしたか。（○は1つ）

- |    |                 |
|----|-----------------|
| 1  | 年間50万円未満        |
| 2  | 年間50万円～100万円未満  |
| 3  | 年間100万円～150万円未満 |
| 4  | 年間150万円～200万円未満 |
| 5  | 年間200万円～250万円未満 |
| 6  | 年間250万円～300万円未満 |
| 7  | 年間300万円～400万円未満 |
| 8  | 年間400万円～500万円未満 |
| 9  | 年間500万円～600万円未満 |
| 10 | 年間600万円以上       |

問28 あなたはどのくらい外出しますか。（通院、散歩等すべての外出）

（○は1つ）

- |   |         |   |           |
|---|---------|---|-----------|
| 1 | ほぼ毎日    | 4 | 月に1～2回くらい |
| 2 | 週に2～3回  | 5 | 年に数回くらい   |
| 3 | 週に1回くらい | 6 | まったく外出しない |

問29 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。

（○は1つ）

- |   |     |   |      |
|---|-----|---|------|
| 1 | できる | 2 | できない |
|---|-----|---|------|

問30 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |   |       |   |                |
|---|-------|---|----------------|
| 1 | 家族    | 5 | 福祉サービス事業所等の関係者 |
| 2 | 親戚    | 6 | 訪問看護師          |
| 3 | 友人・知人 | 7 | その他（ ）         |
| 4 | 近所の人  | 8 | 特になし           |

問31 身体障がい者に関するサービスの利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～35について各々○は1つ)

身体障がい者に関するサービスの利用	し現 て在 い利 る用	こ利 と用 がし あ た る	い利 用 つ し て い る な が	知 ら な い
1 ホームヘルプサービス	1	2	3	4
2 ガイドヘルパー派遣事業	1	2	3	4
3 ショートステイ (短期入所)	1	2	3	4
4 計画相談支援 (サービス等利用計画の作成)	1	2	3	4
5 地域移行支援 (入所・入院先を出て、地域での生活に戻るための支援)	1	2	3	4
6 地域定着支援 (地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	1	2	3	4
7 児童発達支援	1	2	3	4
8 医療型児童発達支援	1	2	3	4
9 放課後等デイサービス	1	2	3	4
10 保育所等訪問支援	1	2	3	4
11 居宅訪問型児童発達支援	1	2	3	4
12 障害児相談支援 (障害児支援利用計画の作成)	1	2	3	4
13 デイサービス	1	2	3	4
14 緊急一時保護	1	2	3	4
15 日中一時支援サービス	1	2	3	4
16 福祉タクシースターの支給	1	2	3	4
17 補装具の交付・修理	1	2	3	4
18 日常生活用具の給付	1	2	3	4
19 住宅設備改善の助成	1	2	3	4
20 紙おむつ等の給付	1	2	3	4
21 対面音楽者の派遣	1	2	3	4
22 留守番看護師の派遣	1	2	3	4
23 手話通訳者の派遣	1	2	3	4
24 寝具乾燥消毒	1	2	3	4
25 巡回入浴サービス・施設入浴	1	2	3	4
26 理美容サービス	1	2	3	4
27 電話料金の補助	1	2	3	4

身体障がい者に関するサービスの利用	し現 て在 い利 る用	こ利 と用 がし あ た る	い利 用 つ し て い る な が	知 ら な い
28 配食サービス	1	2	3	4
29 避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	1	2	3	4
30 緊急通報システムの設置	1	2	3	4
31 補助犬 (盲導犬・聴導犬・介助犬) 利用	1	2	3	4
32 就学相談・教育相談	1	2	3	4
33 成年後見人制度	1	2	3	4
34 地域福祉権利擁護事業 (あんしんサポート)	1	2	3	4
35 コミュニティバス乗車券支給	1	2	3	4

問32 身体障がい者に関する施設の利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～14について各々○は1つ)

身体障がい者に関する施設の利用	し現 て在 い利 る用	こ利 と用 がし あ た る	い利 用 つ し て い る な が	知 ら な い
1 アクロスあらかわ (障害者福祉会館)	1	2	3	4
2 たんぽぽセンターの教育訓練	1	2	3	4
3 荒川福祉作業所、荒川生活実習所	1	2	3	4
4 希望の家 (本所・分場)	1	2	3	4
5 荒川区障害者基幹相談支援センター	1	2	3	4
6 作業所 (就労継続支援、就労移行支援事業所)	1	2	3	4
7 グループホーム	1	2	3	4
8 じよぶあらかわ (障害者就労支援センター)	1	2	3	4
9 荒川区保健所	1	2	3	4
10 東京都心身障害者福祉センター	1	2	3	4
11 東京都障害者総合スポーツセンター	1	2	3	4
12 ハローワーク足立 (足立公共職業安定所)	1	2	3	4
13 東京都障害者休養ホーム	1	2	3	4
14 荒川区子ども家庭総合センター	1	2	3	4

問33 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |   |              |    |             |
|---|--------------|----|-------------|
| 1 | 絵画や音楽等の芸術活動  | 7  | 障がい者団体等の活動  |
| 2 | 映画やコンサート等の鑑賞 | 8  | 区が主催するイベント等 |
| 3 | スポーツ・運動      | 9  | その他のイベント等   |
| 4 | 料理           | 10 | その他( )      |
| 5 | 習い事や学習活動     | 11 | 特になし        |
| 6 | 旅行           | 12 | 活動をしたいと思わない |

問34 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |    |                  |
|----|------------------|
| 1  | 電車やバスなどの利用が不便    |
| 2  | 移動する方法がない        |
| 3  | 建物や施設の設備の利用が不便   |
| 4  | 障がい等が重く、活動が困難    |
| 5  | お知らせや案内等を知らない    |
| 6  | 参加しやすい時間に行わない    |
| 7  | 経済的理由により、活動が困難   |
| 8  | 障がい等に対する理解や配慮がない |
| 9  | 付き合ってくれる人が少ない    |
| 10 | 参加できるような活動が少ない   |
| 11 | 興味を感じる活動が少ない     |
| 12 | その他( )           |
| 13 | 活動しにくいと感じない      |

問35 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。)(○はいくつでも)  
また差し支えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください。

- |   |  |
|---|--|
| 1 | あなたが人と話をしていて、障がいがあるからかわらないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)<br>→具体的に( )   |
| 2 | 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)<br>→具体的に( ) |
| 3 | あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等)<br>→具体的に( )    |
| 4 | 障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)<br>→具体的に( )   |
| 5 | 周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)<br>→具体的に( )                    |
| 6 | 傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)<br>→具体的に( )                            |
| 7 | その他<br>→具体的に( )  |
| 8 | 差別や偏見を感じたことはない   |

問36 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 地域行事への障がいの参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす           |
| 2 | 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める             |
| 3 | 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う                       |
| 4 | 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する           |
| 5 | 障がいの生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する         |
| 6 | 一般企業への講師派遣や出前講座を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める |
| 7 | その他 ( )                                     |

問37 身体障がい者福祉に関するご意見を自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

## 6 身体障害者手帳所有者（施設入所）

問1 この調査票を記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

1 本人	
2 家族	
3 家族以外の介助者	
4 その他 ( )	

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

歳

問4 あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障がいの程度は、総合等級の何級ですか。(○は1つ)

ア 1級	ウ 3級	オ 5級
イ 2級	エ 4級	カ 6級

問5 あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 視覚	6 上肢機能	11 膀胱・直腸機能
2 聴覚	7 下肢機能	12 肝臓機能
3 音声・言語	8 心臓機能	13 その他 ( )
4 そしゃく機能	9 呼吸機能	
5 平衡機能	10 腎臓機能	

問6 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なものを1つお答えください。(あてはまる番号を1つご記入ください。)

(上記問5の項目の) \_\_\_\_\_ 番

問7 あなたが利用しているのは、どの施設ですか。(○は1つ)

1 入所施設
2 療養介護施設 (病院)

### 生活のニーズや福祉に関する調査

(身体障害者手帳をお持ちで、施設入所又は療養介護を利用されている方へ)

この調査は、生活状況や障がい者施策へのご要望を伺い、障がい者プランに反映する事を目的として行なうものです。  
ご回答いただいた結果は、とりまとめて「〇〇の意見が何パーセント」というような資料を作成しますので、回答者のお名前が出る等のご迷惑をかけることは決してありません。  
何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### ■記入にあたってのお願い

- 質問の中では、ご本人のことを「あなた」と表現しています。
- 回答は、ご本人がお答え可能な場合はご本人、ご本人にお答えいただくことが難しい場合は、ご家族の方等がご本人の立場に立って回答を記入してください。
- 回答は、当てはまる番号を○で囲むか、言葉や数字を記入してください。

#### ■調査問い合わせ先

荒川区福祉部障害者福祉課

【調査の内容や記入方法等についてのお問合せ】  
電話 03-3802-3111 内線2685  
【障がい者プランについてのお問合せ】  
電話 03-3802-3111 内線2681

問8 あなたがその施設を利用している年数は、どのくらいですか。(○は1つ)

ア	1年未満	カ	9年以上11年未満
イ	1年以上3年未満	キ	11年以上13年未満
ウ	3年以上5年未満	ク	13年以上
エ	5年以上7年未満	ケ	その他
オ	7年以上9年未満		( )

問9 あなたが日中帯に利用しているのは、どのサービスですか。(○は1つ)

1	生活介護
2	療養介護
3	自立訓練(機能訓練・生活訓練)
4	就労移行支援
5	就労継続支援B型
6	その他 ( )

問10 あなたが日中帯のサービスを利用している年数は、どのくらいですか。(○は1つ)

ア	1年未満	カ	9年以上11年未満
イ	1年以上3年未満	キ	11年以上13年未満
ウ	3年以上5年未満	ク	13年以上
エ	5年以上7年未満	ケ	その他
オ	7年以上9年未満		( )

問11 あなたが施設入所前に暮らしていた家族構成をお答えください。(○は1つ)

1	一人暮らし
2	あなたと親
3	あなたと子
4	あなたと祖父母
5	あなたと兄弟姉妹
6	その他 ( )

問12 あなたが施設入所前に暮らしていた住居形態をお答えください。(○は1つ)

1	持ち家(一戸建て、マンション等)
2	公営住宅
3	民間の借家(一戸建て、マンション、アパート等)
4	社宅等
5	間借り(下宿等)
6	その他 ( )

問13 あなたが施設入所前に暮らしていた住居で困っていたことはありましたか。(○はいくつでも)

1	玄関、家の中に段差や階段がある
2	廊下が狭い
3	廊下や階段に手すりが無い
4	トイレや風呂が使いにくい
5	台所が使いにくい
6	ドアの開閉が困難(取手がかみかみにくい等)
7	スイッチやコンセントが使いにくい
8	集合住宅の共用部分に階段や段差がある
9	その他 ( )

問14 あなたが施設入所前に通っていた場所をお答えください。(○は1つ)

1	施設や学校に通わず自宅にいた
2	自宅からデイサービスや通所施設等に通っていた
3	自宅から学校に通っていた
4	病院に入院していた
5	別な施設に入所していた
6	その他 ( )

問15 あなたの施設入所を決めた方は誰ですか。(○は1つ)

1	あなた
2	あなた以外の方

問16 あなたが施設入所を決めた理由は何か。(○はいくつでも)

1	家族による介助が困難
2	心身機能の低下が著しく進んだため
3	将来が不安
4	家族に勧められた(又は家族が決めた)
5	住む場所がない
6	施設は生活が保障されている
7	施設は仲間がいるので安心
8	医療的ケアが必要だから
9	福祉サービスを利用していても在宅での生活が不安だから
10	その他 ( )

問17 施設では安心して生活できていますか。(○は1つ)

1	はい
2	いいえ
3	どちらともいえない
4	わからない

問 18 施設では、利用者のプライバシーは守られていると思いますか。(○は1つ)

1 はい	3 どちらともいえない
2 いいえ	4 わからない

問 19 施設の職員の対応は丁寧ですか。(○は1つ)

1 はい	3 どちらともいえない
2 いいえ	4 わからない

問 20 施設に対する不満や要望を施設に言いやすいですか。(○は1つ)

1 はい	3 どちらともいえない
2 いいえ	4 わからない

問 21 施設の職員はあなたの不満や要望に対してきちんと対応していますか。

(○は1つ)

1 はい	3 どちらともいえない
2 いいえ	4 わからない

問 22 施設の設備は安心して使えますか。(○は1つ)

1 はい	3 どちらともいえない
2 いいえ	4 わからない

問 23 あなたが施設での生活のなかで楽しみにしていることは何ですか。

(○はいくつでも)

1 食事	
2 入浴	
3 自由時間	
4 外出時間	
5 職員や仲間と話す時間	
6 文化・芸術・余暇活動等	
7 わからない	
8 その他 ( )	

問 24 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 絵画や音楽等の芸術活動	7 自治体が主催するイベント等
2 映画やコンサート等の鑑賞	8 上記以外で施設が主催するイベント等
3 スポーツ・運動	9 その他 ( )
4 料理	10 特になし
5 習い事や学習活動	11 活動をしたくないと思わない
6 散歩等の外での活動	

問 25 施設では、あなたの希望に沿った文化・芸術・余暇活動等は行えていますか。(○は1つ)

1 はい	3 どちらともいえない
2 いいえ	4 わからない

問 26 今後生活したい場所はどこですか。(○は1つ)

1 現在の施設	⇒ 問 27 へ
2 別の施設	
3 施設を出て地域で暮らしたい → 問 28、29 へ	
4 わからない	
5 その他 ( )	⇒ 問 30 へ

問 27 (問 26 で1か2を選択した方にお聞きします。)

施設での生活を希望される理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 充分な在宅サービスがないため
2 今の在宅サービス基盤では自立した生活ができないため
3 周囲の理解や家族の理解が得られないため
4 住環境が悪く、自宅等に戻っても生活ができないため
5 一緒に生活している者に遠慮があるため
6 施設を出た後で援助してくれる者がいないため
7 健康面等で不安があるため
8 居住の場であるグループホームの受入れ先がないため
9 日中に活動できる事業所の受入れ先がないため
10 その他 ( )

問 28 (問 26 で3を選択された方にお聞きします。)

施設を退所した後に生活したい場所はどこですか。(○は1つ)

1 自宅に帰って生活したい
2 アパート等を借りて、1人で生活したい
3 グループホーム等で少人数の共同生活をしたい
4 わからない
5 その他 ( )



問29 【問26で3を選択された方にお聞きします。】

施設退所後に希望する生活についてお答えください。(〇は1つ)

- 1 家族やヘルパーから支援を受けて生活したい
- 2 働いて自立した生活をしたい
- 3 通所施設等に通いながら生活したい
- 4 デイサービスを受けながら生活したい
- 5 その他 ( )

問30 あなたは、障がいや理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。)(〇はいくつでも)  
また差し支えなければ、〇をつけた内容について具体的に記入してください。

- 1 あなたが人と話しているとき (障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)  
→具体的に ( )
- 2 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき (障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)  
→具体的に ( )
- 3 あなたがやりたいことを止められたとき (チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等)  
→具体的に ( )
- 4 障がいに対する理解がないと感じるとき (就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)  
→具体的に ( )
- 5 周囲からの視線等が気になるとき (ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)  
→具体的に ( )
- 6 傷つくことを言われたとき (あなたに話してもわからない、等)  
→具体的に ( )
- 7 その他  
→具体的に ( )
- 8 差別や偏見を感じたことはない

問31 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

- 1 地域行事への障がいの者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす
- 2 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める
- 3 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う
- 4 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する
- 5 障がいの者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する
- 6 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がいの者雇用に対する企業の意識を高める
- 7 その他 ( )

問32 その他ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

# 7 難病罹患者

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

1 本人	5 子 (配偶者の子を含む)
2 配偶者	6 兄弟姉妹
3 父	7 その他の親族
4 母	8 その他 ( )

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

歳

問4 あなたの難病医療費等助成制度の医療券もしくは診断書に記載されている病名をお書きください。

問5 あなたが、問4で回答された病気になる(または病気になることを知った)のは何歳ごろですか。

歳ごろ

問6 問4で回答された病気になる(または病気になることを知った)のは何歳ごろですか。(○は1つ)

「5 診療を受けていない」に○をつけた方は、問9へお進みください。

1 入院している	→問7へ
2 往診してもらっている	⇒問7、8へ
3 通院している	
4 通院と往診の両方している	
5 診療を受けていない	→問9へ

問7 【問6で1から4に○をつけた方のみお答えください。】

問4で回答された病気になる(または病気になることを知った)のは何歳ごろですか。(○は1つ)

1 荒川区内	3 区節を除く都内
2 荒川区以外の都内区部	4 都外

## 生活のニーズや福祉に関する調査 (難病と診断されている方へ)

この調査は、生活状況や障がい者施策への要望を伺い、障がい者プランに反映する事を目的として行なうものです。  
ご回答いただいた結果は、とりまとして「〇〇の意見が何パーセント」というような資料を作成しますので、回答者のお名前が出る等のご迷惑をかけることは決してありません。  
何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

- 質問の中では、ご本人のことを「あなた」と表現しています。
- 回答は、ご本人がお答え可能な場合はご本人、ご本人にお答えいただくことが難しい場合は、ご家族の方等がご本人の立場に立って回答を記入してください。
- 回答は、当てはまる番号を○で囲むか、言葉や数字を記入してください。

■調査問い合わせ先  
荒川区福祉部障害者福祉課

【調査の内容や記入方法等についてのお問合せ】  
電話 03-3802-3111 内線2692

【障がい者プランについてのお問合せ】  
電話 03-3802-3111 内線2681

問8 (問6で2から4に○をつけた方のみお答えください。)

診療の頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

1	( )月に( )回程度	3	その他( )
2	年に1回程度		

問9 あなたが、現在必要とする医療的ケアはありますか。(○はいくつでも)

1	人工呼吸器(鼻マスク式補助換気法、ハイフローセラピー、間歇的陽圧吸入法、排痰補助装置及び高頻度胸壁振動装置を含む。)の管理
2	気管切開の管理
3	鼻咽喉エアウェイの管理
4	酸素療法
5	吸引(口鼻腔内又は気管内吸引に限る。)
6	ネブライザーの管理
7	経管栄養(経鼻胃管、胃ろう、経鼻腸管、経胃ろう腸管、腸ろう、食道ろう、持続経管注入ポンプ使用)
8	中心静脈カテーテルの管理(中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬等)
9	皮下注射(インスリン、薬等の注射を含む、持続皮下注射ポンプの使用)
10	血糖管理測定(持続血糖測定器による血糖測定を含む。)、埋め込み式血糖測定器による血糖測定
11	継続的な透析(血液透析、腹膜透析)
12	排便管理(消化管ストーマ、排便、洗腸、浣腸)
13	導尿(間欠的導尿、持続的導尿(尿道留置カテーテル、膀胱ろう、腎ろう、尿路ストーマ))
14	痙攣時における麻薬挿入、吸引、酸素投与又は迷走神経刺激装置の作動等の処置
15	その他( )
16	現在必要とする医療的ケアはない

問10 あなたは、医療や健康管理について、困ったり不便に思ったことはありませんか。(○はいくつでも)

1	近所に診察してくれる医師がいない
2	専門的な治療を行っている医療機関が近くにない
3	通院する時に付き添ってくれる人がいない
4	往診を頼める医師がいない
5	歯科診療を受けられない
6	定期的な健康診断を受けられない
7	受診にあたっての手続きや案内等の配慮が不十分
8	医療費の負担が大きい
9	その他( )
10	特に困ったことはない

問11 介護保険サービス(訪問介護・通所介護等)を利用していませんか。(○は1つ)

1	利用している →問12へ	2	利用していない →問13へ
---	--------------	---	---------------

問12 (問11で「1」利用している」に○をつけた方のみお答えください。)

該当する要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

ア	非該当	エ	要介護1	キ	要介護4
イ	要支援1	オ	要介護2	ク	要介護5
ウ	要支援2	カ	要介護3		

問13 あなたは、現在、どなたかと一緒に生活していますか。(○はいくつでも)

1	一人暮らし	5	兄弟姉妹
2	配偶者	6	祖父・祖母
3	親(父・母)	7	その他( )
4	子供(その配偶者も含む)		

問14 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。(○は1つ)

ア	1人	エ	4人
イ	2人	オ	5人以上
ウ	3人		

問15 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。

日常生活の動作	自分でできる	一部に手助けが必要	全部に手助けが必要
1 歩くこと	1	2	3
2 食事をすること	1	2	3
3 食事の支度や後片付けをすること	1	2	3
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	1	2	3
5 トイレで用を足し、後始末をすること	1	2	3
6 入浴し、身体や髪を洗うこと	1	2	3
7 歯磨き・洗顔等をすること	1	2	3
8 室内の掃除・整理整頓をすること	1	2	3
9 洗濯をし、干し、たたむこと	1	2	3
10 布団を干すこと	1	2	3
11 電話を受けたり、かけたこと	1	2	3
12 規則的な服薬をすること	1	2	3
13 病院に行くこと	1	2	3
14 近所に日常の買い物に行くこと	1	2	3
15 バス・都電・電車を利用すること	1	2	3

問16 (問15で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。)

あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。(○はいくつでも)

1 配偶者	5 兄弟姉妹	8 ホームヘルパー
2 父	6 祖父・祖母	9 友人
3 母	7 1～6以外の親族	10 ボランティア
4 子供		11 その他( )

問17へ

問21へ

問17 (問16で「1」～「7」に○をつけた方のみお答えください。)

手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。(問16で「1」～「7」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)  
「ア」に○をつけた方は問18へお進みください。「ア」以外に○をつけた方は、問21へお進みください。

ア 18歳未満 → 問18～20へ	エ 40～49歳	キ 70～79歳
イ 18～29歳	オ 50～59歳	ク 80歳以上
ウ 30～39歳	カ 60～69歳	

問18 (問17で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

手助けをしている18歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)  
※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

- 1 家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている
- 2 金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている
- 3 身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている

問19 (問17で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

18歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

- 1 毎日 3 週に2～3日 5 1か月に数日
- 2 週に1日 4 週に4～5日 6 その他( )

問20 (問17で「ア」に○をつけた方のみお答えください。)

18歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 (18歳未満の人からみたら)親が病气であるため
- 2 (18歳未満の人からみたら)親が仕事で忙しいため
- 3 ひとり親家庭のため
- 4 親がきょうだいの面倒をみているため
- 5 親に障がいがあるため
- 6 その他( )

問21 日常のことで、現在あなたが相談している人はいらっしゃいますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1 家族・親戚           | 12 地域包括支援センターの職員     |
| 2 友人・知人           | 13 病院・診療所の医師・看護師等    |
| 3 近所の人            | 14 ケアマネージャー          |
| 4 民生委員・児童委員       | 15 計画相談支援事業所の相談支援専門員 |
| 5 職場の人            | 16 荒川区基幹相談支援センターの職員  |
| 6 障害者福祉課の職員       | 17 ホームヘルパー           |
| 7 生活福祉課の職員        | 18 訪問看護ステーションの看護師    |
| 8 高齢者福祉課の職員       | 19 その他 ( )           |
| 9 保健所の保健師         | 20 誰もいない             |
| 10 子ども家庭総合センターの職員 |                      |
| 11 学校の先生          |                      |

問22 あなたは、日常生活で次のような機器を利用していますか。  
(○はいくつでも)

- |          |             |
|----------|-------------|
| 1 電話     | 4 パソコン      |
| 2 ファクシミリ | 5 その他 ( )   |
| 3 携帯電話等  | 6 何も利用していない |

問23 あなたのお住まいは次のうちどれですか。あてはまるもの○をつけてください。  
(○は1つ)

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1 一戸建ての持ち家     | 5 公営住宅    |
| 2 分譲マンション      | 6 社宅等     |
| 3 一戸建ての借家      | 7 その他 ( ) |
| 4 賃貸マンション・アパート |           |

問24 あなた(または家族の方)がアパートやマンションを借りようとしたとき、  
難病を理由に断られたことがありますか。(○はいくつでも)

- |                   |
|-------------------|
| 1 断われた経験がある       |
| 2 最終的には借りられたが難航した |
| 3 退去を求められたことがある   |
| 4 その他 ( )         |
| 5 そのような経験はない      |

問25 あなたは、現在、働いていますか。(○は1つ)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1 働いている →問26、27へ | 2 働いていない →問28へ |
|------------------|----------------|

問26 (問25で「1.働いている」に○をつけた方のみお答えください。)  
それは次のうちのどの仕事ですか。(○は1つ)

- |                   |
|-------------------|
| 1 会社員・団体職員(フルタイム) |
| 2 パートタイム・アルバイト    |
| 3 自営業             |
| 4 内職業             |
| 5 家業手伝い           |
| 6 その他 ( )         |

問27 (問25で「1.働いている」に○をつけた方のみお答えください。)  
仕事をすることで困っていることはありませんか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 給料が少ない         | 8 トイレ等の設備が使いにくい |
| 2 仕事が多い          | 9 昇給や昇進が平等でない   |
| 3 仕事がつい          | 10 通勤が困難        |
| 4 仕事が少ない         | 11 病気への理解がない    |
| 5 自分に合った内容の仕事がない | 12 相談相手がない      |
| 6 職場の人間関係が悪い     | 13 その他 ( )      |
| 7 職場での身分が不安定     | 14 特に関っていることはない |

問28 (問25で「2.働いていない」に○をつけた方のみお答えください。)  
あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。(○はいくつでも)

- |                  |
|------------------|
| 1 仕事を探したが雇用されない  |
| 2 自分に適した職業・職場がない |
| 3 仕事を探している       |
| 4 生活訓練・職業訓練中である  |
| 5 仕事をする年齢ではない    |
| 6 長時間の勤務が難しい     |
| 7 働く必要がない        |
| 8 その他 ( )        |

問29 あなたの令和3年度の年収(賞金・年金・手当等全ての合計)は、  
税込みでいくらかでしたか。(○は1つ)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 収入はない →問31へ     |                    |
| 2 年間50万円未満        | 7 年間250万円～300万円未満  |
| 3 年間50万円～100万円未満  | 8 年間300万円～400万円未満  |
| 4 年間100万円～150万円未満 | 9 年間400万円～500万円未満  |
| 5 年間150万円～200万円未満 | 10 年間500万円～600万円未満 |
| 6 年間200万円～250万円未満 | 11 年間600万円以上       |

問30 (問29で「2」～「11」に○をつけた方のみお答えください)  
 あなたの収入の種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	働いて得た収入 (給料・工賃・事業収入)	
2	年金	
3	財産収入 (地代・家賃・使用料等の収入)	
4	別居家族からの支援	
5	生活保護	
6	手当	
7	その他 ( )	
8	世帯の収入 (18歳未満の方の場合)	

問31 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出)  
 (○は1つ)

1	ほぼ毎日	4	月に1～2回くらい
2	週に2～3回	5	年に数回くらい
3	週に1回くらい	6	まったく外出しない

問32 あなたがよく利用する外出の方法は何ですか。(○は3つ)

1	電車・地下鉄	5	徒歩 (歩行器・杖を含む)
2	バス	6	タクシー
3	自転車	7	その他 ( )
4	自家用車 (車・バイク等)		

問33 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。  
 (○は1つ)

1	できる	2	できない
---	-----	---	------

問34 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	家族	5	福祉サービス事業所等の関係者
2	親戚	6	その他 ( )
3	友人・知人	7	特になし
4	近所の人		

問35 難病の方に関するサービス、施設等の利用状況について、お伺いします。  
 それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

難病の方に関するサービスの利用	し現 て在 い利 る用	が利 あ用 した こと	利知 用つ して いる なが ない	知 ら な い
1 ホームヘルプサービス	1	2	3	4
2 ガイドヘルパー派遣事業	1	2	3	4
3 ショートステイ (短期入所)	1	2	3	4
4 デイサービス	1	2	3	4
5 計画相談支援 (サービス等利用計画の作成)	1	2	3	4
6 地域移行支援 (入所・入院先を出て、地域での生活に戻るための支援)	1	2	3	4
7 地域定着支援 (地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	1	2	3	4
8 補装具の交付・修理	1	2	3	4
9 日常生活用具の給付	1	2	3	4
10 就学相談・教育相談	1	2	3	4
11 アクロスあらかわ (障害者福祉会館)	1	2	3	4
12 じよぶあらかわ (障害者就労支援センター)	1	2	3	4
13 荒川区保健所	1	2	3	4
14 東京都難病相談・支援センター	1	2	3	4
15 東京都障害者総合スポーツセンター	1	2	3	4
16 ハローワーク足立 (足立公共職業安定所)	1	2	3	4
17 荒川区子ども家庭総合センター	1	2	3	4

問36 難病の方に関する医療助成制度等の利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

難病の方に関する医療費助成制度の利用	現在利用	利用しているが知らない	利用していない	知らない
1 心身障害者医療費助成事業（マル障）	1	2	3	4 5
2 難病等の医療費助成事業	1	2	3	4 5
3 自立支援医療（更生医療）	1	2	3	4 5
4 自立支援医療（育成医療）	1	2	3	4 5
5 自立支援医療（精神通院）	1	2	3	4 5
6 小児精神障害者入院医療費助成事業	1	2	3	4 5
7 療養介護事業	1	2	3	4 5
8 医療型児童発達支援事業	1	2	3	4 5

問37 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 絵画や音楽等の芸術活動	7 障がい者団体等の活動
2 映画やコンサート等の鑑賞	8 区が主催するイベント等
3 スポーツ・運動	9 その他のイベント等
4 料理	10 その他（ ）
5 習い事や学習活動	11 特になし
6 旅行	12 活動をしたいと思わない

問38 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 電車やバスなどの利用が不便
2 移動する方法がない
3 建物や施設の設定の利用が不便
4 障がい等が重く、活動が困難
5 お知らせや案内等を知らない
6 参加しやすい時間に行わない
7 経済的理由により、活動が困難
8 障がい等に対する理解や配慮がない
9 付き合ってくれる人が少ない
10 参加できるような活動が少ない
11 興味を感じる活動が少ない
12 その他（ ）
13 活動しにくいと感じない

問39 現在、あなたが特に困ったり、不安に思っていることは何ですか。（○はいくつでも）

1 住まいのこと	9 交通手段の確保と経費のこと
2 就職や仕事のこと	10 家族のこと
3 お金のこと	11 家族以外の人間関係のこと
4 進学や勉強のこと	12 近所づきあいのこと
5 病気（薬）のこと	13 趣味や生きがいのこと
6 福祉サービスのこと	14 その他（ ）
7 困ったときの相談先のこと	15 特に困っていることはない
8 外出のこと	

問40 あなたは、障がいや理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どんな時に感じたことがありますか。)(○はいくつでも)  
また差し支えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください。

- 1 あなたが人と話しているとき(障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)  
→具体的に( )
- 2 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)  
→具体的に( )
- 3 あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等)  
→具体的に( )
- 4 障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等)  
→具体的に( )
- 5 周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)  
→具体的に( )
- 6 傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)  
→具体的に( )
- 7 その他  
→具体的に( )
- 8 差別や偏見を感じたことではない

問41 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす
- 2 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める
- 3 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う
- 4 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する
- 5 障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する
- 6 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める
- 7 その他( )

問42 雑音の方への福祉に関するご意見を自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～



# 8 障がい児通所支援利用者

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

1 本人	5 兄弟姉妹
2 父	6 その他の親族
3 母	7 その他 ( )
4 祖父母	

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

歳

問4 診断名等ありましたらお答えください。(○はいくつでも)

1 広汎性発達障がい → ①知的障がいを含む自閉症 ②高機能自閉症(高機能広汎性発達障がい) ③アスペルガー症候群
2 学習障がい(LD)
3 注意欠陥・多動性障がい(ADHD)
4 その他 ( )
5 特定の診断名はついていない
6 受診していない

問5 (問4で「1」から「4」と答えた方は次の設問にお答えください。)

最初に診察を受けたのは何歳のころですか。

歳

問6 あなたは、現在、誰と一緒に生活していますか(○はいくつでも)

1 親(父・母)
2 兄弟姉妹
3 祖父・祖母
4 その他 ( )

生活のニーズや福祉に関する調査  
(障がい児通所支援をご利用の方へ)

この調査は、生活状況や障がい者施策へのご要望を伺い、障がい者プランに反映する事を自的として行うものです。  
ご回答いただいた結果は、とりまとめて「〇〇の意見が何パーセント」というような資料を作成しますので、回答者のお名前が出る等のご迷惑をかけることは決してありません。  
何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

- 質問の中では、ご本人のことを「あなた」と表現しています。
- 回答は、ご本人がお答え可能な場合はご本人、ご本人にお答えいたいただくことが難しい場合は、ご家族の方等がご本人の立場に立って回答を記入してください。
- 回答は、当てはまる番号を○で囲むか、言葉や数字を記入してください。

■調査問い合わせ先  
荒川区福祉部障害者福祉課  
【調査の内容や記入方法等についてのお問合せ】  
電話 03-3802-3111 内線2685  
【障がい者プランについてのお問合せ】  
電話 03-3802-3111 内線2681

問7 いっしょに暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。(○は1つ)  
 ア 1人 ウ 3人 オ 5人以上  
 イ 2人 エ 4人

問8 あなたは次のような日常生活の動作がひとりですべてできですか。それぞれ  
 の項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。  
 (1~8について各々○は1つ)

日常生活の動作	自分でできる	一部に手助けが必要	全部に手助けが必要
1 歩くこと	1	2	3
2 食事をする	1	2	3
3 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	1	2	3
4 トイレで用を足し、後始末をすること	1	2	3
5 入浴し、身体や髪を洗うこと	1	2	3
6 歯磨き・洗顔等をすること	1	2	3
7 室内の掃除・整理整頓をすること	1	2	3
8 バス・都電・電車を利用すること	1	2	3

問9 (問8で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください)  
 あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。  
 (○はいくつでも)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 父        | 6 ホームヘルパー |
| 2 母        | 7 友人      |
| 3 兄弟姉妹     | 8 ボランティア  |
| 4 祖父・祖母    | 9 その他 ( ) |
| 5 1~4以外の親族 |           |

問10へ

問10 (問9で「1」~「5」に○をつけた方のみお答えください)  
 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。(問9で「1」~「5」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)  
 「ア」に○をつけた方は問11へお進みください。「ア」以外に○をつけた方は、問14へお進みください。

ア 18歳未満	→問11~13へ	エ 40~49歳	キ 70~79歳
イ 18~29歳		オ 50~59歳	ク 80歳以上
ウ 30~39歳		カ 60~69歳	

問11 (問10で「ア」に○をつけた方のみお答えください)  
 手助けをしている18歳未満の父(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)  
 ※本来、大人がすると思われるような家事や、家族の世話等を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

- 1 家の中の家事(食事の用意、掃除、洗濯、買い物等)をしている
- 2 金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている
- 3 身の回りの支障(移動の支障、衣服の脱ぎ着の支障、入浴・トイレの支障、服薬の支障等)をしている

問12 (問10で「ア」に○をつけた方のみお答えください)  
 18歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)  
 1 毎日 3 週に2~3回 5 1か月に数回  
 2 週に1日 4 週に4~5日 6 その他 ( )

問13 (問10で「ア」に○をつけた方のみお答えください)  
 18歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 (18歳未満の人からみた)親が病气であるため
- 2 (18歳未満の人からみた)親が仕事で忙しいため
- 3 ひとり親家庭のため
- 4 親がきょうだいの面倒をみているため
- 5 親に障がいがあるため
- 6 その他 ( )

問14 あなたまたは保護者の方が、日常のことや困ったことを相談している人はいますか。(○はいくつでも)

- |    |                                   |
|----|-----------------------------------|
| 1  | 家族・親戚                             |
| 2  | 友人・知人                             |
| 3  | 近所の人                              |
| 4  | ホームヘルパー・保健師・訪問看護師                 |
| 5  | 障害者相談員・民生委員・児童委員                  |
| 6  | 障害者福祉課・たんぼほセンター、子ども家庭総合センター等の区の職員 |
| 7  | 障害児相談支援事業所の相談支援専門員                |
| 8  | 荒川区障害者基幹相談支援センターの職員               |
| 9  | 通所先の障害福祉サービス等事業所の職員               |
| 10 | 医療機関                              |
| 11 | 保育園・幼稚園・学校                        |
| 12 | スクールカウンセラー                        |
| 13 | インターネット                           |
| 14 | その他 ( )                           |
| 15 | 誰もいない                             |

問15 あなたは、病気等で病院に通っていますか。(○はいくつでも)

- |   |                   |   |              |
|---|-------------------|---|--------------|
| 1 | 病院に入院している         | 5 | 毎日薬を飲んでいる    |
| 2 | 定期的に病院に通っている      | 6 | ほとんど病院には行かない |
| 3 | 時々(不定期に)病院を受診している | 7 | その他 ( )      |
| 4 | 訪問診療を受けている        |   |              |

問16 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(○は1つ)

- |   |              |   |         |
|---|--------------|---|---------|
| 1 | 一戸建ての持ち家     | 5 | 公営住宅    |
| 2 | 分譲マンション      | 6 | 社宅等     |
| 3 | 一戸建ての借家      | 7 | その他 ( ) |
| 4 | 賃貸マンション・アパート |   |         |

問17 あなたまたはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいや理由に附られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |   |                |
|---|----------------|
| 1 | 附られた経費がある      |
| 2 | 敷料高には借られたが難航した |
| 3 | 退去を求められたことがある  |
| 4 | その他 ( )        |
| 5 | そのような経費はない     |

問18 あなたは、平日の昼間は、主にどこで(何を)過ごしていますか。(○は1つ)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 学校に入学する前で、自宅で生活している                       |
| 2 | 幼稚園や保育園、学校、障がい児通所施設等に通っている(在籍している) → 問19へ |
| 3 | 学校を卒業しており、自宅で生活している(家事等を含む)               |
| 4 | その他 ( )                                   |

問19 「問18で「2 幼稚園や保育園、学校、障がい児通所施設等に通っている」に○をつけた方のお答えください。(○は2つまで)

- |   |             |   |                 |
|---|-------------|---|-----------------|
| 1 | 保育園         | 5 | 特別支援学校(固定級)     |
| 2 | 幼稚園         | 6 | 普通学級と特別支援学級(通級) |
| 3 | 障がい児通所施設    | 7 | 特別支援学校(小・中・高)   |
| 4 | 普通学級(小・中・高) | 8 | その他 ( )         |

問20 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか(お子さんが未就学児の場合は、保護者の方ひとりでお子さんを通して避難すること)ができますか。(○は1つ)

- |   |     |   |      |
|---|-----|---|------|
| 1 | できる | 2 | できない |
|---|-----|---|------|

問21 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

1	家族	5	福祉サービス事業所等の関係者
2	親戚	6	その他( )
3	友人・知人	7	特になし
4	近所の人		

問22 サービス、施設等の利用状況について、お伺いします。項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～19について各々○は1つ)

障がい児に関するサービスの利用	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない
1 ホームヘルプサービス	1	2	3	4
2 ガイドヘルパーの派遣	1	2	3	4
3 ショートステイ(短期入所)	1	2	3	4
4 児童発達支援	1	2	3	4
5 医療型児童発達支援	1	2	3	4
6 保育所等訪問支援	1	2	3	4
7 居宅訪問型児童発達支援	1	2	3	4
8 放課後等デイサービス	1	2	3	4
9 障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	1	2	3	4
10 日中一時支援サービス	1	2	3	4
11 就学相談・教育相談	1	2	3	4
12 アクロスあらかわ(障害者福祉会館)	1	2	3	4
13 たんぽぽセンター(心身障害者福祉センター)	1	2	3	4
14 精神障害者地域生活支援センター・アゼリア	1	2	3	4
15 あらかわ基幹相談支援センター	1	2	3	4
16 荒川区保健所	1	2	3	4

障がい児に関するサービスの利用	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない
17 東京都心身障害者福祉センター	1	2	3	4
18 東京都障害者総合センター	1	2	3	4
19 荒川区子ども家庭総合センター	1	2	3	4

問23 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	絵画や音楽等の芸術活動	7	障がい者団体等の活動
2	映画やコンサート等の鑑賞	8	区が主催するイベント等
3	スポーツ・運動	9	その他のイベント等
4	料理	10	その他( )
5	習い事や学習活動	11	特になし
6	旅行	12	活動をしたくないと思わない

問24 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	電車やバスなどの利用が不便
2	移動する方法がない
3	建物や施設の設備の利用が不便
4	障がい等が重く、活動が困難
5	お知らせや案内等を知らない
6	参加しやすい時間に行わない
7	経済的理由により、活動が困難
8	障がい等に対する理解や配慮がない
9	付き合ってくれる人が少ない
10	参加できるような活動が少ない
11	興味を感じる活動が少ない
12	その他( )
13	活動しにくいと感じない

問25 あなたは、障害福祉サービス等について、困っていることはありませんか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |    |                               |
|----|-------------------------------|
| 1  | 利用できる回数や日数等が少ない               |
| 2  | サービス提供事業者が少ない → 問26へ          |
| 3  | サービス提供事業者の経営内容に不安を感じる         |
| 4  | サービス提供事業者の職員の態度等が良くない         |
| 5  | サービス提供事業者の職員数が少ない等、職員体制に不安がある |
| 6  | 区外の事業所を利用しているが、場所が遠い等で不便である   |
| 7  | 障害福祉サービス等について、相談先がわからない       |
| 8  | どのようなサービスが利用できるかわからない         |
| 9  | サービスを提供してくれる事業所がわからない         |
| 10 | サービスを利用するための送迎がない             |
| 11 | その他 ( )                       |
| 12 | 困っていない                        |

問26 (問25で「2 サービス提供事業者が少ない」に○をつけた方のみお答えください。)

- |   |            |   |             |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | 児童発達支援     | 5 | 居宅訪問型児童発達支援 |
| 2 | 医療型児童発達支援  | 6 | 障害児相談支援     |
| 3 | 放課後等デイサービス | 7 | その他 ( )     |
| 4 | 保育所等訪問支援   |   |             |

問27 あなたは、障がい者や障害者に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。)(○はいくつでも)  
また差し支えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 | あなたが人と話をしているとき (障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等)<br>→ 具体的に ( ) |
| 2 | 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき (障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等)<br>→ 具体的に ( ) |
| 3 | あなたがやりたいことを止められたとき (チャレンジしようと思っただけ、危ないからやめた方がいいと言われた、等)<br>→ 具体的に ( )   |
| 4 | 障がいに対する理解がないと感じるとき (施設がバリアフリーに対応していない、等)<br>→ 具体的に ( )                  |
| 5 | 周囲からの視線等が気になるとき (ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)<br>→ 具体的に ( )                    |
| 6 | 傷つくことを言われたとき (あなたに話してもわからない、等)<br>→ 具体的に ( )                            |
| 7 | その他<br>→ 具体的に ( )   |
| 8 | 差別や偏見を感じたことはない  |

問28 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が重要だと思  
いますか。(〇はいくつでも)

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす           |
| 2 | 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める              |
| 3 | 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う                        |
| 4 | 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する            |
| 5 | 障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する         |
| 6 | 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める |
| 7 | その他( )                                       |

問29 障がい児通所支援や発達支援等に関するご意見を自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

# 9 障害福祉サービス等事業所

問1 貴事業所の経営主体をお答えください。(○は1つ)

- 1 社会福祉法人
- 2 医療法人
- 3 社団法人、財団法人
- 4 株式会社、有限会社
- 5 特定非営利活動法人 (NPO法人)
- 6 協同組合
- 7 合同会社、合資会社
- 8 その他 ( )

問2 貴事業者の開業年をお答えください。(○は1つ)

- 1 平成14年以前
- 2 平成15～18年
- 3 平成19～22年
- 4 平成23～26年
- 5 平成27～30年
- 6 平成31～令和4年

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス等をお答えください。(○はいくつでも)

- 1 居宅介護
- 2 重度訪問介護
- 3 同行支援
- 4 行動支援
- 5 重度障害者等包括支援
- 6 短期入所
- 7 療養介護
- 8 生活介護
- 9 施設入所支援
- 10 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)
- 11 宿泊型自立訓練
- 12 就労移行支援
- 13 就労継続支援 (A型)
- 14 就労継続支援 (B型)
- 15 就労定着支援
- 16 共同生活援助
- 17 自立生活援助
- 18 地域移行支援
- 19 地域定着支援
- 20 計画相談支援
- 21 障害児相談支援
- 22 児童発達支援
- 23 医療型児童発達支援
- 24 放課後等デイサービス
- 25 保育所等訪問支援
- 26 居宅訪問型児童発達支援
- 27 移動支援
- 28 日中一時支援
- 29 その他 ( )

問4 貴事業所は介護保険サービスの指定を受けていますか。(○は1つ)

- 1 受けている
- 2 受けていない

問5 貴事業所の所在地をお答えください。(○は1つ)

- 1 南千住
- 2 荒川
- 3 町屋
- 4 東尾久
- 5 西尾久
- 6 東日暮里
- 7 西日暮里

## 生活のニーズや福祉に関する調査 (障害福祉サービス等事業所へ)

この調査は、事業所の運営状況や障がい者施策へのご要望を伺い、障がい者プランに反映する事を目的として行なうものです。  
ご回答いただいた結果は、とりまとめて「〇〇の意見が何パーセント」というような資料を作成しますので、回答者の名称が出る等のご迷惑をかけることは決してありません。  
何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### ■記入にあたってのお願い

- 1 回答は、事業所単位でお答えください。なお、多機能型の事業所として指定を受けている事業所については、多機能型の事業所単位で回答してください。
- 2 回答は、当てはまる番号を○で囲むか、言葉や数字を記入してください。

### ■調査問い合わせ先

荒川区福祉部障害福祉課

【調査の内容や記入方法等についてのお問合せ】

電話 03-3802-3111 内線2691・2683

【障がい者プランについてのお問合せ】

電話 03-3802-3111 内線2681

問6 貴事業所が事業の実施区域としている区域をお答えください。(○は1つ)  
 1 荒川区のみ  
 2 荒川区内及び23区内の一部 →問7へ  
 3 23区内全域  
 4 東京都内の一部  
 5 東京都内全域  
 6 その他 ( )

問7 (問6で2に○をつけた事業所のみお答えください。)  
 貴事業所が事業の実施区域としている23区はどこですか。  
 (○はいくつでも)

1 千代田区	9 品川区	17 北区
2 中央区	10 目黒区	18 板橋区
3 港区	11 大田区	19 練馬区
4 新宿区	12 世田谷区	20 足立区
5 文京区	13 渋谷区	21 葛飾区
6 台東区	14 中野区	22 江戸川区
7 墨田区	15 杉並区	
8 江東区	16 豊島区	

問8 貴事業所でサービスを提供している利用者数(契約者数)について、障がい別にお答えください。該当する選択肢に○をし、( )内に人数を記載してください。なお、重複障がいの方については、主たる障がいについてお答えください。(○はいくつでも)

1 身体障がい	( )人	うち児童	( )人
2 知的障がい	( )人	うち児童	( )人
3 精神障がい	( )人	うち児童	( )人
4 発達障がい	( )人	うち児童	( )人
5 難病	( )人	うち児童	( )人

問9 問8でご回答いただいた内容のうち、荒川区で支給決定を受けた方の割合について、お答えください。(○は1つ)

1 50%未満	2 50%以上～80%未満	3 80%以上
---------	---------------	---------

問10 問8でご回答いただいた内容について、貴事業所で重症心身障がい又は医療行為を必要とする状態(以下「医療的ケア」という。)にある方の受入れ状況をお答えください。なお、重複する場合は、医療的ケアの項目に記載ください。(○はいくつでも)

1 重症心身障がい	( )人	うち児童	( )人
2 医療的ケア	( )人	うち児童	( )人
3 受け入れていない	→問11へ		

問11 (問10で3に○をつけた事業所のみお答えください。)  
 貴事業所で重症心身障がい又は医療的ケアが必要な方の受入れを行っていない理由をお答えください。(○はいくつでも)

1 事業所として受け入れる予定ではあるが、看護職員の採用ができていない
2 看護職員の配置は可能だが、事業所全体で受け入れる体制が整っていない
3 事業所内の人材育成が困難である
4 事業の採算がとれない
5 どのような支援を行っているかわからない
6 受入れ対象者に係る相談先がわからない
7 事業所として受け入れ体制を整える予定がない
8 その他 ( )

問12 (問10で1又は2に○をつけた事業所のみお答えください。)  
 貴事業所で重症心身障がい又は医療的ケアが必要な方の支援等について、困った時の相談先をお答えください。(○はいくつでも)

1 法人本部	6 荒川区障害者基幹相談支援センター
2 区の障害者福祉課	7 医療的ケア児等地域コーディネーター
3 区の保健所	ター
4 他の障害福祉サービス事業所	8 地域生活支援拠点等
5 相談支援事業所	9 その他 ( )

問13 貴事業所の職種別職員数をお答えください。(○はいくつでも)

1 生活支援員	( )名	8 職業支援員	( )名
2 介護職員	( )名	9 児童指導員	( )名
3 看護職員	( )名	10 保育士	( )名
4 栄養士	( )名	11 相談支援専門員	( )名
5 理学療法士	( )名	12 事務職員	( )名
6 作業療法士	( )名	13 その他	( )名
7 言語聴覚士	( )名		

問14 貴事業所の職員の充足状況をお答えください。(○は1つ)

1 十分である	4 非常に不足している
2 やや不足している	5 その他 ( )
3 不足している	



問15 貴事業所の人材確保のための取り組みについてお答えください。(○はいくつでも)

1	待遇（勤務時間等）の改善	7	ハローワークを通じた募集
2	賃金の改善	8	実習生、研修生の受け入れ
3	処遇改善加算等の取得	9	知人経由等での募集
4	福利厚生充実	10	その他( )
5	H P等での事業所の広報	11	特に行っていない
6	高校、専門学校、大学等を通じた募集		

問16 貴事業所の人材育成のための取り組みについてお答えください。(○はいくつでも)

1	事業所内外での研修の実施	5	資格取得等による賃金改善の実施
2	資格取得のための支援（休暇、費用等）	6	他事業所等への施設見学の実施
3	職員キャリアパスの形成	7	その他( )
4	O J Tの実施	8	特に行っていない

問17 貴事業所の障がい者支援に関する事業について、過去2年度の取支についてそれぞれお答えください。(○は年度ごとに1つ)

	令和2年度の取支	令和3年度の取支
1	大きく黒字であった	1 大きく黒字であった
2	黒字であった	2 黒字であった
3	収支はほぼ同じであった	3 収支はほぼ同じであった
4	赤字であった	4 赤字であった
5	大きく赤字であった	5 大きく赤字であった
6	わからない	6 わからない

問18 問17の取支の状況を受けて、黒字又は赤字等の理由についてお答えください。(○は年度ごとに1つ)

	令和2年度の取支状況の理由	令和3年度の取支状況の理由
	【黒字】	【黒字】
1	利用者が増加した	1 利用者が増加した
2	人件費を下げた	2 人件費を下げた
3	事務費等の経費を削減した	3 事務費等の経費を削減した
4	報酬改定で収入が増加した	4 報酬改定で収入が増加した
5	その他( )	5 その他( )
	【赤字】	【赤字】
1	利用者が減少した	1 利用者が減少した
2	人件費が増加した	2 人件費が増加した
3	事務費等の経費が増加した	3 事務費等の経費が増加した
4	報酬改定で収入が減少した	4 報酬改定で収入が減少した
5	その他( )	5 その他( )
	【その他】	【その他】
1	わからない	1 わからない
2	その他( )	2 その他( )

問19 貴事業所の経営上の課題をお答えください。(○はいくつでも)

1	職員の確保	9	運転資金の確保
2	利用者の確保	10	他事業所との連携
3	職員のスキル向上	11	行政との連携
4	職員の待遇の改善	12	地域住民との関係
5	事務作業量の削減	13	医療的ケアへの対応
6	施設、設備の改善	14	その他( )
7	制度改正への対応	15	特になし
8	収益の増加		

問20 貴事業所でのサービスの提供において、課題をお答えください。(○はいくつでも)

1	利用者とのコミュニケーションが難しい
2	家族とのコミュニケーションが難しい
3	利用者に対する最適な支援がわからない
4	利用者の希望する提供日時での受け入れができない
5	困難事例への対応が難しい
6	医療的ケアへの対応が難しい
7	休日や夜間の対応が難しい
8	苦情やトラブルが多い
9	近隣住民の理解を得るのが難しい
10	区や他事業所等の関係機関と連携を図るのが難しい
11	地域への社会参加が難しい
12	その他 ( )
13	特になし

問21 貴事業所がサービス向上のために取り組んでいることをお答えください。(○はいくつでも)

1	第三者評価等の受審
2	事業所内外で事例検討会を実施している
3	サービス提供マニュアル等の各種マニュアルの整備
4	看護職員の配置による医療的ケアに対応している
5	介護職員の「喀痰吸引研修」受講により医療的ケアに対応している
6	事故防止のためヒヤリハット事例の共有を図っている
7	利用者や家族に対し、事業所の利用についてのアンケート調査等を実施している
8	その他 ( )
9	特になし

問22 貴事業所では、第三者評価を受けたことがありますか。(○はいつ)

1	ある →問24へ	2	ない →問23へ
---	----------	---	----------

問23 (問22で2に○をつけた事業所のみお答えください。)

第三者評価を受けたことがない理由をお答えください。(○はいくつでも)

1	受ける義務がない	3	評価されることによるメリットがない
2	費用がかかるため	4	その他 ( )

問24 貴事業所では、利用者や家族からどのような相談や苦情等を受けたことがありますか。(○はいくつでも)

1	サービスの内容や質に関する事
2	個別支援計画に関する事
3	従業員の態度や言葉遣い等に関する事
4	事業所の支援体制に関する事 (従業員の配置数が少ない等)
5	施設の設備に関する事
6	契約書や重要事項説明書に関する事
7	他のサービス提供事業者との連携等に関する事
8	個人情報の管理等に関する事
9	利用の予約に関する事
10	送迎に関する事
11	虐待防止や事故防止等に関する事
12	その他 ( )
13	特に相談や苦情等はない →問26へ

問25 (問24で1~12に○をつけた事業所のみお答えください。)

利用者や家族からの相談や苦情等に対して、どのような対応をされましたか。以下に具体的に記載してください。

--

問26 貴事業所では、虐待防止対策について、どのような取り組みを行っているかお答えください。(○はいくつでも)

1	虐待防止委員会を設置している
2	従業員への虐待防止研修を実施している (外部研修への参加も含む)
3	虐待防止等のための責任者を設置している
4	事業所内の虐待又は不適切事例のケースを集計・分析し、再発防止策を講じている
5	虐待防止のための指針又はマニュアルを整備している
6	虐待防止委員会の構成員に外部委員を入れている
7	虐待防止連絡体制を整備している
8	その他 ( )
9	特になし

問27 貴事業所では、災害時の対策についてどのような取り組みをしているかお答えください。

- 1 災害発生時の対策マニュアル等を整備している
- 2 避難訓練を定期的に実施している
- 3 備蓄品を整備している
- 4 建物の耐震化を行っている
- 5 事業所内や関係機関との連絡体制を整備している
- 6 業務継続計画（災害用）を策定している
- 7 避難確保計画を策定している
- 8 施設内の備品等の耐震化をしている
- 9 その他（ ）
- 10 特にない

問28 貴事業所では、感染症及び食中毒の予防及びまん延防止（以下「感染症等防止」という。）の対策についてどのような取り組みをしているかお答えください。（○はいくつでも）

- 1 感染症等防止の対策検討委員会を設置している
- 2 感染症等防止の指針又はマニュアルを整備している
- 3 従業者への感染症等防止研修の実施（外部研修への参加も含む）
- 4 感染症等防止のための担当者を設置している
- 5 感染症等防止の対策検討委員会に外部委員を入れている
- 6 業務継続計画（感染対策用（新型コロナウイルス感染症防止も含む））を策定している
- 7 感染を防止するための備品（マスク、手指消毒薬等）を常備している
- 8 手洗いの際は、ペーパータオルを使用している
- 9 職員、関係機関等への連絡体制を整備している
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

問29 貴事業所では、障がい者の差別解消及び合理的配慮（以下「差別解消等」という。）を進めていくために取り組んでいることをお答えください。（○はいくつでも）

- 1 地域行事への障がい者の社会参加促進等により、障がいのない人との交流の場を設けている
- 2 事業所の施設公開等を行い、地域住民との交流を進めている
- 3 差別解消等の研修を実施している（外部研修への参加も含む）
- 4 障がい者に対して、差別解消等の対応ができるようマニュアルを整備している
- 5 その他（ ）
- 6 特にない

問30 貴事業所において、今後、既存の事業所の定員拡大や新たな事業所の新規開設等の事業拡大を考えている障害福祉サービス等をお答えください。（○はいくつでも）

- 1 居宅介護
- 2 重度訪問介護
- 3 同行支援
- 4 行動支援
- 5 重度障害者等包括支援
- 6 短期入所
- 7 療養介護
- 8 生活介護
- 9 施設入所支援
- 10 自立訓練（機能訓練・生活訓練）
- 11 宿泊型自立訓練
- 12 就労移行支援
- 13 就労継続支援（A型）
- 14 就労継続支援（B型）
- 15 就労定着支援
- 16 共同生活援助
- 17 自立生活援助
- 18 地域移行支援
- 19 地域定着支援
- 20 計画相談支援
- 21 障害児相談支援
- 22 児童発達支援
- 23 医療型児童発達支援
- 24 放課後等デイサービス
- 25 保育所等訪問支援
- 26 居宅訪問型児童発達支援
- 27 移動支援
- 28 日中一時支援
- 29 その他（ ）
- 30 事業拡大する予定はない

問31へ

問32へ

問31 (問30で30以外に○をつけた事業所のみお答えください。)  
 貴事業所で検討されている事業拡大の詳細についてお答えください。貴事業所の事業拡大で優先度の高いものについて○を2つまでつけてください。(○は2つ)

- |   |                             |     |
|---|-----------------------------|-----|
| 1 | 既存の事業所の定員拡大 (設備の改築なし)       | ( ) |
| 2 | 既存の事業所の定員拡大 (設備の改築あり)       |     |
| 3 | 通常の事業実施地域の拡大                |     |
| 4 | 新規事業所の開設                    |     |
| 5 | 既存の事業所における併設サービスの追加         |     |
| 6 | 事業所で受け入れる対象者の拡大 (主たる対象者の拡大) |     |
| 7 | その他 ( )                     |     |

問32 仮に貴事業所において、事業拡大を行うと想定した場合、事業拡大をするにあたり、課題だと考えられることをお答えください。(○はいくつでも)

- |   |                    |  |
|---|--------------------|--|
| 1 | 新規サービスのノウハウの取得     |  |
| 2 | 新規サービスの利用者の確保      |  |
| 3 | 事業拡大のための資金調達       |  |
| 4 | 事業所開設における土地や施設等の確保 |  |
| 5 | 職員の確保              |  |
| 6 | 収益性の確保             |  |
| 7 | 地域住民の理解            |  |
| 8 | 地域における競合事業者の存在     |  |
| 9 | その他 ( )            |  |

問33 貴事業所において、今後、事業所の休止や廃止等による事業縮小を考慮するかお答えください。(○は1つ)

- |   |               |   |                |
|---|---------------|---|----------------|
| 1 | 検討している →問 34へ | 2 | 検討していない →問 35へ |
|---|---------------|---|----------------|

問34 (問33で「1」を検討している「1」に○をつけた事業所のみお答えください。)  
 事業縮小を検討している理由をお答えください。(○はいくつでも)

- |   |                            |  |
|---|----------------------------|--|
| 1 | 利用者の獲得が難しい                 |  |
| 2 | 人件費が増加した                   |  |
| 3 | 事務費等の経費が増加した               |  |
| 4 | 障害福祉サービス等の収入が少なく、採算がとれない   |  |
| 5 | 近隣住民の理解が得られず、事業を継続することが難しい |  |
| 6 | 支援の質を確保することが難しい            |  |
| 7 | その他 ( )                    |  |

問35 貴事業所でサービスを提供している利用者の中で、ヤングケアラー等(※)だと思われる世帯がどのくらいお答えください。(○は1つ)  
 ※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

- |   |       |        |     |        |
|---|-------|--------|-----|--------|
| 1 | いる    | 2      | いない | →問 36へ |
| 3 | わからない | →問 37へ |     |        |

問36 (問35で「1」又は「2」に○をつけた事業所のみお答えください。)  
 貴事業所では、ヤングケアラー等だと思われる方について、どのように把握しているかお答えください。(○はいくつでも)

- |   |                                   |  |
|---|-----------------------------------|--|
| 1 | アセスメントシート等を作成する際、ヒアリングする項目としている   |  |
| 2 | 必ずヒアリングする項目としていないが、ヒアリングの際に意識している |  |
| 3 | ヒアリングの際に意識はしていないが、結果的に把握した        |  |
| 4 | ケース会議等の会議体での情報提供等により把握している        |  |
| 5 | 関係機関等からの情報提供等により把握している            |  |
| 6 | 本人やご家族等からヤングケアラー等だと言われた           |  |
| 7 | その他 ( )                           |  |

問37 運営上のお困りごとや区の障がい福祉施策に関するご意見等ありましたらお書きください。

--

～ご協力ありがとうございました～

荒川区  
障がい者総合プラン策定のための  
障がい者実態調査  
調査結果報告書

令和5年3月発行  
登録(04)0143号

発行・編集 東京都荒川区福祉部障害者福祉課  
〒116-8501  
東京都荒川区荒川二丁目2番3号  
電話 03-3802-3111(代表)  
内線2681